紙のプロレス RADICAL

プロレス雑誌の黒船宣言

24
2000

藤田和之激勝!
そういうわけで、今号は
「新しいプロレス」の幹を
考えまくってみます



天才
アラーキーが
アレクを劇写!!

奇跡の顔合わせが
ミレニアムに実現!
G・サスケvs矢追純一

世紀の一戦まで
カウントダウン開始!
**船木vsヒクソン戦に
夢を見ろ!**

もう一つの黒船襲来! WWF大特集!
紙のプロレス・アメリカン
猪木&前田&高田が語るWWF
／杉作J太郎vs岡元あつこ他

新連載開始! 闘龍門飛来!!
CIMAフォトギャラリー

超極秘企画!
**慧舟會の首領・
守山竜介が語る
「柔道多重アリバイ」**

堀辺正史骨法創始師範が
「新しいプロレスの神」
を大発見!

『PRIDE・GP』で驚愕の"プロレスラー魂"が炸裂!

頭、打ちすぎたか アレク!!

ロング・インタビュー&1・30密着ドキュメント
アレクサンダー大塚

5・1ホイス狩りに王手! 頼んだゾ、サク!
桜庭和志

「対グレイシー」目前!
田村潔司

どうなるKOK! 興奮の直前大特集&大予想!!
**山本宜久／髙阪剛／金原弘光／成瀬昌由／坂田亘
佐竹雅昭／山本喧一／宮戸優光／平直行／髙阪フミ他**

紙のプロレス RADICAL NO.24

アレクを天才アラーキーが劇写!

発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体800円＋税



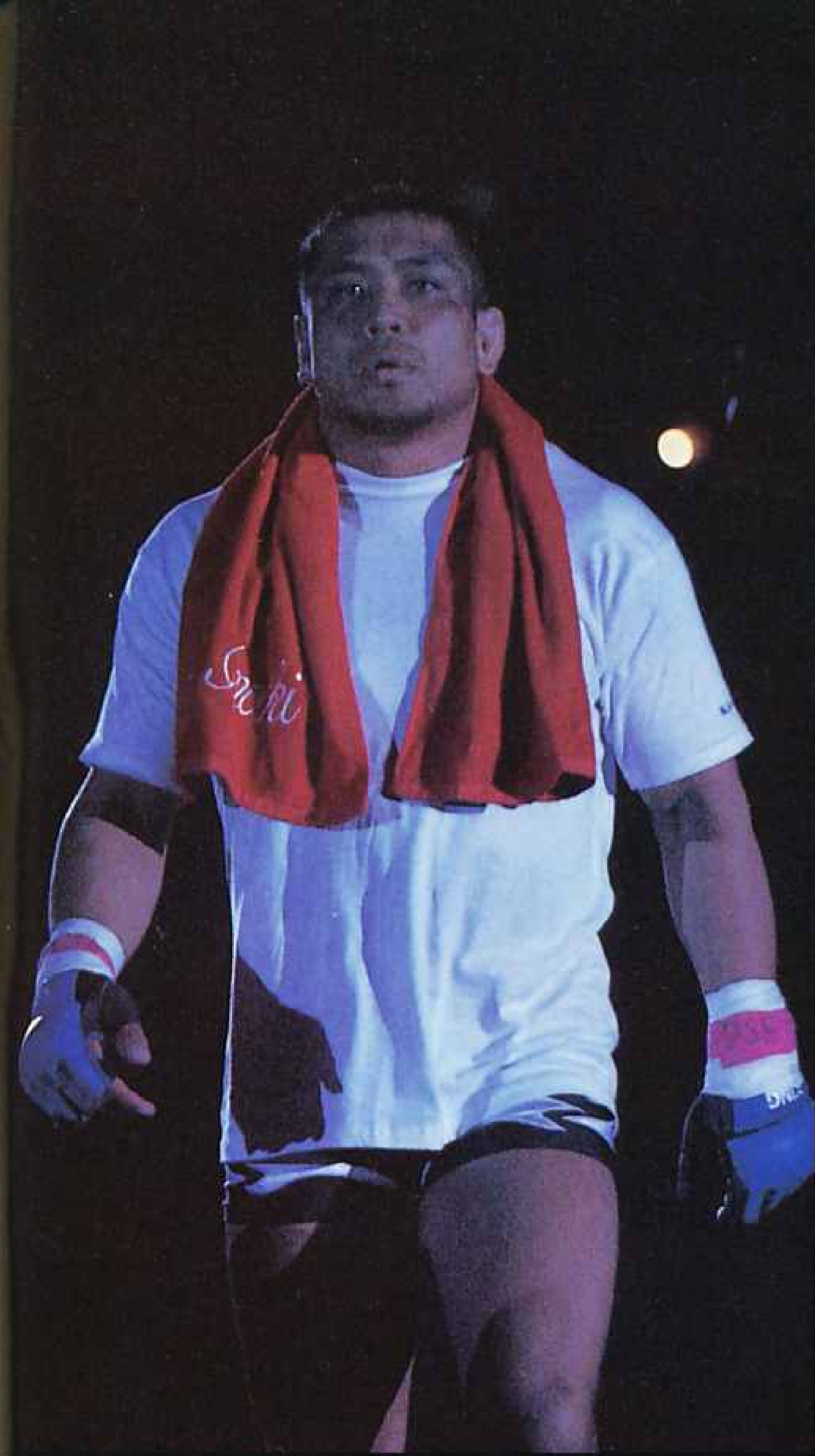


〝プロコン〟を持った者たちが集まる「新しいプロレス」の木

♪この〜木なんの木
気になる木（になる木ィ）
みんなが集まる木ですから
みんなが集まるぅ〜
木に〜なるでしょお〜

〝プロコン〟
（〝コン〟は根性、魂など）
をブンまわして、
大きな幹を
作ろうゼー!!

というわけで、
今号は新しい時代の
「新しいプロレス」を
いま一度考えます。
特集、続行ーッ!!







青春の大提言!!

緊急巻頭座談会ぼっ発!!

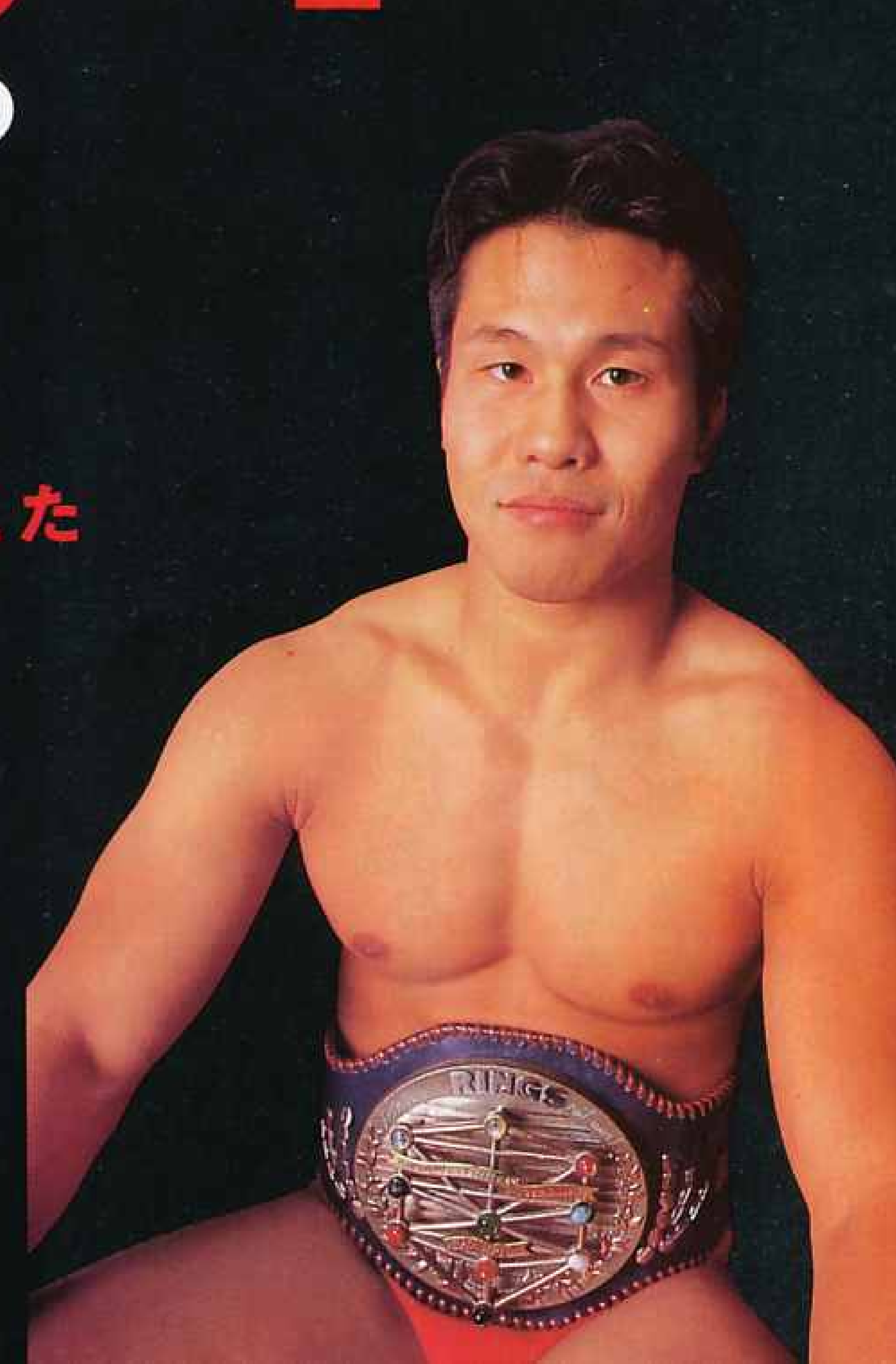
「新プロレス」とは何か？

プロレスラーよ、「プロコン」の火種を携えて旅に出ろッ!!



**1・30『PRIDE.GP』
＆新日本帝国の動きから見えた
「新しいプロレスの幹」
その可能性を探り出すこと、
この上なし！**

というわけで、藤田、アレク、サクらプロレスラーが活躍した1・30『PRIDE・GP』を振り返りながら、今後のマット界について考える緊急座談会を敢行したことこの上なし！ 「新プロレス」「プロコン」という聞き慣れない言葉の意味とは何か？ そこらへんを考えながら読んでいただけると非常に嬉しいというか。「よーし、思考続行ーッ！」。



2月16日に行われた記者会見にて、5・1東京ドームで行われる『PRIDE・GP2000～世界最強トーナメント決勝戦～』の緒戦で、桜庭和志vsホイス・グレイシーが実現することが発表された。
これで、2・26の田村潔司vsヘンゾ・グレイシー、5・26の船木誠勝vsヒクソン・グレイシーと併せて「プロレスvsグレイシー3番勝負」がはからずも出揃ったというわけだ。
これで「プロレスvsグレイシー」の決着がなんらかの形で付くことは間違いない。
実に待ち遠しいことこの上なし！
しかし、ズバリ言って重要なのは、日本マット界にとって最大の黒船となった〝グレイシー〟との決着がついた後、マット界がどう転がっていくかなのである。

山口　さ、正式入門したガンツ君、今日は君が司会！

ガンツ　あ、はい（ゴックン！）。

山口　ガハハハ！　お前、「ゴックン」って聞こえるように唾を飲み込まなくっていいよ（笑）。座談会、続行ーッ！

ガンツ　い、いや、なにせ巻頭ですからねぇ。国内デビュー戦でいきなりハンセン&ブッチャーに当てられた谷津嘉章の心境というか。

山口　ふざけんな！　お前には谷津嘉章ほどのアマチュアでの実績はねえだろ（笑）。

ガンツ　まあ、そうなんですけどね（笑）。というわけで、期待の『PRIDE・GP』も終わったわけですけども。

豪　もうだいぶ前だよ。誰に聞いても悪口言ってるけどね（笑）。

山口　誰も誉めないんだよ、『PRIDE・GP』全体に関しては。

豪　それでいて、これまでに出た雑誌がどれも批判しきれてないんですよね。

スモー　どすこ～い！　でも、ところどころは面白かったでごわす。

豪　うるさいよ、A級戦犯（笑）。俺は、これまでの『PRIDE』史上最悪だったと思う。

山口　言うねえ（笑）。でも高揚感はありまくったんだよね、始まる前は。

豪　だから試合前までの高揚感がデカ過ぎたんですよ。高揚感がいままでで最大で、そのくせクオリティが最小だったっていう。試合始まる前までは、尋常じゃない熱があったでしょ。

山口　まさに久しぶりこの上ないビッグイベントって感じだったよね。タマリン的にはどうだったの？

タマリン　（小声で）み、み、見たいです。

山口　もう大会は終わってるよ。キミはそれしか言えないのか？（笑）。

いかにK-1との違いを打ち出せるかが『PRIDE』の生命線だと思う（山口）

チョロ　ウヒャヒャヒャ。さすが大仁田劇場で「長州戦が見たいかーッ！」って聞かれて「み、見たいです」と答えた女ですね（笑）。俺なんて、DDTとキャプチャーを蹴って行ったんですから！　あとからそっちの方が面白かったって聞いて、ホンッッット後悔してますよ！

豪　そういえば今回、凄かったのは試合後に「金返せ」コールが起きたことですよね。

山口　ここ最近なかったからね。それだけ期待感が高かった裏返しなんだろうけど。

ガンツ　みんながガッカリしたポイントは同じだったんですかね？

チョロ　勝敗でガッカリしたってことはないですよね。読者からのハガキにもあったけど、「終わりダメなら全てダメ」っていうのがやっぱりあるだろうし。

山口　いや、ダメなのは終わりだけじゃなかったからだろ。単純にいいカードを揃え過ぎたんじゃないの、好意的に見れば。

豪　「全試合メインエベント」だって売りにしてたけど、大刀光vs（ゲーリー・）グッドリッジはそうじゃないだろうって（笑）。まあ、でも、こういうバランス取れてないカードのほうが盛り上がるはずなんですよ。それがTV放映のためなのかバランスの取れたカードだらけになったんだけど、そうすると膠着しがちっていう当たり前のことに気付かされましたね。

スモー　どすこ～い！　でも、タチ関（大刀光）は光ったでごわす！

山口　うるさいよ、お前！（笑）。負けっぷりって意味では、タチも佐竹雅昭も際立ったと思うんだけどね。

豪　タチと佐竹選手が、最初の予定通り立ち技同士で試合やってればねぇ（笑）。

スモー　どすこ～い！　異種立ち技戦でごわすね。そういえば、控室でモーリス・スミスにタチ関が怒られたらしいでごわす。

豪　ああ、タバコ吸っててね（笑）。

スモー　谷津選手とかも来てて、タチ関の周辺でモクモクしてたでごわす（笑）。

タマリン　で、それを見た外人の中で、タチ関が何分で負けるかの賭けが始まったらしいです（笑）。

豪　日明兄さんも葉巻吸って怒られたりしたら面白いんですけどね、モーリスに（笑）。

山口　ガハハハ！　でも勝敗はともかく、俺が今回一番ダメだと思った点は、『PRIDE』がコンプリートで売り出したってとこだね。

その他大勢　……（無視）。

山口　お前らね、黙るくらいだったら、「コンプリートってどういう意味かわかってるのか？」ってツッコめよ！　俺もよくわかんないんだから（笑）。

ガンツ　確か、「仕上がっている」「全部揃っている」「完全」とかいう意味ですよね。

山口　おぉ～！　こう



出して出して顔出して裸になったら見えてきた本当の『紙プロ』の姿

座談会出席者



【堀江ガンツ】ロボコンに出てくるガンツ先生に似てるのが名前の由来。1・30終了後には「ノブコン0点」と繰り返し、壊れまくっていた



【大西タマリン】猪木さんが研究している凶暴な小猿、ライオン・タマリンに似た顔と性格を持つ。いつもチョロにエサの残りを与えている



【松澤チョロ】最近、キャット・ファイトに出たり、2000年のVTデーに性病科に行ったり、大忙しの〝弱火ギャグ王〟&〝こじつけ王〟



【スモーノブ】大刀光「PRIDE・GP」出場の仕掛人（無意識）。「食う・飲む・寝る」の3拍子揃った、出版業界初の編集力士



【吉田豪】タレント本や美女に関してもうるさい毒舌金髪鬼。もうすぐ30歳。ターザン山本の3本の指に入る友人でもある（ターザン談）



【山口日昇】最近はCSテレビだのラジオだのに出ているためか、若づくりが過ぎる本誌編集長&小社会長。冷蔵庫の野菜室が会長室である

いうときに強いよな、受験勉強派は。俺、やってないから（笑）。

豪　大検にも落ちてるから（笑）。

山口　落ちたんじゃねえよ。保険体育だけ取らなかったの！（笑）。だから、なんだかベストアルバム的だったじゃない、今回は。

ガンツ　欲張りすぎたってことですか？

山口　通常出してるアルバムでは、アーティストもいろんな実験ができるのに、今回は、普段そのアーティストのCDは買わないような人までコンビニで買いまくってるわけでしょ。そのために、「これでもか」とサービスし過ぎちゃって、いろんな部分で空回りしちゃったというか。

豪　際立つものがなくなった、と。

山口　そう。名前は出さないけど、今回はテレビ局主導になったでしょ。

豪　出さなくてもわかりますよ（笑）。

山口　あ、そ（笑）。まあ、そうなってから、「第2のK―1」っていう雰囲気がありありでしょ。でも、K―1的手法だと、学年誌的なファンしか育たないと思うんだよね。

チョロ　は？　あの、学年誌的っていうと？

山口　例えば、『小学1年生』のように、毎年同じネタをやってるんだけども、毎年読者を入れ変えていくというか、毎年巨大な数のビギナーを取り込んでいく手法っていうのかな。でも、プロレスの場合は、読者が成長しても一つの雑誌をズーッと読んでるっていう部分があるわけだよ。プロレスラーが中心となってる総合とK―1の間にはそういうファン気質の違いがあると思うんだよね。

スモー　どすこ〜い！　違い！

山口　お前、うるさいよ。意味もなく「どすこいどすこい」って言うな！　これから毎年やっていくのかどうかわからないけど、「グランプリ」と銘打って、K―1の二番煎じ的なやり方をやっていくだけじゃ、ズーッと見ていくファンは育たないよね。いかにK―1との違いを出すかが『PRIDE』の生命線だと思う。プロレスの場合は、見る側にとってみれば、個人の歴史や、全体の流れが一番重要なんだから。

豪　今回、試合内容が悪かったのは、グレイシー側が主張したルールのせいでもあるわけですよね。ルールの面では、桜庭選手の試合でもかなりの問題がありましたからねぇ。それに、マッチメークの問題もあったし、全体的なムードの問題もあったし。全てが悪いほうに転んでしまったっていう。

山口　でも、時間が経っちゃったのもあるけど、なんだか「今回が期待外れだったから次も悪いとは限らない」って気になってきたよ。

豪　そうですか？　なんだか嫌な予感がするんですけどね。ホイスが勝ち残った以上、あの膠着しがちなルールも変わらないだろうし、カード変更とかも含めて。

ガンツ　今回も直前でのカード変更とか、けっこうありましたからねぇ。でも、桜庭vsホイスはゼヒとも見たいですね。むしろトーナメントではもったいないくらいですからね。

髙田選手に言いたいことは多々あるけど、それを超えた部分を見てナンボ（豪）

チョロ　今回の『PRIDE』は、試合前にデカいこと言った選手は、ことごとく光らなかったですよね。エンセン井上にしても、大刀光にしても。プロフェッショナルとして盛り上げるっていう意味では必要なことだったんですけど、それを体現できなかった選手ばっかりだったっていうか。でも、直前の煽りとしてはやらなきゃいけないことだし、難しいッスよね。

山口　だから、言ったこととやったことの整合性が崩れちゃうのが怖いわけでしょ、アマチュアの人たちは。でも、プロはそれを乗り越えなきゃいけねえんです！

豪　日明兄さんも言ってましたよ。「最近、そういうことを言わない選手ばっかりだけど、それならアマチュアでやってろ！」って。

山口　そういうなかで、直前に、お叱りを受けかねない、Tバック温泉特訓とか、当日プロレスとのダブル・ヘッダーに挑んで盛り上げたアレクは見上げたもんですよ。普通だったらハンディになるはずなのに、それをハネ返して、負けたとはいえ記憶に残る闘いを見せてくれたでしょ。もはや、〝バカじゃないか〟って思うくらいプロだよね（笑）。いきなり（マーク・）コールマンを相手に選ぶという無謀な賭けに出た佐竹も、記憶に残る負け方だったけどね。

豪　良くも悪くもですね。あれぐらい負けっぷりが良くて何もできないと、商品価値もあんまり落ちない気がするんですよね。

山口　佐竹の負けはノー問題だと思うね。ファンにしてみれば、「あ〜あ」っていう部分はあるだろうけどね。猪木さんが言うように、ファンは残酷なんだけど、プロはその残酷なファンとも闘わなきゃいけない。その残酷さを凌ぐタフさをリング上から叩きつけてくれればいいんだよ。目指せ、ティナ・ターナー！（笑）。

豪　どうして、そこでティナ・ターナーなんですか！（笑）。

山口　いや、たまたま頭に浮かんだのが口に出ちゃっただけ（笑）。

豪　じゃあ、ほっときます。というわけで、メインの高田選手はどうでしたかね。

山口　それ振る？（笑）。

豪　当然です。







1・30『PRIDE・GP』。藤田和之の勝利の瞬間にドームは大爆発。続いて登場したサクは、守りに徹するメッツァー相手に、頑張ってサク・マジックをしかけたが不発。そしてアレクは敗れはしたものの、ボブチャンチン相手に「プロコン」を叩きつける闘いを提示した

燃えよ!! プロゴン2000 BURNING SPIRITS

山口　ズバリ言って、試合内容的には圧倒的にペケです！

豪　同感です！

山口　断じてペケ。菊池孝さんも『SAMURAI!』で、「高田はプロレスラーという看板を降ろしてほしい」って言ってたけど、当日は俺も見ててヘコんだよ。だけど高田延彦という人がやってきた役割はやっぱりデカイんだよね。

豪「メインであれはない」とか叩かれてるけど、それも別に高田選手のせいじゃないでしょ。立ち上がりに相撲でガップリ組んで倒れなかった腰の強さには、まさに元祖スモー・ノブの横綱相撲って感じがしましたけどね。まあ、相撲的には、倒れてからは一切知らないっていう（笑）。

スモー　どすこ～い！　相撲的にはノブ関の勝ちでごわすよ。

山口　お前、うるさいって！（笑）。高田選手への批判っていうのも、さすがに聞き飽きたよね。

豪　ボクらも言いたいことは多々あるんですけど、それを超えた部分でフォローしてナンボって気がするんですよね。けなすぐらい簡単なことはないから（笑）。ボクが考えたのは、グレイシー・ルールでは時間切れまで試合すれば判定なしの引き分けになることを踏まえた、ホイラーばりの「引き分け狙い」だったんじゃないかっていう。

山口「プロとして、こういう闘い方をしちゃダメだよ、君たち」ということを身を持ってグレイシー側に教えてあげようとしてたわけね（笑）。

豪　そういうことです！

山口　でも、「ああいう考え方をしてる限りはプロのリングに上がっちゃダメだよね」とグレイシー側に言ってた高田がああいう試合をやっちゃうと、非常に説得力に欠けるんだけどね（笑）。

豪　じゃあ、高田選手もプロのリングには上がっちゃいけない、と（笑）。

山口　と、グレイシー側に突っ込まれてもしゃーないな、と（笑）。でも俺は、噂されるケン・シャムロック戦も含めて、次に何をするのか、間髪入れずに決めてほしいなぁ。

豪　そのカードは正直言ってWWFルールでもない限り、あまり興味は湧かないんですけどね。ジャッジが表情も採点するぐらいの（笑）。

山口　いいね、WWFルール（笑）。そういえば、高田選手は、ホイスの上に乗りながら「この道着クセェ～」とか、衣（ぎ）を首に巻き付けられたときは「反則だよ、反則」とリング上でトークしてたらしいからね。

豪　そのトークが観客にも伝わればねぇ（笑）

スモー　どすこ～い！　ということで、今回『PRIDE』で光った選手の話をしたいでごわす。まずアレク選手から。

山口　バツグンでしょう。バーリ・トゥードの技術不足という点はツッコまれやすいけど、それを補う闘い方、記憶に残る闘い方をしたのは、アレクが一番だったね。アレクこそ「アイ・アム・プロレスラー」だよね。

豪　毎回紙一重な感じを見せてくれるんですよね。紙一重で負けたり、紙一重で勝ったり。

山口　アレクを嫌いな人も、あの闘いを見てればなんかしら感じるものはあるでしょ。ないほうがおかしい。そういう見ている者の細胞に突き刺さる闘いをプロは望まれてるわけだから。だって、あのボブチャンチン相手に打ち合いに行ってグラつかせたんだからね。

豪「なんで打ち合ったんですか？」って聞いたら、本人が「ボクも驚きました」って言ってましたね（笑）。

タマリン　い、いや～、でも、セコンドに付いたサスケ社長は「打たれてない」って言ってましたよ。

山口　ガハハハ！　最後、アレクがマウント取られて殴られてるときだって、サスケ社長は「大丈夫大丈夫！　効いてない効いてない！　勝てる勝てる！」って言ってたらしいからね（笑）。その件をアレクとサスケ社長を含めて話してたら、サスケ社長は「なんでも、あきらめたらダメなんですよ～」って、笑いながら話してた。あの男も凄いよ（笑）。さすが、頭蓋骨骨折＆脳挫傷の2ケ月後に試合してただけある！（笑）。今回、アレクとサスケは〝プロレスラー魂〟を見せてくれたね。あと藤田（和之）選手が良かった。

スモー　それと桜庭選手でごわす。

山口　サクは、今回は相手が固かったからね。相手が元パンクラストのコンプリートならぬ、コンクリート・ファイターだったから（笑）。

豪　でも、あの試合はガイ・メッツァーの試合の中で一番面白かったって言われてるんですけどね（笑）。メッツァーをチャンピオンとしてメインで使わざるを得なかったパンクラスに心から同情しましたよ。

山口　桜庭は、試合直前のコメントでも「とにかく面白い試合をしましょう」って言ってて、それに対してメッツァーが応えてくれなかったね。ホイラーもそうだったけど、勝ち目がない試合をしといて、契約やルール云々ってよく言えるよな。見上げたもんだよ、やねやのフンドシだよ。

スモー　どすこ～い！　なんでごわすか、それは？

山口　だから、「どすこいどすこい」

PRIDE.GP PETIT REVIEW

○藤田和之
（1R2分48秒ケサ固め）
●ハンス・ナイマン



バーリ・トゥード（以下、VT）初進出の藤田は、懐かしの『ワールド・プロレスリング』時期シリーズ予告に流れる曲で入場。ドームが一気にプロレス・モードへと切り替わった



オランダ・ケンカ軍団の先鋒隊にプレッシャーを与えられることなく、ナイマンと向き合った藤田。ドームが巨大な緊張感に包まれた序盤、ローで探られ、強烈なミドルをもらってしまう



ハイキックをかいくぐり、タックルを決める。そして袈裟固め状態から、ナイマンの首がネジ切れんばかりに締め上げた。藤田、圧勝！　ドームにこの日一番の歓声が沸き起こった



試合後、マイクを持った藤田は「ここで一つ。どんなに道は険しくても、笑って行こうぜッ！」と1・4の猪木さんの新年メッセージ短縮バージョンを披露した。VIVA、藤田!!

うるさいって言ってんだろ、お前！　プロのファイターにとって試合はビジネスだから、契約云々を大事にするのはわかるけど、やっぱり、この間、チョロが雑談のなかで言ってた「プロコン」が見えなきゃ圧倒的にダメだよね。サラリーマンじゃないんだから。さ、チョロ君、全国2千万の『紙プロ』読者の皆さまに「プロコン」を説明してあげて。

チョロ　「プロコン」のコンは、「根性」、「魂」、「コンプリート」！　あとは相手や観客との会話ができないと一流のプロとは言えないという意味で「コンタクト」！　それから……コンビニエンス！

山口　お前、こじつけすぎだよ（笑）。

チョロ　えっと、いつ行っても好きな商品が間近で見れる！

山口　よっ、こじつけ王！（笑）。

豪　ああ、「便利」とかじゃなくて、文字通りの「コンビニ」って意味なんだ（笑）。

チョロ　あと、コンデンス・ミルク。ちょっと甘い感じを味あわせてくれる……。

山口　（冷たい口調で）弱火だね、相変わらず。

チョロ　い、いや、ちっと、言葉の出始めって、ちょっと間抜けなとこがあるじゃないですか。

山口　間抜けすぎこの上ないよ、それ（笑）。でも、今号は暫定的にそれを使おう！

チョロ　でもやっぱり「プロコン」を持ったファイターを見て憧れて、底辺レベルの人たちはやろうと思うわけですよね。田村選手も「どことは言わないけど、膠着した試合を見て、ああいうことがやりたいと思う人はいないでしょ」って言ってたけど、田村選手は人が憧れる試合をしてる自覚があるんですよ。

豪　修斗は（佐藤）ルミナとマッハ（桜井速人）にそれがあったから、底辺が広がってきたわけでしょ。

タマリン　ルミナとマッハにしかないっていうのが辛いとこなんですけどね。

山口　修斗ファンなのに冷たいねえ（笑）。でもさ、「プロコン」にも一流から五流まであるんだよ。だって、ティナ・ターナーに比べたら、格闘技の選手には全然「プロコン」なんてないだろ？

豪　だから、なんでティナ・ターナーなんですか！（笑）。そんなの、ほとんどのプロレスラーもティナ・ターナーと比べられたら負けますよ（笑）。

山口　いや、もっと上を見てほしいんだよ。強くなるためには他のことは一切できないとか、そういう次元は一気に飛び越しちゃうくらいの「プロコン」がこれからは必要だよね。マット界全体を底上げしていくには。ズバリ言って、最近は自分の力不足を環境とか周りのせいにする選手が多すぎるからね。

ガンツ　その「プロコン」を見せるいいチャンスだったんですけどね、『PRIDE・GP』は。





山口　だから、アレクは、幻想の部分での〝新日本イズム〟を体現してくれたよね。「いつ何時でも、どんな状況でもやる」っていうね。

豪　しかもリング上の闘いだけじゃなくて、団体内の闘いとか、家庭内の闘いとか、いろいろ他に大変なこともあるんだろうし（笑）。

山口　だって、前の日、夜中まで『桃太郎電鉄V』やって、愛（いと）ちゃん（アレクの愛娘＝1歳）を風呂に入れて、オコノミマンのマスク被ったら愛ちゃんに泣かれてあやして。それに夫婦喧嘩の一つや二つ、三つや四つだって試合前夜にでもやりかねないからね、あの夫婦は（笑）。で、（イゴール・）ボブチャンチン戦当日には朝早くからリング作って、昼のバトの試合ではトペやって、ボブチャンチン戦ではあれだけ顔ボコボコに腫らしてね。恐ろしいよね。他の選手が真似しようったって絶対できないよ、あれは。

豪　ボブチャンチンの強さを知らない観客も多かったせいか、「負けたときの言い訳をあらかじめ作るな」とか、ごく一部のファンに叩かれてもいるけど、もはやそういうレベルじゃないですからね。

山口　ズバリ言って、それを美談にしようとは思わないけど、肝心なのは、そういうことを知らないファンにまで届く試合をやったということが凄いんだよね。リング上にすべてを叩きつけてるというか。結果は判定で負けたにせよね。

ガンツ　アレク選手は、いつ何時でも大振りしてくれますよね。

山口　今回、新日本から、ターザン用語で言うところの「脱藩」してきた藤田和之が出てきたよね。それによって、いままで見えなかったものが見え始めた気がするんだよね。

スモー　なんでごわすか？

山口　ズバリ言って、新日本がやるべきことをやってたのは、高田道場なんだよ。

スモー　異種格闘技戦ということでごわすか？

山口　ズコッ！　お前の脳味噌はチャンコでできてるのか？（笑）。いや、老朽化した「プロレス」の新たな幹作りという部分でね。そもそも「プロレス」って、もっと大きなもんだという思いがあるわけよ、ボクの中には。シュート方面だろうがエンターテインメント方面だろうが、その両方を取り込めるくらい大きなフィールドが「プロレス」という概念なんだよね。

スモー　ごっつぁんです！　なんとなく言うことはわかるでごわす。

山口　しかし、お前の相撲キャラもつらいよなあ（笑）。で、昔の新日本プロレスは幻想としてそれを打ち出して、実際にもそういう大きなフィールドにするという意気込みも見えたから、みんな夢を馳せたわけでしょ。でも、いつの日か、「プロレスはプロレス」っていう割り切りが始まって、シュート方面に踏み出していくのはU系の役割というふうになって、おまけにそのU系は「プロレス」というフィールドからも切り離されかかって、あげくの果てには「俺の目の黒いうちはバーリ・トゥードには出さない」とかいう言葉も宙を飛び交うようになった。それで、新たな総合のうねりに新日本が見向きもしない時期に、グレイシー狩りに高田延彦が出て行ったんだよね。

豪　まぁ、逆に狩られちゃったんですけどね（笑）。

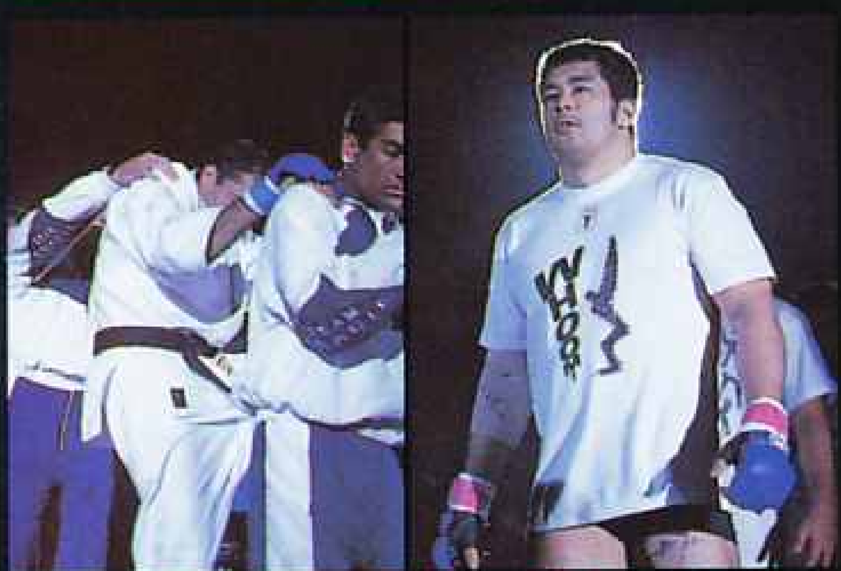
山口　見事にね（笑）。まあ結果はどうあれ、グレイシーは日本マット界に道場破りに来たようなもんなんだから、それを迎え討たないとならない宿命があるんだよ、プロレスには。

豪　最初に道場破りをしたのは安生洋二だったんですけどね。Uイン

プロコンのコンは「根性」「魂」「コンプリート」「コンタクト」それから…（チョロ）

PRIDE.GP PETIT REVIEW

○ホイス・グレイシー
（判定3－0）
●髙田延彦



メインイベントの位置に組まれたこの一戦。髙田は珍しくTシャツ姿で入場し、ホイスはとてつもなく長いグレイシー・トレインで入場。いやがおうにも決戦ムードは盛りがった



コール前、髙田を睨みつけるホイスの目はただごとではない。臆することなくホイスと対時した髙田だったが、立ち上がりすぐに組みつかれる。相撲では髙田が一枚上手だったが……



倒せないと感じたホイスは、自ら髙田を引き込みガード状態に。髙田は体制を整え、ホイスの“衣（ぎ）”の両襟を掴む。ここから髙田がどんな攻撃を見せるのか視線が注がれる



下からのパンチ。自らの足を持ち、カカトをコツコツ脇腹に当てる“足トンカチ”攻撃。極めつけは“衣”を髙田の首に巻き付ける攻撃を見せたホイス。髙田は頭を付けなにもしない



同じ状態が延々と続き判定へ。髙田にブーイングが飛ぶ。ホイスは後日、「試合は15分無制限ラウンドのはずだったので、あれは1R終わって出てこない髙田の試合放棄だ」と語った

燃えよ!! プロゴン2000 BURNING SPIRITS

ターの身から出た錆というか（笑）。

山口　確かにそうなんだけど、その後も高田道場はプロレスがやらなきゃいけない役割をやってくれたんだから、これには関係者もファンも感謝しなきゃいけないと思うね。だから、さっき高田延彦のことはこれ以上悪く言いたくないって言ったのはそういうことです。

豪　同感です！　もし、いまのマット界に桜庭がいなかったらと考えたら正直、ゾッとしますからね。

山口　そうそう。その桜庭和志という、世界に名だたるファイターを生んだのは高田延彦だからね。

豪　サクがファイターに専念できる環境を作ったのもそうだし。

ガンツ　桜庭選手はエースじゃなかったのが、ホントに良かったんですよね。船木（誠勝）選手が辛いのも、エースだからですよね。

山口　アルティメットが出てきたとき、修斗やパンクラスはいち早く対応したけど、盟主である新日本は知らんぷりしてたでしょ。反対に対応しなくていいように、アメプロという巨大な遊園地に紛れ込んでったわけだから。

豪　その点、安生洋二なんて総合のみならず、立ち技にも、インディーにも踏み込みましたからね。

山口　安生洋二も自分のできる役割をやろうとしてたと思うんだよ。ズバリ言って結果は出してないけどね。Uインターやその後のキングダムが、無意識かもしれないけど、敏感に業界の危機を感じてたときに、「キング・オブ・スポーツ」「プロレスこそ最強の格闘技」を掲げてた新日本は「俺たちには関係ない。小っぽけな出来事」とそっぽ向いちゃった。だからマニアの間では、新日本にあきらめた連中が続出したわけでしょ。



オーちゃんは、はたして『PRIDE・GP』優勝者に牙を剥くのか？　今後の動向から俄然目が離せない。そのオーちゃんが対戦要求してきた高田は、1・30のホイス戦でまたもや不完全燃焼。2・26にヘンゾと激突する田村は、その高田の念願だった“グレイシー狩り”を果たすことができるか

ガンツ　橋本も呑気な格闘技戦やってたし（笑）。

豪　まあ、あれは本人も「あんな説得力のないヤツ、連れて来んな！」って言ってたからね（笑）。

山口　さすが破壊王！（笑）。でもU系の元の幹は新日本なんだから、自分たちのこととして考えなきゃダメなんだよ。猪木さんは、自分たちのこととして捉えてるから、高田選手が最初にヒクソンに負けたとき「よりによって一番弱い奴が出ていった」って言ったわけでしょ。

ガンツ　強烈でしたよね～。

山口　非常に辛辣に聞こえるけど、猪木さんは、新日本から高田が出ていったと捉えてその言葉を言ったんだよ。新日本は藤田選手が結果を出したからか、いまごろになって長州力が「ヒクソンと誰それをやらす予定だった」とか言いだしてるけどね。

豪　あれは衝撃でしたよね。いまになって『週ゴン』金澤編集長が明らかにした、「長州監督は誰よりもバーリ・トゥードに関心を持ち、研究もしている」「健介、飯塚、永田、中西、藤田は、常に有事に備えたトレーニングを自主的に積んできた」「過去、新日本は二度、ヒクソン・グレイシーの引っ張り出しを狙っていた。最初の交渉時にヒクソン迎撃の候補であったのがライガー。2度目の対戦候補は藤田と中西」とかの情報は（笑）。いまになってこういう話が出てくるのはアレですけど、新日が本気で動き出したのかなって。これまでにも闘魂クラブを作ったりとか、ある程度はやってきましたけどね。

山口　基盤はあるけど、それがあまりにも試合から見えなかったでしょ。藤田選手にしたって、アマレス出身であれだけの身体つくってるんだから弱いわけがない。でも新日本を覆ってるラリアット一辺倒やパワーでGOGOみたいな試合だけじゃ測れないじゃない。アレクやサクはデビューから見てるけど、ちゃんと力の測れる試合スタイルだったからね。だから、そういうスタイルが「ドーム・プロレス」の波長に合わないのはわかるけど、あまりにも〝人工物〟だらけで、〝自然〟が少なくなったプロレスだけじゃ、先細りしていくだけだもん。

スモー　グ～グ～グ～（あっという間に熟睡中）。

山口　おい、デブ！　寝るな！

スモー　ど、どすこ～い……。

山口　お前はホント、寝るか食うかしか脳がねえな。で、俺はここで衝撃的な提言したい！

ガンツ　ほう！　なんですか！

山口　ズバリ言って、「プロレス」という言葉を変えちまったらどうだい！

その他大勢　……（絶句）。

ガンツ　まあ、いままで「プロフェ









『PRIDE.』という怪獣王国に闘いの場を移した佐竹雅昭（右）。[redacted]『PRIDE・GP』の決勝に駒を進めた実力者・小路晃（中）。最近勝ち星に恵まれないが、シアトルを拠点に世界を股にかけるＴＫ（左上）。ＵＦＯの特攻隊長・村上一成（左下）。この４人も「プロコン」を持った戦士だけに、ズバリ言って非常に今後の動向が注目される

ショナル・レスリング」とか「ファイティング・アーツ」とか極地的に言い方は変えてきましたけどね。

豪　「ハイブリッド・レスリング」というのもありますね。

山口　うん（笑）。「プロレスって言葉は傷つきすぎ」だとか、「プロレスって言葉は汚れすぎた」とか、前田日明や田村潔司も言ってるよね。「プロレス」って言葉が傷つきすぎなら、「プロレス」っていう言葉に代わる言葉を作って、実際にプライドを持てるような幹があるマット界になってくれれば、みんなが幸せになれるんだよ。幹さえしっかりしてれば。

豪　そうすれば『紙プロ』も誌名を変えて、「プロレス」名義だと取材できない格闘技団体を取材できるようになるし（笑）。

山口　それはどうかな（笑）。その作業をターザン山本はやりかけて、途中で追放されちゃったんだよね。「プロ格」という作りかけの言葉だけを残して（笑）。あの言葉はターザンの食いかけのアンパンみたいであんまり印象良くないでしょ（笑）。

ガンツ　『週プロ』と『ファイト』にだけ残っちゃって。

山口　「プロ格」じゃゴロ悪いもんな（笑）。

豪　「ラテカセ」みたいですからね。

山口　ガハハハ！　だから、俺は、もっとわかりやすくて、大きな幹となるべき言葉を生み出すべく、この雑誌をやってるようなもんだよね。それをいまさらながら再確認したね、『PRIDE・GP』を見て。

豪　相当忘れてましたよねぇ（笑）。

山口　ガハハハ。だから前号で小川直也を表紙にしたときも、やれ「ピント外れ」だとか、やれ「『PRIDE・GP』に乗るべきだ」とか、一部でそういう声もあったけど、そいつらはなんにもわかってない！（笑）。

豪　いや、正直ボクもそう思いましたよ（笑）。

山口　カァ〜、内部でもわかってないんだもん、俺の考えてること（笑）。「プロレス」が幹になんなきゃダメなんだよ、絶対！　それは、いまある現実のプロレスじゃなくって、概念としての大きなフィールドの「プロレス」。それに見合うようなスケールの大きいマット界にしましょうよ、っていう提言があの表紙に込められてるのに、「タッグマッチで負けた小川を表紙にするのはおかしい」とか、「もっといろんな人を表紙に出せ」だの、実に見方が小っちゃいんだよ。ケッ！

豪　なにも素人に噛みつかなくてもいいですよ（笑）。

山口　でね、前田日明は、傷つきすぎた「プロレス」という言葉に代えて「総合格闘技」という言葉を作り、「プロレス」の修復工事をUWFでやろうとしてた。プロレスの造反分子だと思われてる佐山聡も「修斗を最初に作ったのはプロレスのためですから〜。これを話すと長くなりますけどぉ」って言ってたからね。でもプロレスはなかなか変わらないから、めんどくさくなって、佐山さんは「プロレスと格闘技は別ですからぁ」という極端な考えになっちゃったんだよね（笑）。

豪　それで思いきりプロレスをナメたことまでしてしまう、と（笑）。

山口　そうそう。だから、みんな現実のプロレスというより、理想としての、概念としての「プロレス」のために動いてたんだよ。ホントに「強くて・凄くて・面白い人」たちが集まってる、大きな幹としての「プロレス」なら、安心していろんなものも取り込んでいけるでしょ。アメリカではシュート・ファイトとWWFの選手が一緒に練習したりしてるんだから。

チョロ　オバケ・ジムとかですね。

山口　幹さえしっかりしてれば、アマチュアの人たちだって安心すると思うし、間口も広がるしね。

豪　つまり、昭和新日の道場が外側に作られたような形ですよね。

山口　そうそう。その先鞭をつけたのが高田道場なんだよね。ゆくゆくは、その人の資質に合ったチョイスの仕方ができるっていうね。

ガンツ　田村選手も言ってましたよ。「ボクの試合を見て、格闘技やりたい人が出てくるんだったら、どんどん外に出たい」って。

山口　でも、いまは、格闘技側と言われる人たちの中には「プロレス」という言葉に嫌悪感を示す人たちは多いし、汚れすぎてるっていうんだったら、「プロレス」って言葉を変えちゃえばいいんじゃないの？ってことだよね。

チョロ　田村選手は「プロレスでい

新日本も本腰を入れ始めるだろうね。今年は新日本がキーポイントになるよ（山口）

PRIDE.GP PETIT REVIEW

○マーク・コールマン
（1R1分14秒ネックロック）
●佐竹雅昭



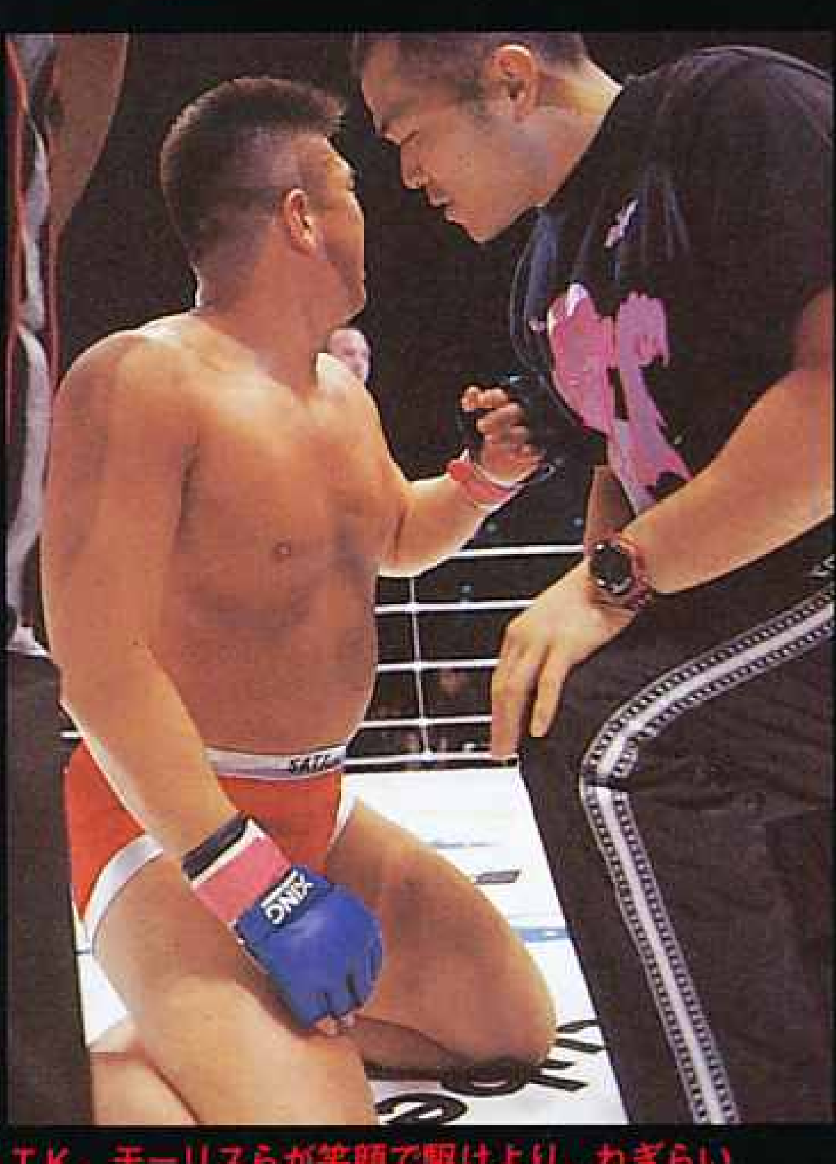
リングス、K－1の会場で聞き慣れた、『怪獣大戦争』のマーチをアレンジした『闘志天翔』が『PRIDE.』のリングに響きわたった。空手着で入場してきた佐竹に大歓声が沸き起こる



シアトルで、TK、藤田、モーリスらと特訓してきた成果を見せるべく出陣した佐竹だったが、プレッシャーをかけられグルグルと回るのみ。1回目の高田vsヒクソン戦を彷彿させた



ロープ際に詰められロケット・タックルを決められた佐竹は、ガードを取ったものの、怪力で首を引き付けられ、高速タップ！　約5万人の「あ～」という声がドームにこだました



TK、モーリスらが笑顔で駆けより、ねぎらいの言葉をかけるが、佐竹は悔しそうな表情を崩さない。このマイナスをどうプラスに転化するかがこれからの佐竹の課題である。天翔ーッ！

燃えよ!! プロコン2000 BURNING SPIRITS

いんじゃない？」って言ってましたけどね。

山口　あ、そう。いや、格闘家を含めたこの業界にいる人たちが、「プロレス」でいいんだったら、それに越したことはないよね。無理に変える必要はまったくないし。田村選手あたりが「プロレスラー」を名乗ってくれたら、なにかが変わるかもしれないけどね。

スモー　そうすると、長井（満也）選手みたいに山寺に行かされたりするんじゃないでごわすか？

山口　ガハハハ。でも、前田日明本人が「プロレス」って言葉に一番傷ついてたと思うんだよ。「プロレス」とか「プロレスラー」っていう言葉に対する世間一般のイメージに。でも、実際は、「プロレス」でも「格闘技」でもいいんだよね。さっき言った「プロコン」があるかないかが一番重要だから。

ガンツ　昔はそうでしたよね、『四角いジャングル』なんてそうじゃないですか。ボクシングまで入って。

豪　映画版じゃ相撲まで入ってるからね。四角ですらないんだよ（笑）。

山口　元『週刊ファイト』編集長の井上義啓さんが、UWFができたときに「新格闘技」という言い方をしてたけど、いま言ってきたような、いろんなものを取り込める巨大な概念としての「プロレス」を「新プロレス」としよう、暫定的に。その「新プロレス」には、「真」も「芯」もあることが絶対条件なんだよ。その「新プロレス」への胎動として、『PRIDE』を主催してるドリステ（ドリーム・ステージ・エンターテインメント）が、総合とWWFを両方やろうとしてるじゃない。どうなるかわかんないにせよ。前田総帥も最近、「30歳過ぎたらエンターテイメントのほうに行けるような循環システムができたらいい」とか、どデカい発想をしてるよね。

チョロ　前田さんは昔っからそうですからね。「世界最強の男はリングスが決める」とか。「キング・オブ・スポーツ」どころか「キング・オブ・キングス」ですから（笑）。

山口　王の中の王だったら、トーナメントにアブダビ王子も出してほしいけどね（笑）。

その他大勢　ダハハハハ。

山口　新日本も本腰を入れ始めるんじゃないかな。永田（裕志）選手が新日にバーリ・トゥードの別動隊をつくるという話もあるし。今年は新日本の動きがキーポイントになると思う。大きな幹になることに本気かどうか、ウチは取材できないからわかんないけどね。

豪　ボクを編集長にしたら取材させてくれるっていうセンスの良すぎることを、広報の倉掛さんは言ってたみたいですよ。山口日昇は許さないけど、ボクの書評は面白いって誉めていただいたそうだし（笑）。

山口　ガハハハ。実に姑息なこと言うね、倉掛欽也さんも（笑）。だけど、これから肝になってくるのは大手の新日本と全日本だと思うよ。

豪　最近、全日の分裂騒動が流れたりしているのも、そういう動きと無縁じゃないような気がしますよね。実際、ドリステの森下社長と三沢（光晴）社長は会談しているわけだし。あれでバート・ガンでも出場してれば、猪木さんの一人勝ちを阻止できたかもしれないんですけどね。

山口　今回、たとえば、藤田選手が出ないで秋山（準）選手が出てれば、マット界の状況は一変してたよね。

ガンツ　秋山選手が出たらカッコ良かったでしょうねぇ（しみじみと）。

豪　俺も泣きかねないね（笑）。

山口　花道に三沢とか田上とか出てきたら爆発するよ。

豪　やっぱりセコンドはUインターに川田選手が出たとき同様、渕（正信）選手しかいないでしょ。そしてオーロラビジョンに馬場さんの遺影を持った元子夫人が映って（笑）。

山口　泣けるねぇ、それ！

チョロ　ジャッジはデストロイヤーですね。

山口　なんでだよ！　でも全日本と新日本が手を組むより、そっちのほうがよっぽど面白いよ。そしたら、ボブチャンチンが全日に上がるとか、夢のような話があり得たかもしれないよね。

豪　グッドリッジとか、全日に出たらかなり映えると思いますよ。

山口　『SRS・DX』ではターザンが音頭を取って『PRIDE』に出て行かないプロレスラーは乗り遅れるって言ってたよね。

豪　ただ、その論調に乗り過ぎてるのはちょっと引っかかるんですよね。

山口　『PRIDE』こそがこれからの主流、みたいなね。だから、オーちゃんはネットとかで「トーナメントに出ないのはチキンだ」とか「逃げてる」とか叩かれたわけだよね。俺は「そうじゃねぇだろ」と思ってるけどね。だから、『PRIDE』という〝場〟があることによって活性化してるのは事実だし、その〝場〟は重要なんだけど、もっと肝心なのは高田道場の役割と、つくってきた流れなんだよ。実際に、プロレスの道場である高田道場にはいろんな格闘家が練習に行ってるわけだし、「プロレス」という概念の修復工事の工事主になってたよね、ここ2～3年の高田道場は。その修

復工事イコール、「新プロレス」の座標軸になってる。この動きが一番重要なんだよ。

豪　ただ、そうやってデカい選手が出稽古に来すぎて、サクがオーバーワークになっちゃったっていう弊害もあるんですけどね（笑）。

山口　大きな「新プロレス」という幹をつくってくれるのが『PRIDE』なのか、これからの藤波（辰爾）体制の新日本なのか、リングス・ネットワークなのかわかんないけどいまマット界に求められてるのは、バトラーツだと思うね。

豪　またいきなり話のスケールが小さくなりますね（笑）。

山口　いや、非常にスケールの大きいバト的なものが求められてるというか。

豪　バトの初期も、日明兄さんの言う循環システムみたいな感じが一番面白かったですよね。一つの興行にリングス・ルールからバチバチからルチャまで、ルールだけでも一番混沌としてて。

スモー　島田（裕二）レフェリーも循環してるでごわす。

山口　マグロは泳ぐの止めたら死んじゃうけど、あの男はしゃべるの止めたら死んじゃうからね（笑）。回遊魚のようにマット界を循環する、元祖・循環男だね、島田裕二は。おまけにバトはアマチュアジムもやり、シュートにも出て行き、純プロレスにも派遣してっていう振り幅の広さがある。だから、バトラーツと高田道場は、プロレス界に凄いことを提示してきたんだよね。

「プロレス」という概念の修復工事の工事主が髙田道場だよね（山口）

豪　なんで過去形なんですか（笑）。

山口　ガハハハ。細かいね、ツッコミが（笑）。でも、田村選手が「プロレス」という言葉でいいって言うんだったら、リングス勢もみんなプロレスラーを名乗ってほしいなぁ。

豪「リングスは世界最強のプロレス団体です」っていうのは、スッキリしますよね。一番、昔の新日らしいことやってんのはリングスですからね。酒の飲みっぷりとか、ヒンズー・スクワット重視の練習とか。日明兄さんの頭の中に残ってる新日幻想をいまに伝えているわけなんでしょうけど。

山口　できることなら、みんなで「せーの」で大きな幹をガーンって作って、そこのトップに猪木さんでも座ってくれれば、これほど面白いことはないんだけど、猪木さんはいま、水素からエネルギー作るのに忙しいみたいだから「そんな小っちぇーことは、どうでもいいんです！」って言いそうだし（笑）。

豪　最近、猪木さんは豆腐のパンを輸入しようとしてるらしいですよ（笑）。

山口　バッグンです（笑）。いま新日幻想って言ったからついでに言うけど、昭和のレスラーや格闘家のイメージとか武勇伝に比べると、桜庭、アレク、田村選手なんかは普通のあんちゃんに見えちゃうじゃない。

チョロ　服装とかも含めて。

山口　でも、例えばサクはどんな厳しい試合の前でも桜庭和志であり続けてくれるし、そういう部分で言えば、昔のプロレスラーと一緒なんだよね。見せ方が違うだけで、常に幻想を抱かせてくれるっていう点では一緒でしょ。だから、昔の見せ方に呪縛されてるのは、マスコミであり、ファンなんだよ。だからファンのほうも意識を変えなきゃダメだよね、面白く見ていくためには。

豪　ただ、やっぱり前田日明ほどの「プロコン」は感じられないんですよね。最近気づいたんですけど、70年代や80年代ってウサン臭いものを当たり前のようにゴールデンタイムでやってましたよね。プロレスがあり、矢追さんのUFO特番があり、川口浩探検隊があって、アイドルにしても作りこまれた松田聖子なんかがトップを張れる時代だったわけじゃないですか。それが、いつの間にかそういうものが排除されて、生身こそが素晴らしいみたいなチンケな時代になっちゃったわけですよね。

山口　生身を見せるのはいいんだけど、生身プラスなにを見せてくれるかだよね。桜庭の凄いところは、生身そのものを〝鎧〟にしちゃったところだから。ただの〝アマチュアの強い人〟と違うところは、そこだよ。だからやっぱり大切なのは「プロコン」だよ！「プロコン」を見せてくれる人を、ウチはこれからも見ていきたいからね。「プロコン」万歳ッ！





ガンツ　ところで、飛び抜けるかと思った『PRIDE』が、内容的にイマイチだったこともあって、また横一線になりましたよね。

豪　船木選手にとってもチャンスだね。

山口　要は、他の団体なりプロモーションが、あれ以上のものを見せ

燃えよ!! プロコン2000
BURNING SPIRITS

ればいいわけだからね。そういえば、UFOがとんでもない仕掛けを考えてるっていう話が入ってきてる。これが実現したら世間を思いきり巻き込むことになると思うよ。

豪 藤原（喜明）組長もとんでもない仕掛けを考えてますよ。新団体設立の噂がありますよね。ザ・シーク、タイガー・ジェット・シン、カール・ゴッチ、ビル・ロビンソン。各国の顧問にそういう名だたる人たちがなるんですよ。そして選手に岡本魂（笑）。

スモー どすこ～い！ スゴイ！

豪 うるさいっつってんだよ、お前！ それはともかく、この間の『PRIDE』のドームでは、「ストップ！ ドント・ムーブ！」で笑いが起きたり、ちょっとでも膠着したら「オカマじゃねえんだぞ」っていう野次が飛ぶのを見ると、「プロレスすぎる」とか叩かれた高田vsアレクもあそこでやればかなり盛り上がったんだろうなって思いましたね。一見さんの多い中で、あのルールはないだろうっていう。

山口 前田日明が「ルールをデザインしていく」ってことを言ってたけど、あれによってKOKルールの面白さが浮上してきたしね。

ガンツ KOKルールっていうのは、偶然生まれたらしいですよ。（前田のマネで）「プロなんだからね、真ん中でやれや、真ん中で！」「ロープ際だけでブレイクするのは不公平だから、動きが止まったらブレイクや」って。

豪 シンプル・イズ・ベストだ（笑）。

山口 「ディス・イズ・ジャパニーズ・スタイル」だね（笑）。そういう権限を持ってる人が『PRIDE』にはいないから、いい意味でも悪い意味でも選手主導のルールになっちゃうよね。選手主導になったら、そりゃあアマチュアチックになっていくよ。やっぱり嫌われてもいいから、動かしてる人は踏み切らないと。

ガンツ 権限ある人がいたほうがいいですよね、K—1の石井（和義）館長みたいに。

豪 「続行ーッ！」とか言える人ね。

ガンツ アブダビが面白いのも、おそらく王子がいるからだと思うんですよ（笑）。

山口 ガハハハ。猪木さん、石井館長、故・大山倍達総帥、前田日明総帥、アブダビ王子のように、なにがあっても「俺がルールだ」っていう人ね（笑）。リングスはエクストリームと組んで6月からアメリカで興行やっていくっていう話もあるし、KOKルールも改善していきながら、面白くなっていくよ。でもそれも、あくまでも前田日明の考えてることの一部って考えたほうが広がりが出るし、面白いよね。

ガンツ なるほど。

スモー さっきの全日の話では、井上義啓さんが最近、「全日はプロ格化すべき」って言ってるでごわすね。

山口 それは、もっと大きな概念として「新プロレス」を考えろってことだと思うんだよね。なにも、シュート方面にシフトしていけってことじゃない。なんにでも対応できるっていうのを見せとけば、従来のプロレスだって上がるんだしね。「プロレスを守る」っていうのが、格闘技方面に出ていかないことだけっていうんじゃ、もう守りきれないでしょ。出て行ける人は出て行って、守る人は守ればいいんだよ。

豪 〝守る組〟と〝出て行く組〟に、ちゃんと役割分担すればいいと。

山口 それでお互いリスペクトしながら、「新プロレス」を形成していければいいんだよね。「いまこそッ！ 格闘ロマンを突き進めッ！」byアントニオ猪木ですよ。

スモー どすこ～い！ ワシも相撲ロマンを突き進むでごわす。

山口 ノブ、お前はアマゾンでもどこでも行ってこい！

【2月7日、本誌編集部にて収録／文中一部敬称略】





目に見えない形でリンクし始めている各プロモーションだが、スケールの大きなマット界の幹を、この中の誰がつくり出していってくれるのか。いずれにしても、選手だけではなく、各団体の首脳陣の動向にも注目が集まる2000年である。マット界、続行ーッ！

PRIDE.GP PETIT REVIEW

○マーク・ケアー
（判定2―0）
●エンセン井上



流れ流れてきた因縁の一戦は、セミファイナルの位置にラインナップ。テーマ曲を1曲まるごと聞かせた上でリングインしたエンセンの後頭部は「死」という字に刈り込まれていたが



ゴングと同時に突っ込んでいったエンセンだったが、それを見透かしていたようにケアーは、綺麗なタックルを決める。この後、ケアーが上、エンセンが下になっての攻防が続く



ケアーはコツコツと上からパンチを当てていき、エンセンは下からカカト攻撃と、VTのセオリーにのっとった試合展開。お互いの幻想に飲まれたためか、地味な攻防が続いていく



時間がない中で、猪木―アリ状態に。誰もが、クートゥア一戦のときのように、エンセンが立ち上がり突っ込んでいくかと思ったが、エンセンはなぜか自ら立たなかった。大和魂、不発！



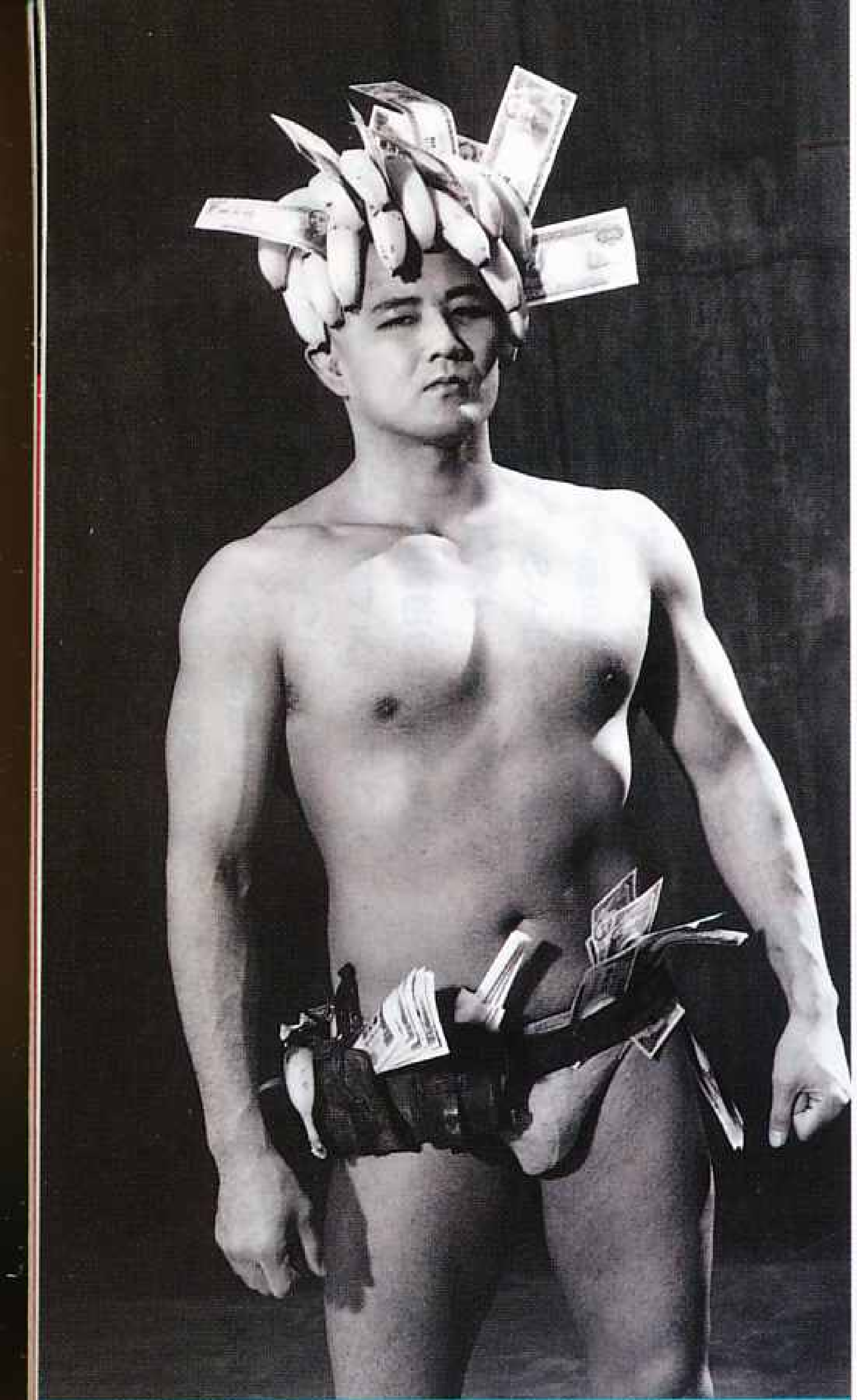
アレクサンダー大塚

INTERVIEW

〝プロレスラー魂〟を支える〝ペダルの論理〟を本邦初公開!!

撮影／荒木経惟(P12、13)
photographs by Ararkey

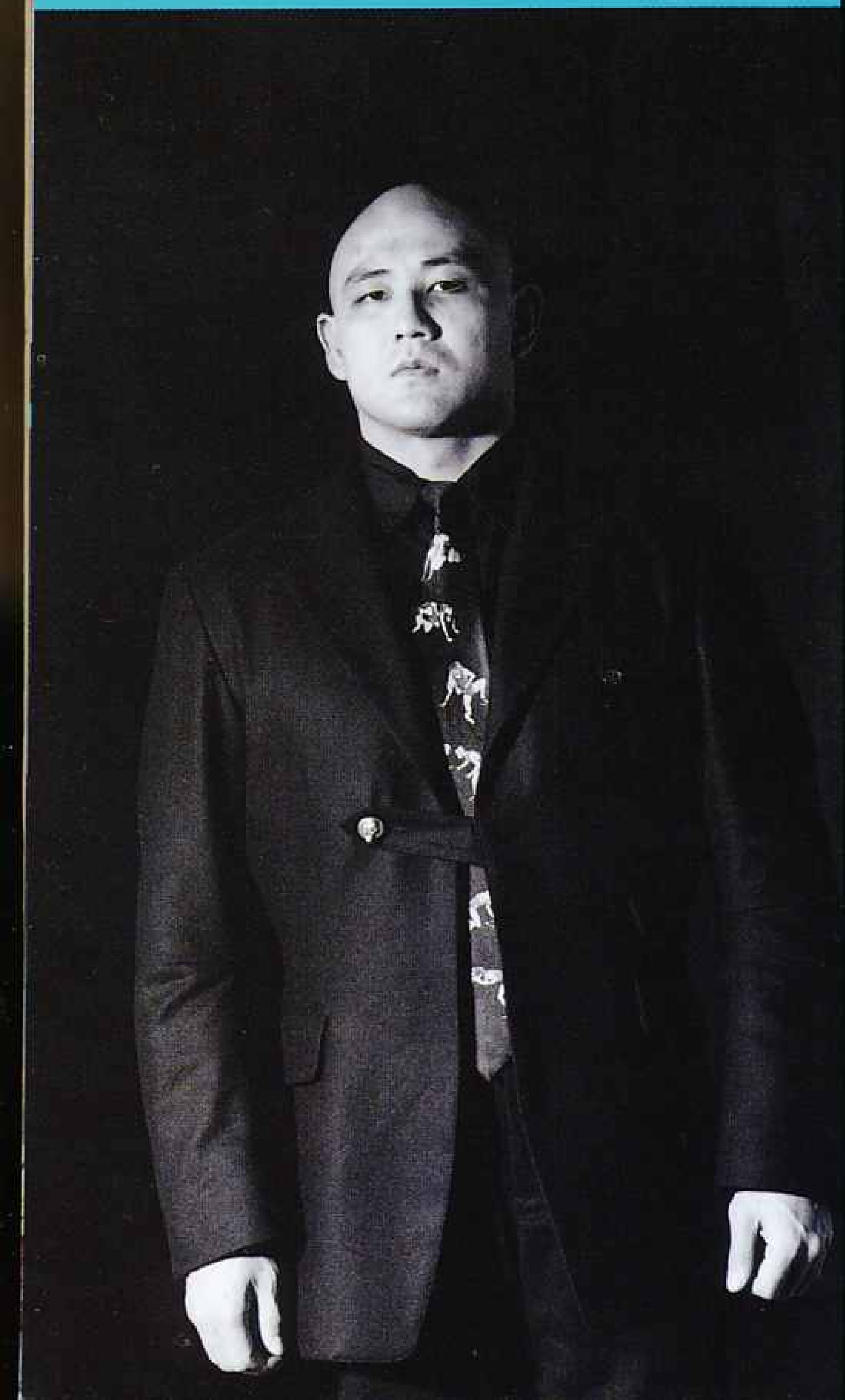
あの天才・アラーキーがボブチャンチン戦から3日後にアレクを密写!!



1・30『PRIDE・GP』。〝霊長類ヒト科最強の男〟マーク・ケアーを破ったイゴール・ボブチャンチン相手に、敗れはしたものの、「プロコン」を叩きつける闘いをやってのけた男！「あっぱれ！」という死語が世界一似合う男！ そんな男のインタビュー&1・30（前夜も含む）ミニドキュメント&天才アラーキーの劇写！ 超豪華アレックス3本立てがいま始まること、この上なし！

底知れぬ等身大2000

1・30密着ミニ・ドキュメント





♪明日さぇ～知れェぬ～
俺に恐れるものな～どないィ
さぁてェ……そろそろォ

密着
アレクの一番長い日
～1・30&前夜ミニ・ドキュメント～

試合前夜撮影／のものも（アレク夫人）
photographs by Nomonomo
試合当日密着撮影／遠藤政文
photographs by Masafumi Endo
アレクvsボブチャンチン戦撮影／平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

いっこく堂チックな腹話術記者会見、熱海でのサスケ社長とのTバック特訓と、決戦前から常に話題を振りまいてきたアレクが、1・30――昼はプロレス、夜はバーリ・トゥードという、宇宙初の驚異のダブル・ヘッダーに本当に挑んでしまった。

『PRIDE・GP』のイゴール・ボブチャンチン戦。ドームを揺るがす白熱の攻防の末、判定で敗れたものの、膠着状態の多かった当日の試合の中では、バッグンの〝プロレスラー魂〟をリング上から立ち昇らせたこと、この上なし！

その〝プロレスラー魂〟の源を探ろうと、ボブチャンチン戦から2日後、まだ顔面ボコボコ状態のアレクに会いに越谷駅前のバト新事務所&ジムを訪ねたのだった。インタビュー中にも、激励の言葉をかけにアレクを訪ねて来る者は多く（1・30にアレクとタッグを組んだカール・マレンコ、FMWの金村キンタローら）、アレク周辺は実に賑やかだったのである。んむはぁ。

（聞き手／山口日昇）

――いや、ボブチャンチン戦でのアレクを見て、ズバリ言って〝バッカじゃないか〟と思いましたね（笑）。

アレク　んむはぁ。どの辺がですか？

――〝ムチャクチャなことするな、この人〟っていうか、打撃戦を得意としないのに、ボブチャンチン相手に殴りかかっていきましたからね（笑）。

アレク　いや、ボクも殴りにいくとは思ってなかったんですよ。

――ガハハハ。自分でも思ってない（笑）。

アレク　ただリードパンチで自分の距離を掴むためだけのフェイントパンチというか、そのぐらいのもんしか考えてなかったんですけど、こっちの打撃も届きましたよ。1発2発は当たって向こうもグラついてましたから。



――いや、だから笑っちゃうんですよ。笑っちゃうぐらい凄いっていう意味ですけどね。

アレク　んむはぁ（微笑）。やるつもりはなかったんだけど、少ない練習量のなかで、タックルにいくように見せかけて、そこから踏み込んでの右のロングフックは、頭のなかで「いけるかなぁ」って思ってた部分はあったんですよ。でも、それは当たらなかったんですけどね。

――普段打撃の練習はしてるの？

アレク　いやぁ、しないですねぇ。

――ですよね（笑）。桜庭選手も打撃の練習はしてないって言ってるけど、やっぱりイザという時の対応力が肝心なんですね。

アレク　そうは言っても、やっぱり、かなりボブチャンチンのパンチは当たってましたから。

――その顔を見ればわかります（笑）。

アレク　たまに避けれたのもありましたけどね。

――だから、根性というひと言で済ますのはありきたりすぎるけど、ホントに凄い根性ですよ。俺、昼間のバトの試合から見てますから、余計そう思いますよね。

アレク　ありがとうございます。でも、久々でしたよねえ、ウチの試合見に来るの？

――それ言われちゃうと、どうも（笑）。

アレク　でも最近来てなかった会長（聞き手の山口日昇のアダ名）の足を運ばせたっていうのは、ボクにとっては気持ちいいですね。

――しかし今回は、バーリ・トゥードとか『PRIDE』に出るっていう部分での気負いは全然なかったですね。

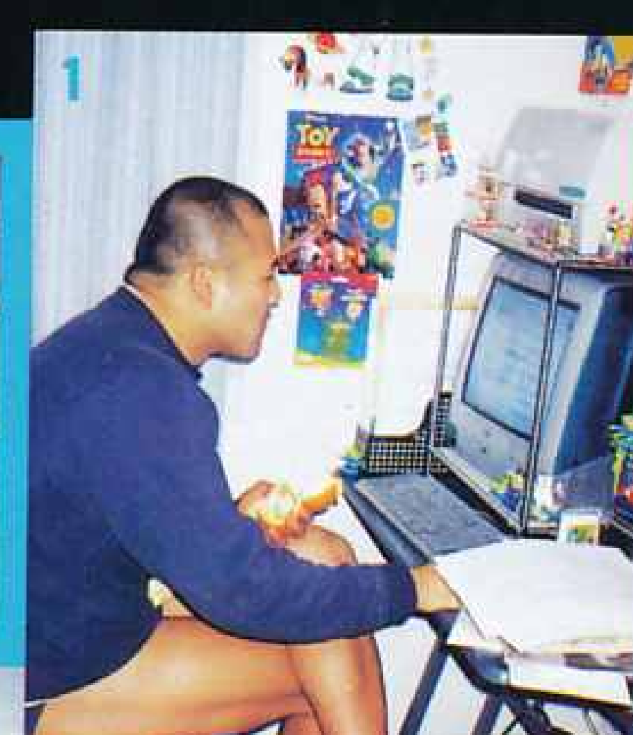
アレク　「今回は」ってことは、前回はそう見えたってことですか？

――いや、今回「も」か。

アレク　は～い、その通りです（微笑）。

――で、なんか、試合の何日か前に、アレクの奥さんであるのものも（元『紙プロ』編集破壊嬢）が、「今回はアレクのインタビューあるの？」ってウチのスモーノブに聞いたらしいんですよ。そうしたらあのバカ、「試合の内容次第でごわす」と答えたらしいですね。その節は大変失礼なことを申し上げました（笑）。

決戦前夜











❶『PRIDE・GP』決戦前夜、インターネットでバトの掲示板に目を通す。ファンの声は、目と耳を通じてアレクの脳味噌にインプットされているのである。　❷アレクの方から、ご夫人であるのものもを誘って『桃太郎電鉄V』を決戦当日の深夜2：30までやり倒す。キングボンビーよりも恐ろしい「ハルマゲドン」とも闘ったわけだ。それにしても、早く寝てくれ、アレク！　❸話は前後するが、夕食の後には、愛娘の愛（いと）ちゃん（もうすぐ2歳）の前でオコノミマンのマスクを被り、泣かれる。　❹そんでもって愛ちゃんをお風呂に入れる。愛ちゃん、ごきげん。❺そしてその足でサスケ社長と共に熱海に出向きTバック特訓。サスケ社長はボブチャンチンがキックボクシング出身とは知らず、打撃で勝負させるつもりだったらしい。すんまそん。この写真は1月20日のお話でした。

アレク　いやいや、スモーノブのお眼鏡にかなったようで光栄です（笑）。

ーでも、このインタビューはスモーノブのお眼鏡とは1ミリたりとも関係ねえですから（笑）。でも、食うしか能のないあの男が試合を見て素直に感動してましたね。「アレクは凄いでごわす」って。

アレク　んむはぁ（微笑）。

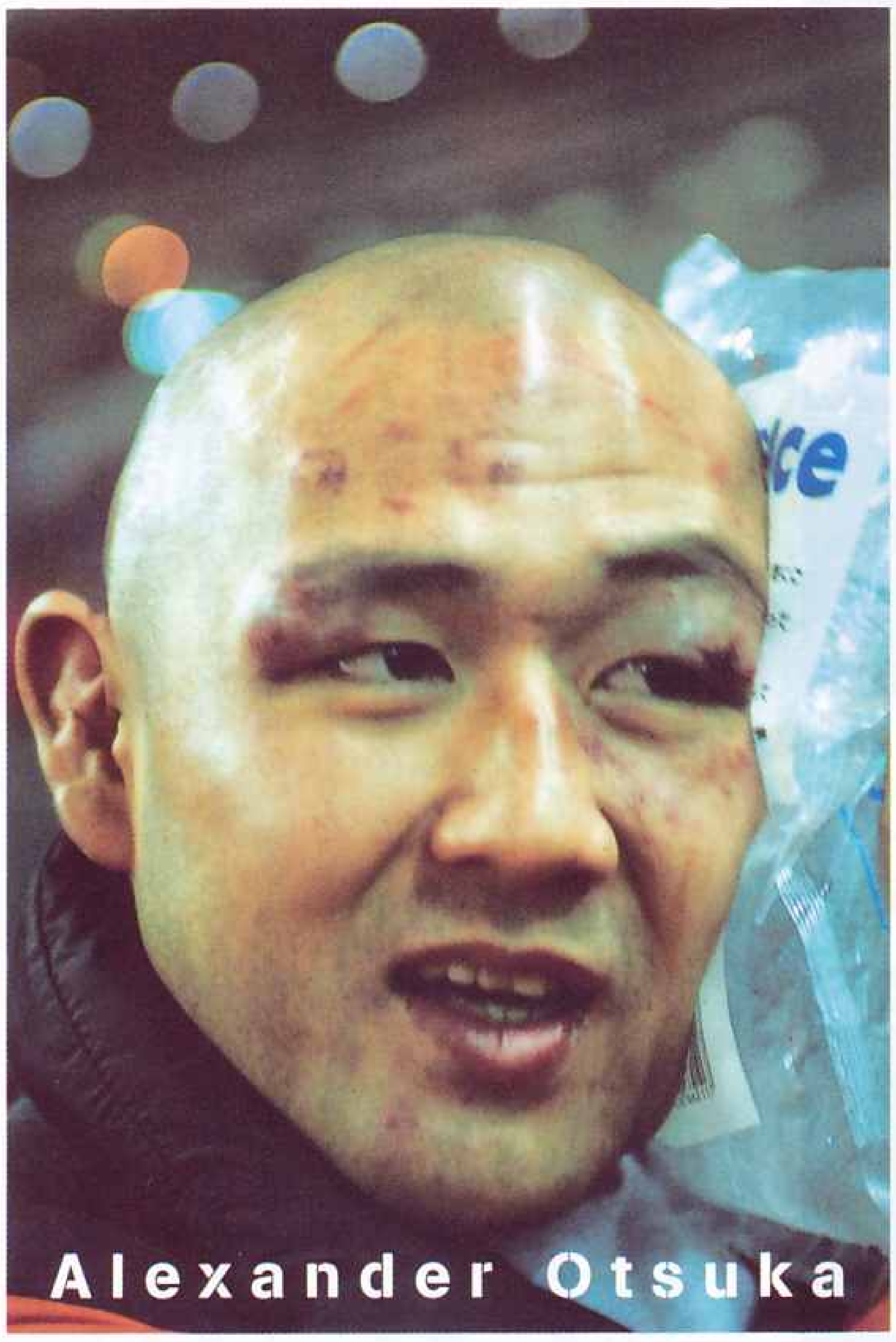
ー試合前に「ボブチャンチン戦はおいしい」って言ってたけど、それは本心？

アレク　当たり前ですよ～。自分の中で「おいしいぞ」っていうのを確認して、対戦カードを要求しましたから。そうしたら、あれだけ揃ったメンバーのなかで、うしろから三つ目、セミ前という位置にラインナップしてくれて。それだけプロモーター側が、選手としてもカードとしても評価してくれたってことだろうから、感謝してますね。

ーでも、ボブチャンチン相手ということでビビるっていうことはなかったの？

アレク　いや～、ハッキリ言って一番やりたくない相手ですよ。前にも（ゲーリー・）グッドリッジが上昇してるときに「あの人とだけはやりたくない」って言ったじゃないですか。顔も怖いし。

ーでもボブチャンチンは顔は優しいですよ（笑）。



Alexander Otsuka

聞いたところによると、等身大のボブチャンチン。またこれが、深いんですよ

アレク　そこだけじゃないですか、違いは（笑）。だ～って、パンチ1発で試合が終わった『PRIDE．8』の試合（11・21／ボブチャンチンvsフランシスコ・ブエノ）のビデオを見たら、「は～……」って思いましたよ。

ーあのKOされたときのブエノの顔っていったらないもんなぁ。あのシーンは実に怖いですよね。

アレク　こうなってましたよね（KOされる瞬間のブエノの顔マネをする）。

ーウチのスモーノブは、いつ何時でもブエノ状態ですけどね（笑）。

アレク　アハハハハ。

ーあのKOシーンを見て、ボブチャンチンの幻想は膨らまなかった？

アレク　そういうのはないですね。等身大のボクは、相手も等身大で見えますから。

ーなるほど！

アレク　でも、聞いたところによると等身大のボブチャンチン。またこれが、深いんですよ。ボブチャンチンの職業知ってます？

ーたしか貿易会社に勤めてるんですよね。

アレク　普通に仕事して、日本でいうアフター5でトレーニングしてっていう感じらしいですよね。あ、もしかしたら日本には有給休暇を使って来てるのかもしれないですねぇ？

ーガハハハハ！　有給休暇を取って「世界最強決定トーナメント」に出る。それは深い（笑）。背丈は等身大でも、目に見えない奥深さがありそうですよね。

アレク　かれこれ3年ぐらい前、ボクに初めてインタビューしてくれた時に、会長がタイトルに付けてくれましたよね。「底知れぬ等身大」って。

ーあ！　あった。でもそれは、アレクがなに考えてるのかわからない、得体が知れないという部分を含んでのことだったんですけどね（笑）。

アレク　んむはぁ（微笑）。

ーその頃は、まだトークも活発じゃな

09:00　07:30　1/30 06:45









❻決戦当日、3時間ほどの睡眠時間で、まずは第一の決戦地、後楽園ホールに出陣すべく家を出る。のものも、写真切れちゃって、すんまそん。愛チャリで出発ダーッ！　❼1度、埼玉県越谷駅前に移転した、とても瀟洒な新バト事務所に立ち寄り、積み荷などをチェック。リングスタッフの山口君の運転でホールへ。❽午前9時にホールへ到着。さっそくリングづくりのために、荷物を降ろす。新弟子時代からやっているリングづくりは、もはや慣れたもんだぜ、やねやのフンドシである（意味不明）。　❾鉄柱やら板やらマットやらは想像するよりも重い。このシンドイ作業をウォーミング・アップがわりにやられたら、もはや笑うしかない。

かったし、無口でシャイな大塚崇が前面にいましたからね。

アレク　インタビュアーとしてはなかなか引き出せないっていうところがあったんですか？

――いや、自分のスキンヘッドをペチペチ叩きながら、一休さんみたいに考えこんでるんだけど、“ここは考えるとこじゃないだろう”という場面がいっぱいあって困った。間のあき方がただごとじゃなかったから（笑）。

アレク　しかもテレコを勝手に止めるし（笑）。

――そう！　いきなりテレコをガシャッと止めてくれたよね！（笑）。

アレク　しかも全然謝らないし。あの時はすいませんでした（笑）。

――いえいえ。だからあの時は、とてつもなく頭のいい人か、もしくは、とてつもないバカなのか、その堺目が見えない部分はありましたね（笑）。

アレク　んむはぁ（微笑）。

――でも、格闘技やプロレスの試合には、少なからずイメージvsイメージの闘いっていう部分がありますよね。

アレク　それはありますね。ボクは常に言ってるんですけど、ある程度のレベルにいったら、そんなに差はないと思うんですよ。ホントに少しのタイミングだとか、いま言ったみたいな相手のイメージに押しつぶされるかどうかっていう部分、心理的なものが大きいと思うんです。やっぱり大事なのは「心」ですよ！

――心っていえば、アレクって自分勝手な人ですよね？

アレク（即座に）はい！

――ズコッ！　いま即答しましたね（笑）。

アレク　ええ。そこは悩まずに答えられますね。んむはぁ。

――いままでの発言を思い出してみると、アレクの場合、まず「自分」が中心にいる。でも、ドームへの道のりを見てると、単なる自分勝手じゃないなっていうのを、あらためて認識させられましたね。

アレク　あ、ボクもそれに気が付いたのは最近ですね。この間のヘンゾ（・グレイシー）戦あたりかな？　その前後からマット界のことを先に考えて動いてたなって自分でも思うんですよ。

――ボブチャンチン戦を見て、自分のためだけなら、あそこまでやんねえだろうと思ったんですよね。

アレク　必要性ないですもんねぇ。

――ガハハハ。自分でもそう思う（笑）。

アレク　いま思ったのは、いままで「まず自分のためにやって、その先にバトラーツとかプロレス界のために」っていう気持ちでやってましたけど、逆に言えば、プロレス界のためになったら、それがバトラーツのためになって、それはまた自分のためになるわけで、結局は同じなんですよね。

――循環してる（笑）。つまり、自分のためっていうのと、業界とかファンのためっていうのはイコールということですよね。

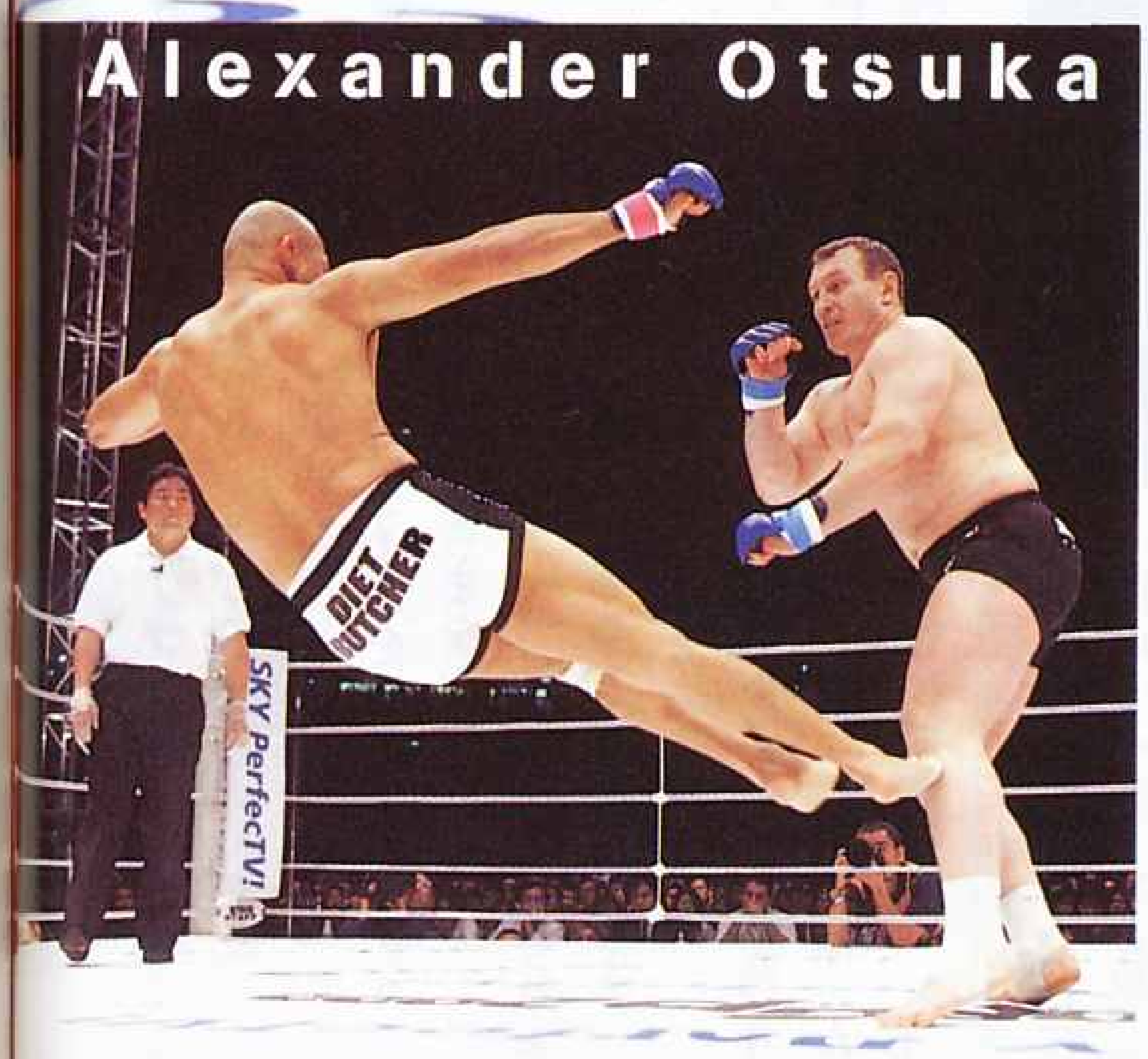
アレク　そうですね。

――ところで、ドームでは、負けて光ったという部分ではアレクが一番だと思うんだけど、試合内容的な満足度はどうなんですか。

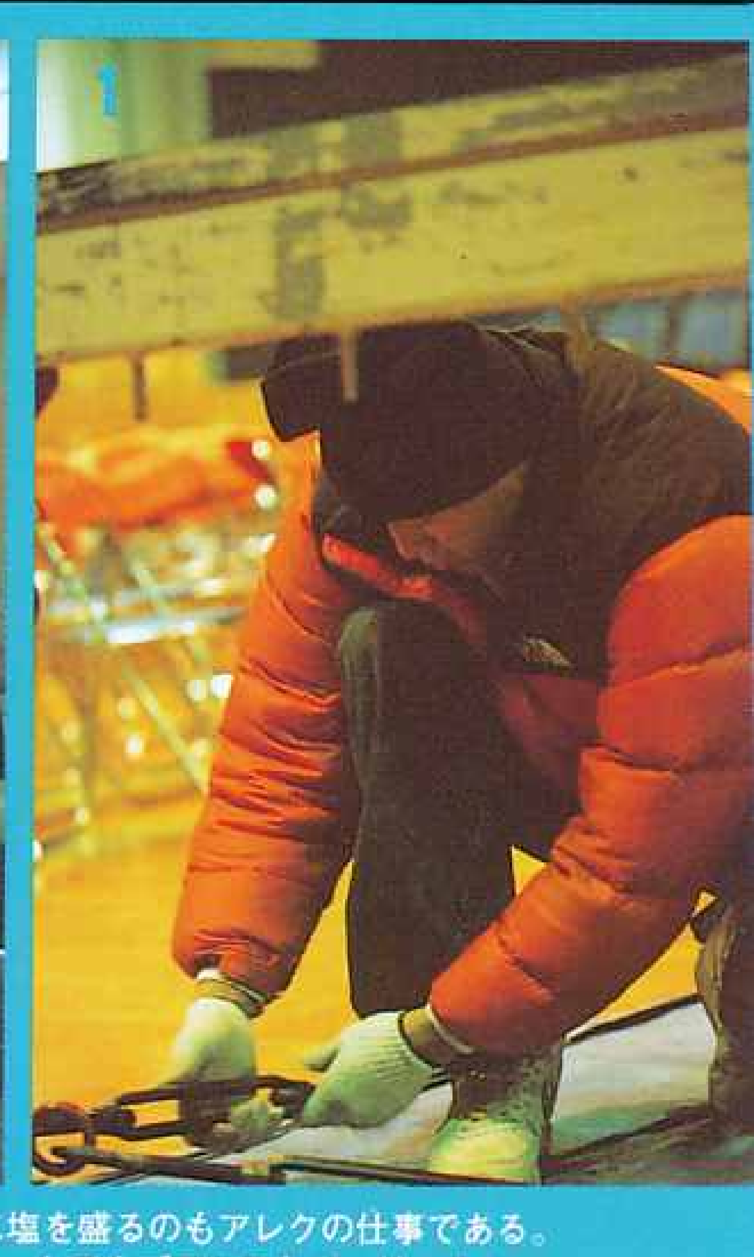
アレク　自分では中盤はもの足りなかったんですけどね。

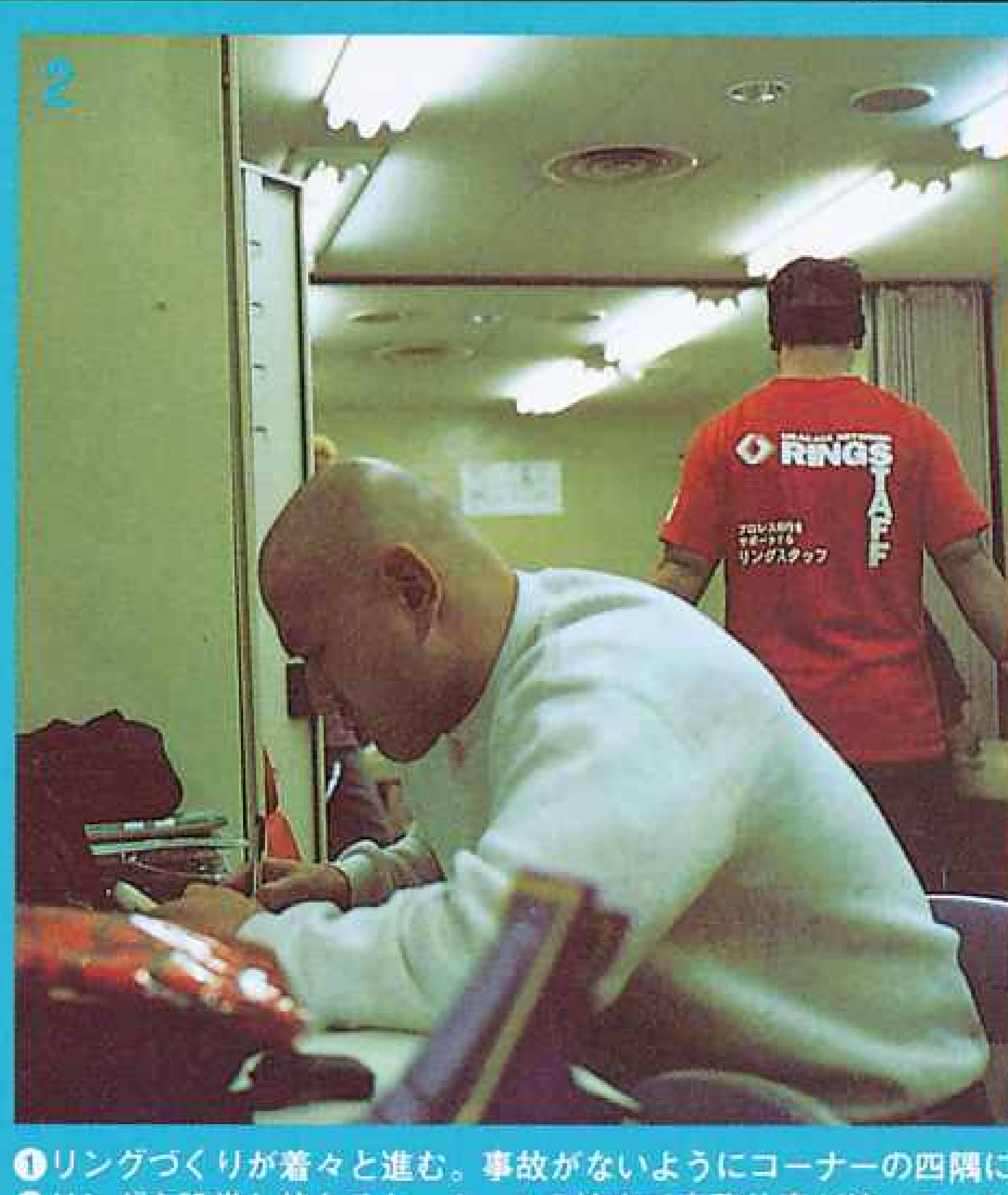
――もの足りないときますか（笑）。まあ、





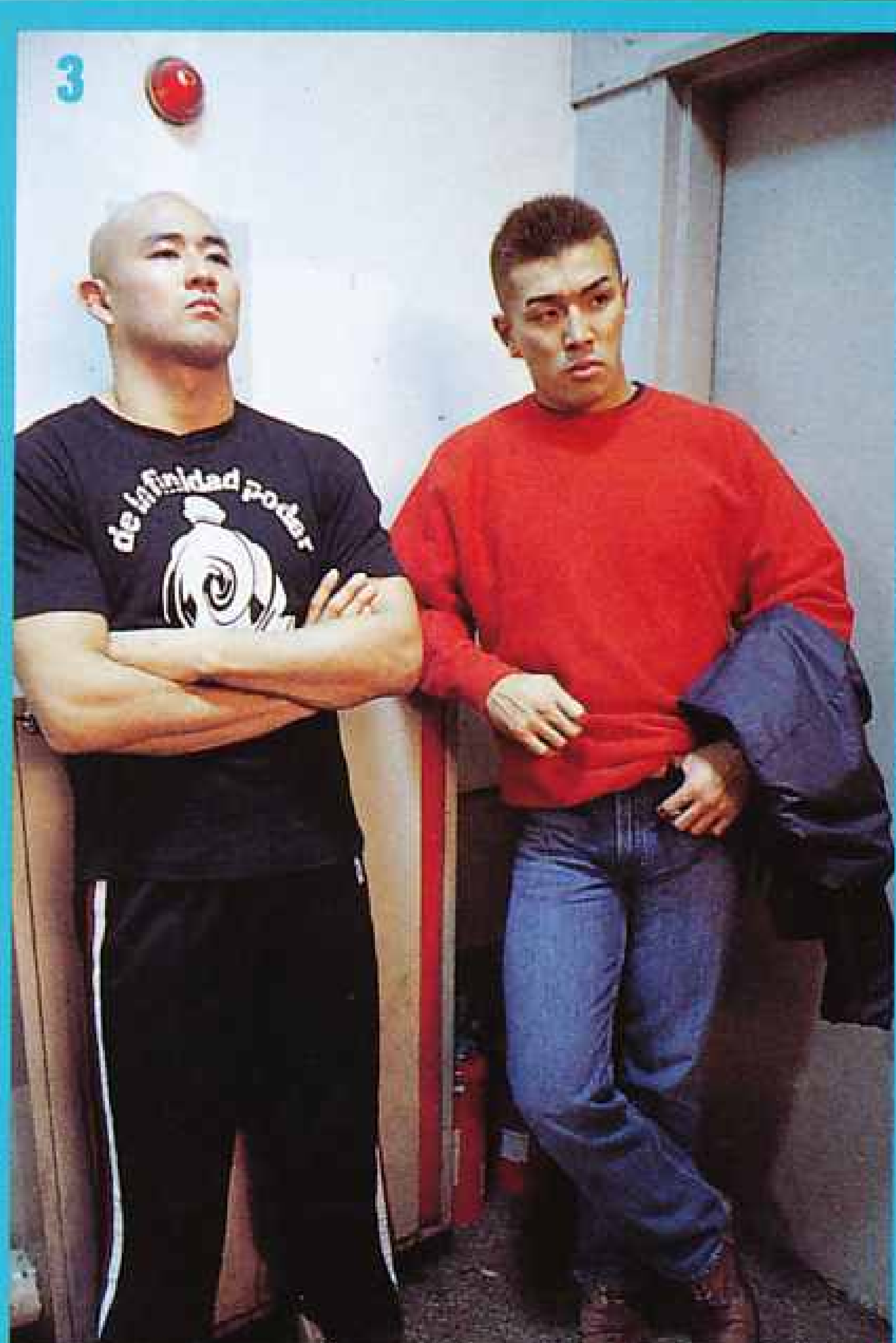
11:00

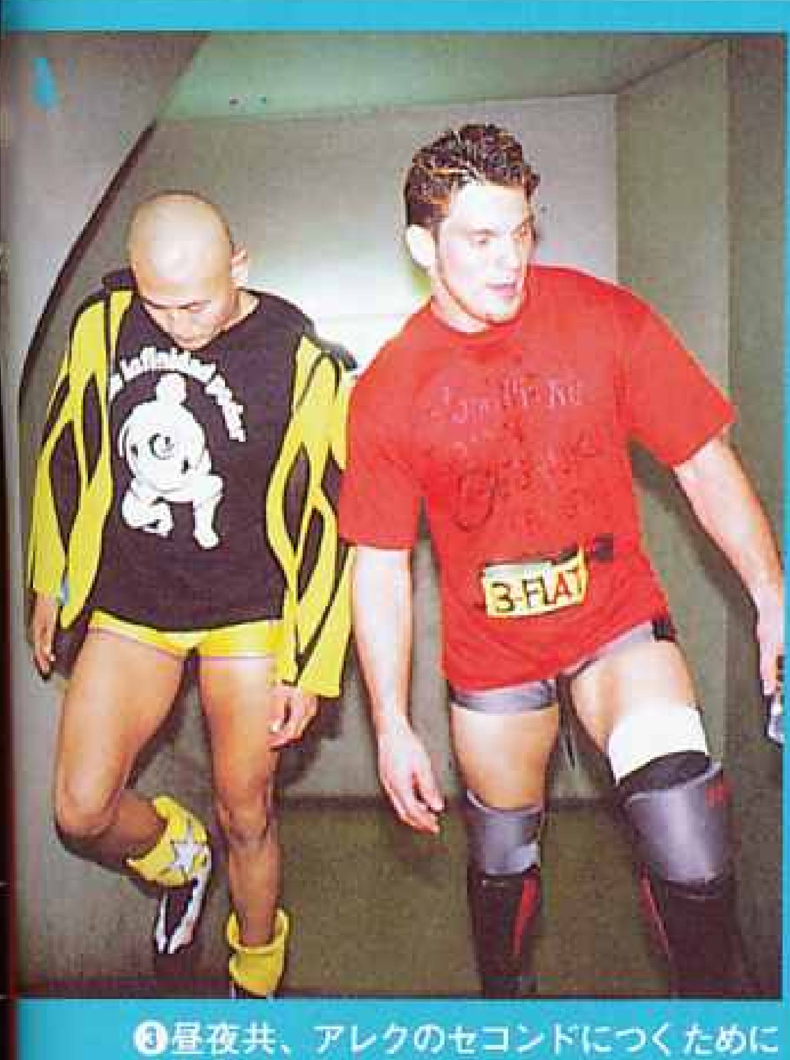




❶リングづくりが着々と進む。事故がないようにコーナーの四隅に塩を盛るのもアレクの仕事である。
❷リングを設営し終わると、ホールの控室で事務仕事が待っている。とてもプロレスとバーリ・トゥードのダブル・ヘッダーを行う日だとは思えないところが逆に怖い。この後、自分の出番まで少し時間ができたのだった

13:30





❸昼夜共、アレクのセコンドにつくために飛来した人間ＵＦＯ・村上一成と一緒にバトの試合を食い入るように見つめる。この時、アレクの頭のなかには何が渦巻いていたのか？　んむはぁ。❹カールと「チーム・プライド」を結成したアレクは、石川雄規＆モハメド・ヨネ組と激突。『PRIDE』と同じくセミ前だ。

ヘンゾ戦の前後から、自分よりも
マット界のことを先に考えて動いてた

一部の専門家とかからは、バーリ・トゥードの技術が伴ってないとかの意見は、また出てくると思いますけどね。

アレク　そうやって言う人には、あのボブチャンチンのガブリの圧迫感を自分で喰らってみなさいと言いたくなりますね。

——ヘンゾに4度決めたタックルを、「北の最終兵器」と言われてるキックボクサーが切れる。しかもガブる。あれには驚きましたね。

アレク　試合が終わったあとに、彼の控え室に行ったら、マネジャーが「イゴールはタックルを切る練習だけをしていた」って言ってたから、かなりやってたんじゃないですかね。

——アフター5に（笑）。

アレク　それを聞いたあとに試合を振り返ると、ボクも含めて見てた人も、ボブチャンチンを中心にしてボクが周りをグルグル回る展開をイメージしてたと思うんですよ。パンチのプレッシャーが来たら、自分でも「下がっちゃうかなー」って思ってましたから。

——ところが逆にプレッシャーかけてましたからね。

アレク　おもしろいことに、ボブチャンチンがボクに幻想を抱いて下がってるんですよね。昔の昭和のプロレスラーが幻想として抱かせていた「プロレスラーは凄ェ！」という部分を、ボクは等身大の現実のものとして作っていきたいと思ってましたから。4年前ぐらいからそうやって培ってきたものが、幻想となってボブチャンチンには見えたんですよ。

——マルコ・ファス戦やヘンゾ戦を見て、巨大なアレク幻想が広がったんですかね。

アレク　ボクが実際に持っているものより大きく見えてたっていうことはあると思いますよぉ。

——アレクは、たとえバーリ・トゥードでも、絶対プレッシャーに負けないよね。実にビッグ・ハートですよ。

アレク　ボクも最初はプレッシャーに押されなくてホッとしたんですよ～。ただ、1発パンチをもらったときに、これ以上前に出られないかなあっていう気持ちもあったんですよ、正直言って。でも、パンチの圧力で尻餅ついたっていうのはあったけど、パンチが効いて倒れたわけじゃなかったから、まだ大丈夫でした。

——試合中に記憶が飛ぶとかいうことはなかったの？

アレク　まったくないですね。アゴにもらったのもありましたけど、な～んか大丈夫でしたねぇ。ポリポリポリ（じゃがりこを食べる音）。

——そんなボコボコの顔で、しかも、じゃがりこ食いながら言う！（笑）。顔だけ見ると全然大丈夫そうじゃないんだけどね。でも、あの日のアレクの試合にはジワリと熱い〝プロレスラー魂〟を感じましたね。

アレク　まあ興行的なもので言えば、ボクはあのなかで自分が一番目立ちたい、自分が一番光りたいって思ってたんで、そういうものと繋がってはいると思うんですよ。まあ、それは誰しもが思ってることでしょうけど。

——目立ちたいって言えば、花道を満面の笑みで歩いてましたよね。バーリ・トゥードの試合で、心底嬉しそうに、にこやかに入ってくる人いませんよ！（笑）。

アレク　だってあんなに気持ちいいことってないですよ～。例えば野球なら、守りの人が9人プラス、バッターが1人。それで審判もいてベンチの選手も見えますよね。あのグランドのなかに、たくさんの人間がいるじゃないですか。それでもですよ！　もし塁審が鼻クソほじってたりしたら、パッとそっちに目がいっちゃうじゃないですか。

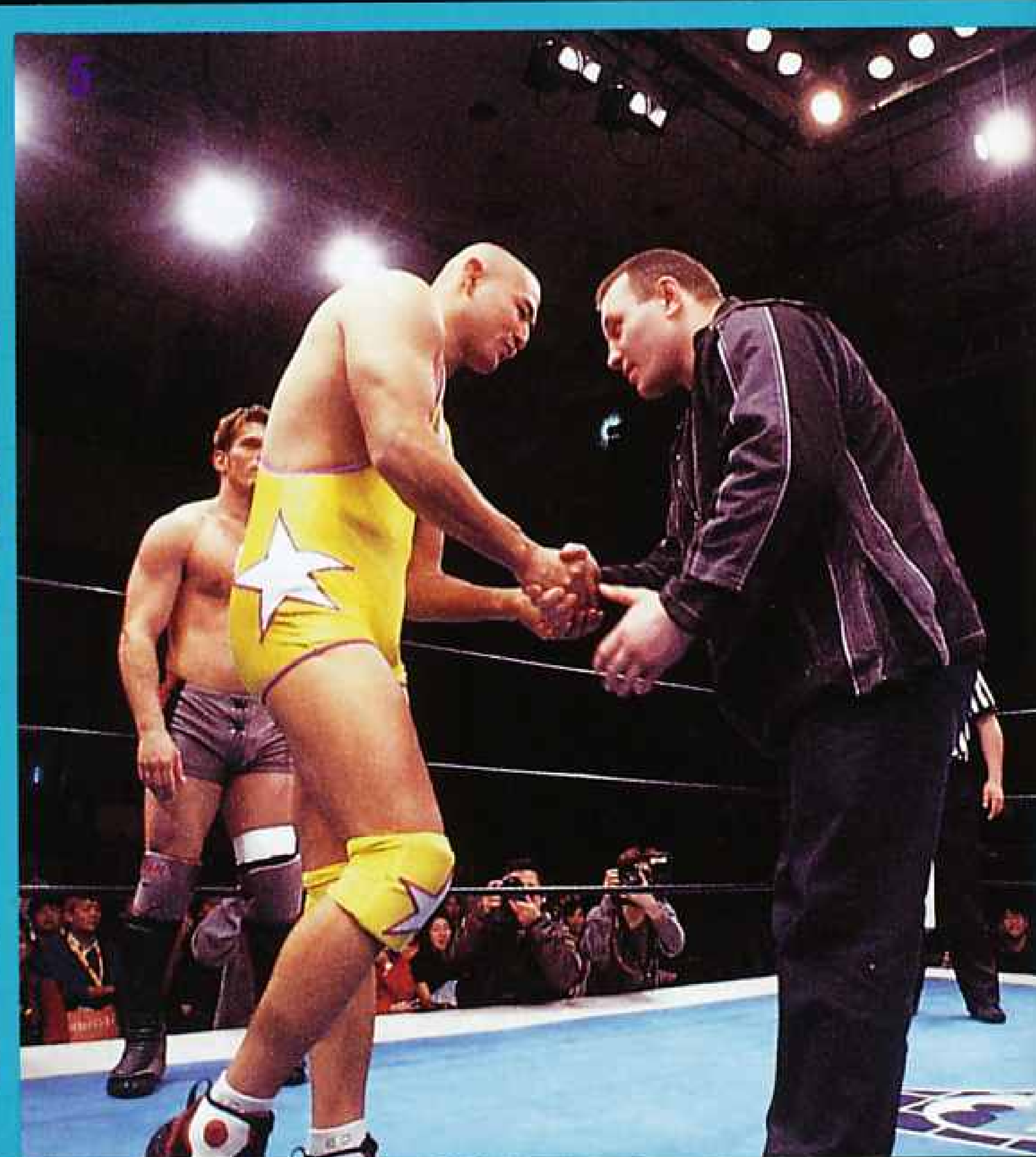
——ガハハハハ。鼻クソほじる塁審！　それは「ぷぷぷ」となりますね。

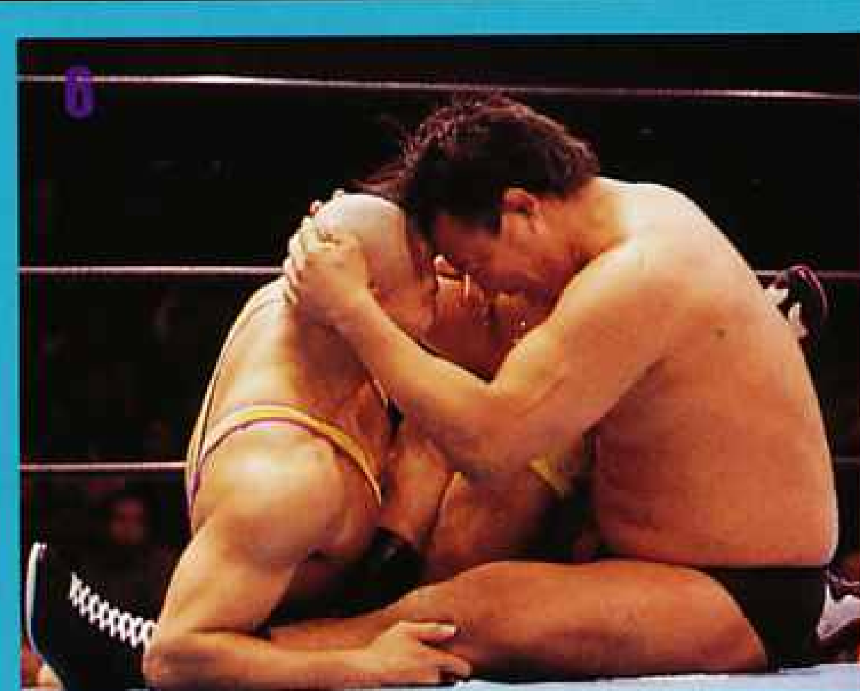
アレク　そういうふうに、他に目が向く可能性が出てくる。で～も、ドームのああいうイベントの場合は、場内が真っ暗になってスポットライトが当たる。その時点でそこに目が集まるわけですよね。肉眼で見えなかったとしても、ビジョンは自分だけを映してくれてるわけだから、自分中心じゃないですか。4万～5万の人間がボクを見てるわけですよ。そんな気持ちいいことってないですよ～。

——目立ちたがり屋気質（笑）。

アレク　それもアレクサンダー大塚の一部ですからね（ポリポリポリ）。

——その快感はやった人にしかわからないでしょうね。でも、一般的に「格闘家」という言葉からイメージされるものは、「俺は客のためにやってるわけじゃない」「俺

5


6


7


8


❺アレクの試合前に、夜の決戦の相手、ボブチャンチンがやってきた！　もちろん、『PRIDE』名物になった通訳おばさんも一緒だ。ボブチャンチンはアレクの試合は観戦せずにホールを後にした。アレクのセコンドには、夜の『PRIDE』同様、サスケ社長＆村上がついた。　❻＆❼＆❽試合は、ヨネとの張り手合戦。石川社長との館内の隅まで音が響きわたる頭突き合戦などを繰り広げるアレク。まさにプロレスラーのプライドが交錯する試合となった。アレクは、場外へのトペ・コンヒーロ、ジャーマン、フランケン・シュタイナーなどを出したが、最後はカールが、石川社長の前方回転式のグランド卍に切って取られてしまった。

は見せるために闘ってるわけじゃない」っていう方向ですよね。それとは対極にある考えのアレクが、試合でいつも何かを残すというところが痛快なんですよね。

アレク　イゴールだって、ボクと似たところもありますからね。彼だって国に帰ったら普通の仕事してるわけで、そういう人が『PRIDE』のリングで闘ってるわけですから。そういう等身大の人間同士でも、プロとしての試合を見せられるのはなぜかっていうところに着目してもらいたいと思うんですよね。

——だから、「プロとは何か？」っていうことですよね。「俺はプロだから」っていう派手な鎧を付けてても、結局、アレクの言う等身大の奥深さがなければ、最後は踏ん張りきれないですよね。試合でいえば、アレクはマウントを最後の最後まで返そうとしてたし、アレクのいろんな部分での踏ん張りとか粘りを見てると、つい〝バッカじゃないか〟〝そこまでやるか〟って思っちゃいますからね（笑）。

アレク　だから結局、〝バカ〟に行き着くんですよ。どれだけ〝バカ〟になれるか。

——愛すべきバカが増えれば、自然とマット界は盛り上がるんですけどね。

アレク　実はボク試合する前から満足してたんですよ。藤田（和之）選手が勝ってかなり盛り上がってたじゃないですか。それを聞いて「クソー！　この声援に負けたくないな」と思ったんですよ。でもそれは、参戦が決まったときからそう思ってましたから。誰にももっていかれたくないって。ハッキリ言っちゃえば、太刀光さんにもっていかれるかもしれないな〜とさえ思ってましたから。

——ガハハハ。タチ関に。タチ関が相撲甚句で入ってきたときは、ドカンときましたからね。

アレク　あれで化粧まわしでも締めて来られた日には、ボク、完璧に負けてましたよね。そういう部分でも負けたくないって思ってて、入場テーマが鳴る前かな？　英語でコールされるときには「ア・レ・ク！ア・レ・ク！」っていうコールが聞こえてきたから、「ウッシャーッ！」って思って。

——東三四郎ばりに（笑）。

アレク　『〝AO〟CONER』が鳴った瞬間にみんな黙って聞いてくれてたし、あとでインターネット見てみたら、一緒に歌ってたとかも書いてあって嬉しかったですね。

——実に細かいとこまでチェックしてますね（笑）。

アレク　んむはぁ。心が細かいもので。あの入場の直前で勝ったというか満足しましたね（ポリポリポリ）。まあ、満足って言ったらヘンですけど。それで、リングに入ってボブチャンチンを見た時は、「絶対にそうはさせねえぞ」って思いましたね。

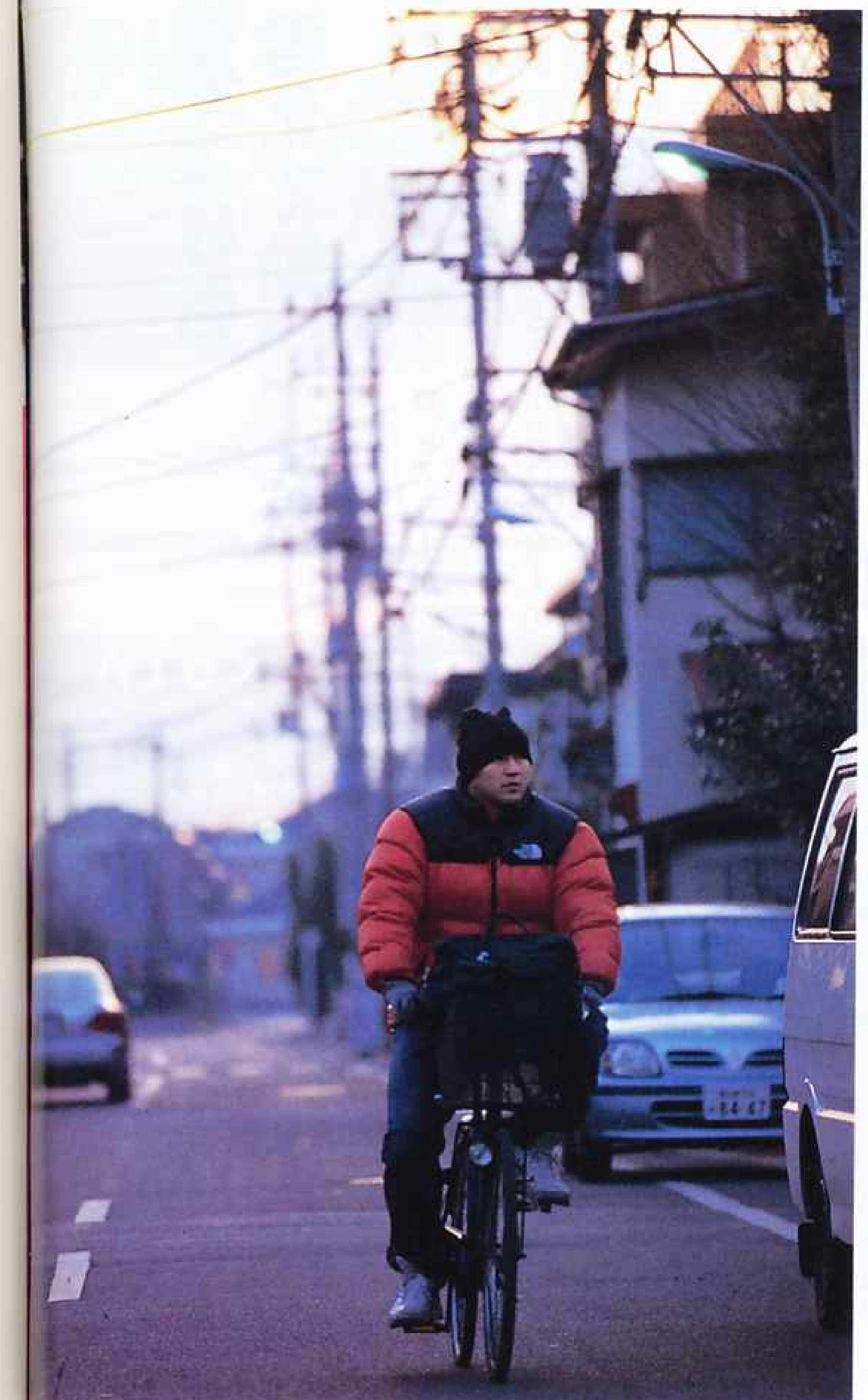
——は？　なにを？

アレク　昼間のバトラーツの後楽園にボブチャンチンが来てくれて、その時にマネジャーさんが、「オオツカサンヲ、ビョウサツ、シマス！」って言ってたじゃないですか。

——ああ、あのいまだに「プライド」っていう言葉さえもちゃんと発音できないおばさん。「通訳に通訳付けたほうがいい」っていうキャラは、もはや『PRIDE』名物ですよね（笑）。

アレク　んむはぁ。だから、それを思い出しましたよね。でも、もともとイゴールのことは尊敬してましたけど、後楽園に来てくれたことで、その気持ちがますます大きくなりましたね。ホントに「プロだなあ」って思いました。

——ボブチャンチンの場合、無意識のうちのプロ意識というか。プロ意識と言えば、サスケ社長のセコンドっていうのもよかったですね！　試合中にサスケ社長の



だから結局、〝バカ〟に行き着くんですよ。どれだけ〝バカ〟になれるか。　んむはぁ

15:15

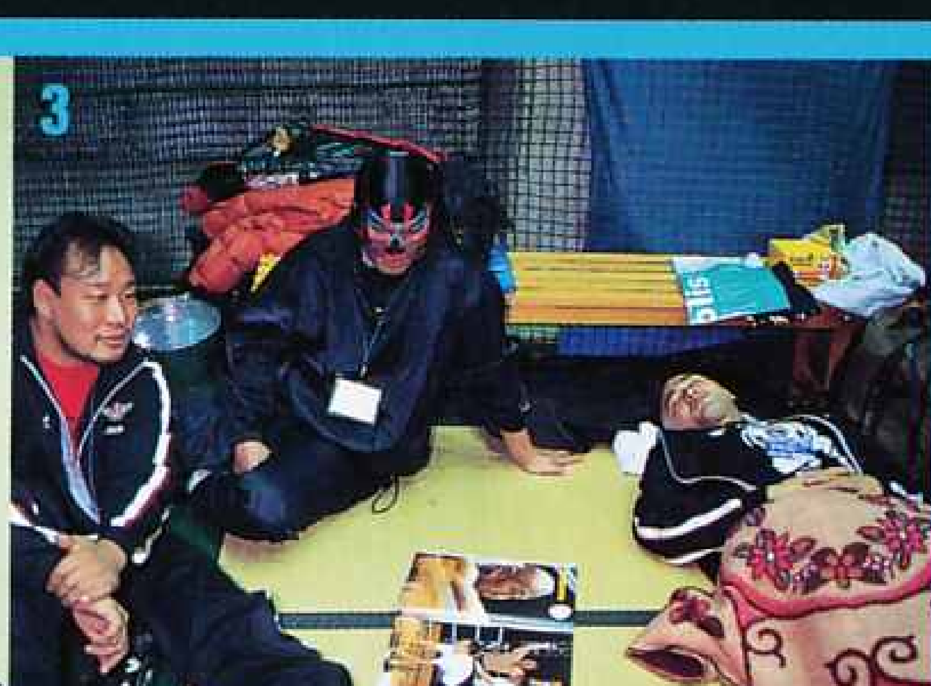


1



2

19:00



3



4

❶ダブルヘッダー第1試合には敗れたものの、バト・ファンの暖かい歓声で送り出されたアレク。「みなさん、この後2試合観て、東京ドームにボクの生き様を見に来てください！」と元気よく挨拶した。「この後2試合観て」と言うところがアレクらしい。んむはぁ。❷池田大輔vs長井満也のメインが終わると、ホールからドームへと移動。❸ボブチャンチン戦までほんの少々の時間が空いたので、佐竹、TKらと談笑した後、ようやく休息を取る。1時間ほど昼寝。傍らでは、サスケ&石川のイカレ社長コンビがアレクを見守っていた（たぶん）。❹目を覚ましたアレクは、サスケ社長と軽いシャドー。第2の決戦が近づく！

アドバイスは聞こえた?

アレク　聞こえました。ボクがグラウンドでボコボコに殴られてるときに、「アレク、大丈夫よ〜大丈夫ぅ〜。全〜然効いてないからね〜」って(笑)。

――ガハハハハ!　なんだかサスケ社長に言われるとそんな気がしてくるなあ(笑)。社長の「ゴリさん大丈夫。ゴリさんなら勝てるよ」「ゴリさん、グリグリしろ」っていう名セコンドに匹敵するね。技術的なアドバイスは一切ない。ハート面のアドバイスのみ(笑)。でも、サスケ社長のセコンド姿は、なぜか映像ではカット気味でしたね(笑)。

アレク　だ〜って、テレビの『SRS』では熱海特訓もあんまり映ってなかったでしたからねぇ。なんでなんですかねぇ。おもしろいのにぃ(ポリポリポリ)。

――まだ“プロレス”に対してはそういうイメージがあるんでしょうね、格闘技側の。これは宿命ですよ(笑)。

アレク　でも映像として出すんであれば、みんなが楽しめるようなものを出すのが、「プロ」ってものだと思いますけどね。んむはぁ。

――実に同感ですね!

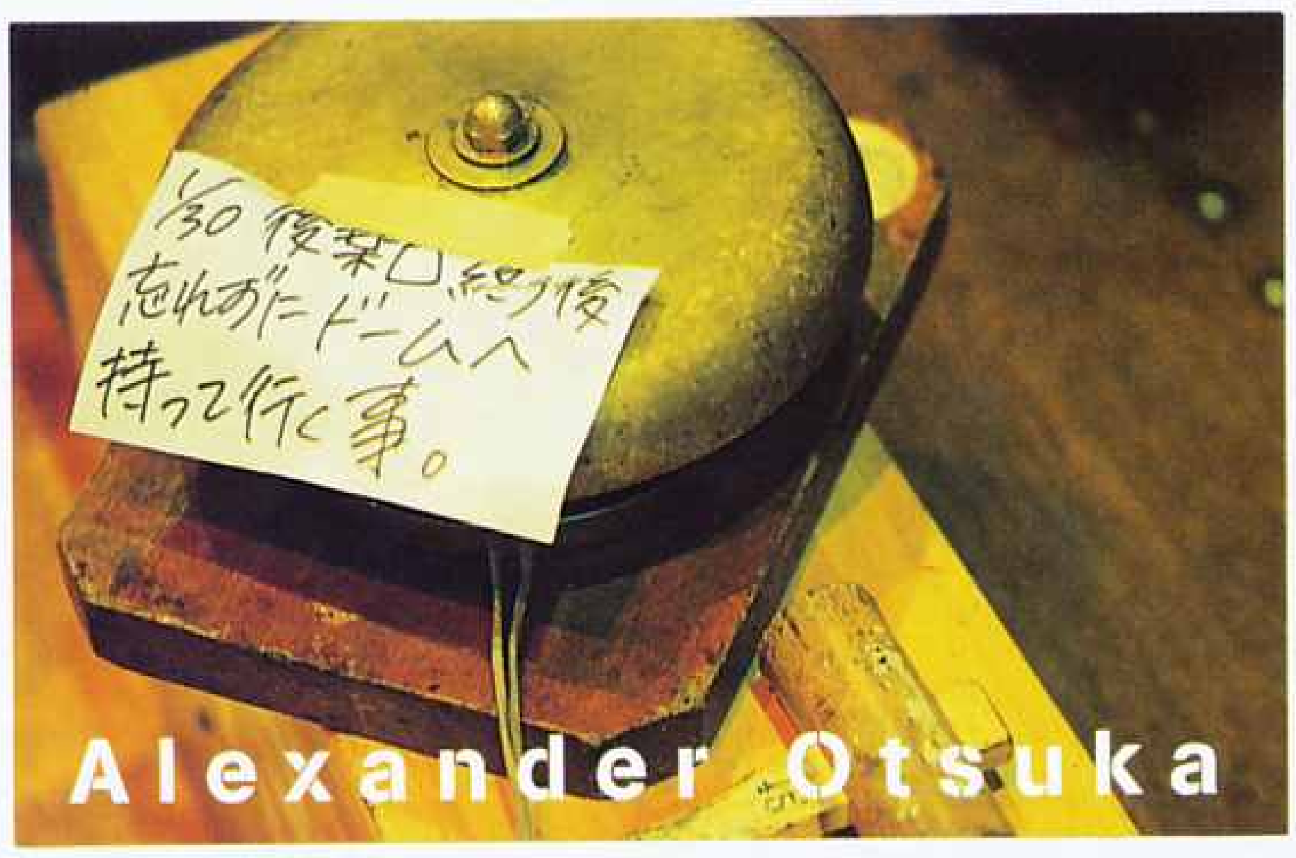
アレク　だからプロ意識を育てていかないとダメですよね、格闘技側は。

――だから、そういう壁もいろいろ取っぱらってくれるんですよ、アレク選手や桜庭選手は。話は変わるけど、ボブチャンチン戦の闘いを見てて、本気で怒ったらアレクは人を殺せるんじゃないかって思いましたね(笑)。

アレク　ボクですかぁ?　殺せますよ〜(ポリポリポリ)。

――ガハハハハ!　じゃがりこ食いながらいいますか!

アレク　それで思い出しましたよ。初めてのインタビューの時に、会長がそういう質問をボクにしたんですよ。たしか「対戦中に殺したい選手っていますか?」って聞かれたんですよ。



――ガハハハ。俺は一体なにを聞いてるんだ(笑)。

アレク　ボクは、ひとりだけいますって答えたんですよ。んむはぁ。

――あー、なんかおぼろげながらに思い出しましたね。でも、いまの話で思ったけど、圧倒的に人を好きになることができる反面、圧倒的に人を憎むパワーも持ってる人ですよね。

アレク　そうですね。

――だから、相反するものを自分のなかに持ってるんですよ。自分のためと周りのため。人を憎む気持ちと好きになる気持ち。それと、プロ根性とアマチュアリズム。常に相反するものが同居してますよね。

アレク　あ、そういえばこの間、“ペダルの論理”っていうのを、自転車に乗ってて思いついたんですよ。

――なんか東京プリンみたいですね(笑)。

アレク　んむはぁ。ペダルにも右のペダルと左のペダルがありますけど、右も左も漕がないと前へ進まないですよね。片っぽだけ漕いでも進まない。だから、試合でいえば『PRIDE』みたいな闘いも、WWFやミックスド・マッチみたいな闘いも、両方漕いでいかないと、大きな目標地点にはなかなか辿りつけないと思うんですよ。

――なるほど　お見事です!　だから、アレクは闘いを通じて、相反するものは実は繋がってるものなんだっていうことを証明したいんじゃないですかね。

アレク　ああ〜、それはそうかもしれませんねえ。

――というわけで、『PRIDE』のリングには今後も上がるんですか?

アレク　まあ、お話があればって感じですね。でも、ボクのなかでは、WWFとかWCWみたいな海外の大きい舞台を体験して、もっと大きくなりたいっていう夢を持ってるんですよね。だから、どっちでもいいっていうのが正直な気持ちですね。

――でも、高田戦を終えてバックステージに引き揚げてきたばっかりのホイス(・グレイシー)が、わざわざ「オーツカ、オーツカ」って呼び止めて握手を求めてきてましたよね。

アレク　来日した時点で、ボクとボブチャンチンの試合はどっちが勝つかって聞

20:30







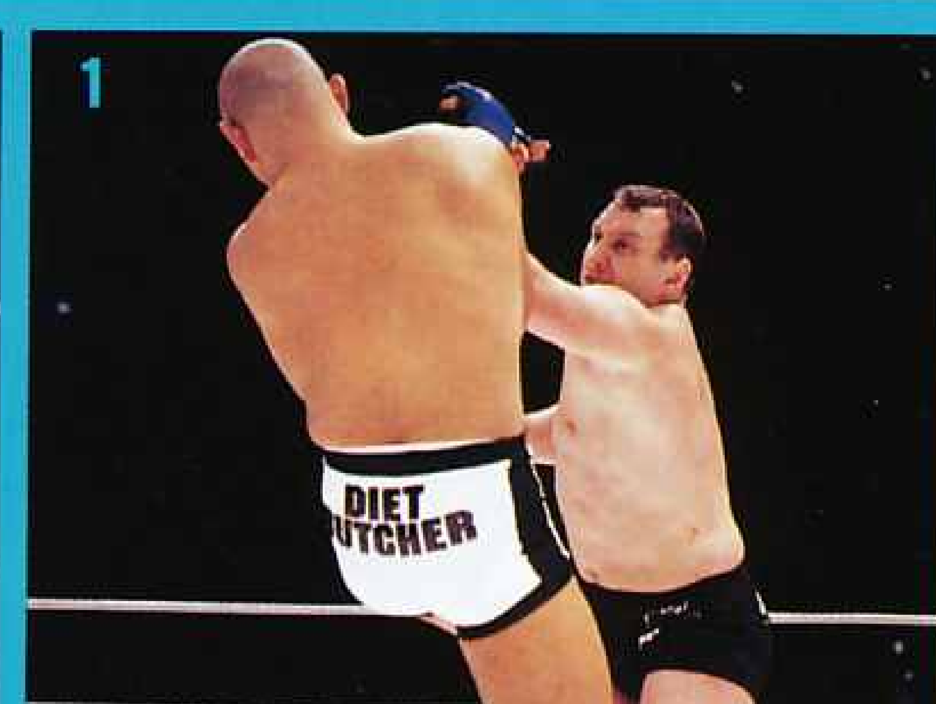


❺マット界が乱れ、混乱したときこそ、アレクの出番!　いよいよ、「PRIDE・GP」へ出陣だ。宇宙広しといえども、1日でプロレスとバーリ・トゥードの試合を掛け持ちしたのはアレクくらいのものだろう。“AO”CONERがかかると、ドームは大爆発!　❻緊張の立ち上がり。しかし、プレッシャーをかけられるどころか、逆にプレッシャーを与えていく。❼&❽アレクはヘンゾ戦同様タックルを狙うが、1発目のタックルを綺麗に切ったボブチャンチンは、なんとガブっていく。いつ練習したんだ、ボブ!　そしてガブりながらバツンバツンと殺人パンチの連打。アッという間にアレクの顔面は鼻血で染まっていた

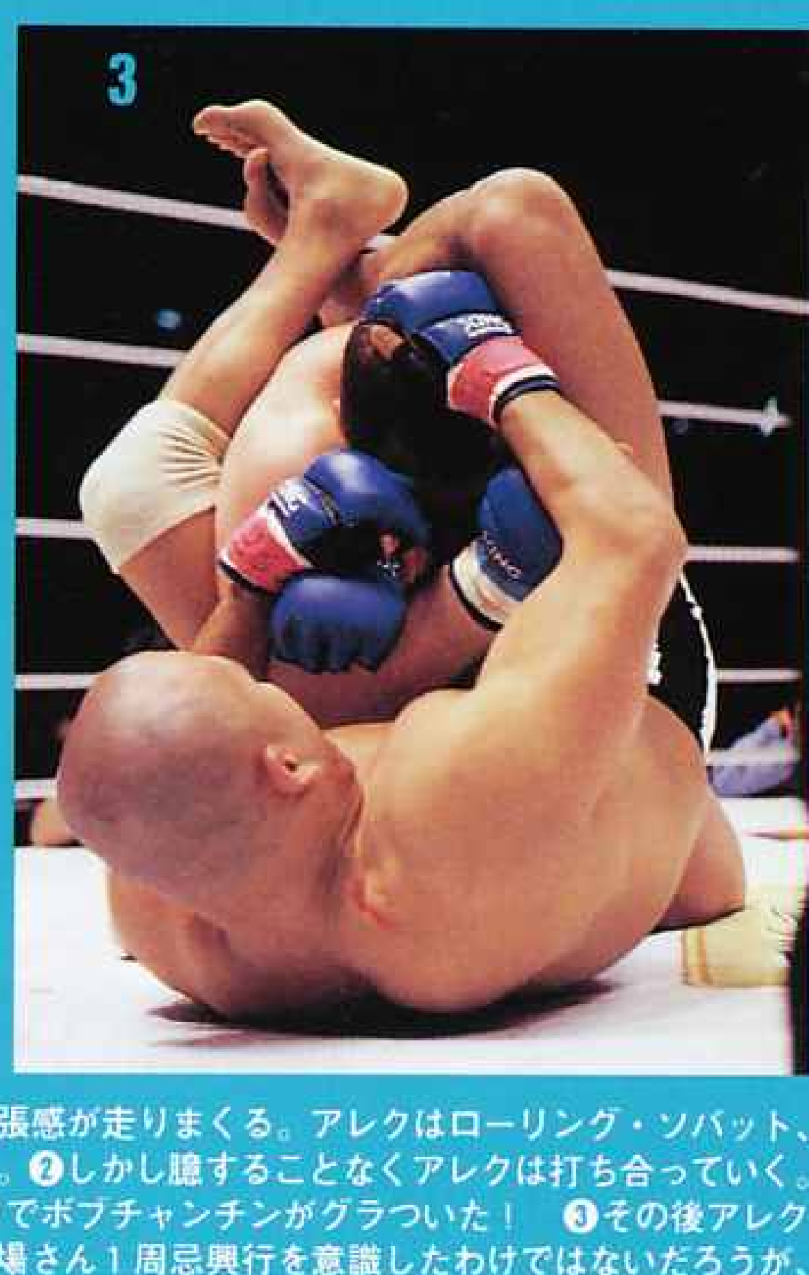
かれて、ホイスはボクって言ったらしいですからね。
──そうらしいですね。
アレク それを聞いて、"へえ～、嘘つきだなあ"って思ってたんですけどね（笑）。
──ガハハハハ。バーリ・トゥードのセオリーをちゃんと知ってるわけじゃないアレクが、バーリ・トゥードの達人たちに評価されてるっていうところが、実に痛快ですよ。
アレク でも闘い方のセオリーについては、マルコ戦のときに高阪（剛）さんに2回ぐらい道場に来てもらって、1時間ほど教えてもらったんで、イメージはなんとなく掴めましたけどね。
──2回で1時間！ やっぱりコツをつかむのがうまいんだろうね。打撃もそうだし。
アレク 打撃はヘタクソですよぉ。
──いや、でも、ヘタクソかうまいかっていう次元じゃ、よっぽど実力差がないと勝負はつかないですよね。最終的には、どんなに打撃がうまい人でも向かっていけなきゃゼロですからね。
アレク それは確かにそうですね。
──だから、アレクが常に言ってる「闘いは心」っていうことになりますよね。
アレク 日本には"心・技・体"っていう言葉があるじゃないですか。でもボクはそうじゃないと思うんですよ。
──ほう！ ゼヒ聞かせてください！
アレク "心・体・技"だと思うんですよ。「心」が最初で、その次が「体力」、最後が「技術」なんですよ。だって同じ技術を持った人間だったら、力のある人間が勝つ。仮に自分より技術が1勝ってる人間と試合しても、ボクが力で3とか4勝ってれば、その技術を出されても、力でそれを食い止める可能性はかなり高いですからね。そういう部分で見るとボブチャンチンなんてグラウンドの技術は全然ない。細かく言えばボクの思ってるガブリの技術から見れば大したことないんだけど、いかんせん力と重さでどうにもしようがなかった。試合が終わってから島田（裕二）さんに「ガードポジションになればよかったのに」って言われたんですけ



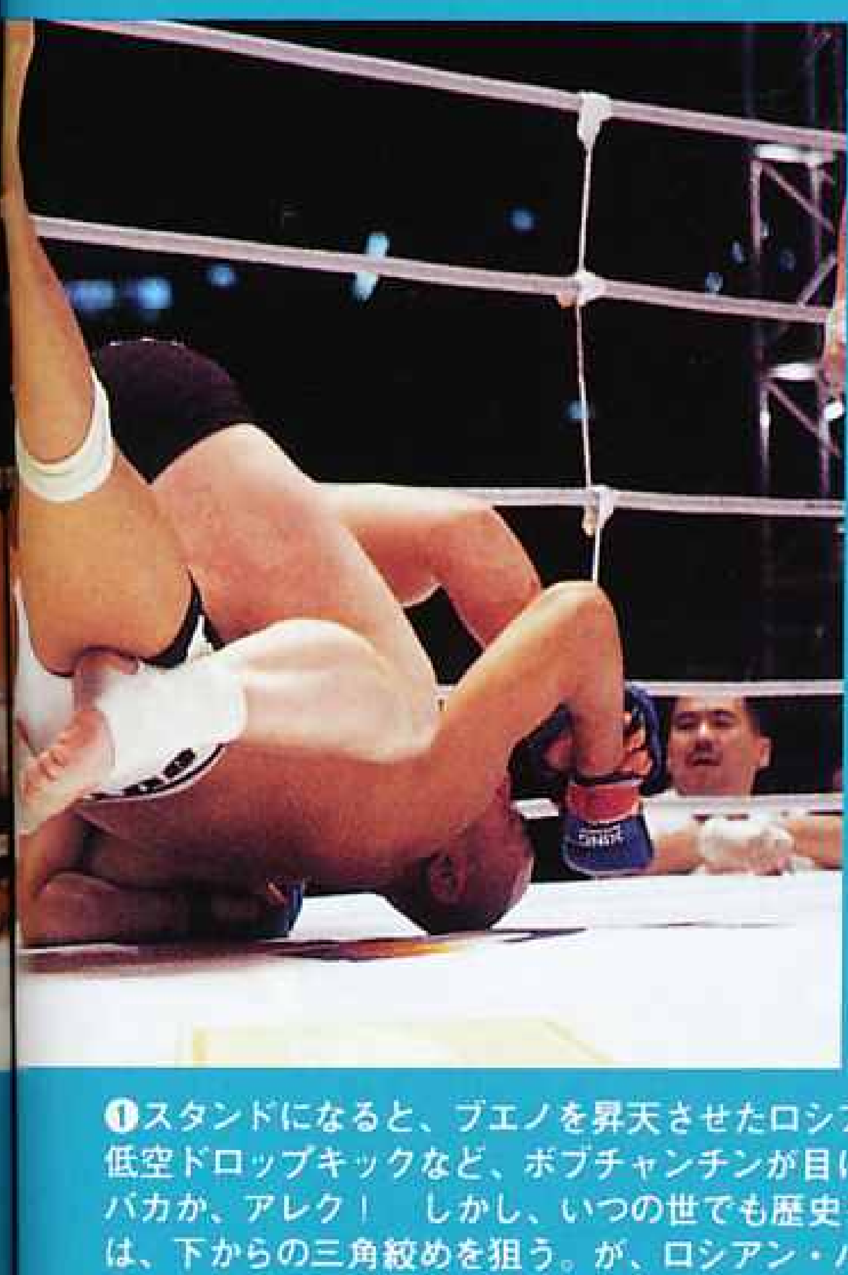
ど、力で食い止められてガードになれない。で、一番チャンスがあったボクの下からの三角絞めも、もう相手のパワーでどうにもならなかったんですよ。たぶんボブチャンチンぐらいの技術だったら、ボクでも三角で仕留めれたと思うんですよ。だってもう入ってたんですから。高坂さんにも「自分の足を自分で引っ張ればよかったのに」って言われたんですけど、力と重さと固さでどうにもならなかった。
──たしかにあれは力ではずされちゃったもんなあ。なんか荷物を放り投げるように（笑）。だからたぶん、力を活かせる「心」がボブチャンチンにはあるんでしょうね。
アレク そうですね。
──でも、どんなに技術と体力があっても気持ちが前に出なきゃ勝てないっていうのを証明したのが、今回のドーム大会ですよ。
アレク やっぱり他の人の試合見ても"心・体・技"で、大事な部分が欠けてる人はそうでしたもんね。そういう部分で言えば、負けて偉そうなこと言うなって言われるかもしれないけど、ボクの「心」は見せれたかなぁと思いますね。あ、いま思い出しましたけど、なんかの雑誌で、「ボブチャンチンが勝つと思うけど、大塚さんには心を見せてもらいたい」って言ってた人がいるんですよ。
──ああ、エンセン（井上）ですね。
アレク 彼の目にはボクの心が見えたかなぁ。見えてくれれば嬉しいんですけどねえ。
──見える人には見えますよ。
アレク それが見える人は等身大の心を持った人ですよ。そう、そうですよ！ 自分がわかってる人っていうのは、相手の気持ちもわかって、人を傷つけるようなことはしないですからね。だって、最近子どもが人を殺すのが増えてきたのだって、ケンカをしなくなって、人の痛みがわからないからじゃないですか？ 自分の手で殴り合いしたら、最後はマンガじゃないけど仲直りできる。でも、自分の手が痛くなるのが嫌だからって刃物を持って殺











❶スタンドになると、ブエノを昇天させたロシアン・フックが飛んでくる。ひと振りひと振りに緊張感が走りまくる。アレクはローリング・ソバット、低空ドロップキックなど、ボブチャンチンが目にしたこともないような技で突破口を開こうとする。❷しかし臆することなくアレクは打ち合っていく。バカか、アレク！　しかし、いつの世でも歴史を変えるのはバカかキ●ガイだ。アレクの右フックでボブチャンチンがグラついた！　❸その後アレクは、下からの三角絞めを狙う。が、ロシアン・パワーで一気にはずされた。惜しい！　❹翌日の馬場さん1周忌興行を意識したわけではないだろうが、河津掛けを敢行！　❺&❻終盤はマウントを取られ殴られ続けたが、最後の最後まで跳ね返そうとする「プロコン」には脱帽だ！　判定で敗れたが、ボブチャンチン&通訳おばさんもアレクを絶賛！

しちゃう世の中ですからね。

―ホント、石川社長じゃないけど、ゴールデン・タイムからプロレスを消すからいけないんですよ（笑）。

アレク　だから等身大の自分さえも見えない人間が増えてきたってことじゃないですかね。痛みから逃げすぎ。

―でもドームでのアレクの闘い方は、痛みから逃げなさすぎだよ（笑）。

アレク　アハハハハ。アッ、あ、あ、熱いッ！

―ガハハハハ！　全国2千万の『紙プロ』読者の皆さま、いまアレクがお茶で口をヤケドしました。一体なにをしてるんでしょうか、この人は（笑）。

アレク　ああ〜……熱かったぁ。こんなに熱いと思わなかった。ちょっと口のなかも切れてますからね。

―現時点でケガのほうは大丈夫なんですか？

アレク　ボク、ビデオで確認したら200〜300発のパンチを受けてるんですよ。あれだけの数のパンチを受けると頭も耳もアゴもガンガンですから、いまになって少しフワフワしたりしますね。でも内部とか骨には全然異常がなかったから、ホントに外傷だけですよ。あと、頭が、あ、熱い（ポリポリポリ）。

―ガハハハ。口も頭も熱い。でもプロレスラーって凄いよなぁ、と素人みたいな感想が出てきますね（笑）。

アレク　試合後も、医者がすぐ来て「大丈夫ですか？」って聞かれたから、「はい、大丈夫です！」って答えたら、「は〜……
……ス・ゴ・イですね〜」のひと言でした（笑）。

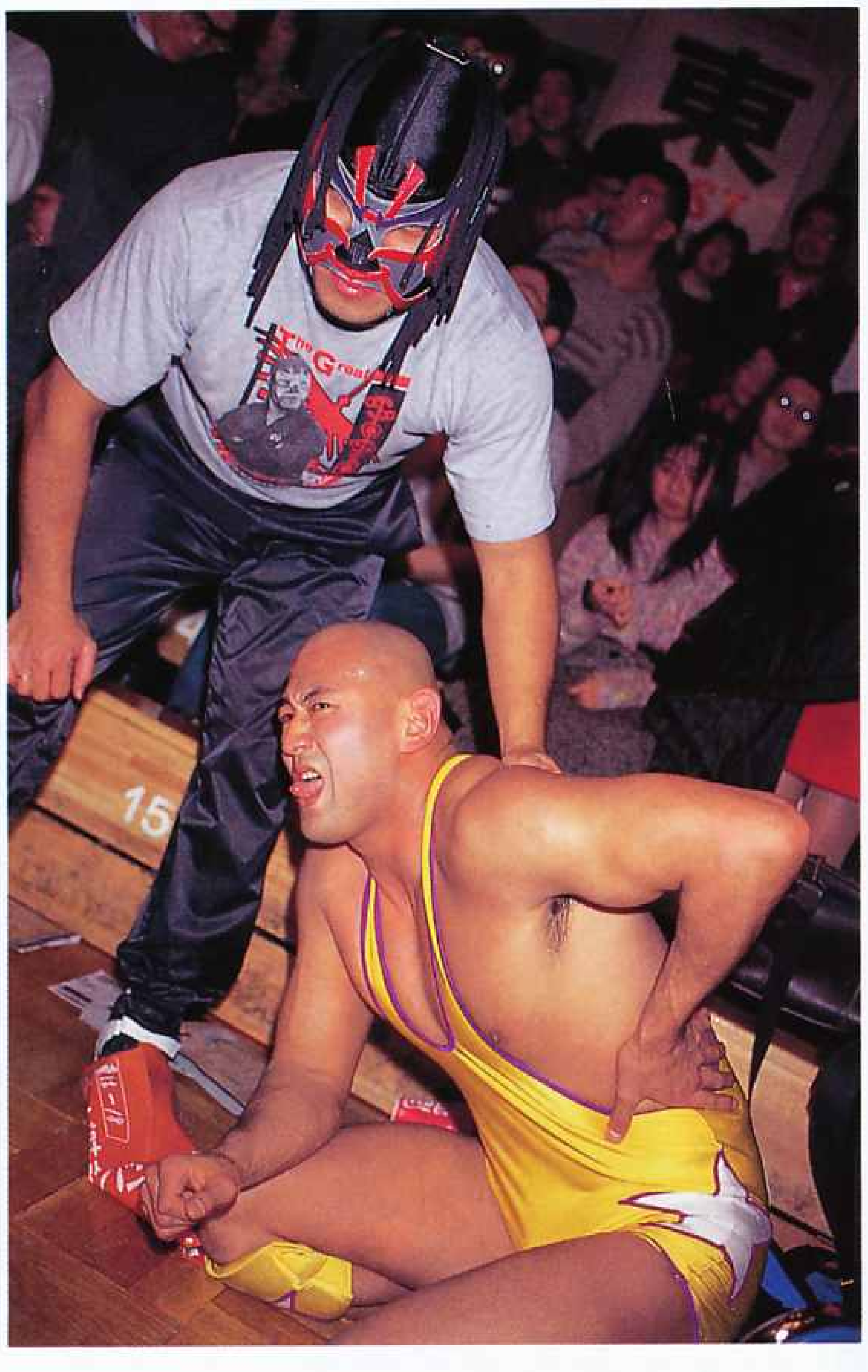
―ガハハハハ！　ひと言（笑）。今月は11日から試合なんですよね？　ボクサーとかキックボクサーだったら当分試合出れないですよ。

アレク　KOされたら3〜4ヶ月は試合出れないんですよね。

―いや、KOされてなくても、それだけ打たれたら普通、最低3〜4ヶ月は休みますよ。

アレク　しかもボク、試合終わった次の日からなんかやってたんですよね。なにやったんだっけなあ……ああ〜、忘れた（ポリポリポリ）。

最初が「心」で、次が「体」、最後が「技」。ボクは〝心・体・技〟だと思うんですよ（ポリポリポリ）



―大丈夫か、アレク！（笑）。でも、耐える力っていうのは、大事ですよね。

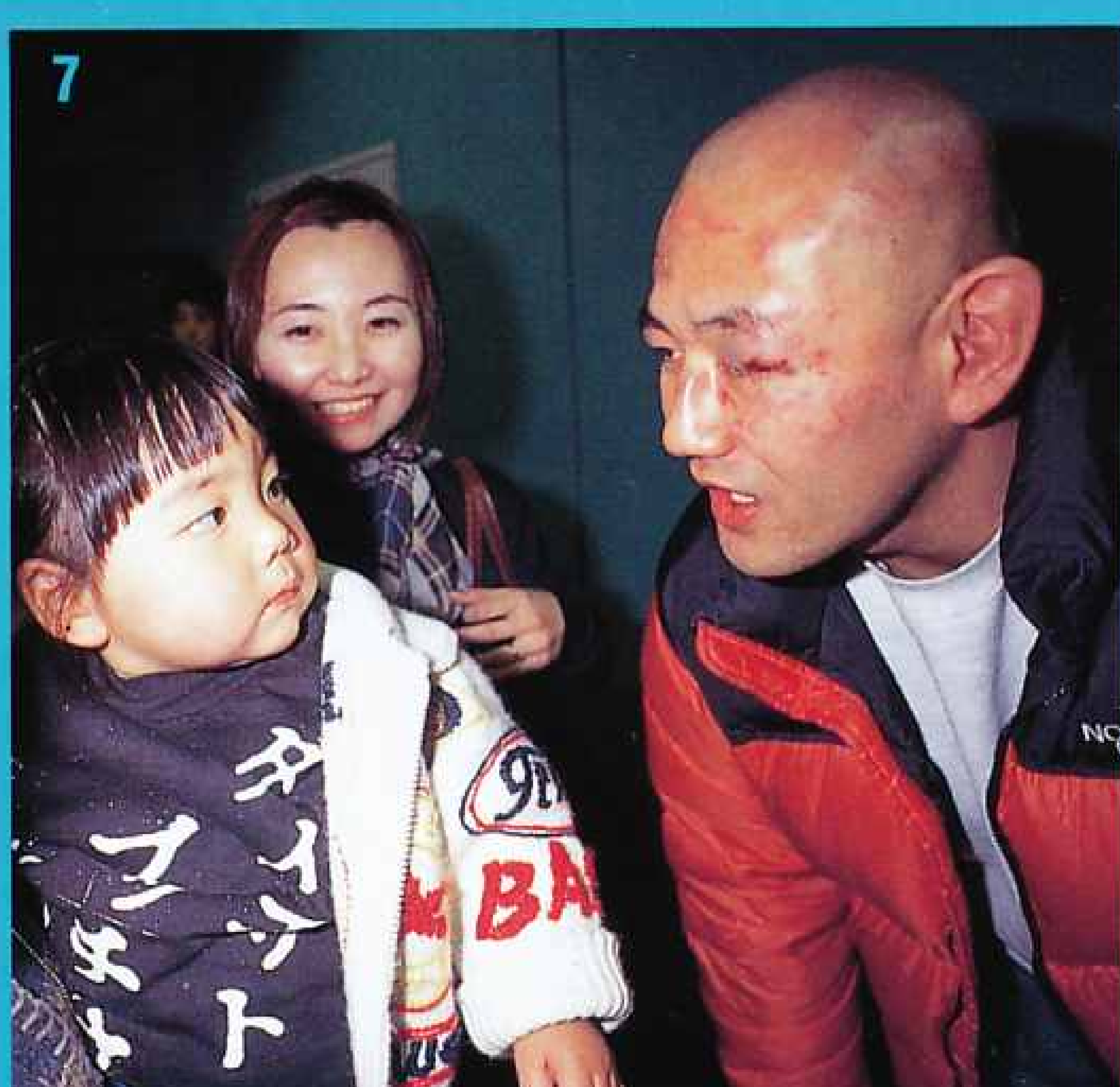
アレク　そうですね。自分もそういうのが偉いってことさら言うつもりはないんですけどね。でも、ボクは昔ながらのプロレス界のしきたりというか、新弟子から少しづつ上がっていく。そのシステムが一番いいとは思わないんですけど、精神的な部分を鍛えることは大事だと思いますね。そりゃあ、そんなムダなことはせずに、トレーニングだけやって強くなるっていうほうがいいですけどね。

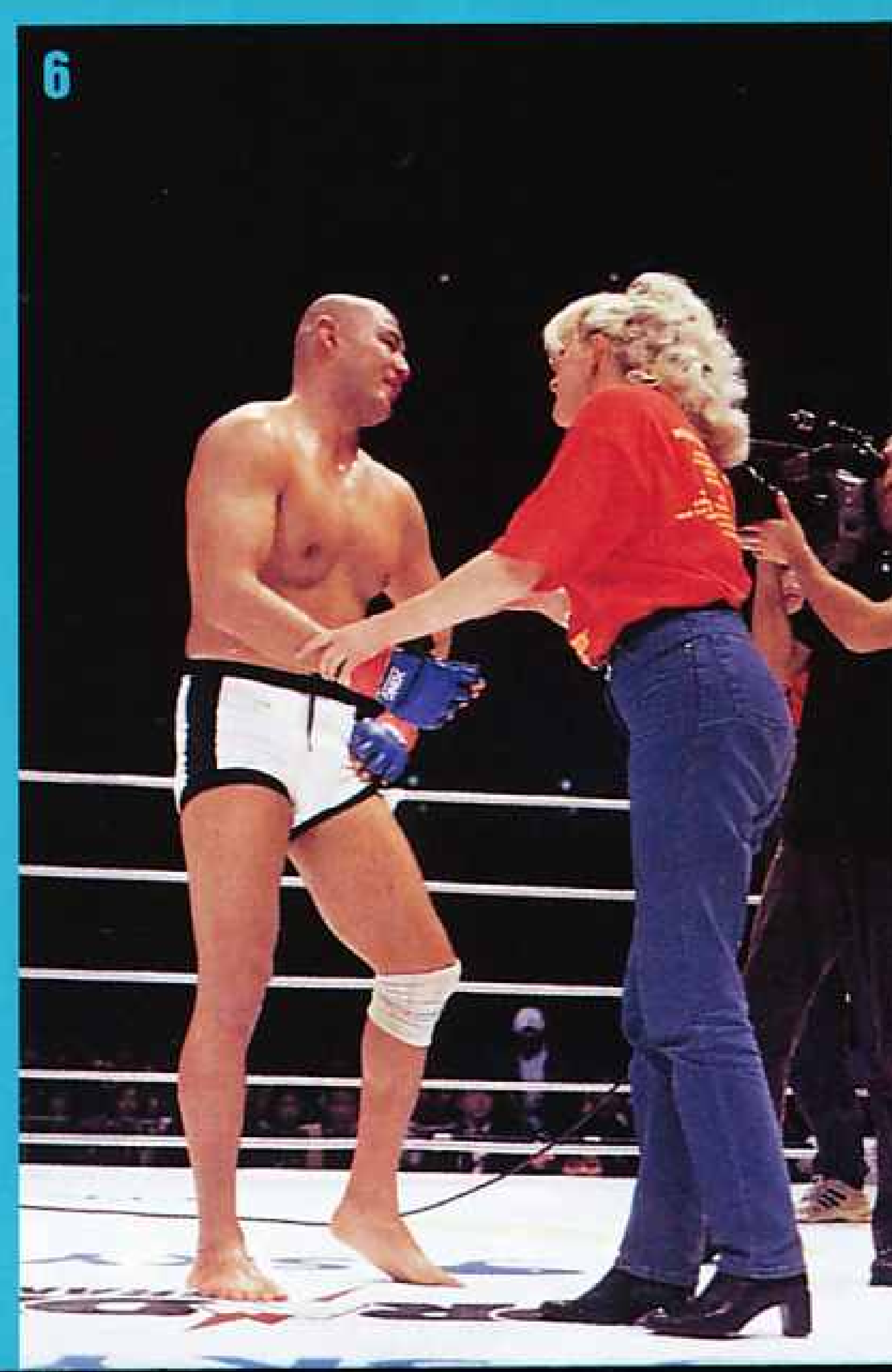
―技術を磨くだけだったら、合理的にやったほうがいいですよね。

アレク　でも頭がスマートで、かつ、そういう新弟子制度的なものを乗り越えられる精神も持ってるっていうのが、よりい

21:40　21:30

8


7


6


5




❼試合後、控室通路で、のものも＆愛ちゃんの元に凱旋。お父さんのボコボコにもほどがある顔を見ても泣かない愛ちゃんの末は大臣だ（古い！）❽判定で敗れたものの、アレクの「プロコン」は観る者の細胞に突き刺さった。その証拠にドームに残ったファンから、大アレク・コールが飛んだのだ。非常に長い1日、お疲れ＆ありがとう、アレク！

いですよ。
――そういうことは、アレクを見てるとあらためて考え直しますね。時代の流れのなかで、フリーで自由気ままにやってる選手が増えてますけどね。
アレク　そういう人たちが集まってるからナアナアで団体ができちゃったりとか、〝お前はプロレスできねえだろう〟っていう人がプロレスラーになっちゃうんですよね～。
――ところで、ヘンゾ戦、ボブチャンチン戦と、判定とはいえ2連敗だから、今後バーリ・トゥードに出るとしたら、次は負けられないですよね？
アレク　いいえ（キッパリ）。
――は？　ゼヒ、その「いいえ」の意味を教えていただきたいですね。
アレク　闘いである以上、勝つことも負けることもあるんですよ。もちろん勝つに越したことはないですけどね。プロレスだってそうなんですから。ヘンゾ戦にしろボブチャンチン戦にしろ、そういう部分を理解してもらえる仕事ができたかなって思ってますけどね。
――「たとえ負けてもタダでは負けないよ」ということですね。
アレク　そうですね。自分も光るけど、相手も光らせる。相手も光るけど、自分も光るということです。
――なるほど！　今日はアレクの「プロレス」の極意がよくわかりました。
アレク　あ、あとひとつ！　あの試合であれだけ頑張れたのは、（ターザン）山本さんの息子になりたくなかったからですね（ポリポリポリ）。
――ガハハハハ！　メシのひとつも奢らないで「アレクは俺の息子だ」とかトチ狂ったこと言ってますからね（笑）。
アレク　しかも、自ら「俺の息子だぁ～！」って言ってた人が、その息子の対戦相手を応援してるんですよ（笑）。
――ボブチャンチンを応援するって言ってましたね。ムチャクチャですね、あのオヤジは（笑）。あ、俺もあとひとつ！　バトの後楽園では、メインが終了した後に池田（大輔）選手が「バトラーツの世界征服は俺が止めます！　今日はドームでプロレスがあるみたいですけど、俺は行きません！　俺がプロレスを守ります」っていうマイク・アピールをしましたね。
アレク　うーん、「ドームでプロレスがある」って言うなら、同じプロレスじゃないですか。そっちのプロレスは守らないの？　っていうとこですね。その言葉尻を捉えちゃうとですよ。もし、『ＰＲＩＤＥ』をひっくるめてプロレスって捉えてるんであれば、それは違うんじゃないの？っていう感じですね。
――もしかしたら「ドームで『ＰＲＩＤＥ』がありますけど」って言ったかもしれないんですけどね。なんと言ったのかは、本人も記憶が飛んでて覚えてないらしいんですよ。後で「『ＰＲＩＤＥ』に光が当たってるけど、俺はプロレスラーだからプロレス1本で行く」と言ってましたけどね。
アレク　うん、それだったら、そう言ったその言葉に対して責任を持ってほしいですね。「心」は後から見えてくるもんだから。行動で見せてもらいたいですね。それから、せっかくだったら遠回しな言い方じゃなくて、なにかあるんだったら名指しで言ってほしいです。それだけ「アレクサンダー大塚」という文字が誌面に載りますから。んむはぁ。



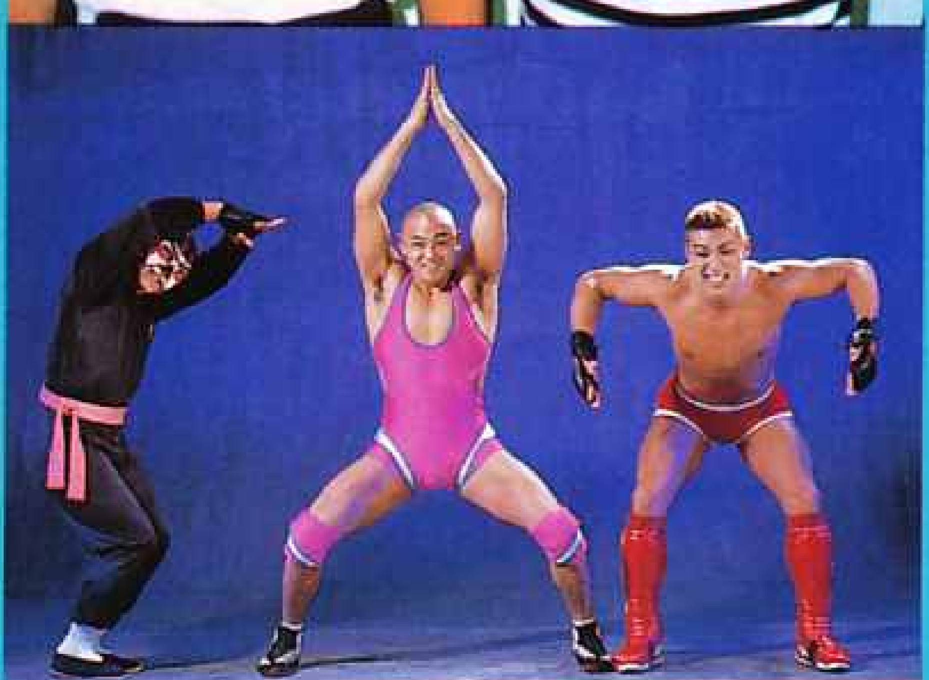
Alexander Otsuka

――目立ちたがり屋気質、再び（笑）。
アレク　言葉に出してると、言ってる自分が嫌になる可能性もありますし、ボクの名前を口に出せないということは、行動を起こす意志がないとも思えますからね。だから、やっぱり行動で見せてほしいですね。
――これから、アレクには、プロレス側からもジェラシーの視線を浴びたり、格闘技側からはやっかみの声が聞こえてきたり、いろいろ出てくるとは思うんですよ。でも、そういう面でのプレッシャーもハネ返して、さらに上昇するところを見ていくのは、実に面白いですね。
アレク　んむはぁ。やる側は大変ですけどね（ポリポリポリ）。
――いや、アレクならノー問題（笑）。
アレク　体がいつまでもつかっていうところでしょうね。ボクのやってることを理解してもらうまでの闘いですよね。これはホントに石川社長じゃないですけど、「俺の体が潰れるのが先か、君たちが俺たちの心を理解してくれるのが先か」っていうことですよ。んむはぁ。

【2月1日／バトラーツ新事務所にて収録】

アレクの過去と未来をGET!!





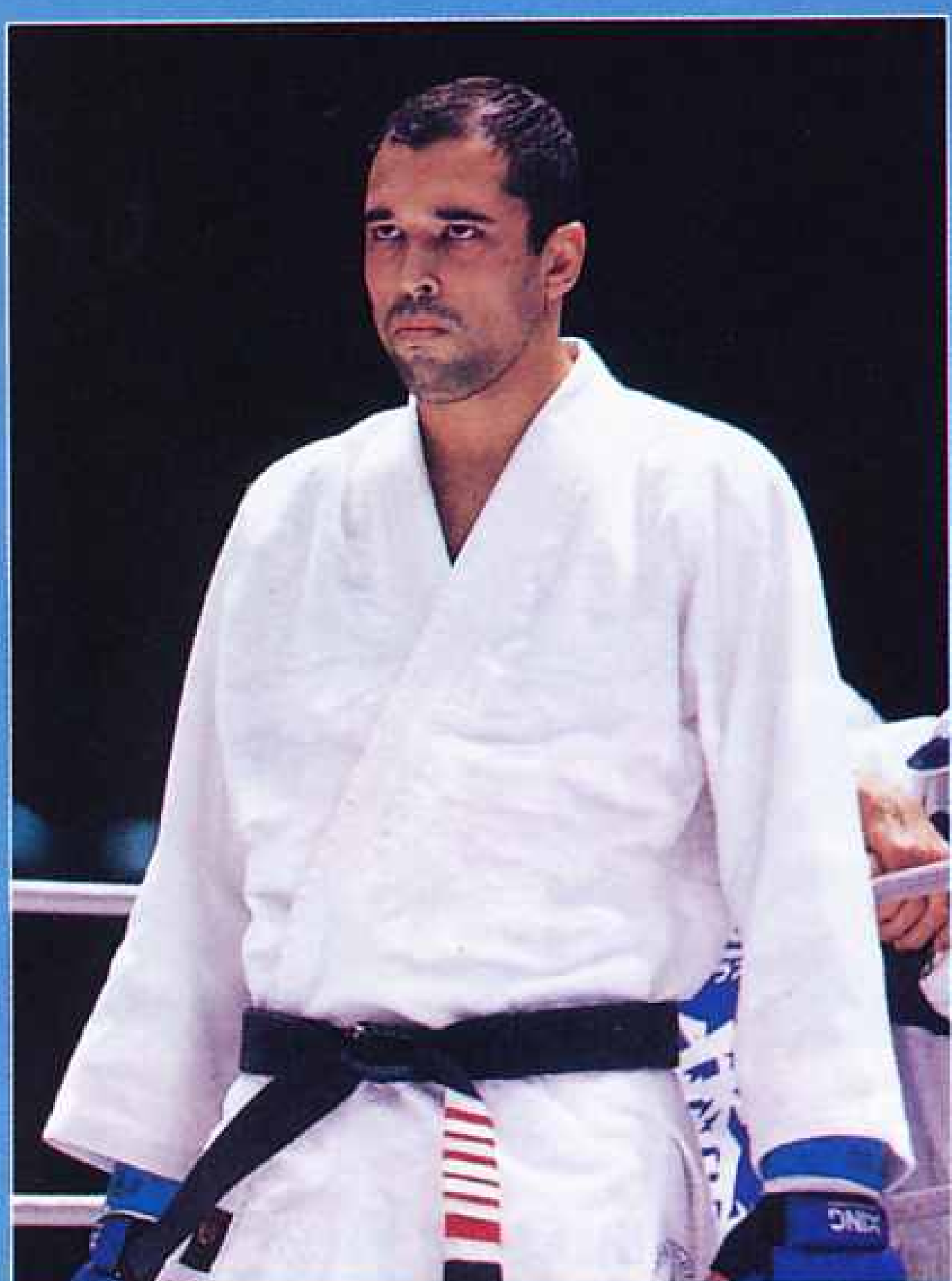
【上】発掘！　10年前、高校時代のアレクが当時、三軒茶屋にあったスーパータイガージムを訪ねた時の超お宝ショット！　佐山先生も若い。押忍！（敬礼）。【下】撮影・アラーキーによるサスケ（S）・アレク（A）・村上（M）で結成された「SAM（サム）」特写。んむはぁ。

『PRIDE.GP』1回戦突破&道場移転&5・1ホイス戦決定記念INTERVIEW

桜庭和志

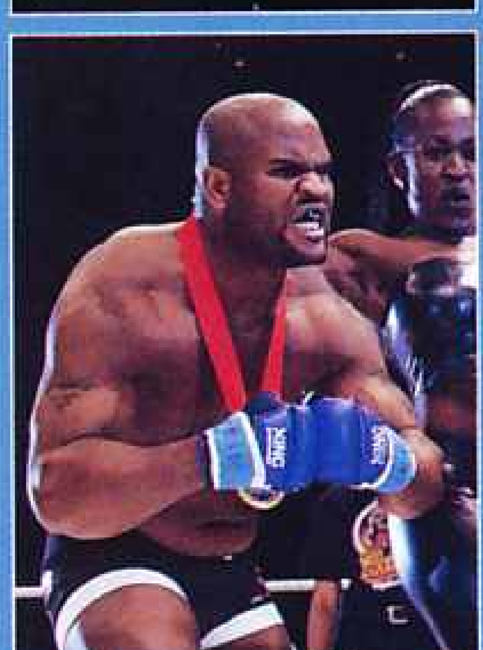
サクラバカズシの考える"プロレスラー魂"とは一体何でしょう?

「ホイスに勝って、あとは棄権します(ニコニコ)」

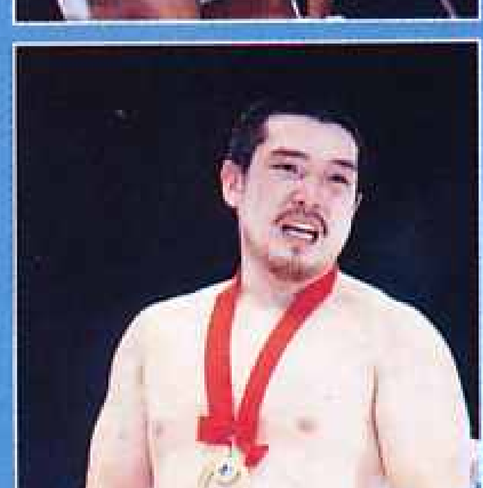
















頼んだよ、サク!!

燃えよ!! プロコン 2000 BURNING SPIRITS

聞き手/山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi
撮影/森"モーリー"鷹博
photographs by Morry

2月16日に開かれたDSEの記者会見にて、桜庭和志vsホイス・グレイシー戦が行われることが正式発表された。グランプリ1回戦のガイ・メッツァー戦では不完全燃焼となったサクだが、いやがおうにも全プロレス&格闘技ファンの視線が注がれる大舞台に立つことになる。

決戦場所は5・1東京ドーム。『PRIDE・GP2000』決勝トーナメントの1回戦である。

ズバリ言って、トーナメントの1回戦にするにはもったいなさすぎるカードだが、ここはもうサクの手によってビッグ・サプライズが起こることを期待するしかない。

「どんなに道は厳しくとも、笑いながら歩こうゼー！」とアントン総帥の言葉を持ち出すまでもなく、サクは武蔵小山に移転NEWオープンした高田道場の中を、本当に笑いながら歩いていたのだった。

とにもかくにもミレニアムの春先、頼んだゾ、サク！

——今日はたくさん聞きたいことがあるんですよ。まずですね……。

桜庭　あ、バイオハザード！

——そうやって機先を制しようとするわけですね（笑）。

桜庭　いや、新しいやつ。バイオハザードでホントに鉄砲持ってやるやつ面白いですよ。全然違いますよ、鉄砲でやると。鉄砲持ってます？

——残念ながら持ってません。でも鉄砲いいなあ。

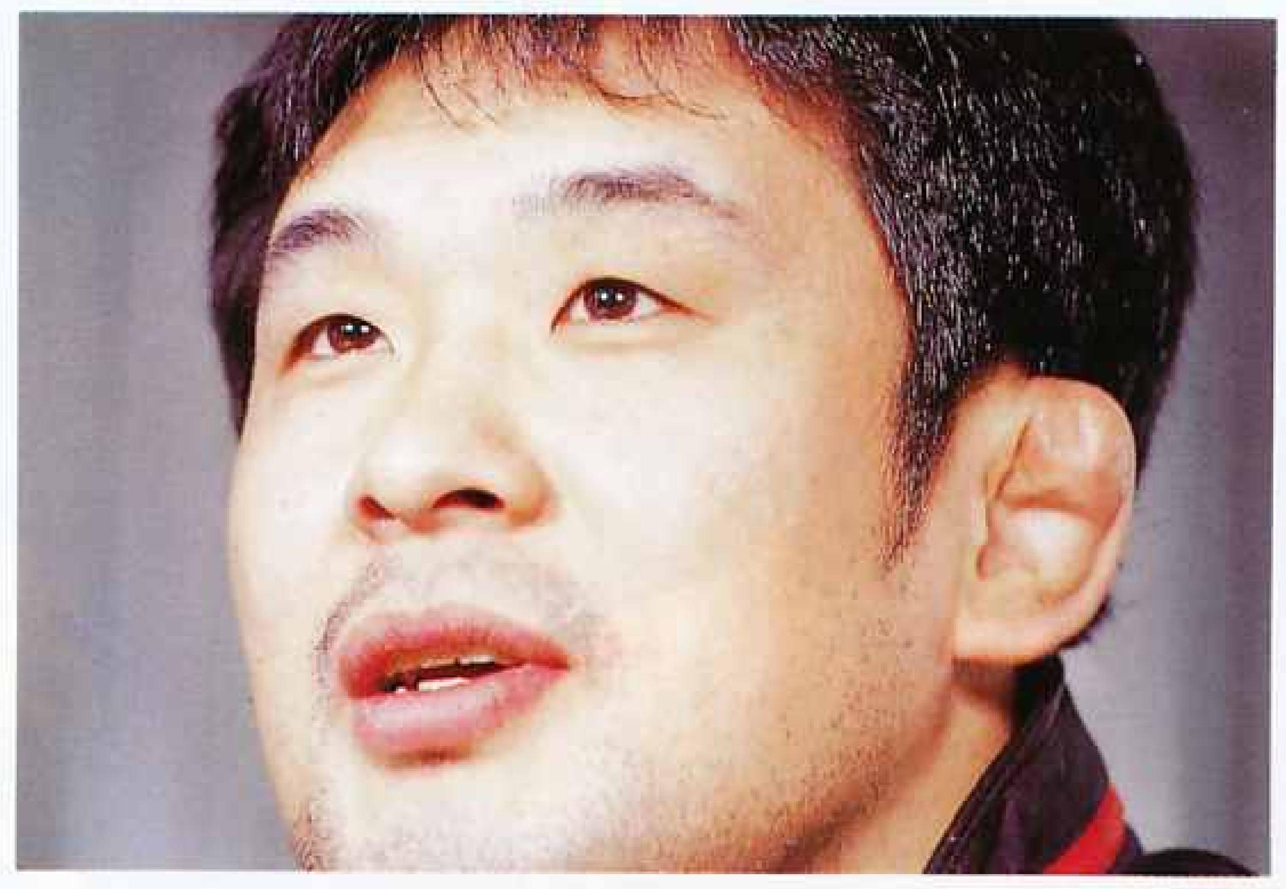
桜庭　まだボク、『ディノ・クライシス』が終わってないんですよぉ。だから、かわりばんこにやってます。でも、『ディノ・クライシス』は、絶対あと2～3日で終わらせますから。

——さて、ゲームの話は尽きませんが（笑）、まず物議をかもした、ガイ・メッツァー戦を振り返りたいと思います。試合後には「毎回いろいろと問題のある試合をして申し訳ありません。もっと練習してトーナメントに優勝したいと思いますので、今日は勘弁してください」というお茶目なマイクがありましたよね（笑）。もしかしたら、人をビックリさせるためにワザとやってるんじゃないですか？（笑）。

桜庭　いや、やっぱりボクもスッキリ勝ちたかったんですけど、体が動かなかったんですよね。

——ああ、オーバーワークで。もしかして、練習が面白すぎたとか？　ＴＫ（高阪剛）、佐竹（雅昭）、藤田（和之）、金原（弘光）と錚々たるメンバーが集まってた日もあったし。

桜庭　いや、全体的に終わらない雰囲気だったので。あの～、陰の方で「おい松井（大二郎）、まだ練習やんの？」とかは言ってました（笑）。誰かが「じゃあラスト」とか言ったりしないので、そのままズルズルと長い時間やってしまったという。それでヤバいなあって思って。昼寝しても全然疲れが取れないし。でも、"どうにかなるかなあ"とは思ってたんですけどね。あと、あれですよ。当日（1・30）の入場セレモニーの後にウォーミングアップしたんですけど、控室に戻ったらすぐ出番が来ちゃって、休む暇がなかったんですよ。あのー、その話にかけて言っちゃいますけど、正直な話、名前だけ売ろうとする人とか、ファイトマネーだけもらえばいいっていう人は出ないでほしいです。そういうのは正直腹が立ちますよ。名指しはしないけど、そういう人が3人いましたよ。



「次はアメリカのお兄さん ボクと勝負して下さい」ってどうですかね？

——3人ですか！

桜庭　プロレスならプロレスの、柔道なら柔道の練習をするじゃないですか。バーリ・トゥードなんだから、それに対応できる練習はしてほしいですよね。それに、そういう人が出て秒殺されまくったら、ボクが試合に出る時間が早くなっちゃうし。そうやって自分が巻き込まれるのはイヤですからね。

——なるほど。その人たちのお陰で出番が早くなって休む暇がなかったと（笑）。前の晩まで酒飲んでたとか言いつつ、人知れず練習してればいいんですけどね。

桜庭　そうですよ。

——でも、いろんなタイプのヘビー級の人たちと練習して、もはやヘビー級対策は万全じゃないですか。

桜庭　ベ！　全然万全じゃないですよ！　やっぱりみんなタイプが違うんで。あ、とりあえずこの間はキッチリ勝てなかったんで、決勝トーナメントは1回勝って棄権します。

——ガハハハハ！　この期に及んでまだ言いますか（笑）。ところで相手のメッツァーはどうでしたか？

桜庭　もうグラウンドはまったくやる気なかったですね！

——マーク・ケアーは"コンプリート・ファイター"って言われてますけど、メッツァーは"コンクリート・ファイター"って感じでしたよね（笑）。

桜庭　ヒャハハハハ。

——見てるほうから言わせると、「固いぞ」っていう感じでしたね。

桜庭　やっててもそうでしたよ。ホントにグラウンドやりたがらなかったからなあ……なにが面白くて試合してるんですかねぇ？

——面白くないから試合放棄するんじゃないですか（笑）。

桜庭　ボクはレスリングが面白くて試合してるんですけどね。またボクとは違った考え方なんでしょうねえ。

——闘いの哲学の"哲"の字が"鉄"なんですよ、きっと（笑）。

桜庭　その上でコンクリート・ファイターだったら、それ鉄筋コンクリートじゃないですか（笑）。

——ガハハハ。鉄筋コンクリート・ファイターって強そうですね（笑）。桜庭さんは試合中に相手とも観客とも会話したいと言ってますけど、あの試合を見てる限りでは、相手には会話する気はないんでしょうね。

桜庭　いろんなものが重なって、ああいうふうな試合になっちゃったんですよね。タックルに入っても、いつもだったら切り返せるんですけど、切り返す気力もなかったですし。「体動かねえし、取りあえずしがみついとけ」って思いましたから。ボク、東京ドームはダメなんですよ。

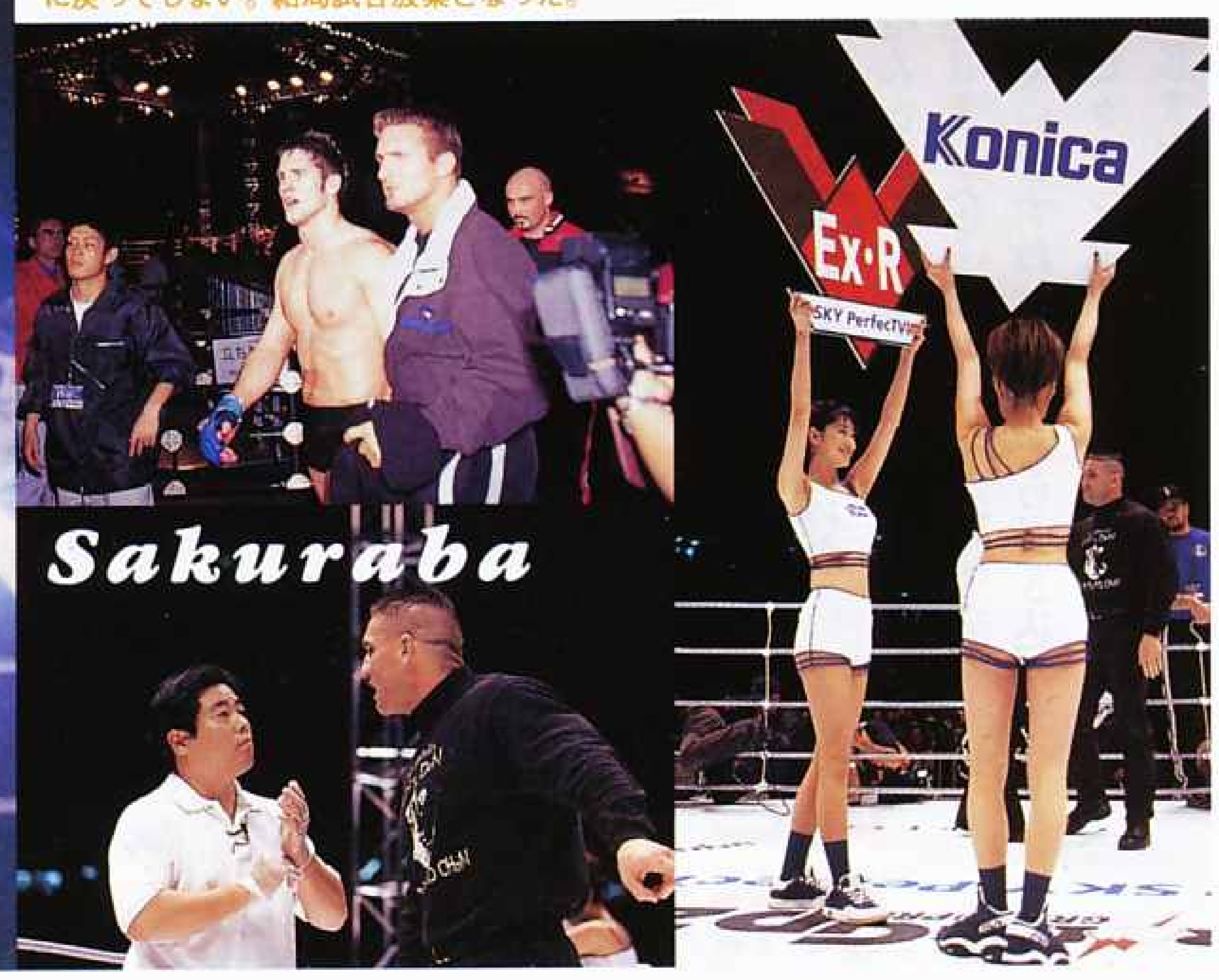
——ゲンが悪いわけですね。

桜庭　なんで東京ドームが悪いかってい

うと、使用料とグッズ販売の手数料が高すぎます（ニコニコ）。
——ズコッ！　ケン・シャムロックが出てきて「延長ラウンドがあるなんて聞いてない」とクレームつけたことに関してはどう思ってるんですか？
桜庭　あ、揉めたことですか？　ホントはメッツァーは（延長を）やる気あったんじゃないですかね。アメリカの兄弟のお兄さんのほうがなんか言ってましたけど。
——アメリカの兄弟のお兄さん（笑）。
桜庭　だから、ブラジルの兄弟のお兄さんはもういいかなぁと。アメリカのお兄さんでいこうと思って（笑）。
——「次はアメリカのお兄さん、ボクと勝負してください」（笑）。
桜庭　ヒャハハハ。別に「この野郎」って気持ちじゃなくて、盛り上げようとしてるだけですけどね。
——お兄さんシリーズ第2弾（笑）。でも、メッツァーがリングを降りて帰っちゃったときは、率直に言ってどう思いました？
桜庭　ショックでしたねぇ。15分間ちょっとしょっぱかったんで、たった15分だけ出て帰るのはもったいないなぁと思ったし。けっこう息は切れてたんですけど、延長になって15分やってもいけるだろうとは思ってましたからね。もうちょっと目立とうと思ってたんで、悲しかったです。
——悲しかったですか（笑）。頭にきたっていうことはないんですか？
桜庭　あ、それはないですね。だってアメリカのお兄さんは英語で喋ってたから、何を言ってるのか全然わかんなかったし。



本戦がドローに終わり、ＥＸラウンドのプラカードが掲げられる中、ケン・シャムロックが血相を変えて島田レフェリーに猛抗議。メッツアーは物が飛び交う中、ケンの指示で控室に戻ってしまい。結局試合放棄となった。



——ガハハハ。でも、桜庭さんが、リング上で指揮者としてタクトを振って、お客さんが一斉に歌い出す。そういう感覚が桜庭さんの試合には期待されてるところですからね。
桜庭　1Rめがドローで、「延長」ってアナウンスされたときもけっこう盛り上がってましたよね。
——そうそう。だから、ファンはまだ見たかったんですよ、桜庭さんの試合を。ここからが本番だと思ったんですけどね。
桜庭　ボクもそう思いましたよ。
——でも、ブラジル人に限らず、契約問題っていうのは難しいですね。国によってプロ観っていうのは違いますからね。
桜庭　それはしょうがないですよね。絶対そういう問題は起こりますからね。だから、やってしまったことはやってしまったこととして、次にやらなければいいんじゃないですか？　あ、契約もバーリ・トゥードにすればいいんですよ（ニコニコ）。
——契約も何でもあり（笑）。メッツァーとの再戦はやりたいですか？
桜庭　まあ、できたらという感じですね。
——また淡泊な（笑）。
桜庭　正直言って、「これから」っていう時に止められたから、その時は、「できればもう1回」と思いましたけど、もしかしたら延長になってもああいう状態が続いたかもしれないし、それだったらやりたくないですよね。
——ホイラー（・グレイシー）陣営も、今回のメッツァー陣営も、引き分けたとしても、勝ち目はないじゃないですか。
桜庭　メッツァーは、ストレートだけは狙ってたみたいですけどね。
——単純に〝引き分けでなにが嬉しいのかなあ〟っていうのはありますよね。ビジネスだからそれでいいんだと言われればそうなんですけどね。
桜庭　ボクの試合が1回ドロー裁定になって、（エベンゼール・）ブラガが「あれが引き分けだったら俺の試合も引き分けだ」って言ってましたよね。でも、ボクから言わせたら、あの試合が小路（晃）さんの勝ちだったら、ボクの試合も判定勝ちですよ。それ、後からビデオ見て気がついたんですけど。
——あ、たしかに言われてみればそうですよね。今回のルール自体はどうなんですか？
桜庭　あれでいいですよ。時間は10分2ラウンドぐらいがいいですけどね。
——高田さんも負けてしまったし、次回は主役ですね。
桜庭　ベ～。藤田（和之）がいるじゃないですか！　ボクは脇役です。
——次から次へと隠れ蓑出してきますね（笑）。決勝トーナメントは1日3試合ですからキツイですね。
桜庭　まあボクは1試合ですけどね。いちばん体重が近い人と。あとは棄権（笑）。
——ガハハハ。棄権ネタ好きですね。ところで、ホイス・グレイシーといえば、高田（延彦）戦のとき、グレイシー・トレインで入ってきましたよね。
桜庭　ああ～。長かったですねぇ、あれ。便所に行ってウンコして帰ってきてもまだ終わってないっていう長さでしたよね（笑）。見てて面白かったのは、あれは小学生の「前へならえ」状態でしたよね。だいたい背の順で並んでましたし。どうせだったら足もスキー板かなんかで繋げてくればよかったのに。ヒモとかでもいいけど、ひとりが倒れたらみんなバタバタ倒れちゃうみたいな。どうせやるんだったらそこまでやってほしかったです（笑）。
——向こうがトレインで来るんだったら、

桜庭さんはバイクとか車で来ればいいじゃないですか（笑）。

桜庭　なににしようかなぁ。あ！　あれでいいですよ。人力車！（笑）。

——バッグンです！「サクラバ・ジンリキシャ」でいきますか（笑）。

桜庭　稔（豊永稔）を「炎の人力車」で引っ張って出ていきましょう。

※近くにいた豊永稔と桜庭和志は、偶然この瞬間に目が合ったのだった。

豊永（ボソッと）また何かボクの悪口言ってるんですかぁ？

桜庭　だってお前のことだったら悪口しかないじゃん。

豊永　…………。

——なにも言わないんだ（笑）。

豊永（ボソッと）だって、1言ったら10返ってきますから！

桜庭　違いますよ。彼は10って言いますけど、彼のなかでの10はボクにとっての1なんですよ。あ！

——なんですか、いきなり。

桜庭　稔がシャワー浴びてたときに猪木さんが入ってきたらしいんですよ。ほら、雑誌の企画で、引っ越す前の道場に猪木さんが来たじゃないですか。

——豊永選手は、猪木さんと一緒にシャワー浴びたんですか？

桜庭　いや、一緒に浴びたらまずいかなあと思って、すぐに出たらしいんですよ。やっぱりオーラがあるからでしょうね。猪木さん、シャワー室にいきなりスッポンポンで入ってきたらしいですよ（ニコニコ）。

——「元気ですかーッ!!」って（笑）。

桜庭　ウヒャヒャヒャ。でも、その時は「どうもどうも」って言いながら入ってきたらしいですよ。スッポンポンで（笑）。

——実に気持ちいいですね（笑）。

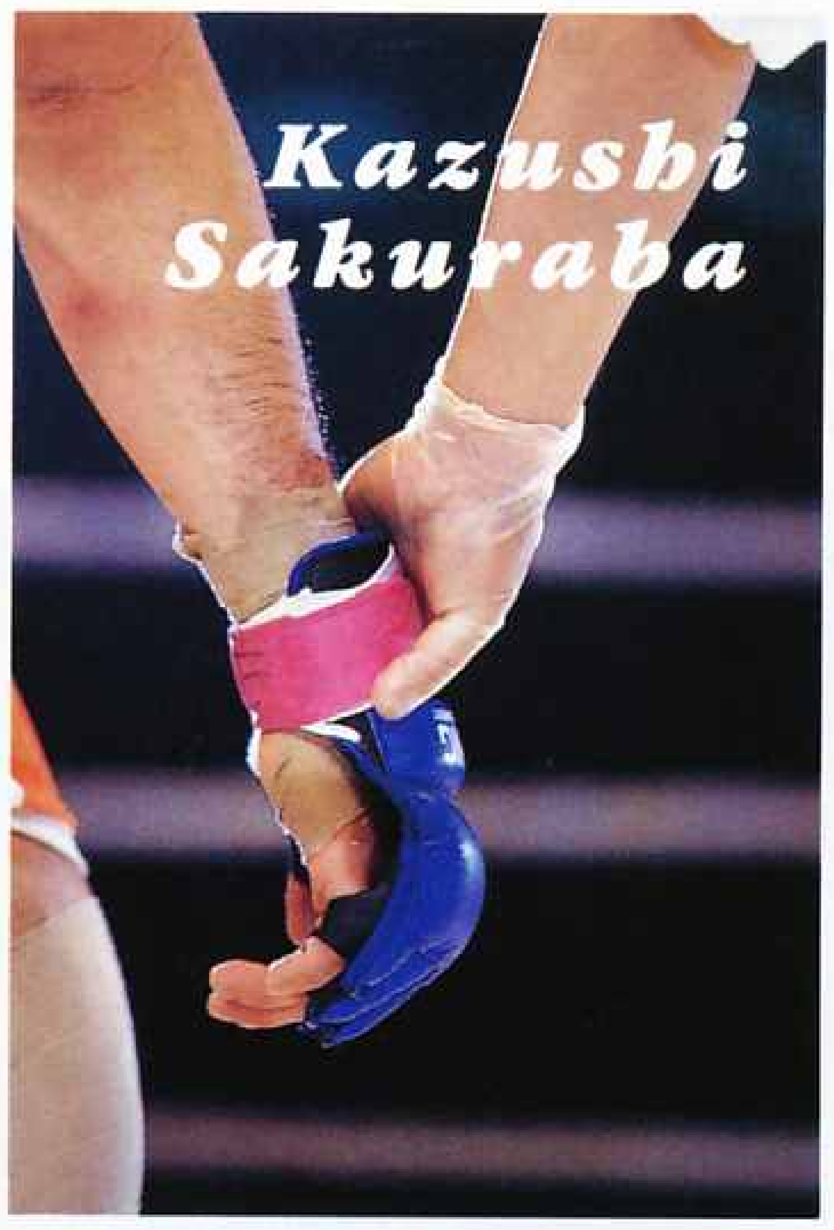
桜庭　でも、稔はそこで背中を流さなきゃだめでしょ。

——そりゃそうですね（笑）。

豊永　…………。

——それはともかく、高田vsホイス戦の率直な感想っていうのはどうですか？

桜庭　高田さんが立ち上がりで膝をケガしちゃったんでしょうがないですよね。でも、ホイスは足は凄く長く感じましたけどね。三角絞めとかはうまそうですね。でも、逆に長すぎて、隙間ができちゃうかもしれないですけどね。そういうのってないですかね？



——いや、ボクに聞かれてもわかりません（笑）。ヒクソンとの違いは感じました？

桜庭　違いますね。自分から引き込んでたし。ヒクソンは絶対自分が上になろうとするじゃないですか。そういえば、あの道着使うのは反則じゃないですか。

——でも、道着は絞めなければ、首に巻くとかは認められてるっていう話ですよね。

桜庭　そうですね。締めるのは手でやってましたから。でもあれは言葉の綾というか、自動車の試験じゃないんだから。○×試験って言葉のひっかけが多いんですよ。だから把握の仕方の違いですよね。「道着を使っての攻撃は許されない」って書いてあって、ホイスのやってたのは攻撃じゃないってことですけど、ルールで言いたいのは、道着を巻き付けたらいけないっていうことなんじゃないですかね。道着を掴んだりするのはいいけど、巻き付けたりするのは、それは反則だろうって思いますけどね。

別の見方をすれば、向こうは武器（道着）を使わなきゃ勝てないのかも

——というか、最初になにを着ていいか決めたほうがいいですよね（笑）。

桜庭　ホイス、今度は吊りパンかなんかで出ないですかねぇ（ニコニコ）。

——それは似合わなそうですね（笑）。

桜庭　ホイスが道着を着てきたら、ボクも体に適当なヒラヒラつけて、それで締めてやりますよ。あとグローブから1本ヒモたらしておいて、それで絞めるとか。

——ガハハハ。それにしてもルールって難しいですよね。

桜庭　別の見方をすれば、向こうは武器を使わなきゃ勝てないのかもしれませんよね。

——そういう推測は成り立ちますね。

桜庭　生まれて成長してきた、その体自体で勝つことはできないってことですよ。

——男の子なら裸一貫で勝負してほしい（笑）。

桜庭　そうですね（笑）。

——でも、道着を着ていいんだったら、ビニールの服とか着る人がいてもいいですよね（笑）。

桜庭　ああ、押さえ込んだときに、それで顔ふさいだりとか（笑）。

——雨ガッパ着てくるとか（笑）。

桜庭　ヒャハハハハ。

——でも単純に、なんでホイスだけ道着着ていいんだろうっていうのはありますよね。

1・30ガイ・メッツァー戦 MINI REVIEW

メッツァー鉄壁の守り!!

1


2


3


4


フェイントを使ったタックルや、サク得意のバックを取らせてからのアームロックを狙うなど、あの手この手で"コンクリート・ファイター"メッツァーをグラウンドに引きずり込もうとしたサクであるが、遂に捕らえることが出来なかった。しかし、最後まで勝ちに行くサクはプロレスラー魂を見せた。

桜庭　そうですよ。反則ですよ。裸に自信がないんじゃないですかね。ちょっと毛深いとか（ニコニコ）。

——実際、毛深そうですよ（笑）。高田さんとはドーム後に、なにか語り合いましたか？

桜庭　いや、特には。

——悔しがってました？

桜庭　そうですね。でも、未知のものに向かっていくのは凄いと思いますよ。ボクはやりたくないですけど。ボクだったら、誰かさんの試合みたいに、他の人に止めてもらってサッサとリングを降りますよ（笑）。

——ガハハハハ！　でもやっぱり高田さんは好奇心旺盛ですよね。桜庭さんも好奇心旺盛だと思いますけど、それを見せないですよね。

桜庭　たぶん好奇心の質が違うんですよ。

——格闘家として、純粋にホイスとはやりたいんじゃないですか？

桜庭　どっちでもいいです。いや、ホイス以外とはやりたくないですよ。

——でも大きい人とやって勝てば〝柔よく剛を制す〟じゃないですか。

桜庭　……やっぱりやらなきゃいけないですかねぇ。

——トーナメントなんですから（笑）。ところで『PRIDE・GP』の大会自体はビデオで見直したんですか？

桜庭　はい。あ〜、でも酒飲みながら見てたからなあ。



——大会全体を見渡して目についた選手っていうと誰ですかね。

桜庭　やっぱり藤田ですね。あのキャラクターと、やっぱりあのパワーが凄いですよね。

——当日は藤田選手と話したんですか？

桜庭　話しましたよ。試合終わってから控え室に来たんですよ。それで「お疲れさまでした」って。

——ズコッ！　それ挨拶しただけじゃないですか（笑）。

桜庭　いや、「せっかく横四方取ったのに、自分からガードポジションに入っちゃダメだよ」とか、そういう話ですね。自分から股の間に入っちゃったじゃないですか。殴るにしても横四方の状態で殴ったほうが効くし、最後も横四方から袈裟固めにいけたし。

——逆パスガードしたわけですね（笑）。

桜庭　ヒャハハハハ。だから、押さえ込みするときは横四方か上四方でいったほうがいいんですよ。

——その藤田選手とも勝ち抜けば当たる可能性がありますね。

桜庭　それはないでしょう。

——なぜだ！（笑）。

桜庭　ボクは最初はホイスで、次が棄権なんですから。

——まだ言いますか（笑）。

桜庭　ホントに心の底からイヤなんですから！

——でも、なんかのコメントで見たんですけど、「実は大きい人とやるのは楽しみな部分もある」って言ってたじゃないですか。

桜庭　あ、そうでしたっけ？　都合の悪い部分はすぐ忘れるからなぁ（ニコニコ）。

——〝忘れる才能〟ですね（笑）。

桜庭　なんかの本にも書いてあったけど、忘れるのも才能なんですよね。ホントは都合の悪い部分は覚えてるんですけどね。忘れたフリをしてるんですよ（笑）。

——ガハハハ。でも忘れたフリを続けてると、ホントに忘れちゃうことってあるじゃないですか。

桜庭　あ、それはありますね。

——桜庭さんがリラックスして試合に出るのも、ホントは緊張してるんだけど、してないフリをしてる内にそういう術を身につけたっていう部分はないですか？

桜庭　そういうのはあるかもしれないですね。いつも緊張はしてますけどね。でもその緊張がいい方向に行けばいいんですよ。


——というわけで、酒を飲みながら見てた自分の試合はどうなんですか？

「面白い試合ができなくてスイマセン（byサク）」



メッツアーがグラウンドを徹底的に嫌ったため、サクはなんと相手の土俵である立ち技で勝負！　元キックボクサーに対してハイキック、バックキック、さらにはアイ〜ンチョップまで決め、立ち技でも闘うおもちゃ箱ぶりを発揮。あのメッツアー相手でも魅せる試合を展開しようとし、八方塞がりな状況の中、プロの闘いをリング上で模索し続けたサクには本当に頭が下がる。

Kazushi Sakuraba



桜庭　辛かったですか？

――いや、ボクらは辛くはないですけど、ビギナーのお客さんは辛いかもしれないですね。

桜庭　それは辛かったかもしれないですよね。それは本当に申し訳なかったです。この場を借りて謝ります。どうもすいません。

――でも、いままでの桜庭和志の闘いの歴史があるから、1回くらい固い試合があってもまったくノー問題ですけどね。

桜庭　これを反省材料にして考えれば、次はまたやる気になりますからね。いい方にいい方に考えますから、ボクは（笑）

――全然話は変わるんですけど、桜庭さんはWWFに興味はありますか？

桜庭　ボクはあんまりないですね。

――新日本のジュニア戦線に出たいというのは前々から言ってますよね。でも個人的には、プロレスのリングでデカい人とやってほしいんですけどね。

桜庭　ああ。

――安田忠夫、中西学、それからデカイ外人選手とか。

桜庭　安田さんには1回ジャイアント・スイングやられてますからね。ボクはジャイアント・スイングはできないから、回していいですかね？（笑）

――「炎のコマ」で！（笑）。それは見たい！（笑）。バーリ・トゥードでスーパーヘビー級と闘うのはスタイル的に大変でしょうけど、プロレスだったら縦の空間を使えますからね。

桜庭　あ！　プロレスでシャムロック兄とやってもいいですよ。普通のプロレスのルールでいいですよ。反則5カウントまでで、場外カウント20で（ニコニコ）。

――なにか企んでそうですね（笑）。桜庭さんは従来のプロレスのリングに上がって何を見せたいんですか？

桜庭　特にないです（ニコニコ）。

――ズコッ！　ないんですか！（笑）。

桜庭　イブシ銀ですね。

――なに年寄り臭いこと言ってるんですか（笑）。でも、桜庭さんが大きい選手や、パワーファイターをどう料理するのかっていうのは興味ありますよね。スモール・パッケージ・ホールドとか、逆さ抑え込みとか、返し技で3カウントを取る桜庭和志なんて、実に見てみたいですね。

桜庭　あ～、そういうシーンはボクもやってみたいですね。



――バーリ・トゥードであれだけ突拍子もないことやってるんだから、プロレスでも凄いシーンを現出してくれるんじゃないかって期待は高まりますよ。

この仕事は夢とか勇気とかを与える仕事。それをやらなきゃプロじゃないです

桜庭　やってみないとわかんないですね。

――また淡泊な（笑）。よくガチンコをやる選手がプロレスをバカにしたりとか、「プロレスはプロレス」って割り切ってやったりとかあるじゃないですか。あとは、肩書きはプロレスラーでも〝格闘家〟のほうがかっこいいって思ってる選手もいますよね、実際。そこで敢えて聞いてみたいんですが、桜庭さんは、なんで〝プロレスラー〟って名乗ってるんですか？

桜庭　ボクの基礎はレスリングですから。

――「プロレス」っていう言葉に対してはどういう思いがあるんですか？

桜庭　好きですよ。ただ、説明するときに「あれは本当ですか？」とか聞かれるのはイヤですけど。

――なんか、高田道場の役割っていうのは、『PRIDE』というものを舞台にして、傷つきすぎた「プロレス」っていう言葉の復旧作業をやっているような、そういうイメージがありますよね。

桜庭　今回もプロレスラーっていう肩書きの人がたくさん出てきたし、そこで本気でやればプロレスのイメージもまた変わってくると思うんですよね。

――従来のプロレスか、ガチンコ方面かどっちかに偏る人が多いのに、高田さんとか桜庭さんは振り幅が広いですよね。

桜庭　偏ったら面白くないですもん。試合と一緒で。ボクは一応打撃も使うし、レスリングも使う。打撃だけでも面白くないし、レスリングだけでも面白くない。そういう意味でも両方できるのが一番ですよ。

――毎日毎日ラーメン屋で食事しても栄養が偏りますからね（笑）。

桜庭　ボクもたまにはイタリア料理に行きますしね（ニコニコ）。

――〝格闘家〟っていう肩書きがつくと、どうしても偏りがちじゃないですか。

桜庭　食事も偏ったら栄養が偏るじゃないですか。いろいろ食べたほうが健康になれますよね。

――ぜひ健康なマット界でいてほしいもんです（笑）。

桜庭　健康っていうことでいえば、お客さんが入るっていうのも健康のなかに含まれますよね。不健康だったら偏ったお客さんしか来ないし、そうなったら普通の人は見に来ないじゃないですか。いろんなタイプのお客さんが来てくれたほうが健康的だと思うんですけどね。この業界





2月9日に高田道場が、東急目蒲線武蔵小山駅から徒歩3分のところに、移転再オープンした。前田、佐竹らからお祝いの花も届いた新道場はキレイなことこの上なし。交通の便もノー問題!!　、ますますこれからの高田道場の活動ぶりに期待だ。電話03・5749・5030

がそういう意味で健康になれば、選手もお客さんからエネルギーをもらえるし、逆にボクたちもお客さんになにかを与えられるじゃないですか。

——いいこと言いますね。

桜庭　無理矢理作ったような感じですけど（ニコニコ）。

——確かにいまのマット界は不健康な部分はありますからね。提供する食事……これ、試合のことですけど、それを食べるお客さんの層にしても、偏ってることとってたくさんありますからね。

桜庭　偏ったら、どっかの宗教と一緒になっちゃいますからね。

——ミイラ化しちゃいますよね（笑）。

桜庭　死んだのに「死んでない」って言ってるのと、ギブアップしてるのに「ギブアップしてない」っていうのと一緒ですよ。やっぱり人間健康じゃなきゃ。

——猪木さんじゃないけど、「元気が一番！」ってやつですね（笑）。

桜庭　ヒャハハハ。そうですね（笑）。

——「俺たちがやってることがわからないならわからないでいい」っていうプロレスラーなり格闘家もいますよね。

桜庭　それはダメですね。なんか家康とか秀吉のアレと一緒じゃないですか。

——アレじゃわかりません（笑）。

桜庭　ホトトギスだかなんだかの話ですよ。たしか家康は「鳴くまで待つ」んでしたっけ？

——でしたっけ？（笑）。

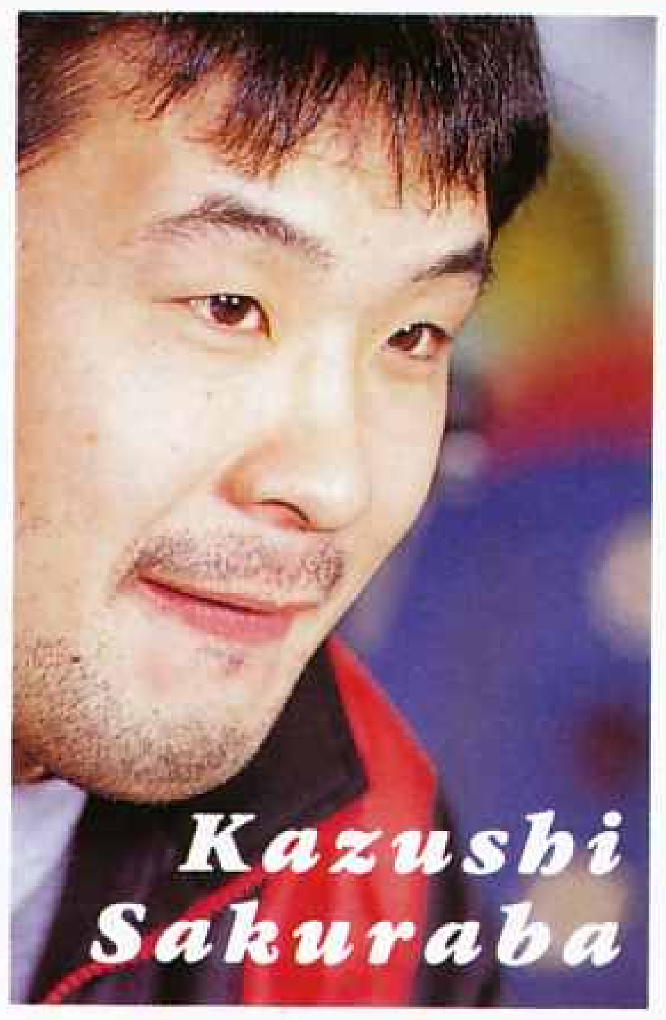
桜庭　あとは「殺してしまえ」と「鳴かせてみせよう」でしたよね？

——桜庭さんは「鳴かせてみよう」タイプですか？

桜庭　秀吉でしたっけ？　でも「鳴くまで待とう」と「鳴かせてみせよう」の両方ですね、ボクは。









——欲張りですね（笑）。

桜庭　とりあえず、ホトトギスは殺しはしないってことですね（ニコニコ）。

——桜庭さんは面倒臭がり屋だから、「わかんないならわかんないでいいや」ってなってもおかしくないのに、そうならないのはなんでなんですかね。

桜庭　そういうことを誰が言ってるのかは知らないけど、やってるほうが「つまらなかったらつまらなかったでいい」って言うんなら、ファイトマネーはいらないですよ。どっかでバイトでもしながらやるんならいいですけど。それはプロじゃないですよ。そういう人はプロって名乗らないほうがいいです。

プロレスラーの心とは「挫けないこと」「がんばる気持ち」です（ニコニコ）

——桜庭さんを始めとして、アマチュアの世界で名を馳せてプロ入りする人っていますよね。

桜庭　あ、ボクは馳せてません（笑）。

——いや、ここは話の流れ上、馳せたことにしといてください（笑）。そういうアマチュアで活躍した人の中にはプロの世界に馴染めないない例は多いですよね。柔道にしてもレスリングにしても。桜庭さんはプロの仕事の本質を掴むのがうまかったんでしょうね。ある意味でアマチュアのプライドを捨てて、プロとしてのプライドを培ったというか。

桜庭　でも、アマチュアのプライドは持ってますからね。だけどプロならお客さんを喜ばせないと。たとえば、すごい金持ちの人がドームのチケットを全部買って、タダでお客さんを呼んで『PRIDE』を開いたとしても、やる気は起きないですもん。ひとりの人だけじゃなくて、1000人1万人の人を楽しませたいですから。

——猪木さんは「お客さんに媚びるんじゃなく、手の平の上に乗せるというか」っていう言い方をするんですよね。

桜庭　ボクが試合を見る側だったら、自

新道場OPENの日、髙田延彦にホイス戦後の心境を直撃!!



試合直後は（ホイス戦を）「もういっちょ」って言ったけど、いまはその気持ちはないね。自分と見てる人とのギャップというか、温度差があるっていうことがわかってきたからね。あの日は自分自身は精一杯やったし、別に手抜きしたわけではまったくないしさ。ベストをつくしたつもりだったから、その直後にそういう言葉が出たと思うんだ。だからあの日は応援してくれた人に対して満足させることができなかったっていうジレンマと、申し訳ないっていう気持ちが一番あるね。これはしっかり正面から受けきゃいけないと思うし。自分について問題提起をしてね。

ヒザはね、12月のほんとのギリギリまで2ヶ月ぐらいスパーリングできなかったんだよ。あそこから調整ができたことで、まだまだやれる感触を得たんだよね。若いじゃんって。

ホイスについては、道着のテクニックっていうのは、俺は反則だと思ってたから！　まぁ、それはなしとして、驚かされる部分っていうのはまったくなかったね。5月のドームはまだわからないけど、やりたいっていう思いはいまはない。この状態ですぐ、じゃあ5月に誰かと「もういっちょ」とか、WWFに行こうとか、そういう安直な結論は出せないね。そういうところでは年齢は感じるね。肉体とかじゃなくて、ちゃんとしたチョイスをしなければいけない年齢っていう部分でね。

分の夢と照らし合わせて見て、それに向かって走ると思うんですよ。
――いま、なにかもの凄く似つかわしくないこと言いましたね（笑）。
桜庭　ヒャハハハ。でも、そんな感じですよ。ボクはそう思ってないですけど。
――ズコッ！（笑）。
桜庭　いや、そんな感じでは思ってるけど、そういう言葉では思ってないってことですよ。でもこの仕事自体は夢とか勇気を与える仕事だと思いますよ。それをやらなきゃプロじゃないですよ。
――実は今日のテーマは「プロ」っていうことだったんですよ。「プロコン」とカタカナで書いた造語をつくったんですよね。今号は暫定的に。「プロコン」のコンは「根性」「魂」「コンプリート」「コンタクト」他。
桜庭　それ「コンクリート」の「コン」じゃないですよね（ニコニコ）。
――ガハハハ。それは、実にイヤな「コン」ですね（笑）。でも、やっぱり「プロ」としての意識をいまほど問われてる時はないと思いますよね。いまさら聞くのもなんですけど、桜庭さんは「プロレスラー」というと、どういうものだと思ってるんですか？
桜庭　う～ん。プロレスラーとは強いもので、誰にも負けてはいけないという気持ちを持ちつつ、楽しませる気持ちも忘れちゃいけない。その両方を持つことですよ。もちろん努力して、イメージとしてはバケモノぐらいの強さをもつ。なんかそんな感じでいいですかね？
――いや、ボクに聞かれても（笑）。
桜庭　プロレスラーの心とは「挫けないこと」ですよ。それでいいです。
――それでいい（笑）。そして忘れる（笑）。
桜庭　でもそうですよ。挫けないで努力すれば、みんなが認めてくれるし、自然にいい試合もできるようになるんですよ。
――そこの部分だけ抜き出したら、もの凄く優等生的な発言になりますよ（笑）。
桜庭　あと「がんばる気持ち」（ニコニコ）。
――ちびっこ草野球の教訓じゃないんですから（笑）。
桜庭　いや、でも、ホントにがんばればなんでもできるんですよ。
――「元気があればなんでもできる！」ですね。
桜庭　はい。最近がんばらないでやろうとする連中が多いから。いままで入った練習生でも、がんばる前に諦める人って多いですからね。
――それで思い出したけどそういえば、「自我」ってありますよね。
桜庭　無我（ニコニコ）。
――一字違いですね（笑）。自分が成長したり、いろんな経験をする度に、「自我」も一緒に成長していくっていうイメージがあるんだけど、どうやら「自我」っていうのは成長しないものらしいんですよ。
桜庭　子どものころで出来上がっちゃうってことですか？
――そうそう。幼少の頃の環境によってつくられるものらしいんですよね。じゃあ「自我」が成長しなけりゃ、どうやって世界観を広げていくかっていうと、1回古くなった「自我」を壊して新しい「自我」を作るしかないらしいんですよ。このへん、全部受け売りで、しかも記憶がおぼろげですけど（笑）。
桜庭　それはどうやればいいんですか？
――やっぱり自分で「自我」を壊すのは大変な作業だし、怖いことなんですよ。でも、いい環境にいると、自然に古い「自我」は壊れて、新しい「自我」をスンナリとつくれる。だから、昔の軍隊とかプロレス団体の新弟子制度っていうのは、それまでのその人の「自我」を1回壊すじゃないですか。でも、いまはそういうシステムは合わないですよね。だから、プロ意識をもった人がなかなか育ちにくくなってるということは言えると思うんですよね。
桜庭　いまは、ちょっと殴ったら問題になりますしね。でも、ボクはある程度の体罰は必要だと思うんですけどね。ある程度のですよ。子どもは殴らなければわからない部分はありますよ。その殴り加減というか、気持ちの問題ですよ。ボクだって高校の頃、先生にボコボコに殴られたことありますし。
――プロレス界もグレイシー・ショックで1回「自我」は壊れてるんですよね。で、高田道場は、そのプロレスの新しい「自我」をつくり直す牽引車になってると思うんですよね。強引に結びつけちゃいましたけど（笑）。
桜庭　でも、なんとなく言ってることはわかりますよぉ。
――例えばアマチュアで培った「自我」が壊せないで、プロの世界での「自我」を形成できない選手もいるじゃないですか。
桜庭　あ、そういうことならボクにもありましたよ。でも、どうでもいいやっていうか（ニコニコ）。
――ホント、面倒臭がり屋ですね（笑）。
桜庭　でもそんな感じですよ。「もうどうでもいいや」って思ったらすぐ変われましたよ。やっぱ楽しくなきゃダメだよなぁっていう気持ちになっていきましたからね。
――そういうことなんでしょうね。プロレス界も古い「自我」にこだわらずに、新しい「自我」を本気でつくる時期に来てるんですよ。そのためには桜庭さんがホイスに勝ってもらわないと！
桜庭　じゃあ、ホイスに勝ったら、あとのトーナメントは棄権していいですか？（ニコニコ）。

【ホイス戦が正式決定する前の2月9日／高田道場にて収録】



2・26
KING of KINGS
武道館大会直前

田村
グレイシー討伐を公約！
「ヘンゾに負けたら坊主になります!!」

燃えよ!! プロゴン 2000 BURNING SPIRITS

聞き手／堀江ガンツ
interview by Gantsu Horie
聞き手／チョロ
interview by Choro
撮影／黒田史夫
photographs by Fumio Kuroda

潔司

Kiyoshi Tamura

いよいよ目前に迫った、『KOK』グランドファイナル。いや、田村潔司vsヘンゾ・グレイシーと言った方がよいだろう。その注目度の高さを物語るように、近頃はあらゆる雑誌で田村のインタビューを目にすることができた。それらの記事で田村のヘンゾ戦への意気込みは、既に感じとっている読者も多いだろう。

そこで本誌はヘンゾ戦のみにとどまらず、そこから一歩踏み込んで、見事グレイシー越えを果たす（予定の）田村のプロ観をいま一度深く掘り下げる作業をしてみたいと思う。

田村にとってプロとは何か？ UWFとは何か？ そしてプロレスとは何か？

——田村さん、突然ですが、この間はおめでとうございました。

田村 ん？ あ、ありがとうございます。

——この間のアブダビ予選でU-FILEの選手が、結果的には2位でしたけど、田村さんより一足早くグレイシー越えを果たしちゃったんですよね（笑）。

田村 えっ！ そうなんですか？

——知らなかったんですか（笑）。グレイシージャパンのクリスチアーノ上西という選手に勝ったんですよ。

田村 そうなんだ。ウチの弟子が（笑）。

——U-FILE所属の選手だっていうんでどんな選手かなって思ったら、田村さんの体型とはまるっきり違うポッチャリした選手だったんでビックリしました（笑）。名前はなんていうんでしたっけ？

田村 カメ（笑）。

——アハハハ。通称カメですか（笑）。なんか二日前にヒールホールドを教えてもらったって言ってましたよ（笑）。

田村 アイツ、そんなこと言うなよ（笑）。でもカメは本当の初期の頃から来てるんで、たまに一緒にスパーリングをやることもあるんですよ。ある程度……逆にボクの練習にもなるぐらいですから。

——体重も結構ありますしね（笑）。

田村 そうそうそう（笑）。

——田村さんはアブダビって大会に関しては興味とかはありますか？

田村 よくわからないですけど、多少興味があります。

——今年は前田社長もアブダビに行くみたいですね。

田村 へぇ〜、そうなんだ。結構マメに行ってるんですね。選手を発掘するんですかね。

——そうだと思いますけど（笑）。でも前田さんが呼んでくる選手はハズレがないですよね。

田村 あぁ、ハズレはないですよね。

——ブラット・コーラーにしてもそうですけど、ファン受けのいい選手を呼んできますよね。

田村 うん、そうですね。でも、昔から「世界、世界」って言ってたじゃないですか。だから、引退されて社長業に専念できたんで、いろいろあっち行ったりこっち行ったりできるから、それは凄くいいことだと思いますよ。

——リングスUSA設立の動きもあるみたいですからね。

田村 でもそれで国内が疎かになって足下が見えなくなる可能性もあると思うんですよ。だから世界は前田さんに任して、国内はボクに任せて欲しいですね。

——それは頼もしい発言ですね（笑）。でも確かに、ここ最近は、見る雑誌、見る雑誌、リングス関連の記事は田村さんのインタビューばかりですよね。

田村 そうですね。そうなんですよ（笑）。

——TBSの「花まるマーケット」まで出てましたからね（笑）。

田村 アハハハ。今が旬ですから（笑）。あとはもう落ちるだけです。

——ズコッ！（笑）。それで、その旬である今度のKOKトーナメントなんですけど、もう何度も聞かれてると思いますが、弟子のグレイシー越えに続いて、本家グレイシー越えについてなんですが、ヘンゾ・グレイシー選手の技術っていうのは田村選手はどのように評価してるんですか？

田村 ボクは実際に練習をしてるとこを見た訳ではないので何とも言えないんですけど、う〜ん、どうなんだろうな。ボクはグレイシーとか、柔術系の練習は一切やったことがないんですよ。ボクの練習は



1月20日に行われた『アブダビ』予選で、見事"グレイシー越え"を果たしたU-FILEの「カメ」こと小谷野哲雄選手。試合後は「田村さんのGOサインが出れば、パンクラスでもどこでも出ますよ！」と発言。田村の弟子らしく、早くも"プロコン"を持っているようだ。ところで、実績からしてこの小谷野選手がU-FILEのトップかと思いきや、実は中級クラスであることが判明。リングスの底辺拡大は着実に進んでいるようだ。



1・2回戦では坂田亘とモーリス・スミスを秒殺。グレイシー一族の中でも最強との呼び声もあるヘンゾ。田村はこの男を下し、グレイシー神話を終わらせることができるか？

全てスパーリングの実戦での動きの中での技術なんで。よくわかんないですけど、グレイシーは結構、型にとらわれるっていう部分があると思うんですよ。だから、実戦の動きでは、それは使えねぇだろっていうのもあると思うし。……まあ、なんとも言えないんですけどね。

—柔術には実戦では使えない動きがあるってことですか？

田村　あるんじゃないですかね。……う～ん、でも、よくわかんないです（笑）。

—いま総合をやってる人達っていうのは、なんかしらグレイシーの技術を応用してる選手が多いと思うんですよ。

田村　はいはいはい。そうですね。

—田村さんは影響を受けた部分ってあるんですか？

田村　ボクはもうグレイシーの技術はないですから（キッパリ）。ボクが持ってる技術は実戦で使えるものですから。実戦で使えたものを反復練習してるんで。

—それでグレイシーの技術の話にも繋がると思うんですけど、最近『ゴング格闘技』で、高田（延彦）選手が「ＵＷＦでやってたグラウンドっていうのは今のバーリ・トゥードでは役に立たなかった」っていうことを言っていたんですよ。

田村　ちょっと見ていいですか（高田インタビューが掲載されている『ゴン格』をしばらく熟読する）。



ボクと桜庭が闘ったら、それがＵＷＦスタイルの最終地点です

—田村選手はＵＷＦスタイルから派生したリングススタイルと、それ以外にも今回のＫＯＫみたいなスタイルもやってますよね。それは、いままで自分がやってきた技術があるからこそ対応出来るっていう感じはあるんですか？

田村　それはもちろん！　だってそれをやってるわけですから。だからまあ高田さんがどうこうって言うわけじゃないですけど、高田さんは、パスガードが出来て押さえ込んだら凄い力を発揮する人ですから。その過程の中でグレイシー系の人っていうのは、パスをされた時点で負けっていう発想があると思うんですよ。それをさせてもらえなかったら敗因になると思うんで。もしこの間、高田さんがパス出来て、横四方で押さえ込みが出来てたら、腕絡みとか、ケサ固めとか、アームロックとか絶対に取れてたと思うんですよ。だから、ボクが言うのもちょっと失礼な話なんですけど、寝技の基本っていうのは、ＵＷＦのときも含めて高田さんは何十年もやってましたんで出来てると思いますから。ただ、一つ言えるとしたら、高田さんは相手の土俵で闘ってるって思うんですよ。

—あぁ～、なるほど。

田村　それがボクの見解ですね。でも本当に秘めた力っていうのは、全然高田さんの方がありますよ。たまたま偶然……偶然じゃないにしても、実力が出し切れてないですよね。そういう意味では、いい意味でも悪い意味でも（バーリ・トゥードは）向いてないのかも知れませんね。

—田村さんは自分の土俵に引きずり込むというか、自分の土俵で闘う自信があるってことですか？

田村　いや、ボクはどっちでもいいですよ。向こうの土俵でもいいですし。ボクがさっき土俵って言ったのは闘い方の違いのことなんですよ。ボクは多分、パス出来ると思うし、パスさせない自信もあると思うんです。やってみないとわからないですけど。

—田村選手は「Ｕスタイルを守りたい」って言ってますけど、一方でそのＵスタイルはクラシックなスタイルだっていう意見もあるじゃないですか。

田村　はいはい。

—田村さんが言っているＵＷＦのスタイルって言うのは、あの頃のスタイルそのままじゃなくて、田村さんの中で進化したというか、形を変えての、いまのＵＷＦスタイルって言うことですよね。

田村　……（熟考）。そう。Ｕスタイルを進化させたのがボクのスタイルなんです。前田さん達がやってたＵＷＦスタイルとは一緒だとは思ってないです。ただ、ＵＷＦスタイルの基本の原型は、やっぱりなくしちゃいけないんで、それを次の世代には、より進化させるという意味でボクは言ってるんであってね。だから、要はお客が喜んでくれて、やってる選手も楽しめて、練習したことがリング上で出せるかってことなんですよ。

—Ｕを守るってことはＵＷＦルールを守るってことではないんですよね？

田村　う～ん、難しい質問をするなぁ（苦笑）。う～ん……いまの段階で、お客さんに夢を与えて、やってる選手が技術を見

せられるっていうのは、Uスタイルだと思うんですよ、ボクの中では。だから、ルールっていうのは変わっても変わらなくても、お客さんが感動して夢を与えられて、やってる選手が楽しくというのがボクの中でのUスタイルなんで。

――今回のKOKでの田村選手の試合を見てても、ルールはバーリ・トゥードに近いルールですけど、田村選手が闘ってるのを見てるとUスタイルだって気がするんですよ。例えばバーリ・トゥードでもコピィロフが闘えばサンボスタイルだし、グレイシーがやると柔術スタイルじゃないですか。

田村 （納得して）うんうんうん。

――（満足げに）田村選手がやるとUスタイルという感じだと思うんですよ！

田村 あぁ、なるほどね。……ヘッヘッヘッ、なんかシメたって顔してるね（笑）。

――アハハハハ。バレましたか（笑）。

田村 すんごい微笑みしてましたよ、いま（笑）。でもそうですね。スタイル別に分けれればそうですよね。

――いままで田村さんのインタビューっていうと「Uを守ります」って言葉がずっと出てきたじゃないですか。その本当の意味っていうのを汲み取ってない人が多いような気がしてたんですよね。抽象的に捉えてるというか。

田村 どういう風に捉えてるんですかね？ 例えばね、ボクのUスタイルというのは……やっぱり今、多少なりとも格闘技ブームとか言われてるのはUWFがあったからじゃないですか。

――それは間違いなくそうですよね。

田村 この間も、どこの団体とは言わないですけど、膠着状態が多かったじゃないですか？

――あぁ、ありましたね（笑）。

田村 そういう試合を見て、じゃあ格闘技をやりたいって気持ちになる人っていうのは少ないと思うんですよ。10人の内に1人いたとしても、昔はUWFスタイルを見て格闘技をやりたいっていう人は10人の内に2人以上は絶対にいたと思うんですよ。お金を取ってやってる以上は影響を与えなきゃいけないと思うんです。その分は返さなきゃいけないし、夢と感動を与えて、次に繋げるような試合を見せなきゃいけないっていうのがボクの考えなんですけど。だから、どうなんですかね？ 誤解っていうか、そういう風に受け止めてない人もいると思うんですけど……ちょっとわかんないですね。

――この間のどこかの大会じゃないですけど（笑）、確かにあの大会を見て格闘技をやりたいって思ったファンはそんなに多くはないでしょうね。

田村 でしょ？ そうでしょ。

――田村さんも言ってるとおり、やってる本人も楽しいっていうのも重要だと思うし、お客さんを満足させるっていうこともUスタイルの中では大きな部分ではありますよね。

田村 だから最終的に、桜庭（和志）の名前を借りると、ボクと桜庭がやったら、ボクの中でのUスタイルの最終地点になると思います。

――はぁ～、田村vs桜庭戦はUスタイルの最終地点ですか！

田村 多分、スイングするだろうし、見て面白いと思いますから。だけど、それは両方がそういう技術と意識を持ってなきゃ出来ないですよね。勝敗にこだわらないっていうか、もちろん勝ちたいって気持ちはあるんでしょうけど、その流れの中で動いて楽しみたい、動きを見せたいっていう意識がないと出来ないんで、現時点で出来るのは、桜庭ですね。そういう技術とか試合が出来る選手っていうのは、最低5～6年……10年ぐらいかかるのかなぁ。早くて5年ですよね。

――バーリ・トゥードでもそういう意識のある選手が人気があって、その中でも桜庭選手やアレク（サンダー大塚）選手はプロレスラー魂を持った選手と言われてますよね。桜庭選手みたいに最近はバーリ・トゥードしかやってない選手でもプロレスラー魂を持ってると言われてますけど、田村選手も当然プロレスラー魂を持ってるんですよね？

田村 う～ん……うん、持ってますね！ やっぱり、まだボクらってプロレスと格闘技のどっちつかずだと思うんで。だから、プロレスラーって意識もありますし、格闘家っていう意識もありますし……その半分ぐらいでいいんじゃないですか。いい時には格闘家で、立場が悪くなったらプロレスラーと（笑）。

――アハハハ。安生さんが、おネエちゃんのいる店に行ったらK-1ファイターを名乗ってるみたいなもんですね（笑）。

田村 アハハハ。でもそれでいいと思いますよ。

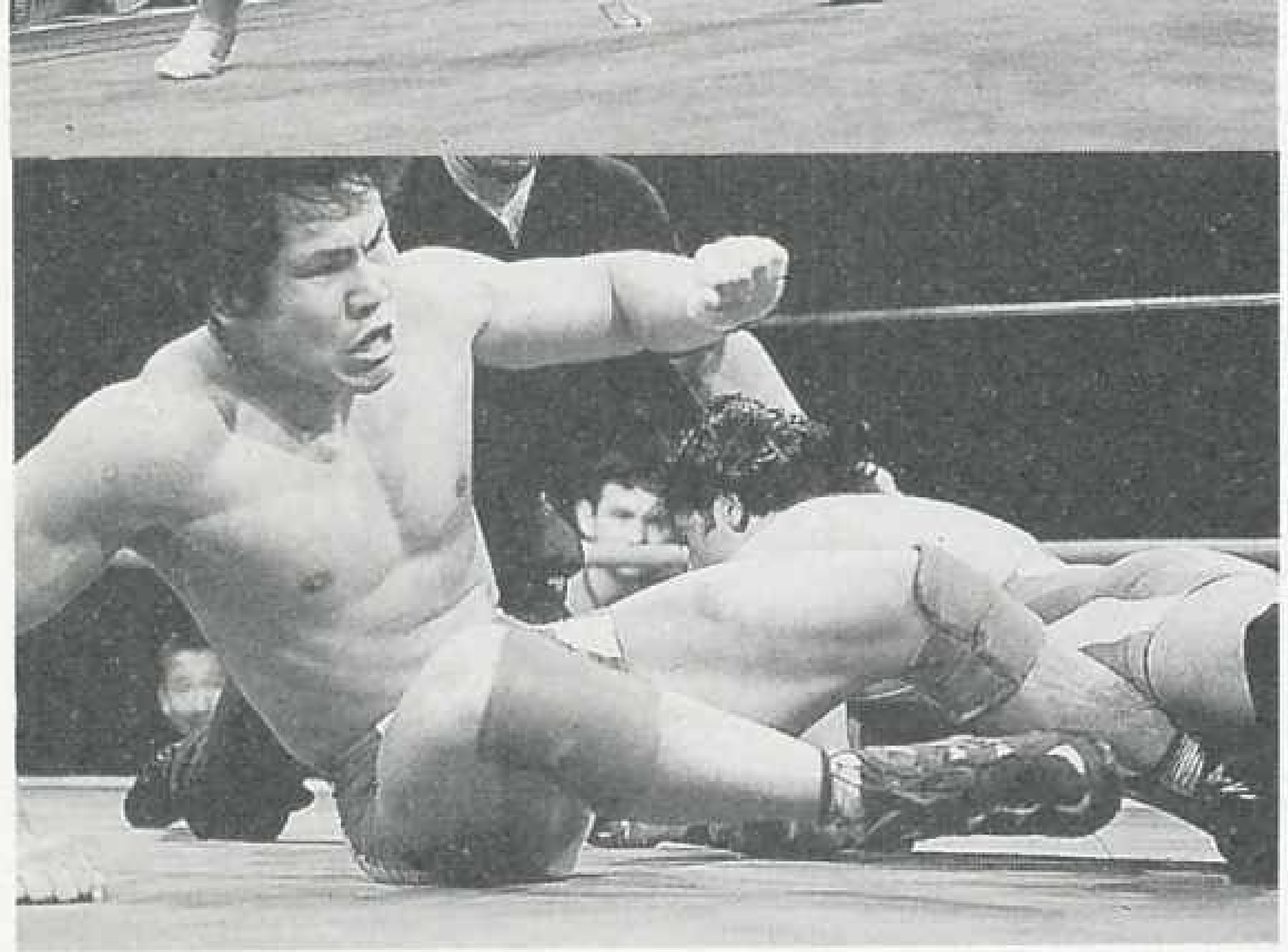
――田村さんはプロレスっていう言葉にはどういう感情を持ってますか？

田村 う～ん……（熟考）。いや、特にないですよ。

――プロレスって言葉はいろいろ誤解されやすいというか、ストレートに受け取られない場合がありますからね。UWFのときもプロフェッショナル・レスリングって従来のプロレスとは一線を引いてた部分もあったじゃないですか。最近ではプロ格とか格プロとか取って付けたような

Kiyoshi Tamura





1・2回戦では負けられないという思いが強すぎたのか、普段より動きが堅かった田村。しかし巨大なプレッシャーの中、デイブ・メネーとジュリアスコフを下し、リングス・ジャパン全滅の危機を最後の最後で救ってくれた。そして試合後は感情を爆発させてリング上で涙を見せた。 武道館でも歓喜の田村が見たい！

言葉もありますけども、プロレスに代わる新しい言葉が出てくれれば一番分かりやすくなるとは思うんですけどね。

田村　はぁ、新しい言葉ですか。なんかありますかね？

――さっき言ったプロレスラー魂じゃないですけど、魂を「コン」と読んで「プロコン」って、今回は取って付けたんですけど（笑）。プロの根性を持った選手でもいいし。無理矢理ですけどね（笑）。

田村　うんうん。……でも、プロレスでいいんじゃないんですか（あっさり）。だって、プロレス、キックボクシング、柔道、空手っていうのは絶対的な知名度があるじゃないですか。まあ、いまはK―1っていうのが流行ってますけども、老若男女、K―1って言葉を知ってるかって言ったら、そうは思わないんですよ。でもプロレスっていう言葉は幅広く浸透してますから、プロレスでいいと思うんですけどね。……ダメなんですか？

――いや、いいんですけど（笑）。前田さんも敢えて使わないようにしてるところもありますよね。

田村　あぁ、そうか。……まあ社長の言うことは絶対ですからね（笑）。

――アハハハハ！　ＵＷＦもリングスも広く捉えたらプロレスと言えるし、バーリ・トゥードや総合格闘技も広く捉えたらプロレスですよね。

田村　う～ん……はい、はいはい。

――でも、プロレスでも格闘技でもいいんですけど、強くて面白い選手っていうのは、しっかりしたプロの意識を持ってる選手だっていう気がするんですよね。

田村　あぁ、なるほどね。じゃあボクはプロコンを持ってるんですかね？（笑）。

――田村選手はプロコンがあります（笑）。アレク選手なんかは、「ボクには技術はない」ってよく言ってますけど、（イゴール）ボブチャンチンを相手に一歩も引かない闘いを見せて、お客さんのハートを掴みましたからね。やっぱりプロレスラーとしてプロの根性を見せられる選手をお客さんは評価しますからね。

田村　そうそうそう。でも、彼は頭がいいッスよね。誰にしつけられたのかはわからないですけど。ちゃんと考えてますもんね。

――この間の『PRIDE・GP』の大会後にアンケートを取ったんですけど、バーリ・トゥードとか『PRIDE』とかを見てきて、逆にリングスというか、田村選手の言ってることがわかってきたっていう人が何人かいたんですよ。

田村　あっ、なるほど！

――それで、大会の感想を聞いたら、「つまらなかった」とか「ルールが悪い」っていう声が大多数で、その中に「リングスの今度のトーナメントが楽しみになった」っていうのも結構あったんですよ。

田村　うん、はいはいはい。そういう声をドンドン載せて下さいよ（笑）。

――アハハハハ！

田村　ただ、興行は当たり外れがありますからね。次の武道館大会が面白いよっていう保証はないんですよ。ただボクは、大阪大会までは、自分なりにお客さんが満足するような、5千円払ったら5千円分、リングサイドの1万、2万円の席を買った人にはその分のファイトを見せるような意識をして試合をしてたんで。次のことがどうこうっていうのはわからないですけど、そうやって生き残っていきたいという気持ちはありますからね。

――生き残るために、武道館以降のリングスっていうのはどういう風にしていきたいと思ってるんですか？　やっぱりエースである田村選手が引っ張っていくっていう部分は大きいと思うんですよ。

田村　はい。う～ん……でも正直言って、ボク1人じゃ、もうどうしようもならないんでね。いまは団体が選手を抱えてっていう時代でもなくなってきてると思うんですよ。

――前田社長も「リングスは団体じゃなくて"場"だ」って言ってますからね。

田村　ただまあ、ウチの社長の考えと、ボクの考えとあるんですけど、例えばこれからリングスっていうものを残していくためには、やんなきゃいけないことっていっぱいあると思うし。ある程度は……ボクらにも任せてくれってことですね。いままでは前田さんが「イエス」って言わなきゃダメだった部分も、ボクのイエスでオッケーになるような状況を作っていくっていうか、「ボクらに任せてくれますか？」っていう問いに対して、前田さんから「じゃあ、いいよ」っていう言葉を聞きたいですね。ボクは何をするにしても自分で責任を持って行動を取りたいと思ってるんで。それでボクの行動には一切口を出させない！……っていう感じになりたい（笑）。

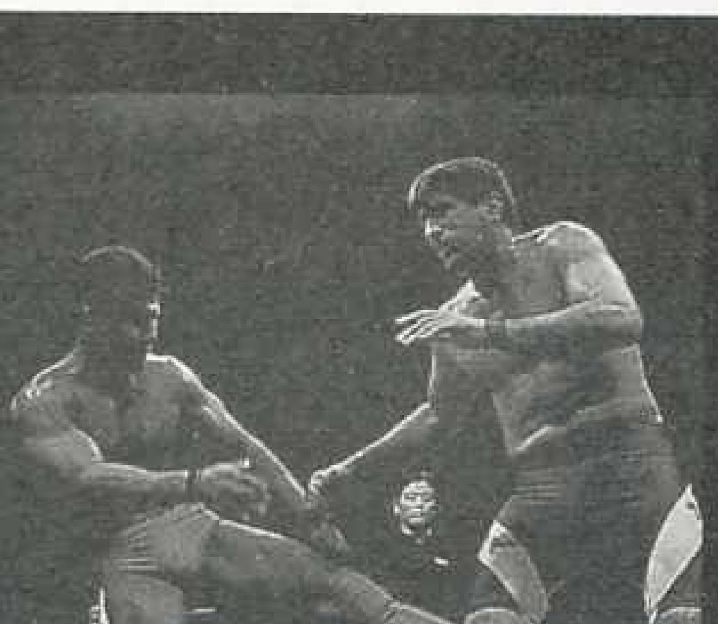
――また弱気ですね（笑）。

田村　いままでは前田さんが1人でやってきましたからね。あの人は器用なようで不器用ですし、不器用なようで器用ですからね。だから、不器用なときに、前田日明のマイナスの部分をボクが補う行動を取りたいと思ってるんです。そういう意味では、これからはハッキリ言ってボク1人じゃ絶対に無理ですし、細かいことを言ったら、フロントの営業、広報、事務の受付の電話の対応だとかね。

――そこまでいっちゃうと確かに1人じゃ無理な話になってきますよね。

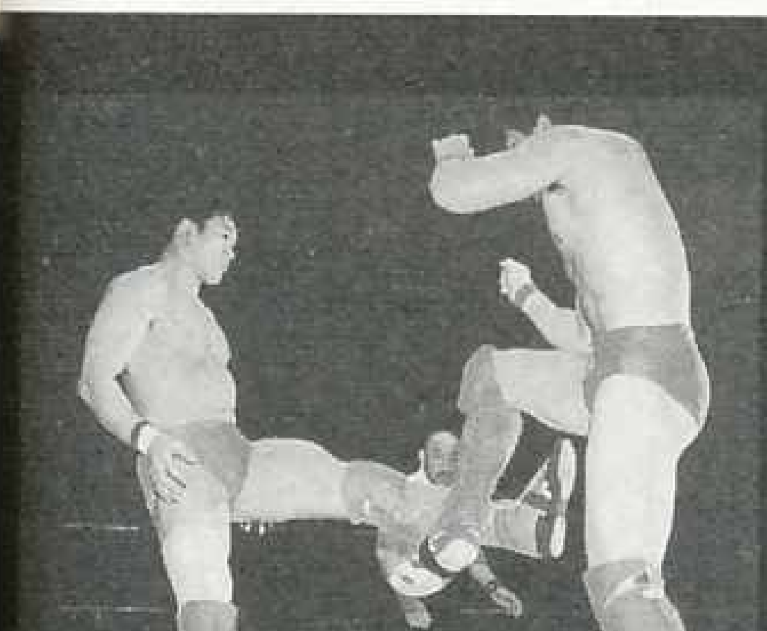
田村　あとはもう、リングスっていう競技を広めるためには、体のちっちゃい人も出来るように、一般のちょっと興味があって、「格闘技を習って、リングスの試合に出てみようかな」って思われるような環境を作りたいですね。いまは、よそでは階級別とかやってますけど、リングスでも国内だけは階級別でやってみたりとか、海外の選手を入れてもいいですし。本戦とは別に、野球で言ったら2軍、相撲で言ったら三段目とか、そういう位置づけをして競技を広げていく時だと思うんですよ。

本人が選んだ 田村潔司 激闘史！



vsヴォルク・ハン
（97・1・21日本武道館）

リングスに移籍以来、ハン戦以外は無敵の快進撃を続けてきた田村。その勢いはトーナメントに入ってからも変わらず、長井、ヤマヨシの"田村包囲網"をくぐり抜け、決勝のハンへのリベンジ戦に駒を進めた。ここで田村は再びハンに敗れたものの、回転体とはまたひと味違う、一級品の寝技の攻防を展開。桜庭戦が究極のUスタイルなら、この闘いは究極のリングススタイルと呼びたいものだった。



vs桜庭和志
（96・5・27日本武道館）

前座第1試合で行われたものの、桜庭の実力が始めて広く知れ渡ったという意味でも記念碑的な一戦。Uインターが新日本との対抗戦をすることによって、失われつつあったUスタイルをこの試合では存分に発揮。両者はグラウンドで一時も動きが止まることのない、回転体の完成型とも言える闘いを展開。田村はこのUで培った全てを集約したような試合を最後に、リングスへと闘いの場を移した。

前田さんに言いたいことは「ボクらに任せてくれませんか？」

――まさに底辺拡大ですよね。

田村　そうそう。それで、ボクにはU―FILEっていうものがあるわけですよ。ジム生の中でリングスで試合をやりたいとか、総合の大会で試合をやってみたいという人はいっぱいいると思うし。だから出来る限り責任を持って行動をとりたいです。ボクはもう1人であって1人じゃないというか。もちろんその上に前田さんがいるんですけど、前田さんがあって、ボクがいて、その下にも選手がいるっていう風に広げていきたいんで。個人的に言えば、自分は、まあチャンピオンですからね……でも、ボクにはみんなをまとめる器量はないんですけど。

――アハハハ。器量がないんですか（笑）。

田村　はい（笑）。ないんですけど、でも結局、ボクはリングスに入った頃から、リングスに骨を埋める覚悟でしたし、やっぱり力のあるもんには巻かれなきゃいけないわけですから。例えばボクが「今度の契約は更新しないよ」って言ったら、リングスジャパン勢がどういう対応をするかですね。「じゃあお前らでやっていけよ！」って言って、そこで「わかりました。自分らでやっていきます」って言うのか、「すいません、田村さん一緒にやっていきましょう」って言うかはわからないですけど。でも、そこまでの実績をボクは作ってきてると思うんで。

――実績は十二分にあると思いますよ。

田村　敢えて言えば……ボクは面倒臭がりだから、コミュニケーションを取るときに細かいことをしゃべるのが嫌なんですよ。……みんなはボクの悪口を全然言ってもいいんですよ。人間的に嫌いでもいいですけど、リングスっていう会社にいるわけですから、その会社を盛り上げようとする気持ちがあれば何を言ってもかまわないと思うんですよ。ただ、最低限、ボクのご機嫌は取れよと（笑）。

――アハハハハ！　それは必要ですね（笑）。それで今回はリングスの選手にトーナメント予想を聞いたんですけど、田村さんが優勝候補ナンバーワンですよ！

田村　アハハハハ。誰が言ってるんですか（笑）。

――リングスジャパンの選手は、ほぼ全員が田村さんって言ってましたね（笑）。

田村　そんなのはねぇ、ゴマスリですよ（笑）。でもそういうのはオッケー！　そういうご機嫌取りはオッケーです（笑）。

――滑川（康仁）選手は「他の先輩はなんて言ってますか？」って聞いてから答えてましたけどね（笑）。

田村　アハハハ。そうでしょ（笑）。

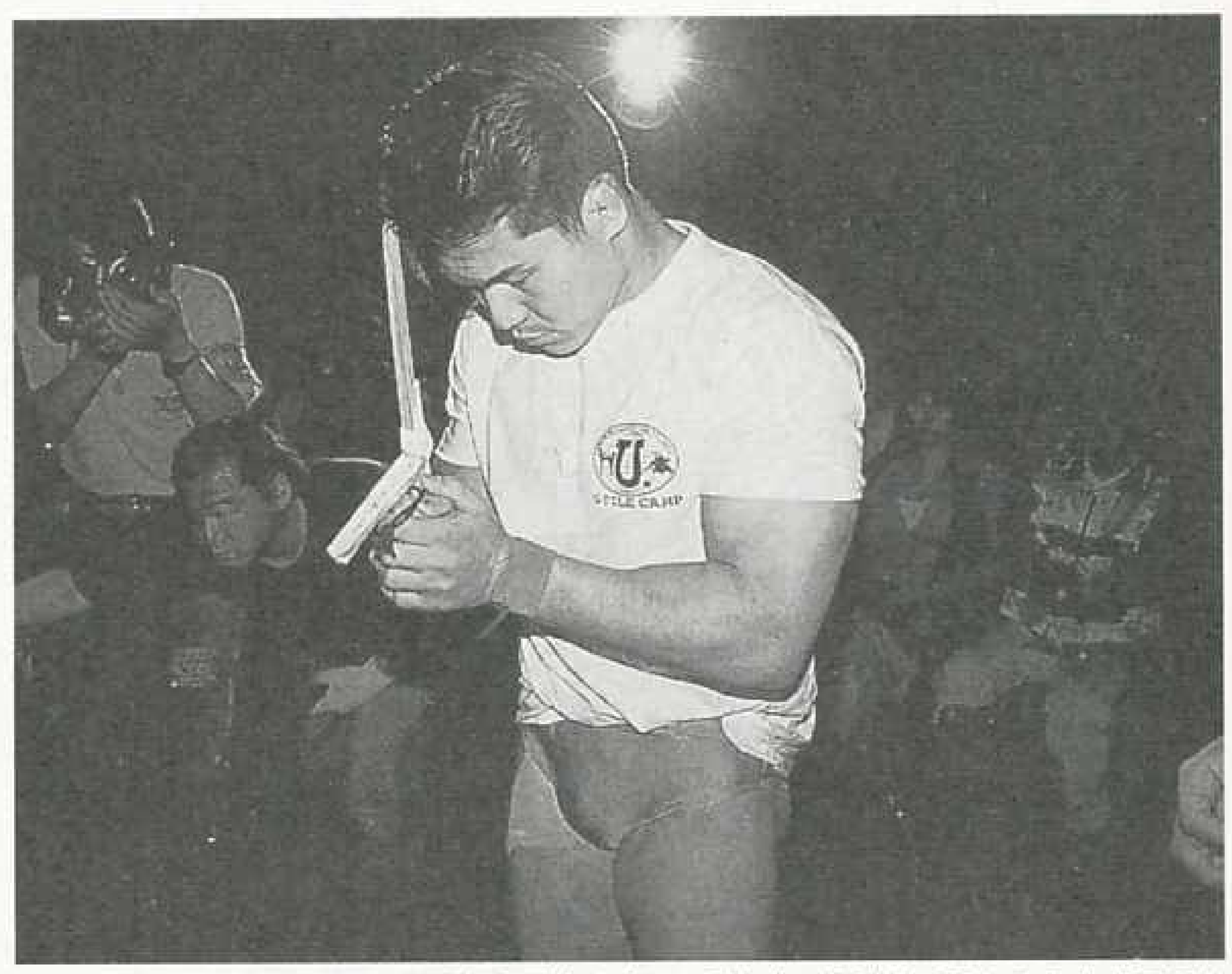
――ズコッ！　でも、トーナメント後のリングスの舵取りっていう部分も非常に興味深いですけどね。

田村　いや～、自分は「俺が俺が」っていうのは、あるようでないんですよね。ボクは、前田社長がいて、中間管理職がいて、その下にもいて、その下を広げたいと思ってるんで。みんなが活躍できて、それでボクがみんなよりちょっと活躍出来れば全然いいんで。ただ、それでね、ボクが思ってることを会社が受け入れてくれなかったら……やるやらないになれば、やらないではなくて出来ないですから。それはもう会社との話ですからね。

――あと、前田社長が最近、「若いうちは総合をやって、年を取ったらエンターテイメントのプロレスをやるとかの循環システムができればいい」っていう話をしてるんですけど、それについてはどう思いますか？

田村　あっ、そうなんですか。それはマジで言ってるんですか？

――「WWFとか面白いものもあるし、アメリカはみんなそうなってるんや」って言ってるんですよ。まあ確かにアルティメッ



パトスミ戦、山本戦、フランク戦と田村が「ここぞ」という試合で手にする小太刀のお守り。これら重要な試合で常に結果を出してきたのが田村の強みだ。ヘンゾ戦でも田村なら必ず我々の期待に応えてくれるだろう。



vsフランク・シャムロック
(99・4・26大阪府立体育会館)

ＵＦＣミドル級王者フランクがリングスルールに挑むことで注目された一戦。ＴＫとの練習で田村対策万全のフランクは、開始早々の飛びつき十字でエスケープを奪うと、その後は判定勝ち狙いのディフェンシブな闘いに終始。田村は一本勝ちを狙い、一度はＶクロスを完全に極めるもＴＫシザースで逃げられ、結局はポイント差無しのドローとなる。白熱の好勝負も田村は「勝たなきゃダメ」と肩を落とした。



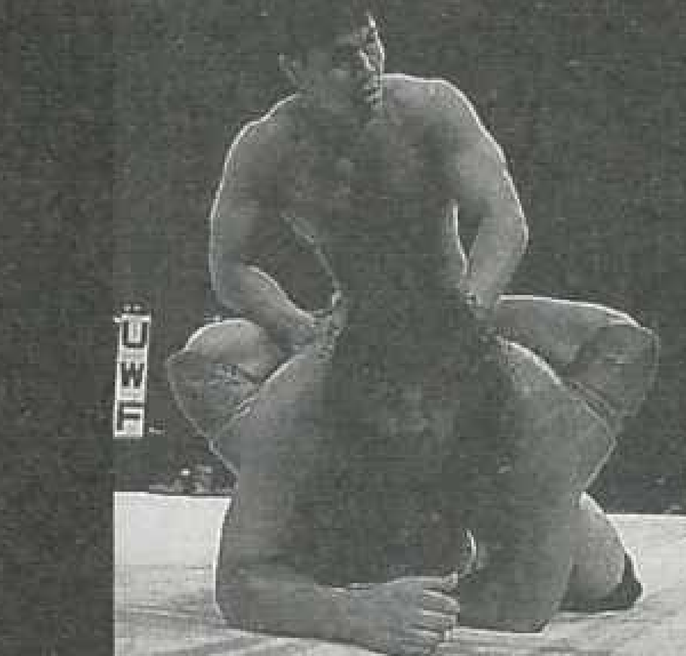
vs山本宜久
(96・12・21福岡国際センター)

リングスに移籍してきた田村を最も意識したのは、当時ケガで欠場中の前田からメインを任されていた"エース"山本宜久だった。両者のイデオロギーがぶつかるこの試合に、田村は初めて小太刀のお守りを手に、Ｕインターのジャージーを羽織って入場。ヤマヨシの反則ギリギリの厳しい攻めを凌いだ田村は、大逆転の飛びつき腕十字で勝利。試合後田村はジャージを客席に投げ込み、ＵＷＦを清算した。



vsパトリック・スミス
(95・12・9名古屋レインボーホール)

新日本とＵインターの対抗戦に一人背を向けＫ－１のリングに殴り込んだ田村唯一のＶＴ戦。しかも現在のような整備されたルールではなく、素手で顔面を殴り合う"アルティメット特別ルール"で行われた。当時は現在とは違い、日本人やプロレスラーがほとんどＶＴに勝てない中、田村は「圧倒的不利」の下馬評を覆して"狂犬"パトスミを秒殺。日本のＶＴ新時代を告げる役割を堂々果たした。



vsゲーリー・オブライト
(95・6・16両国国技館)

"第２の前田、アンドレ戦"と言われたセメントマッチ。真相は定かではないが、この日、高田が「極めて近い将来の引退」を表明するなど、Ｕインターが揺れる中、全日本への移籍問題の渦中にあったオブライトが仕掛けたとされるこの試合。田村は試合前からイスをリングに投げ込むなど、荒れるオブライトをしっかり技術で封じ込め、完全勝利。田村伝説のスタートとも言える試合であった。

トをやってた選手が、引退後にプロレスで脚光を浴びるっていうパターンも増えてますし。そういった格闘技界の循環についてはどう思いますか？

田村　ボクは全然オッケーですよ。……ただ、ボクには下がいるんで、それをやることによって新しい子が入って来たとしても、いままでやってた子が離れてしまいますから。ただ、前田さんはやってもいいと思うんですよ。

――ゲ！　前田さんがプロレスで現役復帰！　葉巻くわえて出てほしいですね（笑）。

田村　立場的にも前田さんはマット界に貢献してますし、引っ張ってきた人ですからね。20年選手だったらやってもいいと思いますよ。

――20年選手限定ですか（笑）。

田村　ボクはまだ10年ちょっとですから（笑）。前田さんから見れば全然下っ端ですからね。まあ割り切ってやる分には面白いでしょうけど……でもまあ難しい問題ですよね。まあプロレスに限らず、他の団体に出たりとか、『PRIDE』に出たりとか、アルティメットに出たりとかっていうのも、出たい気持ちはあるんです、基本的には。だけどそれをやることによって、新しいファンは掴めても、いままでのファンが離れちゃうわけですから。だからボクは、いままでのことを貫き通したいんですよ。で、下が育ってボクがどうでもいい状態になれば、何をしても構わないと思うんだけど、それまでは出たいと思っても……いままでそういう流れで来ましたからね。

――田村選手の理想のスタイルの話についてうかがいますけど、いままでで一番理想に近い試合っていうのは誰との試合になりますか？

田村　理想は、（ヴォルク・）ハンと桜庭との試合ですね。

――どの試合って限定するよりは、桜庭さんとの三試合だったり、ハンとの何試合って感じなんですか？

田村　はいはいはい、そうですね。

――それじゃ、この試合は特別印象に残ってるっていう試合は何になりますか？

田村　……う～ん（熟考）。パトスミ（パトリック・スミス）、（ゲーリー・）オブライト、……一発目の山本（宜久）ぐらいですね。

――はぁ、そうきますか。でもその答えは、ファンに、「田村潔司のベストバウトは何ですか？」と聞いても出てくる試合だと思いますよ。いまあげた試合は、例の小太刀を持ってきた試合が多いですね。やっぱり試合前から特別な思い入れがあった試合なわけですか？

田村　……まあ、そうですね。

――次のヘンゾ・グレイシー戦もおそらく小太刀を持ってくるんじゃないかって思ってるんですけど。

田村　いや、う～ん……（熟考）。持ってった方がいいですか？

――いやボクに聞かれても（笑）。でも、持ってきた方がドラマチックになるとは思いますけどね。

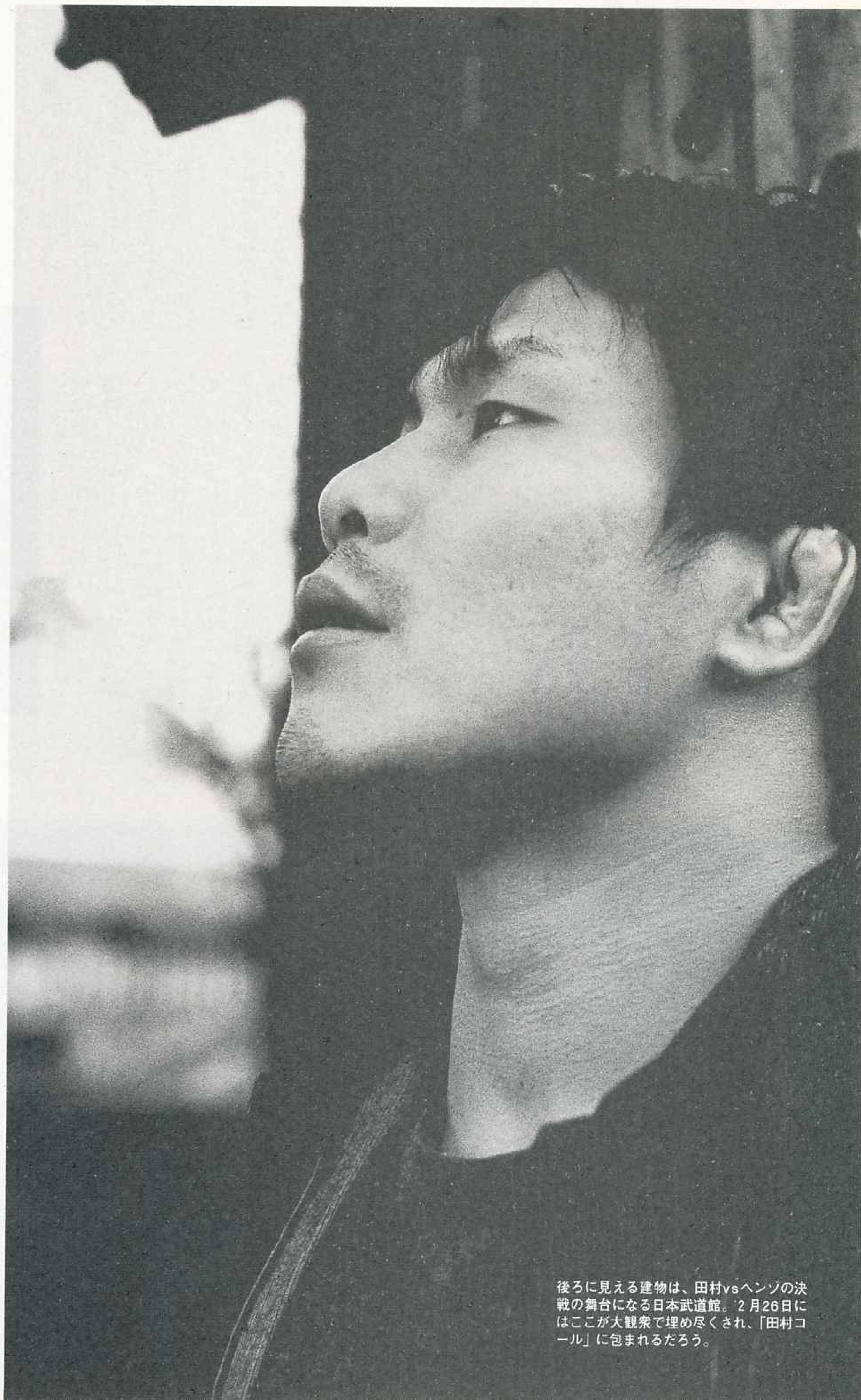
田村　どうなんですかね。たぶん持っていかないと思いますよ。

――小太刀を持っていった試合っていうのは、田村選手がどっちに転ぶかっていうか、ここで負けたらヤバイっていうか、ホントに勝敗が凄く大事な試合ですよね。

田村　う～ん、そうですね。まあ困ったときの神頼みですよ。

――小太刀は単純に神頼みってことだったんですか（笑）。でも、田村選手が凄いのはそういう節目節目の大事な試合をキッチリ取ってるってことですよね。

田村　そう、そうなんですよ！（笑）。……だからもういいッスよね、ボクは。



後ろに見える建物は、田村vsヘンゾの決戦の舞台になる日本武道館。2月26日にはここが大観衆で埋め尽くされ、「田村コール」に包まれるだろう。

――ズコッ！（笑）。そういえば、『PRIDE・GP』での会場アンケートで、次の田村vsヘンゾ戦、船木vsヒクソン戦の勝敗予想も採ったんですよ。そしたら、田村vsヘンゾ戦は圧倒的に田村勝利を予想する人が多かったですよ。

田村　へぇ〜、そうなんですか。

――そうなんですよ。でも、船木vsヒクソン戦はヒクソン勝利を予想する人が多かったんですけどね。

田村　えっ！　マジですか⁉　ボクは船木さんが勝つと思うんですけどねぇ。（小声で）船木さん勝つと思うんだけどなぁ。高田vsホイス戦はどういう予想だったんですか？

――試合後の感想だけしか採ってなかったんで、「ふざけるな」とかキツめの意見が多かったですね（笑）。

田村「もう絶対に見に行かない！」って言ってても結構また見に行っちゃうもんなんですよ（笑）。でも、もったいなかったですよねぇ。みんないい試合してればねぇ。……選手が悪いって言ってるんじゃないですよ。

――それはどういうことですか？

田村　ドームとか大きい大会が成功したら格闘技界がもっと盛り上がるじゃないですか。それはウチにとってもプラスになるんですよ。リングスだけを考えるっていうのも狭いじゃないですか。せっかく今回はフジテレビが付いたわけだし、格闘技界全体が盛り上がるいいチャンスだったと思うんですよ。だから……もったいない。

U系vsグレイシーは別々にではなく5対5全面対抗戦でやりたい。

――田村さんも、高田vsホイス戦、田村vsヘンゾ戦、船木vsヒクソン戦までをU系対グレイシーの3番勝負と言ってましたし、その三大会が間違いなく今年前半の格闘技界の大きなひとつの流れになるわけですから、当然、三大会とも盛り上がってほしいわけですね。

田村　そうですそうです。……でもホントは、ちゃんとした形でU系対グレイシーっていうのをやりたいんですけどね。例えば5対5でもいいですし。

――U系対グレイシーの全面対抗戦ですか！　それが実現できたらモノ凄いことになりますよ！

田村　ですよね。ドームでやってもチケットはすぐ売れるでしょうね。誰かやってくれる人はいないんですかね？

――U系の団体の選手を集結させるにはたとえアブダビの王子様でも難しいでしょうからね（笑）。

田村　実際には難しいんでしょうけど、夢の話として、Uに関わった人間対グレイシー柔術の全面対抗戦としてドームで興行を打つとしますよね。それでファンの人がU代表の5人を選ぶと。その5人の中で先鋒、次鋒とかを決めてね。そういうのをやりたいんですけどね。



Kiyoshi Tamura

――いまだと田村さんが大将ですかね。

田村　いやいや、とんでもないッス（笑）。実際にボクが選ばれるかどうかもわからないじゃないですか。

――いやいや、選ばれるのは間違いないです（笑）。

田村　まあ、それはいいとして（笑）。たとえ選ばれたとしても、ボクは先鋒でいいです。

――田村さんが先鋒だったら掴みはオッケーですからね（笑）。それで、夢から現実の話に戻しますけど、単純に、田村さんは、ホイス、ヒクソン、ヘンゾの3選手の中で一番強いんじゃないかと思うのは誰ですか？

田村　う〜ん、どうなんですかね？　なんかヘンゾが一番強いらしいってよく聞くんですけどね。

――そういう声は多いですね。

田村　だから、それでビビっちゃってるんですよ（笑）。

――また心にもないことを（笑）。

田村　いや、ホントにホントに（笑）。だから何とも言えないんですよね。やっぱり戦略的にはヒクソンが一番強いっていうのがファンの間では浸透してるんですよね。実際にボクも肌を合わせたことがないんで、周りからの情報でしか入ってこないですから何とも言えないですね。でも、一番紳士的なのはヘンゾ選手みたいですよね。

――そうですね。いまはグレイシーの中でもヘンゾが一番人気があるんじゃないですかね。

田村　ふ〜ん。昨日も取材で、多分（レナート・）ババルだと思うんですけど「ボクはお母さんと2人暮らしで、お母さんの為にもトーナメントで勝つ！」っていうVTRをボクに見せるんですよ（笑）。

――アハハハハ！

田村　どういう意図で見せてるのかはわかんないですけど（笑）。そういうのを見るとイライラするんですよ。

――そのイライラは今度のKOKでブツけてもらうとして、ズバリ優勝宣言でもしましょうか（笑）。

田村　それは厳しいなぁ（笑）。でも優勝すると2千万円じゃないですか？

――そうですよ。2千万ですよ、2千万！

田村　でも優勝しちゃったらみんなにたかられますよね（笑）。だからボクが万が一優勝しても、（大きな声で）だれにも1円も出しませんよ！　いっさいおごりません‼（キッパリ）。

――アハハハハ！　そんな気合い入れて言うことないじゃないですか（笑）。

田村　だってキリないですもん（笑）。

――確かにそうですけどね。それで、田村さんといえば、ビッグマッチ後には「勝ったら言いたいことがある」っていう恒例のマイクアピールがありますけど、今回は何かあるんですか？

田村　あっ、ありますあります。優勝したらやりたいことがあるんですよ。

――ほぉ〜。それを聞くためには優勝してもらうしかないですね（笑）。でもまた、「ベルトを賭けて成瀬とやりたい」とか言うんじゃないでしょうね（笑）。

田村　アッハッハッハッ。そうそう（笑）。

広報M氏　優勝したら『紙プロ』さんも何かしてくれるですよね。

——もちろんですよ！　田村さんの好きなエンクミ（遠藤久美子）か内田有紀さんと対談をセッティングしますよ。

田村　本当ですかぁ。出来るんですか？

——全力でブッキングしますよ！

田村　でも保証ないからなぁ。……じゃあ、ヘンゾに勝ったら10万円下さい。

——は、10万ですか？（笑）。ちなみに負けたらどうするんですか？

田村　負けたら、坊主になりますよ。

——ゲ！　ホントですか？　でも坂田さんもそう言っててやらなかったみたいじゃないですか（笑）。

田村　いやヘンゾに負けたらマジで坊主になりますよ。その代わり勝ったら10万円ですよ。

——前向きに検討してみます。

田村　会う記者の人みんなに「勝ったら10万くれ」って言ってるんですよ。10社に言ったら全部で100万じゃないですか。ボクは坊主1回で済みますから（笑）。

——（感心して）あっそうかぁ。でも、田村さん勝ちそうだしなぁ。

田村　……あまりノッてこなかったんで、いまの話はナシということで（笑）。

【00年2月4日、日本武道館近郊の・カフェ・ル・グランにて収録】

「高田さんがヒクソンに負けたとき、凄く悔しかったんです。だからいつかグレイシーと闘うときのために、ボクはあのときの悔しい気持ちを忘れないようにしてきました。ヘンゾにはなんの恨みもありませんけど、今度の試合は高田さんの仇を討つつもりで闘います」

田村はヘンゾ戦の抱負を聞かれたとき、静かに、そして力強くこう答えてくれた。

そう、すべてはあの〝魔の10・11〟から始まったのである。

そして昨年、サクがホイラーを下して、遂にグレイシー神話の一角を崩壊させた。しかし、これで打倒グレイシーを完全に果たしたわけではもちろんなく、むしろU系vsグレイシー一族の最終戦争の開始を告げる合図であったのだ。

1・30ドームでは高田がホイスに敗れ、グレイシー討伐の勢いもまた振り出しに戻った感がある。

ここからが本当の勝負である。

田村潔司vsヘンゾ・グレイシー
桜庭和志vsホイス・グレイシー
船木誠勝vsヒクソン・グレイシー

あえてUWFという言葉を使わせてもらえば、〝魔の10・11〟からスタートしたUWFvsグレイシーの最終戦争に相応しいカードが揃ったものである。

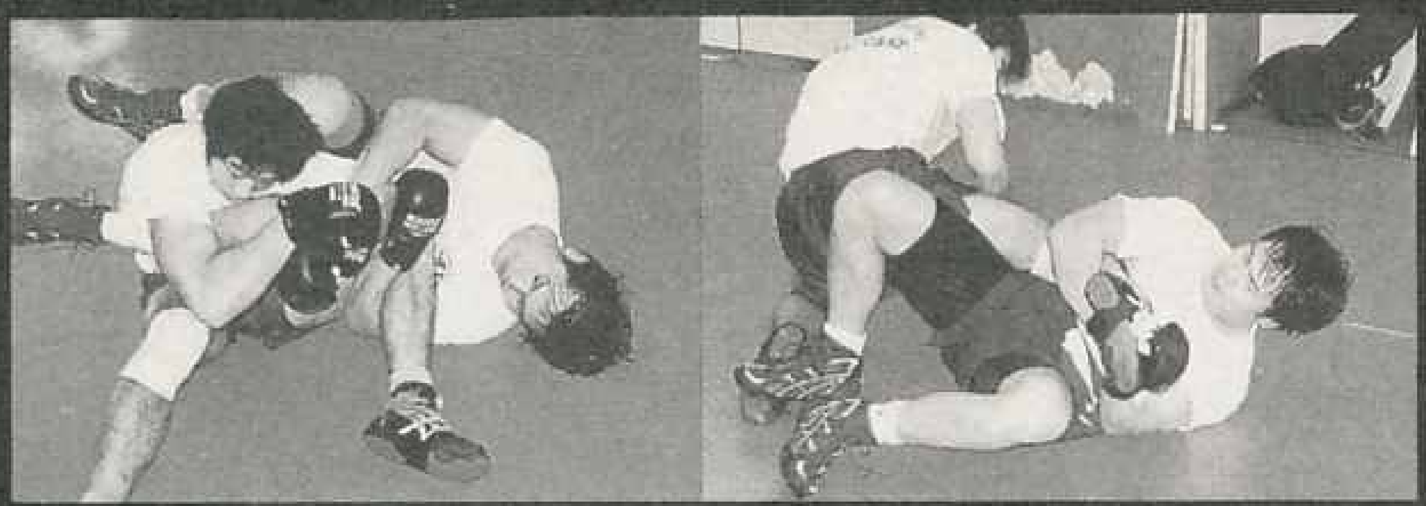
時は来た！

UWFvsグレイシー一族最終戦争。

先鋒は田村潔司！

いまこそ田村の言葉を思い出せ！

「ボクがUWFを守ります！」



オープンフィンガーグローブを付けての激しい実戦スパーを披露する田村「実戦から生まれた」（田村）という、数々のグラウンドテクニックは実にバリーエーション豊富だった写真はヘンゾ戦でも有効と思われる、足関節とガードを取られてからの十字　果たして田村は、グレイシーからの一本勝ちという歴史的快挙を成し遂げることができるか？

田村、ヘンゾ戦に向けて公開練習
「高田さんの仇は討ちます！」

2月8日、ヘンゾ戦を2週間後に控えた田村が、「U FILE CAMP」で公開練習を行った。

田村が練習を公開することは珍しく、どんなことを見せてくれるか注目されたが、「公開練習」の名の通り、まさにいつもの練習をそのまま公開。縄跳びに始まり、シャドー、ミット打ち、スタンドのマススパー、総合のスパーリング。タイムを計りながら、3本ずつ間隔を開けずに行い、約1時間半密度の濃い練習を見せてくれた。通常この手の公開練習は、取材用に写真を撮らせるために行うようなものも多いのだが、実に田村らしく真面目なものだった。

この練習で得に印象に残ったのは、1回戦のD・メネー戦で実に効果的だった左ストレート。シャドーやミット打ちで見せたそれはキレ味バツグン。ヘンゾ戦でもこのパンチが勝負の行方を大きく左右するだろう。グラウンドではガードを取られてからの攻撃や、パスガードを披露。ヘンゾ対策は万全であることを伺わせた

練習終了後の共同会見の質問は、やはりヘンゾ戦、グレイシー狩りに集中。田村は「最初に高田さんがヒクソンをやって負けたとき凄い悔しくて、あのときは前田さんが名乗りを上げたから言わなかったけど、あの負けがずっと忘れられなかったんですだからヘンゾにはなんの恨みつらみもないけど、高田さんの仇を討つつもりで闘います」と堂々とグレイシー討伐を宣言。普段はあまり大風呂敷を広げない田村が言うのだから、打倒ヘンゾの期待は高まるばかりだ

またヘンゾ戦以外にも気になる発言を連発。「リングスを広めるためだったら、リングスの選手として、これからは外に出て闘ってもいい」と他流試合の準備もあることを表明し、トーナメント後の田村からも目が離せない



2・6　リングス・オランダ大会
RINGS FIGHT GALA

アイブル、金原、KO勝ち　滑川惜敗

【主な勝敗】

○G・アイブル（4分49秒　TKO）J・カステル●
○金原弘光（4分32秒　KO）V・オーフレイム●
○W・ピータース（2R4分50秒　TKO）滑川康仁●

2月6日、リングスオランダ大会が観衆3500人（札止め）を集めて行われた。20日後にKOKを控えたアイブルは、17キロの体重差を跳ね返しカステルの顔面をボコボコにしてのTKO勝ち。KOKに弾みをつけた。金原はオーフレイムに昨年5月以来のリベンジ成功。滑川は善戦するもピータース越えがならなかった。

2000年バレンタインデーを性病科で過ごした男!——その名もチョロだあーーッ!!

紙のプロレス RADICAL

2000 No.24 CONTENTS



Art Director
出田さん ● San Ideta

Design
Two Three
ヒサくん ● Kun Hisa
マツ ● Matsu
村松さん ● San Muramatsu
セッキー ● Sekky
グッチー ● Gutty

Saotome no jimusho
トメオ ● Tomeo
ハナエ ● Hanae

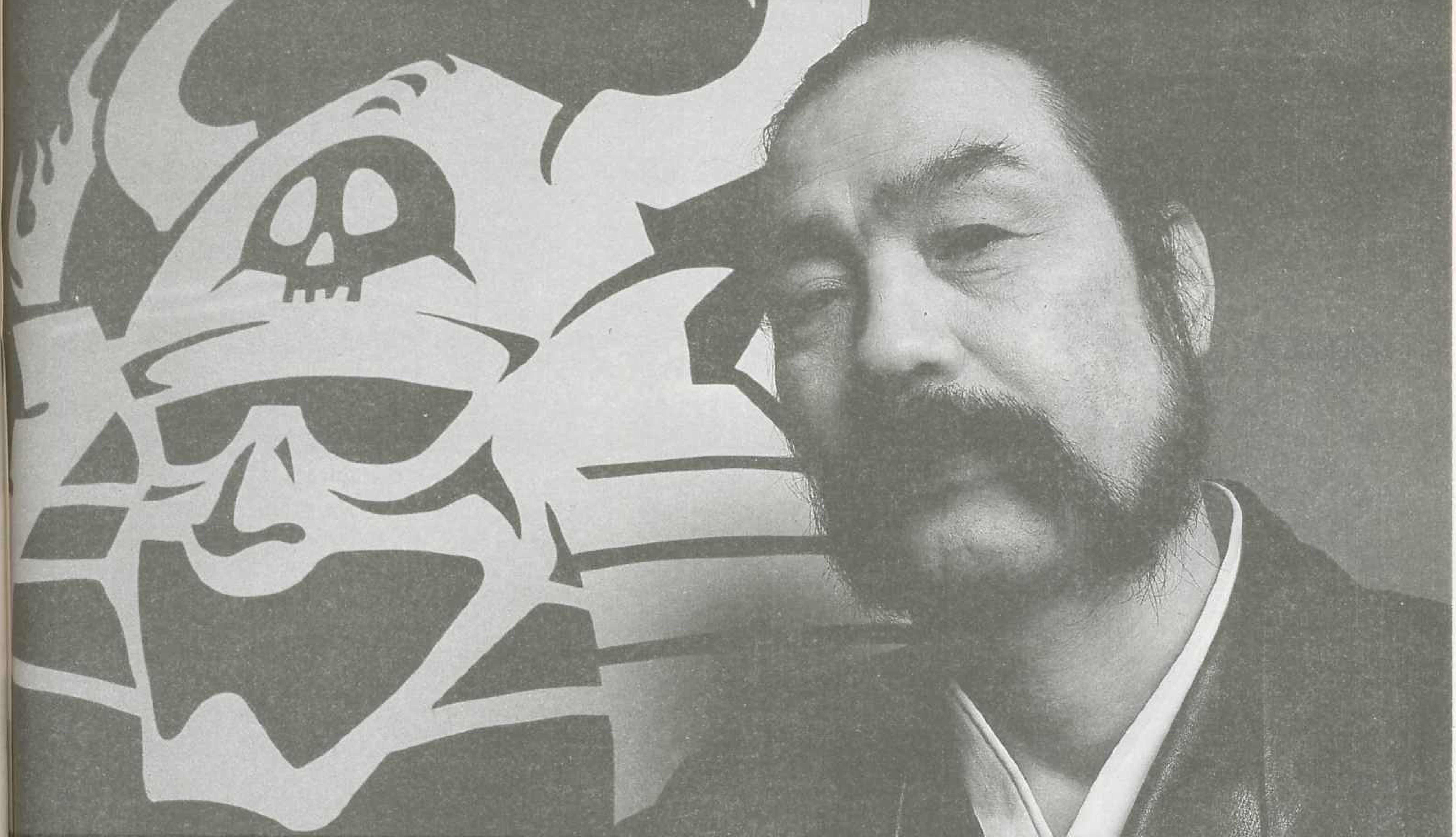
尾崎貴春 ● Takaharu Ozaki

Cover Model
アレクサンダー大塚 ● Alexander Otsuka

Cover Photo
荒木経惟 ● Nobuyoshi Araki

✣RADICALとは何か? 「根源的」、「根本的」って意味なんじゃーッ!!

整体師学校に続いて「活字バーリ・トゥード」の寺子屋も開校!!



講師 日本武道傳骨法　創始師範

堀辺正史

桜庭はなぜ強いのか？　船木VSヒクソンの行方は？
バーリ・トゥードはどう見たらいいのか？
すべて私が教えます!!

お久しぶりこの上なく黒船襲来！　98年の「骨法完成」以来、鳴りを潜めていた骨法が、秘伝の「骨法整体」公開とともに帰ってきた！これまでも『紙プロ』誌上で、数々の驚愕理論を披露してきた堀辺師範が、今回はバーリ・トゥードというものを、今一度深く掘り下げるために、『PRIDE・GP』の翌日、骨法武術館に於いて本邦初公開「活字バーリ・トゥード」教室を開校！喧嘩ロマンの道を突き進む全局面打撃な講義を展開。ド素人たちよ、「命懸け」で読め！

本日の生徒

聞き手／山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi

付き添い／堀江ガンツ
helper by Gunts Horie

撮影／森鷹博
photograraphs by Takahiro Morry

“救世主”イエス・サクラバを生んだ“プロレスの神様”がいる。それは・・・

答えは…P48

――先生、ご無沙汰してます。昨日の『PRIDE・GP』を受けまして、いま一度バーリ・トゥード（以下VT）というものを深く掘り下げたいと思って、今日はお話を伺いに来ました。

堀辺 そうですか、はい。まず最初に、ハッキリ言ってあなた方は私から見ると〝ド〟がつく素人なんですよ。

――ド素人！ いい言葉ですね（笑）。

堀辺 ド素人だから、今日は私が大学の教授になったつもりで諸君たちにVTの見方を教授しようというわけです。

――先生！ レクチャーを、よろしくお願いします！（笑）。

堀辺 はい（笑）。まず私が見ていて一番思うのは、日本でVTが東京ドームであれだけの観客を動員するという時代に突入してるのに、その『PRIDE』をどういう風にしたら見る側が楽しめるかというノウハウをマスコミが提供していない！ 非常に怠慢だということです。

――モウマンタイならぬ、もう怠慢ですね。

堀辺 ズバリ言って怠慢です。まあそのノウハウを私が明らかにしたいというわけですね。その中でこれから行われるヒクソンvs船木戦や、桜庭（和志）選手がどうして天才なのかという部分。その辺を突っ込んでいったらいいんじゃないかと思うんですよね。その桜庭選手は「プロレス界の救世主」って呼ばれてますよね。これは本当で、桜庭選手は神の子、イエス・サクラバなんですよ！

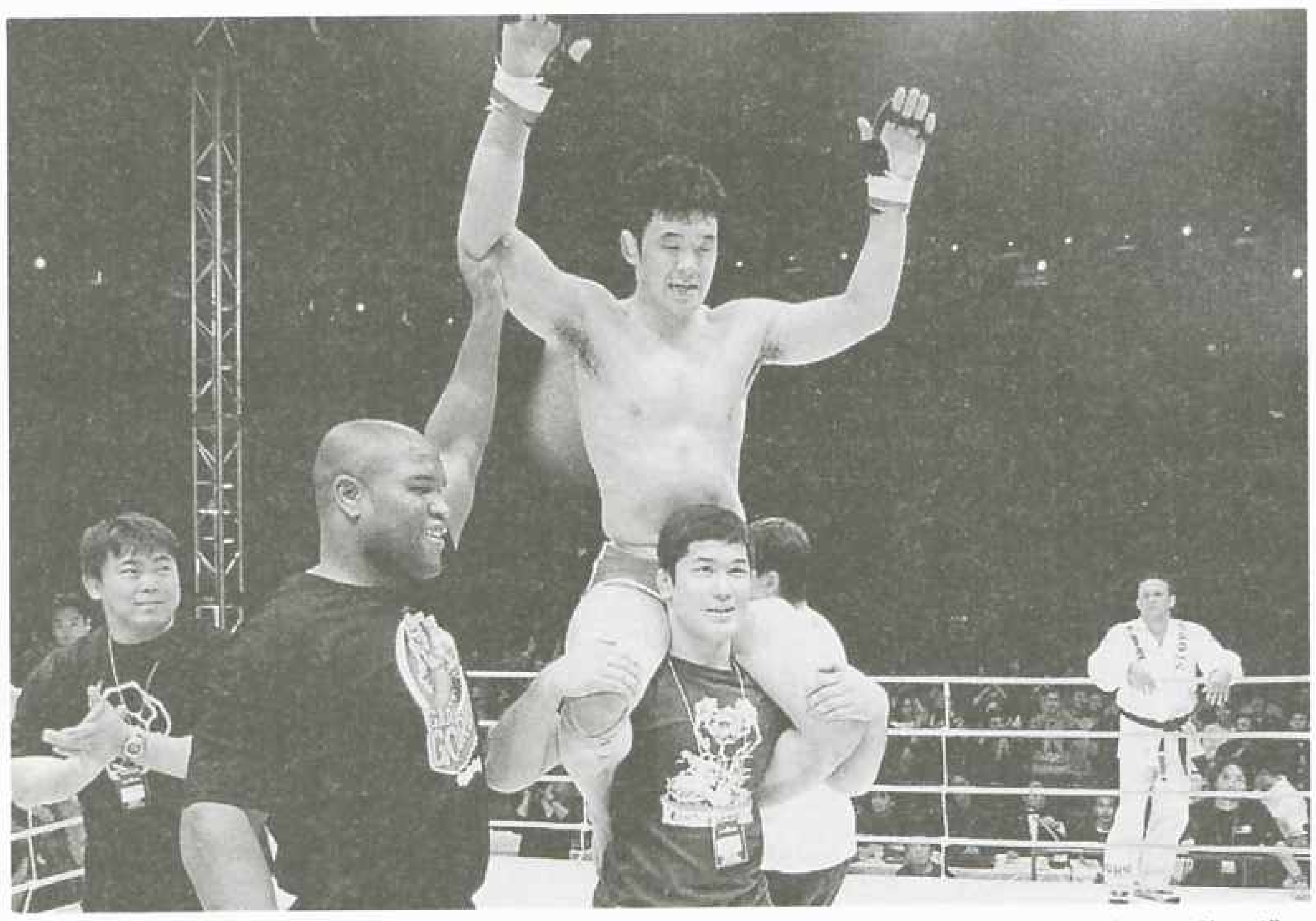
――サクがイエス様！（笑）。

堀辺 そう。でも神の子ですから、それを産んだ神様がプロレス界にいるわけですよ。その存在も今日は解き明かしたいと思います。

――それは実に楽しみなこと、この上ないですね（笑）。

堀辺 ではまずVTってありますよね。で、VTで大切なのはやっぱり寝技なんですよ。

――やっぱり寝技ですか。



グレイシー狩りの「名解答」と言える完璧な闘いで、ホイラー・グレイシーに完勝し、遂にグレイシー越えを果たした“神の子”イエス・サクラバ。5・1東京ドームでは、ホイス・グレイシー戦が決定した。その文字どおりの“神業”でグレイシーから一本勝ちを奪うことができるか!?

堀辺 はい。寝技っていうものを理解しないと、『PRIDE』はよくわからないんです。だから寝技がちょっと長引くと、「つまんねえぞ」とか声が出る。

――昨日もだいぶそんな声がありましたね。

堀辺 「レフェリー、ブレイクしろ」って声が飛んでくるわけね。で、これはやっぱり寝技の見方がわからないからそうなっちゃうんですよ。わかれば面白いんですよね。で、そのために言いたいのは、まずね、VTの寝技は一つだけだと思ってるんですよ、素人は。

――ド素人は（笑）。

堀辺 はい。海に例えれば、一つの大海が存在しているっていうふうにしか、ド素人は思わない。でもね、VTの寝技って言うのは一つの海じゃないんですよォ～。海の中には潮流ってのがあるわけですね。暖流があったり、寒流があったりね。だからVTっていう寝技の中にも、実は四つの潮流がある。

――四つですか！

堀辺 この、四つの潮流があるっていうことを知ることが、まず『PRIDE』入門になるんですよね、はい。

――見る側のVT入門っていうことですか。

堀辺 いや、これは見る側とやる側どっちも押さえておかないとダメなんですよ。だから大きく分けると、寝技っていうのは、「柔道」と「ブラジリアン柔術」、「レスリング」、「サンボ」。この四つのスタイルがあるっていうことです。そして立ち技によって寝技が決まるんです。

――寝技と立ち技は独立したものではなく、密接した関係があるんですね。

堀辺 そういうことです。立ち技が寝技を決定してることを知らなきゃいけない。ここですよォ～、玄人が見るのは。だから、まず柔道の立ち技の中心技術っていうのは、偶力を使った投げが中心ですね。

――いわゆる崩しですね。

堀辺 そう、これはそのまますぐに袈裟固めとか押さえ込みに移行できるんです。だから柔道は「押さえ込みの寝技」になるわけです。

――なるほど。

堀辺 次にブラジリアン柔術は「引き込み」による倒しなんですよ。

――高田戦のホイス・グレイシーのように自分から寝技に引き込む。

堀辺 そうです。そして引き込んだらガードポジションを取るわけです。すると、上になった人間は攻められないわけです。これは私の言葉で言うと「足越えの寝技」って言うんですよ。

――足越え。また新語が登場しましたね（笑）。

堀辺 そしてレスリング。これはタックルなんですよね。この防御技術は上に乗っかって「がぶる」というものです。だから「がぶり」の攻防っていうのが生まれてくるわけですよね。

――昨日のアレクvsボブチャンチン戦のようにですね。

堀辺 そうです。で、サンボっていうのは柔道、柔術、レスリングの複合なんです。これはもう、「足越えの寝技」の逆、足そのものを極めてしまうという「足潰しの寝技」をやるわけです。

――「足潰し」ですか、いちいちネーミングが素晴らしいですね（笑）。

堀辺 こういう風に寝技というのは、一見同じように見えますけど、実際は違うんです。四つの潮流がVTという海の中で、暖流と寒流がぶつかりあって闘うんですよね。

――なるほど。そういうことを踏まえて見なきゃいけないってことですね。

堀辺 はい、その観点から見ていくと、いろんなことがわかってくるんですね。

――そうすると、そういったことを踏まえた上で見ると、昨日の『PRIDE・GP』は先生から見ると、ぶっちゃけた話、いかがなものでしょうか?

堀辺 いや全体としてみたら、やっぱり面白くないっていうひと言ですよね。

――それはド素人にもわかりました（笑）。

堀辺 なぜ面白くなかったかと言うと、結局、明確な勝ち負けがなかったことが、一番の理由ですよね。VT形式っていうのは、勝

った方は完全に勝っているけれども、負けた方は顔がグチャグチャになっているとか、もう危ないとか、ヤバいんじゃないかとか、救急車呼ばなきゃとか、そういうものを期待して来てるわけですよね。

——ファンは残酷ですからね。

堀辺 いやホントに、物騒なこと、残酷なことを期待して行ってるわけですよ。アルティメットですからね。それが、勝負がつかないとなると、これは今までの安全性を充分考慮したスポーツライクな格闘技になってしまう。それを打開するのには、危険かもしれないけども、延長戦では頭突きとか肘打ちっていうものを認める！ そうすれば勝負展開が変わるんです。

——はっはー。先生はミレニアムになっても危険な方向に行こうとするわけですね(笑)。

堀辺 いや、『PRIDE』っていうのは、やっぱりプロのリングなんですよね。それを忘れちゃいけないと思うんですよ。高額のファイトマネーを得るんだから、決着つかない場合の再延長は、肘、頭突き、後頭部ありと。

——後頭部まで（笑）。

堀辺 ええ、そうすれば決着が着きますね。

——では先生が昨日見た中で、面白い闘い方をした人は誰ですか？

堀辺 うーん、やっぱりね、自分はホイスと……そうですね、あとは（ヴァンダレイ・）シウバですね。

——シウバ！ 玄人らしいところを突いてきますね（笑）。

堀辺 ハッキリ言って彼の寝技のテクニックというのは一つの違った部分に突入しているんです。異次元の寝技ですよ！

——異次元の寝技！

堀辺 彼の寝技っていうのは、もう打撃と寝技が一体になってるんです。打撃を中心とした、打撃を出すための寝技になりつつある。

——つまり、グラウンドでの打撃っていうのは、打撃ではなく寝技の一種になる。

堀辺 そう、これからのVTは、打撃と組技が一体になることが必要なんですよ。だから最近レスリングの選手が活躍してますけど、レスリングのタックルっていうのは実は組技じゃないんですよ、これは実は打撃技なんですよォ〜。

——タックルは打撃技でしたか！

堀辺 ええ、体そのものがぶつかってくるわけですから、相手の打撃の間合いを一瞬にして潰して倒すことが出来るわけですね。これがレスラーが強い理由なんですよ。これをちゃっかり利用したのがグレイシーです。グレイシー柔術っていうのは、実はレスリングの技術を盗んでいるんです。これはハッキリさせなきゃいけない！

——ハッキリさせましょう！（笑）。

堀辺 人のものを盗ってるんだから、とぼけちゃダメなんですよォ〜。「柔術が素晴らしいから勝てる」と彼らはいつも言う。でもね、これには嘘があるんですよ。

——なるほど、ヒクソンもレスリングの選手ですからね。

堀辺 だからグレイシーがこれまで勝ってこれたのは、いち早くレスリングのタックルの技術を盗んで取り入れたためなんですよ。

——なるほど。柔術プラス、レスリングなわけですね。

堀辺 ホイス・グレイシーがね、第4回までUFCですごくいい勝ち方をしましたね。あの第一次接点をどうやって勝ってるかというと、全部タックルですよ。

——そうですね。

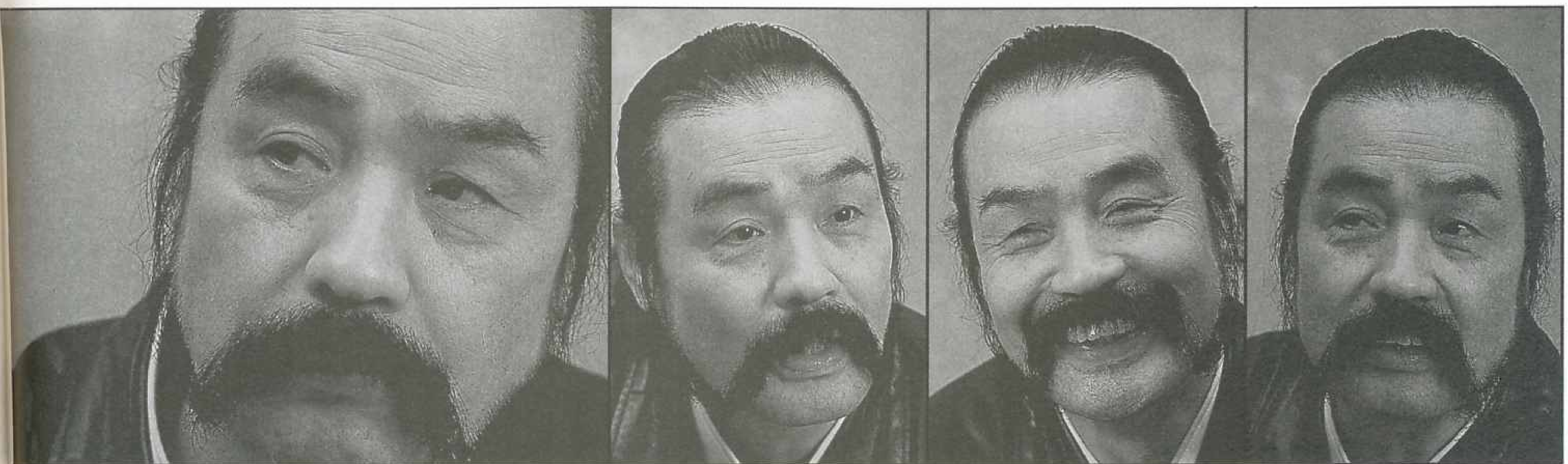
堀辺 しかも、初期のホイスの相手っていうのは全部打撃系選手を選んでるんです。これはすごく頭いいですね。

——というか姑息ですね（笑）。

堀辺 タックルがあったからこそ、これまで打撃系には決して負けなかったんですよ。

——やはり、面積で言えば、タックルは一番大きい打撃技ですからね。

堀辺 そういうことです。体当たりは打撃系格闘技ではどの競技でも禁止されていますか



立ち技の質が寝技のスタイルを決定する

種目	立ち技の中心技術	寝技の中心技術
柔道	①偶力による投げ	押え込みの寝技
柔術	②引き込みによる倒し	足越えの寝技
レスリング	③タックルによる倒し	かぶりの寝技
サンボ	①②③の投げ、倒し	足潰しの寝技

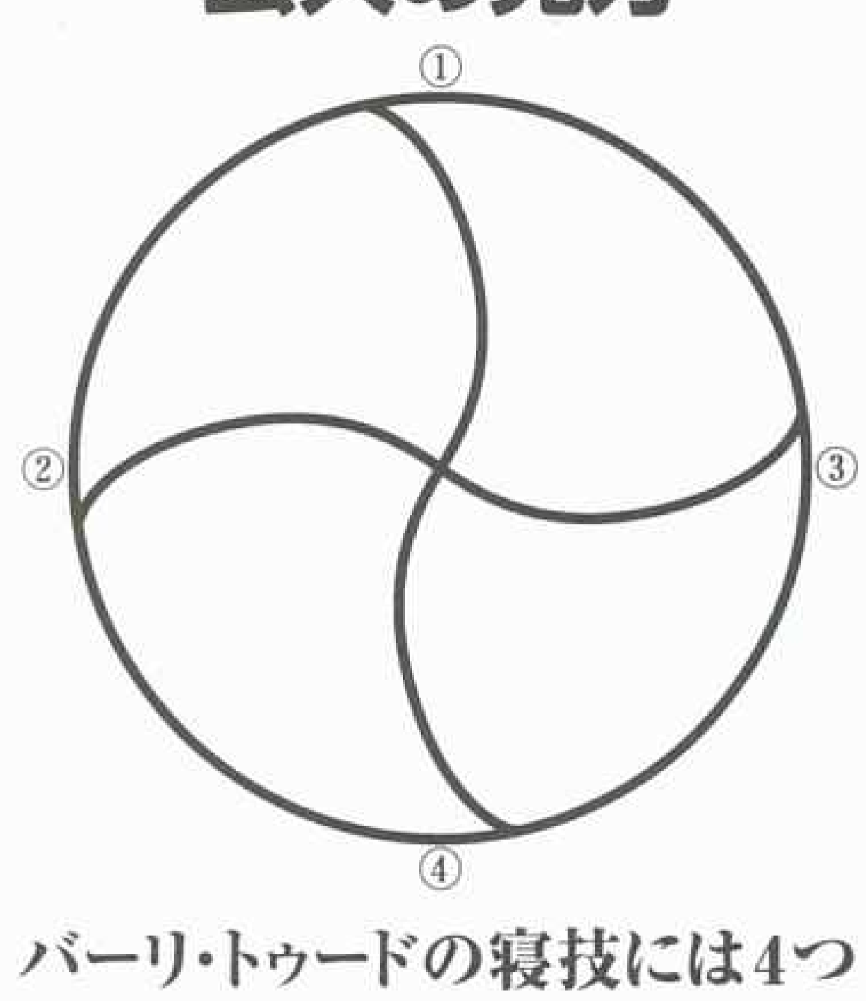
秘伝・堀辺流VTの見方

素人の見方



1つの海、1つの寝技としてしか認識しない

玄人の見方



バーリ・トゥードの寝技には4つの潮流（スタイル）があり、これが渦巻き、激突して寝技の大海を形成していると認識する

『PRIDE』はルール改正するべき 延長戦は肘、頭突き、後頭部アリ！

ら。

――ああ、なるほど。それで大山倍達が牛と戦えって言ったことがわかりますね。あれはタックル対策だったんだ。

堀辺　本当にそうですよ。ここを見落としちゃいけないんですよぉ〜！　アマレスラーが活躍し始めたんじゃなくて、グレイシー柔術そのものがレスリングの技術によって第一次接点を制覇していたんです。

――桜庭選手も「グレイシーも裸で戦うんだからレスラーです。しかもプロだから、プロレスラーですよ」って言ってましたよ。

堀辺　そうです。全くその通りなんです。で、その技術の原点はですね、ちょっと可哀想だけれども、エリオのおっちゃんが作ったんじゃないと思う。

――グレイシー柔術を作ったのはエリオじゃない！　誰が作ったんですか？

堀辺　コンデ・コマ（前田光世）ですよぉ〜。

――コンデ・コマ！

堀辺　何でかって言うと、コンデ・コマが1000試合、他流試合をやったときに、海外に行くと、当時圧倒的に多いのはレスラーなんですよ。

――はい、レスリングは西洋相撲ですからね。

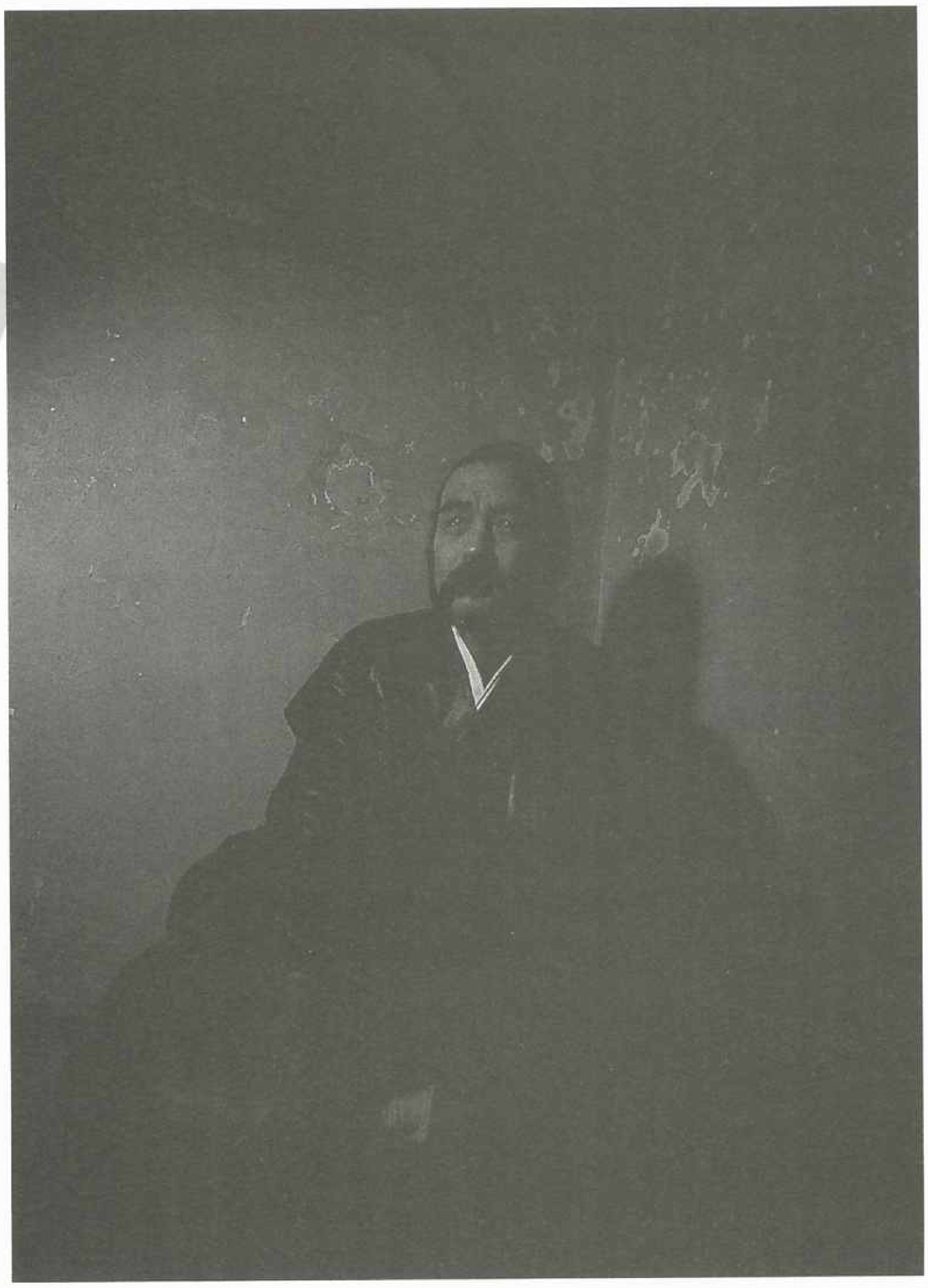
堀辺　その時にレスラーのタックルを知るわけです。

――はは、「これは便利だ」ということでコンデ・コマが盗んでいた。

堀辺　そういうことです。それが起源ですよ。

――コンデ・コマの青春の大発見だったわけですね（笑）。

堀辺　そういうことです。その遺伝子がグレイシー柔術の中に入ってて、純粋の柔術の技術っていうよりも、レスリングの技術を使って彼らは勝てたんです。



――じゃあ、単純な話、柔道とレスリングを練習していけば、VTが強くなるわけですか？

堀辺　強くなりますね。第一次接点は絶対取れますね。だからボブチャンチンが素晴らしいのは、タックルの防御を練習してれば、打撃系の選手も十分に闘えることを証明したところですよ。

――あの、がぶりには驚きましたね。ヘンゾから4度テイクダウンを取った、アレクのタックルを切りましたからね。

堀辺　ボクシングでもそうですけれど、打ち合って負けてる方がクリンチするんです。勝ってる側からクリンチには行かないんですよ。

――ああ、確かにそうですね。

堀辺　だからボブチャンチンは相手がタックルをしてくるタイミングがわかるんですよ。殴っていって相手が追い込まれたとき、タックルは来るんですよ。

――なるほどなぁ。

堀辺　こう見なきゃ駄目なんですよぉ〜。がぶって潰したあと、あれがもし本当のVTで膝蹴りが認められたら……。

――本当のVT（笑）。

堀辺　はい、本当に濃厚なVTであったなら、がぶった後に手で押さえておいて、膝で蹴ったらマーク・ケアー戦の再現になるわけです。

――では、今までの話を整理してみると、まずコンデ・コマがタックルを盗んだのはまず最初に色々なものを吸収していく好奇心ですよね。それとボブチャンチンのように相手の武器に対する対応力ですよね。好奇心と対応力、つまり頭が良くなきゃ出来ない。

堀辺　出来ないです。まったくそうです。頭を使わなきゃ駄目です。

――そうですよね。となると、それを体現してるのが桜庭選手ということになりますよね。

堀辺　まあ、そういうことですよね。だから、この前のホイラー戦なんかは技術論的にはボブチャンチンと同じですよ。

――ホイラーにタックルをさせない。

堀辺　そう。まず殴り合いますよね。そうすると桜庭選手も相手のタックルが来るタイミングがわかっているわけですよ。ここでもう、グレイシーの一番最初の立ち始めのところを封ずることができたわけですね。ですからグレイシー破りをするためにはまず第一次接点に負けないということが必要なんですよ。だから、船木選手がヒクソンに勝てるところはどこかって言ったら、まずこの第一次接点なんですよ。

――そうすると桜庭vsホイラー戦は、桜庭選手の闘い方が完璧だったってことですね。

堀辺　いや、ハッキリ言うと、グレイシー破りの名解答です。

――ピンポ〜ンって感じですか（笑）。

堀辺　ハッキリ言ってそうです。彼はあの試合にコンピューターがパパパっと作動して、「こいつの弱いところはここだ！」ということがすぐわかった。だから彼は天才なんです。しかしその天才性っていうのは、決して単なるひらめきじゃなくて、格闘技の技術っていうものの中から必然的に出てきた弱点を、彼は狙ってる。理論的に追求していっても、

「グレイシー敗北！」は時間の問題 あぶり出したら出てきますよォ！

グレイシー破りの最高の答案を出したわけです。だから桜庭選手はプロレス界の優等生なんです。

―あんな顔して（笑）。

堀辺 だからヒクソンも桜庭選手の闘い方を見てしまうと闘えないですよ。だって、寝技に持っていけなかったら、グレイシーなんて何の価値もないですよ。彼らの立ち技なんてド素人なんだから。

―ヒクソンはド素人（笑）。

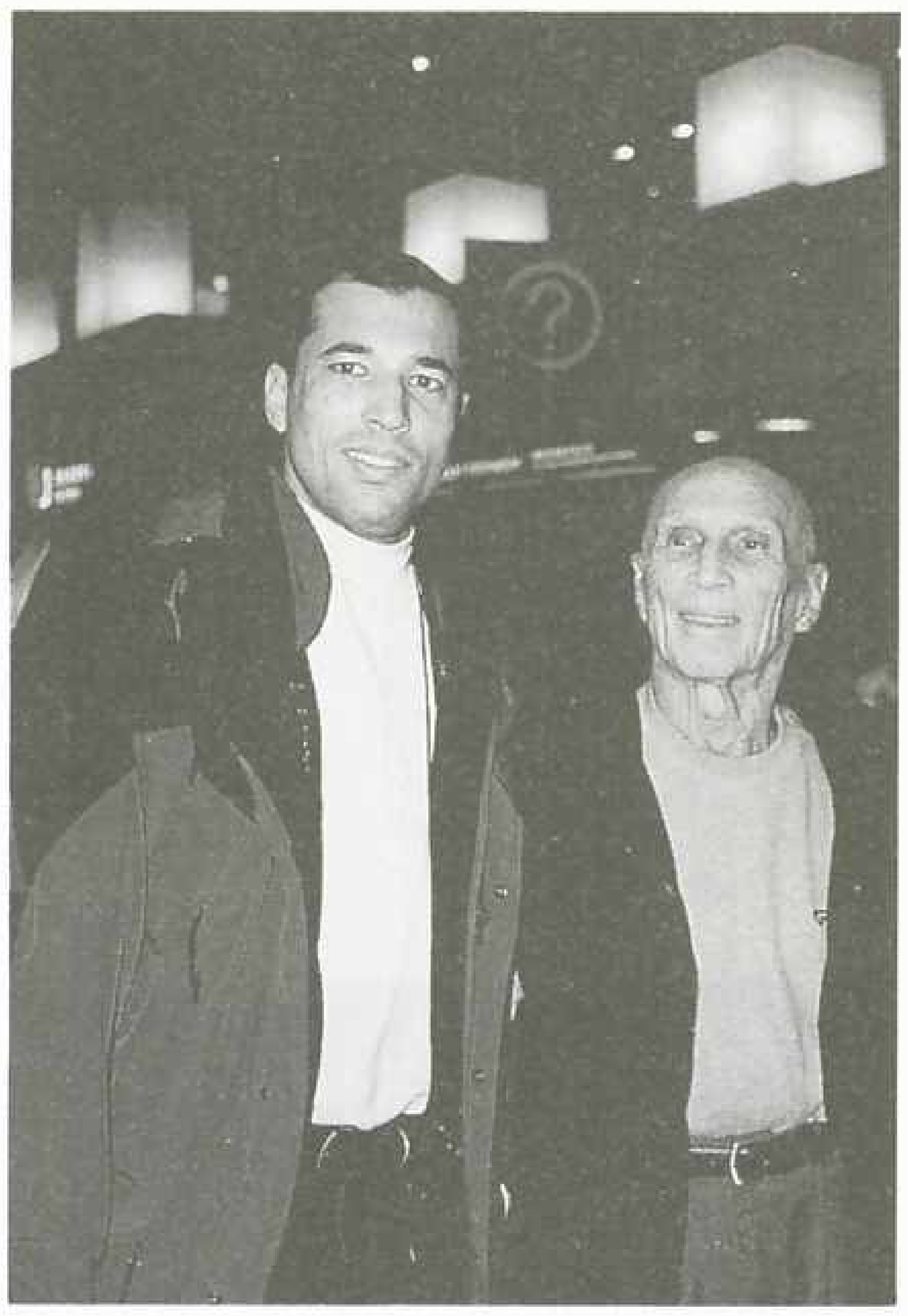
堀辺 だから、ボブチャンチンはグレイシーとは闘ってないけども、毎回打倒グレイシーの回答を見せてくれてるようなもんですよ。船木選手がどうやって戦ったらいいかも、ハッキリ言って桜庭選手とボブチャンチンがもう答えを出しているんです！

―じゃあ、それができるか否かってことですね。

堀辺 そうです。だから、そこに焦点を合わせて練習の力点を変えることですよね。

―「なんだ勝てるじゃないか」って思えて来ましたね（笑）。

堀辺 ハッキリ言って、「グレイシー敗北！」という字が書けるのも時間の問題ですよ。もう、『紙プロ』をあぶり出しにしたら「グレイシー敗北！」って出てきますよ！



グレイシー最後の神秘と言われるエリオ。グレイシーが技術の底を見せ始めたと言われる中、隠し持つ奥義は存在するのか？

―あぶりだしで出てきますか（笑）。

堀辺 もう、玄人には見えてるわけです。

―ド素人からすると、「なんだ、頭使えば勝てるじゃん！」って思うんですけど、後は体がついていくかどうかということですね。

堀辺 はい、あとはその技術を3万回ぐらい反復練習することですよ。理論的にわかったからといって、すぐ明日からその理論通りにできる選手は出てこないわけです。時間が必要なんです。運動の鉄則っていうのがあるから。

―つまり頭と肉体が一体化しないとVTには勝てない。

堀辺 勝てないですね、はい。だから桜庭選手の闘い方っていうのは、相当なレベルまで行ってるということです。それと実力だけでなく、桜庭という名前も上がってるんです。だから桜庭選手に挑んで来るこれからの選手っていうのは、とにかく負けない闘いをしようという選手が増えると思うんですよ。

―今回のガイ・メッツァーみたいにですね。

堀辺 そう。ここで桜庭選手がもう一段質を変えないと、今までの桜庭選手のイメージを保てない状況になったたっていうのが、今回の試合を見て感じとれたことです。

―もう一段上のレベルに上げなきゃいけない。桜庭選手の性格からすると、「面倒くさい」ということになりそうですね（笑）。

堀辺 いや、結構やってくれると思いますよ。今回の試合を、彼は反省してると思います。きっと彼はヤバイなあ、どうしようかなあって、寝ながら考えてると思いますね。寝ながらね（笑）。おそらくイメージ的にそんな感じがしますね（笑）。

―つまり必然的に桜庭選手は一つ上のレベルで来たということですね。

堀辺 そう、上がったということです。

―桜庭選手がこの調子でどんどん技術を積み上げていくと、どんな相手にでも通用するという、理想のプロレスラー像になっていく気がしますね。

堀辺 なりますよ。だから彼はね、いろんな意味で考えても、プロレス界の救世主なんですよね。イエスなんですよ！ それで、つまりイエスは神の子なんですよね。ということは、プロレス界に神様がいなかったらイエスというのは出てこないんですよ。親がいない子なんていないでしょ？

―ズバリ言っていません！

堀辺 なのに、プロレスの神様は誰なのかということを探究してませんね、誰も。

―単純にカール・ゴッチってことではないんですよね（笑）。

堀辺 じゃないんですよ。カール・ゴッチはもう、古い神なんですよ。もはや効力を失っちゃったんですね。新しい神がいるんですよ。誰だと思います？

―いや、ちょっと待ってくださいよ、それはちょっとプロの面子にかけてはずせませんね（笑）。誰だろう……プロレスの神様？

堀辺 ええ。

―僕は個人的にアントニオ猪木だと思ってるんですけどね。

堀辺 アントニオ猪木も神だけれども、新しい神が実は誕生しているんですよ。それでなくして桜庭は生まれなかったんです！

―いや、タップします（笑）。

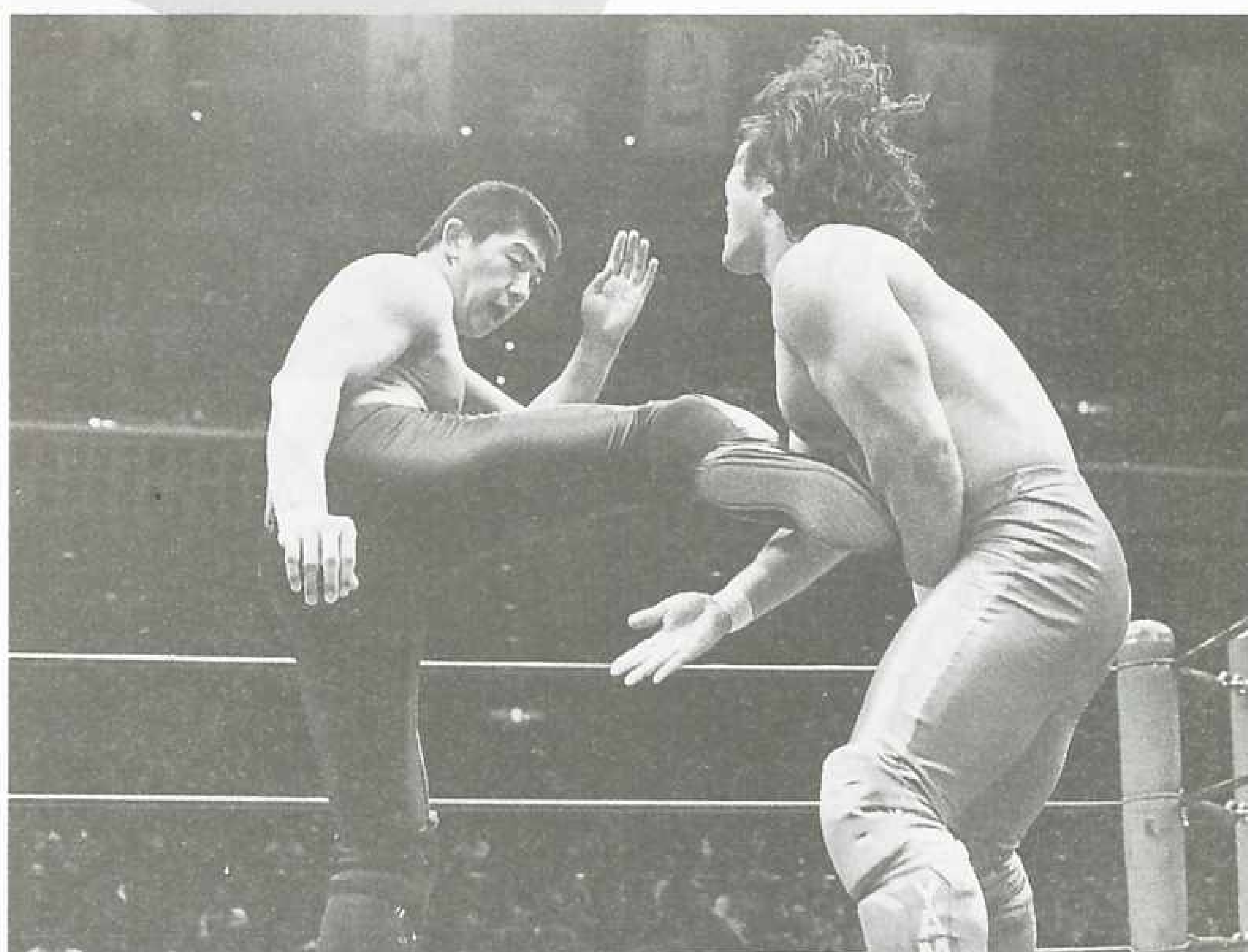
堀辺 はい、それはですね、高田延彦です!!

―うわぁ！ ノドまで出掛かってたんですけどね。でも昨日のホイス戦を思い出してしまって言えませんでした。

堀辺 試合の内容云々はどうでもいいんです。ハッキリ言って。高田延彦という者が、ヒクソンという者と試合をして、『ＰＲＩＤＥ』という世界を作った。

―『ＰＲＩＤＥ』を産み落としたわけですね。

堀辺 産み落としたわけです。この環境というものがあったからこそ、イエス・サクラバが生まれて、プロレス界の救世主になり得た。



【87・12・27両国国技館】“骨法コンビ”と呼ばれた、若き日の船木と獣神サンダー・ライガー。堀辺師範はヒクソン戦に出陣する、元弟子に「打倒タイソンを目指して一緒に頑張った船木選手。タイソンからヒクソンに変わったが勝ってほしい」とエールを送った。

だから高田延彦が父なる神なんですよぉ〜。

――なるほど。

堀辺　『PRIDE』は、始まったばかりなんで、その高田延彦が敗北したとか、ヒクソンに敗れたとかそういうマイナスばかり目に付くと思いますけど、その影の中で動いている本質をみんな見失っているんです。これは私が高田延彦にお金をもらって言ってるわけじゃないんですよ。（笑）

――いや、実に骨法が高田道場の系列団体だったら抜群に面白いですよ（笑）。

堀辺　そこを見なかったら、ハッキリ言って不公平ですね。父なる神がいてはじめて、プロレス界の救世主・イエス・サクラバがいるわけなんです。

――なるほど。でも、そうすると前田日明が黙っていませんね。「神の兄貴はオレやんけ」となりますよ（笑）。

堀辺　その「オレやんけ」って言いたい気持ちはわかる。けれども、現実はそう動いちゃったんですね。

――そしてまた神の親父である、アントニオ猪木も黙ってないでしょうね。

堀辺　黙ってない。なぜかというと新しい神を認めたくないから。

――そうすると、いま、小川直也がコアなファンとか、あるいは関係者の間で、『PRIDE・GP』のトーナメントに出てこなかったことで逃げたという見方をされてます。それはつまり元・神だったアントニオ猪木がイエスを作り損なったということですか？

堀辺　とも言えますね。だからイエスを作った者が父なる神なんですよ。わかります？ 父なる神というのは何によって証明されるかというと、本当の人間と交わられる、イエスっていうものを遣わしたから、父なる神の愛というものも存在するわけです。

――なるほど。

堀辺　だから、もしアントニオ猪木が「高田延彦なんて、新しい時代の神になるのは早すぎる、俺だ」と言いたくても、小川直也を、桜庭を超えるイエスにしない限りは、自分が父なる神を名乗る資格はないわけです。そういう意味で言えば、そのイエス・サクラバを生んだ高田延彦が新しい時代の、新しいプロレスの神様になるわけですよ。今みんなは気付いていないけれども、この『PRIDE』という運動が展開していったときに「ああ、こういうことだったんだな」と、振り返られるんじゃないかなと思いますね。

――そうすると、まだ小川直也にもイエスになる可能性は残っているわけですね。

堀辺　残っているわけですね。ですから、あの結局ね、何でこういう話を今日したかと言うと、グレイシー柔術の方程式で勝っても、グレイシー柔術を越えたことにならないっていう気持ちが私の後ろにあるんですよ。

――はいはい。

堀辺　だから、グレイシー一族はよく言ってますよね。「もし我々に勝ったとしても、それは柔術の技術を学んで勝ってるんじゃないか」と。柔術が柔術に勝っているだけであって、本当に我々に勝ったことにならないっていうようなことをよく言いますよね。それは、その通りだと思うんですよ。だから、柔術の方程式とは違った方程式で勝ったときに、これは本当に勝ったことになりますよぉ〜。



未来の格闘技・掣圏道のさらに先を行く骨法。話題のニープレスはすでに骨法が2年前に、「横馬の図」という名前で、「武者相撲」の技ありとして定められていた。

イエス・サクラバを産んだ父なる神 それは髙田延彦ですよォ〜。

——柔術にはないセオリーで勝つということですね。

堀辺 はい。それをね、する団体、あるいはそういう選手を輩出する団体が、総合格闘技界の今後の担い手になります。

——つまり高田道場は最右翼ってことになりますね。

堀辺 はい、今の所では。だから、私は桜庭＝イエスって言った意味がもう一つあって、イエスというのは、旧約時代を終わらせた人なんですね。

——そうですね。

堀辺 今は新約の時代なんですよ。総合格闘技の新しい1ページを、つまりグレイシー柔術の模倣でない方程式を生み出す可能性がある新約時代を作ろうと。そう言えるのは私はイエス・サクラバだと言いたいのです。

——そうしたら船木選手はいかにグレイシー柔術がやらない闘い方をするかっていうことですよね。

堀辺 そうしないと、もし勝ったとしても、本当に乗り越えたことにならないんですね。

——桜庭選手を超えたことにもならない。

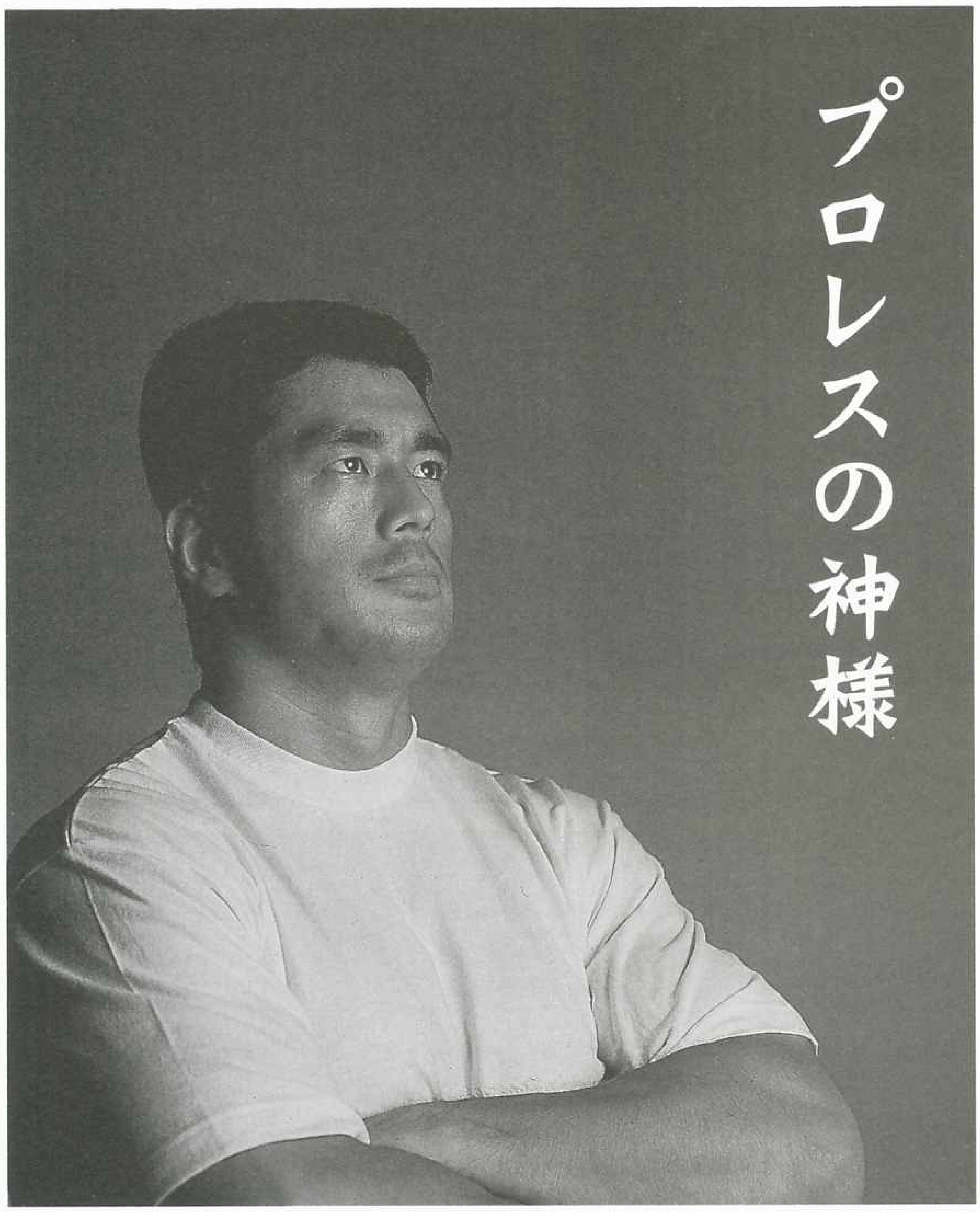
堀辺 ならなくなってしまうんですよね。だから本当の勝利を目指すのならば、現実の試合で勝つってことは当然だけれども、もう一つはやっぱり、今までのグレイシーが提示した総合格闘技の方程式じゃない別の方程式を提示して勝ったら、真の勝利ですね。

——その方程式を頭と肉体で、やっぱり紡ぎ出さなきゃいけないわけですよね。ところで今、先生は骨法では何を考えてらっしゃるんですか。

堀辺 だから今日言ったことはすべて私の問題でもあるんですよね。だからそういうグレイシーの方程式じゃないもので勝てる競技っていうものをずっと模索してやってきてるわけです。でも、おおよその方向性はもう、見えています。こういう話が出来るってことは、わかってきてるからなんですね。

——そして去年は金的アリをやったと（笑）。今年は何をやるつもりなんですか?

堀辺 今年は「野試合」というものをやります。



——野試合！（笑）。

堀辺 ええ野試合、外でやります。

——うわぁ、VTの原点に……戻りきるのにも程がありますね（笑）。

堀辺 なんでそういうことをするのかって言うと、本来格闘技は、インドアじゃないんですよね。実戦はアウトドアでしょ（笑）。

——実戦はアウトドア！ そりゃそうですよね（笑）。

堀辺 ね、そうでしょ。そうなんですよ。本当の喧嘩になったらアウトドアなんですよ。それをやらないで実戦、実戦って言うのは、私にとっては不真面目な気がするんですよ。

——それで野試合ですか。

堀辺 野試合です、ええ。野試合やると変わるんですよ。

——それは変わるでしょうね（笑）。

堀辺 いろんなことが変わりますよ。だって実戦では寝技でね、道着掴んで、持ち上げてドーンと落としただけでも大変なことになるんですよ。

——それこそ「路上なら警察沙汰」ですよね（笑）。

堀辺 そうするとね、グレイシーのやってるね、下になったって大丈夫だっていうのが嘘だってことがわかるんです。あれは畳の上だから言えるんです。彼らは「下になった方がいいんだ」って言うでしょ、しかも彼らは護身術って言ってるでしょ。

——はいはい。

堀辺 じゃあ舗装されてる硬い路上で、商店街でやってごらんなさい。下になったらいかに不利かがわかります。

——骨法は商店街での実戦まで想定してるというわけですね（笑）。

堀辺 ここまでやらないと〝実戦〟という言葉は使えないんです。桜庭選手の炎のコマなんかも、あれ、ジャリ道でやったら実戦的ですよ（笑）。

——ガハハハハ！ 火傷どころじゃすまないですね（笑）。

堀辺 効きますよ、本当に。それとモンゴリアンチョップ。あれにも感心しましたよ。なぜかって言ったらね、ヒクソンたちはね、あいうことしないんですよ。

——そりゃしませんよ。（笑）

堀辺 プロレス的な技って、格闘技の人は笑うかもしれないけど、あれは単なるエンターテインメントじゃないですよ。だって、モンゴリアンチョップを首筋に打たれたら、首筋を守るしかない。首筋を守ると、ここ（顔面）が空いちゃうんですよ。空いたところをストレートのパンチ入れてましたからね。

桜庭選手のなんという感性の高さ。だから、エンターテイメントと実戦とが彼の中で融合しているんですよ。

——全く地続きですよね。

堀辺　地続きなんですよ。エンターテインメントと実戦用っていうのは彼の中で分離されてなくて、エンターテインメントがＶＴで勝てる方程式になっている。彼は本当にそういう意味でプロレスの申し子なんですよ。

——エンターテイメントを突き詰めていくと、格闘技にもなり得るということですね。

堀辺　いや、究極のエンターテイメントは究極のリアリズムになるんです。だから桜庭選手は頭が「なんでもあり」、頭がＶＴなんですよ！（笑）。

——そういう意味では先生も頭がそうとう「なんでもあり」ですね（笑）。

堀辺　そういうことです。今回はこの話、ほんの一部なんですけども、いろいろ見えたでしょ？

——いや〜、見えましたね。今日はご教授ありがとうございました。またお話伺いに来ます。

堀辺　だからね、やっぱり私の所に現金書留送ってくれたらいつでも電話で答えますよ（笑）。

——授業料先払いですか（笑）。先にお金を渡しておいて「何か思いついたら電話してください」という方法ですね（笑）。

堀辺　そうそうそうそう（笑）。現金書留で現金が送られてきたらね、やっぱりこれは考え変わりますよ（笑）。

——でも、その現金先渡しというのは、もうすでにターザン山本が狙ってますよ、きっと。「何もないけど金送ってくれ！」って（笑）。

堀辺　これは特許とらないといけませんね（笑）。

【1月31日　骨法武術館にて収録】

インタビューの数日後、現金書留を送った覚えもないのに、編集部に堀辺先生から電話があった。なんでも「グレイシーという黒船が去ったあとの『ＰＲＩＤＥ』に、次の大津波が襲ってくる」と言うのだ。

それは一体何なのか。次号でマット界の未来が明らかにされる！



【ほりべせいし】　1941年茨城県水戸市生まれ。通称「喧嘩トキ」。50年の試行と命懸けの求道の末に平成10年、遂に武者相撲、骨法98手、骨法柔術の3種目、3段階の武道教育試合と武道制試合を完成させた。また、これまで多くのレスラーに技を伝授。猪木、船木、ライガー、藤波、コブラ、飛鳥など錚々たるメンバーが骨法の門を叩いた。著書も多数。

次号予告

堀辺師範　青春の大発見シリーズ

黒船第2弾

誰も気付かなかった『PRIDE』でおきた革命的事件

乞うご期待!!

超ビッグイベント
——全試合終了後245人
直撃アンケート集計結果発表！

『PRIDE.GP』プロ魂が見たい！

道はどんなに厳しくとも、笑っていこうぜ！　と藤田が叫んでいたにも関わらず、帰り道、あまりにも笑顔で歩いているファンが少なかった1・30東京ドーム『PRIDE.GP』。大会終了時間が遅かったこともあり、帰路を急ぐ人も多かったが、なんとか必死に245人の貴重な意見をゲット。厳しい意見が多いのは、期待が大きかった証拠。5・1ドームこそは笑いながら歩こうぜ！

構成／チョロ
text by Choro
撮影／平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

試合内容、テーマ曲、マイクアピールすべて完璧！ファンが選んだMVPは藤田和之！

Q1 今日のMVPは誰ですか？



ファンが選んだMVP

1位	藤田和之	106票
2位	アレクサンダー大塚	20票
2位	大刀光	20票
4位	イゴール・ボブチャンチン	14票
5位	該当者なし！	11票
6位	マーク・コールマン	9票
7位	ヴァンダレイ・シウバ	3票
7位	小路晃	3票
7位	エリオ・グレイシー	3票
7位	ボブチャンチンの通訳	3票



同率2位

●1位～3位までがプロレスラーという中、新日本最強幻想爆発で藤田が1位に!!　★今回出場したプロレスラーの中で一番ファンが望む形で勝ってくれたから。（大竹紀子／28歳／ＯＬ）★新日道場の強さを発揮してくれた。藤波はいいとして長州が脱藩（byターザン）をＯＫしただけはある（二羽信宏／25歳／のんびり屋）★っていうか彼しかいないでしょう（仙波剛／23歳／ＵＦＯ）★新しい世界に踏み出した勇気を称えたい。負けるの怖がってる小川とはエライ違いだぜ（最首英也／30歳／ＣＭ屋）★プロレスラー最強説を実証できるのはこの人しかいない（大住直樹／26歳／会社員）★一番オーラを感じた（？／32歳／会社員）★2週間であそこまでやってくれたから。圧倒的に強かった（寺田令匠／18歳／学生）★ＶＴ初参戦とは思えない試合運びと、その勝ち方（出山健太郎／24歳／学生）★佐竹や大刀光と違って期待を裏切らないから。新日本辞めて大正解だった（持満洋介／23歳／学生）★今回の興行を救った！文句無し！（平川淳一郎／30歳／会社員）●文句なしにプロレスラー魂を見せつけたアレクが堂々２位。★プロレスラーの意地、アレクの生き様を見た（柴田和良／28歳／会社員）★前回の『PRIDE』では互角の勝負で、今回はスタンドで有利と言われるボブチャンチンと打ち合っているので（小川匠／27歳／会社員）★あのボブチャンチンのパンチをかいくぐった勇気。今日はそれだけ（小野哲司郎／25歳／トランペッター）

桜庭和志 VS ガイ・メッツァー



★もう1ラウンド見たかった。メッツアーがどこまで逃げ切れるか、桜庭がしとめられるのか楽しみだったのに、シャムロックのバカ！（新保克哉／24歳／フリーター）★このチキン野郎！（大豆生田英勝／24歳／事務）★お互いの味が出てない上に最後のシャムロックの恥の上塗り的な言動に嫌気がさした（イワパシマサル／21歳／学生）

小路 晃 VS エベンゼール・ブラガ



★体格差をものともしなかった（匿名希望／25歳／無職）★ブラガは、もっと強いと思ってた（草芽亮輔／23歳／とくになし）★すっきり、勝ってマイクで絶叫が聞きたかった（小川英美／27歳／デザイナー）★ブラガは負けてないっていうならならもっと小路をコテンパンににしてから言え！（木村誠／24歳／会社員）

大刀光 VS ゲーリー・グッドリッジ



★相撲の素晴らしさを体感した（エリオ・グレイシー／享年83歳／？）★期待を裏切らない面白さ（匿名希望）★見る前に凄い想像ふくらますことが出来た。こんな試合めったにないでしょ（今林久弥／27歳／劇団員）★大刀光はイイ！　グッドリッジが寝技にいくのが男らしくない（佐藤耕平／23歳／格闘家）

ヴァンダレイ・シウバ VS ボブ・シュライバー



★一番らしい勝ち方したもん！（大久保利栄／34歳／掃除）★強いて挙げれば！（北野篤18歳／浪人）★シウバの寝技は異次元の寝技だからですよ～！（堀江将司／26歳／編集見習い）強すぎるリザーバー、シウバ。もしトーナメントで誰も欠場しなくても、5・1ドームではシウバの試合が見たいモノだ。

1·30 PRIDE GRAND PRIX GP 2000 ―開幕戦―

史上最大、空前絶後のスケールで開催された 超ヒ
「PRIDE.2000」をファンはどう見たのか？

ブレイクしようぜ！『
ファンは勝敗よりフ

Q3 一番期待外れだった選手(試合)は何ですか？

1位　ホイス・グレイシーvs 高田延彦　137票

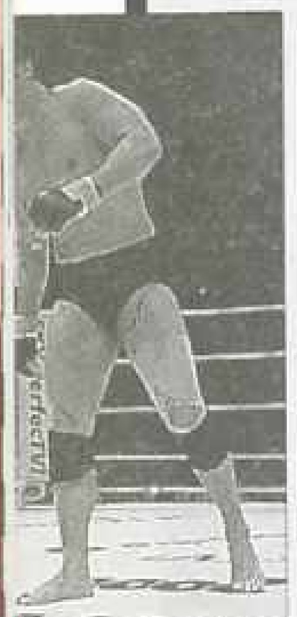
2位　マーク・コールマンvs 佐竹雅昭　31票

2位　マーク・ケアーvs エンセン井上　31票

4位　ゲーリー・グッドリッジvs 大刀光　17票

5位　桜庭和志vs ガイ・メッツアー　6票

6位　小路晃vs エベンゼール・フォンテス・ブラガ　3票



●1位●★最悪。今回で本当にファン辞めた。我慢の限界！（高橋利幸／30歳／自営業）★高田がここまで来た経緯を考えると残念（カノウテルヨシ／23歳／無職）★小川をチンピラ呼ばわりしている割にロクなファイトをしてなかったから。あれじゃあＮＹでもつかえない（荒井康弘／27歳／ブルーカラー）★ホイスやグレイシー一族に対して失礼、日本の恥（湯川利暁／20歳／学生）●2位●★ガキじゃあるまいし、アレクを見習うべき。負けて元々。打撃を一発も出さなかったのはどういうこと（？／？歳／？）下がるな！パンチ出せ！どうせ負けるにも玉砕しろ！（栗田英樹／31歳／会社員）★2階から見ててもオタオタしてるのがわかったから。突きでも蹴りでも見せてくれ！（知原友／28歳／会社員）●3位●★後頭部、シャレにならず（ましじゅん／30歳／鬼嫁）★心の折れたエンセン。痛いので不可（井上貴文／23歳／学生）★口ほどにもなかった。自分の言ったとおりにやられていた（持溝洋介／23歳／学生）▲期待はずれ1位なのだから、戦前は高田に期待人が多かった証拠だろう。高田の再起はやはり注目である。（編集担当）

Q2 今日のベストバウトはどの試合ですか？

PLAY BACK 1.30 SUPER BOUT



ファンが選んだ BEST BOUT

▲1位藤田vsナイマン★新日本最強を証明したから（塩野賢次／32歳／バウンサー）★レスラーらしい勝ちっぷりだったから（エンケン／52歳／四畳半ロッカー）★いいお披露目だったと思う。今後に期待が持てる試合だった（？／？歳／？）★ＶＴ初戦とは感じさせない格闘技者としての風格が感じられた（北島正之／29歳／会社員）★プロレスの袈裟固めで決めた。プロレスファンに夢を与えてくれた（野地秀樹／26歳／旅人）

1位　藤田和之vs ハンス・ナイマン　91票

2位　アレクサンダー大塚vs イゴール・ボブチャンチン　55票

3位　ゲーリー・グッドリッジvs 大刀光　13票

4位　ホイス・グレイシーvs 高田延彦　12票

5位　桜庭和志vs ガイ・メッツアー　7票

6位　小路晃vs エベンゼール・フォンテス・ブラガ　4票

6位　ヴァンダレイ・シウバvs ボブ・シュライバー　4票

7位　マーク・ケアーvs エンセン井上　3票

7位　マーク・コールマンvs 佐竹雅昭　3票



▲2位アレクvsボブチャンチン★2回戦まで残しておきたい2人。アレクの意地に救われた気がする（安田敏也／22歳／学生）★スタンドでもアレクは引かなかったし、イゴールもパンチだけみたいな内容じゃなかったから（大竹紀子／28歳／ＯＬ）★アレクのプロ魂を見た（平川淳一郎／30歳／会社員）★アレクの生き様を見させて貰いました。今度は決めて欲しいという欲求が一番高かった試合だから（古賀久貴／31歳／つとめ人）★あのハード・パンチャーのボブチャンチンにあまりパンチをもらわず、アレクが善戦したから（山口真一／22歳／会社員）▲3位グッド-リッチvs大刀光★単純に笑えた。これがPRIDE.の面白さだと思う。プロレスラーは強いのか？を探るのがPRIDE.シリーズだと思う（ＤＳＥの社長の息子／11歳／無職）大刀光はそれで良かったと思う。色々なところに大興奮！（大掛俊介／24歳／役者）★八百長疑惑の相撲界を背負ったから（匿名希望／23歳／学生）

高田延彦 VS ホイス・グレイシー



★高田やる気全く無し！プロレスへ戻れ！（米田聡／29歳／会社員）★何もしないのは、試合をやらないのと一緒だ！（永見芳夫／33歳／会社員）★全然進歩してねーじゃん。プロレスに帰って来なくていいよっていうか、帰ってくんな！（最首英也／30歳／ＣＭ屋）★6万人の前であの試合を出来たこと（カザマノリユキ／27歳／学生）

エンセン井上 VS マーク・ケアー



★可哀想だけど今日は何も弁解できないし、しないでほしい（掟ポルシェ／31歳／ロマンポルシェ）★大きなこと言っていたくせに小路と同じように、負けた！それで負けた！最低！（Ｂｉｇｇ ＴＡＫＡ／33歳／転売屋）★紙プロ誌上での発言がでかすぎる！奴こそ平成の言うだけ番長だ！（塩野賢次／32歳／バウンサー）

アレクサンダー大塚 VS イゴール・ボブチャンチン



★両選手と共に闘う姿勢が見られた攻防だった（出山健太郎／24歳／学生）★熱かった。逃げないアレクもすごかった（池田正和／24歳／オペレータ）★ボブに対して打撃で挑んでいったアレクの心意気や良し（爆乳ハンター／38歳／デザイン）ボブチャンチンはグランドが身に付くと手が付けられないと思った（ハタユウジ／27歳／フリーター）

佐竹雅昭 VS マーク・コールマン



★あんなにキレイにタックルからマウントからネックロックと絵に描いた様（角屋貴／29歳／自由人）★ＶＴの強さをしらしめた（湯川利暁／20歳／学生）★佐竹、お前の17年はそんなもんか！（鈴木洋哉／19歳／学生）★もう少し打撃で闘えると思った（鳴村日出男／27歳／会社員）★負けっぷりの良さ（山田豊／19歳／学生）

Q4 5月1日に行われる『PRIDE.GP2000決勝トーナメント』で見たいカードを2試合あげて下さい。



1位　桜庭和志vsホイス・グレイシー　103票

グレイシー狩りを果たしたサク。そして、メインで高田を倒したグレイシー最強の男ホイス。これは文句なく、見たいカードNO.1でしょう。サクの勝利で東京ドーム大爆発か!?



2位　藤田和之vsマーク・ケアー　40票



マーク・ケアーは霊長類ヒト科最強と言われているが、野獣・藤田はヒト科ではない可能性が高いのでノー問題！はたして藤田のタックルはケアーに通用するか!?　"ミッシング・リンク"藤田の野生の力で格闘ロマンを笑って歩こうぜ！

3位　マーク・ケアーvsホイス・グレイシー　37票



ホイスの脊椎のねじれ、左半身麻痺のため流れた夢のカード。ハッキリ言ってホイスには気の毒なほどの体格差なので、実現する可能性は低いと思うが、やっぱり見てみたいカードである。このカードの決勝戦という声は多く、注目だ。

4位　藤田和之vsイゴール・ボブチャンチン　20票

4位　マーク・ケアーvsイゴール・ボブチャンチン　20票

6位　藤田和之vsマーク・コールマン　16票

7位　ホイス・グレイシーvsイゴール・ボブチャンチン　15票

8位　桜庭和志vs藤田和之　11票

8位　藤田和之vsホイス・グレイシー　11票

9位　桜庭和志vsイゴール・ボブチャンチン　8票

9位　桜庭和志vs小路晃　8票

11位　小路晃vsホイス・グレイシー　7票

11位　藤田和之vs小路晃　7票

本日（2月16日）、次回カード発表がありファンの見たいカード1位、2位が現実のモノになりました！『ＰＲＩＤＥ』オフィシャルアンケートでブッチギリの人気で、対戦が決定したサクVSホイス、藤田VSケアー決定！1・30東京ドームはファンに好評とは言いがたかったが、またもや夢のカード実現で、今回も東京ドームに足を運ばないわけにはいかないだろう。

Q5 『PRIDE.GP2000』で優勝するのはズバリ誰だと思いますか？

1位　ホイス・グレイシー　52票



★これが無くなったら廃業だから（黒川哲孝／30歳／会社員）★なんだかんだ言って"ギ"の裾で首締め（西野丈博／23歳／学生）★相手の光を消すという部分で最強（岩村篤／21歳／格闘学生）★グレイシー一族のプライドにかけて。でも2回戦、体調が悪いなどの理由で棄権しそう（仲井康浩／21歳／フリーター）★道着を着ている以上、無敵！悲しいかな…（エンケン／52歳／四畳半ロッカー）★ルールが奴等に味方するでしょう（三輪幸司／29歳／会社員）★他の選手とは背負ってるものが違うから（米田聡／29歳／会社員）



2位 マーク・ケアー 49票

★ステロイドの副作用が出なければ、やっぱり強い（市川亨／21歳／大学生）★残った8人の中では体重と技術の両方で能力的に抜けている（金田秀彦／29歳／会社員）★体格が反則だから（鈴木洋哉／19歳／学生）★あのパワーの前にはホイスのグランドも力でねじ伏せられそう（カンノタロウ／22歳／社会人）★世界最強、今日復活した（川辺和伸／29歳／会社員）★高いレベルでバランスが取れている（佐藤創紀／22歳／大学生）★霊長類、ヒト科最強だから（長谷川孝／25歳／スケーター）



3位 イゴール・ボブチャンチン　35票

★打撃のヒッティングのパワー、タックルを切るセンス、あとビンボーそうなので（ロマン優光／？歳／ロマンポルシェ）★ボブチャンチンならなんとか、この状況を打破できそうだから（芦川健吾／22歳／プログラマー）★判定ルールならボブチャンチンが一番相手にダメージを与えられる（中山信一／27歳／植木屋）★関節技が極まりにくそうな上、必然的にパンチ合戦になりそうな感じ。そうなるとボブチャンチンの流れ（出山健太郎／24歳／学生）★無自覚度で（掟ポルシェ／31歳／ロマンポルシェ）

4位　桜庭和志　30票

5位　藤田和之　27票

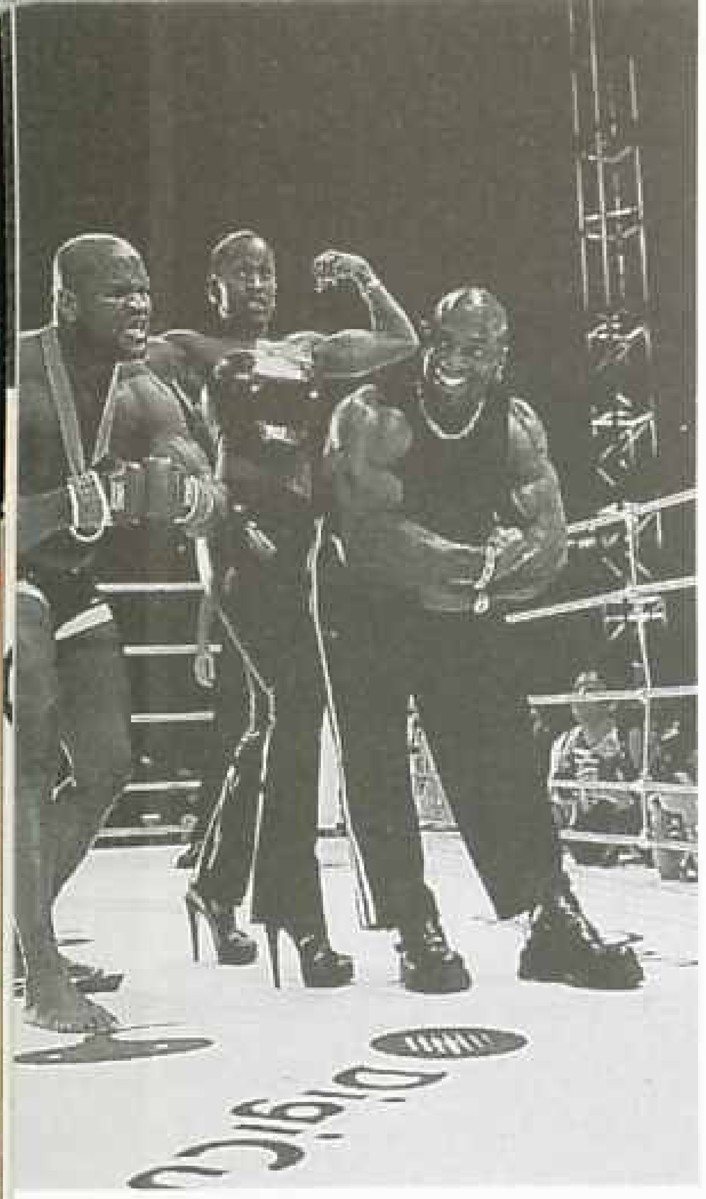
6位　マーク・コールマン　9票

7位　小路晃　4票

7位　ヴァンダレイ・シウバ　4票

9位　ゲーリー・グッドリッジ　2票

★サクのニコニコスマイルには「優勝」って書いてあるような気がします（三宅陽子／23歳／雑誌編集者）★藤田　新日本の意地を見せる。一級品のタックルと猪木イズム（福川直輝／28歳／会社員）★プロレスラー最強神話を築くのは藤田しかいない（野地英樹／26歳／旅人）★ホイスに勝った人が優勝するでしょう（加藤陣／27歳／役者）▲強力外国人３人衆が３位までしめるという結果に……。



1・30 PRIDE GRAND PRIX GP2000 ―開幕戦―



1・30全試合終了後
245人直撃アンケート
集計結果発表！

Q8 今日の興行全体を振り返ってどのような感想を持ちましたか？

★今回初めてだが、もう見に来ない！リングスのKOKを見に行きたくなった（田中規之／30歳／自営）★前回が良かっただけに残念。★裏切りがないとつらい（安田敏也／22歳／学生）★会社休んできたのにすごく残念でした【山本高良／24歳／飲食業】★フジテレビで放送するらしいがコアなファン以外に見られるのは逆効果かも【浜上哲郎／34歳／サラリーマン】★終わりよくなきゃすべて×【斉藤ターボー／23歳／学生】★カードがビックな割には盛り上がりはスモール【佐藤幸生／21歳／学生】★芸能人は映すな。緊張感が途切れる【新保克哉／24歳／フリーター】★寒い！　客層も含めて電波が……【アキラコ1号／28歳／運転手】★これといって目立つのがなかった。高田には信じてついてきたがそろそろ限界【沼田一弘／29歳】★桜庭は早く高田を切って独立して【田中紺／29歳／デザイン他】★しょうがないのはわかっていたが今日はゲイナイトかと思うくらい抱き合ってばっかだった【ヤスシ／24歳／リーマン】★わだかまりの残るものだったけどこれだけの選手を揃えたのはすごい【湯浅俊之／26歳／マスコミ】★プロなんだから、もっと観客の気持ちも考えた上で戦って欲しい。【五味祐司／28歳／アルバイト】★格闘技を見に来てこんなにつまらなかったのは初めて。NHBは金が取れないとわかった。【佐々木／23歳／学生】★こんな試合ばっかじゃやばいよ！【栗田英樹／31歳／会社員】★この2人だけ良かった。藤田と大刀光サイコー！【平河淳一郎／30歳／会社員】

▲大会前の期待があまりにも高まりすぎたためか、厳しい意見が続出してしまった今大会。不評の原因は、やはりあまりにも多すぎた膠着シーン。ブレイクありのKOKルール方面にむかうか、それともヒジ、ヒザ、後頭部までオーケーの究極のルールへ向かうか、『PRIDE』は重大な岐路に立たされていると言っていいだろう。しかし、ルール改正には打倒グレイシーが絶対条件。頼むぞ、サク！

Q6 今回の『PRIDE.GP2000』では、元新日本プロレスの藤田和之選手、元K−1から佐竹雅昭選手、元相撲界から大刀光選手が参戦しましたが、他に『PRIDE』マットに上がって欲しい選手をあげて下さい（男女問わず）。

1位　小川直也　36票



★彼が出ないとつまらない！あとは自分で自分の価値に気付くか次第（エンケン／52歳／四畳半ロッカー）★理由を言うまでもない。小川が出なきゃプライドが面白くないということがハッキリわかった。オーちゃん目を覚ませ！（荒井康弘／27歳／ブルーカラー）

2位　田村潔司　20票



★真面目に真剣に闘ってくれそうだから（田辺恒一／27歳／学生）★KOKで優勝したら（ハタユウジ／27歳／フリーター）★リングスで井の中の何とやらじゃない事を証明してほしい（大竹紀子／28歳／OL）★桜庭との試合を見たい（小暮真司／35歳／フリーター）

3位　谷津嘉章　11票



★口先通りか見てみたい（石田高康／25歳／書店員）★本当に強いのか？（岩崎雅彦／38歳／会社員）★元新日本だから（福川直輝／28歳／会社員）★スゴイし、目ェつぶって30秒だし（オクダサトシ／34歳／アートレスラー）

4位　安田忠夫　10票
4位　マイク・タイソン　10票
6位　アレキサンダー・カレリン　9票
6位　小橋健太　9票
8位　曙　9票
9位　石沢常光（ケンドー・カシン）6票
9位　清原和博　6票
9位　永田裕志　6票
9位　長州力　5票
9位　秋山準　5票
9位　ケビン・ランデルマン　5票

★安田忠夫　相撲最強を証明してくれ！（宮崎洋寿／30歳／会社員）★マイク・タイソン　出てきたら大変なことになりそうだから（芦川謙吾／22歳／プログラマー）★アレキサンダー・カレリン　藤田を見てアマレスはイケルと思った（中山信一／27歳／植木屋）★小橋健太　ここでプロレスラーの、全日の強さを見せて欲しい！（知原友／28歳／会社員）★ケンドー・カシン　新日本を辞めて欲しいから（平川淳一郎／30歳／会社員）★清原和博　あれだけの素質をくすぶらせるには惜しい（出山健太郎／24歳／学生）★秋山準　アマレスをやっていて基礎が出来てるし、頭がいいから（山口真一／22歳／会社員）★関綾子　怪物が暴れまくるのが見たいから（加藤仁／27歳／役者）★武蔵丸　大刀光の証言によるが本当だろうか？（念仏の鉄／？歳／荒野の素浪人）★ジェラルド・ゴルドー　本当に相手を殺す勢いがある（花木俊博／28歳／会社員）★本田多聞　あのドラム缶体型は間違いなく強い（岩村篤／21歳／格闘学生）★大仁田厚　入場で見せてくれるから、高田よりマシだし（小川匠／27歳／会社員）★貴乃花千代大海　相撲の強さを見たい（木村領明／30歳／会社員）★『PRIDE』の存続そのものが危ないと思うので、特にいない（沢田／26歳／会社員）▲なんといっても谷津切望説は高い！　『紙プロ』NO13の谷津インタビューを見れば声高に望む声が理解できる!!　2位の田村はグレイシー3連戦トップバッターを飾る期待の大きさが蔓延！　そして、1位はやっぱりオーちゃんだ！

Q7 突然ですが、あなたの好きなプロレス団体、格闘技団体はどこですか？

1位　新日本プロレス　42票
2位　リングス　33票
3位　UFO　27票
4位　全日本プロレス　20票
5位　修斗　19票
5位　バトラーツ　19票
7位　『PRIDE』　12票
8位　WWF　10票
9位　昭和新日本　6票
9位　大日本　6票
9位　和術慧舟會　6票
12位　SPWF　5票
12位　大仁田興行　5票
12位　パンクラス　5票

▲新日本は藤田幻想爆発で、やはり強し！　プロレスファンが大挙して見にいかなければ『PRIDE』という国は成り立たない！　そして、どすこ～い！　タチ関所属のSPWFファンもかけつけたことも見逃せない。そして『PRIDE』と同じく"世界最強トーナメント"（KOK）を行うリングスもファンも多かった。以外だったのはパンクラスファンの少なさ、1月30日、パンクラスファンはどこへ……。

2・2 都内スタジオにて

あの天才アラーキーとプロレスラーのファインダー越しのフォト・バトルが実現!!





見てみぃ、このツラ！　この写真集でプロレスラーと格闘するために『PRIDE GP』を観戦したアラーキー。『もう、す〜ぐ正常位の形になってつまんない！』とのことでした。



プロレスラー＆アラーキー＆南部虎弾、右横にたたずんでいるのがロックウエスト田中社長。この日、アラーキーと南部氏のヘアースタイルが同じという驚愕の事実も発覚!?

ド肝を抜くショット、ハプニングが続出!!
写真は闘いだ!!



電撃ネットワークの南部氏は『プロレスをおもしろがる会』なるものを発足。そしてこの写真集のプロデューサーなのだ。南部さん、つんくばりのプロデュースを見せてくれ！

から脱いじゃおう」（アラーキー談）

天才・アラーキーが、プロレスラーとサシの勝負をする！　いや、した。そして、これからもする！　そしてそれが写真集になる!!

2月2日——。都内某スタジオにて、神出鬼没の記者会見が行われた。午前11時開始というリリースが新聞・雑誌各社に流れているにも関わらず、11時半を過ぎても、いっこうに会見が始まる気配は見えない。会見出席者は、アラーキー、南部虎弾、ザ・グレート・サスケ、石川雄規、アレクサンダー大塚、H（エイチ）、モハメド・ヨネ、タイガーマスク、藤田穣、島田裕二、そして、最近はプロレス・トークイベントの殿堂となりつつある渋谷のライブハウス・ロックウエストの田中社長。

午後12時を回って、ようやくアラーキーが到着。会見は電撃的に始まった。電撃的に始まった会見の口火を切ったのは、電撃ネットワークの南部虎弾。電撃づくしだ。この南部氏が音頭を取る『プロレスをおもしろがる会』が母体となって、今回の写真集は発売されるらしい。その会のメンバーは、高田文夫、テリー伊藤、関根勤、サン

超異次元写真集発売会見の直後に公園&スタジオで密写!接写!!劇写!!!



凄い速度でシャッターを切る天才アラーキー! その横にピッタリマークで「いいですよォ〜、Hの下着はサイコ! みんなもっと自然にいこうねぇ〜」と指示を飛ばしまくるサスケ。なぜだ!?



メチャクチャ、クソ寒い中、パンツ1丁で並ぶプロレスラーたち……。「やっぱり、脱ぐといい身体してるなぁ〜」とアラーキーは感心するも、自前のパンツの趣味に関心は向いておりました。



「よ〜し、ここは森だ! 君たちは森の動物だぁ」という指示通り暴れまくるプロレスラーの姿を見て、「ここはホモの森だぁーーーーッ!」と何回も叫びまくる天才アラーキーであった。



な、なんでやねん!? 何も言われないうちから脱ぎ出し、「マスクは脱がないけど服は脱ぎますよォ〜」と言うサスケ社長のTバック姿って、社長は特別監修人でしょ?



『PRIDE GP』から3日後のアレク。試合終わりではボッコボッコだった顔が3日でボコッくらいに! アレクは回復力も強靭であることが発覚!!



時間差で参戦した村上一成・場外乱闘王は撮影風景を見て「み、みなさん、何してるんですか!!」と目を丸〜くしていたが、やはり血が騒ぎ出し大暴れした。



「アラーキーには負けませんよォ〜」とビデオカメラを構えるサスケ。これはメイキングビデオのために撮り続けられていたのだが、発売されるかは謎。



闘いとはエネルギーのぶつけ合いであることが確認された!!

「ヨシッ!! 寒いか

プラザ中野、西川りゅうじん、蛭子能収、大川豊……まだまだ紹介しきれないほどの錚々たるメンバーに混ざって、本誌鬼畜編集長・山口日昇もなぜか名を連ねている。特別顧問にはサスケ社長が就任したという。そして、この日会見に出席したレスラー陣に加え、人間UFO・村上一成も参戦し、アラーキーとプロレスラーのファインダー越しのフォト・バトルが実現するというのだ。

そもそも、事の発端は、ロックウエストの田中社長と、そのロックウエストでイベントを毎月プロデュースしている島田裕二、そして西川なる謎の人物の3人が「プロレスラーの写真集を作ろう!」という茶飲み話から、某団体の某超人気レスラーたちのヌード写真集を発売することがほぼ決定した。が、しかし見事に頓挫し大借金に頭を抱えることになった田中社長。いつまで悩んでも何をやったら良いのかサッパリわからない3人衆のもとに当初「名前を貸すだけでもいいかな?」などと、あぐらを組んでいた南部氏が「アラーキーさんに頼んでみるから、アラーキーさ

プロレス・トークショーの殿堂
渋谷ロックウエストにて プロレス三昧、続行ッ!!

渋谷の東急ハンズ前にあるライブハウス『ロックウエスト』。ここではぼ毎週プロレスイベントが繰り広げられていることをご存じか？　今や最新プロレス情報の発信基地ロックウエストに今すぐ足を運べ！



▲（左）『年忘れINロックウエスト』の模様は前号で各自調査！（右）サスケ＆石川のイカレ社長コンビも生け贄に三田さんを引き連れ登場した！

2月23日（水）19:00〜
島田裕二プロデュース「場外乱闘とは何か?」
村上一成（UFO）
場外乱闘王の異名通りこの日も、ロックウエストに衝撃を走らす!?
村上一成がどんなトークでバトルを繰り広げるのか？
料金￥1000

3月8日（水）
広田さくら
（GAEA JAPAN）
ＧＡＥＡの期待の星、コスプレ女王広田さくらが登場! 今、女子プロレス界で、人気急上昇の広田がこの日は一体、どんなコスプレを見せるのか？
料金.￥2000　当日￥2500

3月7日（火）
"Show" 大谷泰顕Presents
桜庭和志（髙田道場）
「サクラバカズシ」「ゴキブリゴロシ」の迷言でお馴染みのShowが贈るトークショー！　この闘いに本誌編集長が乱入宣言だ！
料金.￥2000　当日￥2500

3月8日（水）
島田裕二プロデュース「J-CUPとは何か?」
ゲスト 超大物X
島田レフェリー曰く「『J-CUP』にゆかりのある選手が参戦しま〜す！ビックリして腰抜かしますよぉ〜は〜い！」とのこと。
料金￥1000

3月17日（金）
トークショー
山崎一夫
今や『山崎バランス治療院』医院長のやまちゃんがモーレツ爆発トークを見せてくれる! 本誌登場までカウントダウン開始！
料金.￥2000　当日￥2500

3月27日（金）
島田裕二プロデュース
CIMA & スモー・ダンディ・フジニ千
前回のトークショーではチケット販売開始20分でSOLD OUTという恐ろしい人気を持つCIMA。今すぐ急げ！
料金.￥2000　当日￥2500

※全て開場18:00　開演19:00
［問い合わせ］ロックウエスト　03-5459-7988



お気に入りのアレクとの格闘にはたっぷ〜り時間をかけた。このノーホールズバードな闘いの勝敗は読者のみぞ知るというわけで、表紙をアレクページを見て考えろ！



この小道具を選ぶHには完敗である。アラーキーはこの姿を見て「ミュージックスタート！」とHを踊り狂わせた。



天才アラーキーが撮るとこうなる!!　藤田（みちプロ）＆ヨネ（バト）のスーパーミラクルショット！　カラーでお見せできないのは残念極まりなし！

そして超スクープ!! 桜庭、藤田和之も この闘いの場に参戦!! でも、ホントに出るのか写真集!?



サスケの私物ムチを見て、大ハシャギで振りまくる村上一成。さすが、いちいち取る行動も未確認なのだ。この日、一番撮影現場を乱闘の渦に巻き込んだ！



南部氏にどんな姿で撮影に挑むのか相談中の藤田に、サスケが一言「いやぁ〜、その金太郎エプロンのダサさが藤田らしい！」ってそれってどーゆうこと？



これが、ロックウエスト田中社長だ！　田中社長と言ってもＳ系の田中社長ではない。とうわけで、本誌は田中社長にピッタリマークでこの模様をお届けし続けます！



拘束衣を選んだタイガーマスク！　身動きできないこのトラにアラーキーは楽勝なのか？　しかし、タイガーはどうやってサングラスをかけたのかは不明。

んが興味がありそうなレスラーたちでやろうよ！」と電撃的にひらめき、ついにこの日を迎えることになった。

「ボクの興味があるのは男性でも女性でも格闘している人。ボクの写真というのは被写体とボクの格闘に近いものがあるんだよ。今回はレスラーとサシの勝負になるね」と言う天才アラーキーとプロレスラーの闘い（なんと、藤田も桜庭も参戦決定！）の模様は、次号で詳しくお伝えすることにする。とにかく、今号の表紙を見て格闘芸術を感じとれ！

紙のプロレスRADICAL Back Number Information

※『紙のプロレスRADICAL』創刊号からNO.4、NO.6～NO.8は完売しました。ありがとさん。



【バックナンバー申し込み方法】

●お申し込み方法は現金書留と郵便振替の2種類があります（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）
●現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封し、
〒151－0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3－11-3-702（株）ダブルクロス『RADICAL通販』係まで送って下さい。
●郵便振替の場合は用紙裏面の通信欄に希望号数を明記し、
00130-3-769154（株）ダブルクロスまで。
代金はNO.5～NO.10＝680円　NO.11～NO.19＝780円　NO.20＝880円　NO.21＝840円　NO.22～NO.23＝880円送料1冊＝310円　2冊＝340円　3冊～4冊＝450円　5冊＝520円　6冊以上＝700円
●『紙のプロレスRADICAL』バックナンバー常備のえらい店
・アイドール新宿店・新宿ファイター・大山アメリカン・プロレスマニア館・チャンピオン東京・チャンピオン大阪・リングパレス・バディスラム・タコシェ・レッスル渋谷店・レッスル池袋店・書泉ブックマート・書泉ブックタワー・書泉グランデ・横浜"AO" CORNER・下北沢バンバンビガロ・ワールドスポーツプラザKINGS（池袋店・渋谷WEST店・新宿アルタ店・名古屋店・大阪店・札幌店・福岡店）

No.23 ★道はどんなに厳しくとも笑いながら歩こうゼ!!



ホイス戦直前！**高田延彦**インタビュー
超異次元対談**大仁田厚VSエンセン井上**
つっぱれ**大刀光**／スモーノブがっぷり四つインタビュー
佐々木嘉則
ヒクソン・グレイシー／**W・ウィリアムス**
ジャイアント馬場1周忌追悼座談会
レスラー生活10周年記念**ザ・グレート・サスケ**
★「リングス『KOK』大特集！」
襲撃事件後『紙プロ』初インタビュー**前田日明**
ヘンゾ・グレイシー他／刺青女**多和田初美**／**木口宣昭**

No.5 ★すべてはここから始まった!



高田延彦ロングインタビュー
猪木、Puffyほか有名人33人が
高田vsヒクソンを大予想
ドン荒川vs藤原喜明超過激対談！
前田日明の『人生は語らず』
世界格闘技連盟を語りたおす！
佐山聡（タイガーキング）
長井満也／**柳澤龍志**／**ディック東郷**
愚乱・浪花／**ザ・グレート・サスケ**
長与千種／**ライオネス飛鳥**／**ビクター・クルーガー**
パンクラス旧合宿所誌上大公開！

No.9 ★「アントニオ猪木・闘魂連鎖！無礼講大特集!!」



前田日明／**ザ・グレート・サスケ**
高田文夫／**春一番**／**ターザン山本**／**石川雄規**
衝撃のさらばプロレスマスコミ宣言
業界病を吹き飛ばせ!!
見てみぃ、この面ッ!!
高阪剛ロングインタビュー
前田日明ラス前インタビュー＆炸裂人生相談
日プロOB**吉村道明＆ユセフトルコ**
＆遠藤幸吉＆駿河海
『格闘家からみたプロレス！』
朝日昇★谷津嘉章／**佐野友飛**
下田美馬＆三田英津子

No.10 ★特集「灼熱の地殻変動'98」



大和魂は連鎖する!!
前田日明vsエンセン井上スクープ対談！
とにかく元気！**高田延彦**ロングインタビュー
またもや大爆発！
谷津嘉章インタビュー第2弾！
社長＆会長対談・**ザ・グレート・サスケVS**
松永高司
『紙のプレイボーイ』発進!!**ダイアナ＆宮内美穂**
ターザン山本のプロレスマスコミ表紙批評!!
『紙プロスーパースター列伝』
北沢幹之★冬木弘道（金村ゆきひろ＆伊藤豪）
ロングインタビュー

No.11 ★特集「格闘Viagra'98」



高田延彦vsエンセン井上
エネルギーエクスチェンジ烈談!!
前田日明ラストマッチ後初インタビュー
ターザン山本のプロレスマスコミ表紙批評!!
「格闘か？芸術か？それとも格闘芸術か!?」
佐山聡／**スーパー宇宙パワー（木村浩一郎）**
福田雅一
★ザ・グレート・カブキ／**ダンプ松本**
★バト両国進出記念**石川雄規**
トンパチ・マシンガンズ
★とうとう語られるSWSの真実
『S多重アリバイ』**アポロ菅原**

No.12 ★特集「格闘TEPODON!!'98」



2度目のヒクソン戦直前！
高田延彦ロングインタビュー
「プロレスファンよ踊れ！
祭り囃子を鳴らせ!!」**浅草キッド**
人気大炸裂！『S多重アリバイ』
第2弾**アポロ菅原**
★桜庭和志／**アレクサンダー大塚**
山本喧一／**神取＆北尾**／**八木淳子**
ダンプ松本／猪木イズム世界一決定戦
石川雄規＆ザ・グレート・サスケ
格闘王から相談王へ**前田日明**「人生は語らず」
話題騒然!! What is　プロ格闘家？
菊田早苗＆郷野聡寛

No.13 ★特集「四角いジャングルRADICAL」



実写版『1・2の三四郎』降臨！
アレクサンダー大塚インタビュー
『10・11 PRIDE.4』とは何か？
ザマアミロ雑談会!!
高田延彦がヒクソン戦後の心中をリアルに語った!!
前田日明・エンセン井上が語る
『高田VSヒクソン戦!!』
谷津嘉章・**島田裕二**・**浅草キッド**が見た
『10・11 PRIDE.4』
大反響！『S多重アリバイ』第3弾
ケンドー・ナガサキ
★ボブ・バックランド／**松永光弘**
リッキー・フジ／**堀辺正史**

No.14 ★特集「格闘DREAM CAST」



前田日明独占ロングインタビュー
これが**カレリン**の発した言葉だ!!
山本美憂・聖子vs父・親子ゲンカ!? 対談
連勝街道爆進中！**金原弘光**
RADICAL版　ゆく年くる年座談会
谷津嘉章のマット界、目ぇつぶって30秒!!
『高田道場1999！』**高田延彦**／**桜庭和志**
佐野友飛／**松井大二郎**／**豊永稔**
『S多重トンパチ』第4弾　**折原昌夫**
★『虎の尾を踏む男たち'99』**小路晃**
4代目タイガーマスク／**村上一成**／**宇野薫**

No.15 ★特集1「格闘MARS ATTACKS!」



橋本戦の核心を語る
小川直也with.S.Sインタビュー
佐山聡／**4代目タイガーマスク**
UFO襲来緊急座談会
★特集2「**格闘LAST VOYAGE**」
前田日明USA特訓を直撃！
アレキサンダー・カレリン
浅草キッド／**アニマル浜口親子**
★ジャイアント馬場追悼特集
本誌初登場！**SASUKE**
『語ろう**マサ・サイトー！**』
『S多重アリバイ』2連発！
佐野友飛＆**Mr.W**

No.16 ★特集1「格闘ノストラダムス'99」



エンセン井上ロングインタビュー
田村潔司／**坂田亘**／**高阪剛**／**山本喧一**
村上一成／**マーク・コールマン**
石川雄規／**ザ・グレート・サスケ**
★特集2「**それぞれの旅立ち'99**」
アントニオ猪木ロングインタビュー
前田日明引退後初の独占インタビュー
大好評！「語ろう」シリーズ第2弾！
『語ろう**ジャンボ鶴田**』
『S多重アリバイ』第7弾**石川孝志**

No.17 ★特集1「格闘MAKE JUNGLE」



UFO襲撃三昧**小川直也**インタビュー
桜庭和志／**高田延彦**／**アントニオ猪木**
豊永稔／**マグナムTOKYO**／**池田大輔**
宮戸優光
★特集2
「**新生リングスBone＆Blood**」
前田日明／**山本宜久**／**成瀬昌由**
R・クートゥアー
★タイガー・戸口／**矢口壹琅**／『**怪物通信**』
「ターザン山本さん、目を覚ましてください!!」
イベント炎上鎮火ドキュメント!!

No.18 ★特集「格闘STAR WARS」



カーウソン・グレイシー一派を壊滅!!
桜庭和志VIVAVIVAロングインタビュー
小川直也e-mailインタビュー／**高田延彦**
エンセン井上／**イーゲン井上**／**小路晃＆宇野薫**
格闘STAR WARS座談会
★『S多重アリバイ』第8弾**将軍KYワカマツ**
「外人さん、いらっしゃ～い」
F・シャムロック／**G・グッドリッジ**
R・グレイシー
『怪物通信』**G・アイブル**
『**闘魂猪木塾とは何か？**』

No.19 ★いま一度高田延彦を注視せよ!



マーク・ケアー戦直前**高田延彦**インタビュー
リングス、パンクラスにも咆吼三昧!!**小川直也**
マット界の今後を**前田日明CEO**が激白！
『紙プロスーパースター列伝』**ドン荒川**
佐山聡／**エンセン井上**／**成瀬昌由**
TARUwith AYAKA／**宇野薫**
アレクサンダー大塚
『怪物通信』4連発！
M・ケアー＆**G・グッドリッジ**＆
E・F・ブラガ＆**G・メッツアー**
上田馬之助／**井上貴子**／**川口健次**

No.20 ★人間UFO吠えまくる！小川直也インタビュー



独占!!　公開インタビュー**前田日明**
アレクサンダー大塚
高田延彦爆炎記者会見／**佐山聡とは何か？**
『**語ろう藤波辰爾**』／**バス・ルッテン**
『S多重アリバイ』第10弾**ドン荒川**
滑川康仁／**カール・マレンコ**／**高阪剛**
山本宜久／**成瀬昌由**／**小路晃＆宇野薫**
ケビン・ヤマザキ／**内藤恒仁**
ティト・オーティズ
敗者『紙プロ』追放試合！
ジャイ子vsトイレの大西さん（仮）

No.21 ★恐怖のプロレス大魔王降臨！



小川直也ロングインタビュー
『紙プロRADICAL』初登場じゃあ！
大仁田厚／**前田日明**総帥激白！
本誌独占！　発見**八木淳子**
『S多重アリバイ』第11弾**鶴見五郎**
G・アイブル／**R・フィエート**
本誌先取り**B・コーラー**
桜庭和志IN青空プロレス道場
エンセン井上／**山本喧一**／**高瀬大樹**
アレクサンダー大塚／**モハメド・ヨネ**
CIMA／**田中健一**／**平直行**
コーラ・パワーズ／本誌独占**G・サスケ死す！**

No.22 ★サク、グレイシーに完勝この上なし！



桜庭和志ロングインタビュー
前田テロ事件サプライズ座談会
ヤマケン？…俺は逃げる！**田村潔司**
俺は逃がさない！**山本喧一**
スモーノブ初土俵！**大刀光**
好評につき第2弾！**田中健一**／**馳浩**／**小川直也**
ゴールドバーグ／**坂田亘**／**木村浩一郎**／**長井満也**
池田大輔／**B・コーラー＆A・ウォリアー**
佐藤耕平／**渡辺千景**
ヒクソン＆ホイラー兄弟の
「ああ言えばこう言う録」

News News Revolution

1月～2月のこれがマット界の焦点
事件FILE

祝！『紙プロ』月刊化にともない事件ファイルもリニューアル!!
常にうごめくマット界の情報健忘症にかからないように今すぐ要チェック！

※カレンダーの☆は下の囲みの部分に情報が載ってます。

1 January

10
【全日本】バーニング（小橋&秋山）が世界タッグV2
【J'd】Coogaが引退、全女61年組のアジャコングやエ藤めぐみらがかけつけ激励した。引退後は東京・新橋にて『Cooga House』という居酒屋を経営する。
☆アントニオ猪木&藤田和之渡米
◇ホイス&エリオグレイシー来日

11
【全日本】ベイダーが左ヒジを負傷し欠場

12
【全日本】ベイダーが1日で驚異の復帰
【藤原組】藤原組長－WGP&アルティメット挑戦宣言

13
【リングス】前田日明リングスUSA設立準備のため渡米

14
【修斗】郷野聡寛が8ヶ月ぶりに修斗公式戦に出場しラリー・パパドポロス相手に壮絶ドローを繰り広げた。
●大仁田厚が高校卒業記念として「卒業プロレス」を2／27に自身の通う駿河台高校にて開催することを発表



1／10『PRIDE』出場に向けホイス&エリオ・グレイシーが来日。藤田がプロレスラーだと知り「高田みたいなヤツか？」とホイスが笑顔。



1／10バトラーツ新道場『B－CLUB』にてお披露目パーティーが行われ、闘龍門からCIMA&スモーダンディフジニ千などたくさんのプロレスラーがかけつけた。

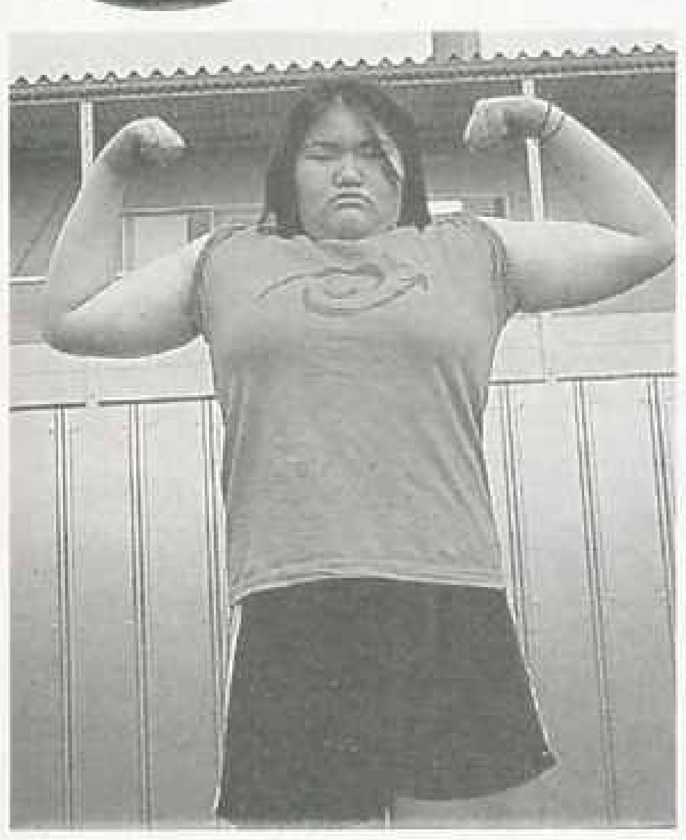
1/10 UFO軍団もお見送り 猪木、藤田揃って渡米



1月10日、藤田和之が都内ホテルで『PRIDE』出陣記者会見を行ったあと、その足で特訓先の米シアトルへ向かった。羽田空港では同じくこの日別件でNYへ向かう猪木と合流。そこへ小川、村上のUFOコンビも激励に駆けつけた。（破壊王も来るという話があったが、結局来なかった。（猪木曰く「アイツは出世しない」）このとき印象的だったのは藤田の堂々とした態度。ビッグネームのなかでも位負けしない貫禄は、まさに藤田が大物でる証明である。これからも格闘ロマンの道を爆走しろ、藤田！

（ガンツ）

1/19 【全日本女子プロレス】船橋大会 豪傑・関綾子が強制送還？ 残念！



本誌NO.22のピンナップで紹介した世紀末の密林女・関が「団体生活になじめなかったため」という前代未聞の理由で強制送還となった。バスを軽々と引く往年のグレート・アントニオばりのパフォーマンスを15歳の女の子がやってるのだから好奇の視線で見られるのは致し方ない。そのプレッシャーをハネ返して、スーパースターへの階段を駆け昇っていくかと思われたのだが。今井広報によれば「そのうち戻ってくるでしょう」ということなので、首を長くして待とう。

（ノブ）

1/17 【全日本プロレス】大阪府立体育会館 川田利明が5ヶ月ぶりに復帰！



昨年8月以来、両眼ブローアウト骨折による眼球運動障害という、名前を聞いただけでも厄介なケガにより欠場をしていた川田が復帰した。相手は小橋健太。楽な相手ではない。どうやら、ケガが完治したわけではなさそうだが、変革の流れに取り残された形となった川田の巻き返しを注目しなければなるまい。『週刊ファイト』で井上義啓氏が「ダン・ヘンダーソンあたりと闘うべし」と、格闘技路線を推奨していたがそういった方向性が全日にも芽生える可能性がいまの全日にはあるのだろうか？

（ノブ）

1/20 【バトラーツ】伊豆「ドーミーヴィラ伊豆山」 アレク、ボブチャンチン戦へ向け極秘トレーニング!?



『PRIDE GP』対ボブチャンチン戦を控えたアレクが、熱海秘境の地で極秘トレーニングに励んだ。その超強力コーチとは？　なんと日本が生んだ『北の最終兵器』ザ・グレート・サスケであった！　黙々と膝蹴りを教えるサスケは、あまりにも熱～いコーチっぷりに体温も上昇しズボンを脱ぎ捨てTバック1枚という姿に!?　それと同時にアレクも白ブリーフをむりやりTバックにして猛特訓。練習終了後は2人仲良く温泉へ。大舞台を間近に控え、こんなオチャメなことをしてくれるアレクに完敗であった。

（タマリン）

15

【DDT】木村浩一郎フリー宣言

16

【闘龍門】ウルティモ・ドラゴン練習生を引き連れメキシコで復帰宣言し〝闘龍門2000プロジェクト〟開始
【ECWJ】冬木弘道&井上京子シリーズ全勝
【GAEA】里村明衣子が永島千佳世のジャーマンスープレックスで左ヒジ負傷で長期欠場へ
◇チーム・ノストラダムス、GAEAリングで大暴れ
●スーパーJカップ委員会発足

17

☆【全日本】川田利明、5ヶ月ぶりに復帰するも勝利は飾れず
【新日本】藤波社長、2／20両国国技館で小川直也&村上一成に出場要請
【WCW】蝶野正洋「マンデーナイトロ」緊急出場

18

【新日本】武藤敬司、時期シリーズ全休発表。ライガーG1出場宣言へ。

19

☆【全女】関綾子、団体生活になじめずしばらく欠場
【WWF】ニューヨーク、タイムズスクエアにテーマカフェ&マーチャンダイズ・ショップをオープン

20

☆【バトラーツ】アレク、ボブチャンチン戦へ向け合宿
☆【全日本】馬場さんの遺産が約9億円と発表される。
●大仁田厚5月で国内引退、矢口を連れアメリカで電流爆破マッチ実現へ。

21

●3／11「第2回メモリアル力道山」横浜アリーナで開催
安生洋二vsターザン後藤　アレクサンダー大塚vs佐野なおき
新崎人生マグナムvsTOKYO　佐山聡vs藤原嘉明
H&雁之助vs山川竜二本間朋晃　その他カード未定

22

☆【FMW】荒井社長、アメリカで暴行を受け重体
【GAEA】ライオネス飛鳥&アジャコング&KAORU&加藤園子のチーム名が『DOA』に決定
☆カンガルーズ、アル・コスティロ80歳心不全のため死去

23

☆【パンクラス】この日からグローブ着用の『パンクラチオ


1／16GAEA後楽園大会に北斗&尾崎（チームノストラダムス）のセコンドに元WCW悪徳マネージャー、サニー・オノオがセコンドとして乱入。


1／18ライガーがこの夏『G－1』に出場することを発表した。そして2／4田中稔戦では5分で決着を着けた後、健介が統一戦をアピールした。


サスケ・ザ・グレートがガンダム誌の表紙に!? 中にはもちろんニセモノ軍団もカラーでバッチシ掲載されており、かなりのカッコ良さ爆発！

1/22 もうブーメランは帰ってこない……アル・コステロ他界

「ザ・カンガルーズ」のリーダーアルコステロが心不全のためフロリダの病院で死去した。ウエスタンハットにブーメランといういでたちで入場し、会場を湧かしていたことが記憶に残る人も多いはずである。合掌。

お悔やみ申し上げます

1/24 全日ファンの悲しみは続く……ボビー・ダンカンJr.死去

全日本ファンなら馴染み深いボビーダンカンＪｒがテキサス州にある自宅にて34歳という若さで亡くなった。死因は不明。98年11月からＷＣＷ所属となり昨年10月に肩の負傷により休暇中の出来事であった。合掌。

1/21 【全日本プロレス】遺産もデカい！


遺産は8億7000万
ジャイアント馬場さん
プロレスラーで昨年一月六十一歳で死去したジャアント馬場（本名・馬場正平）さん＝写真＝の課税遺産額が約八億七千万円だったことが二十一日、東京・渋谷税務署の公示でわかった。関係者によると、主な遺産は渋谷区内の自宅マンションや預貯金など。相続人は妻の元子さんで、配偶者控除が適用さめ、相続税額は八千後になる。既に納付いるとみられる。
馬場さんは高校二った一九五五年に読軍に投手として入が、病気やけがで野

この日、昨年１月に亡くなった故・ジャイアント馬場さんの遺産総額が８億７０００万円だったことが明らかになった。新聞で一斉に報道されたのだが、報道の仕方は各紙バラバラだった。「遺産もジャイアント」というところもあれば、「あれだけの名声があって、この額は少ない」というところもあったが、ボクは８億円を「少ない」などと口が裂けても言えませ～ん。羨ましいほどに優雅に暮らしてきた馬場さんが、それでもまだ８億円残したという現実をＡ・猪木さんはどう思っているか、それが知りたい。

（ノブ）

番外編 【『紙のプロレス』編集部】・下北沢QUE 衝撃！　成田メキシコ君を発見！



1月22日のことでごわす。ワシの友人がやっちょるバンド“ホンダレディ”のライブを見に行ったとき、ワシは『紙プロ』トレーナーを着てたばい。すると「オレ、ここで働いてたんだよぉ……あれ、スモーノブじゃん!?」と声を掛けて来た男がおったばい。それが『紙プロ』本誌時代、ゴキゲンなキャラで一時代を築いた成田メキシコ君だったでごわす。ちなみに、いまは妻子持ちながらも、しっかり『紙プロ』は「立ち読みしてるよ～」とのこと。ごっつあんです。アミーゴになれたでごわす。

（スモーノブ）

1/22 【FMW】ECWニューオリンズ大会 荒井社長が集団暴行を受ける！



田中将斗がＥＣＷと契約したり、冬木がＥＣＷ―Ｊを名乗ったりと、荒井社長を差し置いてＥＣＷとの提携が進むＦＭＷ。キチンと話し合って、ことの真相をハッキリさせたい荒井社長は単身渡米したのだが……代表ポール・Ｅ・デンジャラスリーに怒鳴られ、さらにはＥＣＷのデカブツ君たちにシメられて、肋骨骨折&頭部裂傷で全治１ヶ月の重傷を負った。この写真を見る限り、日本のエンターテイメント・プロレスは荒井社長とＩＷＡの浅野起洲を中心に回っていってると言っても過言ではなさそうだ。

（ノブ）

ン』ルールとなる
【全日本】秋山準3冠戦に挑戦するもベイダーに敗れる
【大阪プロレス】関西テレビで深夜中継が放送され、視聴率26・8％獲得
◇尾崎魔弓＆北斗晶のチーム名が「卑弥呼」に改名

24
☆【WCW】ボビー・ダンカンJr 34歳原因不明の急死

25
【K−1】グレート草津の次男、草津賢治が不戦勝デビュー

27
【バトラーツ】アレク、村上一成と合同練習。
【大日本】金村キンタロー vs 山川竜司2／22選手権調印式にて、両者入り乱れ乱闘騒ぎに！

28
☆【IWA】浅野社長デビューに向け猛特訓開始

30
◇『PRIDE・GP』エリック・クラプトン観戦
☆【バトラーツ】池田大輔＆長井満也がコンビ結成
【GAEA】長与千種とライオネス飛鳥がリング上で握手を交わしクラッシュ再結成の兆しか!?

31
【ECWJ】冬木車上荒らしにあい1000円盗まれる
☆【全日本】ジャイアント馬場1周忌記念追悼興行

2 February

1
【新日本】破壊王、橋本真也が復活！

2
☆天才アラーキーがプロレスラー写真集を制作
【大日本】アブドーラ・ジュニア・小林が本間とのタイトルマッチで地獄突きで処刑宣告

3
【IWA】浅野社長、新宿2丁目でフレディー2号バイクにひき逃げされ、全身打撲、肛門裂傷の重傷

☆大仁田厚、2／20新日両国大会乱入宣言


1／30バトラーツ後楽園ホール大会に、この夜対戦するアレクを見にボブチャンチンが（＆通訳）やってきた!!


1／30『PRIDE』の会場にエリック・クラプトンの姿が！ わざわざ観戦のためだけに来日したとか……。お隣りの藤原ヒロシさんも気になるところです。

1/30 【バトラーツ】後楽園ホール
大ちゃんのプロレスラー魂、爆発！



『PRIDE』の5時間前、バトラーツが2000年1発目の後楽園大会を行った。当然のようにアレクに注目が集まる中で、池田大輔vs長井満也がメイン。長井の驚異的な攻撃力で、池田の記憶がブッ飛ぶ荒れ模様の展開となったが、無意識ながらも秘技・ダイビング回転かかと落としで勝利！　試合後に「この後ドームでプロレスがありますけど、オレは出ません！プロレスを守りま〜す！」と絶叫。ファンの喝采を浴びた。試合後、両者は共闘を宣言！　バトラーツの台風の目となるぞ！

（ノブ）

1/23 【パンクラス】後楽園ホール
パンクラスにニューウェ〜ブ登場！



パンクラスの新人2人がデビューしたこの日、鮮烈な緑色の髪をしたマッシブイチは試合では松永裕央が常に優勢ではあったものの、とにかくリングネームで度肝を抜かした。そして石井大輔がパンクラス史上初6秒で矢野倍達をKOし、慧舟會の悪の王子様、高瀬大樹が渡辺大介に判定勝ちを納め「ヤマケンのバカとは違って渡辺大介には攻める気持ちがありました。いつまでもヤマケンには負けたとは思ってませんから」と爆弾発言も飛び出し、いつもとは違う風が吹いていたことは間違いない。

（タマリン）

1/31 【全日本プロレス】後楽園ホール大会
ジャイアント馬場1周忌追悼興行



29＆30日の両日は、ホール1Fで『馬場さんが帰ってきた』と題した展示会が行われていた。緑の深い品物や人が集まって、大盛況だった。そして、馬場さんの命日であるこの日、献花が行われ500人近い関係者が集まり故人を偲んだ後、興行が行われた。馬場さんの遺影に向かって深々と頭を下げる選手、「バ〜バ！」と雄叫びを上げるハンセン。馬場さんの油絵を背中にあしらったガウンで田上が登場！　それぞれが、馬場さんのいない現実を自分自身に刻みつける大会となったのだった。

（ノブ）

1/28 【IWAジャパン】都内某所
浅野社長の穴の特訓



2・11後楽園で2人のフレディと闘うことになったIWA浅野社長。決戦に向け極秘で行っていた精神修行をマスコミに公開。様々な滝の中から浅野社長が選んだのは男滝と女滝の間にある滝だった。セクシーポーズで滝に打たれた浅野社長は2月3日にはお馴染み花園神社の豆まきに参加。ここまでは良かったが、その後思わぬ事件が勃発。浅野社長がフレディが乗った原付バイクにひき逃げされてしまったのだ。診断の結果、全身打撲、肛門裂傷という疑惑の重傷で後楽園大会にピンクランプが点灯した

（チョロ）

4

☆大仁田厚、2／20新日両国大会乱入宣言
◇元FMW吾作がニューハーフに!?
【WWF】プロフットボールリーグ『XFL』設立

◇.【新日本】ライガー5分4秒で田中稔を下し防衛。
●荒谷信孝がキャプチャー2月大会のカードに不満を持ち道場に殴り込み

5

【CMLL】マスカラス兄弟6年ぶりに合体来日
【新日本】4／7東京ドーム決定！

6

【二瓶組】藤原vs二瓶の組長対決は藤原組長が圧勝。
【FMW】東京・渋谷道玄坂にてリッキー・フジ&H&雁之助らがストリート公開練習決行
【全女】渡辺&前川vsラスカチョ3／4金網マッチ実現へ

8

【新日本】T2000蝶野が天山&小島&ヒロ&犬軍団を加え10人体勢へ

9

【LLPW】後楽園大会にて、神取&土方とトンパチマシンガンズがミックスドマッチで対戦。
【高田道場】道場を移転しリニューアルオープン

10

●大仁田厚が6／25に念願のアメリカでテリー・ファンク相手に電流爆破マッチ開催
【全女&JWP】提携に反発する堀田が入場式を無断欠場、6人タッグに出場したもののパートナーであるダイナマイト関西のタッチを拒否し、乱闘騒ぎになる。
【K—1】3／19横浜アリーナにてグレート草津の次男、賢治がグレート草津のリングネームで参戦決定！　対戦相手候補には大刀光&嵐のチームコンボイの名が!?

『紙プロ』月刊化にともない、あとは詰め込めるだけ詰め込むんじゃぁーッ！

■2／13にKAKIDAMISHI主催沖縄・MATSUSHITAで「KASSHIN」が開催。バトラーツのカールマレンコがバーリ・トゥードマッチをやり、小路晃やバス・ルッテンも来場した。詳しいことは次号を待て！
■『第3回スーパーJ—カップ』開催日決定！　4／1仙台市体育館（18：30）&4／9両国国技館（14：00）の両日。参加選手16名のうち、みちのくプロレスからザ・グレート・サスケ、グラン浜田、タイガーマスクの参加は決定している。
【緊急速報】　3／9ENW、後楽園ホール大会にて、ジョージ高野トークショーの司会に吉田豪、もしくはスモーノブ。そしてリングアナウンサーは松澤チョロに決定！



2／11〜27まで、渋谷パルコにて写真家、長尾氏のガチンコグラフィックが行われています。最終日のエンセントークショーは間に合います！



2／4元FMW吾作が女となってリングに帰ってくる!!　2／25後楽園ホールにて中山&元川相手にハンディキャップマッチが決定！



修斗勢恐るべし！　ファッション誌の表紙を同時GETしたマッハ&ルミナ、宇野薫。これは修斗が浸透してきた現れなんでしょうか？

2/7　【バトラーツ&みちのく】「ウエルネスの森 伊東」
サスケ&石川社長と混浴に入れる！



サスケ&石川両イカレ社長主催の秋の三部作参加メンバー温泉ご招待ツアーが行われ、参加予定メンバー15名のうちキャンセル続きで6名だけになってしまうという事件!?　も勃発したが、両社長と混浴に入り宴も最高潮であった。サスケ社長曰く「華原朋美になった気分！　楽しかったですよォ〜、ムフフフ」とのこと。これからも、みちプロ50ヶ年計画&バト世界征服への一貫として、まだまだ社長と混浴温泉ツアーへの道は果てしなく続くのである。（予定）

（タマリン）

2/2　【プロレスをおもしろがる会】
天才アラーキーがプロレスラーを撮る!!



電撃ネットワークの南部虎弾プロデュースによる”プロレスラーVSアラーキー”との格闘芸術写真集&エッセイが盛り込まれた本が出版される（発売日未定）。サスケやアレクなど早々たるメンバーが顔を並べる中、やはり主役は天才アラーキー。あまりにも凄い勢いに、レスラーたちもタジタジであった。ちなみに撮影中のアラーキーがこの本のタイトルは『ホモの森だぁ〜』と絶叫する一幕もあり。詳しいことはP54を各自調査！

（タマリン）

番外編　【島田裕二プロデュースイベント】渋谷ロックウエスト
『PRIDE』とは何か？



1月21日、渋谷ロックウエストにて、カリスマレフェリー島田裕二プロデュース・イベント「プライドとは何か？」が行われた。ゲストは、DSEの森下社長、谷川貞治氏、本誌編集長山口日昇。大刀光出場&K・ランデルマン欠場までの顛末といった、ここでしか聞けない話から、島田さんとゲストを交えた『PRIDE.GP』予想で盛り上がりを見せたが、この日のMVPはなんと言っても、「言っていいのかわかんないけど、TKって凄いんだよねぇ」等、のんきな発言連発の谷川氏だったん邪！

（チョロ）

2/3　【大仁田興行】後楽園大会
大仁田劇場インターナショナル



ターザンとの歴史的（？）一戦を終えたあとの大仁田劇場。ターザンについては一切触れなかったものの、今宵はネタが抱負。『PRIDE』を意識した「八百長と言われようとプロレスなんじゃ」発言。馬場さんの1周忌あとならではの、号泣しながらの馬場さんに対する想いの絶叫。そして最後は外国人記者に対して、ものすごくわかりやすい英語でおなじみ「5万円旗揚げエピソード」等を語りかけた。ジャドー・イズ・マイ・ライフ。高校卒業を間近に控え、邪道・大仁田節は絶好調だった。

（ガンツ）

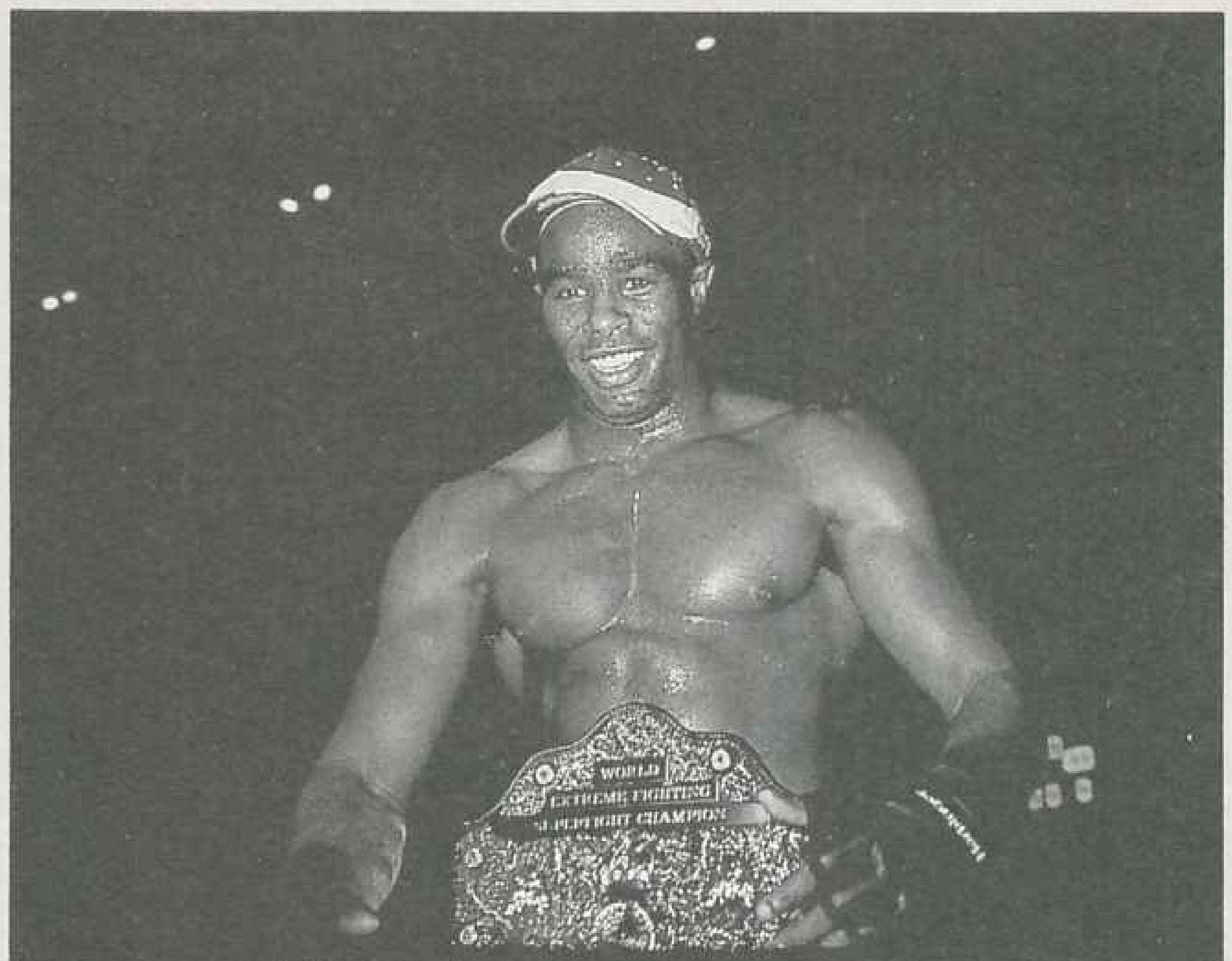
海外編

【ワールド・エクストリーム・ファイト】

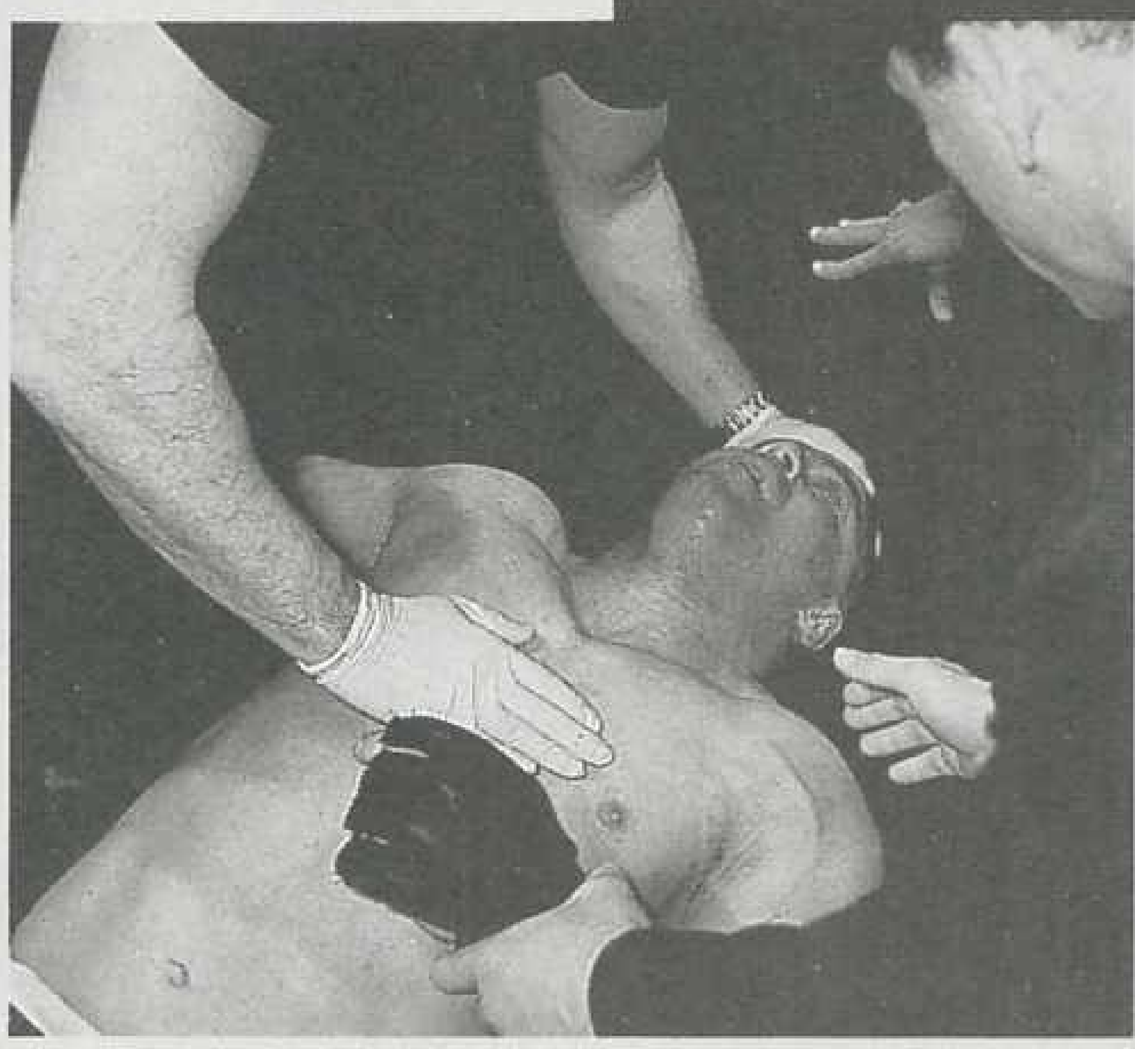
KOK効果、アメリカに波及

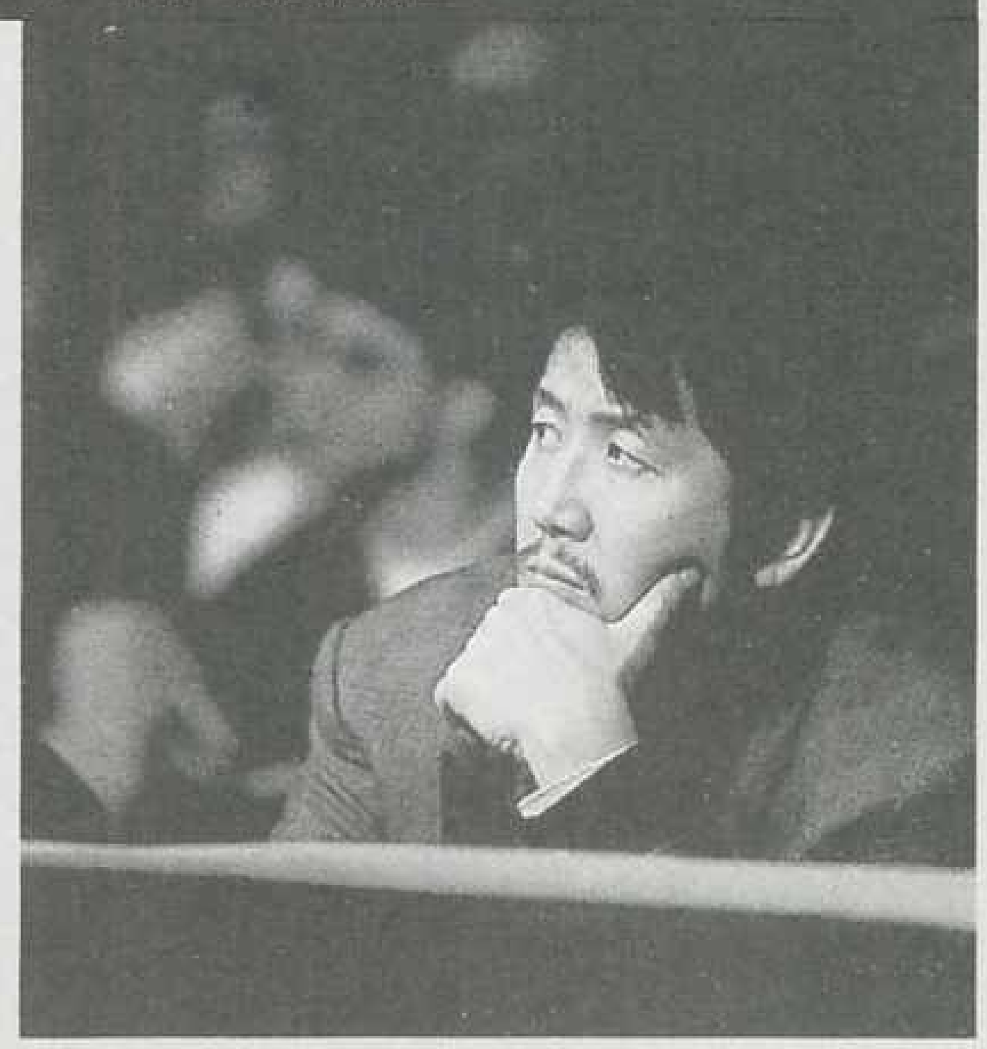
1月15日、米ジョージア州アトランタで『ワールド・エクストリーム・ファイト』（以下ＷＥＦ）が行われた。この大会はＵＦＣと同じく金網のオクタゴンで行われ、ルールはＶＴながらＫＯＫのようにブレイクがあり、メンバーも日本でも有名な選手が多数登場し、これから大化けしそうだ。この注目度を物語るように、ルミナ、マッハ、そして前田日明スカウトが視察に訪れた。

そんな中行われた試合は、ＫＯＫスーパーファイトとも言えるノゲイラvsジェレミー・ホーン、ババルvsＢ・コーラー。ノゲイラはアメリカで知名度の高いジェレミーを圧倒し、衝撃のアメリカデビュー。ババルもコーラーを失神ＫＯで下し、両選手ともにＫＯＫグランドファイナルに弾みをつけた。その他にも、これからマッハのライバルになりそうなペレなどが活躍、観衆も超満員で大成功のうち幕を閉じた。前田スカウトに成果とともに、これからのＷＥＦに期待したい。（ガンツ）











ビデオ編

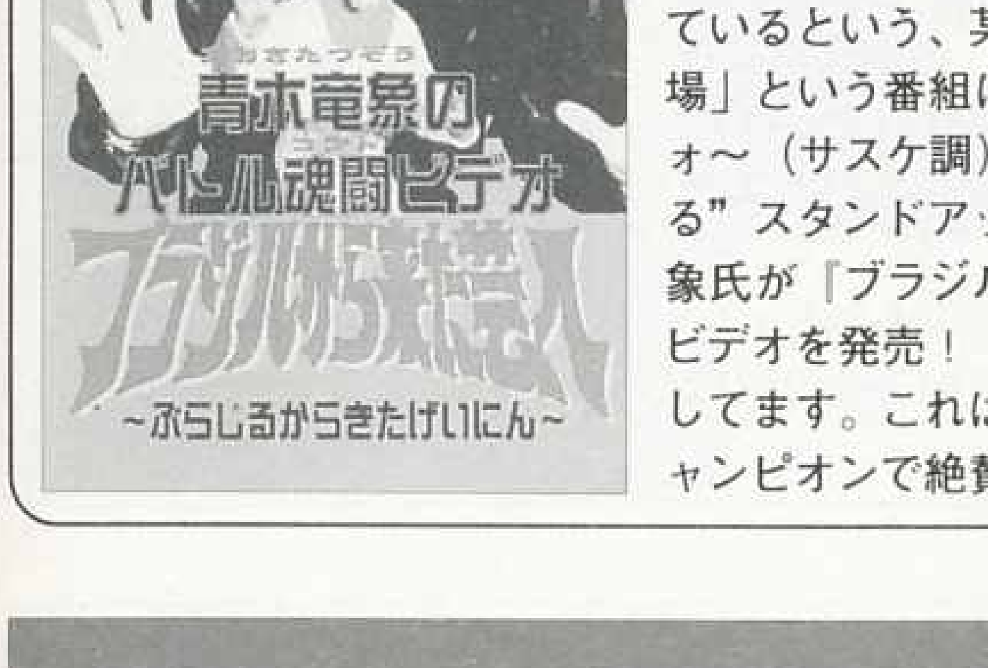
がんばれ！ スタンドアップコメディアン特集第１回

「ブラジルから来た芸人」

本誌編集長山口日昇も１ヶ月に１回は出演しているという、某ＦＭ局の「お笑いプロレス道場」という番組はご存じ？　モチノロンですよォ～（サスケ調）そこのパーソナリティーである”スタンドアップコメディアン”こと青木竜象氏が『ブラジルから来た芸人』というオモロビデオを発売！　なぜかターザン山本氏も出演してます。これは今すぐＧＥＴでしょ。只今チャンピオンで絶賛発売中です！

マメに行くならこんな店 ～格闘家編～

新宿にタノムサクがいた!!

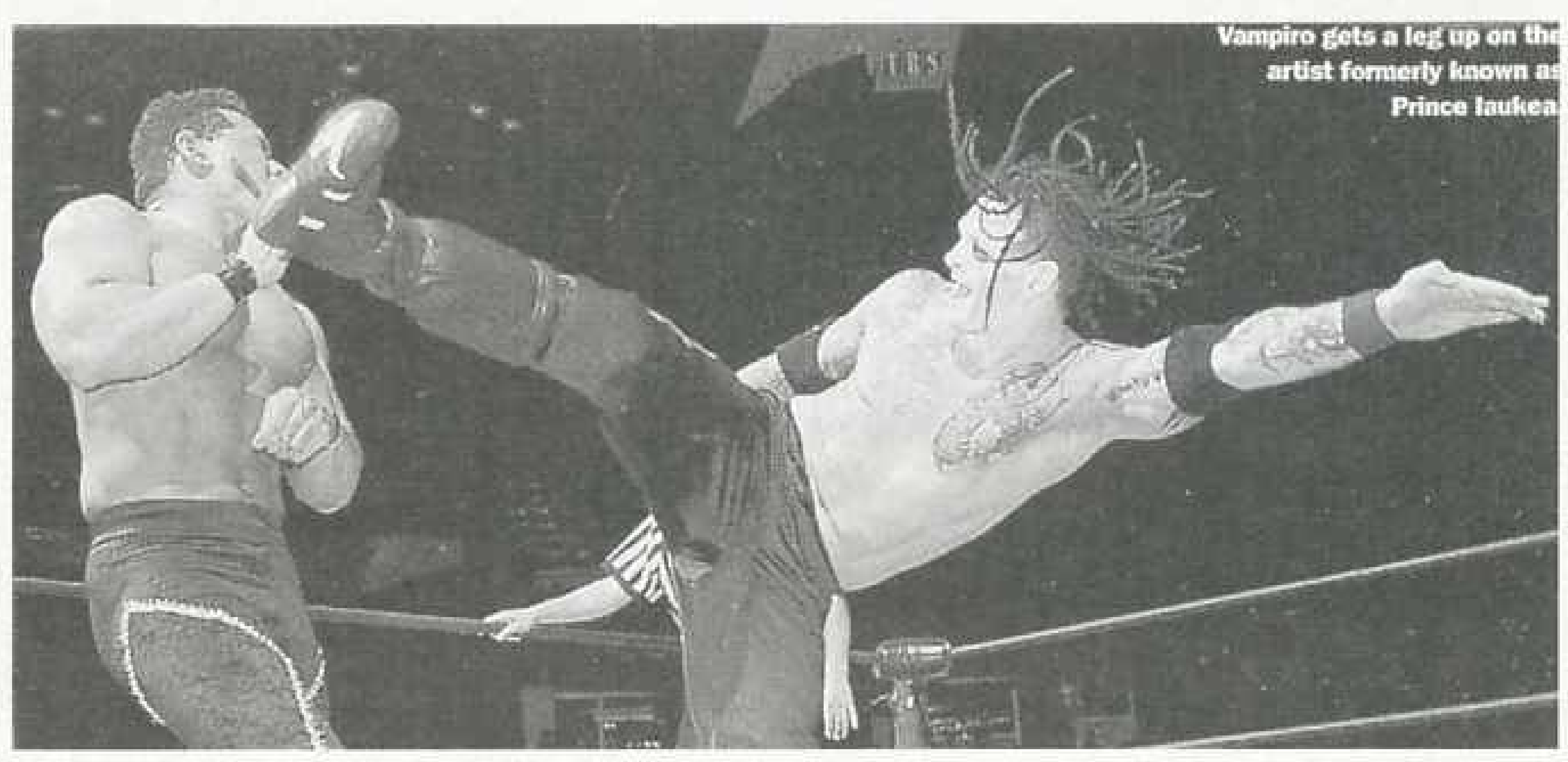


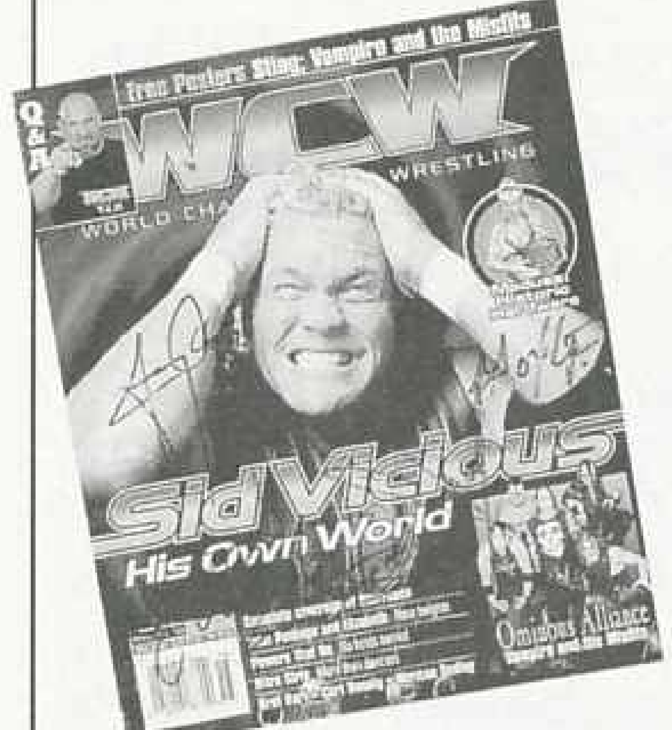
タノムサク鳥羽（二瓶組）が料理も作り、配達もしてくれるというバイト先の中華料理屋さんを発見！　なんとタノムサクを尋ねて行くと料理が１品サービスというオマケがついくる。ちなみに、タノムサクは毎日出勤してるらしい。「とにかく、うまいんで来てくださ～い！」とのことなので足を運んで見て下さい!!

中華 紫苑
新宿区新宿1-2-5岡野屋第２ビル　☎03-3350-2256　日曜祝日休
丸の内線新宿御苑駅徒歩2分　営業時間　AM11:00～PM4:00, PM5:00～PM10:00

海外編

【WCW】にミスフィッツが登場!! これが本当のデヴィロック・ナイト！





髑髏メイクにラ・パルカなコスチューム、歌うはホラーなことばかりのパンクバンド、あのミスフィッツがWCWに出現した！　（それも、殺人医師にブン投げられている写真もあり！）　ミスフィッツ・メイクでタッグを組んでるのは「元々ミュージシャン志望だったのに、なぜかレスラーに転身した」ハルク・ホーガ…ではなくて”カナダの吸血鬼”バンピーロなのだから文句なし。これぞデヴィロック・ナイト！　タトゥーも見事なバンピーロが元々、ミスフィッツのファンクラブ『Fiend Club』だったってのも嬉しい事実。本誌20号のグラビア上で実現したムービースターAKIRAとの対決も夢じゃなくなったのだ！

（ツネ）

番外編 0/00

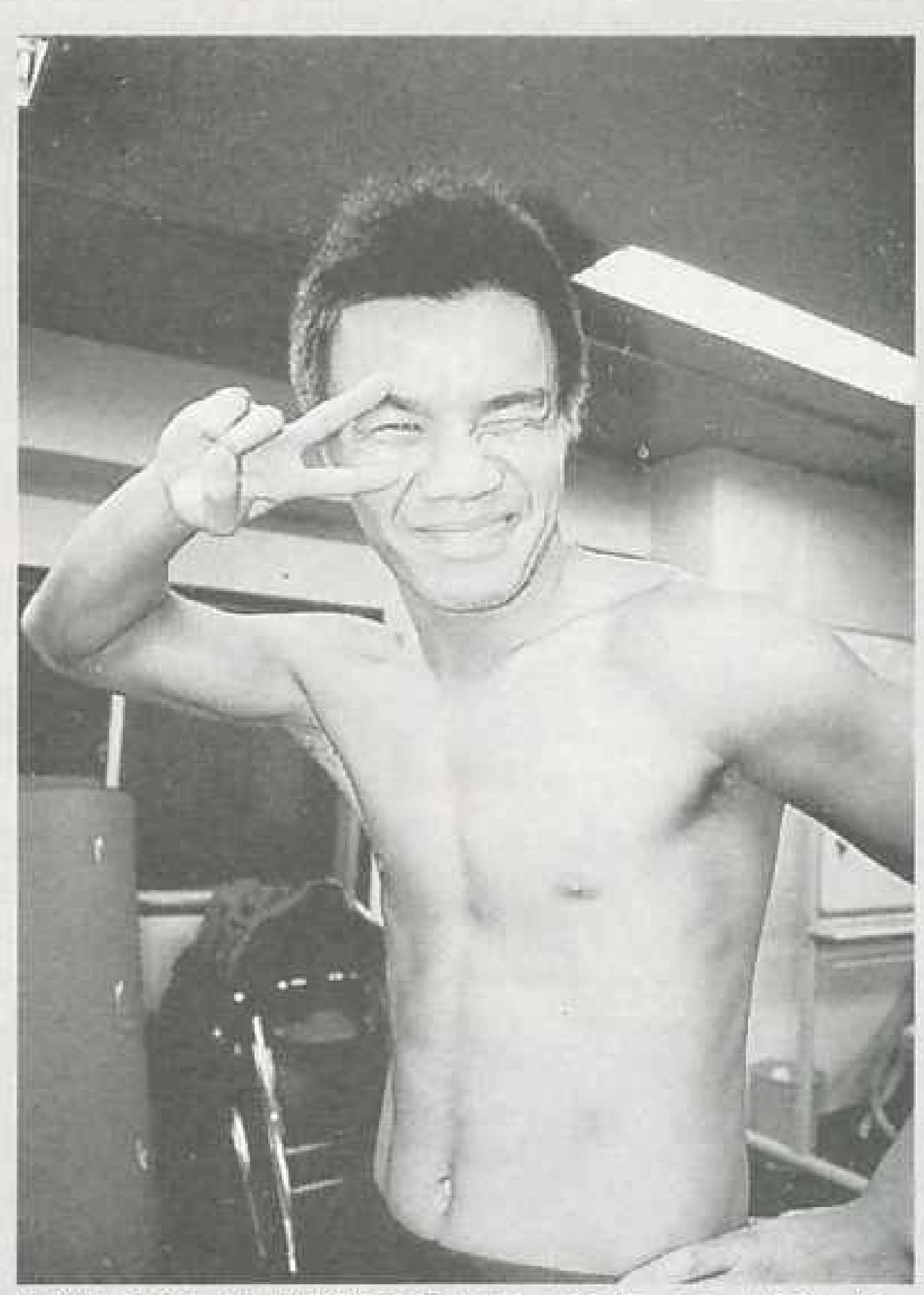
『格通』の名鑑に驚くべき文字が!? SBのエースから挑戦状だ!

この事実が発覚した瞬間、スモーノブは「ワシが一丁胸を貸すでごわすか」と鼻歌まじりで答えるので、早速、土井選手に対戦申し込みをすると2つ返事で「いいですよ」とのこと。そしてシーザージムへ乗り込むことに。土井選手と対面するなり、「どすこ～い！負けたら、わしの付き人になるでごわすよ」と大口を叩きまくるスモーノブ。土井選手も「勝ったら『紙プロ』さんでボクのカラーインタビューしてくださいよ」と両者一歩も引かない態度で結びの１番となった！

土井広之（どい・ひろゆき）



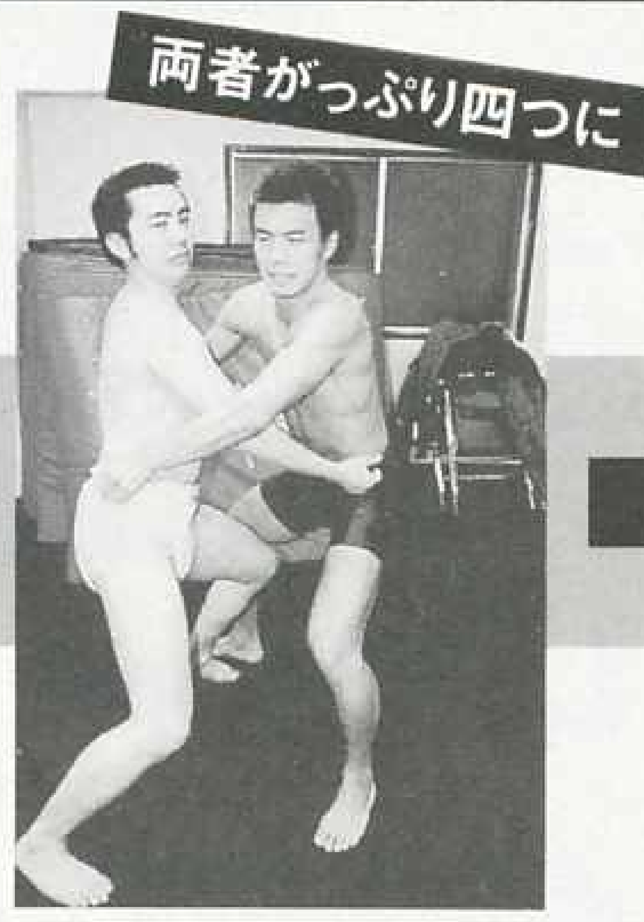
❶土井博幸❷シーザージム❸1974年8月5日❹山形県酒田市❺O型❻173cm❼70kg❽SB7年、極真空手2年半❾21戦14勝（6KO）5敗2分、JSBAシーガル級王者❿足四の字固め⓫卓球（激強）⓬ひろゆき⓭寿司⓮ウィチェッテイ・グラフ、ネプチューン、優香⓯スモーノブ⓰リック・フレアーみたいになるぜ!!⓱リビング・イン・アメリカ（ジェームス・ブラウン）



中学生の時、進路指導で「メキシコに行って、ルチャドールになる！」って言ったら怒られて（笑）。高校卒業したら極真空手習ってＵＷＦに感化されて打撃系をやろう！と思ってＳＢに入ったんですよ。という土井選手は今や押しも押されぬＳＢのエースだ！





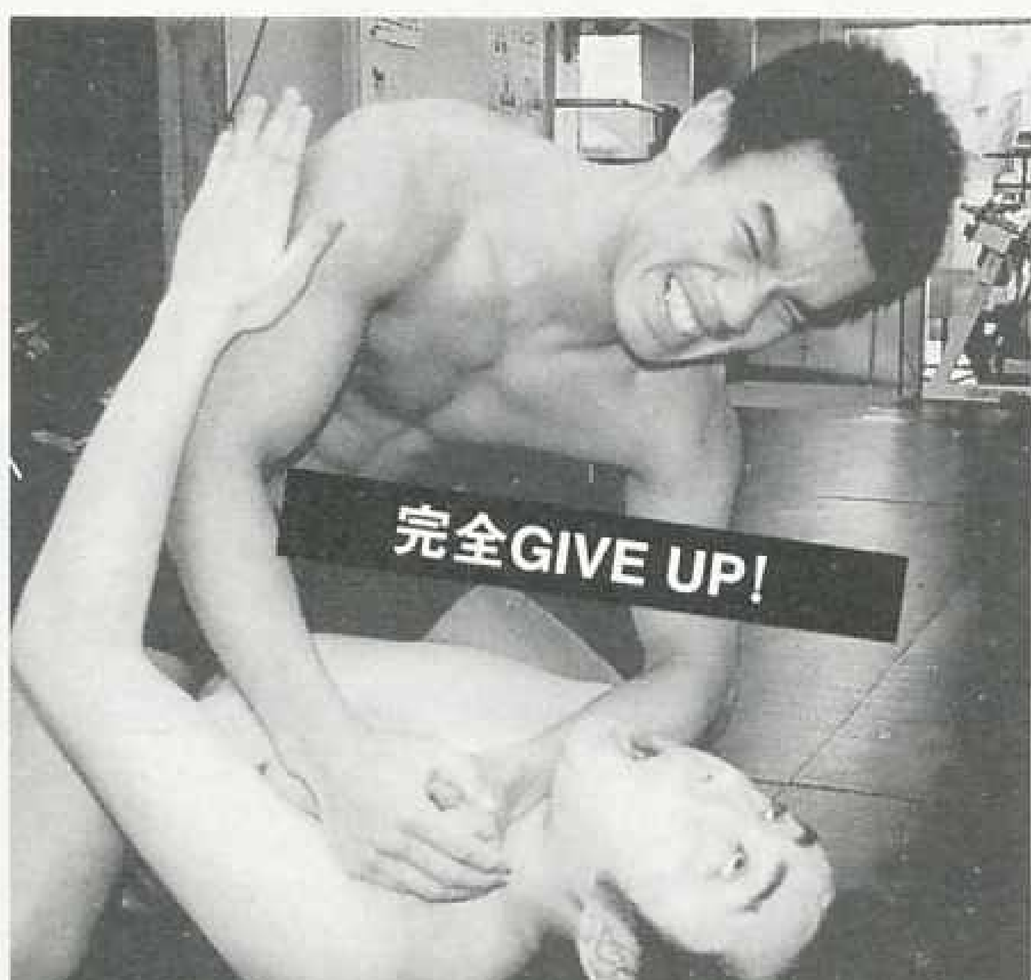








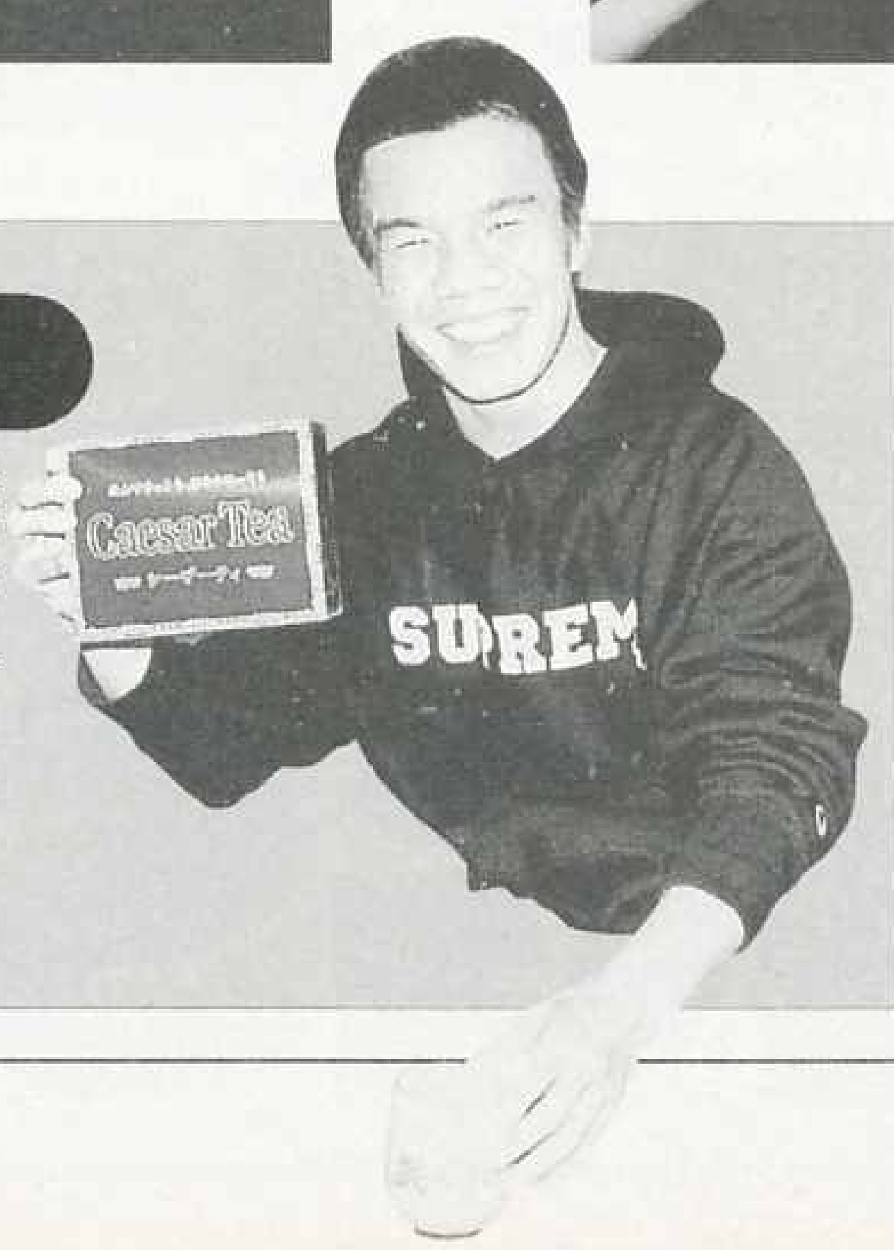






結果は涙を誘う大刀光がゲーリーグッドリッジに決められた技であえなく終焉。スモーノブは遠くを見つめひとことボソッと「これからが始まりでごわす」とまたまた、1から出直すことになった。あまりにも不甲斐ない態度に土井選手は必殺キラーローをスモーノブにお見舞いすると、「い、痛いでごわすぅ～！」とベソをかき、戦意喪失に陥ったのであった。土井選手に感謝！ 次号土井選手続編あります。乞うご期待！

シーザーティー



「シーザーティーは薬事法ギリギリのお茶です（笑）。うまいんですよ。￥2500です」という土井選手も毎日飲んでるこのシーザーティーは女の子には是非ともオススメの痩せるお茶。これは飲んだらやめられない！ お問い合せは下記へ。

[シーザージム]
〒111-0033 東京都台東区
花川戸2-2-8 ワコー花戸ハイツ
☎03-3843-1212

総合格闘技界で躍進する慧舟會の強さの秘密を探れ！



鬼の柔道・木村イズムを受け継ぐ男

柔道J多重アリバイ 守山竜介

【和術慧舟會東京本部代表】

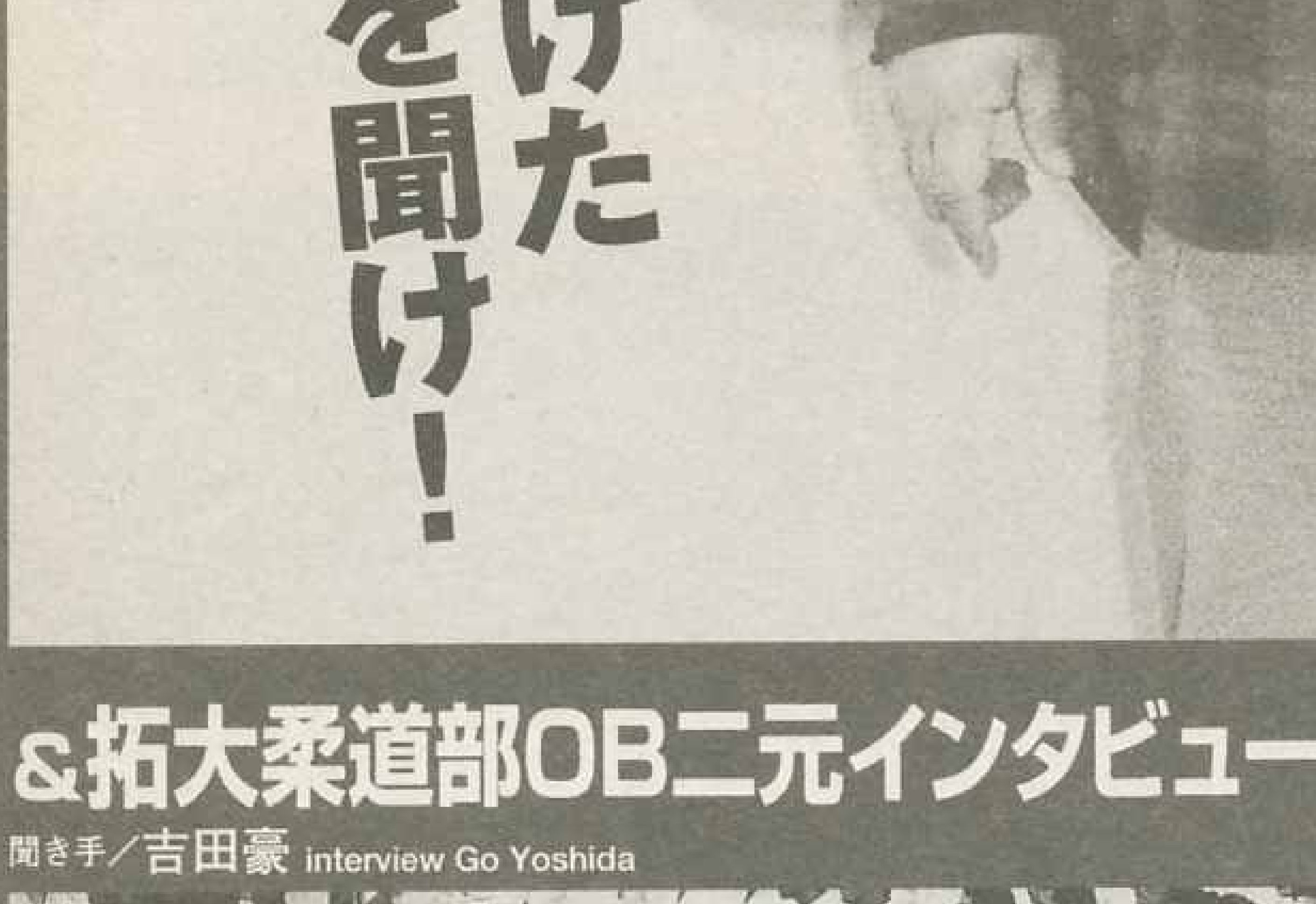


地獄の稽古を潜り抜けた拓大柔道部OBの声を聞け！

聞き手＆撮影／チョロ
interview & photograraphs by Choro

＆拓大柔道部OB二元インタビュー

聞き手／吉田豪 interview Go Yoshida


拓大のプラカードを持った選手から数えて6番目が守山代表である。まさに拓大トレインといった感じである

木村政彦そして牛島辰熊――彼らがどれだけ凄い人なのか知っている人は少ないはず。木村は力道山との闘いが有名だが、その師匠・牛島は時の首相・東条英樹暗殺未遂事件を仕掛けていたという物騒な話があり、木村の弟子の岩釣も、全日にシュートマッチを仕掛けようとしたりという、非常にファンタジックな人々なのである。この3者を結びつけるものこそ拓大柔道部である。すべてが「やり過ぎ」な稽古を重ね、柔道というよりも総合格闘技に明け暮れていたのだ。さらに、野良犬を狩ってきては鍋で食ったりという超バンカラな校風もあいまって、奇跡のような空間が作り上げられていた。今回はそんな素敵な拓大柔道部のOB2人にインタビューを敢行。まずひとりは和術慧舟會・守山竜介！　そして、拓大柔道部OB・X氏である。X氏の話は危険すぎるため、やむなくカットした部分も少なくなかった。実際に読んで拓大柔道部の凄さを確かめろ！

——ここ二、三年の小路（晃）さんや宇野（薫）さんの活躍で道場生が一気に増えたって感じですか？

守山 そうですね。ちょうどここが出来て五年目なんだけど、二、三年ぐらい前からですかね。

——宇野さんも、最近は一般誌とか含めて露出は凄いですからね。

守山 僕はそういうのは全然興味ないですから。

——アハハハ。興味ないですか（笑）。

守山 やりたいんだったらやってくれって感じで。まあでも、宇野とか小路は練習もちゃんと真面目にやってるし、いいんじゃないですか。

——それで今日は、この間の桜庭vsホイラー戦でキムラロックっていう技がクローズアップされて、知らない人からすれば、キムラロックのキムラっていうのはどこから来ているのかっていうところがあると思うんですよ。今日は自分も含め、柔道を知らない人達のために、柔道や木村（政彦）先生のことを一から教えて頂ければと思ってるんですけど。

守山 はい、わかりました。

——守山さんは、キムラロックのキムラこと、木村政彦先生に柔道を教わってるわけですよね。

守山 まあそうですね。ていうか、細かいところは教えてもらえるけど、やっぱり手取り足取りっていうのは高校の時からそんなにないですもんね。昔は「こうやれ」って一回教わったら、後は自分達で先輩達と練習しながら自分の技にしていくっていうね。だから、みんな1人1人技が違うんですよね。キムラロックっていっても腕絡みのひとつのパターンであって、これは絶対っていうのはないですから。でもキムラロックって言われても、僕らこういう世界で初めて聞いたくらいで（笑）。

——最近になって、この技がキムラロックだとわかったんですか（笑）。

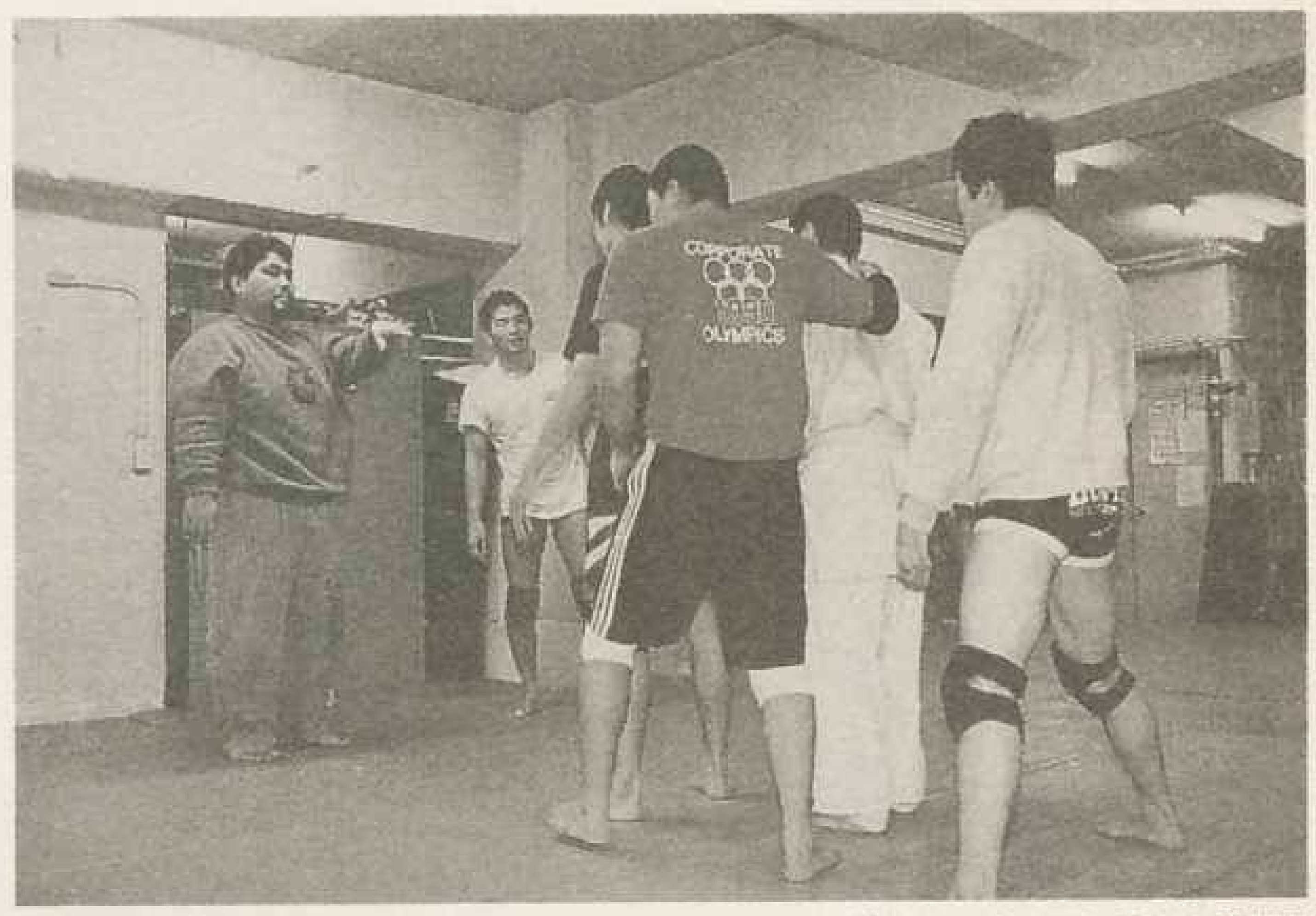
守山 そうそう（笑）。

——守山さんと木村先生とは年齢差もありますし、直接稽古したっていうのは、そんなにないわけですね。

守山 木村先生は毎日柔道衣着てましたけど、打ち込みの受けぐらいですね。それで型を教えてもらってって感じで。それよりかは高校生の時が一番教わりましたよね。

——雲の上の存在っていうか、近寄り難いって感じだったんですか？

守山 怖かったですよね。やっぱり自分は小学生の頃から柔道やってるから、木村政彦ってみんなに聞かされてて、イメージがどんどんデカくなっちゃって実際に本人に会うまではどんな人だろうって感じで怖かったですよね。高校生になっても、結局道場に木村先生の写真が一杯あるわけですよ。優勝した時の賞状とか、壁一枚分の歴代のOBの人達の賞状とかと見比べても凄いし、あとは戦績も全部残っているんですよ。そういうのを見れば、化け物みたいな存在って思いましたよね。



取材日、道場では修斗ウェルター級チャンピオンの宇野薫が、4人のスクラムを反対側の壁まで押していくというシンプルかつシンドイ練習を何本も何本も繰り返していた。ちなみに守山代表自ら手本を見せると4人とも宙に浮いてしまったから驚きである。

——戦績だけ見ても凄かったみたいですからね。守山さんは木村先生と同じ熊本出身っていうことで、やっぱり木村先生に憧れて柔道を始めたっていう部分もあったんですか？

守山 笑われるかもしれないですけど、熊本は柔道は盛んなのは盛んなんですけど、とっかかりは自分達の年代は『柔道一直線』を見てですよ。だから凄くいい加減（笑）。ただ環境は良かったですね。周りに柔道場が一杯あるし、よその県に比べても恵まれてたと思いますよ。

——周りでも柔道をやってる人がたくさんいたわけですね。

守山 それこそ向こう三軒両隣り、みんな柔道部で（笑）。でも僕は「柔道やりたい」って思い込んで入ったわけじゃなくて、みんながやってるからっていう、遊びですよね。だか

マニアのためのマニアによる拓大柔道部OBインタビュー

古本マニアの吉田豪は柔道本も数多く所有している。お薦めの柔道本を読ませてもらうと、鬼の柔道・木村イズムを受け継ぐ拓大柔道部の幻想が膨れ上がった。タイミング良く拓大柔道部OBを某所でキャッチ。諸事情により顔は出せないが、これを読めばキミも拓大柔道部に幻想を持つことこの上なし！

——レスラーでも格闘家でも芸能人でもそうですけど、結局面白いのは、木村（政彦）さんとか、その時代の人に限られてきちゃうと思うんですよね。

X なるほどね。常識では考えられないでしょ、あの時代の人達は。

——同感です！（笑）。木村（政彦）さんとか牛島（辰熊）さんもそうですけど凄いですよね。

X でもそれぐらいじゃないと強くならないですよ。学者もみんなそうでしょ。机の前に1人で十時間座ってられる人が学者になるんでしょ。

——最近はなりきれないっていうか、やっぱりみんな常識人になってきてますよね。

X それは誘惑が多いんでしょ。それと日本の質が変わってきてるでしょ、思想に燃えるってことはほとんど無いですからね。

——（ここで思想話となるが物騒すぎるため自粛）木村さんは柔道以外にも薪藁突かせたりとか、いまでいう総合の練習を当時からしてたんですよね。

X それだけじゃないよ。牛島先生が練習に来ると「木村やるぞ！」と。「始め」って言われたらバンと殴る。それで「ウゥ～」となってる隙に倒して寝技に行くっていうのを牛島先生はやってた訳ですから。柔道だけやってりゃいいんじゃないですから（笑）。

——打投極だったわけですね（笑）。

X 打投極ね、佐山（聡）さんも言ってましたね。でも木村先生は、もうその当時から打投極って言ってましたよ。木村先生の本とかにも書いてますけど、実戦ではまず殴る蹴るであって、それから掴んで投げて寝技なんだっていうふうに言ってるじゃないですか。

——ホントに総合なんですよね。

X そうそう。だから僕らがやってることは総合ですよ。（拳の拳タコを見せ）薪藁ずっと叩いてたから痕がいまだについてますよ。

——はぁ～、シビレますね。実際に拓大では木村先生に教わってはいたんですか。

X 教わりましたよ。

——岩釣（兼生）さんに聞いたんですけど、結構晩年まで牛島さんも拓大に来られてたみたいですね。それでも寝技ではかなり強かったって言ってましたね。

X え～と、岩釣先輩から聞いた話だと、70ぐらいの時に、60ぐらいっていったかな。岩釣先輩が学生の時

KOKグランドファイナル直前！

鎮西高校の柔道部に勝手に入れられて、一週間ぐらい家出しました

ら、小学校の時の柔道っていうのは楽しかったですね。……小学校の時だけでしたね、楽しかったのは。

――楽しかったのは小学校まで（笑）。中学校になると苛酷な練習が始まるわけですね。

守山 そうですねぇ。中学になってから三年間は柔道漬けでしたね。もうほとんど柔道ばっかりやってましたね。ただ中学生ぐらいの時は全然スタミナがあったんで、柔道の練習終わってから野球やったりとかプール行ったりとか、暇を見つけちゃそういうこともやってましたよね。高校生になってからは、さらに練習がツラくなったんで、もうどうにもならなくなっちゃましたけど（苦笑）。

――高校になるとどうにもならないくらい苛酷になるんですね。高校は、柔道界では「寝技の鎮西」と言われる名門、鎮西高校なんですよね。

守山 そうです。でも入る前までは、とにかく鎮西っていう名前が怖かったんですよ。鎮西の練習方法というのは知れ渡ってるんで、「とにかくメチャクチャつらいよ」って聞いてるし。実際に中学の先輩も何人か鎮西に行ってて、一ヶ月で顔つきも体つきも変わるのを見てましたからね。自分はそこまで柔道に思い入れなかったんで、高校入ったらお気楽に遊びたいなっていう年頃じゃないですか。だから本当は柔道はやりたくなかったですよね。

――そうだったんですか。それが何でやることになったんですか？

守山 うちの親父も、柔道部じゃないですけど鎮西のOBで、気がついたら柔道部に決まってたんですよ。

――えっ！ 親に勝手に決められちゃったんですか？

守山 ていうか親と先生とで。イヤでイヤで一週間ぐらい家出しましたもん（笑）。ホントそれぐらい嫌でしたから。

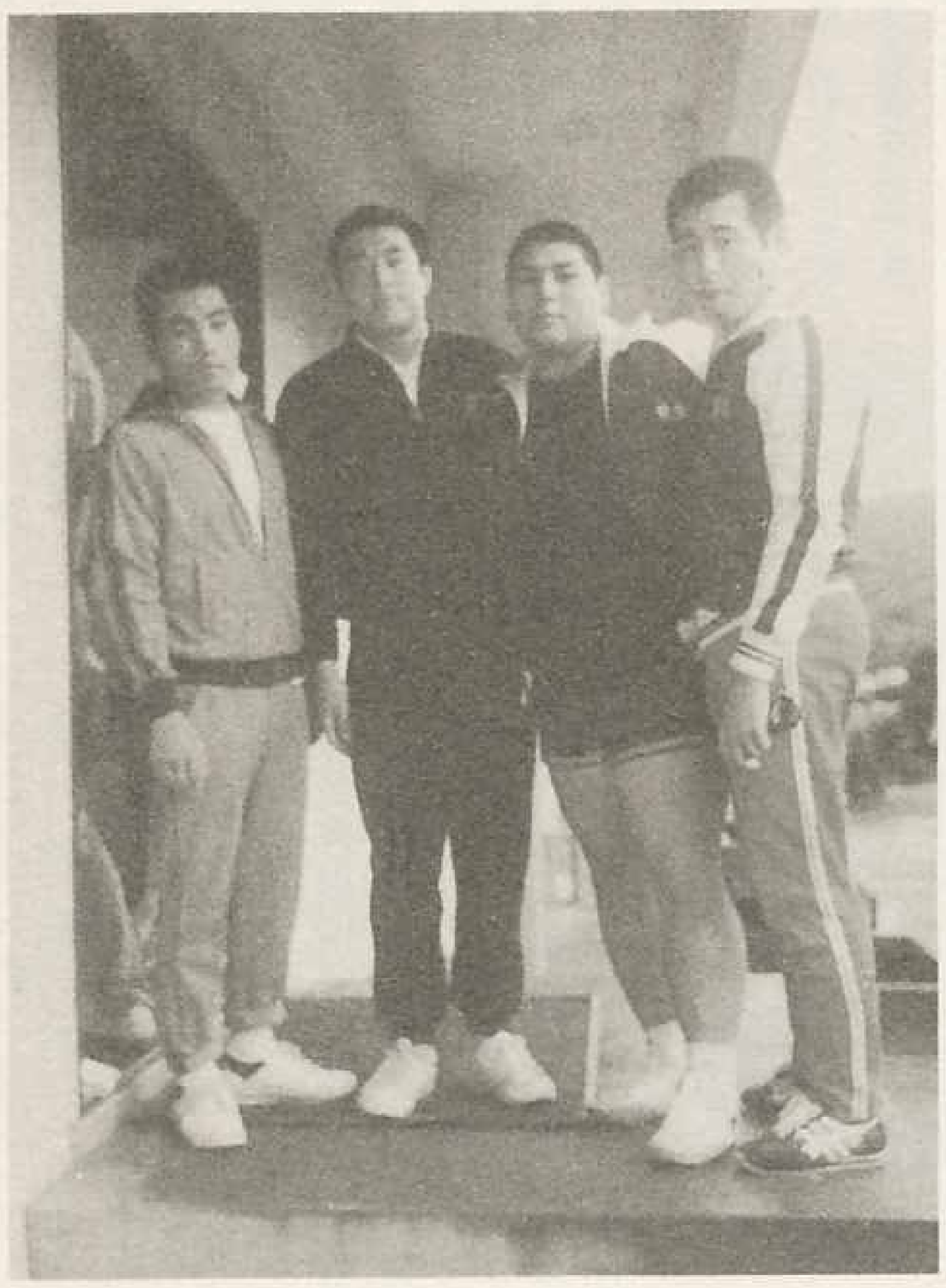
――家出したくなるほどつらい練習が待ってたわけですね。

守山 いま、それこそウチの道場でトレーニングやらせてますけど、俺が高校でやってたトレーニングの半分以下だと思いますよ。

――その頃と同じ練習をさせたら、それこそ家出しかねない？（笑）。

守山 だって高校生の時だって腕立てとかでも毎日300〜400やらされてたから。でも一年生の頃は全然付いていけないですよ。倒れても





この写真は鎮西高校時代の若き守山代表である。守山代表は柔道だけではなくレスリングでも国体出場を果たしているのだ。レスリングコスチューム姿の守山代表は実に貴重だ。

木村先生はその当時から打投極って言ってましたよ

に練習に来て、出稽古に来てた選手に、「ちょっと練習するぞ」って言って、寝技をやって10秒もしないうちにガバッと倒して、帯を取って腹をバシバシ叩いたって。やられた選手は「70代にイジメられた」って（笑）。ホント怖いッスよ。牛島先生なんて近くに行くと鳥肌立ちますから。誰もしゃべれないですよ。それで具体的には何を聞きたいの？

――そういった素敵な話が聞ければいいです（笑）。当時の拓大の練習の厳しさっていうのはただ事じゃなかったみたいですよね。

X 一番厳しかったんだから。入る前は「拓大は休みがいっぱいある、二ヶ月休みをもらえるらしいぞ」って聞いてたんですけど、入ってみたら、拓大は年末は12月31日まで、年始は1月1日から（笑）。休みがねぇじゃねぇかよ（笑）。

――ダハハハ！ 年中無休（笑）。

X あんな練習してるとこはないですよ。

――「三倍の努力」をみんなに強いたっていう。

X 強いてましたねぇ。僕らは現実の問題として腕立て千回っていうのを木村先生が好きでやらしてましたから。千回を真面目にやるとこれだけ時間がかかるっていうのがわかるわけですよ。よく腕立て三千回、四千回やるって言う人もいますけど、お前は一日が70時間ぐらいあるのかって話になりますよね（笑）。

――ダハハハ！ 千回の意味がわからないと。でも基本的にボクはそういったちょっと膨らんでる話もオッケーにしちゃうんですよね。

X でもね、木村先生の話は、僕が実際に体験してて、木村先生自身のそういう話って茗荷谷の近くにいると、近くに住んでる年寄りから聞いちゃうじゃないですか。

――木村先生の話は誇張抜きだってことですね。

X 誇張抜きですよ。だってホントに後悔しますよ（笑）。

――ボクも会えなかったことを後悔してるんですよ。

X そうですか。僕は後悔してないですよ。弟子になったことに後悔してますよ（笑）。

――木村さんの拓大柔道部に入ったことをですか？

X 入ってる最中は後悔しますよ（笑）。でもいまは後悔してないですよ。終わってみればいい思い出ですから。その当時は「あ〜、またかよ」って思いましたけど。だって逃げたくても逃げれないんだもん。逃げたヤツは何人かいるけど、よく逃げたなと思うんですよ（笑）。だって練習が終わって寝るでしょ、目をつぶって寝て、目を開けたら朝トレが始まるんですよ。よく夜中に起きて逃げれるなぁと感心しましたよ。逃げる意欲もわかなかったな。

――練習ってどれくらいやられてたんですか？

X 朝トレが2時間半。学校が休みの時はそれから午前中に2時間半。

「やめます」と言えなかったために練習についていけるようになった

先輩に引きずられて連れて行かれちゃうから。だから昔はよくヤキとかそういうのとかありましたけど、俺らの高校の頃はなかったんですよ。先輩もヤキなんてやってる暇あったら帰って寝るか、それか練習したいと。そういう環境だったですね。

——うわぁ～、モノ凄い世界だったんですね（笑）。

守山 50人ぐらい入学して、卒業したのが12人くらいですからね。

——他の人はどっかに行っちゃうんですか（笑）。

守山 ホントにいなくなっちゃうんですよ。学校もやめちゃうし。

——聞いた話だと、鎮西高校というと学業よりも不良校として有名だったみたいですね。

守山 不良は多かったですねぇ。だけど、みんな仲が良かったですよ。

——やっぱり高校時代から酒とかはガンガン飲んでたんですか？

守山 飲まないこともないんですけど、普段は練習ばっかなんで、飲む時は「親の目の前で飲みましょう」っていう感じで。同級生の家を持ち回りで、飲む時は親の前で飲んでましたね。次の日、練習行かないと親にどやされるんで。「授業はさぼっても練習はさぼるな」っていう親ばかりでしたからね。

——アハハハハ。でも、それだけつらい練習をしてると、授業中はずっと寝てたんじゃないですか？

守山 午前中はずっと寝てましたね（笑）。でも、不思議とつらいと思ったことはないんですよ。ないんだけど、毎日、まっすぐ前を向いて歩けなかったよねぇ。

——アハハハ。それってつらいんじゃないですか（笑）。

守山 でも練習が終わったあとの開放感は凄くありましたよね。練習終わって家帰って飯食って、「あぁ、やっと寝れる」って思ったら、目を開けたらもう朝なんで、ホンット一日が早かったですよね。三年間がメチャクチャ早かったですね。

——その後は、これまた柔道の名門拓大に入学するわけですけど、その時は迷わず入学を決めたんですか？

守山 いやいや、迷いましたよぉ（笑）。拓大だけは絶対に行きたくないって思ってましたから（笑）。

——拓大柔道部のいろいろな噂話が耳に入ってきてたんですか？

守山 ていうか、拓大に行ってる先輩が凄い先輩ばっかりだったんで、俺じゃ無理だろうと自信がなかったんですよ。だから、よくよく考えてみたら、俺はあんまり気が強くないんですよ（笑）。「やめます」とかそういうことが言えないわけですよ。

——「やめます」って言えなかったから続いちゃったわけですか（笑）。

守山 そうそう（苦笑）。言えないからしょうがないんですよね。しょうがなくやってるうちにスタミナがついて練習についていけるようになりましたから。だから、おかげさまっちゃあ、おかげさまですよね。

——強くなったのも気が弱かったおかげだったんですか（笑）。

守山 気は弱いですねぇ。「こんなのやってられないよぉ」っていうふうには言えないですからね。渋々やるしかないかなっていう感じで。

——それでも精神的にはだいぶ強くなったんじゃないですか？



柔道での実績を買われ推薦で拓大に入学した守山代表。鎮西高校から拓殖大学というのは柔道界のエリートコースと言われている。柔道部の仲間とともに記念撮影。

パスガードの仕方とかは柔道やってたら常識の話でしょ

午後に4時間ぐらい練習して、夜に1時間半ぐらいバーベルやって、そんな感じですね。

——木に打ち込みとかはやられたんですか？

X それは夜ですね。夜は不定期ですね。突然来ますから（笑）。

——ダハハハハ！

X 僕らの時は、木村先生がある程度お年になってたから、岩釣先輩がやってることが多かったですけどね。夜中に練習を始めると警察が来るんですよ。「うるさい」って。近隣から110番があって、そうすると岩釣先輩が、「学校が先にあって、後から引っ越してきて何を言うんだ！俺は昔からやってるんだ。いまさら文句言うなよ！　だったら引っ越しゃいいじゃねえか！」って。

——ダハハハハ！

X 警察とやりとりしてるうちに朝の4時ぐらいになっちゃうんです。12時ぐらいから練習を初めて、4時間ぐらい立ち木に打ち込みとかをやるんだけど、そうすると警察官が「こういうのは朝にやって下さい」って言いに来るんですよ。「おい、4時はもう朝だろ！」って（笑）。それで警察が帰るでしょ。そうすると5時ぐらいになると「じゃあ、朝トレ始めろ！」って、それから2時間半朝トレが始まるんですよ（苦笑）。そういうのも結構ありましたよ。

——それは強くならない方がおかしいですね（笑）。

X そうでしょ。でも一番強くなるのは精神的に強くなるよね。夜中の練習の理由がですね、「いざというときに敵が襲ってきたらどうするんだ」と。そういう考え方なんですよ。

——ホントに実戦なんですね。スポーツじゃないんですね。

X スポーツじゃないですねぇ。「俺はこんなに勝ってるけど、体調をわざと悪くしても勝てるんだろうか？」ってことをマジメにやってるでしょ。「遊びまわって一睡もしないで試合に行ってみよう」、「うなぎと梅干しを食べて行ってみようか」って試してるでしょ、木村先生は。ホントに常識では考えられないことよね。あまりにも他の人との差が激しいですよ。

——そういった木村さんの伝説的な話を聞くことは多いんですけど、実際に接していて、何か言われたり、怖さを感じたりしたことはなかったですか？

X 怖さっていうか、やっぱり練習で与えられたメニューはちょっと並外れてましたね。

——自分を基準にしてやってたっていう（笑）。

X 一回、長崎に合宿に行ったときに20キロぐらいの石を持たされて、向こ～うにある山まで行けと言われて、4、5時間ぐらい走って山を登って、頂上に着いてダッシュやったり肩車をやったり、結局トータルで6時間近くずっとトレーニングをやってて、岩釣先輩とかが「もういいでしょ」と木村先生に言ったら、木

KOKグランドファイナル直前!

守山　我慢強くなりますよ。我慢しなきゃしょうがないですからね。有無も言わさずの世界だったから。

――そういえば、高校時代はレスリングもやってたんですよね。

守山　鎮西は寝技が上手だからっていうんで、レスリング部の方から、お声が掛かるんですよ。毎年ちょうど柔道の選考会が終わればあとはやることないんで、「じゃあ」って言ってちょっと教えてもらって、それでレスリングを習いましたね。一週間とか二週間とかですけどね。

――柔道をやってたからとはいえ、一週間とか二週間の練習で対応できるって感じなんですか?

守山　なんとかできましたね。凄い面白かったですよ。自分の得意分野とは全く違う世界の練習をやらされて、何もかもが凄い珍しいんですよ。投げ一つとったって、テイクダウンにしたって、柔道とは全然違うやり方だから。それを柔道とミックスしてみたり、やってると凄い面白かったですね。高校でレスリングやったおかげで自分の柔道はだいぶ変わりましたね。

――柔道にレスリングのいいところを取り入れたわけですね。それこそいまの総合みたいな感じですよね。

守山　レスリングの技を柔道で使ってみたりとか、そういうのは結構面白かったですよ。日本は、何か一本しかやっちゃいけないみたいな風習みたいなのがあるじゃないですか。でも外国の選手はシーズンシーズンでいろんなスポーツをやりますし、器用ですよね。だからウチの道場なんか特にそうだけど、何でもやってもいい状況じゃないですか。

――総合格闘技っていうだけあって、柔道、レスリング、ボクシングとかいろいろ取り入れてますよね。

守山　いろいろ取り入れるべきだと思いますよ。レスリングにしたって柔道にしたって別に「こうやっちゃいけない」っていうことはないから、そういう部分では、レスリングをやったおかげで固定観念もなくなったし、凄い影響があったと思いますよ。自分の中で、あんまりこだわりがなくなったっていうか、昔は「柔道が一番だよ」みたいなイメージが強かったですけど。

――柔道、レスリングの他に打撃の練習とかはやってたんですか?

守山　全然柔道とは関係ないんですけど、木村先生は当て身をやってたって言ってたから、そういうので薪藁突かされたりとかしてましたね。薪藁は突きすぎて拳が血だらけになっちゃうんですよね。いまだに、ふざけんなって気がしますよね(笑)。

――いまだにですか(笑)。

守山　でも、その時は疑問に思わないんですよ。「これをやれば強くなんのかな」と思えば素直にやるし、いま考えてみると空手部よりも薪藁突いたんじゃないかっていうぐらい突かされましたよ。

――基本はやっぱり強くなりたいっていうのが第一なんですね。

守山　そうですね。やっぱり柔道で大学に行ってるわけだし、高校も柔道で入ったわけだし。結局、名前売ってなんぼでしょう。要は半分雇われてきて、「学業よりも柔道で名前を売って下さい」みたいな感じだったんで。柔道はずっとやらなきゃならないし、月謝もなんもかも免除してもらって呼んでくれてるわけだから、そういう部分ではやっぱり、とにかく一年生で入ったら必ずレギュラーを取ると。試合に出れないことには何にもならないですから。

――実際、一年生からレギュラーになれたわけですか?

守山　そうですね。嬉しかったですねぇ。でも、大学のレギュラーの道衣をもらったときよりも、高校一年の時に鎮西って入った道衣をもらっ



拓大1年生の頃の守山代表。1年生らしく頭は丸められているが実に精悍な顔つきである。日本武道館で行われた全日本柔道選手権大会での一枚。

村先生がふくれて「腕立てをやらなきゃダメだ。千回やれ!」って言って。都合8時間とか9時間とかトレーニングして、帰りはまた走って帰ったりとかしましたよ。

――うわっ。ホントに3倍努力なんですね(笑)。

X　そういうことは平気で言いますからね。それと木村先生が凄いなって思ったのは70歳の夢精ですか。

――えっ! そんなことがあったんですか(笑)。

X　ありましたねぇ。兵庫の合宿の時ですね。「お前達のせいだ」って言われましたね。あと木村先生が、「さけ茶漬け食わせるから来い」って言って、食べに行ったら、「はい、さけ茶漬け」って、ごはんに酒をつがれて食わされたっていう話も聞きましたよ(笑)。

――ダハハハハ! やっぱ酒と喧嘩と女って世界ですね。素敵ですねぇ(笑)。それだけでも凄い人だって気がしますよ。そういえば、木村先生はバーリー・トゥードの話とかも当時の本に書かれてましたよね。

X　あぁ~、そうですよね。

――だから今、当時の柔道の技術書とかを読んでも、ホントに感心するんですよ。パスガードの仕方とか普通に載ってますからね。

X　こんなのは柔道やってたら常識の話でしょ。

――それがボクらは分からなかったんですよ。徐々にUWFからそういうモノの見方が伝わってきて、それ以降上がってきてる状態ですね。それでパスガードで観客が沸いたりするようになったっていう。

X　あぁ、なるほどねぇ。

――それがあって、今これを見ると「あっ、全部出てる」って(笑)。腕絡みもとかもそうですけど、最近、格闘技雑誌でキムラロック特集とかをやってるじゃないですか。いま見るとキムラロックもいろんなバージョンが出てるんですよね。

X　この技が正しいなんてないんですよ。人によって、相手によってもそうだし、変わるんですよ。

――相手がタックルに来たときに腕絡みにいくやり方とか、今見るとタックルにまで対処してたのかって思いますよ。拓大では、いわゆる講道館で禁じ手になってたものも、やられてたんですよね?

X　何が禁じ手なのかよく知らないですけど。だから、よくこの話をよくするんですけど、ボヤッとしか覚えてないですけど、僕が高校生ぐらいの時に、「有効」っていうのが初めて出来たんですよ。それまで一本と技ありしかなかったんですよ。「有~効」とか言ってふざけて、ちゃかしてたんですから。「有効だってよ」って(笑)。だから柔道が、ガーッと変わったのはつい最近なんですよ。引き込みなんて良かったし。ドントなんとかムーブ?

――ストップ・ドント・ムーブですね。

X　僕らの時は、場外はみんな「待て」だよな。それでみんな中に入れて寝技を始めるんですよ。

――はぁ~。勉強になりますねぇ。

X　でしょ。柔道ってそんなもんじゃないと思ってるから。僕らの頃はそうでした。柔道は、ここ20年の間にかなり変わりましたよ。特に国際ルールが入ってきてからですね。それを経験する前に柔道をやってた人

ワールド メガ バトル オープントーナメント WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT

柔道

た時の方が嬉しかったですねぇ。

——鎮西っていうのは、それぐらいのブランドだったわけですね。

守山 鎮西の道衣を着ている人は「強い」っていうイメージは中学生の時からあったからね。鎮西の名前が入った道衣はレギュラーしか着ちゃいけないから、いまだと笑い話ですけどね、柔道衣って汚いイメージがあるでしょ。鎮西はね、レギュラー用の道衣って、みんなクリーニング屋さんに出すんですよ（笑）。

——えぇ〜、道衣をクリーニングに出すんですか？

守山 自分達でも洗うんですけど、試合前になるとクリーニング屋さんに出して白くしてもらうんですよ。

——他人に触らせたくなかったんですね。それだけ、鎮西って名前があったら、女の子は当然、「キャ〜柔道部」ってなるわけですか？（笑）。

守山 なんないですよ。女の子はやっぱり野球部ですよ（笑）。

——それは拓大に行っても同じでしたか？

守山 拓大で女の子なんか見たことないですよ。ウチなんかにも女の子も結構練習に来てるけど、不思議ですよ。

——平気で男の子とスパーリングしてますね。

守山 そうですよね。みんな真面目ですよね。

——木村先生とのことで一番印象に残ってることは何ですか？

守山 木村先生と言ったら柔道が強かったことしかわからなかったですから。柔道っていっても、僕らにはスポーツっていう感覚がないんですよ。

——それは鎮西時代からですか？

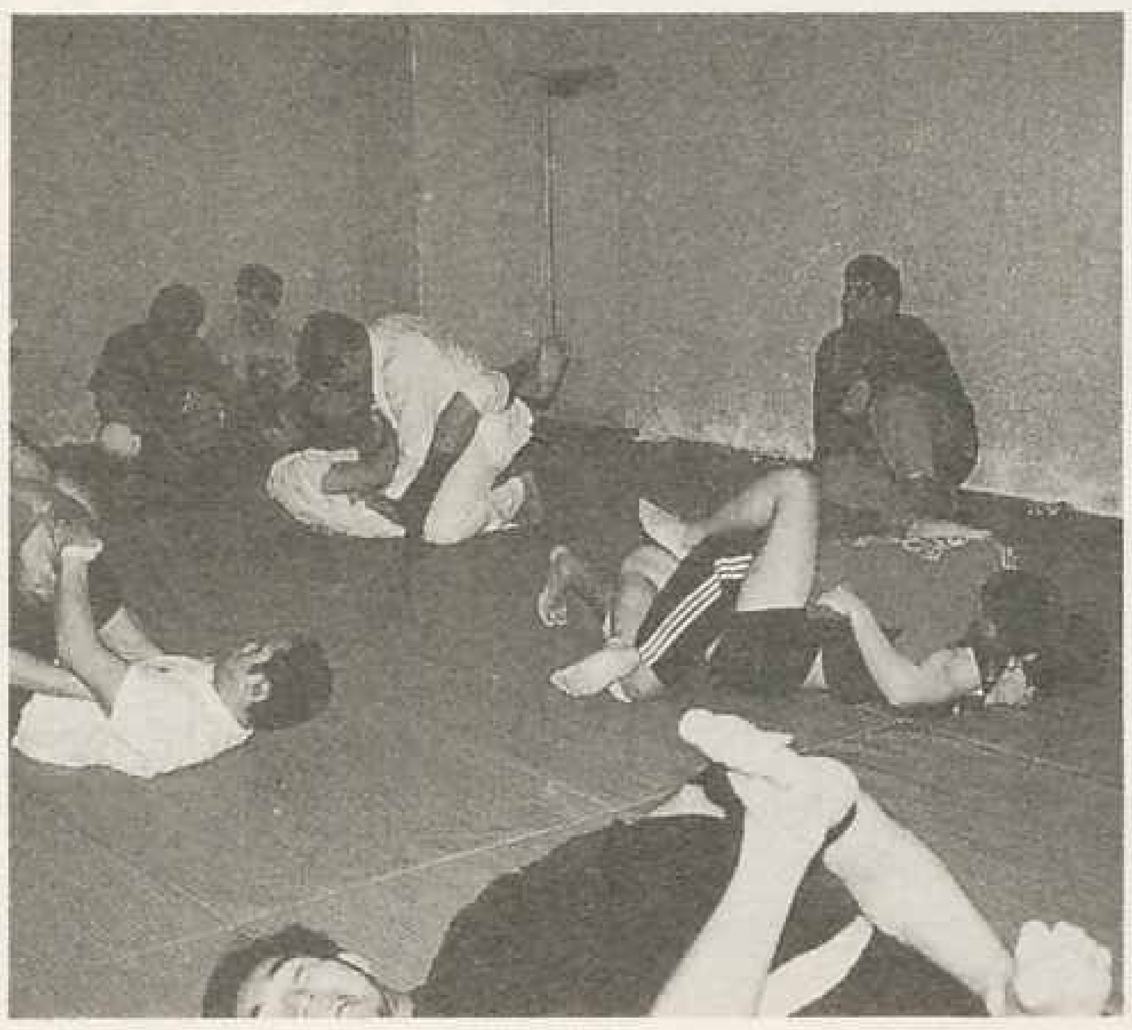
守山 ていうか小っちゃい時から、柔道はスポーツというイメージは一かけらもないですよね。とにかく痛い苦しい、一度、首絞められて、手を叩いて放してもらったことなんて中学の時からないですもん。

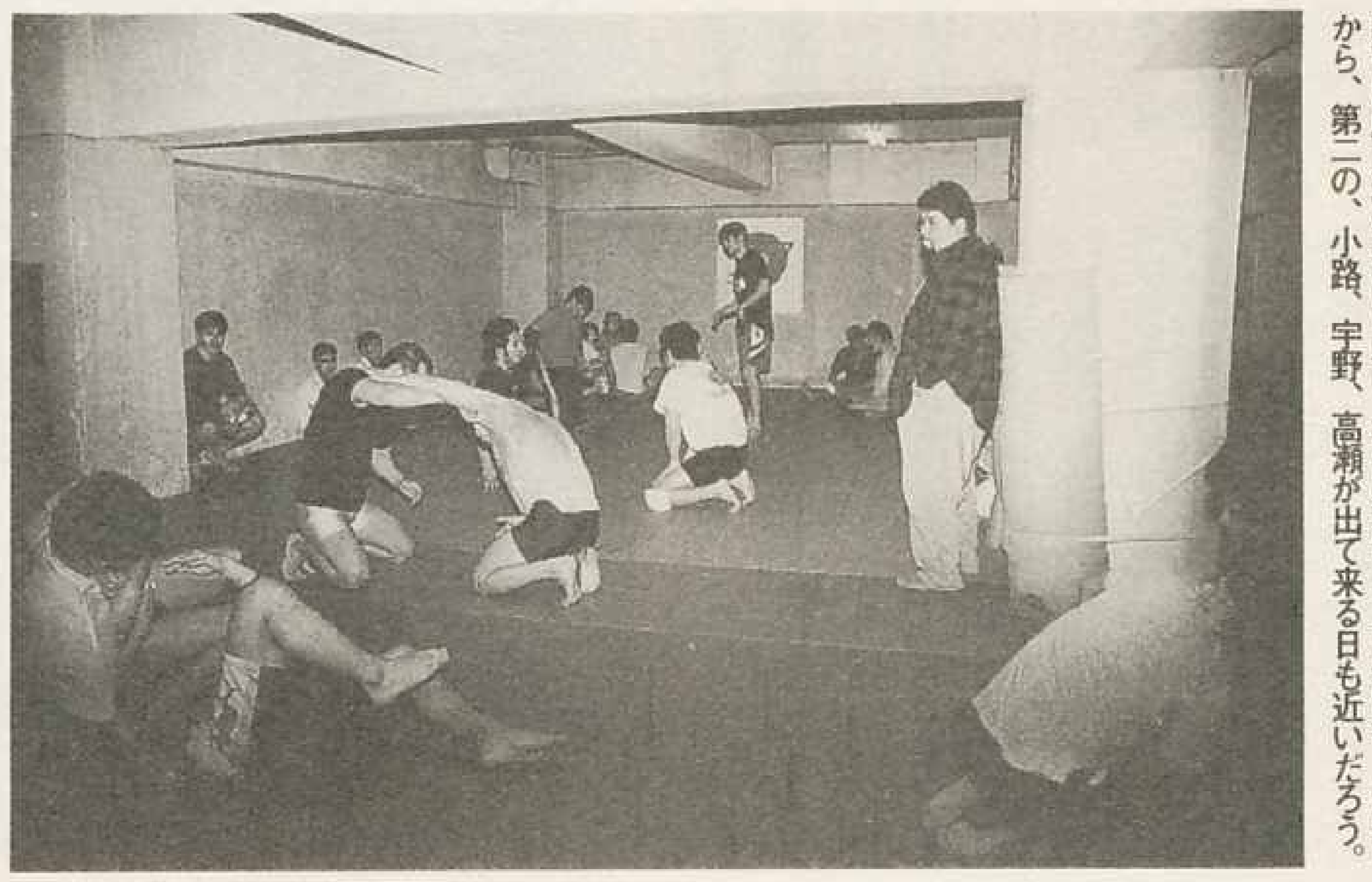
——タップっていう概念がなかったんですね。

守山 結局、中学生の時に、まだ柔道の柔の字もまだわからない時に、僕は小学校5年生ぐらいからチョロチョロ始めたんですけど、絞めで放してもらったことはないですからね。落とされちゃいますからね。だから、中学生の時から必死ですよ。あと面白い話で、合同練習やるでしょ。するとね、絞めると相手が「参った」するんですよ。「参った」してても、何で「参った」するのかなって思って放さないで絞めてると、「参ったしてるんだから離せよ」って、よその先生に怒られるんですよ（笑）。そういうことを知らなく育てられたんですよ。

——参ったを知らないで育ったんですね（笑）。

守山 絞めて「参った」って言っても離さないし、試合の時に離したら逃げられちゃいますから。そういう風に教え込まれましたよね。





道場の至るところで繰り広げられる激しいスパーリングを、時には座り込み時には立ち上がり指導する守山代表。この中から、第二の、小路、宇野、高瀬が出て来る日も近いだろう。

僕ら柔道部なのに空手部より薪蕎突いてましたからね

はみんな強かったですよ。

——そんな中で拓大がさらに凄いことをしてたっていう（笑）。

X 拓大は狂ってますよ。僕らも、なんで柔道だけやらないんだろうって思ってましたよ。空手部より薪蕎突いてましたからねぇ。なんでそれを柔道の時間に費やさないんだって。僕らは「殴らなきゃダメだ！」って言われて、みんなでボクシングの練習をするんですから。僕らは柔道部ですよ（笑）。

——ホントに総合なんですね。実戦格闘技ですよね。それで強くならなかったらウソですね（笑）。

X その当時から空手とかボクシングとかレスリングの選手は絞めに弱いですから、絞めて落としちゃえばいいやって思ってましたからね。だからヒクソン・グレイシーが出てきてみんながショックを受けてるけど、僕らにしてみたら当然のことですよ。20年前からそんなこと分かってるじゃないかって。僕が20年前に気づいたってことは、さらに20年前に入った人はさらに知ってるわけじゃないですか。だからそこに脈々と当然の事としてあるんですよ。

——それは木村さんが（エリオ・）グレイシーに勝つのも当たり前のことだと。

X 当たり前ですよ。負ける訳がない！　試合はご覧になりました？

——ええ、ビデオで見ました。

X 遊んでるじゃないですか。僕らプロですけど、見ると完全に遊んでますよ。木村先生があんな雑なことをするのは遊んでる証拠ですよ。

——木村さんは「タップしなかったのは偉い」みたいな話は書いてますよね。

X 当時の社会状況はご存じですか。ブラジルで木村政彦は日系人の英雄として迎えられて、そこでひどいことをしていいと思います？　僕が見る限りではとにかく遊んでるなぁとしか見られなかったですね。

——試合自体は凄い殺伐なイメージがあったんで、見たら凄い淡泊な試合だなあと思ったんですよ。だからそういうことなんだなと。もっとギラギラした殺気立ったもんだと思ってたんですよ。試合前とかも棺桶を持ってきて「ここに木村が入るんだ」って。いろいろ言ってるけどむちゃくちゃプロレス的なことをやってたのがグレイシー柔術だっていう。

X あぁ、なるほどねぇ。でも前田光世だけじゃなくて、柔道っていうのはグレイシーと同じやり方で世界を席巻したわけでしょ。もう相手がいないということで、ある意味、やる気がなしということでやめただけでしょ。

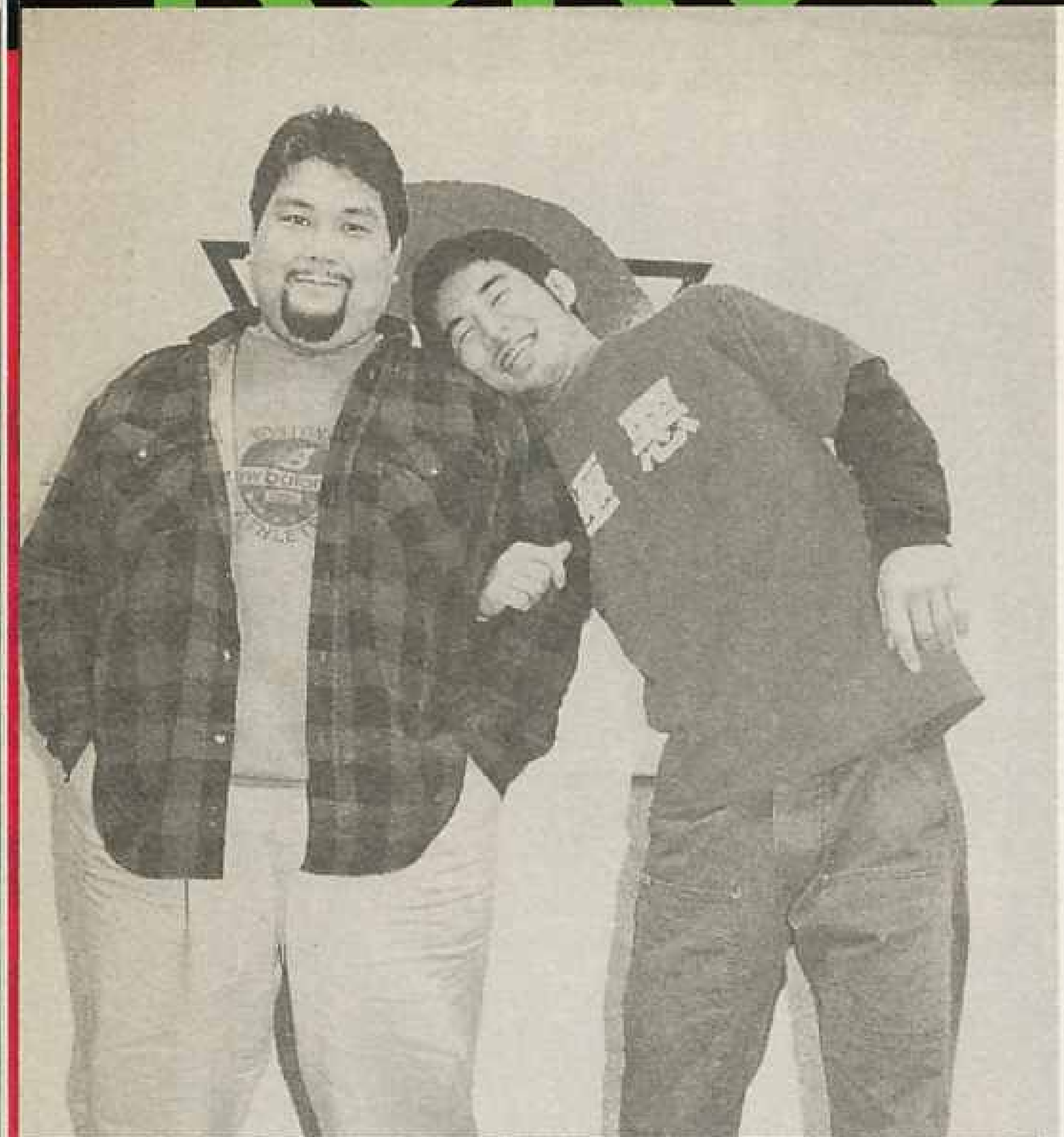
——それでプロレス化を進めたと。

X そうでしょ。グレイシーは同じようなことをやろうとして失敗したんでしょ。

——失敗（笑）。一応は成功してますよね。

X 柔道は一切相手を選んでませんよ。彼らと違うのは血族を大事にし

KOKグランドファイナル直前!



守山竜介【Moriyama Ryusuke】1962年1月11日、熊本県豊野村出身。寝技の鎮西と呼ばれた名門校鎮西高校で、無敵を誇った「拓大三羽烏(木村、船山、甲斐)」の一人、船山辰幸に柔道を学ぶ。その後、柔道に生かすためレスリングの練習も始め、国体準優勝の成績を修める。拓殖大学進学後は、木村政彦、岩釣兼生に師事。柔道四段。1996年7月、慧舟會東京本部代表に就任。趣味は映画鑑賞と釣り。横は慧舟會の極悪番長・高瀬大樹。

首絞められて、手を叩いても(=タップ)放してもらったことないですもん

―グレイシーとかも同じように教え込まれてるところがあるんでしょうね。

守山 だから「参った」するとか、関節とかやられちゃったら、それこそ自分が弱いわけですから、それは潔く。「関節取られちゃった、俺の負けだな」って思うけど、首絞められたって死にはしないじゃないですか? 怪我するわけでもないし。やっぱり慣れるとそんなんでもないしね。それこそ最初にね、高校の時に見学に行くでしょ。道場の中に入った途端に何十組って練習してるのが、みんな死にそうな声出してるんですよ。息の詰まったような。俺だって「間違ったとこに来た」って思ったもん。

―そんな光景を見たら誰でもそう思いますよね(笑)。

―守山さんの柔道の師匠っていうのは誰になるわけですか?

守山 柔道でしたら、やっぱり船山先生ですかね。拓大では岩釣先生に教わりましたね。ただやっぱりね、一番教わるのはね、高校生の時は一つ上の先輩ですね。一つ上の先輩には凄い感謝してますよ。

―一つ上の先輩っていうのは後輩に絶対に負けたくないっていうのがあるでしょうから、強くなるためには一番いいんでしょうね。

守山 そうそう。もちろんそうですけど、結局凌ぎ合うっていうか、先輩を追い越さないとレギュラーになれないし、こっちも先輩を蹴落としてでも必死に練習するわけじゃない。いまここで教えてる子達に教えてる技なんていうのは、先生から習ったっていうイメージよりも、先輩達から習った、代々語り部みたいに、受け継がれて、先生が直接こうしろって言うんじゃなくて、先輩達が一つ下の後輩に、そのまた一つ下の後輩にっていう風に教えてきてもらって。だから、メモも取ったこともないし、いつも口頭で「こうやれああやれ」って。逆に言うと試合の時に僕はセコンドに付いて、普段選手に教えるでしょ? それを同じようにセコンドに付いて教えると、意外とみんな試合中も動けるんですよ。自分が経験してるんですよ。試合で一対一で闘ってる状況でも、外から先輩にそう言われると動けるんですよね。それが凄い自分の中であったんで。それがおかげさまで、いまの所はうまく行ってるというか。最近は「どうやるんですか?」って試合中に聞いてくるヤツもいるし(笑)。

―ちなみにそれは誰ですか?

守山 廣野(剛康)とかね。それでも別にルールには関係ないわけだから。それでわかればいいわけじゃないですか。

―前にも話しましたけど、柔道の昔の技術書見ても、完全に網羅されてるみたいなところがあるじゃないですか。多少やっぱりバリエーションとかは違うんでしょうけども。

守山 まあでも、人間、手二本足二本でしょ。やることはだいたいみんな似てくるんだと思いますよ。その土壌っていうか、その場所場所で、日本の場合は着物だったから、着物を掴み合ったりして、柔道になってるだけで。外国は洋服だから、掴めなかったから強い選手をドンドン前に出していく。誰とでも勝負していく。ご存じの通りボクシングの対処法だとか、レスリングの対処法だとか、柔道関係者の本が残ってるじゃないですか。こうやってやらなきゃいけないとか。これが証拠なんですよ。この人達はそれがないんですよ。

―勉強になります。やっぱりグレイシー幻想っていうのにマスコミも含めて相当飲まれてたと思うんですよ。日本人が忘れてたものを持ってるみたいな。

X なるほどね。知らない人がいただけでしょ(笑)。柔道やってる人はみんな知ってますよ(あっさり)。それで僕はね、「紙のプロレス」で申し訳ないんだけど(笑)、プロレスはあんまり見れないんですよ。見ても感情移入が出来ないから面白くないというか、裏読みしちゃうというか。どういう展開で次に繋げるんだろうって見ちゃうんですよ。

―でも、ボクらの見方も裏読みになっちゃってますからね(笑)。それでたまにパターンが崩れたりする瞬間が見たいんですよ。

X なるほどね。いわゆるイレギュラーが見たいってこと? こっちの世界はイレギュラーしかないですよ。こっちの方が面白いじゃないですか。だから私なんかはボクシングなんかの方が面白いんです。まあでも、それはボクの好みであって、あなたの好みじゃないから、プロレスを好きな人をダメだなんて言うつもりも全然ないし。

―でも最近は、徐々に見方がファンの間でも分かってきたっていう。UWFに始まって、少しずつみんな勉強してきて。いきなりこういう状況になっても誰もわからなかったというか。柔道とかそういうものをやってきた人にしかわからなかったと思うんですよ。

X あぁ、なるほどね。

―話は変わるんですけど、拓大の生徒でもないのにドン荒川さんが練習しに行ってたって話を聞いたことがあるんですけど。

X ああ、それは岩釣先輩から聞きました。熊本からプロレスラーになりたくて出てきて、岩釣先輩と何かのキッカケで知り合って、「行くとこないなら寮に入れてやるぞ」ってことで寮に入って、1年間ぐらい練習したんですかね。

―柔道部の代返とかして練習してたらしいですね。荒川さんはプロレス界でも隠れた実力者と言われてるんですよ。

X その時の貯金じゃないですか。

―貯金ですか(笑)。アマレスやってて、それで拓大に行ってて、木村先生の背中を流したとか聞くと、「ああ、そういうことなんだ」って思ってたんですけどね。

X 僕は面識はないんですけど、会えばそういう話になるんでしょうけど。プロレスの人もあれだけ練習する時間があるんだから、練習が好きでやってる人の中には強い人もたくさんいるんだと思いますよ。こっちの世界の定規に当てればプロレスの世界は違う意味での上下関係はあると思うんですよ。そういう意味ではプロレスのことはよくわからないけれども、強いか弱いかということに関して言うと、プロレスを見てる限りでは強いか弱いかは全くわからな

なかったりとかするから、レスリングの方に行っちゃったんだと思うし。それが、いろんな人が研究して「やられないようにするには」っていうんで、やってきたことだと思うんですよ。結局、最初は殺し合いの中で、相手を殺す技術として出来上がってきたものだから、いかに自分を守っていくかってことだと思いますよ。その中でたまたま進化した形が違うだけでね。

——柔道やってた人には当たり前だと思うんですけど、グレイシーが最初に日本にやってきた時っていうのは、プロレスファンとかはそういった知識を持ってない人の方が多かったんで驚きましたけど、やっぱり守山さんとか柔道関係者から見ると驚きはなかったわけですか。

守山　うん。ていうか、柔術って言われてもピンと来なかった。

——柔道界はそういうリアクションが多かったですよね。

守山　柔道ずっとやってきたことと、どこが変わってるかわからなかったっていうか、あれは「柔道じゃないの？」っていうね。「柔術も柔道も一緒じゃない」っていうぐらいの感覚でしかなかったですね。だからあんまり、ピンと来なかったっていうかね。でも最近、柔道も寝技やらなくなりましたからね。だから逆にグレイシーもインパクトがあったのかもしれないし。逆にウチの高校の後輩なんかはいまだに寝技やってるんで、伝統伝統で守ってる人達がいますからね。

——鎮西はいまだに寝技の練習を一生懸命にやっているわけですね。ところで、慧舟會もいろいろと選手が育ってきて、注目される選手も出てきてますけど、守山さん的には状況的には満足しているわけですか？

守山　あぁ、全然ダメですね（笑）。

——アハハハ。ダメなんですか（笑）。

守山　まだ寝技ヘタクソですよ、全然。一生懸命やらないと。教える方が悪いんじゃないですか？

——そんなことないですよ（笑）。守山さんは道場生とスパーリングとかはやったりするんですか？

守山　たま〜にね。もう身体が動かないッスよね。少しやんないとダメかもしれないですね。

——岩釣さんは、「バーリ・トゥードも現役だ。動いたら出ていく」とか言ってましたけど、守山さんは、そういう気持ちはないんですか？

守山　いやぁ、あんまないッスね。

——あまり表舞台には出たくないタイプなんですか？

守山　そうですね。こうやって道場で教えるのが面白いッスよ。何も知らない人ができるようになるのを見てるのが面白いんで。

——基本的に会場とかに行っても、守山さんは自分のとこの選手以外の試合は興味なさそうですもんね。

守山　ムフフフ（笑）。あんまりね。少しずつは勉強しなきゃいけないのかなとは思ってんですけどね。まあ自分のとこの選手を見てるとドキドキしちゃいますよね（笑）。

——ドキドキしちゃう（笑）。

守山　ウチがいま出させてもらってるのは、修斗さんとか、『PRIDE』さんと、パンクラスさん。そのあたりはやっぱり、出させてもらってるんで、興味っていうか、ルールもわかってきたんで、だから見れるようになったんだと思います。

——最近になってやっとルールがわかってきたんですか（笑）。

守山　はい（笑）。それこそ試合中にね、言っちゃいけない反則のことを口走って、他の選手に「ダメなんですよ」って言われる時があったんで。

——まだ安心して見てられる選手はいないんですか（笑）。

守山　いないな（笑）。まあ頑張ります、僕が（笑）。

——アハハハ。僕も頑張るからお前らも頑張れと？

守山　そういうことです。

【2月1日、慧舟會東京道場にて収録】

い。材料がなさ過ぎますから。

——その中で強さが見える試合とか、ちょっと崩れる瞬間とかがあるんですよ。そういうのを探し出して喜ぶのがマニアなんですよ。

X　あぁ、そうなんだ。プロレスはそうなんだろうけど、柔道で一番怖いというか、認識を改めないといけないのは、格闘技のプロは柔道が一番多いということです。学校の先生を柔道でやってる人は多いですから。警視庁も柔道で行ってる人が多いし。みんな柔道で食ってるんですよ。柔道のプロは多分日本で5、6千人ぐらいいるんじゃないですか。

——競技人口の数が違いますね。土壌が広いというか、それは強いヤツがいくらでもいますよね（笑）。

X　柔道で食っていけるんですから。実業団に入ったり、警視庁に行ったり、学校の先生になったりして、柔道をやりながら、生徒に教えながら、自分で練習しながら、給料を取って生計を立てているわけですよ。これはみんなプロでしょ。プロ柔道。

——プロ柔道（笑）。最後は木村さんに戻っていくわけですね。ありがとうございました。

【1月28日、都内某所にて収録】

ビデオプレゼント



『和術慧舟會〜勝利への道』
守山竜介代表が監修を務めるこのビデオを2名様にプレゼント。出演は小路晃、宇野薫、廣野剛康、高瀬大樹の慧舟會四羽烏。もちろん守山代表も出演。さらに宇野VS廣野、小路VS高瀬のスパーリングも収録。応募方法はP159参照【QUEST提供】



カモン慧舟會！

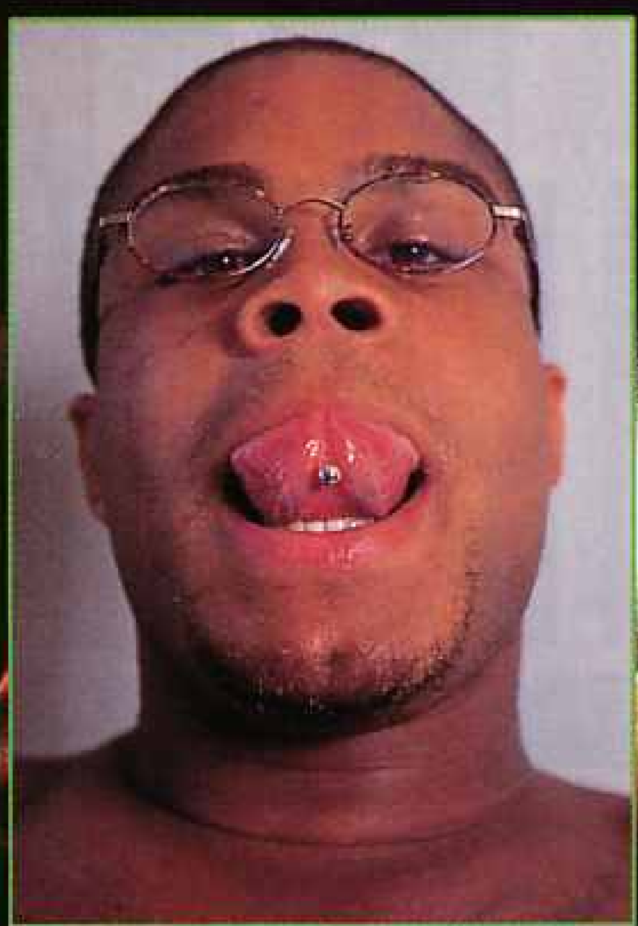
初心者から、女の子、さらにPRIDE、修斗、パンクラスに上がりたいというプロ志望の人まで、目的に合わせた練習で、楽しみながら強くなるんじゃあ！

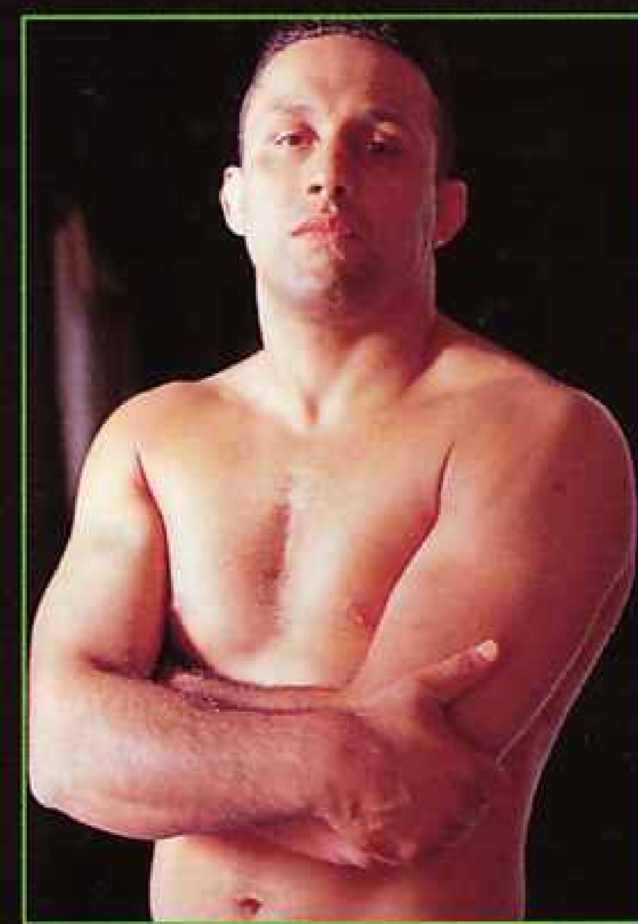
●所在地／東京都文京区湯島1・12・6高関ビルB1F

●電話＆FAX／03・3833・1117

KOKグランドファイナル直前!

ヤマケンから髙阪オカンまで14人が語る!





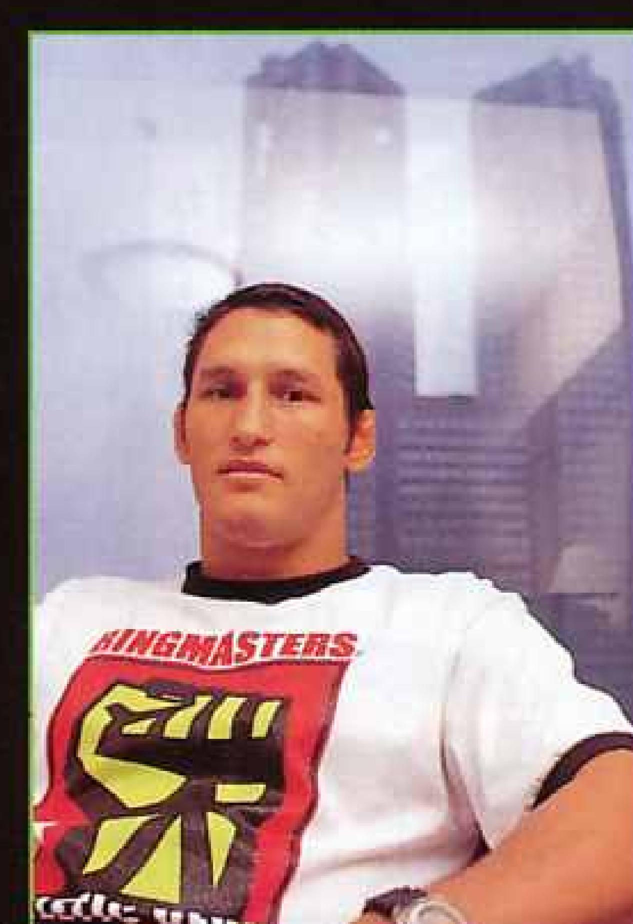


予想屋泣かせの KOK大予想大会

一番人気は 田村潔司



いよいよ目前に迫った「KOK」グランドファイナル。本誌では大好評であった前号の16ページぶち抜き特集に続いて、今回はリングスジャパン全選手とリングスに縁のある方々（あまりない人も含む）総勢14人に緊急インタビューを敢行！KOKの面白さと、優勝者予想を語ってもらった。リングス史上最高興行になる予感すらする2・26武道館。これを読めば気分が盛り上がること間違いなし！



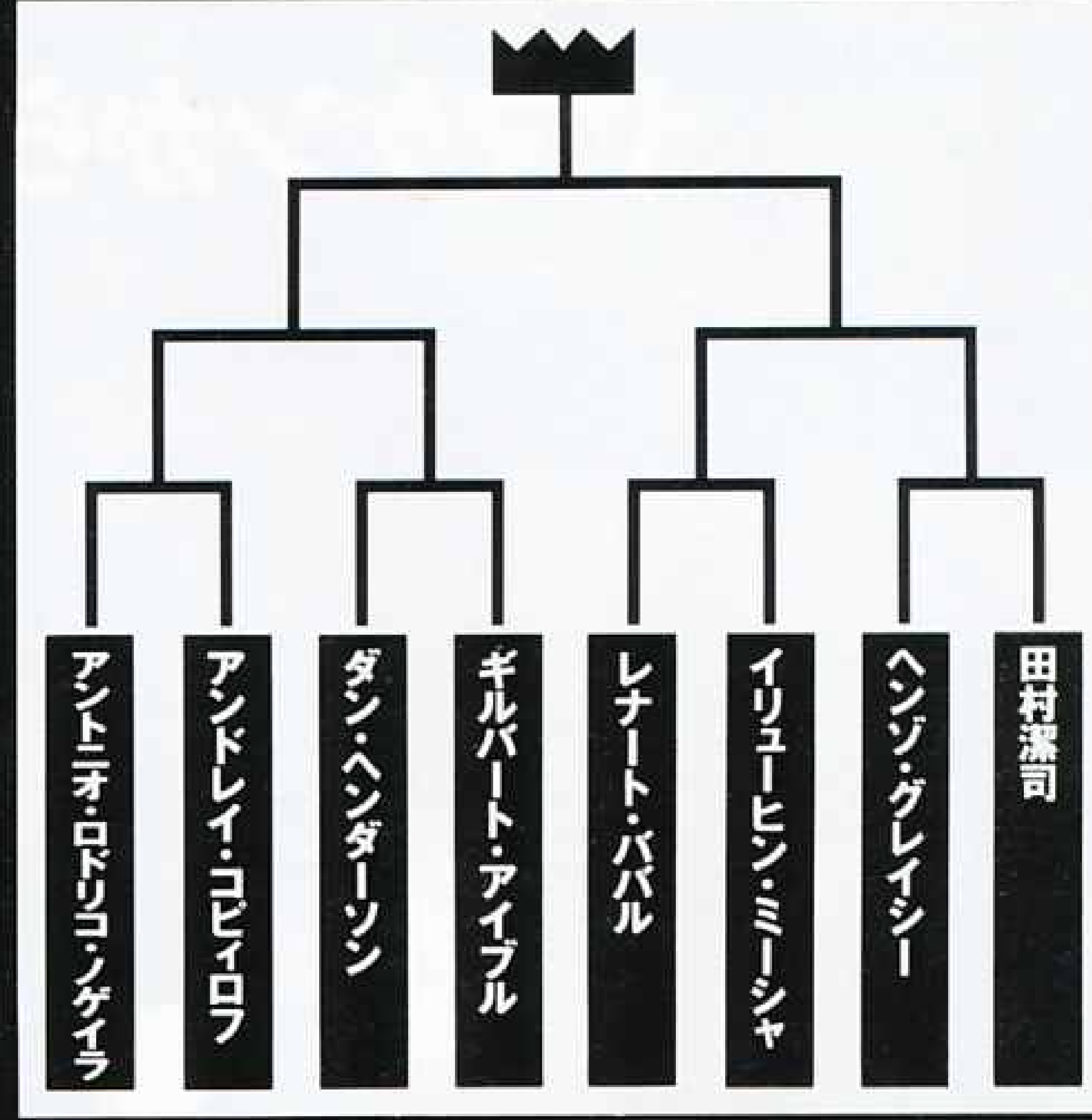
構成／堀江ガンツ
text by Gunts Horie





紙プロ恒例？ どうなる？ KOK

100人インタビュー -86



佐竹雅昭（怪獣王国）



KOKはブレイクがあるからテンポが良くて面白いね。『PRIDE』もね、ホントはブレイク有りでやったらいいと思うんですけどグレイシーがいる限り変えられないからね。だから早くグレイシー倒してブレイク有りのルールにしてもらわないと。そうしたらボクにも有利になりますからね（笑）。

KOKで一番印象に残ったのはやっぱコピィロフやね。やる側としたら、あんな風に勝てたら楽だよね（笑）。あれがトーナメントに一番必要な勝ち方やから、一瞬の内に極めるサンボはトーナメントに向いてるんやないかなぁ。あと高阪君を倒したアイブルも注目やね。でもやっぱり田村選手に頑張ってもらいたいね。ボクもK—1でただ一人の日本人として闘ってきて彼の気持ちはわかるからね。

トーナメントを長年闘って来た者として言えるのは無傷で勝つというのが絶対条件ですね。だから賭けが必要なんですよ。それができるのがコピィロフやともうね。ヘンゾもボクらSMTのメンバーのモーリスを秒殺してるから、巧いし、さすがなんだけど、グレイシーが勝つと困る問題がたくさんありますからね。そういう意味でも田村選手に勝って欲しいですね。みんなで力を合わせてグレイシーを倒しましょうよ。田村選手にヘンゾを倒しもらってボクはエリオを倒しますから（笑）。

宮戸優光（UWFスネークピット・ジャパン）



（KOKのルールは）動きがあって良かったですね。お客さんにとってもすごい良かったんじゃないですか。ああいうあまり知られてない選手がたくさん参加した大会では、知らない選手同士に長々とやられるのがお客さんにとっては一番つらいですからね。ボクはBブロックしか見てないんですけど、優勝は田村選手、ヘンゾ、コピィロフの3人のウチの誰かだとおもいますよ。その中でも印象に残ったのはコピィロフですね。大昔のガス灯時代のプロレスラーっていうのが、いまのコピィロフみたいだったんじゃないかと思って見てました。その強さ、佇まい、ナチュラルな体とね。ヘンゾは『PRIDE』の試合なんかも見てますけど、決勝はやっぱり田村vsコピィロフだと思いますね。1・2回戦のタムちゃんはちょっと堅かった気がしました。打撃と組技のバランスがいつもの彼らしくないところがありましたね。でも、彼の強さは出てたと思います。彼は勝負強いですからね。普通は練習で100の力だったら100出せる人ってほとんどいないんですよ。でも彼はいざとなったら120出せる選手なんですよ。心の強さは他の団体を含めて誰よりも強いですから。そういう点で考えると桜庭より強いかもしれないですよ。技術的な面だけだったら、いまはもしかしたらサクの方が上かもしれないけど、その勝負への執着心が桜庭以上の力を出させるんじゃないですかね。

平 直行（R to R）



KOKは「逆バーリ・トゥード」ですよ。VTっていうのはいかに相手の攻撃を封じるかという競技で、KOKは、いかに早く自分の得意技を出すかの勝負ですから。あのルールだったら5分間だから相手のミスを待ってるヒマなんかないんですよ。1Rでチャンスは1回か2回ですからね。しかもブレイクがあるんで極められなかったら、スタンドからやり直せる。だからコピィロフみたいな技もかけられるんですよ。VTだったら失敗したときのリスクが大きいああいう技はかけにくいんですよ。だからあのルールはコピィロフに有利だと思いますよ。でも今度はコピィロフが捨て身技の足関節を狙ってくることがわかっちゃいましたから、失敗したときにチョーク取られちゃう可能性があると思うんですよ。だからノゲイラが決勝に行くんじゃないかと思います。あとババルも良かったですね、彼はレスリングの動きもできますから、それに向上心があってホントは日本に残って練習したかったらしいんですよ。でもビザか飛行機の関係でできなかったらしいんですけど。だから彼は期待できますよ。まあ自分の願望だと柔術家の自分は本命・ヘンゾ。日本人の自分は田村選手ですね。ボクもこのルールの試合はやってみたいですね。ボクだったら面白い試合できる自信ありますから、でもまずはプロレスのリングに上がるのが先ですね。実は3月にデビューが内定してますから。期待してください。

ザ・グレート・サスケ（UFO研究家）



リングスは、WOWOWに加入してるから詳しいよ！　なんでも聞いて下さいよ〜。優勝はやっぱりTKだな。うん、TKに間違いない！　え!?　TKは出てないの？　あ〜2回戦で負けたんだ。オレはリングスには詳しいからねぇ〜知ってましたよ〜。じゃあ、田村選手が優勝だな。田村選手は出場してるよね？　うん、田村選手に間違いない！まあ、来年のトーナメントにはリングス初の覆面選手としてオレも出場するから。全くオファーは来てないけどね。ガハハハハ！

和田良覚（レフェリー）



ボクはレフェリーじゃないですか、中立な立場ですからね〜。予想は勘弁してくださいよ。今回はトーナメントですから誰が勝ち上がって来てもおかしくないですからね。やってみないとわからない。以上！　ダメですか？　わからない。自分の中ではいろいろあるんですけどね……。まあ、こんなところで。でも今回のルールは選手は大変でしょうね。あれだけブレイクが早いと休めませんからね。あのルールでは顔面がないですから極めの技術がない人はダメじゃないですかね。

山本喧一（パワー・オブ・ドリーム）



え!?　リングスの武道館って26日なんですか?　あい〜や、我がグラップリング協会の初めての大会と同じ日やないですか。それじゃあお客入らないやないかい！　まあ、いいですわ。同じ日にぶつけたことにした方が『紙プロ』さん的にも面白いでしょ（笑）。

リングスのトーナメントは面白いんじゃないですか。ボクがいた頃にあれをやっていただければねぇ。でもまだ"ビビッ"とは来ないですね。まあビビッと来たらボクは"UFCの暴れん坊"としてそん時はリングスでも『PRIDE』でも出たいと思ってますけどねぇ。このルールはグラウンドで顔面がないですから、ビビッじゃなくて、「ビ」位ですけどね。やっぱり顔面どついてナンボですから。どつかない喧嘩なんてないですから。だからなんやかんやリングスのファンに言われてるかもしれないですけど、リアルなものに対する価値観ていうのが低いと思いますわ。

まあ予想すると全体的にブラジル勢がいいじゃないですか。そん中でも一歩抜けてるのがヘンゾやと思いますわ。まあだからヘンゾと田村さんの勝った方が優勝するんやないですか。まあエール込みで優勝は田村さんと書いておいて下さいよ。優勝してもらわないと、ボクも楽しみがなくなりますから。やっぱり優勝して田村潔司がいろんなところに喧嘩を売ると。優勝したら言いたいことがあるらしいですけど、また「成瀬とやりたい」じゃないやろな（笑）。まあそんときは成瀬の援護射撃しますから。「田村嫌い同盟」でも作って（笑）。最近では田村さんも外に出てやってもいいとか言ってるみたいやけど、オレが散々やってきたことの真似じゃないですか。オレがやろうっていったときあの人はやらなかったじゃないですか。そこがあの人のズルイところですよ。リングスが危機になったときの逃げ道作ってるだけですよ。

まあ、なんか面白いことしましょうよ。ボクがパンクラスに行ってみんなの力を合わせて田村を潰すとか（笑）。ボクは田村戦を諦めたわけじゃないし、いつでもやる準備はありますから。それが格闘家でしょう、プロでやってる以上はファンのニーズも考えて、それで盛り上がる試合が出来ればそこに命かけてもいいと思うし。ならどこに命かければいいですかと。無駄な試合で大事な命落としたくないですよ。

まだボク自身は打倒グレイシーの気持ちはないですね、まだ日本を代表して闘える器じゃないですから。まだ日本列島を覆いつくしてないです。外枠は埋めたんですけどね、まだ中のパズルは出来ていないと。だからいまボクがやることはUFC—Jでみんなに認められるような結果を出す。とにかく誰も日本人でチャンピオンになっていないんで世界一になろうかと。オレはヘビー級よりミドル級の方があってるからミドル級で世界一になりたいと。まあ、見とって下さいよ。

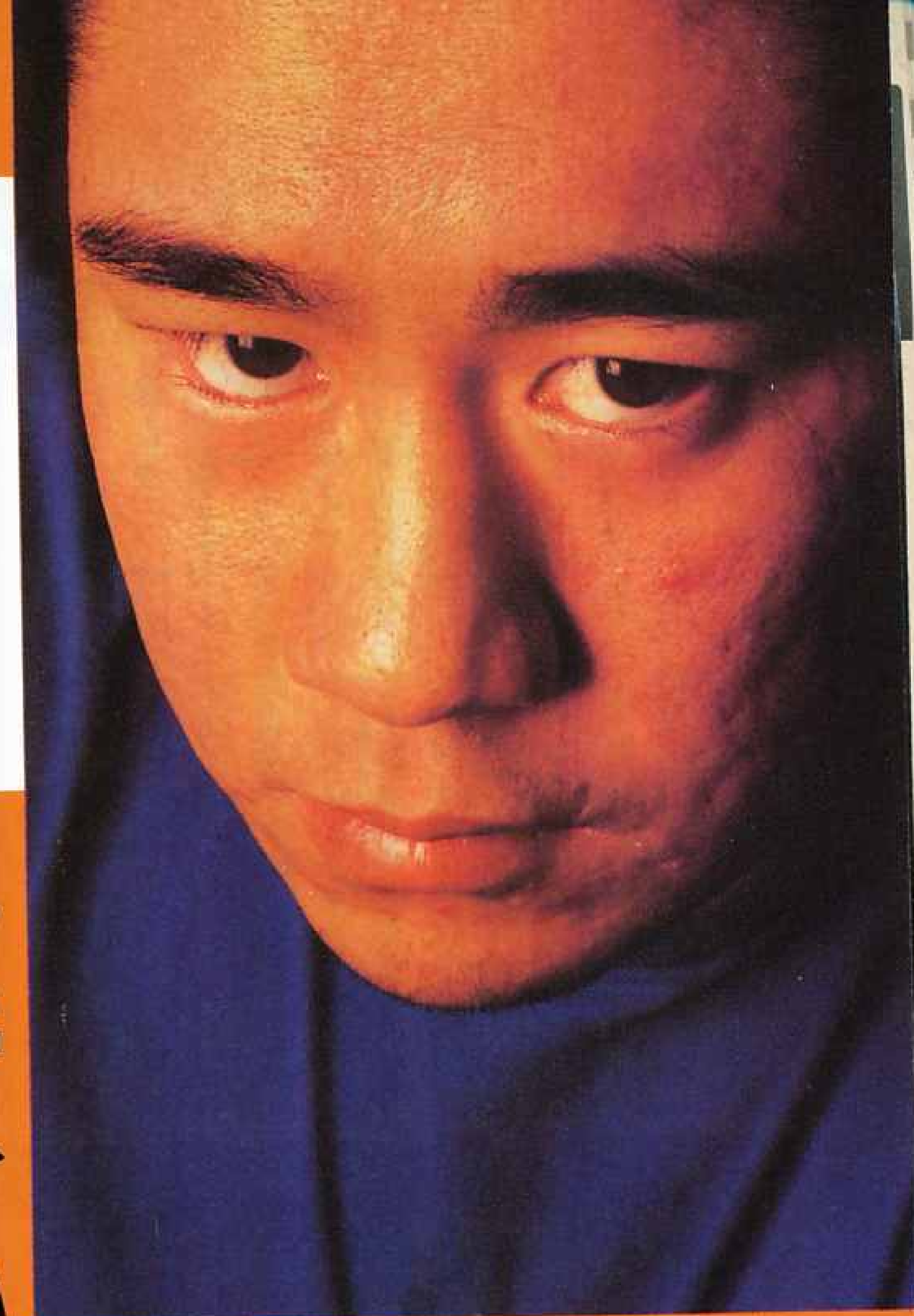
髙阪フミ（TKのオカン）

PROFILE：
【こうさかふみ】
リングスの会場での「ツヨシ〜！」というまさに「ツヨシしっかりしなさい！」な声援で、リングスファンにはすっかりお馴染みの"世界のTK"を産んだ偉大なるオカン。関西方面の会場では、ファンに取り囲まれたり、「オカン」コールが起きるほどの人気を誇る。最近では雑誌『リラックス』（マガジンハウス）で「困ったときは、オカンに訊け！」という連載まで持っている（面白すぎるので必読！）。

トーナメントはホント剛が優勝するはずやったんですけどねぇ（笑）。私もね、最初は22万ドルも賞金がかかってるゆうの知らなかったんですよ。私は22万円やと思いましてね（笑）、剛に「あんた12月は勝ったら22万円もらえるんやろ」言いましたら、剛が違う言うんですよ。金額聞いたら、も〜う何をしてでも勝ってもらわな思いましてね（笑）。剛が一番になったらホ〜ンマに私、赤飯炊いて配り歩かなアカン思うてましたわ（笑）。剛にも「今度の試合はアンタみたいに考えて試合してたらあかんで」言うてね、「とにかくスピードが勝負や」とかいろいろアドバイスしまして、「自分のやれるいままでの技なんか通用せえへんのや。それなりのトレーニングせなアカン！」って言うたったんですよ。そしたら剛もだんだんだんだん燃えてきて、それでペースを乱したらしいんですよ（笑）。せやからホ〜ンマに残念で残念で。

大阪の試合は見に行きました〜。私も、も〜う燃えてしまってねぇ（笑）。でもやっぱり剛は私がいると気が散るんやねぇ。私のエネルギーが強すぎるんですかねぇ（笑）。ホントあの子は気がちっちゃいんですよ。小さい頃から授業参観に行っても私の顔見たらしゅんとなってしまうんよねぇ。そんなんやから最近私は会場に行くのやめてたんですよ。でも今回ばかりはじっとしてられなくなりましてね（笑）。剛には悪いことした思いますけど。せやけどあのアイブルは相性が悪いのやね。でもプロやからね、そんなことも言うてられへんし「あの人の頭にかじりつくぐらいのジャンプ力つけなアカン」言いましたわ（笑）。でも剛は相手が憎ったらしいゆうことがないみたいなんですよ。それが負ける原因や言うてるんですけどね。本人は負けてもお利口さんの貴之花みたいな反省するんですよ。そんなもんひとつも得にならん言うてるんですけどねぇ。

だからも〜う今度の武道館はね、田村さんになにがなんでも取って欲しいんですよ。大阪のときは感動しましたねぇ。あれこそ男やなぁ思いました。も〜う私も帰りに田村さんの背中にしがみついてしまいましたわ（笑）。田村さんと剛は持ってるハートの一部分が似てるような気がするんですよ。でもあの人、コピィロフがね……。剛も言うてましたけど、ロシアの人は食べるものからして違うらしいんですよ。キュウリひとつにしても大根みたいなの食べてるらしいんですよ。もうあんな人と田村さんが闘うゆうことになったら、田村さんにはちょっとなんか強〜〜なる薬でも飲ませたい思うてるんですけどねぇ（笑）。ズルが出来るもんやったら、なんでもやったらエエ言うてるんですけどねぇ（笑）。なんっっっとか田村さんに勝って欲しいですねぇ。



「全てはトーナメントが終わったら話します！」山本宣久

ヨイショか？

NGS

PAN

が 語る

& 田村潔司

金原弘光



もう、最近腹立つことばかりですよ。トーナメントは大金がかかってたから、負けたあと無性に腹立ってきましたね（笑）。それと『PRIDE』ですよ。オレだってナイマンに勝ってるのに藤田だけ注目されてさ、おかしいですよ！　オレなんか12連勝してもなんのアレもないですから。それで高田道場に移籍なんていう噂は立つし（笑）。やってること変わんないのに『PRIDE』だけ注目されるのが腹立つんですよ。『PRIDE』もルールも変えなくちゃダメですよ。最初のタックルで上になって殴ってたら判定で勝ちになっちゃうんだから。あれじゃあ全然面白くないですよ。…予想全然してないけどいいんですか？（笑）。

予想はまあ、優勝候補はボクが見る限りホントはダン・ヘンダーソン。でもヘンダーソンはアイブルが一番相性悪いと思うんですよ。ヘンダーソンからタックル取れる選手ってなかなかいないと思うんですけど、アイブルはタックル取る気まるでないですからね（笑）。だから本命はコピィロフです。あと田村さんとヘンゾだったらタックルきって打撃で行って田村さんが勝つと思いますよ。でも田村さんは2回戦以降がつらいと思うんですよ。だから決勝はコピィロフvsミーシャのサンボ対決になるんじゃないですか。でも優勝はボクです。誰かがケガしてボクがリザーバーとして代わりに出て優勝しますから（笑）。

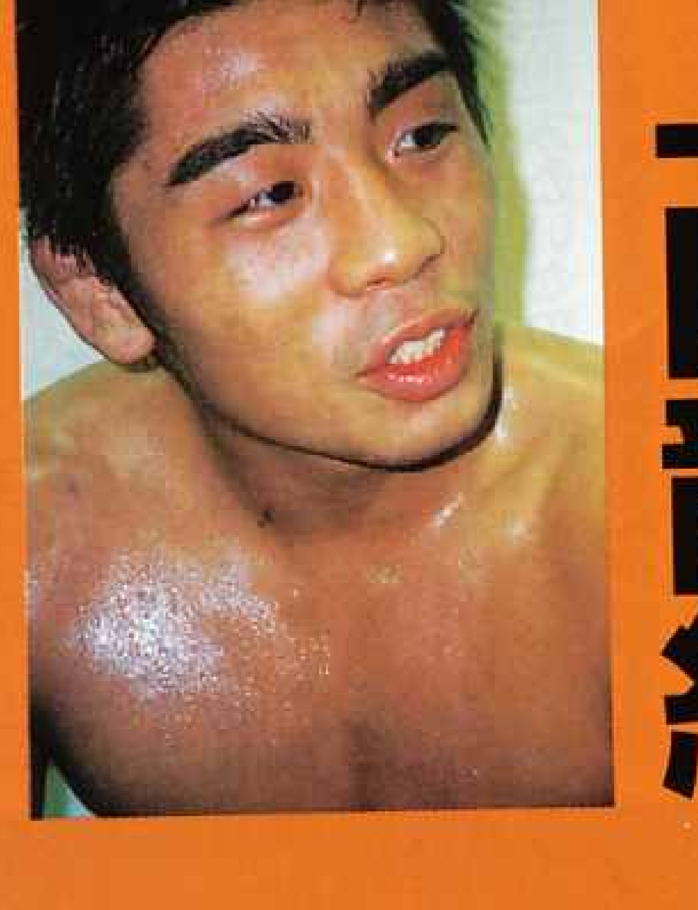
坂田亘



KOKのルール自体は緊張感もあるしいいと思うね。でもボクの試合に関してはいま思えば油断があったなと。実際試合をやってみないとわからない部分も多かったからね。だから博打に失敗した感じかな。

優勝を予想すると、まずコピィロフは型にはめちゃえば一番強いと思うんだよ。でも1回チャンスを逃して打撃入れられたらもろいところあると思うしね。それが克服できれば優勝はコピィロフですよ。気持ちとしては田村さんに優勝してほしいけどね。田村さんならオレみたいに変な罠にはまらなければ、ヘンゾに負けるわけないと思うよ。立ち技の間合いにしても寝技の間合いにしても田村さんの方が一枚も二枚も上だと思うからね。田村さんにとって問題なのはヘンゾよりババルだと思うね。ミーシャがどこまで頑張ってくれるかわからないけど、ババルはかなり馬力あるから。オレはノゲイラよりババルの方が対応力があって地力があると思うよ、ザザを極めて勝つんだからね。ババルは要注意だね。あと台風の目はアイブルだね。あいつは気の赴くままにっていうか、予想もしない闘い方をするからね。だから本命・田村さん、いや違う。本命・コピィロフ、大本命・田村さんだね（笑）。あとこれだけは書いといて「大口叩いてすいません」（笑）。でもオレはこんなもんじゃ終わりませんから！

上山龍紀

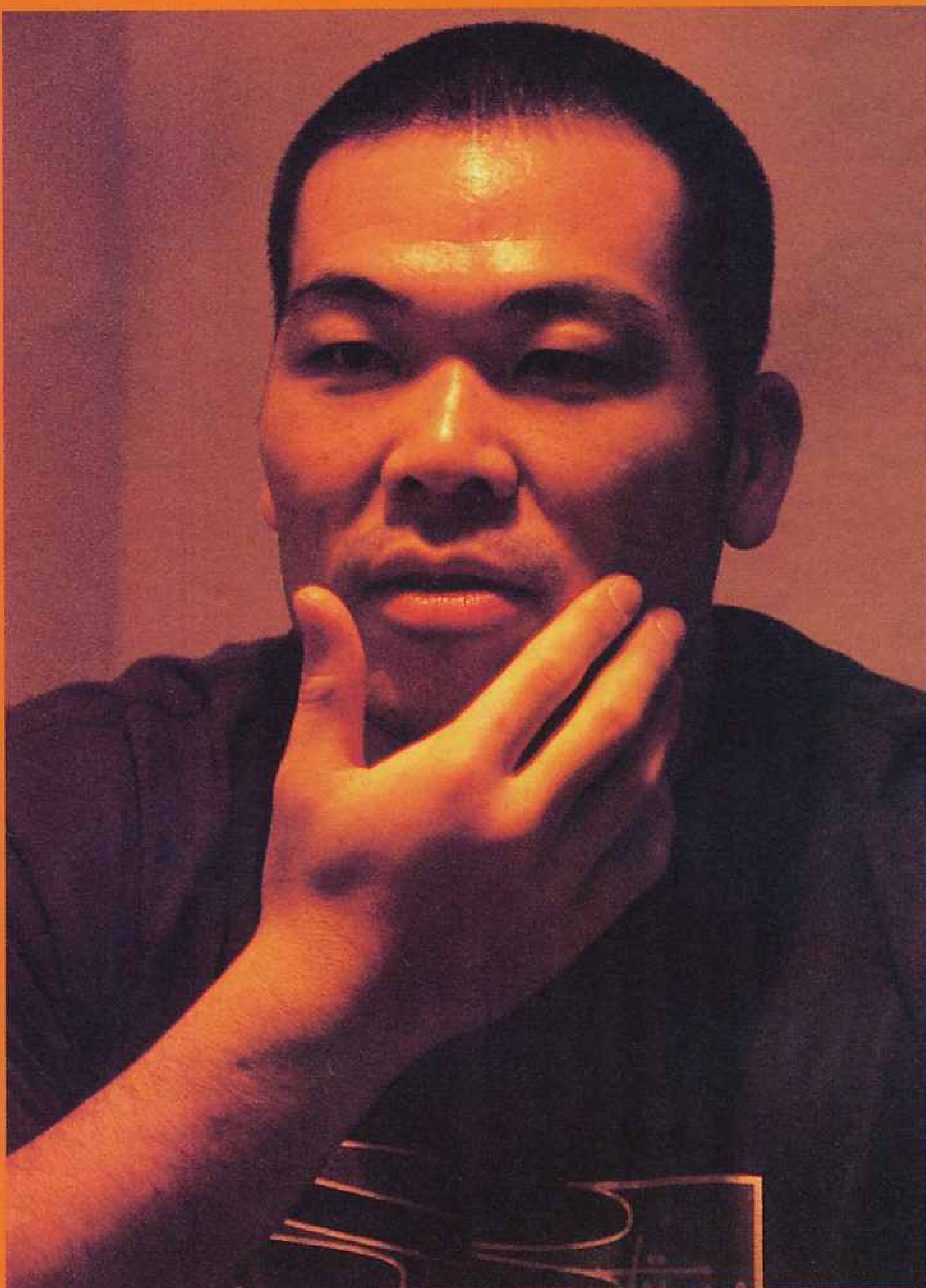


今回は無名な選手も結構いたんですけど、初参戦の選手でも強さがわかるルールだと思いました。その中でもボクはアントニオ・ノゲイラに巧さを凄く感じましたね。あと負けちゃったんですけどカステロ・ブランコのテクニックがもっと見たかったです。

KOKルールでボクはまだ試合はしたことないんですけど、練習はしてるんですよ。だから早く試合をしてみたいですね。それで予想なんですけど、優勝の本命はやっぱり田村さんですね。練習を一緒にやってるから言うわけじゃないですけど、総合力で田村さんが一番なんじゃないかと思います。一本勝ちはできなくても判定では絶対勝てると思います。だから決勝は田村さんとノゲイラですね。あと意外とダン・ヘンダーソンが来るかもしれないですよ。打撃ができるレスリングの選手は強いと思います。来年またトーナメントやるんだったら是非でたいですね。そのためにも練習頑張ります。

エールか？
RIN
JAPA
全選手が
KOK＆

高阪 剛



トーナメントは1日2試合とか3試合とかあるんで、みんな2試合目3試合目はつらいと思うかもしれないけど、ケガと身体のダメージさえなければそんなことないんですよ。2試合目の方が頭は冴えるし、気分的には全然楽なんですよ。これはやっぱりやった者しかわかんないと思いますけどね。自分なんか柔道では下手したら8試合とかやってましたから。だから田村さんは1回戦のヘンゾ戦が一番きついと思いますよ。でもオレは田村さんはヘンゾに勝つと思うから優勝すると思いますよ。ヘンゾはスキマを埋めるテクニックが凄いあるけど、でも戦略的にはあまりメリハリがないんですよ。でも田村さんはメリハリで試合をしますから、ヘンゾが隙間を埋めても埋めきれないくらい田村さんは隙間を作ってヘンゾに勝つと思いますよ。今回は隙がないヤツか、地力のある選手しか勝ち上がってないんですよ。例えばコピィロフなんかは穴だらけなんですけど、地力で全部埋めちゃってるんですよ。ギルバートなんかは技術プラス身体能力で勝ち上がってきましたからね。やっぱり他力ですよ。だからコピィロフとギルバートが当たるのを見てみたいですね。この試合は今後の格闘技界の参考になると思いますよ。

滑川康仁



先輩は誰が本命って言ってるんですか？ ……ボクはやっぱり田村さんが優勝だと思います。田村さんで決定です（笑）。

コピィロフですか？ ……コピさんはメチャクチャ強いよ！ ムラっ気があるって言われてるけど、あのバケモノみたいな強さですからね、ムラでもないと勝てっこないよ。ボクはロシアでコピさんと練習したことあるけど、足の挟む力とかとんでもないよ。ブランコのときのヒザ十字も、あの足で挟まれたんだから足がどうかなっちゃうよ。だからコピさんとはこのKOKで闘ったらダメ、エスケープないと試合になんないよ（笑）。あとボクはコピさんに勝ってもらいたい理由があるんですよ。20万ドルなんて大金他流派の人間に持っていかれたら悔しいじゃないですか。だからコピさんに優勝してもらって最近リングス・ロシア大会やってないから、そのお金でやってもらってボクがそこに出たいですね。……でも優勝は田村さんです（笑）。

成瀬昌由



KOKは選手の持ってるポテンシャルがそのまま出せるルールだと思いますね。KOKの効果で面白いのがあって、あれを見て新弟子が4人も入ることになったんですよ。ビックリですよ。いままで客が入らなかったラーメン屋がテレビに出ていきなり行列店になったようなもんですよね（笑）。

目に付いた選手は、ヘンゾはあまりにも有名すぎるんで別格として、やっぱりノゲイラとコピちゃんですね。これはいきなり決勝戦ですよ。今回のコピちゃんは戦慄のサンビストって感じでしょ。でもムラはないとは言えないし、ノゲイラは1・2回戦は打撃系が相手だったからコピちゃんとやって本当の実力がわかるだろうしね。だから本命はノゲイラとコピちゃんの勝者、対抗が田村さんとヘンゾ。これはホント見逃せないと思いますよ。

オレも早くグローブ付けて殴りたいね。自分でもどんな闘いができるか楽しみなんだよね。もともとオレは空手家ですから、オレの拳はそんじょそこらの拳とは違うからね。佐竹さんは空手から転向したばかりだから力が出せなかったけど、オレは総合を何年もやってきたわけだからね。刀に例えたらオレの拳は「妖刀・村雨」。はやく鞘を抜きたいね。

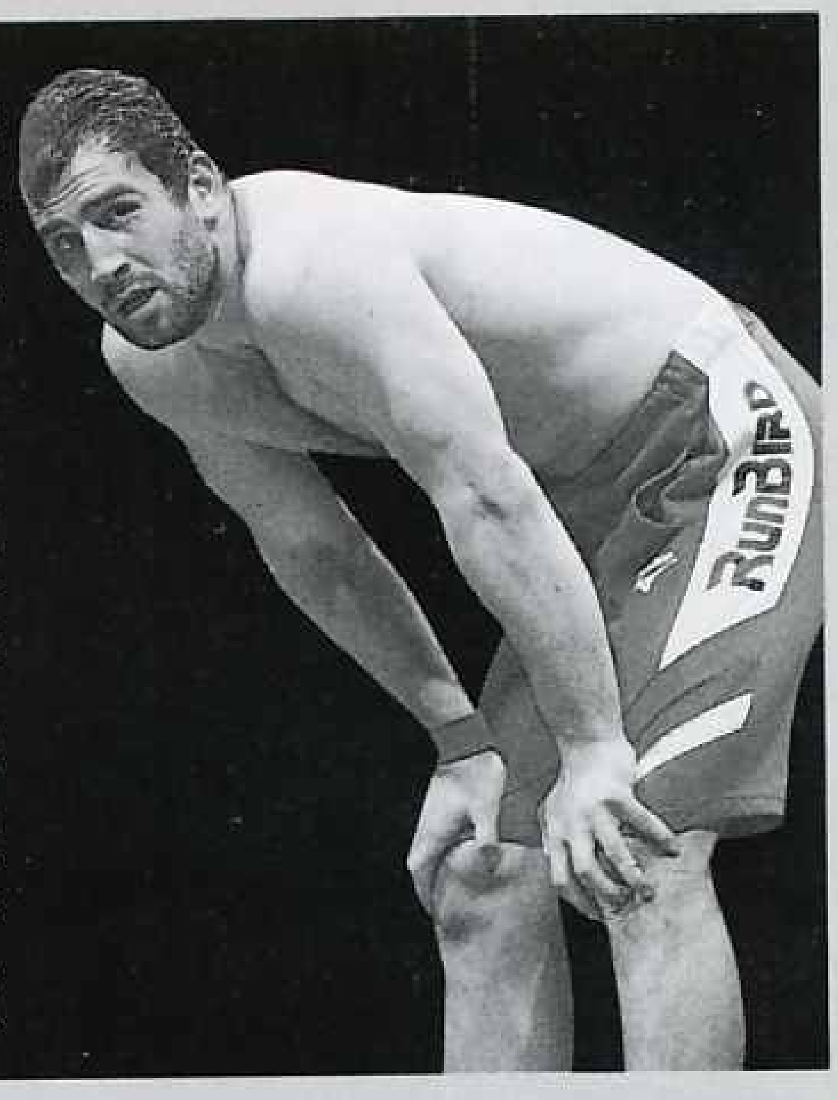
終兵器は

だいることと

上なし

想続行!!～

昨年の『KING of KINGS』の予選大会ではアンドレ・コピィロフ、イリューヒン・ミーシャというサンボ勢の強さが改めて注目された大会。2.26の田村VSヘンゾも楽しみだが、今回はロシア勢についてのちょっといい話をお伝えしたい。



「だけど、ミーシャにしても、コピィロフにしても現役じゃないからね」

かつてハンやコピィロフたちをリングスに紹介した世界サンボ協会の副理事長・堀米奉文氏は、いきなりモノ凄いことを言うのである。現役の柔術無差別級チャンピオンやブラッド・コーラーを破ったコピィロフやミーシャをつかまえて、ある意味ロートルのごとく断言するわけなのだ。奥深いにもほどがあるぞ、サンボ！

思い起せば、5年前、第2回アブソリュート大会でミーシャがヒカルド・モラエスに負けたことがサンボ評価を下げるきっかけになった。ミーシャはモラエスの顔が変形するぐらいボコボコに殴り付けたもののスリーパーでタップし、ファンをがっかりさせたのだが、実はミーシャの世界的な評価はあの試合でガ然アップしていたのだ。ミドルクラスの選手が2メートル以上ある男と互角以上に殴りあったということが、その高評価の源。実際、『KOK』前のヘンゾもミーシャを世界的選手として認識しており、「ブラジルでも強いことで有名な選手だ」と語っている。ミーシャがグランド・ファイナルに残るの当然のことであったというわけだ。

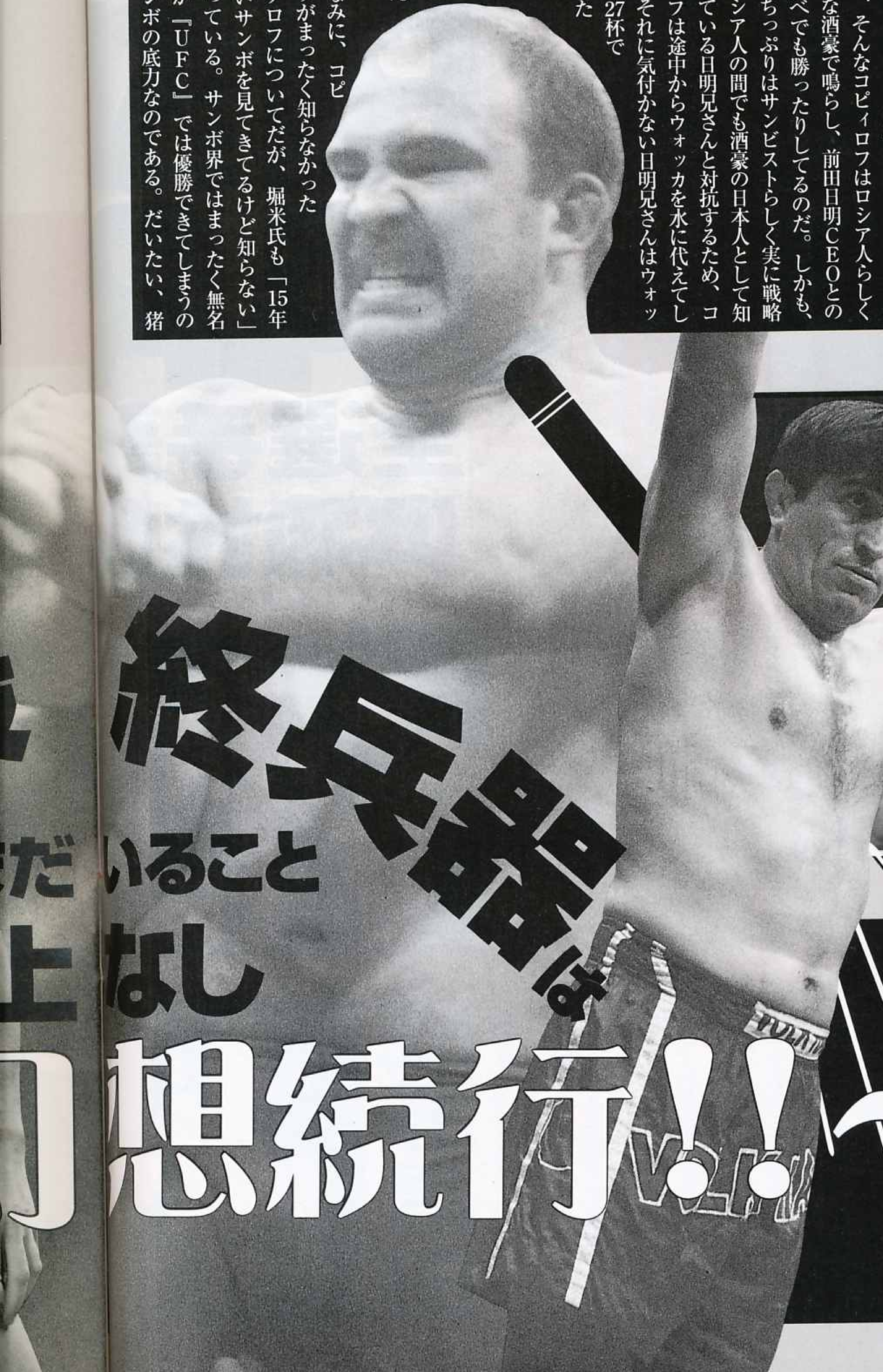
そして、コピィロフはそのミーシャより凄いのだ。「コピィロフは旧ソ連時代の全スポーツが集まる大会『スパルタキアード』の最後のチャンピオンなんだよ。技術的にはコピィロフのがズーッと上だからね、ミーシャより」（BY堀米）とのことである。さらにロシアでコピィロフからサンボを習ったこともある、リングス・ジャパンの滑川康仁もこう断言している。「ロシア人の足の締め付けは凄いですよォ！　コピィロフさんに両足でロックされたら、それだけでタップしたくなりましたから。アキレスが極まるとか、それ以前の段階で足が折れたと思いました」。

どうですか？　この人間離れしたバカ力。リングスでは若手とはいえ、滑川も、高阪剛や坂田亘らからギシギシいわされた経験を持ち、そしてなにより、あの前田道場の新弟子を約2年間も耐え抜いた男だ。大抵の辛いことにはたぶんマヒ状態になってるはずだろうに、この発言なのである。両足でただ挟むだけで、それがすでに強力な武器になってしまうコピィロフ。凄すぎる！

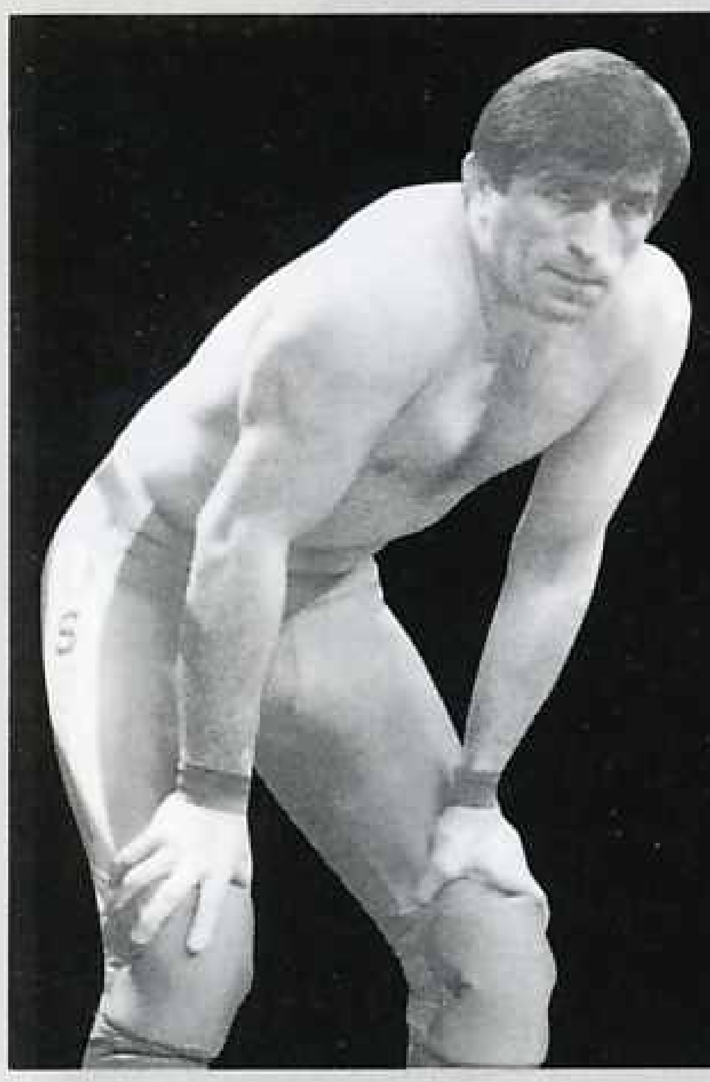
さて、そんなコピィロフはロシア人らしくかなりな酒豪で鳴らし、前田日明CEOとの飲み比べでも勝ったりしてるのだ。しかも、その勝ちっぷりはサンビストらしく実に戦略的。ロシア人の間でも酒豪の日本人として知れ渡っている日明兄さんと対抗するため、コピィロフは途中からウォッカを水に代えてしまい、それに気付かない日明兄さんはウォッカ一気27杯で轟沈した模様。まったく素晴らしき男たちだ。

ちなみに、コピィロフがまったく知らなかったタクタロフについてだが、堀米氏も「15年ぐらいサンボを見てきてるけど知らない」と語っている。サンボ界ではまったく無名の男が『UFC』では優勝できてしまうのがサンボの底力なのである。だいたい、猪

文／中村カタブツ君







木さんを裏投げ3連発でKOした、ミュンヘン五輪の柔道金メダリスト、ショータ・チョチョシビリの師匠もサンボの名選手だったのだから、サンボの凄さを疑うこと自体がどうかしていたわけなのだ。2・26の『KOKグランドファイナル』は当然楽しみなのだが、今後、サンボからどんな選手が出てくるのか非常に期待したい。

ところで、改めて考えてみると『KOK』の予選大会で最も期待されたロシア人はミーシャでも、コピィロフでもなく、実はリー・ハスデルに一回戦負けしたコマンド・サンビスト、ラバザノフ・アフメッドだったといえる。

試合の2ヵ月前から前田道場で修行し、スパーリングでは田村潔司からアキレス腱固めでタップまで奪った、ハンの秘蔵っ子の彼。ファンの期待も高まるばかりだったはずなのに、肝心の試合ではアキレスの体勢に何度も入りながら、極め切れずに逆転TKO負けと、結局、ハンの直弟子ぶりを彷彿させてくれたのはヒザに手を置いて休むシーン（右の写真参照）のみという、そこは似なくていいだろうってところばかりが印象深い、肩透かしぶりだったのだ。どういうこと？

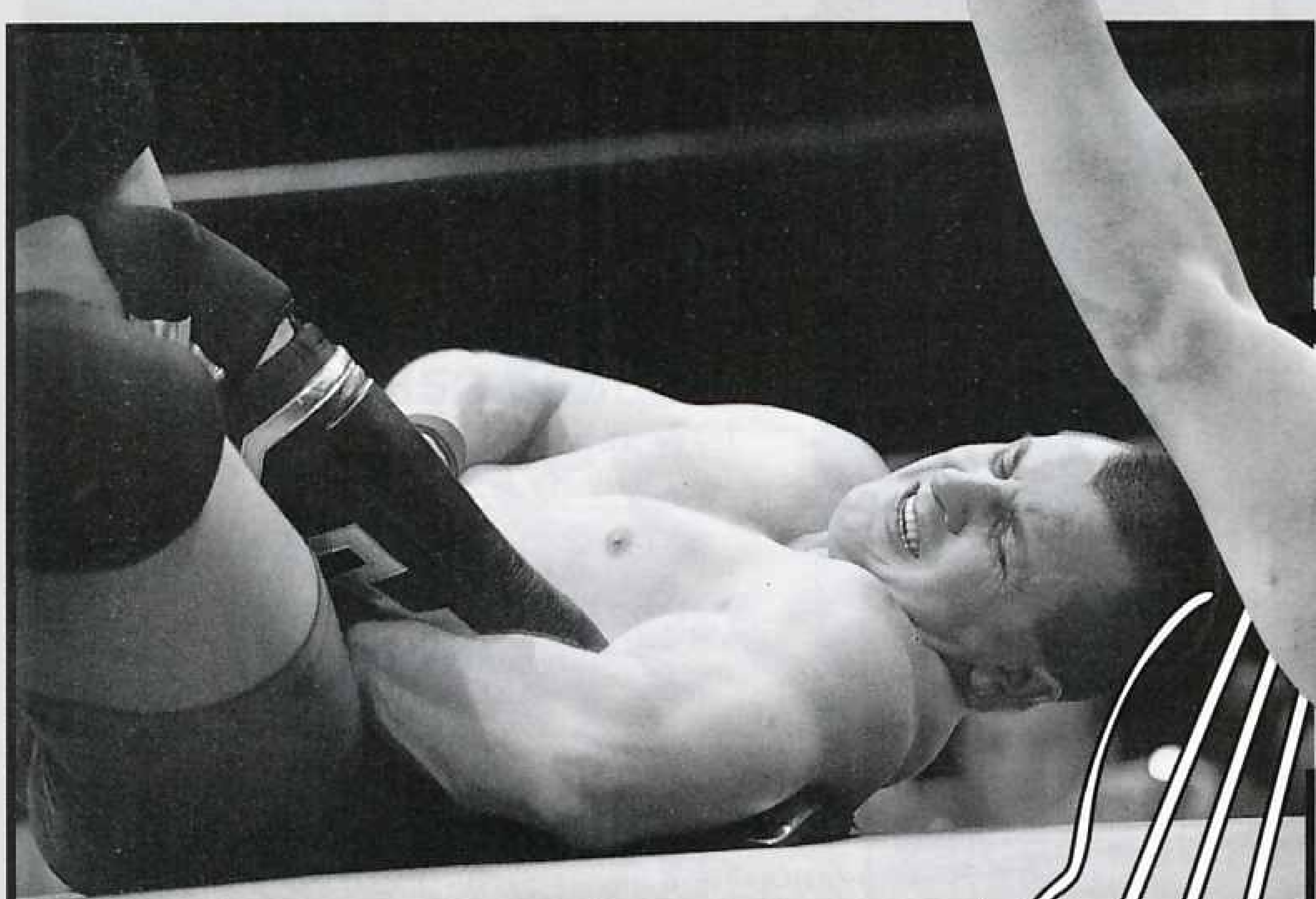
お答えすると、言葉も習慣も異なる異国の地で60日、21歳のアフメッド君はなんとホームシックにかかって10キロも痩せてしまっていたのである。好感が持てる積極的な姿勢がアダとなったんだからホント、めまいがする。来日当初は田村や金原がいくら極めても決してタップせず、金原がブチ切れて喧嘩寸前にまでなった気の強さもありながら、そのくせ、道場の掃除の手伝いを買って出たりと心憎い気遣いもあるんだから、一回戦敗退は実にもったいない。どう考えても実力的にはあんなもんじゃないだろうに、肝心なところで家が恋しくなる、戦地に出すにはあまりに不向きだったであろう元ロシア軍人。キャラクター的にも期待大だ。

今回の来日で日本にはもう慣れたはずなので、次回の活躍が楽しみ。ともかく試合が決まっても、あまり早く日本に来ちゃダメ！

余談だが、滑川は、ロシアでの思い出の一つとしてこんなことも語ってくれた。「実は向こうはトイレが汚いんですよ。都会でもかなり汚くて、田舎なんか外に掘った穴で用を足してるんです。しかも、いっぱいになったらロクに埋めもしないで次の穴を掘ってトイレにするし。こういうのが我慢できる神経は凄いッスよ」とのことだが、そりゃ確かに凄い！

『雷波少年』で有名になったブルーム・オブ・ユースもロシアのトイレ事情には閉口した模様で、こんな危険な穴がロシアの街角にはかなりあるらしい。それでなくても雪道で滑りやすい上に、コケたら、そりゃあもう大変なことになるロシアの道路事情。ちなみに嫌でも足腰は丈夫になるはず！　松澤チョロ（岩手県生まれ）は、新雪に〝LOVE〟と小便なんかで書いて、彼女へのラブレターとした強者だし、〝東北の最終兵器〟ザ・グレート・サスケもケツを出すのが大好きだ。国は違えど〝雪と下半身〟は北の人間にとって切っても切れないものらしい。雪国で育った人間はいろんな意味で強いのである（そういうことで船木誠勝も強い！）。

ロシアで苦労したブルーム・オブ・ユースも武道館ライブを成功させてビッグマネーを掴んだ昨今、ロシア生まれのミーシャ＆コピィロフが2・26武道館ライブ（『KOK』グランドファイナル）でビッグなマネーを掴むことはもう約束されているわけなのである。





北の最

まだまだ

この上

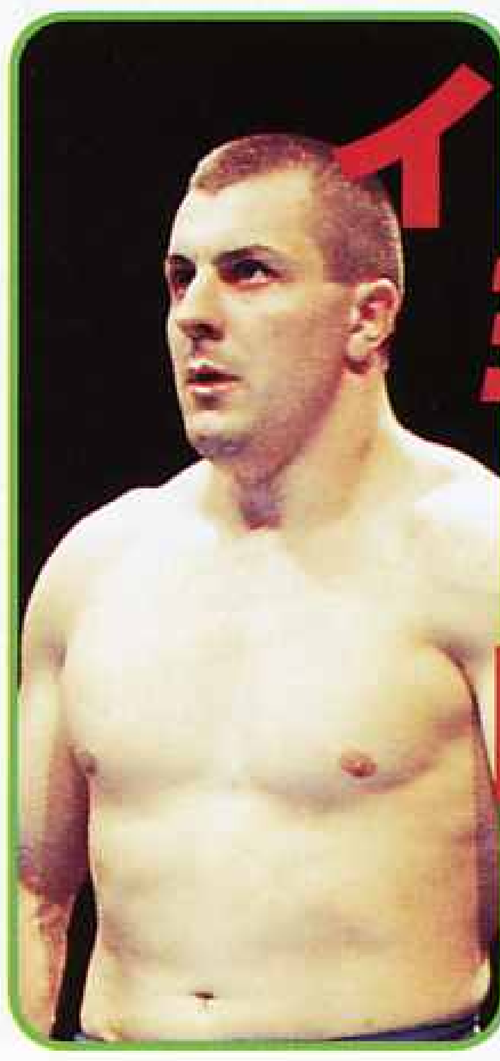
〜サンボ幻





田村　潔司 VS ヘンゾ グレイシー

田村潔司が遂にグレイシー討伐に乗り出した！この一戦は単なるトーナメント準々決勝にとどまらず、11月の桜庭vsホイラー、1月の高田vsホイス、をうけて行われる、U系vsグレイシー一族の前面対抗戦第3戦という見方もあり、1勝1敗で迎えた今回は両者にとって絶対に負けられないところだ。両選手とも軽量のため、これまでは体重差克服がカギとされてきたが、今回は体重差があまりないので技と技がぶつかり合う、最高レベルの闘いとなるだろう。ホイラーがサクに敗れたものの、未だ一本負けを喫していないグレイシー一族。田村はグレイシーからの一本勝ちの快挙を成し遂げるか!?田村潔司デビュー以来最大の一戦を見逃すな！



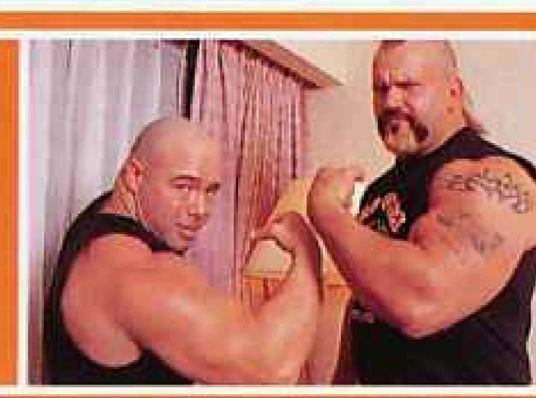


イリューヒン ミーシャ VS レナート ババル

Aブロックの最後の最後でリングスを全滅の危機から救った“救世主”ミーシャの相手は、このメンバーの中では地味ながらも、ザザ、ハスデル、と実力者を破って勝ち上がってきたババル。ババルはマルコ・ファスの下でルタ・リーブリと柔術を学び、レスリングの南米王者でもあるオールラウンド・プレイヤー。今年1月にはアメリカであのB・コーラーをKOしており、絶好調でKOKに臨んでくる。ミーシャはVTでボブチャンチンやUFC王者クートゥアーを破った実績があるが、モラエス、バヘットに敗れるなど柔術系のブラジル人を苦手としており、ミーシャにとっても念願である「打倒ブラジル」を成し遂げられるかの正念場である。

2.26武道館KOKグランドファイナル直前！ 準々決勝見どころ大解剖

アルティメット ウォリアーズ も帰ってくる！

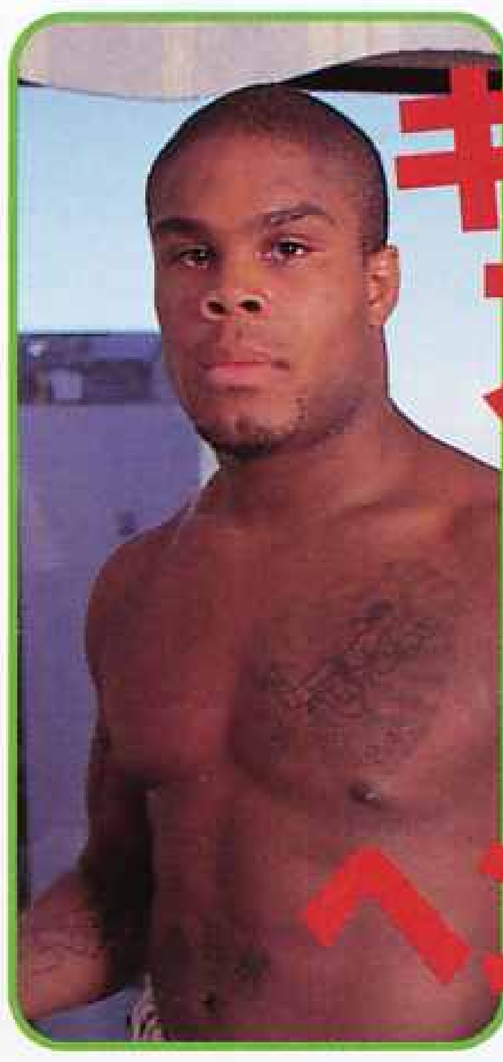






アンドレイ コピィロフ VS アントニオ ・ロドリコ・ノゲイラ

1回戦では現役の柔術世界王者を16秒殺。2回戦ではオランダのメンチ切り王・フィエートが思わず目を反らせしてしまうほどの恐ろしい眼光で睨み付け8秒殺と、いままでの呑気なコピィロフは一体何だったんだと言いたくなるほどの、圧倒的強さで大ブレイクを果たした我らがコピちゃん。対するはAブロックで同じく危なげなく勝ち上がり、実力の底が見えないノゲイラ。事実上の決勝戦との呼び声も高いこの一戦。両者ともに秒殺で勝ち上がったため、コピィロフは試合が長引いたときのスタミナが、ノゲイラは1・2回戦が打撃系の選手だったため、寝技のエキスパート相手に通用するかが焦点となってくるだろう。





ギルバート アイブル VS ダン ヘンダーソン

オリンピックに2度出場したレスリングのエリート、ダン・ヘンダーソンとアムステルダムの喧嘩1000勝無敗男、ギルバート・アイブルという対照的すぎるバックボーンを持った2人の闘い。ヘンダーソンは五輪レスラーながらジャッジの元・ムエタイ王者、藤原敏男も絶賛するボクシング・テクニックの持ち主。対するアイブルもパンクラス王者シュルトをKOし、さらにタリエル幻想をも崩壊させた恐怖の打撃が売り物であり、今大会屈指の乱打戦になることは間違いないだろう。しかしながらヘンダーソンは1・2回戦ではほとんど見せることのなかったグラウンドテクニックを駆使してくることも考えられ、予測不能の一戦でもある。

5.26船木VSヒクソン大盛り上げ企画第１弾！



順番が違う！

ブラガを
倒してからにしろ

ヒクソンは
桜庭から逃げた

逆風

色々言われているけれど
それでも
ドームに夢を見ろ！

語ろう
船木VSヒクソン
座談会



2000年上半期最大とも言える、超ビッグカードにも関わらず、発表以来盛り上がる気配が全く見られない船木VSヒクソン戦。ファンの気持ちもわかるが、こんなおいしいカードをみすみす見逃す手はない。そこで本誌は裏2000年上半期最大の一戦である、ターザン山本VS大仁田第1Rが行われた日の深夜、緊急座談会を開催。船木VSヒクソン戦を完全大解剖。これを読めば嫌でも興味が湧いてくる！　プロレスファンよ、ドームに夢を見ろ！

座談会主席者

吉田豪
その鋭い観察力とタチの悪い発言には定評がある。今回も船木vsヒクソンを解き明かす新理論を展開。

中村カタブツ君(36歳)
本誌等でヒクソンの原稿を執筆し、良くも悪くも大反響を得る。今回は2週間船木を研究して座談会に参戦。

堀江ガンツ
本誌・練習生。根っからのプロレスファン、UWF信者であったため、無駄な知識は編集部一豊富。

豪　いや〜凄かったねえ、ターザンvs大仁田！　で、なに？　今日はその話でいいの？

ガンツ　ええ、その話も交えながら（笑）。

豪　交えていいのかよ！　で、本題は？

ガンツ　あっ、船木vsヒクソン戦でした（笑）。いま、船木にもヒクソンにも乗れないでいるファンがあまりにも多いと思うんですよね。

豪　なんで？　思いっきり乗れるじゃん（笑）。

ガンツ　いや、最初の高田vsヒクソン戦以上に業界が無視してるじゃないですか。記者会見に集まった人数は多かったんですけど。

豪　マスコミっていうか、ファンが腰引けてるよね、こんなに面白すぎる二人なのに（笑）。

ガンツ　だからこの二人が闘うことの意義深さを、座談会でアピールしていきたいんですよ。そういうわけで今日集まっていただいたのは、ヒクソンに日本で初めて下ネタを振ったことでも有名な吉田豪さんです（笑）。

豪　オレ一人じゃねえかよ（笑）。だけど下ネタは船木選手にも振ったことあるよ。「一部ファンの間でホモ疑惑があったから、結婚されてて安心しました」って言ったら、「俺、女好きっス」とか「あっちの方は早くないっス」とか素直に答えてくれたんだけど（笑）。

ガンツ　アハハハハ！　あともう一人、まだここには到着していないんですけど、下ネタと言えばもちろんこの人！　最近、「カタブツ幻想が崩れた」とネットに書かれていたという中村カタブツ君です（笑）。

豪　それは、まさしく幻想だね（笑）。

ガンツ　そして最後に元・船木ファンであり、船木vsバス・ルッテン戦の試合後に泣きながら船木選手に抱きついた私、堀江ガンツ！

豪　ダハハハハ！　そうだったんだ。「俺も生きるぞ！」って!?　気持ち悪ぃ奴（笑）。

ガンツ　え〜、そんな3人が旗振り役となりまして、腰が引けてる読者の皆さまに魅力をアピールして盛り上げていきましょう、と。

豪　まず、盛り上がんない理由といえば、ブラガと闘ったときの船木選手の駄目っぷりと、そのブラガとヒクソンの弟に快勝しちゃった桜庭選手の「お兄さん、今度はボクと勝負して下さい」発言が単純に大きいわけでしょ。まあ、それと同時に一部雑誌がヒクソンを叩いてホイスを上げたりする風潮のせいでもあるんじゃないかと俺は思うんだけどね（笑）。

ガンツ　うわ〜っ、言っちゃいますか（笑）。

豪　いや、だから俺が言いたいのはその雑誌が悪いとかってことじゃなくて、「『PRIDE』に出なくちゃ男じゃない」みたいなビジネスとしての煽り文句にファンが単純に乗っちゃうのはおかしいよ、ということ。



こじつけと言うには、あまりにも共通点が多い、SWS旗揚げと『コロシアム2000』の船木VSヒクソン戦。バッシングこそされているものの、ファンがどうしても気になってしまうところも、やはり似ている。

ガンツ　なんか急にホイス株が上がっていっちゃいましたからね、試合もしないうちから。

豪　昔、ホイスが口にした「ヒクソンは私の10倍強い」っていう比較論をひっくり返しちゃって、いきなり「ホイスの方が強い」だの「勇気ある」だの言い出してるけど、俺はヒクソンの方がまだまだ強いと思えるんだよ。

ガンツ　そもそも、5年間VTの場に出てこなくて、勇気あるも何もないですよね（笑）。



豪　腰の骨がねじれてケアーと試合しなかった奴がね（笑）。それに高田戦を見る限りでは、ホイスの方が強いなんて言い分は通用しないって誰が見ても感じたと思うんだけど。

ガンツ　あの試合は高田選手ばっかり叩かれてますけど、ホイスも叩かれるべきですよね。

豪　「あんなに守りに入られたら極められない」とか言ってたらしいけど、高田選手の腕を2回極めたヒクソンより本当に強いんだったらできなきゃしょうがねえだろって（笑）。

〜ここで中村カタブツ君（36歳）登場〜

ブチ　デへへへ〜。お疲れさまで〜す。

ガンツ　え〜っ、全国2千万人の『紙プロ』読者の皆さんに紹介します。本誌をはじめ、『SRS・DX』等で近頃大活躍中のカタブツ君です（笑）。

豪　ブチは凄いよ。ネットでも「カタブツ君一人勝ち」ってよく書かれてるからね（笑）。

ブチ　俺の時代が来てますよ〜。聞いてよ、今日なんか3万円拾っちゃったんだから！

ガンツ　もちろん警察に届けたんですよね？

ブチ　（悪びれず首を横に振り）ううん。

豪　それ、単なる窃盗じゃねえかよ（笑）。

ブチ　ところで、いま何の話してたの？

豪　ホイスよりヒクソンがいかに素晴らしいかを説明していたところなんだけど、ヒクソンに誌面で噛みついた男としてはどうなの？

ガンツ　最近は船木研究家として、毎日『週プロ』のバックナンバーやUWFのビデオを見ながら爆睡しているみたいですけど（笑）。

ブチ　寝てる……かなあ……。

豪　まあ、こう見えてもブチはヒクソンより凄い男だからね。前にヒクソンが山篭りしたとき、俺は「あんなギミックとしての山篭りじゃなくて、お前は本当に山に篭れ」ってブチにスーパーバイズしたんだよ。だからヒクソンが別荘みたいな所に泊まってるときに、ブチは同じ山で野宿してたんだから（笑）。

ブチ　悪いけど、俺は別荘じゃなくて外だから！　山の中で一晩過ごした男だよ！

ガンツ　高田調で言えば、「山篭りっていうなら外に泊まればいいじゃない、セミを食べればいいじゃない」ってところですかね（笑）。

豪　あんまり寒いし寂しいしで、何度も会社の留守電にメッセージ入れてたけどね（笑）。

ブチ　だって寒いんだもん（かわいらしく）。

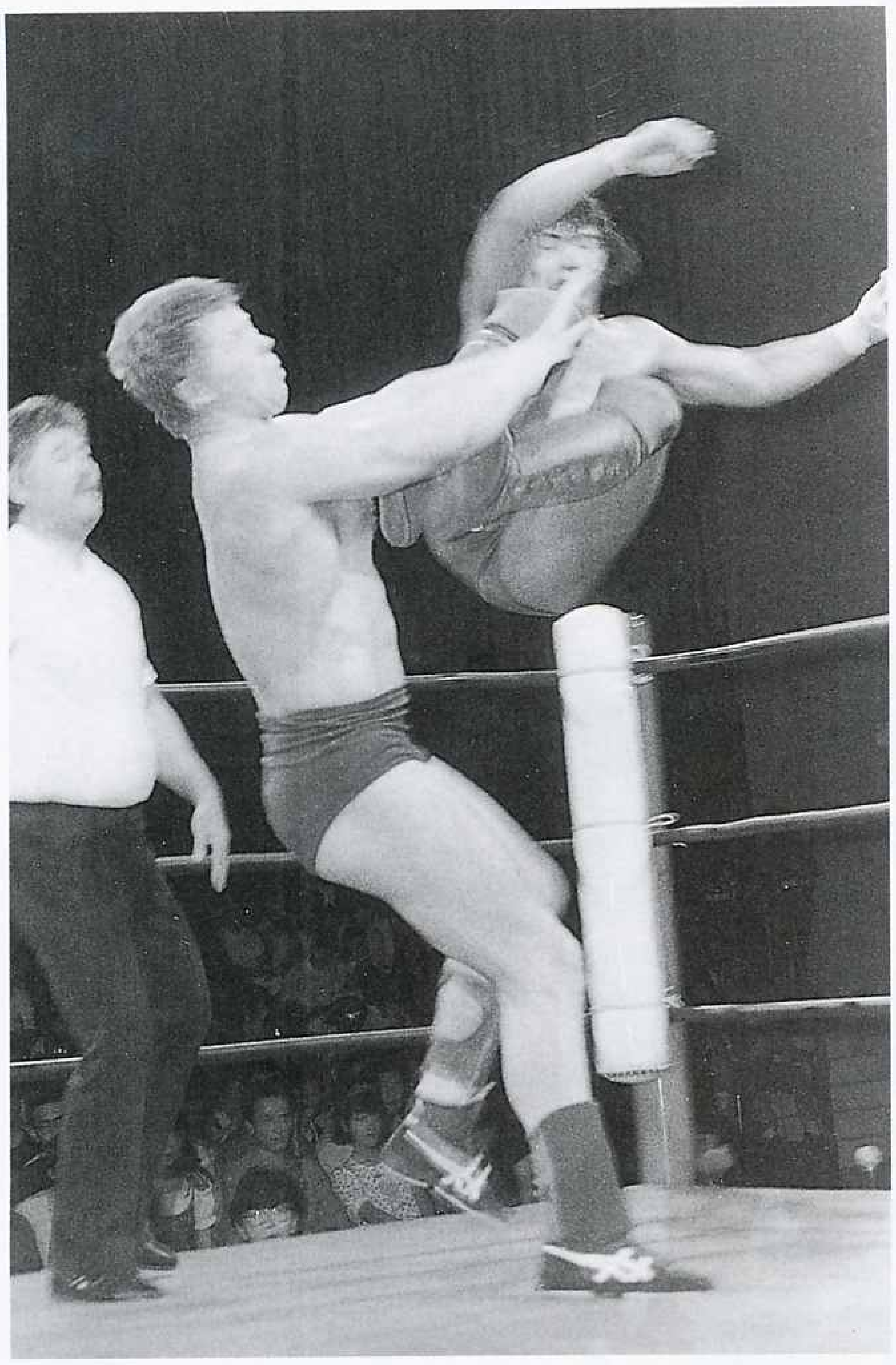
豪　結局、みんなヒクソンの山篭り幻想に呑まれすぎてたんだよ。そういう意味では、いまターザン（山本）の昔の原稿とか読むと面白いよ。最近は「ヒクソンなんて守銭奴ですよ！」とか「俺が殺す！」とかよく言ってるけど、昔は「ヒクソンは山篭りで山の精霊の力を借りている」とか思いっきり幻想に呑まれたこと書いてたから（笑）。

ブチ　ガハハハハ！　呑まれてるなあ（笑）。

豪　その辺からも、なぜヒクソンバッシングが徐々に大きくなってきたか見えてくるよね。ファイトマネー重視の姿勢が世間にも届くようになってきたこととかあるんだろうけど。

ガンツ　最初は2000万円とか言われてたのに、いまは1億超えてるらしいですからね。

ヒクソンとSWSの批判は全く同じ。ヒクソン＝天龍だよ（豪）



これが問題のバックランドへのミサイルキック（89年5月21日　東京ベイN.K.ホール）。UWF参戦以来、今日まで、船木は常にプロレスと格闘技の狭間で苦しんでいた気がする。

豪　でも、この批判って要はターザン（山本）のSWS批判のときと全く同じなんだよね。天龍選手が全日を離脱したとき、ターザンは「金権プロレス」だの「金で動いた天龍」だのと言って、さんざん『週プロ』で叩いてきたわけでしょ。だから、俺に言わせればヒクソン＝天龍なんだよ。

ガンツ　そうなると、いまになってSWSを再評価するファンが増えている以上、ヒクソンをバッシングするのも間違ってますよね。

豪　ターザン本人が、当時とまったく同じ叩き方してるんだしね（笑）。だからSWSを再評価した第一人者であるボクがヒクソンを再評価してみようということなんだよ。

ガンツ　「前田から逃げて高田と再戦した」とか「サクから逃げて船木を選んだ」とか叩かれたヒクソンも「より高く私を買ってくれるところで闘う」とか言い切れば良かったんですよね。

豪　そういうこと。プロはお金もらって当たり前なんだから。ヒクソンは「金権柔術」でいいんだよ。ヒクソンも天龍選手も、マスコミはストイックなイメージを全面に出して選手を2階に上げた。それを、後から金の面に光を当ててハシゴを外しちゃったわけでしょ？

ガンツ　山本さんの常套手段ですね（笑）。

豪　だからヒクソンの金権体質を叩くのもいいけど、SWSと同じでヒクソンによって格闘家のギャラが底上げされたんだから。団体側にとっては多少つらくても選手側にとっては好都合だったという、SWSと全く同じ現象なんだよ。だからヒクソンは悪くないね。

ガンツ　破壊王も昔、「お金出してくれる会社を悪く言うな！」って言ってましたしね（笑）。

豪　だから『PRIDE』や『コロシアム2000』とSWSはホント似てるんだよ。SWSもUWFを取り込もうとしたかと思えば、WWFを呼んだりしたわけでしょ？　やろうとすることはドリステと全く同じなんだよ、WWFとシュートスタイルね。金持ちの考えることは、いつの時代も一緒なんだよ（笑）。

ガンツ　北尾、大刀光、維新力と相撲取りをやたら上げたがるのも似てますよね（笑）。

豪　SWSのコンセプトは「真剣試合」だから（笑）。ちなみに騎士の兜被ってきた佐竹選手は、SWSで言えばジョージ高野なんだよ（笑）。

ガンツ　じゃあウルティモ・ドラゴン直系の闘龍門勢が『PRIDE』や『コロシアム2000』に出場する日も近いですかね（笑）。

豪　路上の喧嘩王・TARUちゃんマンとかね（笑）。それに当時、SWSは夢の試合として天龍VS前田を画策したり、藤原組を引っ張ってきて天龍VS船木を実現させようとしてきたわけでしょ？　それをいま現実化させてるのがヒクソンvs船木ってことなんだよ。

ガンツ　だから今回、船木選手のファイトマネーが5000万とか言われてますけど、再びSWSに引き抜かれたと思えば問題なし、と（笑）。

豪　SWS時代、鈴木みのると違って船木選手はいい試合してたからね。期待できるよ。

ガンツ　でもその船木選手が最近、イメージが悪いですよね？

豪　なに、悪いの？

ガンツ　その辺り、ここ2週間、船木研究を続けていた中村さん的にはどうですか？

ブチ　確かにイメージは悪いと思いますよ。やっぱり「黒幕」疑惑とかあったばかりでタイミングが凄い悪いじゃないですか。

豪　それに関しては船木選手が本当に救急車を呼んでいたとしたら、まだ許せるでしょ。

ただ、自分があんなに苦戦させられたブラガに、サクだけならまだしも小路選手まで勝っちゃったことの方がツライでしょ（笑）。

ブチ　だから逆風しか吹いてないけども……、船木選手はぁ、……どうなんだろねえ。

豪　全然まとまってねえじゃねえか（笑）。2週間船木選手の何を調べてたんだよ！

ブチ　いや、だからね！　ボクに言わせれば船木選手は勝ち負けの試合がしたいとか、そういうチンケなこと考えてる男じゃないのよ、もともと。皆さん勘違いしてるようだけど。

豪　ほう、じゃあ何がしたいの？

ブチ　魅せる試合がしたいわけよ。

豪　それはワークってこと？（笑）。

ブチ　違いますよ（笑）。魅せる試合がしたいから、UWF時代、B・バックランドにミサイルキックを放ったりしたわけですよ。

豪　ああ、Uはプロレスだっていうことを、嫌がらせのように試合を通してアピールしたやつね。そりゃ選手はみんな怒るよ（笑）。

ブチ　でも彼はそういう一本芯の通った人間ですからね。今回もこの逆風の中でキッチリ何かやってくれますよ！

豪　それはヒクソンにドロップキックするってこと？　それじゃアレクだよ（笑）。

ガンツ　でも、船木選手が勝って素直に喜べるかというと、いまはまだどうかって思いますよね。

豪　だからサクが順調に実績を積み上げていったのに、結果を出さないまま船木選手が横取りしたような形になったことが批判の対象になってるわけでしょ？

ガンツ　でも、少なくとも3年位前までは、こういう格闘技界の最終戦争で勝者になるのは船木選手だっていう思い込みというか風潮があったわけじゃないですか。

ブチ　うん、あったあった！

ガンツ 若手の頃から21世紀の星って呼ばれてきて、図らずもこうやって2000年に舞台が整ったにも関わらず、誰もそこに乗ってないっていうのはなんなんですかね？

豪 お前、「誰も」って言い切るなよ！(笑)。

ガンツ まあ、名乗り出るのがあまりにも遅かったっていうのがありますよね。

豪 いや、ああ見えて船木なりに水面下で人知れずアピールしてたんだよ。肉体改造本を出したのも、グレイシー・ダイエットに対する挑戦だったんじゃないかと俺は思うし。

ガンツ そうだったんですか（笑）。でも船木vsヒクソン戦が、せめてあと1年早く実現してたら盛り上がり方も全然違ったと思うんですよ。

豪 髙田が負けたとき、すぐに「俺が出ていく」って言ってたらね。あのとき名乗り出たのは前田日明だけだったわけでしょ？

ガンツ あの「髙田やられたよ、どうすんの！」っていう深刻なときに、パンクラスは「前田を告訴する！」とか「前田を殺す！」とかやってたわけですからね。それが今頃になって「プロレス界に恩返ししたい」ですからね。「しゃらくせぇ～！」って感じですよ。

豪 お前、ちょっと口悪すぎるよ（笑）。

ブチ キミ、ホントにパンクラスファンから脅迫電話かかってくるよ（笑）。

豪 さすがにヒクソン・バッシングの原稿を某誌で書いて、読者に「殺すぞ」って電話で言われた人間はその辺りに敏感だね（笑）。

ガンツ え～、船木選手を愛する者として、あえて苦言を言わせていただいております（笑）。だから髙田選手が負けた後に言ってたら「船木よく言った！」ってなってたと思うんですよ。

豪 でもそんなこと言うのは野暮だよ。試合決まったんだから、18万円出して見ようよ(笑)。

ブチ また心にもないことを（笑）。

ガンツ でもいま考えてみると、ヒクソン戦の前の髙田選手っていうのも、あの頃は逆風どころの騒ぎじゃなかったんですよね。

豪 ヒクソンに負ける前から武藤選手や破壊王に負けてることもあって、一部では「最強」どころか「最弱」って言われてたからね。

ガンツ でも、それが髙田選手がヒクソンと闘うって決まったら髙田選手の良かった記憶を呼び起こして気分を盛り上げたんですよ！

豪 あれで散々髙田バッシングしてきた『紙プロ』も、一気に手のひらを返したからね。

ガンツ 「いざとなったとき相手の腕を折れるのは髙田だ」なんて組長の発言を引っ張り出してきて、気分を盛り上げたりね(笑)。

豪 でもホントにいざとなったら相手の腕を折るどころか、自分の腕が折れる前にタップしちゃったわけなんだけど（笑）。

ガンツ まあ、そうなんですけどね(笑)。グレイシー狩りに名乗り出たのは嬉しいけど、3回もやらないで良かったんじゃないか、と。



UWFとプロレスの全歴史を賭けたような、濃密な時間であった最初の高田VSヒクソン戦（97年10月11日）。船木はヒクソンを相手にどんなドラマを見せようというのか。

豪 ああ、ホイス戦も含めてね。あれはサクによるグレイシー狩りの流れも潰しちゃったし。でもまあ今回の『PRIDE・GP』が内容的にコケたんだから『コロシアム2000』はチャンスだよ！

ガンツ あれを反面教師にしてルールやカードを決めたら成功するはずですよ。でも成功する気がしないのはなぜなんでしょうね？

豪 まあヒクソンがいる以上、つまらないルールを押し付けられるのは確実だし、ルールをいじったら来なくなるだろうし。だから、せめてアンダーカードは工夫して欲しいよね。たとえば鈴木みのるVSアポロ菅原の再戦を組むとか（笑）。

ガンツ またタチの悪いことを（笑）。

豪 でも実際、美濃輪選手や近藤選手絡みのカードに期待したいね。菊田VSヘンゾの時間無制限一本勝負もいいなあ（笑）。

ブチ PPVの時間内に収まらなくなりますよ！ ホントにタチ悪いですねえ（笑）。

豪 北尾VSテンタとかも、相撲幻想が高まったいまこそ見たいしなあ。だからこそ『コロシアム2000』には田中八郎を目指して欲しいよね。

ガンツ そういえば最近、田中社長が藤原組長と団体を作るって話もありましたよね。

豪 それが繋がったら面白いよね、藤原組長や宮戸優光が『コロシアム2000』出場(笑)。

ガンツ 妄想はこのぐらいにして、まあ今回は図らずも船木誠勝の出番となったわけですから、「船木勝ってくれ！」っていう声がもうちょっと出てきてもいいと思うんですよね。

豪 じゃあ、船木事情に詳しいブチにもっと魅力を語ってもらおうよ。さっきから無口だけど、ブチは船木選手のどこが好きなの？

ブチ う～ん……、わかんない（笑）。

豪 お前、何しに来たんだよ！ まあ、確かに船木選手は最近あまりにも魅力が見えなかったよ。金髪になってダジャレ連発して(笑)。

ブチ あれでようやく面白くなりましたよ！

豪 じゃあもう一度聞くけど、ブチは色々と調べた結果、船木選手に何を感じたの？

ブチ まあねぇ……、一言で言えば自分勝手なんですよ（キッパリ）。でもUに移籍するにしても「Uを変える」って言ってたわけだから、いい意味で自分勝手なんですけど……。

ガンツ でもひとつ言えるのは、第2次UWFで一番素晴らしかったのは船木選手だったってことですよ。UWFで印象に残ってる試合ってほとんど船木絡みばっかりですから。

ブチ そうだよねぇ。

ガンツ 前田戦、髙田戦はUWFに警笛を鳴らすような試合だったし、安生戦もいい試合だったし、ケガして長期欠場した後の鈴木戦では「パンクラス」をやったわけですよ。当時は観客不在って叩かれましたけどね(笑)。それに藤原組も地味だけど実力的には当時から評価されてたし、レスラーが外に出て他流試合やるのも藤原組が最初でしたから。

ブチ 『カラテ・ジャパン・オープン』ね。

豪 ああ、石川社長が出たやつ（笑）。

ガンツ 石川社長vs佐竹雅昭っていうのも、いま考えればたまらないですよね（笑）。

豪 それって『PRIDE』じゃないかと思うんだけど（笑）。

ガンツ それと、パンクラス旗揚げしたあとも、いまで言えばヒクソンみたいな存在の「立ち技最強」だったモーリス・スミスを全日本キックのリングまで乗り込んで、倒してますからね。あの時はリングサイドで前田さんが見守る中、打倒グレイシーみたいなことを成し遂げるわけですよ。それを見た前田さんも「船木の時代が来るんやろうな」とか言ってたわけですよねえ(しみじみと)。

豪 船木選手の時代って、パンクラス旗揚げして1年ぐらいでしかなかったのかなあ。

ブチ シャムロックがUFCに出たりしたから、船木への期待は高かったんですよ！

豪 あのときもセコンドについたし、バーリ・トゥードに着手したのは早かったのにね。

船木選手はどんなにみんなから悪口言われてても期待されてる（豪）

ガンツ 打倒グレイシーの戦略面では船木選手が最先端に行ってたはずなんですよ。高橋義生がイズマイウに勝ったときもセコンドについたし。

ブチ いいアドバイスしてたよねえ。

豪 頭はいいんだよ。でも谷津選手曰く、「なんでアイツ、自分でやんないの？」と（笑）。

ガンツ あの勢いのままだったら、船木選手はマット界の盟主になってたはずなんですけどね。でも、いま思えばファンから見て船木の師匠みたいな人を全部否定してきちゃったことが、乗れない原因にもなってますよね。

ブチ だから船木選手が「プロレス界に恩返ししたい」って言っても説得力がないんですよ。船木選手は過去を全部否定してますからね。

豪 骨法、猪木さん、前田日明、藤原組長……。

ガンツ 全員例に出さなくていいですよ（笑）。

ブチ それに『格通』で、「プロレス入りしてから、特定の師匠に技術を教わってない」みたいなことを言っちゃったでしょ？

豪 どんな恩返しだよって（笑）。

ガンツ まあ、あれは『格通』の誘導尋問みたいなところもありましたけどね。

ブチ でも話が合わないっていうね。

ガンツ 高田選手はヒクソンとやる前は逆風でしたけど、高田選手に関わった人は遺恨を越えてみんな「高田はやる男だ」って言い出したんですよね。藤原、前田、田村とか。

ブチ 船木選手は誰がそう言うのかなあ。

豪 船木選手に関しても、レスラーのコメントは取りたいね。たとえば前田日明は襲撃事件のダーティ・イメージのせいでヒクソン戦が盛り上がらないから「船木が一番の被害者や」って泣かせること言ってたわけでしょ？

ガンツ さすがは日明兄さんですよ！

豪 まあ、だから船木選手がかわいそうなのはプロレス側からは別の世界の人だと思われてるし、格闘技側からはプロレス扱いされてるってことでしょ。『週プロ』や『格通』が必死にバックアップしても「またシッシーとヤスカクがやってるよ」って言われるだけなんだから、ホント可哀想だよ（笑）。



ブチ ホントにツイてないよねぇ。

豪 ヒクソン戦が決まったっていうときに限って、劇団絡みの怪情報流されたりね（笑）。

ブチ 高田が「芸能人になりたい人」って言われてたけど、船木もそうなのかなあ……。

豪 つまり、芸能人にもなれるほどスター的要素を持った選手以外はヒクソンと闘えないわけよ。船木選手はどんなにみんなから悪口言われようとも期待される選手なんだから。

ガンツ 絶対に気になる存在ですからね。

ブチ 「ほっといてくれ」って本人が言ってるけど、ほっとけない男ですからね。

ガンツ まあ、好き嫌いは別としてね（笑）。

豪 それと、「勝っても負けてもその次はない」みたいなことを船木選手がインタビューで言ってたけど、試合の後に何があるかが見えないと乗りづらいのかもしれないだろうね。

ブチ 勝った方が映画に出れるとか？

豪 下北の小劇場で主役を張れるとかね（笑）。

ガンツ またですか。劇団の話こそ、いい加減ほっといてあげて下さいよ（笑）。

ブチ だけど、ヒクソンが下北の小劇場に出るってなったら凄いよなぁ（笑）。

豪 出演料1億要求したりね（笑）。

ガンツ まあ、だけどボクもこんなこと言ってますけど、実際に船木が独特の構えでヒクソンと対峙したところ見たりしたら……。

豪 ジュンと来ちゃうかもしれない？（笑）。

ガンツ 正直言ってジュンと来ると思いますよ。だからいまはこの試合に乗れない人が多いと思うんですけど、でもいざリング上で船木選手とヒクソンが対峙したら高田 vs ヒクソン戦以来の興奮をおぼえると思いますよ。

豪 高田 vs ホイス戦以来じゃないわけね（笑）。でも、いまはまだ船木選手にみんな完全に乗れてないわけでしょ？ だから船木選手に完全に乗るために、とりあえずガンツは『紙プロ』入って以降ノブみたいに増量中だから、減量して身も心も船木と一体になった方がいいよ（笑）。

ブチ ダハハハハ！ それ、いい（笑）。

豪 だから『ハイブリッド肉体改造法』を読んで、5月26日までに10キロ減量ね（笑）。

ガンツ 10キロですか～？

豪 大丈夫だよ、ヤスカクだって減量に成功したんだから（笑）。それでブチはヒクソンと一体になるために、もう一度山篭り敢行（笑）。

ブチ この時期に山で野宿はきついですよ～。

豪 確かに自宅で凍死しそうになったブチにはキツイかもしれにけど、成功すれば絶対に株は上がるって。これでカタブツ幻想も復活だよ！ 山篭りといえばブチなんだから！

ブチ そうかなあ（笑）。じゃあ、やります！

ガンツ 吉田さんは何するんですか？

豪 俺も船木ばりに金髪にするよ（笑）。

ブチ もうやってるじゃないですか！（笑）。

ガンツ まあ、こんな調子で色々やって盛り上げていきましょう！ そういうわけで、次号も船木 vs ヒクソン応援企画、続行ッ!!

プロレスラーなら誰もが行きたがるWWF。ならば格闘家にとってのWWFとはアブダビにあり

王子様あなたに逢いたい!!



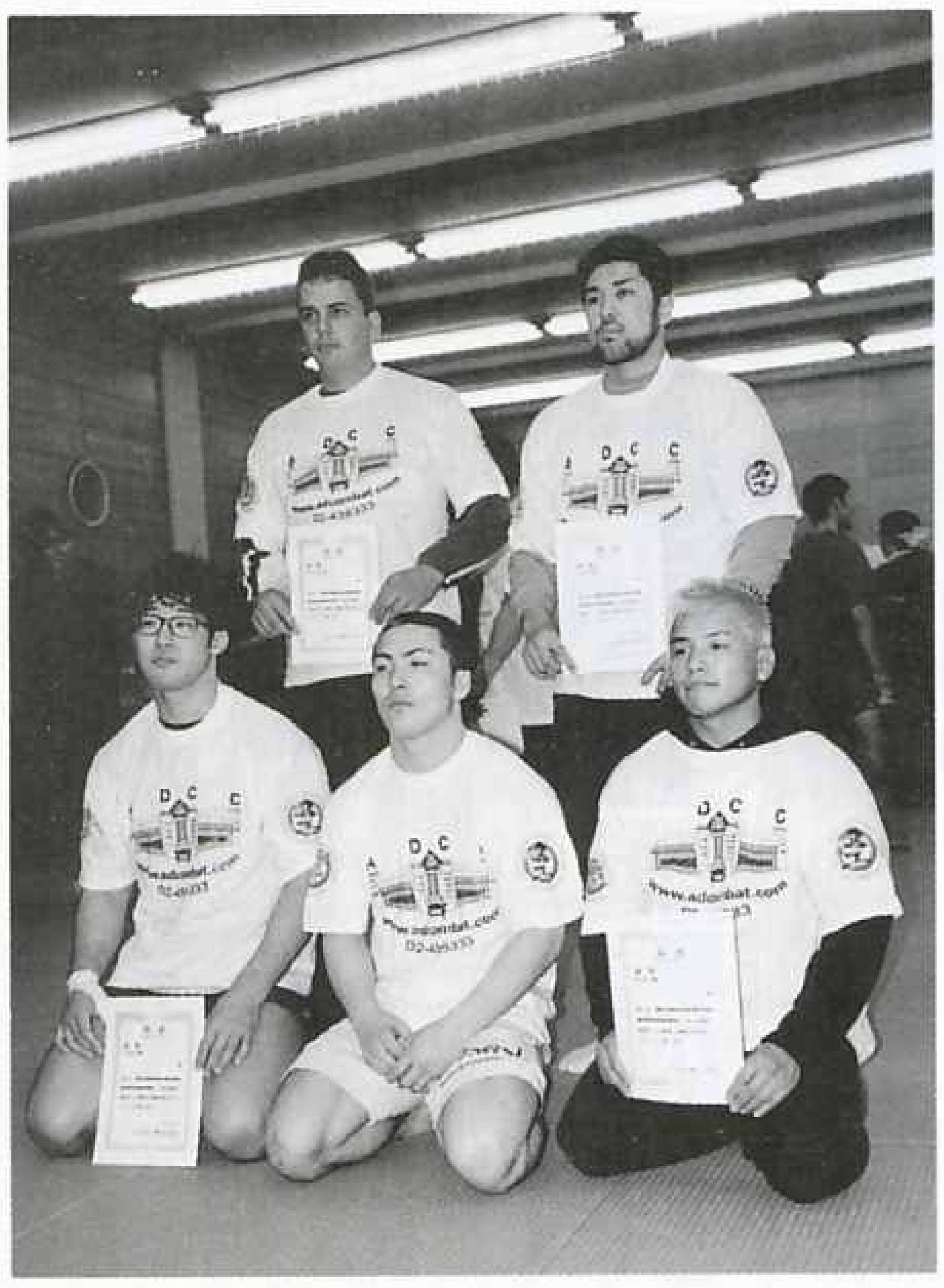


構成／大西タマリン
text by Tamarin Ohnisi

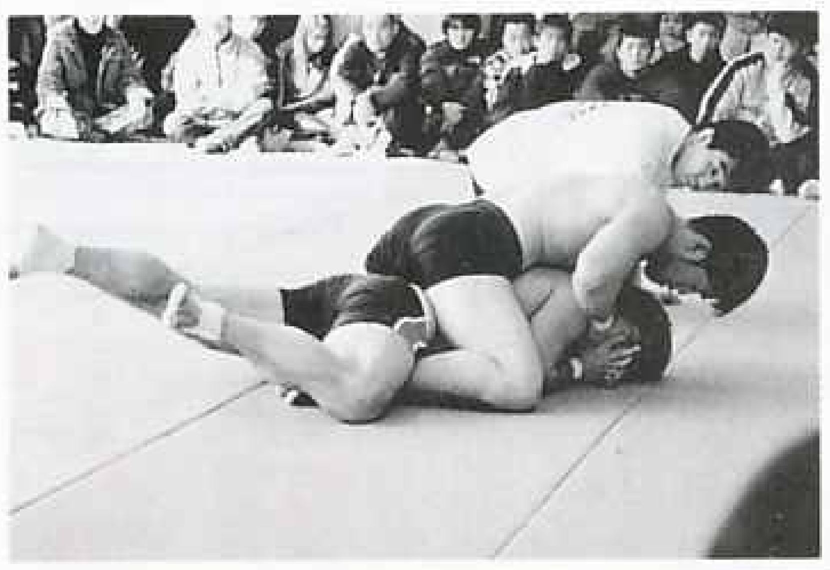
アブダビの王子様主催！　宇宙一リッチな格闘技の祭典『アブダビコンバット』が、今年も3月1～4日まで行われる。この夢舞台は格闘家にとっての“WWF”。国賓級の扱いを受け、勝てば莫大な賞金、時には金の延べ棒までもらえるという、まさにアブダビドリームなのだ。

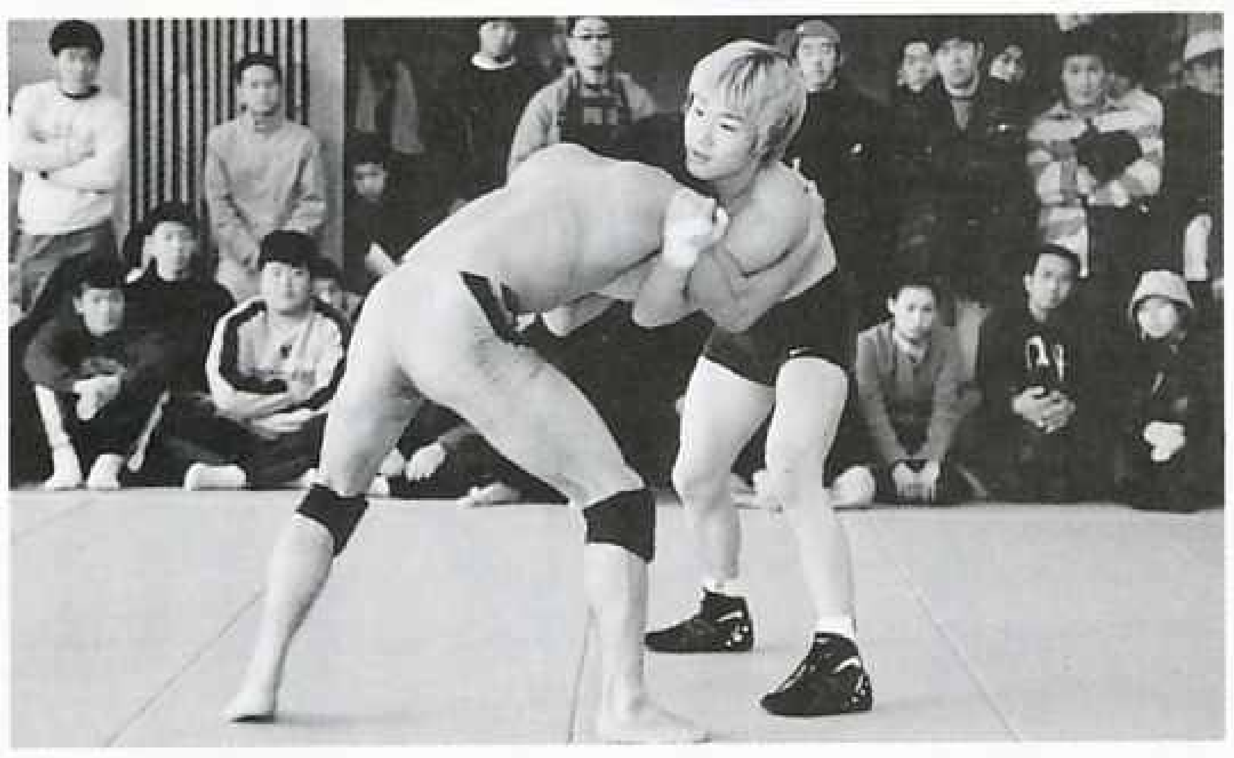
マニア驚愕!! まずは予選を知れ!

プロレスファンの興味は薄いかもしれないが、見る人が見れば文句なく面白いというアブダビ予選（1・23港区スポーツセンター）の模様なのだ。日本でのアブダビ熱を体感でき、知るものには夢のカードこの上なし！ というこの予選の模様を、超マニアックな花くま先生の原稿とともに読めば一発で理解できることは間違いない。この盛り上がりを見逃す手だてはない!!（※すでに推薦枠で佐藤ルミナ、桜井マッハ速人、宇野薫は決定）



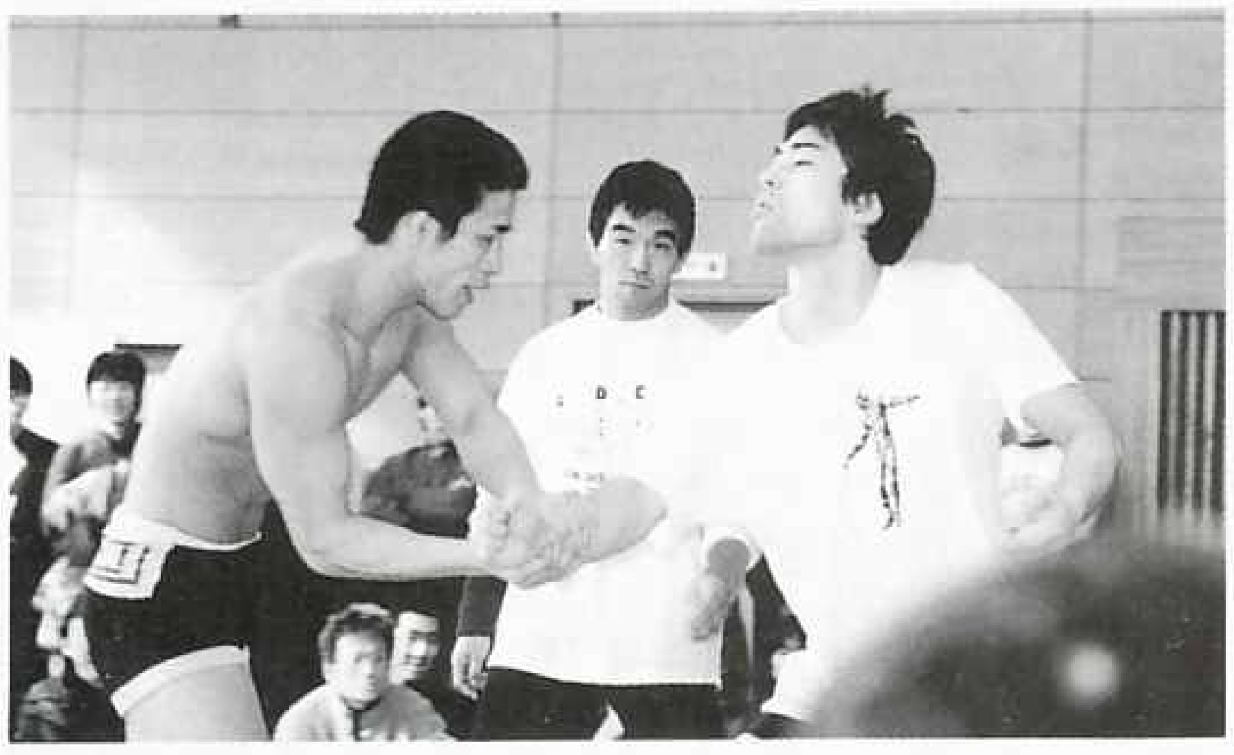
▶アブダビへの切符を手にしたのは、アンソニーネツラー（STG大宮）、矢崎雄太（秦権）、阿部裕幸（RJW）、八隅孝平（パレストラ）、竹内出（K'z FACTORY）の5選手。





▲（写真上）予選9日前、修斗公式戦でラリー・パパドポロスと壮絶なドロー試合を展開した郷野聡寛は2年連続アブダビ出場の夢を断たれた。（下）シューズを履きこみ、準備万端で挑んだ五味隆典も決勝戦で八隅に敗退し、異国での宇野戦に期待したが実現ならず。

▼花くま先生も大絶賛の烏合破門会の矢野卓見選手。キカイダーTシャツをまとい、見る者全てを驚かせる技の数々を披露した。



紙プロが選ぶ予選NO1選手
（惜しくも落選）
村濱天晴選手（ワイルドフェニックス）



大会中もの凄い歓声をもたらした村濱兄（村濱武洋の実兄）。ジャイアントスイングで大回転した後、アキレス腱固めで山内康悦選手から1本勝ち！ だが、惜しくも2回戦で敗退してしまった。「ジャイアントスイングに関しては、ある意味アレク（サンダー大塚）さんと桜庭（和志）さんを超えたでしょ！ でも、本気でアブダビ行きたかったですよ。あんな賞金でるところないですから、来年絶対行きます!!」という村濱兄には是非とも来年はアブダビ王子の度肝を抜かして欲しいものである。

ステキにイカれた王子のおかげで、今年も世界中の格闘家がアブダビに集合する。日本でもアブダビへの予選が行われたので当然見に行ってきました。

それにしても凄いメンツのメンバーでした。プロシューター、サンビスト、柔術家、アマレスラーなどわんさと集まりドリームカードの嵐です。あまりにも客も多いため全部の試合は見れなかったですが、印象に残った事をプチレポートします。しかし、人の頭と頭のスキマから覗いて見ていたのでもしかしたら間違っているかもしれませんが、お許しくださいませ。

まずはやはり烏合&ワイルドフェニックスの総裁・矢野（卓見）選手から。矢野選手今回の服装からして凄い。足は五本指の軍足、そしてTシャツはキカイダーTシャツだ。以前、ハカイダーのテーマ曲で入場した事もあり、とても判っている男だ。タナケンとい い、ハカイダー好きにハズレなしである。試合ではプロシューター勝田（哲夫）選手に、腕を差しだして寝技しようと迫る！ その姿は、とまどう女性に「さぁ踊ろう！」と迫る男のようでした。実力はプロ並なので、もっと表舞台に出てきて欲しい選手です。

同じ烏合系の村濱兄選手は、ジャイアントスイングからアキレスで一回戦勝ったようですね。スパーリングでは2回ほど目撃した事ありましたが、ついに本番で炸裂です。アレクは先をこされてしまいましたね。

骨法を辞めた小柳津（弘）選手も出ていました。相手は日本のジェレミー・ホーン大会出まくり男、大内（敬）選手（いや、ホーンのほうがアメリカの大内と呼ばれるべきか）。高専柔道出身の大賀（幹夫）選手VSプロシューターの梅村（寛）選手&サンボの五木田（勝）選手。サンボの若林（次郎）選手VSプロシューター勝田選手。去年はコンプリート大会にも出たサンボ&柔道の大山（利幸）選手VSプロシューター山下（志功）選手。次々に夢のカードがゴロゴロ実現しています。五味（隆典）選手、郷野（聡寛）選手、本間（聡）選手、大石（真丈）選手も出てるし他にも名のある人ばかりです。

その中でいちばん印象的だったのは、STG大宮の柔術家・野口（威比呂）選手が、プロシューターの鶴屋（浩）選手に下から見事に十字取った試合です。

大会全体で感じたことは、ルール上OKなので仕方ない事なのですが、テイクダウンだけで寝技にはまったくいかない試合を見るのはしんどいという事。これだけ夢のメンバーが集合してるのですから、寝技勝負を見たいのが本音なんですけどタダなんだし、そんなこと言っちゃダメですねスイマセン。

あとやはり植松（直哉）選手にアブダビ行って欲しいです。植松選手やサンボの五木田選手、大久保選手（日本一のアキレス大王）など足関節ビシィと極める人とブラジル人が闘えばいちばん面白いと思うし見たいのです。なので今年は（佐藤）ルミナ選手に期待です。

最後に一言いうとすればやはり「王子！あんた最高だよ！」ですかね。

文／花くまゆうさく



※アブダビ予選委員会の推薦で、矢野卓見、若林次郎、大山利幸もアブダビ行きが決定！



「アブダビ」とは リアル“IWGP”である!!



Show氏風にのっけから断言させていただけば、ズバリ言って、これからのマット界はアブダビを中心に回っていくはずである。

不況のマット界、第2の田中八郎の登場が待ち望まれて久しいが、それは意外なところから現れた。世界一の油田王国にいるアブダビの王子様、その人である。この王子、アメリカ留学中にブラジリアン柔術の虜になり、自らも茶帯を持つだけにとにかく格闘技大好き。「世界各国の有名格闘家が組み技だけで世界一を争う大会を見たい」。ただそれだけの理由で、『アブダビコンバットクラブ』という世界一の組み技組織を立ちあげ、お城と見間違うほどの世界最高の格闘技施設を『シムシティー』で作るかの如くあっさり設立。さらに金にものを言わせて世界中から強豪選手ばかりを集め、組み技世界一決定トーナメント『アブダビ・コンバット』を開催してしまったのだ。その成り立ちは「息子がプロレスファンだから」というだけの理由で、SWSを旗揚げした「メガネスーパー」に似ているが、日本のメガネ会社社長と石油王国の王子では、やはり金持ちのレベルが違いすぎる。「遊園地大好き」というだけの理由で自宅の中庭を絶叫マシーンだらけにしてしまったマイケル・ジャクソンのスケールがコマイケル・レベルに思えるほどの道楽王子ぶりである。

この王子が集めたメンバーがまた凄い。昨年はまず、ブラジルからは銭と言えばこの人達、グレイシー一族と、マチャド兄弟、柔術世界王者クラスが大挙して参加。日本からはルミナ、マッハ、宇野、エンセンら修斗勢。さらに霊長類ヒト科最強M・ケアー、柔術怪獣モラエス、……などなど世界14ヶ国96名という超豪華さ。しかもマッチメイクの方法は「王子が見たいカード」というわかりやすさなのだから最高だ。全てが「ディス・イズ・アブダビ・スタイル!」なのである。

こんな豪華メンバーが一度に集まるのだから、格闘技界の先物取引人、世界を股にかけるスカウトマン前田日明がもちろん黙っているわけがない。今年の『アブダビ』を視察することが決定している前田。オイルマネー目当ての格闘家達に次々と話を持ちかけ、一本釣りを狙っているに違いない。さらに前田のこと、王子にロシア勢などを紹介し、ちゃっかりアブダビとパイプを結んでくる可能性すらある。リングスとの接点さえできれば、いまはまだ遠い国の夢物語のような『アブダビ』も、一気に日本のファンに身近に感じられるようになるだろう。

そして我らが「元祖世界戦略」アントニオ猪木もこのまま黙っているはずがない。これまでも国賓との数々の交流の実績があるアントンがこの話を聞きつけたら、王子のオイルマネーで「平和の祭典」アラブで開催を狙ってくるに違いない。オーちゃんや、村上がアブダビに乗り込むことも大いに考えられるのだ。そうなるとこの『アブダビ』が新日本マットをも巻き込んだ、マット界の巨大な渦になる可能性すら出てくる。

こんな夢が無限に広がる大会が今年もまた3月日にアブダビで開催される。昨年までは王子の好みと選手の売り込みで決められていた参加メンバーが、今年はキッチリ世界各国で予選を行い選ばれた。これはまさにアントニオ猪木と新間寿が夢見たIWGP構想そのままである。いまはまだ、有数のプロファイターが垣根を越えて、賞金目当てに集まっているに過ぎないという部分もあるが、漫画でしか実現不可能だったことを、次々と実現させる『アブダビ』である。ここから『プロレス・スターウォーズ』のようなドラマが生まれる瞬間を、プロレスファンなら見逃すことはできないだろう。

文/堀江ガンツ



昨年、アブダビに入るなりインフルエンザでダウンしてしまった佐藤ルミナは王子様が1番お気に入りの日本人選手である。「サトウのようにアグレッシブな闘いをする選手は大好きだ」とルミナの試合は全試合チェックしているご様子。高熱のためグッタリしているルミナを思って、1日目は箱いっぱいにぎっしり詰まったチョコレート&造花を、2日目はデカイ花束詰め合わせを部屋に送り一刻も早い完治を願ったそうだ。その王子様の期待に答えるべく推薦枠をゲットしたルミナが、今年は必ずや表彰台にのぼってくれるはずである。

アブダビへ行ける者だけが手にするTシャツをプレゼント!

阿部兄ィちゃんからその場でGET! 阿部兄ィ&宇野薫&廣野剛康(特別メッセージ付き)と慧舟會・守山代表のサインも入っている世界に1枚のTシャツです。残念ながらオチャメに写っている草柳さんのサインは入ってませ~ん。次号、アブダビへ向け武者修行の旅に出た阿部兄ィちゃんのアメリカ旅日記もそうご期待! 応募方法はP158を参照して下さい!



WWF WORLD WRITING FEDERATION

熊も殺せる
LINE-UP

- ●花くまゆうさく『リングの汁』
- ●掟ポルシェ（ロマンポルシェ）『業☆勝ちます』
- ●梵婆家の店長『魁！　裏ビデオ御開帳』
- ●スペースシャワーTV『マタハリ実況中継』
- ●ブナニ酒井（エンセン井上マネージャー）『もうひとつの大和魂』
- ●わかおはるか『THE ジョージ秘宝館』
- ●人気者 原タコヤキ君の『紙のプロレスWEST』
- ●イナズマ★K『実録　最狂プロレスファン列伝　EL-MALO柚木隆一郎さん』

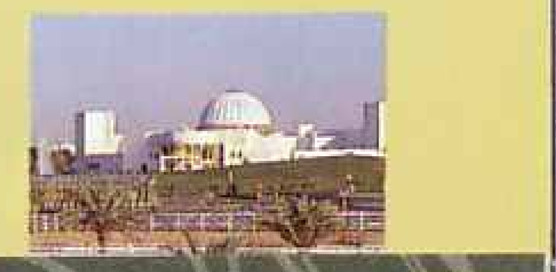
一家団らんのお供に こんなコラムはいかが？



イラスト◎キャプテン名倉

今回、杉作J太郎先生がインフルエンザのため、『プロレスを見て女にモテろ!!』はお休みします。そのかわりと言ってはナンですが、杉作J太郎先生にはP129〜のWWF企画で大暴れしてもらったのでそちらをお楽しみください。ジェイジェイ!





ケツの青い感想文
（本文で書くの忘れたけど、なにげに小路も凄いね、負けないもん）

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL


エリオ

2年前頃に違う本で「高阪、桜庭、小川、藤田、マサ、船木、安生、金原に猪木と佐山とゴッチ、そんな集団のプロレス道場があったら最高である」といった妄想を書いたけど、このたびめでたく藤田が新日辞め、高阪や佐竹や桜庭やパンクラスとまで練習してる情報を見ると、そのうちホントに実現しちゃうんじゃないかと思えてきた。

そして、そんな本当に強いプロレスラー集団入りを猪木に誘われるのを待っている橋本。しかし、いくら待ってもまったく誘われない。やっと猪木の口が開くが、出てきた言葉は「カシンと中西も欲しいな」。

これで遂に橋本逆上&炎上。デコトラに乗り込み、つっこんでくる。そして日本版WWFのスタート。

いずれプライドがプロレス団体になっちゃうんだとしたら、強いプロレスラー中心でハチャメチャにダイナミックに爆進してほしい。

でもまだバーリ・トゥード（以下VT）路線でプライドはやってくれています。それも豪華フルメンバーで、じゃんじゃん金使い爆進中なので当然見に行きましたぞ、グランプリ一回戦！　今回はそのプチ感想文だ。

しかし、今大会は「やるまではメチャクチャわくわくして面白かったのになあ……」の一言で終わってしまうんだけど、どうしましょう。

たしかに大刀光でつかみはOKでした。あれで客はあったまりました。ちなみにグットリッジにノドを押された時、すでにすぐ力弱く大刀光はタップしてたように見えた（たぶん）。でも気づいてもらえないのでその後ハッキリタップしてました。

藤田は入場曲からよかった。クスリ打ってないのに、どこからか「次期プラディファイトシリーズは～」と古館アナの声が幻聴で聞こえてきましたです。藤田がシアトル行ってみんなと練習する図はとても魅力的だが不安でもありました。それはモーリスが「グランドでガード・ポジションをとられたら、とにかく密着しろ」といったようなことを指示しているようでしたので、私が思うVT系の試合でお客がつらくなるシチュエーション（①コーナーでのスタンドで永遠の差し合い　②相手がガードポジションとったら攻撃もせずパスガード狙うでもなくずーと密着してしがみつくだけ、上から時々チョコチョコパンチで攻めてる印象つくり判定勝ち狙い　③テクない人のしがみつくだけのガードポジション）の②タイプのつまらない試合をする人になってしまうのではないかということです。しかし、今回は大味だが豪快に動き、華のある試合をしてくれてよかったですね。（どっちも好きなので、どっち応援するか困ったけど）ただ、ナイマンがグランドのテクがあまりないようだから助かったものの、何回か「ん、腕とれるんじゃないのかナイマン！」と思わず念力を送るときがありました。次回は、寝技で下からのテクを持ってる人とやったらどうなるのか見てみたいです。十字や三角食らうのか？　それとも腕を出してたのはエサで、わざと食らい力で振り落とすのか？

vsホイス戦でそれが見れそう。

入場でいちばんグッときたのは佐竹だったんですけど……。はじめにウワサされた佐竹vs大刀光のほうがお互い持ち味が出せたのではないでしょうか。

さすがの桜庭も、ディフェンス大王メッツァーには苦戦でした。メッツァーのスタンドとゴエスのグランドが合体したら、桜庭あやうしではないでしょうか。

たしかにいつもつまんなく評判悪いメッツァーでしたが、桜庭でもなかなか寝技にもっていけないところを見ると、ヒクソンやホイスがメッツァーとやったら寝技にもっていけずスタンドでKO？なんてことが浮かんできました。誰も望んでない男がヒクソンを倒す、なんて味気ないことになったらどうしよう？





アレクは、三角ほしかった。アレクや藤田を見てつくづく思ったけど、やっぱこの場に出てくる人のが偉いし、かっこいいでしょ。だから健介とかがVTに何を言ってもダメ！　説得力なし！　現に藤田はやってきたぞ。どうする健介に橋本！

だいぶ寝かされつづけたカードのエンセンvsケアーも味気なく終わってしまいました。エンセンは昨年のアブダビでのvsスペーヒー戦の負けとダブりました。

そんでメイン。高田は絶対②タイプの戦法でくると思ってましたが、案の定そうでした。ただ、よほど十字や三角が恐かったのかパンチをまったく出さなかったのが意外でした。昔の私だったら、しがみついてるだけの高田に怒りまくっていたかもしれないが、もう高田には慣れたというか、あまりもう怒りは出てこなかったです。逆に、ホントどんな時も図太い人だなあと感心する気持ちがわいてきたぐらいです。それはたぶん、もうこの試合で高田はVT界から出ていってくれるという気持ちがあったからかもしれません。「この試合さえ終わってくれれば、もう高田はプライドからいなくなってくれるんだ！　ガマンガマン！」と、この試合をガマンして見られたんだと思います。ただ試合終了後、ヘトヘトで歩く高田を見て、思わず「なんだよ！　何もしてなかったのに」とつぶやいてしまった。

そして翌日の新聞見ると、「またやりたい。もう一丁！」。やられたー！！　もうお手上げです。

はなくま・ゆうさく■やっぱり小川にも出てほしかったなあ。あとエリクソン。リザーブでいいからウゴも……。KOKはコピかミーシャかアイブルのような気がする。体力的に一番きついけどヘンゾもがんばれ！

すべての業深きプロレスラーたちに幸多かれ!

掟ポルシェ(ロマンポルシェ)の

業☆勝ちます

フジナミステリーの巻

「た、たいへんだ～!!」

アンコ型なのに身長155センチ、タマラナイ小男こと俺の相方・ロマン優光が、ミッシングリンクの如く血相を変えて飛び込んできた。

「加江田塾! キ、キケンですよ、キケン!! うわ～ん!」

30過ぎたいい大人が突発的にグズリ出す程の恐怖……でも、あのミイラ騒動、ライフスペースの二番煎じだし、別に泣くこたあねえだろ。

「違うんだよ! じつはこのカルト教団の奇行の裏ではあの男が糸を引いている……ズバリ言って藤波なんですよ～!!」

え～、またドラゴン? もう3ヶ月目だよ、藤波話。いい加減新日からクレーム来るぞ。

「報道されてる内容を列挙すればわかるはず……まず、加江田塾に入信した者には全員『飛龍』という苗字が与えられる衝撃の新事実!! そして信者の子供の病気を「治療する」と言っては、ただ放置して見殺しにし、意図的にミイラ化させていた。一説にはミイラは10体を目指して作られていたといわれている……つまりこれは『飛龍十番勝負』ってことなんですよ!!」

鼻歌まじりの適当な思いつきをシノギとする妄想チームコンボイことロマンポルシェだが、今回ばかりは些かの捏造をさし挟む余地もない。事実は小説よりも奇なりというならば奇であること是すなわちミレニアムの現実だというのか……。

「しかもミイラの周りにはリングのように縄が張り巡らされ、その四隅には小さな風車が立てられていた。『復活のエネルギーを送る源』であるそれら呪術アイテムの根拠……。そう! 『風車の理論』がモロに反映されてるってことですよ～!!」



病気治療に風車の理論? なんのことやらさっぱり訳がわからないが、これが本来治療目的ではなく、"神の力"を誇示せんがための手法とすれば合点がいく。相手の力を受ければ受ける程、自分の存在が光るという理論を応用し、病気という名の風を受けるだけ受け、腐乱しようがミイラになろうが、断固「いーや、ここから復活だ!」と言い切る強気な姿勢。絶体絶命のピンチの遥か向こう側から反撃に転じることで神がかったカタルシスを描き出そうとする様はまさにイノキイズム!! まぁ、実際生き返るわきゃねーんで逮捕されてしまうんだが、キ○ガイも貫けばカリスマになるという真実を学びとった飛龍大凱こと東純一郎教祖、じつにプロレス向きの惜しい人材である。

「加江田塾では"元気が出る色"だとして黄色を信仰していた。それはもう、ピーターの『幸福の守護色』をも教義に取り入れてるってことでしょ!? 昭和・新日の魂がこんなところにも入り込んでる以上、ストロングスタイルの復興を志す藤波の関与は決定ですよ!!」

ロマンの言うことが真実なら、加江田塾崩壊の真の原因は「おい、元気ないぞ!!」の馳カラーを信仰した点であり、かおり夫人好みのパステルピンクじゃなかったのが藤波には気に入らなかっただけなのかもしれない……。

おきて・ぽるしぇ■2月26日(土)下北沢QUEでロマンポルシェ・ライブ。問い合わせはTEL.03—3412—9979 QUEまで。

魁!裏ビデオ御開帳

大庭敏幸(「梵婆家」店長)

第九回 スモウレスラーの宿命

いや～、『PRIDE』での大刀光の負けっぷりは凄かったですね。あんなにあっさり負けてしまうとは。

最初に断っておくと、ボクはもともと相撲出身のプロレスラーは、心の底から応援することが出来ないのです。猪木さんも、相撲出身者はあまり認めていなかったように、グランドがあまり得意ではないという難点があるからです。どちらかというと、柔道やアマレスに幻想を感じますね。

そもそも日本プロレス界の父と言われた力道山も、グランドではあまり強くなかったでしょう? ミスター・アトミック相手に、キリキリいわされてた試合を見て以来、ボクの中では力道山の"強さ"という点での評価は、あまり高くないです。北尾(光司)もあれだけ幻想は大きかったのに、バーリ・トゥードに出た途端にあっけなく負けてしまったのも、相撲のイメージが崩れた一因でしょう。というわけで、今回はプロレス界ではいまひとつ実力を発揮しきれていないスモウレスラーの裏ビデオを紹介します。

まず、オススメはジョン・テンタvs栗栖正伸のシングルマッチです。これがテンタのデビュー戦なんですが、どこから見ても中堅プロレスラーだった栗栖がグランド地獄にテンタを引きずり込んで、鳴り物入りの大型新人を翻弄する痛快な展開に目は釘付けです。最後はテンタがギブアップを取りますが、栗栖の強さがギラリと光る試合です。



まあ、裏ビデオと言えば、北尾vsテンタですが、あれは王道中の王道なので、敢えて何も言うことはありません。北尾の声の甲高さは面白いですね。

さらに、裏ではないのですが、当時テレビで放映されていた輪島(大士)の映像は、ムチャクチャ面白いものばかりです。

特に秀逸なのは、デビュー前に行ったハワイ特訓の映像でしょうか? 馬場さん主導でロード・ブレアースやパット・オコーナーが輪島を指導をしているんですが、馬場さんとの特訓はホントに凄いです。受け身や寝技の特訓の合間に、なんと表情のトレーニングまでが入っているのです。踏ん張っている表情を作る輪島に対して、「そうじゃない!」とばかりに顔を作ってみせる馬場さん。たぶん、こういうシーンが公になったのは史上初でしょう。

そして、その流れで輪島のデビュー戦、vsタイガー・ジェット・シン戦を見ると馬場さんの特訓が間違っていないことがよくわかります。

この試合の最大の見どころは試合後の乱闘にあります。

客席を蹴散らして引き上げたシンが、イスを片手に再び会場内に戻ってくるのです。そこで輪島に向けてイスを投げる! すると、そのイスはリング上の輪島には届かず、ロープに当たって方向を変え、リング下にいた馬場さんの後頭部を直撃! これが世に言う"シンのイス三角投げ"です。

不意を付かれてホントに痛そうな表情を浮かべながら、崩れていく馬場さん。身体を張って、輪島に「プロレスとは?」を示していました。

輪島が、このとき何を思ったのでしょう? この事件が輪島のその後のプロレス人生にトラウマを残し、輪島の引退を早めた、というのは考え過ぎですかね?

ぼんばいえのてんちょう■新・メニュー『小川』、『STO』など、続々登場! どんな料理かは来てからのお楽しみ。東京都世田谷区松原1—39—16 TEL.03—3323—5629

本誌鬼畜編集長がレギュラー出演中!!

SPACE SHOWER TVの音楽バラエティー番組 マタハリ パワフル実況中継

文／坂井ノブ（亡霊）

音楽情報バラエティなのに、なぜか月1回プロレス・コーナーがあるとっても素敵な番組、それが『マタハリ』。そこに本誌鬼畜編集長がレギュラー出演して、「強くて、凄くて、面白い」プロレスラーを紹介していく『押忍！紙プロ道場』というコーナーがある。

さる1月25日も、観覧に来ているオシャレなキッズやお茶の間の視聴者の皆さんの脳髄に、本誌が自信を持ってオススメする人間核弾頭をブチ込んでまいりました。さて、今回のゲストは誰でしょう？　それは『PRIDE．GP』で最高に輝いた大刀光関！　さっそく、その模様をリポートするダドン（ピエール瀧さん調に）。

【オシャレの中の相撲】

「最近の『紙プロ』は、オシャレ化している」と前号で書いたが、すいません。ちょっと言い過ぎました。

1月のゲストは、前号でも大好評だった大刀光関。この番組の中でも、タチ関の存在感は、〝オシャレ〟という単語からはかけ離れた存在感を醸し出していた。控室に入ったら、司会のピエール瀧さん、小日向しえちゃんの他に、もう1人のトークゲストの田中康晴（スーパーラヴァーズ社長）さん、テイ・トウワ（人形だったけど）さんといった時代の最先端を突っ走る人たちがズラリと揃っているのだ。その中にひとりポツンと座るタチ関。オシャレの中の相撲。どう考えても食い合わせは悪いが、ステキな絵。番組制作スタッフの遊び心が、こんな素敵な空間を作り出しているのだ。

ボクは、出番の直前までタチ関の付き人のように側についていろいろ話を聞いてみた。

「テレビの生放送なんて久しぶりだよ」と不安げに呟くタチ関。

「大相撲中継ですか？」聞き返すボク。

「いや、『ギンザNOW』とか『TVジョッキー』に出てたことあるんだよ」

なっ、なっ、なぜだ!?

「鼻の頭に何でものっけて、バランスが取れるんだよ。それで黄色いギターをもらったんだから」

人に歴史あり。大刀光に特技あり。そんなことを話しながら、アッという間に出番が来てしまった。いざ本番。

【小日向しえちゃん、暴発！】

「押忍！　紙プロ道場」のオープニングはいつも、司会の瀧さん＆しえちゃんと、本誌鬼畜編集長のフリトークの後、ゲストを呼び込む。本来ならば導入に過ぎないのだが、今回のフリートークは抜群に面白かった！

「今日のゲストは元・相撲取りだったんですよ。ちなみに、しえちゃんは女優になる前に何やってたんですか？」と山口日昇が話を振った。しえちゃんは元気に答えたね。

「ヤンキー！（笑）」

こんな元気に元ヤン告白する女優さん、見たことありません。最高！

タチ関を呼び込むときも「元・幕の内力士の「大刀（たち）・光（ひかり）」さんで〜す！」と元気よく絶叫。もちろん、正解は「幕内」力士で、「大刀光」なのだが、そんなこたぁ、どうだっていいじゃねえか！　元気が一番！　さらに比較的おとなしめのタチ関を相手にしえちゃんは大暴走は続く！

『PRIDE．GP』の意気込みを聞かれて、「パンチ2、3発もらっても効かないですよ」と、景気よく言い放ったタチ関に向かって、「神経が壊れてるの？」としえちゃん。前回の「（桜庭の写真を見て）この人、保父さんみた〜い！　弱そう！」発言に続き、凄いぞ！

さらに元・相撲取りの強さや『PRIDE．GP』に出場することよりも、素朴なことが気になって仕方がないしえちゃんは、ルックス同様、質問もキュートだヌ〜ン。

「ご飯、何杯食べるんですか？」

「一升は食べてましたよ」とタチ関が答えれば、「イッショウって一俵（たわら）？」と、またもボケ爆弾が炸裂！

「俵は食えねえよ！」とさすがに瀧さんもツッコミ。

見てるこっちがヒヤヒヤするしえちゃんと、プロレスラー＆格闘家のカラミは必見だ！



◀しえちゃんの過激なボケは必見だ!!

【PRIDE．GP5日前のタチ関は？】

登場するなり、あまりのデカさに客席からは「オオ〜！」と、どよめきがあがる。

前回のゲスト・アレクにはスタッフからシュークリームが振る舞われたが、今回はなんと日本酒である。闘いの1ヶ月前から酒断ちをするファイターもいるそうだが、そんなことはお構いなしにタチ関はグイッと飲み干す。男だねっ！

話題は当然、目前に迫った『PRIDE．GP』のこと。瀧さんも、この挑戦には「凄い！」と感心。

「こいつだったら勝てそうだなってヤツはいますか？」と瀧さんも興味津々だ。

「まあ、やってみないとわかんないですけど……全員」と、タチ関もさりげなく豪語。

「マジですか？　ヒ、ヒクソンも？」

「ヒクソンも大丈夫じゃないですか？」

お、お兄さ〜ん！



山口日昇の顔が隠れるほどの巨大な手で、しえちゃんと大きさ比べ。うらやましいぞ、タチ関!!

次はタチ関と勝負してくださ〜い、ダドン。

というわけで、タチ関の出番は終了。「お疲れさまでした」という挨拶よりも何よりも、みんな「ガンバって下さい」と激励の声をかけていく。

瀧さんも「チョンマゲかつら被って応援しますよ！」と、熱烈応援宣言！　ホントにやったかどうかは不明だけどね。

そんなみんなの心意気はタチ関にも伝わったようだ。「勝ったら、リング上で『LOVEマシーン』のダンスを踊る！」と力強く公約してくれた！　しえちゃんも、「タチ関が勝ったらアタシも踊る！」と力強く共闘宣言！　頼もしい味方まで付いた。

だが、結果はご存知のように完敗。

結局、タチ関としえちゃんの『LOVEマシーン』ダンスは幻となってしまったのだった。残念！

HOW TO WATCH マタハリ

CSチャンネル『スペースシャワーTV』にて毎週火曜日19：00〜絶賛放送中！　ただし、「押忍！　紙プロ道場」は月1回なので、放送日をチェックして下さい。ちなみに、次回の「押忍！紙プロ道場」は2月22日に放送予定です。

賢い野蛮人のマネージャー日記
もうひとつの大和魂
ブナニ酒井（E-FORCE JAPAN）
第10回　命懸けのチャレンジャー

PRIDE．GPのvsマーク・ケアー戦は、残念な結果に終わってしまいました。この一戦に、こだわり続けて「死んでもいい」という覚悟だったにもかかわらず、エンセンが望んだ〝生きるか死ぬかの闘い〟にならなかったのは辛かったですね。

何度かこの試合が流れる中で、エンセンに「そこまでケアーにこだわる必要はないんじゃないの？」と言う人もいました。ただ、エンセンは〝チャレンジすること〟に生き甲斐を感じているので、自分が「現時点で世界最高」と認めた男に挑まずにはいられなかったのだと思います。目の前にハードルがあると、飛び越えずにはいられないのがエンセンの性格ですから。

そう、エンセンにとってはどんな小さいことでも挑戦なのです。たとえば、宅配ピザを注文するのも挑戦です。宅配ピザは注文してから30分を過ぎても届かないと割引になりますよね？　するとエンセンは「やったヨ！　これで割引出来るネ」とウキウキし始めます。別にお金が欲しいわけではなくて、自分で交渉してどこまで勝ち取ることが出来るのか、それがエンセンにとっての挑戦なのです。そのためにいろんな作戦を考えます。遅れて到着した宅配員に、私が「30分過ぎちゃったんで、割引出来ませんか？」と切り出すと、奥に隠れているエンセンが怒った声で「あと10分で出かけないとヨ！　もうピザを捨てなきゃ！」とプレッシャーをかけます。すると、ピザ屋さんも、だいたいサービスしてくれます。これでエンセンは大喜び。子供のような笑顔で、どんな交渉をして、どこまでサービスを勝ち取れるのかを細かく説明して、みんなに自慢します。「イタズラのためなら死ねるヨ！」とは言いませんが、それぐらい本気で挑戦します。



これは数年前のことです。私が車を運転して、助手席にエンセンが乗っていました。大事な待ち合わせがあったのですが、待ち合わせに遅れそうになっていたので、私は精一杯飛ばしました。エンセンの方が運転は早いので（事故も多いですが）「もう間に合わないヨ！　ワタシが運転する！」としつこく言ってきます。しかも、一旦止めずに走りながら運転を交代しようというのです。高速道路なのに走りながら!?　「サカイさん、後ろの席にジャンプして！　ワタシ、同時に運転席にジャンプするヨ！」と言って聞きません。あまりにしつこいので私も、「もう事故になってもいいや」と覚悟を決め、後ろの座席に飛び移りました。その瞬間にエンセンはガッとハンドルを掴んで、運転席に飛び乗り、見事に交代は成功しました。「アハハハ、面白いネ！　もし、これで事故になったら、警察も『なんで事故になったんだろう？』ってわからなかったと思うヨ！」と呆れるぐらい笑っています。

一度目標を決めたら、ホントに命懸けで挑戦するのがエンセンの生き方です。これでおわかり頂けましたか？　こういった生まれついての性格がエンセンの超ポジティブな生き方の根幹になっています。

だからvsケアー戦で躓いたからといって、挑戦は終わりません。

そして、本人も改めて「今年は格闘技に1年費やす」と意気込んでいます。次の目標は、いまのところアブダビ・コンバット。現在、出場を交渉中ですが、きっと何かしらを勝ち取ってくるはずなのでファンの皆さんも期待して待っていてください。

ぶなに・さかい■2月10日付で、エンセンの修斗選手ライセンス及びマネージャー酒井のプロモーターライセンスの停止処分が解除されました!!

ジョージ高野復活への道
わかおはるかの
Mulatto Arts H.I.T
THE・ジョージ秘宝館
「コブラ再生」の巻

前号（No.23）を読んで、このコラムの担当・スモーノブが言い放った。「次回からジョージさんの弟さんのこと書くんですか？」

〝真実を語らせる上で誤解は正しておく〟といった程度で、弟さんのことは引用したんだけど、ジョージさん、プロレスマスコミに喋んないから誤解されるんだヨ、本当。けど、私も一方的に信じるってワケじゃないので、一応色々チェック入れたりしてみる。イトコの十座にも聞いてみた。

「練習したこともナイって、いくら何でもそんな人が日本人初のヘビー級プロボクサーにスカウトなんてされる？」

「アイツは記者会見には出るけど、練習には出ない。」

「ウソでしょー？　だってボクシングにスカウトされる程の逸材なんだよ？」

「記者会見した後、当時住んでた南池袋の俺のアパートに、ジムの人間が捜しに来るからって隠れてた。ボクシングのスカウトならジョージ兄さんの方が先。大っぴらにはされなかったけど。」



〈イメージ映像〉一部 十座よりの伝聞

「本当!?　スゴイじゃん！」

「しかもモハメド・アリにつれて帰りたいと申し出されて……」

「で、どうしたの？」

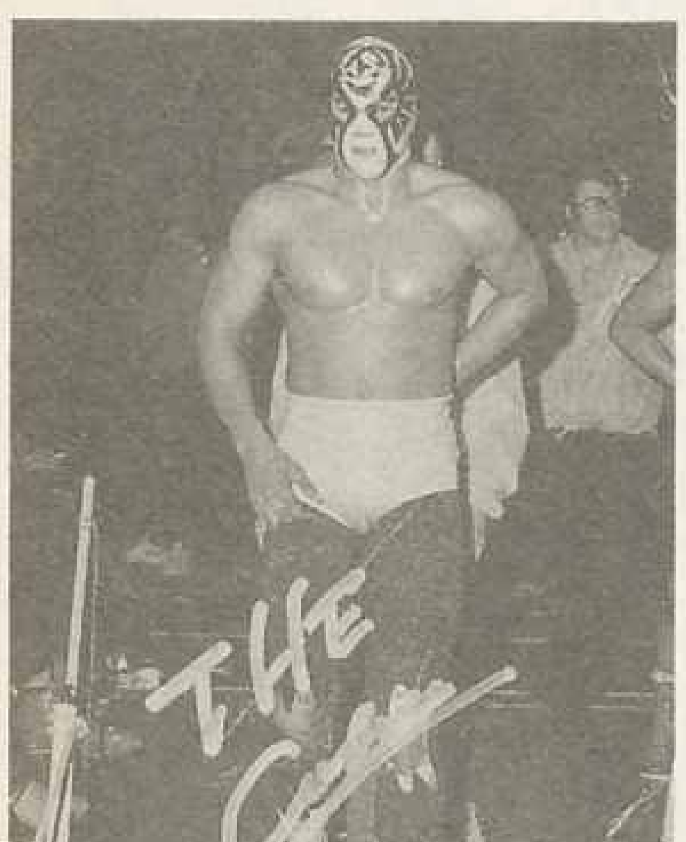
「ボクシングは〝イタイから〟という理由で行かなかった……」

プロレスもイタイと思うんだけど……。ジョージさん伝説とはこーゆーところを指すのかと感じた一瞬だった。弟さんもジョージさんも高野家は恐るべしだ!!　という訳で、久しぶりのジョージ高野、試合です。

2月23日：北沢タウンホール／キングダム
3月9日：後楽園ホール／U.N.W.

3月9日はメインでvsセッド・ジニアス。どーやらコブラが登場するらしいですよー。しかもこれが最後のザ・コブラかも!!　トークショーもあるらしいし、コブラジムグッズも販売するし、来ないと絶対ソンするゾー！　コブラファンよ集まれーっ！

わかお・はるか■ムラトー・アーツ・ヒットの命を受け、ジョージ高野のコラムを担当させられた漫画家。「本当にあった愉快な話」他でも連載中。漫画家はイタクなくてよかったと実感する今日この頃。漫画も見てね！　尚、F.S.R.はムラトー・アーツ・ヒット（03−3559−3358）に東京での連絡先を置いている。



ザ・コブラのファースト（写真）マスク、ジョージ高野の荷物から最近発見された、現存する唯一のオリジナル・ファーストから型を起こして復刻しました。細部に渡り、忠実に再現されています。「コブラズ・アイ」・タケダ製。2月23日、3月9日、各会場で限定先行販売致します。会場でお買い求め下さい。当日、会場まで来られないコブラファンは、ムラトー・アーツ・ヒットまでカタログを請求して下さいね。他、ジョージ高野、コブラへの質問を募集。当コラムで採用された方には、二人の寄せ書きサイン色紙をプレゼント！　質問の宛先は紙プロ編集部内「THE・ジョージ秘宝館」まで。尚、コブラジムでは生徒も募集中。お問い合わせは（093-619-3933）まで。

初代『紙プロ』編集長（ダミー）
原タコヤキ君（山口夫妻の潤滑油）
Presents

紙のプロレスWEST



HARA TAKOYAKIKUN A.F.O.

AFOイラスト／井上きびだんご
illustration by Kibidango Inoue

第2回 石川雄規&モハメド・ヨネのトークショーin大阪やで〜

儲かりまっか〜〜！（ボチボチでんなぁ〜）。というわけで一部では“鳥取出身疑惑”を掲載したことでタマリン日記を潰してしまったと噂されるこのコーナー。原タコヤキ君のスキルで、今号も大阪とプロレスを高い次元で結びつけてしまうコーナーや。タマリン、タコ兄さんはホンマに怒ってへんでェ〜。

先日の『プライドグランプリ』で上京した際、久々に本誌鬼畜編集長・山口宅に泊めてもらったのだが、エライものを見てしまった。犬を殺したり、酔っぱらって妻・一枚のアバラ骨を叩き折ったこともある鬼畜が「お前はスカートよりパンツが似合う」だの、「遅れてもいいからちゃんと化粧しろ」だの、極め付けは「何があっても俺からお前を見捨てるようなことはない」などと、朝も早よから一枚への飽くなき求愛活動を展開。すっかりあてられっぱなしだった僕。改めて『紙プロ』イースト恐るべし、と思い知らされた次第だ。

さて、ウエストも負けてはいられない。ブリッとやりまっせ！ということで、1月15日に行われた石川雄規&モハメド・ヨネのトークショーに行ってきました。

場所は阪神百貨店6階イベントスペース。このイベントはバディスラムさんの主催で、会場にはお宝系のグッズが並んでいたが、その多くは昔の新聞が貼られているだけだったりして、かなり寂しい印象を受けたのは否めない。

そして寂しいといえば客の入り。僕はトークショーの直前に会場入りしたのだが、ざっと10人少々。おいおい、みんな来いよ。しかし後で聞いたら夜のファンを含めた宴会ではその倍は来たらしい。何考えとんねん。3月12日は京橋のIMPホールでバトの興行があるので、関西のプロレスファンはみんな絶対に来るように。あのつまんなかった『プライドグランプリ』で唯一僕らを興奮させたアレクが大阪に来るんやで。駆け付けないでどうする。

まずは楽屋訪問。相変わらずご陽気でバカ爆発の石川社長と会う度に貫禄みたいなものを身につけているヨネ。客が少ないのなんかどうってことねえ様子。

本番まで3人でうだうだアホなことを喋っていると、ヨネが、「去年の年末、TOKYO FMホールでスモーノブを素っ裸にしてやった」というようなことを言い出した。

聞いてないで、ワシ。ズバリ言って毎日のようにダブルクロスに電話しては、「なんかおもろいことないんかよ、ノブ！」と目一杯先輩風を吹かしている僕としては非常に気に入らない。ノブの野郎、そんなに面白いことを黙ってやがったな。

しかし『紙プロ』に連綿と受け継がれていくキャラクター編集者制度は、そんなことで恥ずかしがっていては勤まらない。

実際、僕はタコヤキ君としてデビューした時は被りものをしたまま実家に行かされたし、高田が比例区から出馬した時、何千人もの人がごった返す渋谷のど真ん中で、タコヤキヘルメットを被って、演説中の高田に「タコヤキ君です。編集長になりました」と挨拶に行かされたこともあった。憎んで憎んで憎んで、ついには殺そうとまで思った山口&柳沢といった具合である。



厳しい大阪のファンをも引き込む2人のトーク。
絶妙やったでぇ〜。

しかし、そういう修羅場を潜り、なおかつその状況を楽しめるようになってこそ、初めてキャラクター編集者と言えるんです！今となっては両師匠に感謝の気持ちでいっぱいである。もし二人の身に何かあっても喪主は任せてもらいたい。

というわけでノブ。猪木さんは「裸になったら見えてきた自分の姿」と言ったが、本当に裸になれとは言ってない。言ってないが、お前にはこの経験を肥やしにしてほしいとせつに願うタコ兄だ。

大脱線。

少ないながらも待ちわびた客（でもタダ）からは二人の登場に大きな拍手が起こり、トーク開始。石川社長もヨネもさすがに慣れたモノで、レスラーの喋りにありがちな間の悪さもない。当然話すべきは3月12日の告知。この日はJWPと〝公認セクハラ大会〟男女混合タッグトーナメントが決定しているが、石川社長は、「その開会宣言に横山ノック前知事を担ぎ出す！」と高らかに宣言！ アホやな。でも爆笑した。セクハラ大会にセクハラ知事やって。石川社長、ただのバカではない。

とまあ、いつもの石川社長であったのだが、この日はどちらかというと真面目モードというか、トークの途中で石川&ヨネvs村上&池田の映像を観ながら喋っていたのだが、島田レフェリーの実況を聞いて、

「こういうのダメなんだよ！ ふざけた感じでさあ」と相方の島田さんにまで噛み付いていた。それが結構印象的やったな。しかし島田さんの実況って、オレ、初めて聞いた。あの人、レフェリー以外のことも何でもやりよんな。「おーーーっと！」とか「カウント2、9！！！」とか言うてんねんもん。メチャ笑った。まあまあ、社長。島田さんも別にわざとふざけてるわけやないやんか。根がふざけてるだけやからね。

そんなこんなありながらトークショーはつつがなく終わり、二人はサイン&記念撮影に応じ、控え室に引っ込んだ。この後、しばらくヒマって言うてたし、社長とお茶でも飲むかと探していると、おったおった、客席におるがな。

この日はトークショーの前後にバディスラム秘蔵の映像をモニターで流していたのだが、それがいい感じのセレクトで、80年のMSGタッグリーグ戦の中から、猪木&バックランドvsハンセン&ホーガンや、アンドレvsホーガン、それからシン&馬之助コンビもあったな。古さを感じさせる粗い映像をファンと一緒にじっと見つめる石川社長。その隣に座ってみた。

考えてみれば古き良き昭和・新日本プロレスを、昭和の権化たる石川社長と一緒に観るというのは贅沢この上なし！

「タコちゃんさあ、オレ、本当はこの時代にレスラーになりたかったんだよ」と熱く語る社長。でもこの錚々たるメンバーの中でも、社長は猪木さんともバックランドともウイリアム・ルスカとも闘ってるんやから凄いやんか。

途中からテーマ曲で猪木イズムを受け継いだヨネもモニターの前に陣取った。シンの入場にウケていた様子。「やっぱさあ、プロレスっていいよね」とリングの上とはうってかわって優しい目で僕に語りかける社長。極上の時間である。

そんな時、なぜかコギャル二人組がふらふらと会場に迷い込んだ感じで現れた。百貨店を歩き回って疲れたのだろう、休憩所代わりに入ってきたようだ。その瞬間である。

「ウシャ！」

優しい瞳から一転、目の前にいるのはキラー石川。「ズバリ言ってアレなら全然ヤレますよ！」と社長。夢だけではなく女性にも一途なり。

やはり大阪は人を開放的にさせる街である。社長のノリも抜群だった。本当の本当にプロレスラーが喋って喋って喋りまくった素敵なイベント。ザマァミロ！ 来ないヤツがバカなんだッ!! とイカレ社長のコトバで締めくくらせてもらおう。ほなね。

構成／イナズマ★K&編集部

『紙プロ』本誌の初代編集長（ダミー）
を知らないアナタは必読！
タコヤキ君外伝 第2回

安生ばりに押し掛け入社に成功したタコヤキ君。初仕事は入社翌々日の週プロ主催「夢の架け橋」で、控室周りのレスラーと、アメリカ君&メキシコ君の3ショットを撮ること。吉田豪とともに東京ドーム中のレスラーたちをかき集めるも、どうしても難しいのが前田日明。やはり怖い。しかし正面から「前田さんお願いします」と切り出し、見事写真を収めた吉田豪の勇気に脱帽。だがその後、あら探し好きのヤな性格に絶望。

今号の5つのポイント

- 其の一　え、スモーノブに包茎疑惑!?
- 其の二　会うたびにカッコよくなってるヨネ。昔はタフガイやったくせに……。
- 其の三　やっぱり大好き、昭和プロレス。
- 其の四　石川社長はコギャルから熟女まで、誰の挑戦でも受ける！
- 其の五　関西人ミュージシャン、元ボ・ガンボスのどんと氏死去に大ショック。合掌。

実録
最狂プロレスファン列伝

構成／イナズマ★K&編集部



PROFILE

No.1 EL－MARO　柚木隆一郎

“渋谷系”の裏番長として君臨するバンド「EL—MARO」のリーダー。本誌鬼畜編集長と共演中のピエール瀧さんが在籍する『電気グルーヴ』のリミックスなども手掛けている。プロレス的に言うならば、「日本音楽シーンのポリスマン」。幼少期にブルース・リーの直撃を受け格闘技に開眼。その後、しばらく潜伏期間を経て、昨年の1・4小川vs橋本戦で、プロレス熱が再燃！　『PRIDE』から荒くれ海坊主まで視野に入れる、非常に大きな振り幅と愛を持つプロレスファンである。ちなみにいつも『紙プロ』を愛読、「ぜひ出たい」と言ってくれるほどのコアな読者でもある。取材当日は、インフルエンザでフラフラになりながらも1時間ブッ通しで熱弁！　ありがとうございました。

とにかく気がつけばプロレス・格闘技好きってのは周りにいっぱいいるもんだ。特にミュージシャンなんて昔から多いっすね。世界に目を向ければ、80年代WWFではオジー・オズボーン、シンディ・ローパーが登場し、最近のWCWではキッスが出てきたり、ミスフィッツなんてスティーヴ・ウイリアムスと金網戦やってんだから。修斗にしてもそうだし、その結びつきはより深ーくなってるわけです。ならば、イカしたプロレス大好きアーティストに紙プロ登場願いますってことで連載スタートだ。まず、第一回目のゲストは、エル・マロの柚木隆一郎、見参！

「オレが出なきゃダメだろ。死ぬだろ」

バッキバキにガッツ及び猪木入りまくった柚木さん。プライドGPにも行ったそうだ。

「タチが負けたのはショックだったねー、オレの中では優勝候補1、2位だったのに（笑）。でも日本人選手は皆カッコ良かったよ」

賛否両論の高田選手もOKなのだろうか？

「うーん、高田は試合後の写真が好きでさあ、中学生の『アチャー、いたずらバレちゃったぁ』みたいなのが良かったから（笑）。あれでOK。許す（笑）。じつは高田道場、密かに行きたいんだよね。じつは甥っ子が行っててさ、そいつ医学部狙ってるんだけど、オレはプロのシューターにしたいんだ」

そんな強引に人の人生曲げていいのものなのか（笑）。

「女の子に人気ありそうじゃん。今、目指すんだったらシューターだなあ」

シューターを目指す理由が、モテるから！　いいじゃないですか、強ければ。甥っ子はシューターでも、柚木さん自身は純プロレス系も、格闘系プロレスもどっちも好きなのだ。

「面白ければ何でもいい。T―2000とかも。だってオレの注目レスラーっていったら『荒くれ海坊主』だもん（笑）。選手名鑑で顔と名前を見ただけだけど気になっちゃって」

『荒くれ海坊主』とは、前・『極悪海坊主』の元・三浦選手！　苦労人です。名前からでもヴィジュアルからでもOKな、懐の広さを柚木さんは持っている。

「音楽でもそうだけど楽しむっていうのは見る方とやる方、双方の感受性があって初めて成り立つワケじゃん。それにプロレスは事件性があるとさらに面白い。安生なんかも、不謹慎だけど大歓迎。売り言葉に買い言葉、やってくれよあれぐらいって思う」

それじゃあ、やっぱり去年の1・4の小川・橋本戦なんかはもうタマんなかったワケですよね。

「今の流れで観るきっかけだよね。その前に（元・電気グルーヴの）まりんが、頼んでもないのに『これまでのドラマだから、見て！』って編集した6時間もあるヴィデオくれてさあ（笑）。でも観たら面白くって。あのドキュメント性は浅間山荘事件とか、オウムの村井さん刺殺事件とか、そのぐらいのインパクトあった」

柚木さんにも、まさに目覚ましパンチ直撃だ。

「小川もオリンピックで金メダルを取れなくてふてくされてた頃からいい目をしてたもんね。イイなって思ってた。去年はアレでプロレス観る加速度がついたよ」

柚木さんだけに限らず、プロレス界全体もあれで加速度が付いた。

「ホント、いまは音楽業界よりもプロレス業界の方が半歩か一歩先に行ってると思うよ」

プロのミュージシャンから、そんな言葉が聞けるとは！　そんなに凄かったのか、プロレス業界!?

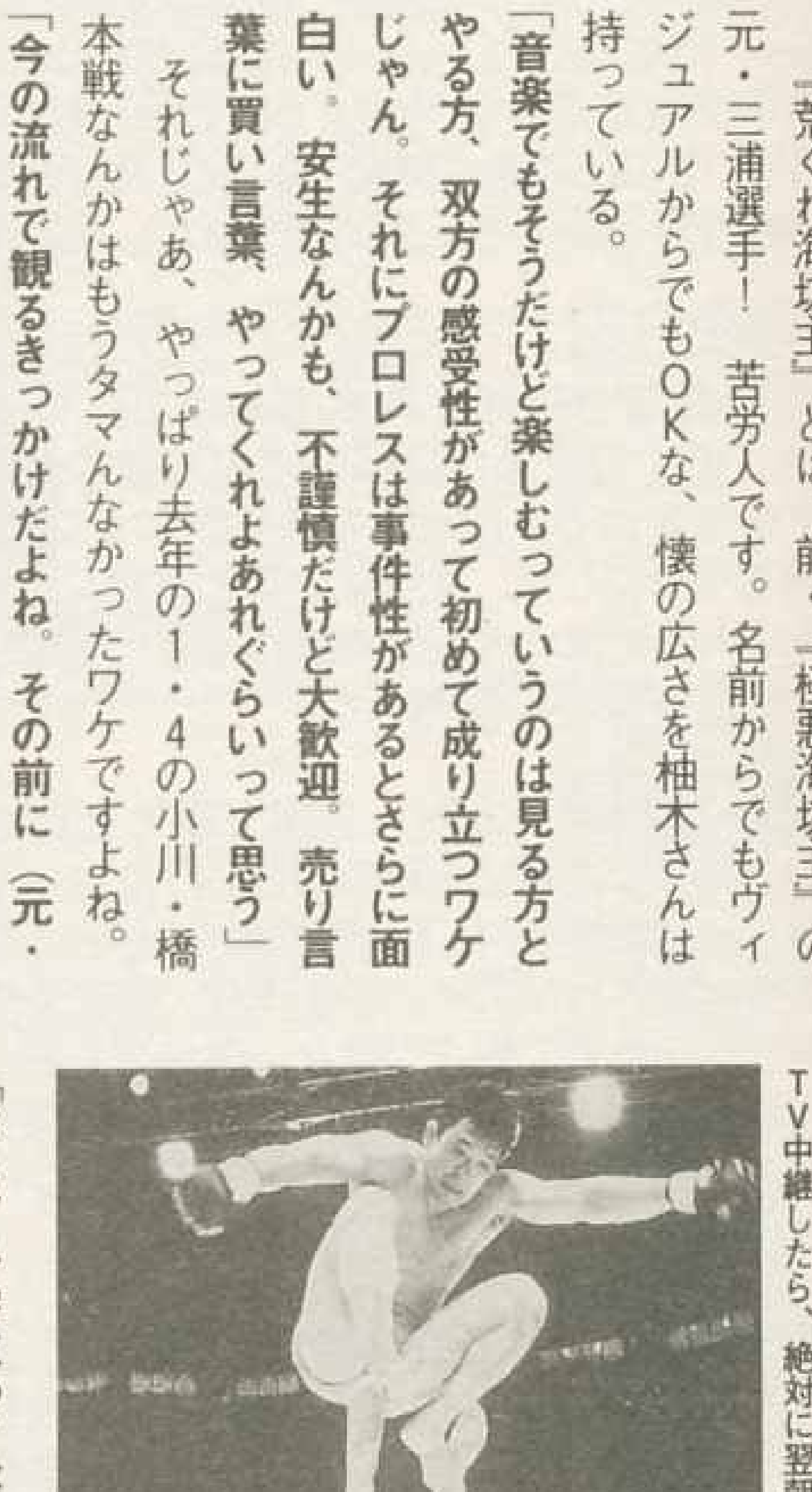
「プロでお金貰ってるんだから人様と同じことやってんのもねえ……死ぬ気でやらないと、だからプロレスラーのステロイドも許す！　それはミュージシャンも一緒だよ」

ここはあえて何もツッコミません。

ところで、柚木さんは誰が一番強いと思うのだろう？

「小学生！　小学生最強説まで唱えてるからね」

えっ？　小学生最強説？　初めて聞いた単語だ。



たしかに桜庭の闘い方は小学生っぽい!!　ゴールデンタイムにTV中継したら、絶対に翌朝流行るはず。

「ほら、小学生って体が柔らかいじゃん。オレは、小学生の頃のムーブを忘れてない人は強いと思うんだよ。桜庭、武藤、五味とか、皆動きが小学生っぽいじゃん。そういう人が強いと思う」

素早くって柔らかくって……たしかに格闘技で必要な要素を小学生は持っている。小学生のケンカにありがちな馬乗りパンチなんてまさにそう。

「甘美な小3の美徳というか（笑）小学生最強説だよ。中学生になると去勢されちゃうじゃん。小3のスピードであとちょっとハートがあればね」

そういうのって、誰かに擦り込まれたわけじゃなく小学生は持っている。

「まさにナチュラル・ボーン（笑）。子供の頃って、スゲー怒られても大人をナメてたからね。小学生マインドは重要ですよ」

たしかに。どんなに追い込まれても、桜庭のように笑うぐらいの余裕は欲しい。

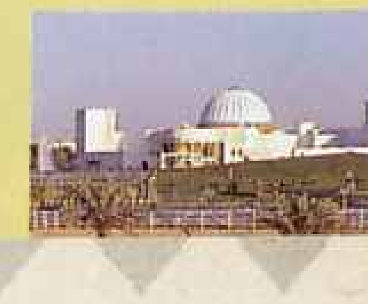
「子供は強えーんです。オレ、ドン・フライとタメなんだけど、小6の時なら勝てたなって思ってる」

では柚木さんにとって、プロレスと音楽に必要な共通重要事項とは何だろうか。

「小学生マインドに、オシャレ心、食い物、あと音楽ならブルースで格闘技ならブルース・リー。それに人情、勝新とかカーティスどんどん死んじゃってるけど人情の灯を消しちゃいけない。人情イズ・オールマイティってことだね！」

いまは音楽業界よりもプロレス業界の方が半歩か一歩先に行ってると思うよ





『PRIDE.0』初代殿堂娘　武田いづみの

げんこつ山のパルチザン日記



似顔絵は例によってヤツ（りょうこうんこ）です。私の髪はもうストレートですし、過去にもこんなパーマはかけた覚えがありま千（せん）（ミレニアム）。

『PRIDE.0』二代目殿堂夫人
（真下家の）キッチンナビゲーター
真下純子の

ちょっと、昼ごはん食べにこない？（残り物）



今回は『PRIDE.0』殿堂娘&殿堂夫人に『PRIDE.GP2000』についての感想文を書いてもらいました（私信・締切早くてすんまそん。ゆるしてちゃぶだい【いづみちゃん内流行語】）。いづみちゃんはテストの真っ直中&お留守番ということで今回は残念ながら観戦できず。一方、マシジュンさんは旦那さんと娘さんを名古屋に残し、結婚後、単独での初上京で『PRIDE.GP2000』観戦となりました。というわけで、始まり始まり！　どーだい『PRIDE.GP2000』は？

1月23日　今月は試験期間。私の学科が学科なだけに、レポートが多い。原稿用紙を買うたび、すごくムカつく。ここのところ、レポートのせいで、心にもないような真面目なことを平気で書いた。こういう文章は、むずかしくしようとしたら、いくらでもなるものだ。去年の今頃、受験勉強で国語の論文の読みづらさに、ひとりで怒ってたけど、アレ書いた人もそんなに賢い人じゃないね。むずかしいことをわかりやすく書ける人の方が賢い。でも読みづらい方が一見、頭よさそうのなのはなぜだろう。……と考えることも実は試験からの逃避。まつげをブチブチ抜くのも逃避。『PRIDE.GP2000』のことが、とても気になる。キツイ時期にあるので、行かない気でいたが、あの面子！

1月26日　『PRIDE』に「行きたい」ではなく、「行かなくていいのか」。でもひとりで？　スカウト決行。まず1人目。「――こういうものがあるが、ひとりじゃキツイ」と言ってみる。「そうだね。だってそういうところって、まわり男ばっかりでしょ？」あ、そうきたか。私はそのせいで行けないわけじゃないし、第一、男ばっかりじゃないぞ。イメージは「プロレス・格闘技＝男の観るもの」なんだな。たしかに、男気は大切です。会場の声援を、そっくりそのままジャニーズのコンサートのものと変えたらどうだろう。そうなったら無いな、21世紀にプロレスや格闘技は。結局「大変ね」という同情はもらったけど、「じゃあ一緒に行こう」とは言ってくれなかった。やんわりと、しかし露骨に遠慮されてしまった。久しぶりのこの反応。やはり私の闘いは続く（『PRIDE.0』初回参照）。でも、ちょっとこの闘いあとまわし。2人目に電話。彼女は格闘技好きではある。K-1と新日とバトラーツに、一緒に行った。でも誘ったのはあたし。「30日ヒマ？」私が説明すると、「あー、行きたいねぇ……」。語尾が弱い。ヤバイ。彼女も試験中。31日にテストがあるらしく、「ちょっとわかんない」。すぐ答えを聞くと「ムリ」と言われそうなので、あらためて電話をすることを伝えた。まったく、はじめて彼女をデートに誘う純情男子高生のような立ちまわり。友達相手になにやってんだ。

1月28日　「うおぇ～、マンボウなんか食うから中毒すんだろ……」大学図書館で勉強する友達の横で、有毒生物図鑑を見ていると電話が。『PRIDE』行けるか結果待ちの友達からだった。「やっぱりムリ」と申し訳なさそうなので、こっちも申し訳なくなる。もしOKだったら、"19才、看護婦のタマゴ"と、文字にすると非常にオイシイ位置にいる彼女に、「だてに死人の内臓さわってないね！」という言葉を用意していたのだが。中毒死亡者の図版を見ながら考える。

1月30日　本日、お留守番に任命された。あぁ、これは『PRIDE』行くなっていうなんかの導きだ。試験勉強がはかどらないのも導き。ハイハイ。午後4時。勝敗予想をそのへんの紙に書きつけた。自分でもおどろくほどの早さで決める。「応援」の気持ちを持って予想。一度つけたマルを、もう一度、何重にもぐりぐりとつけた。



この美熟女はプライド名物の北の通訳最終兵器。ボブとの関係はいまだ謎である。

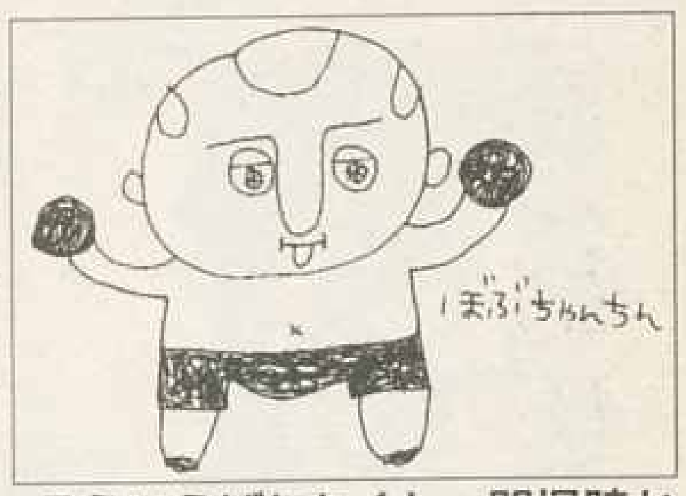
1月31日　「操縦席で操作する人」より「遠隔操作する人」の方が強い。勝敗じゃなくて選手として強い。「遠隔操作」すなわち「人間ラジコン状態」。ただし、操るのも操られるのも自分。そういう人はラジコンカーの「カー」にあたる「自分」のまわり、全方向が見えている。だから選ぶべき道をちゃんと選んでくれる。観ている方は、ボーリングでストライクを見た時のような気持ちよさを覚える。「操縦席で操作する人」は限られた視野しかない。窓いっぱいに高い壁。前に進めない。ところが「遠隔操作する人」には壁の途切れる場所が見える。それが見えるから壁の向こうへ行けるのだ。『PRIDE.GP2000』の、これが私の感想です。

子供の頃、遠足や修学旅行の前日に期待感をこじらせて眠れなかったり、当日熱出したりするわたくしでしたが『PRIDE.GP2000』前日1/29はまさにそんな感じでした。観戦が楽しみというのもありましたが、夫と娘を置き去りにして上京、というのも初めてでして。

寝不足でフラフラなのに新幹線の中でも興奮して眠れませんでした。飲み食いさえもできませんでした。今思うとここらへんが一番幸せだったかもなぁと思います。

わたくし、難しいことは何もわかりませんが『PRIDE.GP2000』、あんまし面白くなかったです。でも出されたごはんは残してはいけないので一生懸命見たつもりです。すごいおかず（選手）がいっぱいだし絶対満足できる食事（興行）になると思ったのに、なんだか全部食べてもハラペコでした。

大好きな小路選手がブラガに勝ったのはすごく嬉しかったです。しかしブラガも強かったー。足すんごい長い。小路さんの背中の上で、まるでソファーに座って新聞読んでるみたいに足首組んでるんですもん。小路選手の手が上がったときは発狂しました、嬉しくて。私の「小路祭り」は続行です。ああ、かっこよかった。



アレク選手もかっこよかったです。ボブチャンチンは「強い～、強すぎる～by竹本チエ」でボコベンボコベンとアレクさんのお顔や頭を殴りました。15分が過ぎ、アレク選手のお顔が日野日出志のマンガみたいになっていましたが、なんだか神々しかったです。勝ったチャンチン選手も凄いけどアレク選手も凄いです。

高田選手へも声援を（心で）送りました。そういえばわたくし、開場時からなんだか胃がシクシク痛んでいたのですが、この試合の時、ピークに胃が痛みました。

やっぱり勝って欲しかったです。城南電気の宮路社長が生きていたらあんな感じかしら、ってな風貌のエリオ爺さんに一泡吹かせて欲しかったです。もし、ホイスの道衣が「ファーファ」で柔軟性を出していたとしたら高田選手の勝ちです。ダメですか。



守山代表とマシジュンさんのツーショットロモ写真。守山代表がデカすぎるのかマシジュンさんが小柄なのか、それが問題だ！（無問題）

帰りの新幹線で「観戦記書けってチョロさんに言われたけどどうしよう」と思いながら、そういえばお腹が空いていたことを思い出し、駅弁2個とビール4本をやっつけて、そういえばあんまりここんとこ眠ってなかったと思い出し口を開けて眠りました。起きて鼻をかんだら使い捨てコンタクトレンズが鼻から出てきました。ヘロヘロと家に辿り着きお風呂入って寝ました。

明くる朝、娘が嬉しそうに「昼も夜もハンバーグ食べたよ!!」と報告してきました。ちょっと目を離すとコレです。子供にハンバーグばかり与えるとアホになります。

やっぱり私は家を空けてはいけなかったのです。もの凄く楽しみにしていた『PRIDE.GP2000』があんまし面白くなかった、と感じたのは家を空けた罰が当たったのです。そう思うことにします。

これからは決勝ラウンドの組み合わせとかいろいろ妄想しながら暮らします。ハンバーグは月に一度です。　　おわり。

観戦翌日は、編集部～ビガロ～慧舟會と足を伸ばしたマシジュン。「慧舟會では小路さんにもお会いしました。小路さんにコーヒーおごってもらいました。手羽先の話をしました。うれしかったです」。
真下純子（アトミックハウスワイフ【原爆主婦】）



S相撲 多重アリバイ 番外編

相撲最強幻想が崩壊!?
失ったものは取り戻せばいい
手にしたものは放さなければいい

試合の翌日、バーリ・トゥード続行を宣言!!

あの日の大刀光が本当の大刀光だったのか確認するために……

タチあがれ!! 大刀光

た、大刀光関が負けたでごわす! ワシは、ワシは、(ハァハァ息を切らしながら)ホンのコツ悔しいばい!! 露払いよろしく『PRIDE.GP』のパンフレットにまでタチ関の原稿を書いて、相撲幻想&大刀光幻想の最前線に立って応援旗を振ってきた担当編集力士としては残念この上ないでごわす。しかし、タチ関がこれで終わるとは思えんばい! タチ関の独占コメントで『PRIDE』を振り返りつつ、再び相撲幻想の旗を振らせていただくばい!

構成/スモーノブ
text by Sumo Nobu
試合写真/平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

タチ関が負けた瞬間、本誌スーパーバイザーの吉田豪から「お前がA級戦犯なんだよ」とまで言われ、他にも「八百長告発した板井よりも、大刀光出場を煽った坂井（主介）（スモーノブの本名）の罪はデカい」などと様々な声がワシのもとに寄せられたばい。

どすこ〜い！　シャラップ！

何とでも言ってくれ、ワシはシコを踏む！（本誌NO．12の高田延彦調に）。

でも、これだけは言わせるばい！

相撲幻想は死なず、でごわす！

タチ関自身も言っているように「相撲の現役を辞めてから7年も経ってる」という点を忘れてもらっては困るばい。あのマル関こと武蔵丸も、タチ関に「ルールが違うからね」と慰めの言葉を贈ったらしいでごわすよ！　ズバリ言って、そういうことでごわす！

ただ、『PRIDE』の大会全体を通して見たとき、タチ関の果たした役割は、ごっついものでごわしたな。入場から試合終了まで、あれだけ見せ場を作ったファイターは他におらんがぁ？　試合前はドーム中が相撲幻想ではちきれんばかりに膨れ上がったばい？　試合後はドーム中がタメ息のユニゾン大合唱でごわしたが。


ワシが「入場のテーマ曲は相撲甚句！」と書きまくったかいあって、ホントに相撲甚句で入場したタチ関。ドームが笑いとどよめきに包まれた。これでつかみはOK！

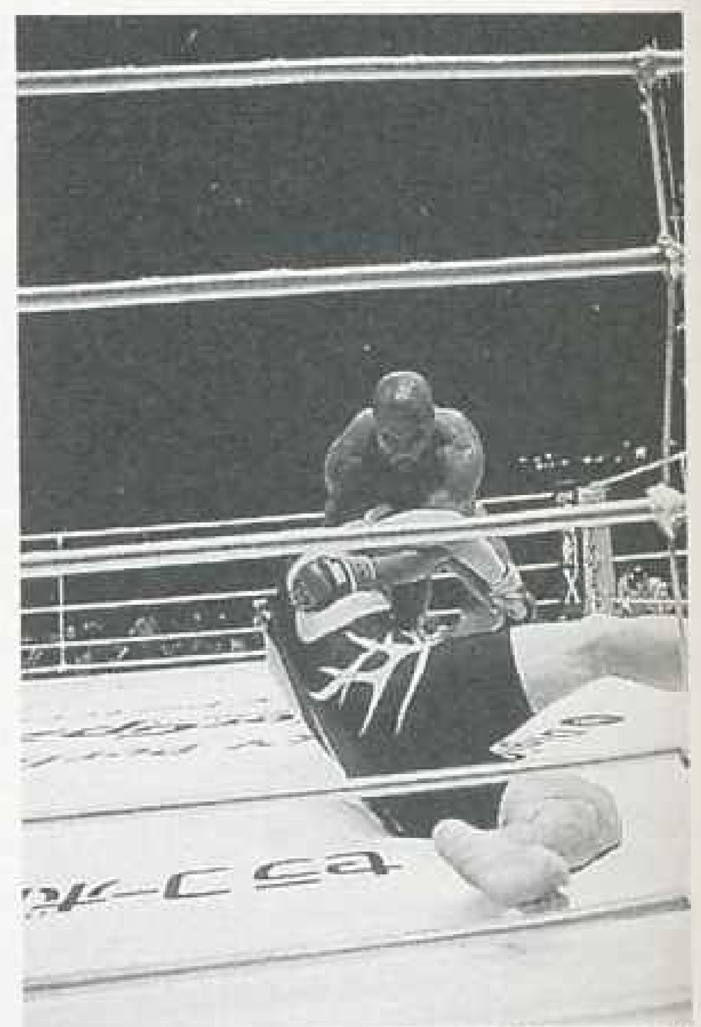
ワシから、ドリステさんにお願いするばい！　タチ関を一発屋にしてはいかんでごわす！　この黒星を肥やしにタチ関がどう変わるのかをしっかり見届けるでごわすよ。高田選手が「もう一丁！」と言ってたでごわすが、タチ関こそ「もう一丁！」でごわす。実際、この敗戦に何よりもショックを受けたのはタチ関本人でごわすからな。この日、ワシは密着取材をしていたのでごわすが（下の写真参照）、敗戦ショックで「今日は勘弁してくれ」と言い残して帰路に付いたほどでごわす。

翌日、「もう一丁！」とばかりに電話をかけると、その悔しさも一段落したのか、取材に応じてくれたので、そのコメントを紹介するでごわす。

まず、開口一番、「ホンッッット に悔しかったよ！」とタチ関。たしかに、あれだけ「相撲取りは倒れないよ」と豪語していたのに、あっさり倒されてしまったわけでごわすからな。

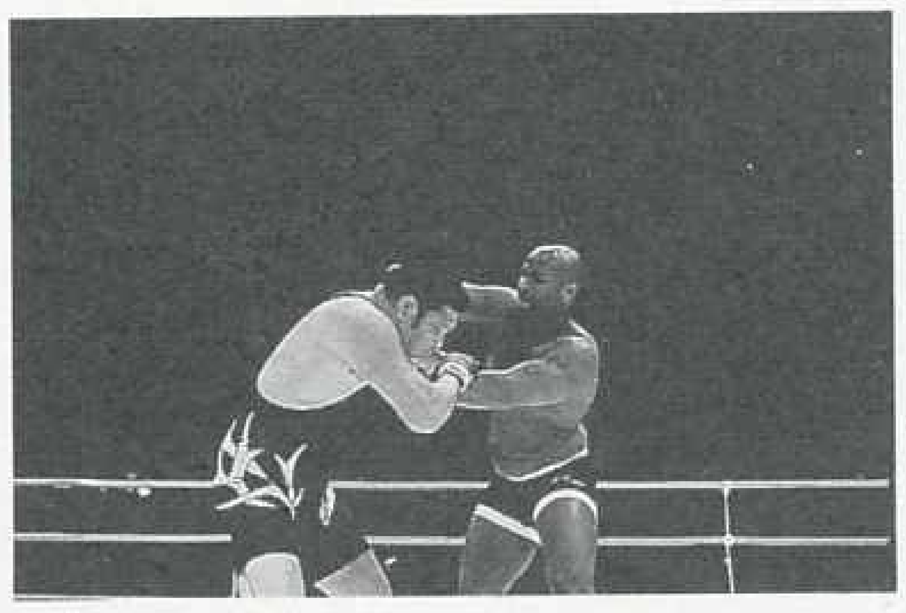
で、一番聞きたいのは、VTでのリベンジは考えているのか、どうかだ。

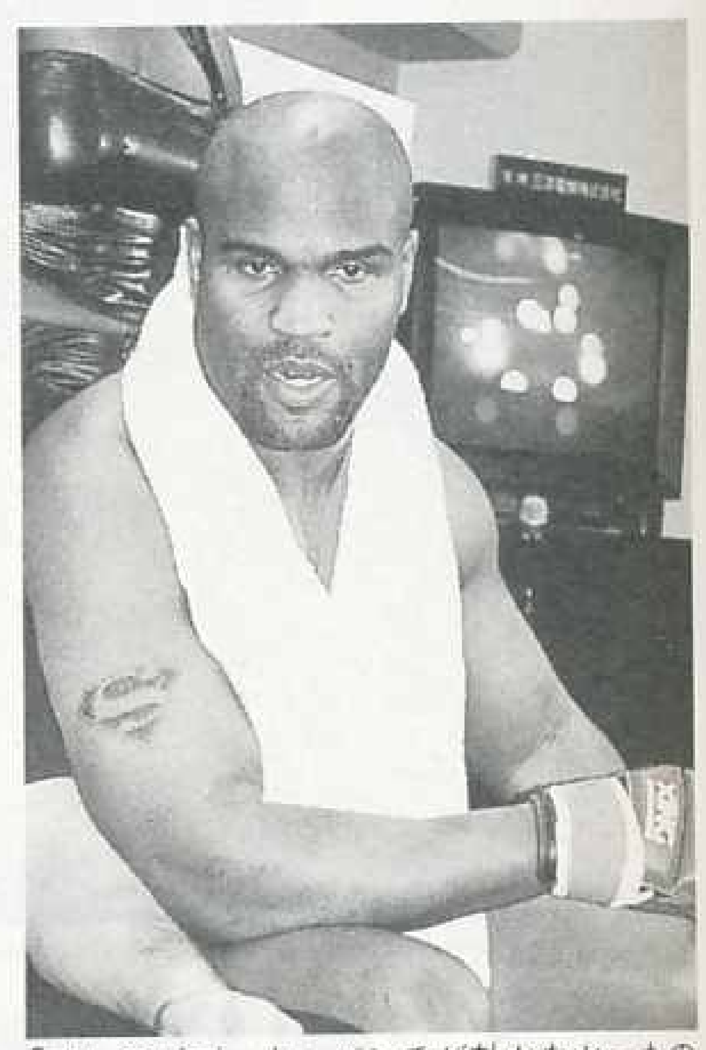
「ああ、やらせてほしいよ！　今度はしっかり練習するからな。今度はキックボクシングも習うし（伊原ジムはお知り合い）、寝技も研究するよ！」とのこと。



「キックボクシングや関節技を練習して、バーリ・トゥードでリベンジする！」




（左3枚）つっぱりは不発！　逆にパンチを食らい……。（上）ああ、タチ関がすくい投げで倒された!!


「オレのバズーカ・パンチが効かなかったので、寝技で勝負した」とゲーリー。そりゃないぜ！　立ち技で勝負してくれよぉ。

遂にタチ関が本気になったでごわす！　本腰を入れてVT特訓を始めるばい！　VTは相撲とはルールが違う以上、技術は必要でごわす。こうなった以上、ワシも地獄の底までお供しするばい！　というわけで、本誌（というかワシは）はドン底から這いあがるまで、タチ関の模様をレポートしていくでごわす！　乞うご期待！

2月10日付けの『東スポ』には、「じつは勝ったらホイスを指名しようと思ってたんだよ」「道着で首を絞めるのがOKなら、オレもマワシで首を絞める」といった内容のゴキゲンなコメントが掲載されていたばい。この素敵なスモースピリット（略してSS、ストロングスタイルではない）だけは絶対に失わずにVT道を突き進め、でごわす！

追記：2月11日発売の新聞紙上で、グレート草津（あの名レスラーのご長男）のK－1デビュー戦の対戦相手候補に、タチ関と嵐関の名前がリストアップされていたでごわす。タチ関は「ええっ!?初めて聞いたよ。ホントに？」とビックリ！　ホントに実現するのか？　ワシ個人的には、『PRIDE』でのリベンジを希望するでごわす！

まだまだ相撲はこんなもんじゃない!!
次ページからは懲りずに相撲多重アリバイ ←

密着　大刀光の最も長い1日

撮影／高智政光&鳴海剛&スモーノブ


自宅着23：00■帰りの車中でも、しきりに悔しがっていたタチ関。子供たちも寝静まり、出迎えはナシ。じゃ、と手を振るタチ関の明日はどっちだ!?


東京ドーム着12：30■控室にはSPWFの谷津嘉章、チームコンボイの盟友・嵐も激励に駆けつけた。少し恐縮してしまうタチ関。


ちょっと一服11：25■ふとした瞬間に緊張がよぎる。思わずタバコに手が伸びてプクイチ。


タチ関の勤務先の水道屋さん着11：20■ここでセコンド部隊と待ち合わせ。専務に「あんまり大ケガするなよ」と激励を受けてニッコリ。


出発11：00■「バイバイキ〜ン！」と子供たちに元気に見送られ、いざ出陣。ちなみに車中のBGMはモーニング娘。の『恋のダンスサイト』。



S 相撲 多重アリバイ

スモーノブ　がっぷり四つインタビュー

相撲とは日本のプロレスのルーツである

スモウレスラーにとっての「何でもあり」とは何か？

三日目 嵐〈高木 功〉

前々号からの大刀光フィーバーとは裏腹に、スモーノブには「読みにくい」「さむい」「うざったい」「痛い（板井？）」などといった声が読者から寄せられとるでごわす。批判、ごっつあんです。ばってん、ワシはドスコイロマンの道を突き進むばい!!　JJジャックスみたいに中途半端に終わったら、消したくても消せない傷が残るだけでごわすが、このまま続けてれば傷にはならんばい？　そのかわり、ワシは最高にゴキゲンなスモウレスラーたちを毎号ご紹介させて頂くので、楽しんで欲しいでごわすよ。さて、今号ご登場頂くのはチーム・コンボイの嵐（高木功）でごわす！　タチ関が大きな注目を集める中、相方は何を思っとるばい？　いざ取材を敢行したら、とんでもない爆弾発言が飛び出したでごわす！

聞き手／スモーノブ
interview by Sumo Nobu
撮影／黒田史夫
photographs by Fumio Kuroda

はぁ〜、どすこ〜い！　どすこい！

まず初めに断っておくでごわす。このインタビューは大刀光関が『PRIDE』で惜敗した3日前に収録したものばい。SPWFの、いや相撲の威信を背負った大刀光関が、決戦を目前に控えていた頃タイ。同じく大相撲出身で、チーム・コンボイの盟友である嵐関も、気持ちが雲竜型の土俵入りのように盛り上がっていたでごわす。

こちらが、相撲にまつわる質問を用意してきたでごわすが、「んなことたぁ、どーでもいいんだよ（ガシャーン！）」とばかりに、嵐関がいきなり先制のつっぱりをブチ込んできたでごわす。しかも、言葉が寺尾関のつっぱりの如くポンポン飛び出すので、息つくヒマもないでごわす。

「今日は言いたいことが、いっぱいあるんだよ！」と気合い満点の嵐関に圧倒されてしまったでごわす。

というわけで、今回の『相撲多重アリバイ』は、あの『PRIDE』直前のヒリヒリした空気を思い浮かべながら読んでほしいでごわす。

何でもあり&ガチンコ

――いよいよ大刀光（以下、タチ）さんが『PRIDE』に出るんでごわすが……。

嵐　ったくよぉ、どういう話になってるのか、オレはわからないけどな、最初はオブザーバーだっけ？

――リザーバーでごわす。

嵐　まあ、本人が「やる」って言ってるからいいんだけど、いきなり今度は本戦出場だろ。ムチャクチャだよな。ところで、「バーリ・トゥード（以下、VT）」ってどういう意味なの？

――「何でもあり」って意味ばい。

嵐　じゃあ、「アルティメット」ってどういう意味？

――「究極の闘い」って意味ばい。

嵐　じゃあ、なぜルールがあるの？「何でもあり」なら、ホントに何でもやらせろよ！

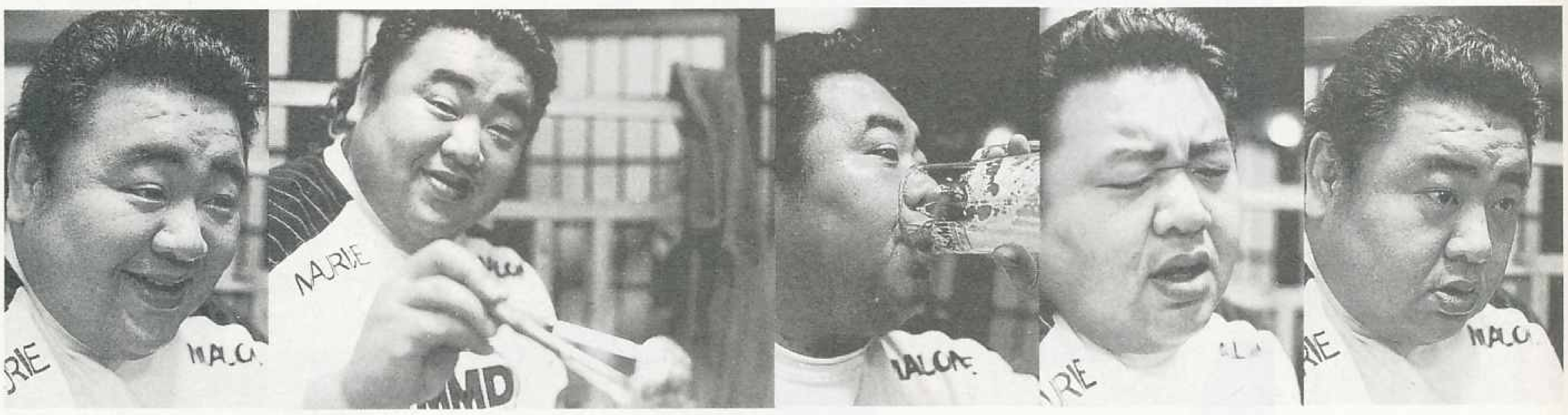
――あんなルールは「何でもあり」じゃないということでごわすか？

嵐　当たりめえだよ！　何でもやらせてくれるんだったら、オレは出てやるよ！　全〜然、平気だよ。「目ん玉潰してもいい」とかさ、「口に指を突っ込んで裂いてもいい」とかさ、それなら出てもいいけどな。勝手に自分たちでルール作ってな、「何でもあり」じゃねえだろう（笑）。「ふざけんな、バカ！」って言いたいよ。

――「ホントの何でもありをオレが教えてやるぜby嵐」って感じばい。

嵐　そこまでは言わないけどさ（笑）。いや、あのルールの中で一生懸命やってる人たちをオレは尊敬するよ。でも、ホントの「何でもあり」はできねえだろ？　だから、オレは「金儲けか？」って言いたくなるわけよ。結局、あれは誰かが考えたルールだろ？

――そのルールを考えた「誰か」が、たしかにいちばんお米（＝お金）を稼いでるでごわすよ。



嵐　グレイシーだろ？　400戦無敗なんて、ふざけるなって。

――初っぱなから、嵐関の電車道でごわすな（笑）。

嵐　桜庭（和志）選手に負けたヤツ！　言い訳なんかしくさって。桜庭選手は偉いよな。でも、あそこで腕をブチッとやっちゃえばよかったんだよ。

――ブチッと、っスか？（笑）。

嵐　言い訳できないぐらいにブッ壊しちゃえばいいんだって。

――もし、嵐関が桜庭選手の立場だったら、どうしたでごわすか？

嵐　オレだったら、もぎれるもんならもぎってるよ‼

――もぎる（笑）。

嵐　でも、オレが出るとなったらダメだなぁ。

――どうしてでごわすか？

嵐　やられるの嫌だから（笑）。張り手一発でも、もらうのは嫌！　攻撃するのは好きだけどな（笑）。

――あとはギャラ次第ばい？

嵐　みんながみんな金のためにVTに出てるとは思わないけど、金儲けをしてるヤツが多いじゃない？

――嵐さんは、高い金を積まれても出ないわけでごわす。

嵐　ああ。ただし、ホントに「何でもアリ」のルールだったら出るよ。

――マンガの中の地下プロレスみたいな世界ばい（笑）。やっぱり、プロレスファンも実際に「プロレスラーは強い」というところを見てみたいと思うでごわすよ。だから、いま『PRIDE』に、お客さんも流れてるばい。

嵐　じゃあそっちにお客を流してるのは誰？

――まあ、マスコミの影響は大きいと思うでごわすが……。

嵐　違うって！　プロレスラー本人だよ。プロレスラーがVTに出なきゃ話題にならないわけでしょ。

――でも、プロレスで稼げない人がVTに行ってるわけでもないでごわす。

嵐　まあ、タチはプロレスでは稼げてないよね。ただ、他の選手はプロレスで稼げる連中だろ？　誰とは言わないけど。まあ、結局のところ、どっちが好きかの問題だね。

――どっちのスタイルが合ってるのかってことですね？

嵐　プロレスラーには3種類しかいないんだよ。「プロレス」が好きか？「何でもあり」が好きか？「お金」が好きか？　でしょ？

――嵐さんは、どれが好きばい？

嵐　オレはプロレスが好きだけど、（小声で）お金も好きだよな。

――どすこ〜い！　プロは、みん

なぜルールがあるの？「何でもあり」なら、何でもやらせろよ‼



オレは、板井さんの言ってることには賛同できないね

な好きばい。

嵐　好きだけども、「何でもあり」は嫌いだから（キッパリ）。プロレスで稼ぐしかないんだよ。

──そういえば「ターザン後藤みたいな序二段の相撲取りは、ガチンコでやっちゃえ」ってタチ関に言ってたらしいでごわすな。

嵐　そんなこと言ってねえよ（笑）。タチが勝手に言ってるんじゃねえのか。彼（＝ターザン後藤）もプロレスで長くやってきて、自分を作ってきたわけだからね。ただ、信用が出来ないヤツには、そうするよ。プロレスじゃないことをしてきたヤツにはね。ナメられたら、やりなさいってことだよ。

──実際に嵐さんはそういう試合になったことはあるばい？

嵐　プロレスラーならみんなあるよ。ナメられることは許されないからね。

──じゃあ、そこに相撲の番付は関係ないでごわすな。

嵐　そういうことだよ。

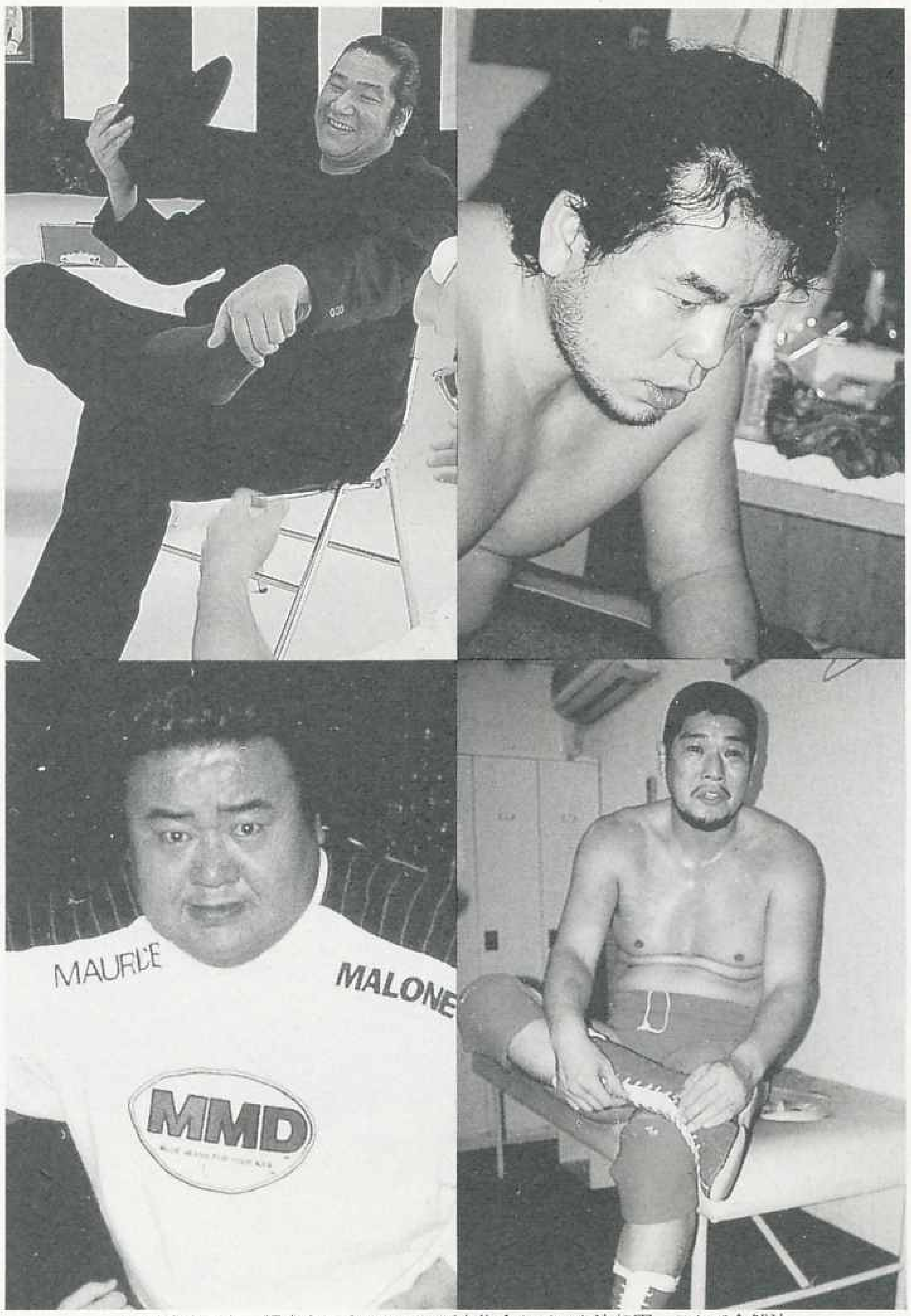


板井八百長発言問題

──最近の板井（圭介・元小結）さんの大相撲八百長告発はムチャクチャでごわすな。

嵐　新聞は少し見たけどさ……外国人記者クラブで講演したんでしょ？　まあ、金で動いたんだろうね。

──たしかにダーティーな臭いはするばい。



いま考えると、相当もの凄いメンツが大集合していた決起軍。これで全然決起しなかったのは、わからないでもないがもったいないことこの上ない。

嵐　これからの相撲で、ああいうことがあったら大変なことだよ。でも、何で昔のことをいまさらほじくり返してるんだよ？　まるで、いま現在、相撲協会が八百長をしているかのように告発して。オレは、板井さんの言ってることには賛同できないな。ホントか、ウソかは現場にいないからわからないけどね。

──プロレスにもずっと昔から八百長論はついてまわってますよね。

嵐　でもね、根本的に違うからね。いままでプロレスっていうスポーツをしてきて、金銭に絡む試合なんか一回もしたことないよ。まあ、バトルロイヤルとか、賞金がかかる試合はあったけど、それは抜きにして（笑）。よく「筋書きがある」と思ってる人がいるけど、一回でもいいからリングサイドで見に来て、筋書きを読んでみなって（笑）。筋書きなんかねえんだからさ。

──そんな人ばかり集まったら大変な会場になりでごわすな。

嵐　たとえば筋書きがあったとしても、対戦相手によって未熟な相手の場合は危なくて技を掛けられないこともあるからね。「この技を決めちゃったら、相手はどうなっちゃうんだろう？」っていうね。だからプロレスには相手との信頼感が必要なわけだよな。それは八百長とか筋書きとは違うからね。

酒とケンカと天龍源一郎

──相撲を辞めたのは、なぜですか？

嵐　う〜ん、いまだにわからないなぁ……相撲を辞めた話はやめよう。

──プロレスに夢を抱いて入ってきたというわけではないんでごわすね。

嵐　当時の日本ハム・ファイターズに大宮選手というキャッチャーがいたんだよ。その人に天龍さんを紹介してもらったのがキッカケ。そのとき、「後楽園に来いよ」って誘われて。それまでプロレスを見てなかったんだけど、実際に会場で見たら「こんなに凄いのか!?」って驚いたんだよ。入ろうと決めてから輪島（大士・元横綱）さんがデビューしたんだけど。横綱にまでなった人が、あんなに頑張ってるのは勇気づけられたね。

──あの頃の全日は、相撲出身の人がいっぱいでごわしたな。グレート小鹿さんもそうだし、大熊（元司・故人）さん、ラッシャー木村さん……田上（明）さんも、嵐関の後に入ってきましたね。その後、決起軍で一緒になりましたけど（他には仲野信市、高野俊二、二代目タイガーマスクら）。

嵐　決起軍には、やる気のない連中が集まってたね。

──やる気のない連中（笑）。

嵐　（急に大声で）練習って面白くねえんだもん。同じことばっかり何回もやって、変化がないからね。

──相撲もシコとかテッポウとか反復練習があるばい。

嵐　プロレスは、まず受け身だからなぁ。入門したての頃は、一日200発ぐらい取ってたよ。もう、



嵐行き付けの居酒屋『首領』（TEL.03-3804-4699）にて収録。ちゃんこと焼酎をごっつあんでした。

内臓がおかしくなるんじゃないかと思ったな。まあ、つまんないけどやらなきゃダメよ。オレは「練習やれ」って言われるのが嫌なんだよ。

——道場幻想といえば新日というイメージでごわすが、全日でもグランドのスパーリングはやってたばい？

嵐　やったよ。オレが一番ショックだったのはスパーリングだもん。小川（良成）選手、川田（利明）選手、三沢（光晴・当時は二代目タイガーマスク）選手と極めっこするでしょ？　みんなオレより小さいのに、オレが極められちゃうんだよ。ものすごいショックだったね。

——なるほど。その三沢さんも決起軍で一緒だったんですよね。

嵐　まあ、タイガーマスクは、他の連中とはちょっと違ったな。でも、みんなを引っ張るリーダーがいなかったんだよ。言うこと聞かない連中ばっかりだから！　あんなもん、うまくいくわけないんだよ！

——アハハハハ！　組み合わせが悪かったんでごわすな（笑）。

嵐　まあ、オレたちの努力のなさとやる気のなさがいちばん悪いんだけど（笑）。すごくいい発想だったけどね。結局は、みんなで傷のナメあいじゃないけど、「まあ、しょうがねえよな」って言ってることが多かったような気がする（笑）。

——決起どころか、非常に後ろ向きでごわすな（笑）。それが決起軍解散のとき、馬場さんの「全然決起しないので解散させます」発言につながるばい。

嵐　冗談じゃねえ。決起はしたよ。

——その馬場さんの発言を本誌が載せたら、高野拳磁さんが「オレは決起したよ。三沢が決起しなかったんだよ」って抗議して来たでごわすよ（笑）。

嵐　みんな決起したつもりだったんだよ。でも、具体的に「合宿しよう」とか言うヤツがいなかったから。ただ、合宿やろうにも、みんなの都合も合わなくて。

——試合では、天龍さんが相撲で言うところの「かわいがり」をやってたばい。その頃の嵐関の心境はいかがでごわしたか？

嵐　オレは絶対に泣かなかったよ！

——そういうところに、ファンも共感して期待してましたよ。当時の天龍さんのやってたことはプロレス界でも革新的なことでしたよね？　顔面を思いっきり蹴りあげたり、いままでタブーだったことばっかりですもんね。

嵐　理詰めでは教えてくれなかったけど、試合の中で「簡単じゃねえだろ。ナメてんじゃねえぞ」って教えてくれたよな。

——天龍さんは、夜も試合同様にハードな飲みがあるらしいですね。

嵐　ああ、凄いよ。オレは飲みの席で天龍さんとケンカしたこともあるんだ。

——え～っ！　そうなんですか？

嵐　忘れもしない石川県の金沢だ。みんなベロベロに酔っぱらってたんだよ。そしたら天龍さんが、「かかってこい」って始まってさ。さすがに「出来ません」って逃げたんだけど、追いかけてきてさ。しょうがないから向かっていったけど、グシャッとやられた（笑）。

——ステキでごわすな（笑）。天龍さんは、お酒強いばい？

嵐　弱いよ！

——そ、そうっスか？　それは初耳でごわす。

嵐　酒は負けないよ！　ホントのケンカもどうなるか、やってみなきゃわかんないけどね（笑）。

（ここで店のマスター登場）

——嵐関は、お酒が強いらしいでごわすね？

マスター　ああ、強いよ。酒と女はメチャクチャ強いから。ケンカも強いし。

嵐　その話はやめようよぉ（笑）。

マスター　いいじゃん（笑）。昔、どっかの空手の大学生チャンピオンになったヤツが絡んできたことがあったんだけど……凄かったよな？

嵐　（渋々）「蹴られても痛くねえから！　蹴ってみろ！」って言ってさ、全然効かねえ（笑）。のしちゃったね。

——かぁ～、カッコいいでごわす。

嵐　そんな話はいいよ。真面目に取材しようよ。





（左）２代目嵐を名乗って、マスクマンとして活躍中の嵐。（下）さらには「敗者隅田川飛び込みマッチで、冬木に敗れ飛び込む嵐関。ある意味、早すぎたＦＭＷ路線と言おうか。絵ヅラだけならＷＷＦ並の衝撃度だ。最高！

酔っぱらって天龍さんとケンカしたこともある

——これも真面目な取材でごわす！　で、その決起軍解散の後、嵐関は全日を辞めるわけでごわすが、ギャンブルで辞めたとかいう噂があったばい。

嵐　あのね、オレがどっかで試合がある日に「後楽園の場外馬券場にいた」とか「府中競馬場にいた」とかさ、いろんな噂が流れたけど、冗談じゃないよ！　オレは競馬なんかしないから！

——ギャンブルはやらないんでごわすか。

嵐　競艇はやるけどね。近所だからさ。

——アハハハハ！

嵐　マージャンもね（笑）。たしかに、あの頃は頭も痛くて、首もケガして……プロレスを辞めようかなって思ってた時期だったんだよ。情けない話だけどね。

——嵐関の場合、あまりそういう事情がマスコミにクローズアップされることって少なかったばい。

嵐　あんまり評判はよくないよね。

——ＷＨＹ、なぜにでごわすか？

嵐　相撲上がりはマスコミ嫌いだからね。

——そうなんでごわすか!?

嵐　相撲ってマスコミに対して「あっち行け！」って感じだからね。プロレスに入って、びっくり

これからのプロレスは相撲化したら爆発するよ！

したのは「マスコミの人を何で、そんなに大事にするの？」ってことだったから。

——似てるようでいて、相撲とプロレスの体質は全然違うんでごわすな。

嵐　ああ、全然違うよぉ。



——嵐関は、この先の目標は何かお持ちでごわすか？

嵐　オレはもう38歳だしね、夢もなくはないけど、新日本に上がりたいとかっていうものじゃないからね。もちろん、この後もひと花咲かせたいよ。

——具体的にプランはあるっスか？

嵐　いろんなことを考えてはいるよ。面白いことをして、それでお客が喜ぶようなことが出来ればいいじゃない？

——どんなことでも客が喜べばOKっスか？

嵐　というよりも、ホントなら客のことなんか何も考えずに試合が出来て、それを喜んでもらえるのが一番良いと思うんだよ。相撲だってそうでしょ？

——入場時にパフォーマンスするのは水戸泉ぐらいばい。

嵐　客のことを考えて相撲を取ってるヤツなんかいないからね。もちろん、お客さんは大事なんだけど、エンターテイメントみたいなプロレスっていうのは、オレには無理だからね。



——ばってん、そんなことないでごわすよ。嵐関も隅田川に飛び込んだりしてたでごわしたな。

嵐　あの試合は負けると思ってなかったから（笑）。負けたら飛び込むって言っちゃった以上は男だからな。これは、べつに自己満足したいわけじゃないんだよ。そういうふうにしていかないと、これからプロレスは面白くなくなると思うんだよ。「客のことを考えて試合しろ」って若いヤツに言ったってわかりゃしねえよ（笑）。

——ようするに、プロレスが相撲化すればいちばんいいばい？

嵐　そう。相撲だよ。

——ただ、最近は相撲も客が入ってないみたいでごわす。プロレスが相撲化するのと逆に、相撲がプロレス化したら爆発するかもしれんばい。

嵐　そうだよ。

——これからの時代はエンターテイメント相撲ばい（笑）。それって、よく考えるとしょっきりでごわすなぁ。さ、そろそろ時間もないので本日、結びの一番をお願いするでごわす。

嵐　しょっきりでいいの？

——いやいや、「何でもあり」でお願いするでごわす。

まさか、タチ関があんなにあっさり転がされて負けるとは思わんかったでごわす。

しかし、あの試合で相撲幻想が終わったわけではござらん！　まだまだプロレス界にはゴキゲンで、豪快なスモウレスラーは多数おるでごわす。そんな素敵な人々がいる限り、八百長告発されようが『相撲多重アリバイ』は続くでごわすよ！

今後も、ワシはノンキでステキなスモウスピリットを持ったツワモノたちを追い続けるでごわす！

はぁ〜、どすこ〜い！　どすこい！

【1月27日江戸川区・居酒屋『首領』にて収録】



あらし■本名・高木功。昭和36年11月8日、大阪府守口市出身。卓越山のシコ名で大相撲の立田川部屋に在籍。十両まで昇進するが廃業して、全日本プロレスに入門。昭和62年3月31日、富山県魚津市総合体育館、vsハル園田戦でデビュー。当時、全日に吹き荒れた天龍革命によって、連日激しく攻められながらも、やられっぷりの良さで光りまくった。その後はSWSに参加。そしてPWC、SPWF、WAR、大日本プロレスを経て、現在はSPWFに在籍中。先日、PRIDE．GPに出場した大刀光とは超大型コンビ「チーム・コンボイ」を結成している。趣味は映画鑑賞（「特にタランティーノなんかいいね。腹を抱えて笑っちゃったよ」とのこと）で、洋画専門家と思ったら、好きな有名人は渥美清。かなりコワモテだが、実際はものすごくいい人である。

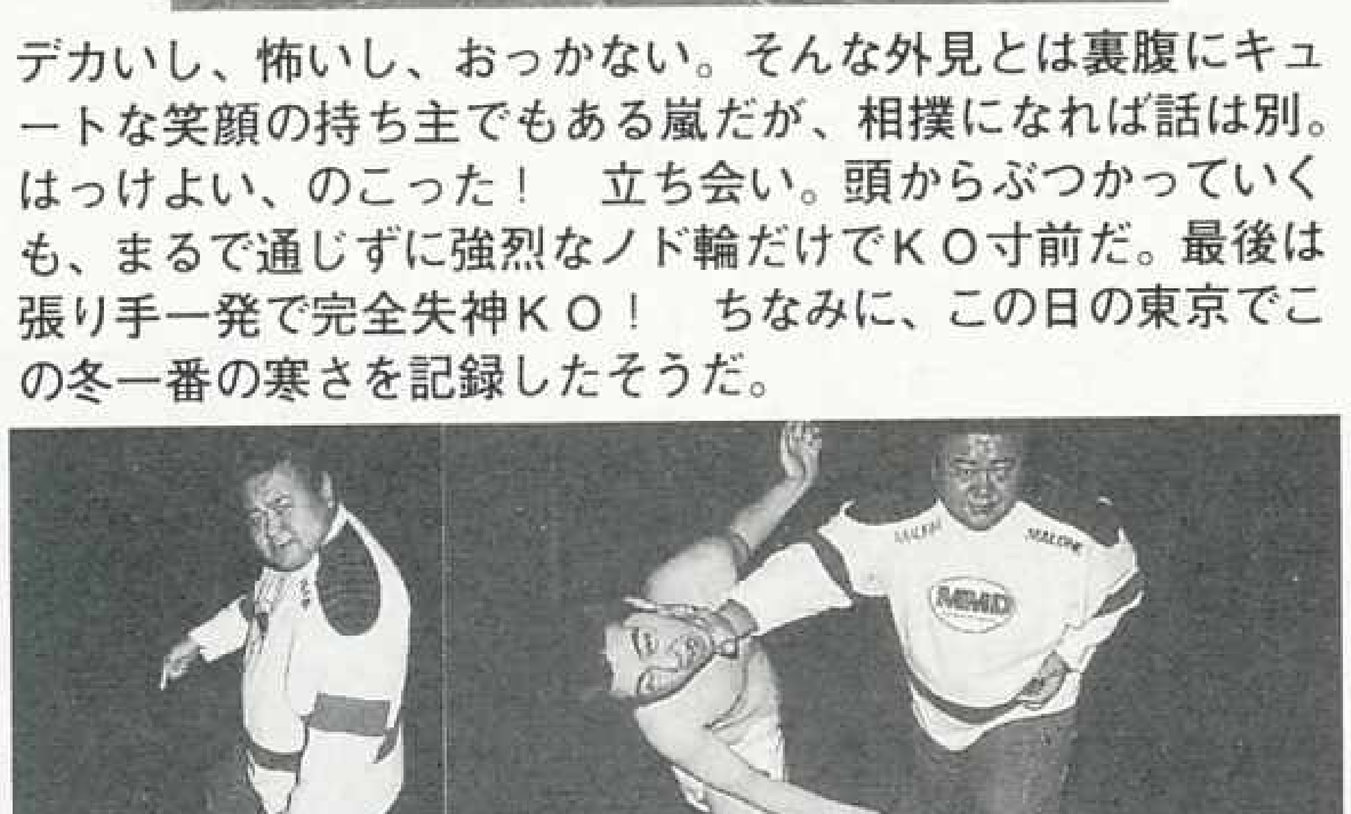
嵐から見た1・30 大刀光vsゲーリー・グッドリッジ



大刀光の試合直後、観戦に来ていた嵐関をキャッチしたでごわす。非常に渋い表情ばい。感想を尋ねると、「弱いから負けるんだよ」と吐き捨てるように一言。、ワシも何も言えなかったばい。この日、よっぽど納得がいかなかったのだろう、タチ関はコメントルームですぐさま再挑戦の意志を表明したでごわす。ばってん、それを聞いた嵐関は「いい加減にしろって！　相撲代表なんて言われてさ……そういうことは大きな顔で言わないでくれって」とこれまた厳しすぎる一言。まるで、高田が一回目にヒクソンに敗れたときに掛けた発言「よりによって一番弱いヤツが出ていった」と酷似していないだろうか？　猪木がプロレスを守ったように、嵐は相撲を守ったのだ！　先輩ならではのじつに厳しすぎる意見である。



デカいし、怖いし、おっかない。そんな外見とは裏腹にキュートな笑顔の持ち主でもある嵐だが、相撲になれば話は別。はっけよい、のこった！　立ち会い。頭からぶつかっていくも、まるで通じずに強烈なノド輪だけでKO寸前だ。最後は張り手一発で完全失神KO！　ちなみに、この日の東京でこの冬一番の寒さを記録したそうだ。



★★★プロレス&格闘技専門ビデオショップ★★★

チャンピオン
Champion
【広告のページです】

プロレスショップChampionには世界中の珍品が何でも揃ってます!

日本最大(推定)のプロレスショップ・Championでは、ブラジルやアメリカをはじめ世界中からさまざまなプロレス&格闘技グッズを入荷しているぞ! 日本でChampionしか扱っていない商品ばかり! さらに、今回もChampionが全面協力した業界初のプロレスコントビデオ『ブラジルから来た芸人』の主演&監督・青木竜象さんとビデオに出演しているプロレスラー?たち、そしてお馴染みのChampion東京店アルバイト・wDcがモデルとして登場だ! さあ、ここに載ってる商品が欲しくなったら、いますぐお店に走れ!

モデル:アントンさん

プロレス魂闘(コント)ビデオ『ブラジルから来た芸人』¥2500





某FM局でプロレス番組のDJとして活躍中のお笑い芸人・青木竜象さんが、プロレスコントだけで一本のビデオを作ったゾ! ターザン山本他、ゲストも多彩で見応えバッチリ! 必見!

モデル:リックさん

極悪Tシャツ
¥3000(サイズMorL)

パンクラスなどのリングで活躍中の和術慧舟會・高瀬大樹選手のオリジナルTシャツ。とにかくヒールな人に着てほしいものです。



モデル:チーズバーグさん

OBAKE半そでTシャツ
¥4000(サイズLのみ)



ゴールドバーグが着ていることでおなじみのオバケTシャツをChampionが日本独占入荷! いくつもバージョンがあるので要チェック!!

モデル:wDcさん

オーちゃんパーカー
¥6500
(ブラックorグレー、MorL)

闘魂コイン
¥525(金or銀or銅)



猪木グッズの新作も続々取り扱ってます! 猪木信者も、小川ファンも納得の品揃えでご満足いただけるはず!

モデル:wDcさん

新日キャップ
¥3500(ブラウンorカーキ)

OBAKEロングTシャツ
¥4500(LorXL)

オーちゃんフィギュア
¥1575(ブロンズorクリアー両バージョン)



新日関係のニューグッズも豊富! 特にオーちゃんと天龍源一郎のフィギュアはブロンズorクリアの両バージョンも発売中!(¥1575)

モデル:wDcさん

HUNTERキャップ ¥3800

ビバリーヒルズ柔術クラブTシャツ
¥3800(MorLorXL)

高田延彦フィギュア
¥2100(ブロンズorクリアー両バージョン)



総合格闘技方面ではすっかりおなじみの「HUNTER」ブランドあるぞ! ビバリーヒルズ柔術クラブのTシャツも大量に入荷中!

店がどんなに遠くても、笑いながら歩こうぜ! いつ何時、誰の注文でも受ける通販方法!

<グッズ通信販売>

チャンピオンには、ビデオを中心に、雑誌の最新号&バックナンバー、単行本、Tシャツ、フィギュア、テレカ、トレーディング・カード、マスク、選手のコスチュームなどなど、古今東西のありとあらゆるプロレスグッズが揃ってます!! もちろん『紙プロ』のバックナンバーもズラリとあります。さらに限定販売中の『紙プロ』Tシャツも、ここなら買える! プロレスファンよ、いますぐ来い!

通販を希望される方は住所・氏名・電話番号を明記の上、1電話・2ハガキ・3FAXいずれかの方法にてご注文ください。代金引換になりますので、代金+送料をお支払いください。入金確認後、商品を発送いたします。在庫がないものもありますので、TELにて確認の上お申し込みください。

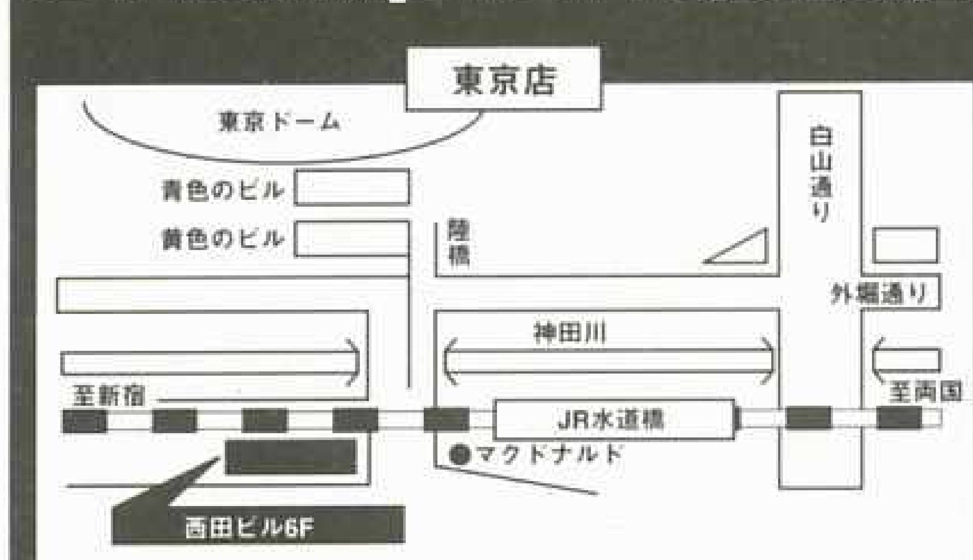
<ビデオのレンタル方法>

地方からも利用可能なチャンピオン独自の便利なビデオ・レンタルシステムの妙技を味わいやがれ!! レンタル方法は以下の3通り! どう借りるかは、あなたの都合に合わせてくれ!

1 店頭にてレンタル、店頭へのご返却
2 店頭にてレンタル、宅配便でのご返送
3 TEL・FAXにてご注文、往復宅配便レンタル

いずれかの方法で注文をお願いします! 東日本地区に住んでいる方は東京店で構いませんが、西日本地区の方は大阪店を利用してください。また、通信レンタル会員を希望される方は、400円切手を同封の上、住所、氏名、電話番号を必ず記入してChampionまで郵送してください。

Champion東京店



〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
TEL.03-3221-6237 FAX.03-3221-6267
営業時間 11:00~22:20(年中無休)

Champion大阪店



〒556-0011
大阪市浪速区難波中3-3-23桧ビル4F
TEL.06-6645-5186 FAX.06-6645-5187
営業時間 11:00~22:00(年中無休)

オフィシャルビデオランキング

こんな広告ばっかりだとビデオ・レンタルが本業だということが忘れられそうなので、人気のビデオ・ランキングをつけました。借りるときの参考にしてください!



1位『PRIDE.8』(発売 メディア・ファクトリー)
2位『踊るFMW大激戦!』(発売 東芝EMI)
3位『実録 ハヤブサ最後の日』(発売 東芝EMI)
4位『PRIDE.7』(発売 メディア・ファクトリー)
5位『FMW11・23横浜アリーナ大会 ジャッジメント・デイ』(発売 東芝EMI)

Championホームページアドレス:http://www.champion-j.com

西百重

interview 全日本女子プロレス

なんと!! バーリ・トゥード、そして歌手デビュー

ネオ・レディースの崩壊やJWPと全女の提携など、非常に不景気な話題が相次ぐ昨今の女子プロレス界。冬の時代真っ盛りである。大きな起爆剤が必要なのは間違いない。というわけで、いきなりだが断言します！　今回取り上げる中西百重は、ズバリ言って女子プロレス界の起爆剤です！

女子プロレスの枠の中でも超一級品のセンスの持ち主であると同時に、格闘技のセンスもズバ抜けている。実際、去年はアマレスやバーリ・トゥードにも挑戦！　結果こそ残せなかったが、その素材の良さは見せつけた。一方、全女の中継番組『格闘女神ATHENA』ではバカっぷり全開で視聴率アップに貢献し、今春にはつんくプロデュースで歌手デビューまで果たすのだ。中西は非常にパワフルな全方位対応型のプロフェッショナル・エンターテイナーである。

八方破れに見える中西の活動こそが今後の女子プロレス界の指針だと、ボクは思う。こんな時代やさかい、トコトンもがいて浮上していこうとする中西の欲に目を向けろ！

プロレスをやる上で〝勉強として〟格闘技をやるという感じです

――今日は、中西百重を誉め称えるインタビューなんですよ。

中西　ホンマですか⁉　ありがとうございますっ（笑）。

――男子プロレスラーでも、こんなに振り幅の広い選手はいないですからね。アマレスとプロレスの試合を同じ日にやって、バーリ・トゥード（以下、VT）もやって、歌まで歌っちゃうんですからね。

中西　ハハハハ！　変わり者みたいですね（笑）。

――どれも好きでやってるって感じなんですか？

中西　会社が話を持ってきてくれるんですけど、プロレスをやるにあたってプラスになると思ったから全部やりました。やっぱりプロレスに悪い影響があると思ったらやらないです。もともと、全部興味だけはあったんですけどね。

――プロレスの肥やしになることばっかりなんですね。

中西　そうです！　でも、まだどれも発展途上なんで。タマゴですよ。

――タマゴ（笑）。まだ、これからなんですね。たとえば、柔道とか空手でも、話があればやりますか。

中西　じゅ、じゅうどうっ⁉　う〜ん……もう、何でもやりますよ（笑）。いまは、VTの練習も、プロレスのトレーニングも、歌のレッスンも、やることがいっぱいですけど（笑）。

――それだけいろんなことをやってると、パニックにならないですか？

中西　でも、「プロレスのため」って考えれば、落ち着いて考えられますね。

――「プロレスより、こっちよりも面白そう」っていうことはないですか？

中西　アマレスは面白かったですね。ポイント制なんて、やったことなかったから新鮮でしたよ。

――中西さんのアマレスの試合は、ホントにセンスだけでやってるなっていう感じでしたね。タックルとバックを取るスピードは凄かったけど、逆にそれ以外の作戦がないから負けちゃった感じで。

中西　中途半端な技術で試合に出ちゃったからなぁ。今度アマレスの試合に出るときは、ちゃんと何カ月も練習して出たいですね。今回は、会社からいきなり話が来ましたからね（笑）。





中西の活動の幅広さは文句の付けようもありません！　女・アレクサンダー大塚の称号をボクが勝手に差し上げたい。

聞き手／坂井ノブ（亡霊）
interview by Nobu Sakai
撮影／古澤聖三
photographs by Seizo Furusawa



女子
こんな"振り幅"の大きいプロレスラーは見たことない!!

中

アマレス、バ

すね。たとえば、柔道とか空手でも、話が

したからね（笑）。

"ホントの強さ"を求めて、道場では試合でやらない技の練習してます

——確かに他の団体だったら、そんな状態では出さないでしょうからね（笑）。そのムチャさ加減は全女ならではですけど。中西さんは名門・代々木クラブでアマレスの練習をしてそうですね。

中西　ええ。山本聖子さんと同じところだったんですけど、あんまり練習では一緒にならなかったですね。

——こう言っちゃなんですけど、付け焼き刃であれだけの試合が出来るのは凄いですよね。身体能力の高さは光りまくってました。でも、たとえばアマレスとかVTで負けたときに、自分のプロレスラーとしての商品価値が下がるという心配はないですか？

中西　ないですね。プロレスもアマレスもVTもジャンルが違いますからね。ただ、たまたまアマレスの会場に来てた人が見て、「なんだ、弱いヤツだな」って思われたら嫌ですけど。ただ、「闘う」っていう意味では同じだと思うんで、勝ちたいですよね。

——中西さんの中では「プロレスが本業だ」っていう意識が大きいんですね。

中西　考え方としては2つあると思うんですよ。「プロレスラーだからこそ、格闘技でも勝たなくてはいけない」っていう考え方と、「プロレスをやる上で、勉強として格闘技をやる」っていう考え方。自分としては、後者ですよね。もちろん勝つことも大事だと思いますけど。

——去年はVT初挑戦でとんでもない試合をしたんですよね（Jd'の藪下めぐみ選手と対戦。藪下は社会人柔道の名門ミキハウスで鳴らした超実力者。目まぐるしく動き回る両者はお互いに譲らず。決着が付きそうにないので、時間無制限一本勝負がいきなり60分一本勝負になるという前代未聞のVTだった。その再戦が3月7日Jd'後楽園大会で行われる予定）。

中西　あの試合で引き分けたときは、確かに悔しかったんですよ。でも、すぐ吹っ切れて、あんまり落ち込まなかったですね。やっぱりプロレスがあるからかなぁ？

——まあ、プロレスとは意気込みが違ってくるとは思いますけど。60分動きっぱなしだったんでしょ？　凄いスタミナありますよね。

中西　でも、スタミナがなかったから勝てなかったわけですよ。

——なるほど。でも、「あと1時間やったら、中西が勝ってた」って全女公報の今井さんは言ってましたよ（笑）。

中西　自分もそう思います（笑）。

——全女の選手は2時間でも平気で動けそうですよね（笑）。VTで顔面を殴ったり、殴られたりすることは抵抗ないですか？

中西　ないですよ。普段から練習中でも張り手合戦してますからね。

——そんな練習までしてるんですか⁉

中西　普通ですよ（笑）。ウチらは、練習で激しいことやってると思います。試合よりも怖いですから（笑）。

——あの激しい全女の試合よりも激しい⁉

中西　コンクリートに薄いマットを敷いただけのリングで、ジャーマンとかやってますね（笑）。自然とそうなっちゃうんですよ。鼻血が出たり、口の中を切ったりなんて、いつものことですから。

——たとえば、全女は道場で練習するときはどういうことするんですか？

中西　試合でやることの練習も多いんですけど、試合でやらないことの練習も多いですよ。

——は？　試合でやらないこと？

中西　投げの打ち込みとか。

——柔道なんですか？

中西　主に投げ技と関節技ですね。そっちの練習の方が多い……まあ、半々ですね。何て言うんだろう……"ホントの強さ"を鍛えてるのかな。

——"ホントの強さ"！　いいですね！　あんまり女子プロレスは、そういう練習をやってないのかと思いましたけど。

中西　スパーリングも"ホントの強さ"を求めながらやってますよ。

——中西さんはスパーリングで、何が得意なんですか？

中西　変形一本背負いですね。

——試合でそんな技を使ってるのは、見たことないですね。

中西　そうですね。自分は小さいから、思いっきりしゃがんで相手の視界から消えたところでバランスを崩すんですよ。

——へぇ、見えないところで、ナイフを研いでるんですねぇ。

中西　別に試合で出すわけじゃないんですけどね。「あんまり意味ないんじゃないのかな」って思うこともありますけど、楽しいですよ（笑）。

——そういった練習がVTでも活きてるわけですからね。

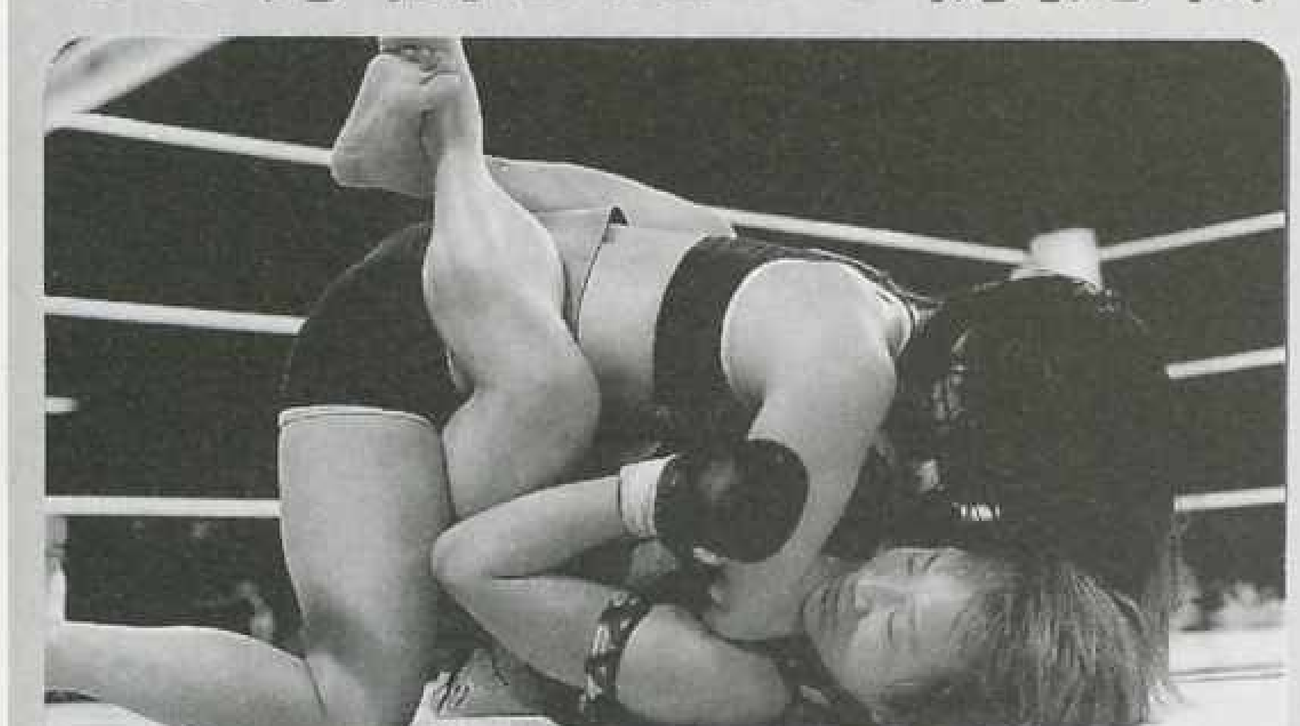
中西　そうですね。

——全女では誰が教えてるんですか？

中西　ボブ矢沢（松永四兄弟の健司氏の息子）コーチです。松永家の人は、いろいろ格闘技をやってるいたいなんで、強いですよ。

——そういうときには「女子プロレスラー

60分闘ったVT初挑戦

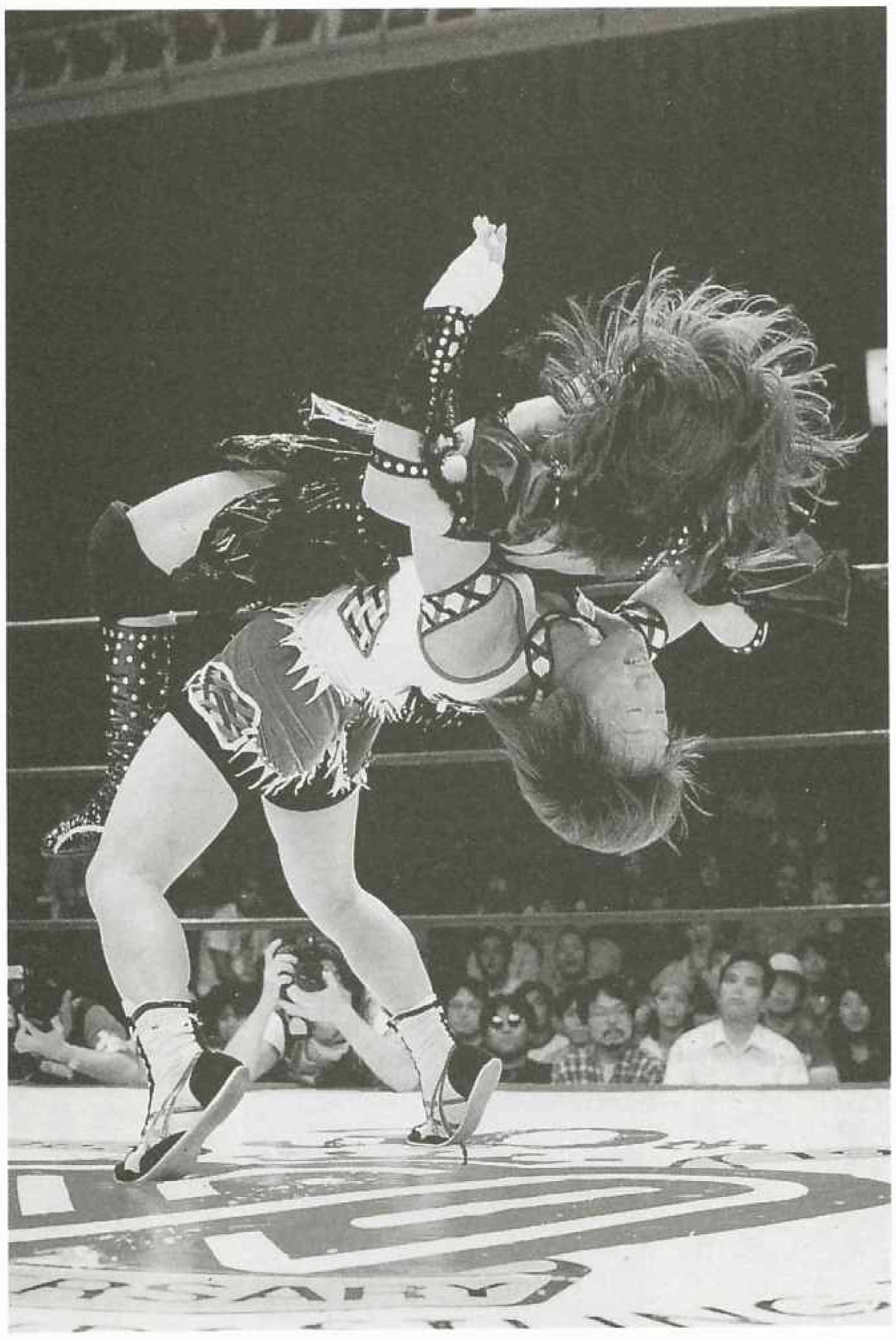


1999年6月13日、Jd'後楽園ホール大会で行われた中西百重vs藪下めぐみの一戦は時間無制限一本勝負で行われた。だが、お互いにいい体勢に入りながら、決め手に欠いたまま時間だけが過ぎていく。結局、40分を過ぎたあたりで異変を察知した両団体首脳が話し合い、急遽60分一本勝負に変更となった。中西はガードポジションや関節技の防御などで天性の柔軟性やパレストラ特訓の成果を発揮！　柔道のスペシャリストと互角に渡り合ってしまった！

12・22中西百重の最も長い1日



朝の10時からアマレスの大会に出場した中西。タックルやバックに回るスピードはただごとではなかったが、いかんせん技術を体得していなかったせいか、2試合とも敗退。これで夜はプロレスの試合もするんだから素晴らしいプロ根だ！



は強くなきゃいけないんだよ」みたいな訓示はあるんですか？

中西　言葉では言われないですけど、身体で思い知らされます（笑）。自分たちの世代から急に始まったんですけどね。だから、納見（佳容）なんか体重軽いですけど、強いですよ！　同じキャリアの選手なんかと闘ったら、凄いと思いますよ。一本背負いからの腕ひしぎは、凄い早いですよ。

——はぁ～。「こう見えても、強いんです」って感じですね（笑）。

中西　（脇澤）美穂も、もの凄い腕関節を極めますからね。足関節もマスターしてるんですよ。

——あのワッキーが！　変態アイドルでも、常に〝ホントの強さ〟を磨いてるんですねぇ。中西さんは、そういう極めっこは得意なんですか？

中西　ええ、好きですよ。まだまだ負けていられないですから（笑）。

——その中では、中西さんが一番強いわけですか？

中西　タップした記憶はないですね。

——凄い！（パチパチ）。

中西　まあ、自分たちの代とその下だけですけどね。「どうしたら勝てるんだろう？」ってみんな考えながらやってるから楽しいですよ。「危ない！」って思うことも、バンバンやってますからね。試合よりも怖いですよ。

——いい雰囲気ですね。

中西　でも、悩みはあるんですよ。

——そうなんですか？

中西　自分は「どうしても出来ない！　悔しい！」っていう思いをしたことがないんですよ。

——それ、いいですよね。つまりは天才ってことでしょう。

中西　いやいや。でも、自分としては悔しい思いをしたことがないと上には行けないと思うんですよ。

MOMOE NAKANISHI

——悔しい思いをしたことがないのが、悩みの種（笑）。出来ない人にしてみたら、やっかみの対象ですよね。

中西　そう言われたこともあります。

——贅沢な悩みですねぇ。

中西　きっと、これから辛い思いをするんでしょうね。脇澤なんか、新人時代は練習中に、いつもフラフラで、泣いて、ブッ倒れてましたからね。新生・全女になってからボォーンと上がっていきましたけど。辛いことのピークを新人時代に味わってましたからね。同期として見たら、そう思いますよ。



中西は、プロレス界で一番キレイなジャーマンの使い手と、もっぱらの評判。たしかに、このブリッジは凄すぎる！

——でも、中西さんは試合を見てて、いちばんうまいんじゃないかって思いますよ。

中西　でも、何でもこなせちゃうのもお客さんから見たら、面白くないですよね？　お客さんも、ウチら若手に〝頑張り〟を求めてるんだろうし。

——中西さんは、いろんなものが見え過ぎちゃってるんでしょうね（笑）。頭がいいんですよ、きっと。

中西　そ、そんなことないですよ（笑）。

——やっぱり全女は上の選手層が厚いですからね。しばらくは格闘技方面に専念してみるのもいいんじゃないですか？　最近、ウチの雑誌では女子プロレス界の枠に収まりきらずに、格闘技界に転身した人たちを連続でインタビューしてるんですけど、おもしろいですよ。

中西　えっ、そんな人いるんですか？

——元LLPWの八木淳子さんは、パチンコ屋で働きながらバーリ・トゥードのトレーニングをしてるんですよ。

中西　ええっ⁉　ホンマですか？

——以前、LLPWでレフェリーをやってた前田絵美（NO.22の渡辺千景）さんも、柔術の試合では無敗らしいですからね。

中西　はぁ……自分もそうなっちゃうのかな（笑）。

——いやいや、別にそうなってくださいって言ってるわけじゃないですよ（笑）。ただ、女子プロレスラーが女子プロレスだけをやってればいい時代じゃないと思うんです。ネオ・レディースとかJWPとか、女子プロレスの団体がどんどん窮地に追い込まれているのが現状ですからね。中西さんのやってることが、今後の女子プロレスの新しい道になりえるんじゃないかなと思うんですよ。

中西　う～ん……いまはプロレスを辞めるつもりは全然ないですけど、もしかりにプロレスを辞めたとしても、しばらくは何かスポーツやってると思います。自分の場合は、特に「アマレスに興味がある」とか「VTに興味がある」っていうよりも、「身体を動かすことに興味がある」って感じで身体を動かすのが好きなんです（笑）。

——身体を動かすこと（笑）。プロフィー

自分はいままで女子プロレスの枠の中だったけど「つんく」って聞いた途端に世界がブワッと広くなった

ルの趣味の欄には「逆立ちして遊ぶこと」って書いてありますけど。

中西　そうなんですよ。骨折してても、逆立ちしちゃうんですよ。

――へ？

中西　それぐらい、じっとしてられないんです。じつは、いまも受け身の練習だけはしてるんですよ（笑）。

――え～っ、足が折れてるのに!?　ホントにムチャクチャしてますねぇ（笑）。

中西　死ぬまで動き回ってるのかなぁって感じですね。死んでも動いてたりして（笑）。そんな調子だから、いろいろやっていきたいんですよね。昔から、とにかくスポーツ選手になりたかったです。小さい頃から器械体操やってたんですよ。大きくて試合には出れなかったんですけどね。

――中西さん、大きかったんですか？（現在、身長157センチ）。

中西　ええ、横に（笑）。やっぱり頭の中身はないですから！

――そんなことないでしょ。

中西　ホンマですよ！　身体を動かすしか能がないんです（笑）。小学校の頃から、体育以外はまったくダメだったんで。プロレスを辞めたとしても、頭を使う仕事は出来ないですね。ちょっと心配です（笑）。

――いや、プロレスラーはそういう人の方がいいですよ（笑）。で、話を戻しますけどその女子プロレスを辞めて格闘技をやってる人たちは、対戦相手がいなくて困ってるみたいなんですよ。そういった人たちと、全女の若手選手で試合が出来たら面白いんじゃないかなと思ったんですけど。

中西　ホンマですかぁ～？　練習試合じゃダメなんですかね？　コーチが何て言うかわからないですけど、私はいつでもやりますよ！　道場で（笑）。

――そのスパーリングは是非、見たいですね。

中西　自分たちもスパーリングをやるメンバーが5人しかいないから、いろんな人に参加して欲しいですよ！　やっぱり人数はいっぱいいた方がいいですから。

――そうですよね。いま、他団体から全女道場に出稽古に来てる人はいないんですか？

中西　いないですね。いつだったか、大日本の選手が来てたんですけど、2回来ただけで来なくなっちゃいましたね。もう、大日本にはいない選手ですけど。

――きっと全女が激しすぎるんですよ（笑）。ところで、中西さんは3・7のVTの試合（vs薮下めぐみ戦）に向けて、練習はしてるんですか？

中西　ええ、いまは骨折があるんで筋トレだけですけど。ただ、自分のケガで申し訳ないんですけど、延期3月7日のVTは延期してほしいってお願いしてるんですよ。

――えっ、そうなんですか？

中西　3月4日の横浜文体大会で復帰できるかどうかっていう状態なので。こんな状態では、相手に失礼ですからね。「次に闘うときは、お互い万全のときに」って、薮下さんとも話したんですよ。いまの状態で、薮下さんがよければ、やりますけど。

――VTの練習はどこかで出稽古してるんですよね？

中西　前にVTをやったときは、パレストラで練習させてもらってたんですよ。主にグランドでパンチを教わりました。

――『PRIDE』とかを見て、自分で技術を研究したりするんですか？

中西　あんまり興味ないですね……っていうか、『PRIDE』っていう名前も初めて聞きました。

――はぁ～、ホントに知らないわけですね（笑）。

中西　最近、出来たんですか？

――3年前です。男子プロレスラーが、そこでどんどんVTをやってるんですよ。

中西　そうなんですか!?　それは見たいなあ。

――実際に出てみたりは、どうですか？

中西　まだいいですね。来年あたりかな？　まあ、当面の目標はvs薮下戦になるでしょうけど。

――実績を積んでからというわけですね。

中西　いやいや、いまのところは歌です（笑）。

――ああ、その練習もあるのか（笑）。

中西　当面は歌とダンスの練習ですね。

――噂によると、若手の中では歌もいちばんうまいらしいですね。

中西　えっ!?　そんなことないです！　高橋奈苗が一番うまいですよ。自分は声が低いから出ないんですよ。

――高橋さんは体型もオペラ歌手みたいで声も出そうですね（笑）。シャ乱Qのつんくさんがプロデュースするそうですが、これは凄いですね！

中西　自分もビックリしましたよ。こんなに興奮したのは初めてですね（笑）。

――超売れっ子プロデューサーですから、いままでのプロレスラーの歌とはワケが違いますね。

中西　いままでは女子プロレスって枠の中にしかいなかったけど……「プロデューサーはつんく」って聞いた途端に世界がブワッと広くなった感じがしましたねぇ（遠い



レスリング娘。中西百重



目）。すごいプレッシャーもあります。

——これもある種の異種格闘技戦ですからね。

中西　プロデュースするユニットは、ほとんど売れてるわけですからね。それでいきなり女子プロレスの若手4人組ですよぉ。つんくさんも凄いと思います。失礼に当たらないように、いままで以上に気合いを入れて1ヶ月練習しますよ！　3月4日の横浜文体で、歌とダンスを披露するらしいんで。

——えっ、ちょっと待ってください。そうすると、ケガさえ完治すれば歌手デビューの3日後にVTするかもしれないんですか？

中西　そうなんですよぉ〜。この短期間で歌とVTですよ。まさに全女流（笑）。

——ムチャクチャですよね？

——全女らしいスケジュールですね（笑）。大丈夫なんですか？

中西　大丈夫でしょう（笑）。たぶん。

——何気なくそこにモーニング娘。のCDがそこに置いてありますけど。

中西　プロレスの練習しながら歌の練習もしてますよ（笑）。

——ひょっとしたら歌で大ブレイクしちゃう可能性もありますよね。

中西　プロレスで爆発したかったけど、チャンスですからね。プロデューサーが凄いんで、これで爆発できたらプロレスも上がっていくでしょう。

——爆発的に売れちゃったらどうします？

中西　どうしましょうね？　夢は紅白歌合戦出場！（笑）。

——どうせなら、モーニング娘。みたいに、ストーカーが出るぐらい売れちゃってください（笑）。

【1月27日、東京・全日本女子プロレス道場にて収録】

■インタビュー後記

締切間際にいくつか情報が入ってきたのでご紹介しよう。

やはり、中西の足首骨折の回復はかんばしくなく、3月7日に行われる予定だった中西vs薮下のバーリ・トゥード戦は結局6月13（火）日に延期されることとなった。因縁の決着戦だけに、お互いが体調万全のときに決着をつけるということになったようだ。

2月14日、つんくと全女4人娘との合同記者会見が行われ、いよいよ歌手プロジェクトも本格的に転がり始めた。久々に全女が本腰を入れて芸能活動に撃って出る!! 期待大だ!!

また、本文中でも話題にあがったが、本誌がここ最近取り上げてきたプロレス出身の女子格闘家たちと中西たち女子プロレスラーの試合や交流などが実現したら、じつに面白そうだ。上がるリングのない女子格闘家を取り込める懐の深さがあるのは、全女しかないだろう。アマチュアでもビジュアル的には申し分ない選手は、モーニング娘。方式で『キッスの世界』入りしてみるのも面白い……などと無責任に妄想ばっかり書いてると、「私は女子プロレスのことを理解できないにもかかわらず……」などという謝罪文を書くハメになりそうなので、このへんにしときます。

中西を始めとする若手の台頭とともに、老舗・全女が息を吹き返している。世間で大ブレイクするのも夢じゃなくなってきた。偏差値40からの大学受験じゃないが、借金30億円からの一攫千金！　夢があるなぁ。



なかにし・ももえ■昭和55年7月7日、大阪府藤井寺市出身。平成8年7月14日、東京・後楽園ホール大会で同期の高橋奈苗を相手にデビュー。女子では珍しい栗栖正伸トレーニングジム出身で、試合を見た人は誰もがその素材を認める逸材だ！　骨折の調子はどう？

プロデューサーにつんく（シャ乱Q）を迎え、全女の元気な若手4人衆が歌手デビュー
中西百重、脇澤美穂、納見佳容、高橋奈苗が『キッスの世界』として活動開始！

いよいよ全女とフジテレビが若手の売りだしに本腰を入れてきた！　モーニング娘。や太陽とシスコムーンのプロデューサーとして飛ぶ鳥も落とす勢いのつんく。今回のコンセプトは「たくましい姿はリング上で見せてもらって、今回のCDではしおらしい部分や女らしい部分を出せればと思います」というだけあって、衣裳も全員ミニスカート。う〜ん、やっぱり二の腕や太ももは力強いがですが、それもまたよし。



太ももや二の腕以上に目を引きそうな、このユニット名について、つんくはこう語る。「『キッスの世界』というユニット名の由来は、リング上の力強いイメージとは異なるものを出したいということで、まず『キッス』という軽い語感の単語を選びました」とのこと。モーニング娘。のテーマは「かっこいい」、太陽とシスコムーンが「ブサイク」ということだったが、「かわいい」&「セクシー」をアピールしてほしい。

選手もひとりひとり抱負を語ったが「プロレスラーなんで、プロらしく頑張ります！」と元気いっぱいに言い切った中西。他人に元気を与える中西は、やっぱりプロ！

全女の主要スケジュール

3月4日（土）
神奈川・横浜文化体育館（17:00）
★『キッスの世界』初お披露目！　必見だ！

3月12日（日）
東京・後楽園ホール（12:00）

5月24日（水）
『キッスの世界』CD発売！

お問い合せは全日本女子プロレスまで
TEL.
03-3493-6541

Jd'主催大会

6月13日（火）
東京・後楽園ホール（19:00）
★格闘技戦　中西百重vs薮下めぐみ

椎名基樹 & せき詩郎の

ザ・検証 プロレス点と線

見てきました。聞いてきました。感じてきましたプライド・グランプリ！　最高だったよ、大刀光！　そんなに悪くねえよ。打撃もベラボーに怖がってるように見えなかったし。1年練習したら勝てるよ（多分）。でもだったら、サポートしてやれよ、谷津社長。ってゆうかセコンドくらい付いてやれよ。大刀光、マウスピースの作り方もわかってなかったじゃん。カワイソー。強いんだろ？　言うだけ番長。「冷たいヤツ」ですよ。では、検証始め！

ザ・検証

【今月の検証①】ゴッチホンとは何か？ by せき詩郎

～ブッチホンを超えたものがゴッチホン

昨年の流行語大賞に選ばれた言葉、『リベンジ』、『雑草魂』、そして『ブッチホン』。

リベンジ。確かにこの言葉は流行った。この言葉の由来はもちろん維震軍。維震軍解散後、本隊に戻った越中と、ヒール道を突き進む後藤&小原。越中は健介とタッグを組み、IWGPタッグのベルトを巻く。それに犬軍団が挑戦。そして犬軍団は見事ベルトを奪い取る。もちろん越中はリマッチを要求。復讐、そう、リベンジだ。この一連の流れがこの流行語を生み出したのだ。

次に、雑草魂。これもまた流行った。この言葉もまた維震軍が語源である。中学、高校と野球&ビートルズ一筋の越中が、プロレス界へ。越中は紆余曲折しながらも、新日が興行的に苦しいとき、あるいはマッチメイクに困ったときに、その存在感で助け、新日を救ってきた。格闘技経験の無かった少年が、IWGPにも何度か挑戦できるほどの（勝敗は別問題）位置へと登りつめたのだ。確かに雑草だが、雑草にしか持っていないものがある。それをこの越中のサクセスストーリーに感じないわけが無い。ここから生まれた言葉、それが『雑草魂』なのである。

そして最後の『ブッチホン』。別名、権力のイタズラ電話。いまさら説明は不要と思うが、ブッチホンとは小渕総理が、時の人や話題の人、有名人に「小渕ですけど……」と突然電話をかけ、相手の驚きっぷりを楽しむ、まるでショートドッキリのような行為のことである。維震軍が解散したときにも、労いの電話をかけたかどうかは知らないが、最近のブッチホンと言えば、腹話術師のいっこく堂にかけたものが有名であろう。

その時いっこく堂は留守であったのだが、個人事務所に「こちら小渕恵三事務所ですが、お電話ください」という留守電が入っていたらしい。総理の意図通り驚いた妻でマネジャーの薫子さんが首相の事務所に電話すると、「小渕がいっこく堂さんのビデオを過去のものも含めて購入したいと申しておりますが、可能でしょうか」という問い合わせだったらしい。薫子さんが「沖縄サミットに向けてですか？」と尋ねると、「そうですね」という答えが帰ってきた。小渕総理は、いっこく堂が沖縄県出身であることを知り、沖縄サミットの関連イベントへの出演を考えて、彼の人気ぶりをビデオを通じて知りたかったようなのだ。

この原稿を書いている時点で、総理は国会紛糾で窮地に立たされているが、人気回復には、有名人&芸能人が頼みの綱なのであろう。また7月の主要国首脳会議（沖縄サミット）は是非とも成功させたい、そんな意気込みも伝わってくる。

この『ブッチホン』に似た言葉、それが今回検証する『ゴッチホン』である。『ブッチホン』がオ“ブチ”氏からの電話であるなら、『ゴッチホン』はカール・“ゴッチ”氏からの電話である。

『プロレススーパースター列伝』を読んだことのある読者ならご存知であると思うが、ゴッチホンの歴史はブッチホン以上に長く、その始まりは猪木の新日旗揚げの頃にまでさかのぼる。その一場面を載せてあるので参照して欲しいが、ゴッチが猪木に電話する場面があるのだ。ゴッチは電話で猪木に他の外人レスラーがこぞって新日旗揚げ戦に不参加の中、ゴッチが参加を告げるのだ。入れ墨にしてもいいくらいの名セリフ「それともカール・ゴッチは超大物ではないかな？」をクールに言い、猪木を泣かせる。



そう、ゴッチホンには感動がある。ブッチホンが電話をするという行為で終わっているのに対し、『ゴッチホン』は電話をして、かつ電話をかけた相手の所へと出向くというオマケがついているのだ。このオマケ大きい。このオマケが大の男を泣かせる。ブッチホンなどもはや足元にも及ばない。

つまり、ゴッチホンはブッチホン以上なのである。ブッチホンを超えたものがゴッチホンなのである。であるから、考えを思いっきり飛躍させるならば、ゴッチホンはブッチホンより流行る潜在能力を秘めているのだ。もはや今年の流行語大賞は決まったようなものだ。「2000年流行語大賞“ゴッチホン”」の見出しが目に浮かぶ。街行く若者達も「かなりのゴッチホンモード入ってるよ」「それって超ゴッチホンもいいとこだよ」「将来の夢は宇宙飛行士でゴッチホン（語尾が、ゴッチホン！）」「セックス、ドラッグ、ゴッチホン」などの会話が……!?　そんなに流行ってしまったのならば、ゴッチホンがいつ、何時、あなたのところにかかってきてもおかしくはない。それはあなたが合コンをセッティングしたが人数が集まらないときかもしれない（人数合わせで“超大物”ゴッチが参加する）。またはテレクラで電話を待っているときかもしれない（待ち合わせ場所に“超大物”ゴッチがやってくる）。そしていつかはブッチホンの小渕総理のところにもゴッチから電話がくるかもしれないのだ……。

――参謀役だった野中広務氏との別れ（ON砲解散）により、一匹狼となった小渕総理。しかしそんな総理にも若手がついてきてくれた。そして沖縄でのサミット開催（興行）をぶちあげた！

小渕「沖縄出身のタレントをジャンジャン呼んで、凄いサミットをやり、内容で国民を引きつけるぞ！」と鼻息も荒い。

そこにフロリダのカール・ゴッチから電話が。総理はゴッチにサミットへ呼ぶタレントの交渉をお願いしていたのだ。

小渕「ハロー、ゴッチさん！　で、どんな顔ぶれの大物タレントをよこしてくれますか？」

しかし、陽気な総理とは対照的なゴッチの口調。

小渕「ウ～～ヌ!!　別の派閥のワル幹部どもがタレントたちに手をまわし、圧力をかけたな！」

ゴッチ「どうやらそのようだが、感情的になったら負けだぞ、オブチ」

うなだれる総理に向かって、ゴッチは続けた。

ゴッチ「沖縄サミットは立派にやれる！　一人の超大物タレントが沖縄サミットに行くからな」

意外なゴッチの言葉に、総理は思わず聞き返した！

小渕「そ、その、超大物とは!?」

ゴッチ「私だよ。それともカール・ゴッチは超大物ではないかな？」

……総理は泣いた。ゴッチの優しさに、ただただ男泣きした。

『あのときの感動は一生忘れない！「神様」カール・ゴッチが来てくれる、もう他のサミットには参加できなくなるのを覚悟で!!』（小渕総理談）

検証

【今月の検証②】by 椎名基樹

ロピィロフ選手に

中村雅俊風 ○

天山風 △

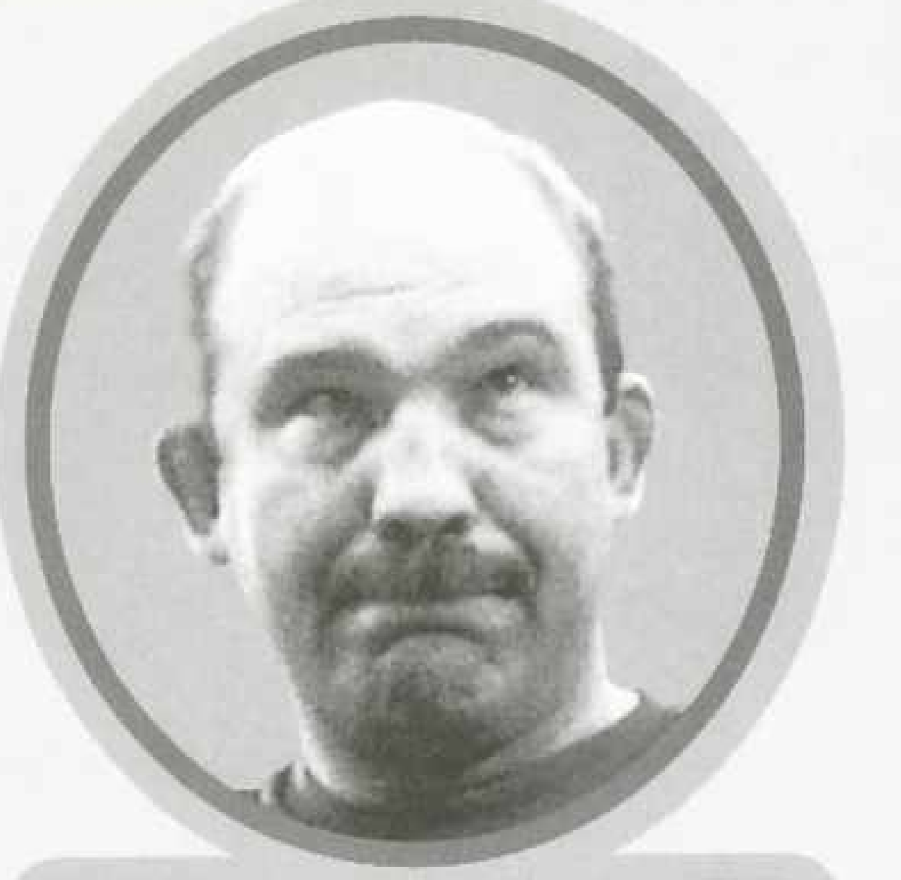
ドン・レオ・ジョナサン風 △

ロックンロール・エキスプレス風 ○

ザ・検証

【今月の検証②】by 椎名基樹

コピィロフ選手に似合う髪型を考える



アンドレイ・コピィロフ選手

◎＝大変似合う　○＝似合う
△＝まあまあ　X＝似合わない

東山風



さすがに、サウナの住人には爽やかすぎ。アジア独特二枚目ヘアー。

X

マッシュルーム



ビートルズ第５のメンバー登場。どうする越中!?

△

中村雅俊風



自分探しの旅に出た、コピィロフ先生

○

すもう



当ページ担当のスモー・ノブのダメっぷりは、私（椎名）も認めます。『語ろう・坂井ノブ』司会スモー・ノブってのはどうでしょう！　編集長！

◎

マキ上田風



こうした古い60年代後期～70年代初期の髪型が似合う、コピィロフ先生

○

健介風



レスラーの髪型の究極形（マイナス方向に）。以外と似合ってる。全日ハンセンと組んでフォールされ役レスラー

○

天山風



タイトン？

△

ルミナ風



6秒殺の男を８秒殺の男が真似た!? そしたら、親友のザザになっちゃった!?

◎

尊師風



うわ～っ！　奇跡起こしそう！

◎

アニマル風



たけし軍団最年長

X

ドン・レオ・ジョナサン風



男性的な自分を演出

△

船木風



ヤッター！　あんなに広かった額が、こんなに狭くなったよ！

○

タモリ風



格闘タモリ……

○

鈴木みのる風



鈴木みのる大好き！　最高！

◎

ロックンロール・エキスプレス風



リッキーフジとタッグ結成!?

○

ベイダー風



全日会場で売ってる、ベイダーマスク欲しい……

○

どうなるんだよ、26日KOKトーナメント。ついにやるのか、田村vsヘンゾ。応援するぜ、声枯らせてよ～。パトスミ戦以来の大声張り上げまっせ～！　勝ち負けなんて関係ねえ。思いっきりやって下さい。

そして、田村同様声枯らせて応援したい男がいる。そう、コピィロフ。お前だお前、この色男。この色男が優勝した日にゃあ、痛快この上ないね。何せ見かけは、正真正銘サウナの住人、パ・リーグ在籍、元維震軍。この男が一番強いだなんて漫画家じゃあ思いつきませんよ。

しかし、こうも考える。もし、コピィロフがあの体型じゃなかったら？　いや、100歩譲ってハゲていなかったら……。カリスマ的な格闘家になったかもしれない……。そんな疑問を確かめるため、コピィロフ先生に似合う髪型を検証してみた。君はどのコピィロフが好き？

今月の検証結果

やっぱり、ありのままのコピィロフが好き♡

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨てててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

書評の星座

PART2



『クロスゲーム』の後書きに続いて、『SRX・DX』でShow氏がまたも逆ギレ。「裏テーマがどうこう後から言う前に、表のテーマをキッチリ伝えろ」というボクの主張に対して「このアホ、ボケ、カス！ 裏テーマは●●なんだよ！ そんなことを書く暇があったら大仁田vsエンセン（企画・吉田豪、司会・チョロ）の対談をもっと上手く仕切れ！」と言い返されたら、もう完敗と言うしかないのである。彼氏、ノイローゼ？ そんな「その他大勢」の手による書評コーナー。

「プライド」の野望

（監修・百瀬博教、編集・Free&Easy／扶桑社）

元バウンサーの百瀬さん監修でターザン山本vsサダハルンバ谷川対談も収録という、あからさまに『SRS・DX』色濃厚なプライド煽り本。

技術解説コーナーに登場するのがシド・ヴィシャス&ボブ・マーリーのイラストだったり、選手や関係者の口調がエンセンばりに「●●ヨ」「●●ネ」で統一されてたりと随所に不思議な電波を感じさせてくれるが、基本的には徹底したPRIDE絶対主義をアピールしまくる一冊なのであった。

たとえば、常連のサクやアレクを**「従来のプロレスでは、それまでメインを張れないファイターであった」**とズバリ言い切りつつ（2人とも張ってる）、ゲストのオーちゃんやヒクソンは**「ファンは闘う相手を選ぶような男は、その時点でファイター失格という判定を下す」**と断罪。

それでも最も電波系だと思えるのは、やっぱりターザンが暴走しまくる座談会なのであった。

もはや『SRS・DX』座談会を凌ぐ暴走っぷりで、まずは**「山ごもりなんていう神話も崩壊しちゃいましたよね。僕は取材に行きましたけど、よくよく考えれば結構いい別荘与えられて、料理人までいましたから（笑）。『あれは全部PRIDEの人がお金出してたんだ』とか『ファーストクラスに乗ってたな』とか」**と、いまになって谷川さんがヒクソン神話の裏側を暴露開始！

それに続いてターザンが**「我々をナメてる！ ナメきってる奴は殺すしかない！ 昔だったら俺、テロして殺してますよ！ これが幕末時代だったら許さないよぉ」**とヒクソン相手にキレまくるから、とにかく尋常じゃないのである。

幕末のやり方を現代に持ち込むのはどうかと思うが、落武者だからしょうがない。相手も侍だし。挙げ句の果てにターザンは、不屈の落武者イズムでこうも言い切ってみせるのであった。

「PRIDEは全プロレス団体に招待状を出すべきだと思う。リングスの田村が本当に強いのか確かめないと。出なかったとしたら『リングスはエンターテイメントなんですね』と言い切るしかない。FMWにも招待状を出すべきだと思う。で、『関係ありません、エンターテイメントだから』と言い切ればいい。言い切ったらオレは許す。言い切らなかったら負けとみなす！」

なぜ田村がKOKで勝っただけでは許されないのか？ そもそも、なぜターザンが勝手に選手を許したり負けとみなしたりするのか？

もはやボクにはサッパリわからないが、これも対談時に食事やお車代などを「ごっつぁん」してくれたスポンサーへの過剰なサービス発言に過ぎないことは、前号の本誌座談会を読んだ読者の方々にはきっとわかっていただけることだろう。だからボクは許す。

ついでに言えば、ここには今回のPRIDE・GPで「何もできずにあっさり負けた」と批判された高田延彦や佐竹雅昭、そして「観客の神経を逆撫でするマイクに腹が立った」と批判された森下社長のイイ話もたっぷり詰まっているので、その3人についても断じて許せる次第なのだ。

たとえば**「有能でキレる、クールなイベント・クリエイター」**という森下社長の場合。

ああ見えて彼氏、実は**「学生時代、追っかけをやるほどハウンドドックのファン」**であり、**「バンドから発散する熱に打たれ、人間が集まってひとつのものを懸命になって創り出すことの素晴らしさ」**を知ったため、やがて**「作り手として、PRIDEのリングにその純粋な『熱』を起こしたい」**と思うようになったというのである！

そんな夢のリングに登場した佐竹も、**「オレが（K-1を）脱退したとたんに、リングスの前田さんも『試合に出てくれ』、PRIDEも来てくれ、パンクラスも来てくれ、新日も来てくれ、FMWも来てくれと言ってくれた」**と、新生FMWからお呼びがかかっていたことを告白！ あぁ見えて彼氏も、ウィリー・ウィリアムスとの再戦、もしくはウィリー高山やパスカとの異種格闘技戦が計画されていたほどの男だったのだ。

さらにPRIDEの暫定エース格・高田に至っては、「最強」ではなくてもとりあえず「最高」ではあると自信を持ってオススメできるほどの素晴らしさなのである。いや、本当に。

なにしろグレイシー一族と並ぶオイシさをたっぷり味わっているためなのかは知らないが、**「（PRIDEに）出ない選手については、まぁ、いろんなしがらみもあるんだろうけど、こんな『オイシイ』ところになんで出てこないのか」**と、えらい素直な心境をいきなり告白。

紙に適当な言葉を書けと言われれば、迷わず**「こう見えてもバンビちゃん」「二日酔い、12／25現在」「道場するなら金をくれ」「ホイスをホウキでホイスァッスァ」「ついにホイスとデート実現。ドームで6時半待ち合わせ」「1月30日、結婚記念日」**などの名文句や、森下社長名義の領収書、そして自分だけシードで一戦もしないで優勝する独自のトーナメント表を書き殴るから、いちいちセンス抜群なのである（格闘センスは除く）。

PRIDEに拘わる人材に外れなし！

そう痛感させられたところで、近頃は水素をエネルギーにするべく燃えている闘魂・アントニオ猪木の発言を最後に引用して話を終えるとしよう。

ここでもやっぱり、期待通りに**「豆腐パンを売りたいという人がいるんです。ビタミン剤などのカプセルものはどこか人工的じゃないですか。自然でいいナ、と思いましてネ。ビジネスをお手伝いしようかと……」**だの**「いまは、磁気のエネルギーに注目しているんです」**だのと、格闘技とは無縁の巨大な野望しか語っちゃいない猪木。

そんなことに比べたら、一部団体のマルチ商法関与疑惑なんてものは屁でもないのである。

格闘技スカウティングレポート2000

（近藤隆夫／ぴいぷる社）



佐野直（国際プロレス・プロモーション）似の顔がたまらなく魅力的な近藤隆夫君の代表作に、続編が登場！ 前回の版元・ぶんか社から何ランクか下がってぴいぷる社（字面は似てる）からのリリースとなったが、他社からまったく同じ作りの本を当たり前のようにリリースする見事なビッグハートぶりには、ただもう敬服するばかりである。

同時に、格闘技の語り部として重宝されてきた作家が「格闘技については、まったく理解できないにもかかわらず、好き勝手な発言により、格闘家の皆様の精神を害した」などと反省しがちな昨今にあって、選手の技術や実績を主観だけで数値化してみせる姿勢にも、敬服するしかないだろう。

こういう本を執筆することには詫び状程度では済まないほどの巨大なリスクを伴いかねないことを、著者が果たして気付いているのか否か。

それでも多少は気付いているのか、マルコ・ファス戦の解説で「2ラウンド目はないと思っていたので大健闘」などの失言でしくじったためとは思うが、前回は名前すら登場していなかったアレクに対してかなり気を使った表現をしている様子だけはうかがえるのであった。

大和魂で勝つ！

エンセン井上オフィシャル・ブック（メディアグローブ）

「大丈夫、相手はプロレスラー（新格闘プロレスの茂田信吾！）だから」という佐山聡の悪魔のささやきによって、衝撃の修斗秒殺デビューを果たしたエンセン初の単行本（技術書寄り）。

思えば、これまで本誌でもエンセンのタチの悪すぎる悪戯は何度も紹介されてきたわけだが、ボクに言わせればそれこそ佐山イズムなのである。

ゆえに、この本で**「佐山さんは寝技ほとんど知らない」**と暴露し、**「みんなPRIDEの試合で何百万ももらって（試合時間が）25秒とかいうけど、そういうこと言う人は私の2か月前からついてきてって言いたい」**と憤慨しつつ**「今のペースだったら2年後、3年後には家が建ってるよ」**と言い切る素直な姿勢も、まさに佐山イズムそのもの！



ついでに、会ってみたい人が西田ひかる（ハワイ繋がり？）という単純なスケベ心には前田イズムすら感じさせるわけなのだ。井上、男だよ！

そう考えれば、本書になぜか新生UWFの語り部だった二宮清純が登場していることもきっと誰にでも頷けるはず。彼がUWF本のタイトルに使ったジョルジュ・サンドの言葉**「闘いか、しからずんば死」**を扉で引用（別名・使い回し）するのも、要するにそういうことでしかないのだ。

なお、エンセンvs二宮清純の対談に2人で睨み合う写真を入れ込む構成っぷりも、驚くばかりの素晴らしさ。取材・文として近藤隆夫君の名前がクレジットされているのは伊達じゃないのであった。

カラダ改造・格闘技トレーニング

（永岡書店）

これまた非常によく動く近藤隆夫君仕事ゆえ、元プリプリ・富田京子などのどこかで見た面子が並んだ、完全実用主義の肉体改造&技術書。

そういうことはやっぱり**「最強の格闘家から学べ！」**ということで、プロレス～総合系ではルチャT着用の船木にエンセン、そしてなぜかキャンディ奥津（最強？ それに格闘家？）までもが講師陣として登場しているんだが、『紙プロ』的に最も重要なのは言うまでもなく**「安生流・ストリートファイトに備えるセルフディフェンス」**となる本当に真意の図りかねるコーナーなのであった。

なにしろ**「リング以外の場所でのファイトが印象的なせいなのか、どうもストリートファイトのイメージがつきまとう」**割にディフェンスの印象は薄い安生に、背後から襲われた場合（ちなみに「後ろから殴られた場合」というシチュエーションはなし）などの対処法を教わろうというのだから、もはやあまりにとんでもなさすぎ。

おそらくこの充血した目を見る限り前田襲撃直前に取材したのだろうが、それをこうして掲載するのは物騒にも程があるわけなのだ。

グレイシーに道場破りを仕掛けたり前田を襲撃してきた過去もすっかり忘れたのか、**「口で終わらせられるケンカなら、口で終わらせた方がいい」「ケンカはしない方がいい」**と読者に対して道徳的極まりないアドバイスを送る安生。

どうにも話が違う気もするんだが、**「安生流ケンカ5ヶ条」**によると**「男にはやらねばならぬ時がある」**（その4）とのこと。

つまり、やむにやまれず**「状況を見る目を養え」**（その5）というモットーに従っ



てヒクソンや前田相手にストリートファイトを実行へと移した結果、**「自ら売るな社会の恥」**（その3）となってしまったのであった。安生オチ上手すぎ。

パーフェクト！ハイブリッド肉体改造法2

（船木誠勝／ベースボール・マガジン社）



なんと**「外資系調査会社、新聞社報道記者を経てフリーのスポーツライター」**となった安田拡了記者（ちなみに、裏情報によると風俗ライターでもあったらしい）の編集による、大ベストセラー待望の第2弾。

あの本が売れすぎたためにいつしかパンクラスとの繋がりが濃密になり、記事に偏りが出るようになっただのとかく世間で批判されがちなヤスカクおじさんだが、ボクに言わせればどんな原稿であろうとも偏ってなきゃ面白くもなんともない。

だからこそ、**「誰でもどこでもいつでもできる」**肉体改造法を派手な偏りもなく淡々と伝えるこの本は、前回の船木によるステロイド・カミングアウトのようなわかりやすい引きもないため、これまでの作品と比べるとバランスが取れすぎていて正直ボクにとってはイマイチなのであった。

まあ、それでもヤスカクおじさんが人間モルモットとして1か月半で10キロの減量に成功した後で行った巻末対談だけは、さすがに話が別。

前田に限らずパンクラスを宗教的だと批判する人が多いことも一切気にすることなく、**「船木さんはさすがだな、見てなくてもわかるんだな」**と奇跡を手放しで絶賛し、**「船木さんは神様です（笑）」**で対談を締める。そういう偏りまくったヤスカクおじさんが、ボクは大好きなのである。

熱闘！プロレスクラシック

（フレット増井／イカロス出版）



雑誌『プロレスの達人』などに執筆しているというファン歴20年の全日派な著者が、**「ハイスパート・レスリングよりもチェス・ゲームのような試合が観たい」**とひたすら主張しまくる一冊。

気持ちはわかるが、ドロドロした人間ドラマ的な部分ではなく技やスタイルに注目して、**「スタミナを温存するために試合の前半をじっくりとしたレスリングで構成すべき」**とアドバイスしたり、**「足なら攻めるのは左足から、腕も左腕から攻めます。ルチャ・リブレは右手が必ず前にくるけれど、アメリカン・プロレスでは左手が前にきます」**（カブキ・談）という発言を載せたりする部分に、良くも悪くも「プロレス研究会イズム」が感じられてしまうのであった。

つまり、**「K-1はあくまでもキック・ボクシングであり、アルティメットはただのケンカだ。プロレスとはまったく違うものであることを認識してほしい」**というプロレス愛に溢れた発言にしても、気持ちはわかるが熱くなりすぎ。

しかし、誰がモデルかもわからないイラストのセンス（図版参照。ちなみに左はミスター空中ではなくゴッチ先生！）と、インタビューで登場するのがアニマル浜口とグレート・カブキ、それに菊池孝先生という地味なことこの上ない異常なクラシカルさは、文句なしなのである。



浜口はいつも通りだし、カブキの**「今のハイスパートというのは思いつきだけで、何も計算されていない」**という憤慨ぶりもいいんだが、なにより抜群なのは昭和のプロレス記者・菊池先生の喧嘩腰っぷり！

なにしろ、いきなり**「力さんは、プロレスをそういった真剣勝負だと受け取られないように、最初にシャープ兄弟を呼んだ」**と物騒極まりない告白を始めたかと思えば、**「ハンセンが最初からスパートをかけるというのは、ブキッチョだからです。自分で試合を組み立てられない。長州も同じです」**と、新日の現場監督を容赦なく断罪開始！



さらに**「本当の意味のハイスパパというのは、最後にフォールを取りにいくために、激しくたたみ込むことをいったんですよ」**と物騒な隠語の説明までしたかと思えば、**「（Uスタイルは）真剣勝負というより、私に言わせれば『真剣勝負風』です」**とUWFまで容赦なく全面否定してしまうのだ！

結局、菊池先生もターザン山本に匹敵するマスコミ界のノー・フィアーだったわけなのである。

全日本プロレス2000年鑑

（BABジャパン）

データ中心の無難な原稿で埋められた、いわば『プロレスの達人』全日本特集・ワイド版。ゆえに、**「シュート」**などの単語が踊る中田潤先生の原稿がズバ抜けて面白いのは当たり前だろう。

個人的には、中田潤先生が**「パンクロックの嵐が吹き荒れていたあの時期、私はやっとそれなりの音が出せるバンドを組み、小さなライブハウスで数千円の金を得ることができたり、自主制作でレコードを出そうとしたり——そういうことに明け暮れていた」**と、遂に元イル・ボーン（トランス・レコード所属）としての一面を覗かせてくれたのがツボに入りまくったのだが、それでも昭和のプロレス記者・ビッグ2にだけはやっぱり適わないようなのであった。



なにしろ菊池孝先生は、馬場が腸閉塞の手術を受けたと聞けば**「強度の便秘症だった馬場チャンならありそうなことだ。パイプが通ったら元気になるだろう」**と一人で呑気に安心するし、門馬忠雄先生は全日観戦の注意事項として**「ご注意願いたいのは、永源のツバ爆弾対策だ」「木村のマイクには春夏秋冬の挨拶と忘れかけていた祝日の意味なども織り込まれており、プロレス文化村の雰囲気だ」**などと呑気に解説する始末。

さらにこのビッグ2は百田光男、ラッシャー木村、渕正信も加えた対談でも、その呑気さで選手たちから物騒な発言を引き出しまくるのであった。

つまり、前座の鬼・百田が**「天龍の離脱はジャンボが強すぎたせい」**という予想もしなかった持論をブチ上げれば、赤鬼・渕も**「新日が全日批判をしなくなったのは、ジャパン・プロ相手に僕らがガンガンやったから」**と激白！

さらに当時、ジャンボ鶴田が**「長州はやっぱり凄いな。アイツはウルトラマンだからなぁ」**と相手を認めるような発言をしたかと思えば、すぐさま**「いや、アイツら3分ぐらい経ったら息が弾むんだよ」**という絶妙なオチを付けていたことまでカミングアウトするわけなのである。

つくづくジャンボ抜きで最強を決めようとする行為がいかに無意味なことなのか、痛感させられた次第なのであった。ジャンボ、最強だ！

ネエネエ馬場さん

（馬場元子／講談社）

昔から極真の松井章圭館長と三沢光晴社長は顔が似ていると常々思っていたのだが、顔のみならず組織の象徴的存在が亡くなると跡を継ぐことになったり、門戸開放したら批判の声が飛んだり、遺族との不協和音がマスコミで伝えられたり、内部分裂の噂が流れたりと、その傾向に拍車がかかりつつある今日この頃。お互い本当に頑張っていただきたいものだが、そんな全日の内部事情がうかがえる貴重な資料がこれである。



「現在のぼくには、世間にある程度の名前もできた。しかし、やはりあなたはこのような仕事を持つぼくにはもったいない人だ」

本書の売りは、世界の巨人にここまで言われた元子夫人が**「彼からの手紙のなかに『大好き』や『LOVE』の文字を見つけては、何度もそこを読み返した」**り、馬場さんが試合で足を攻められれば**「私、できることなら馬場さんのリングシューズの中に入りたい！」**と名乗りを挙げたりする夫婦愛ぶり……ではなく、生身の元子夫人から伝わってくるガチンコぶりなのであった。

なにしろ、彼女お手製の特大スリッパをプレゼントしたことが馬場が恋に落ちるきっかけとなったという美談すら、**「実のところ、私は裁縫などあまり得意でないし、ほとんど手伝った記憶もない。正確に言うと、姉たちが特大スリッパを作った」**とあっさり告白するから、もう最高！

こんな調子で、ゴルフをやれば**「打ちにくい場所にボールが行ってしまうと、平気で拾って真ん中に持ってきては打ち直す」**という元子夫人の、マイペースさというか、ぶっちゃけた話が**「子供の頃から変わらない一度言い出したら聞かない性格」**をたっぷり伝えてくれるわけなのである。

秘密のベールに包まれていた事務所での仕事風景も、これを読めば手に取るようにわかるのだ。

「私はこうと思ったことはすぐ顔にも口にも出してしまう。しかも、いったん怒り始めると止まらなくなり、最後の最後まで相手を追い詰めてしまうところがある。ときおり大変な剣幕で社員を叱り飛ばして、グウの音も出ないところまで責めてしまう。私がガンガン叱ることで気が付いて直してくれる人もいたが、弱い人ほど屈折してしまったり開き直ったりすることが多かった」

これこそ、まさにキラー馬場元子！　馬場さんがベビーフェイスすぎたため必然的にヒールをやらざるを得なかったのだろうが、こうして逆ギレした社員に**「あなたは馬場元子でもミセス・ババでもないじゃないか。河合元子だろ。馬場さんの正式な妻でもないあなたに、そんなことを言われたくない！」**と反論され、やがて2人は入籍したわけなのである。正式な妻ならノー問題だ！

さらに社外に対しても、**「広報の窓口」**として取材の依頼を**「八割がたはお断り」**したり、路上で馬場さんを目撃した子供が**「うわあ、でっけえ」**と口にすれば**「ジャイアント馬場が小さけりゃジャイアント馬場じゃないっ！」**と絶叫したりと、様々なキラー極まりないやり方で馬場さんをガードしてきた元子夫人。

そのため**「私自身への批判の声」**がFAXや手紙で届いたり、馬場さんに**「おい、気をつけろよ」**と注意されれば**「はーい」**と**「おどけて舌を出したり」**していたそうだが、馬場さんの入院中にも**「私はもう、人から何も言われたくなかった」「彼のお姉さんたちが『会いたい』と言ってわざわざ上京されたときも、私は頑としてICUに入れなかった」**という、まさにガイ・メッツァーばりのガードの固さを発揮したために、身内からも批判の声を浴びてしまうのであった。

本人に癌だということを内緒にするためには、それも確かにしょうがなかったとボクも思う。

しかし、何の説明もしないでそんな気遣いが周囲に理解なんてできるわけもなく、**「馬場さんが入院してからというもの、身内である彼女（馬場さんの姪で全日役員の馬場幸子嬢）は何かにつけて私のやり方に難色を示し、言うことを聞いてくれない」**状態が続いたのだそうである。まあ、そりゃそうだ。それは馬場ファミリーが正しい。

そして馬場さん崩御後も、馬場ファミリーからの**「納得できない」**という意見に耳を貸すことなく、**「私のやり方にいっさい口を挟まないでください」**とのモットーで通夜も葬儀も秘密裏に行ったが、報道の加熱ぶりを目の当たりにして、ようやく**「馬場さんは私ひとりの馬場さんではなかった」**と気付いたそうなのである。遅すぎるよ。

こうして一人になった元子夫人は、馬場さん急死のショックで**「会社はどうなってもいい。あとはみんなで好きにやって頂戴」**という思いを抱き、自宅に閉じこもりふさぎ込んでいったのだ。

しかも愛する馬場さんは夢にすら登場せず、ようやく出て来ても**「とても恐い顔」**で**「試合カードが書いてあるノートとペンを持って、眉間にしわを寄せて私をずーっと見ている」**から、さあ大変。そこで元子夫人が和田京平レフェリーに**「あなたたち、もしかして馬場さんを怒らせるようなことしてないでしょうね？」**と質問すると、京平ちゃんは否定しつつも仏壇に**「社長、すいません」**と平謝りするばかり。スタッフに**「ねえ、インターネットで何か来てない？　ファンが怒っているとか、そんなことない？」**と聞いて、ようやくリングアウト決着や観客への暴行などの**「馬場さんが嫌っていたことをやってしまったレスラーがいた」**ことが発覚したのだという。

そんな経験を経て、元子夫人は**「これは、彼が私に、みんなをちゃんと見ていなくちゃダメだと言っているのかもしれない」**と受け止め、いつしか**「私の中で使命感のようなものが再び目覚め」**たのだそうである……。

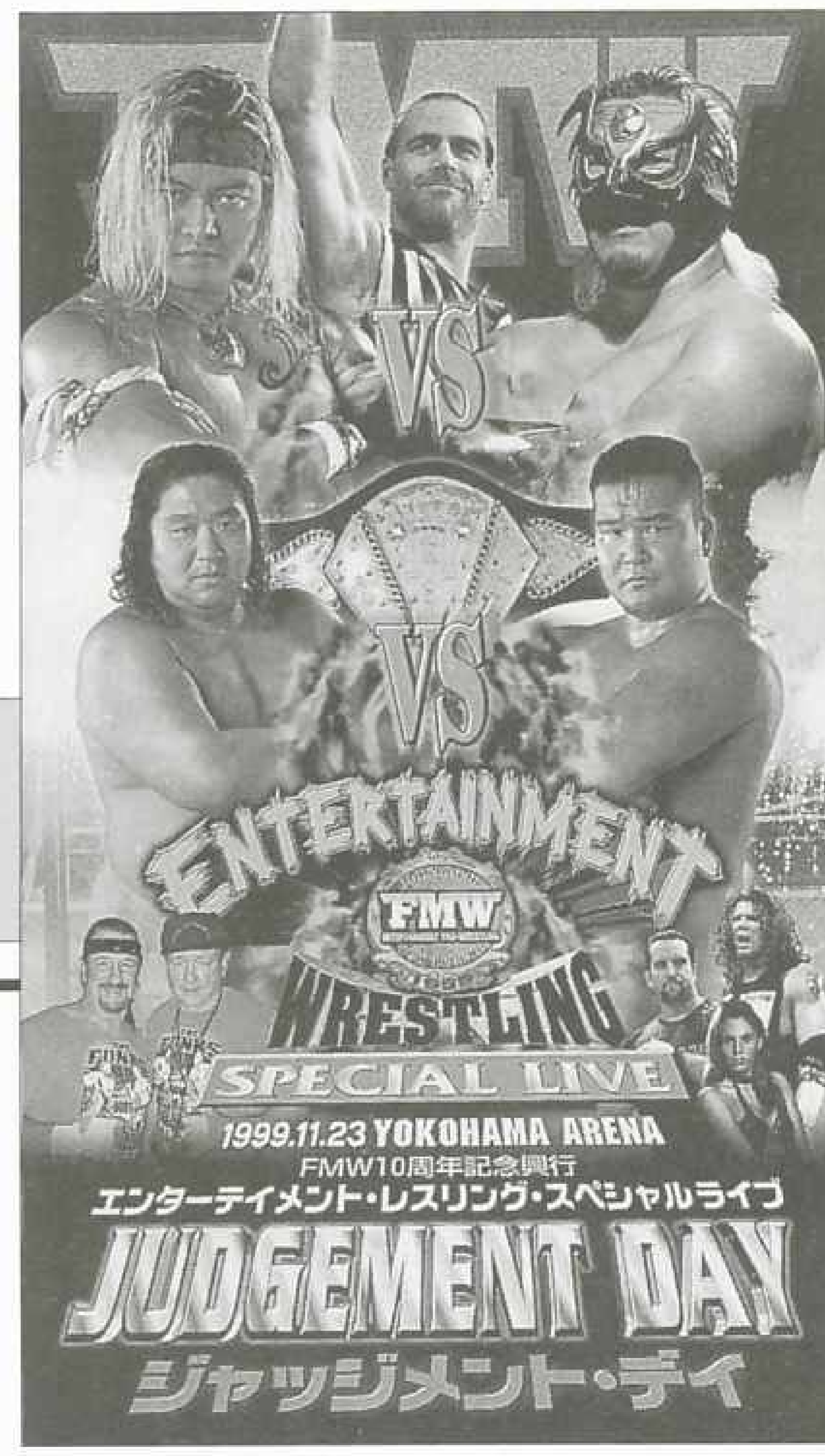
最近も**「全日本から外国人の数を減らそうという意見が出て、私は烈火のごとく怒った」**とのことで、どうも1周忌を過ぎてから徐々に元子夫人がパワーアップしてきた気がする今日この頃。

とりあえず、ボクの素直な気持ちは馬場さんの名言、**「ユーにはギブアップだよ」**そのものでしかないのである。頑張れ、三沢社長！

闘魂VIDEO SHOP

［プロフィール］
かさい・おさむ■プロレス誌を万引きし、東スポを漁って読んでいた小学生時代を経て、『闘魂Vスペシャル』をリリースしているヴァリスに入社。猪木の暗黒面に触れ興奮し、思わず退社。猪木信者デザイナーとして現在に至る。現在も東スポは漁り読み。

ビデオは、再生をやめ、歩みを止めたときに老いていく。いまこそーッ!!　格闘ビデオロマンの道を突き進めーッ！　というわけで、前号から始まったビデオ評。今回も活字プロレスの限界を超え、映像を忘れた活字プロレスファンに「目を覚ましてくださ〜い！」とばかりに元VALiSの笠井修さんが鉄拳を落とします！



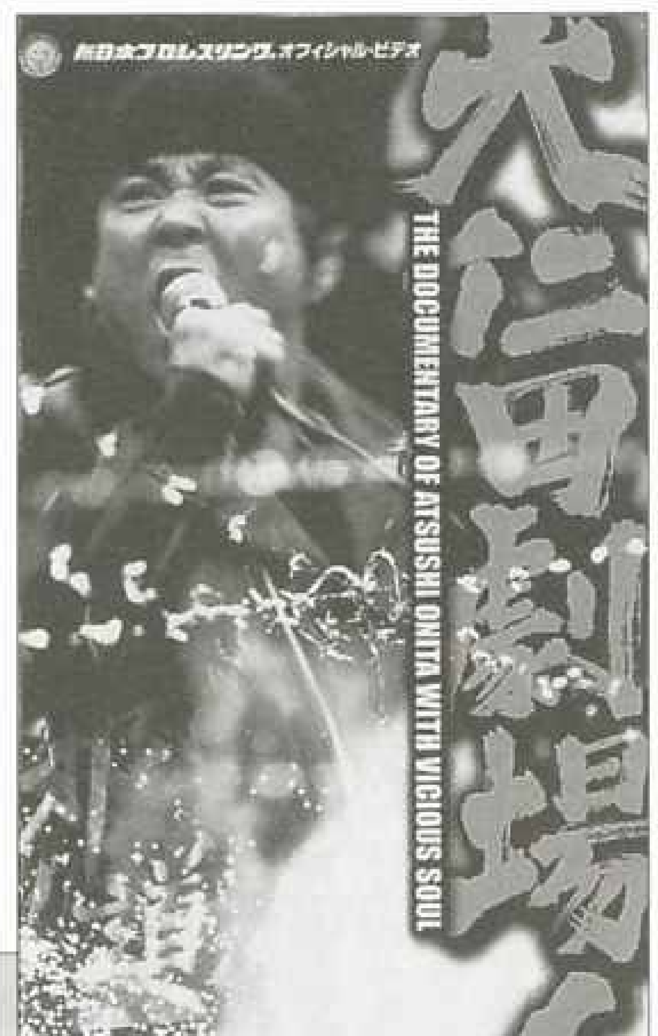
FMW10周年記念興行
エンターテイメント・レスリング・スペシャルライブ
『JUDGEMENT DAY』（東芝EMI）
●150分●11・23横浜アリーナ大会全8試合完全収録

もう時効の話だと思うので思いきって書いてしまうが、以前新日の関係者から「田中将斗が新日に出るかもよ」なんて話をチョロっと聞いたことがあった。FMWの選手が続々と全日本プロレスに上がる中、田中だけは「新日本に上がりたい」と全日出場を断わったらしい。真偽のほどは定かではないが。実際にその関係者も田中に好意を持っており新日登場も近いのか？　と思ったのだけれど闘いの場をECWに移しているところを見ると、その話も消えてしまったのだろう。

まぁ、そんな話を聞くまでボクは田中という選手のことを何も知らなかったんだけれど、イイっすね〜。大阪のダウンタウン系出身を感じさせる喋り口調。新日に登場して高岩や金本なんかとやってほしいっス。

でも、ボクのお目当てはやっぱりファンクス！　普通、こういった昔のレスラーが復帰してくる場合は昔のイメージそのまんま、というものだけれど、さすがはドリー！　キャップに笛というUFOスタイルに下半身は青パンツという現在と過去のビミョーなミクスチャー。試合の方も感慨に浸らせる間もなく最初っからスピニング・トーホールドをひたすら連発。そのクレージーファイトっぷりを見るとキャップも笛も「ハイ、おじいちゃんコレかぶって」ってな感じだったのではないだろうか。テリーも惜しげもなく懐かしムーブを連発。最後は二人そろってのスピニング・トーホールドの共演。ゼヒ、ジョー樋口の失神も見たかった。

第一試合の6人タッグ、みんなお目当ての若菜瀬菜vs薫子も完全収録。下着姿で闘う2人に解説の杉J。映像はイッキに『トゥナイト』ワールドに。これがエンターテイメントプロレスなんすね。サイコーです。



『大仁田劇場』（東芝EMI）
●120分●大仁田vs真鍋を完全収録

ひと昔前の大仁田ファンといえばケミカルウォッシュのジーンズにメガネデブが定番で、会場の雰囲気も独特のベクトルの濃さがプンプンしていてちょっとボクは遠慮していたんだけれども、98年11月京都大会での新日初登場以来、見てますよ。大仁田劇場。

このビデオに初登場から完全収録されている真鍋ヒストリーは必見！　殴られっぱなしでイマイチスイングしなかった最初の頃に比べ、徐々に大仁田の間を把握し、後半は真鍋が来なければ大仁田劇場が始まらない程の成長っぷりを見せつけた。彼こそが、新日での大仁田のブレイク、そして大仁田の試合の視聴率の異常なアガリっぷりを支えていると言ってもいいのではないだろうか。古館伊知朗以来、どのアナウンサーもなしえなかった「プロレスファンに好かれる実況者」という難関をあっさりとクリアーし、数字の取れるアナウンサーというテレ朝的にもオッケー過ぎる位置に辿り着いたと思われる彼氏。

だが、私生活でも大仁田イズムに傾倒していったという噂を裏付ける様な出来事を目撃してしまった。大仁田の試合を報じる『やじうまワイド』で同じテレ朝の女子アナが「真鍋君は入社したての頃は、おとなしくて、素直で。こんな子じゃなかったのに……」などと言っていたのである。周りから浮き上がっても突き進むのは邪道の宿命。彼もテレ朝内で邪道イズムをまき散らしながら我が道を突き進んでいると思われる。

しかし、プロレス放送以外ではあまり彼を見かけないという事実や、魔太郎のようになってしまった目をみるとちょっと心配にもなってしまうのである。

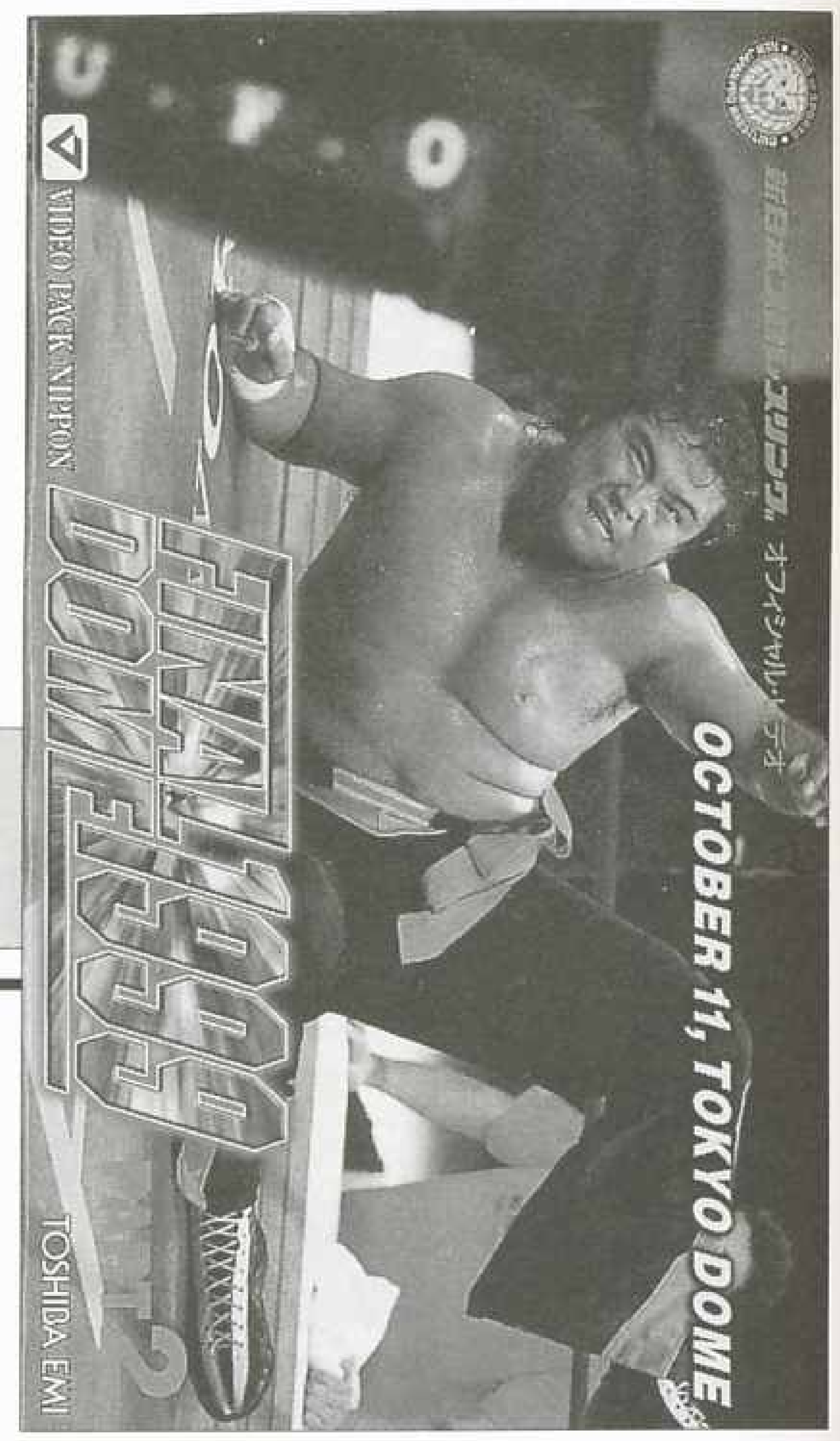
飯塚高史。旧名、飯塚孝之。ゴージャスな名前にチェンジしていくハイブリッドな人達をよそに地味な改名をした頃、仕事で話す機会も多い新日の若手選手たちから「飯塚さん強いっス」といった話が聞こえてくるようになった。

が、そんな道場の話とはうらはらに、以前の彼は「過去の汚点」と割り切るには致命的すぎる「JJ・JACKS」としてリングに上がっていた。「二人あわせてJJ・JACKS！」のかけ声と共に体全体で表現した「J」の文字。「俺たち間違ってないよな……」といいたげな悲しそうな瞳。野上と飯塚という「早

ラーの間でヒートを買っている」なんて話も他のレスラーから聞いたことがあった。

「喰らわせ！」の叫び声と共に、もの凄い勢い

が全部もってく始末。飯塚の目覚めはまだ遠い……。



『FINAL DOME1999』
（ビデオパック・ニッポン）
●2本組●計222分
●10・11東京ドーム大会全10試合完全収録

すぎたノーフィアー」としてくくるには余りにも物足りない二人のひきつった笑顔を見た当時のボクは、「サヨウナラ」と心の中でつぶやきました……。

あれから数年、プロレス界の歴史の表舞台に出ることもなくなった彼。しか〜し！ ついに、引っ掛かりましたよ。小川と村上が仕掛けた極上の地雷に！ オーチャンの仕掛けた地雷で目が覚めたブーチャン、次に地雷を踏んだのは健介でも、永田でもなくそんな飯塚だった。「なぜ、飯塚が……」「っていうか飯塚ってダレ？」など、ネット上でもボコボコに叩かれていた飯塚。

みんなホントの飯塚を知らなのでしょうか？ 彼の中に眠っている（ハズの）「キラー」な部分を。ボクは知っています。

数年前の某地方での大会のことです。撮影＆物販でシリーズに帯同していたボクはメインの試合終了後、暗幕で仕切っただけの控室で片づけをしていました。すると、マナーの悪いファンが暗幕を開けてしまい、「あっ、武藤だよ！」などと叫びながら続々と中に入ってきました。

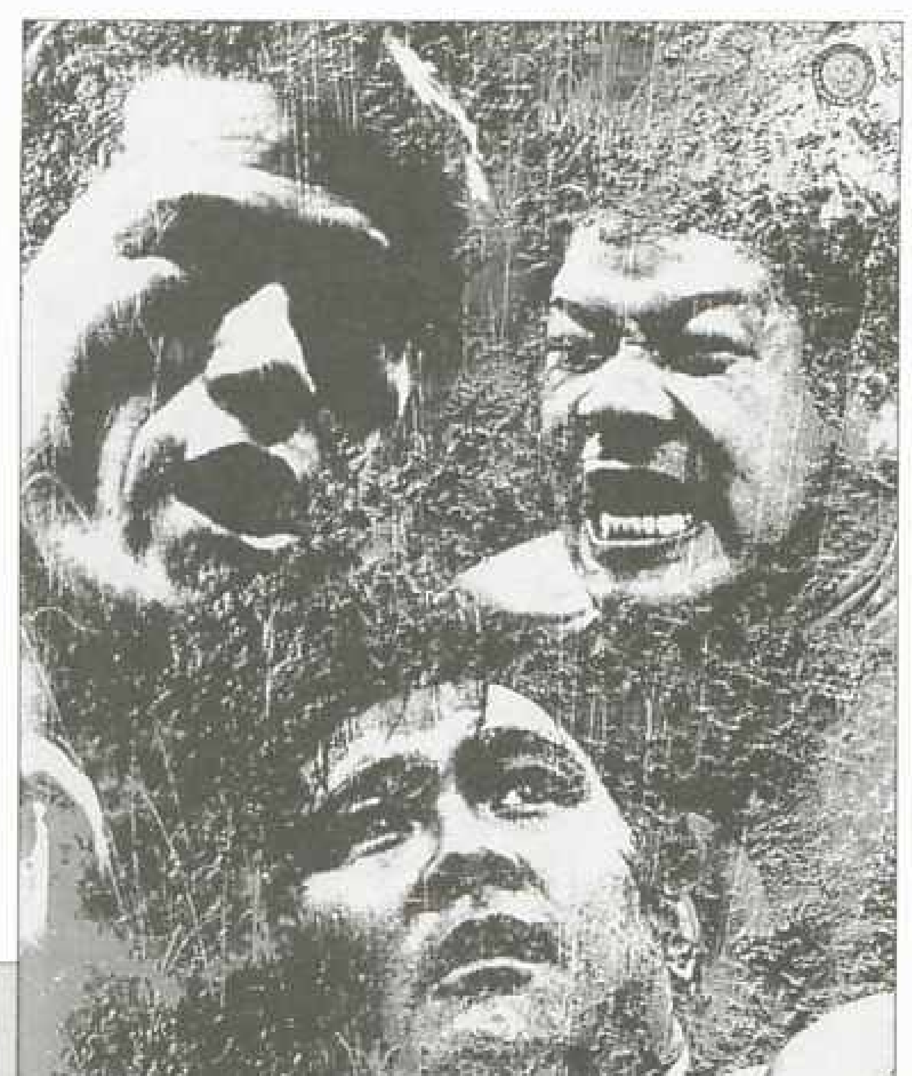
その瞬間に「キラー飯塚」は、出現しました。「喰らわせ！」の叫び声と共に、もの凄い勢いでファン数十人の中に突っ込む飯塚。侵入してきたファンをあたりかまわずボコボコにブン殴っています！「オラッ、お前も喰らわせ！」と怒鳴られたボクも、思わずなぜか一緒になってファンに「喰らわし」てました。あの時の拳は飯塚を見る度に疼きます……。

この大会の直前、村上に挑発される飯塚を見て、そんなことを思い出しました。

この大会のメイン、1・4のファースト・インパクトに比べるとちょっと……とダメ出しされがちな2度目の小川vs橋本。しかし、リングアナのアントンや藤波〝ストーン・コールド〟辰爾レフェリーなど見どころはたくさん。しかも小川vs橋本のセコンドは村上の指名により飯塚だ。

飯塚vs村上も実現かと思われたのだが、ボクの期待とは裏腹に、組まれたカードは「飯塚、木戸vs藤波、越中」でした……。「元U戦士」木戸とのタッグで格闘魂注入か？「ガタガタ言うやつはブッ潰せばいい」という越中の〝維震の心〟を体感するのか？ 小川vs橋本を「自分もやってきた試合」と言い切ったドラゴンの「ノンキさ故の凄すぎる受け身」を受け継ぐのか……？ 残念ながらボクの強引な期待感も空しく、試合は越中のケツで沸き、木戸の顔面踏み付けで沸き、ドラゴンの雪崩式リングインで沸くという、昭和の体育館を思わせる様な試合展開。最後も越中にあっさりとフォール負け。まぁ、この3人の遺伝子を受け継ぐ飯塚というのもあまり見たくない気はするが。メインの試合でも特にセコンドの出番もなく、ご存知のようにアントンが全部もってく始末。飯塚の目覚めはまだ遠い……。

だが、この試合のインパクトをボクが実感したのは、この大会の数日後のことだ。某所でバッタリ会った新日の若手レスラーとじっくり話す機会があったのだが、その若手選手はなんと！「小川さんみたいな試合もしたいんですよ」と言っていたのだ！ 新日内部では、極端に忌み嫌われているものだとばっかり思っていたのだが、新日内部からこんな声が上がってくるとは正直言って驚きました。そして、そんな若手たちに飯塚はしっかりリスペクトされています。ということは……ますます飯塚幻想が膨らんだボクだが、実際にリング上でそれが見られるのは1・4の試合でのこと。このビデオの中の飯塚は、嵐の前の静けさといったところでしょうか？



『新日魂』（VALiS）
●120分●独占インタビュー映像をも多数収録

猪木引退試合の時に行われた、橋本＆西村vs蝶野＆武藤の試合。

前田日明兄さんに「藤波さんの弟子だけは昔の新日本の様な試合をしていた」と言わせてみたり、猪木さんのハリ手を喰らい「闘魂伝承」をアピールしてみたりとノリまくっていた西村。しかし、人気にイマイチ実力が追い付いていないことも確かで、「レスラーの間でヒートを買っている」なんて話も他のレスラーから聞いたことがあった。

そして、猪木さんの引退試合から2週間後の熊本大会で、しかも休憩後の第5試合というそっけない扱いで行われたのが、このビデオに収録されている橋本真也vs西村修だ。大会場で組まれてもおかしくない素敵なカードがなぜ、ここで？ しかもノーテレビだぞ。

そして、上田馬之助引退式に出席するケンドー・ナガサキ、藤原組長、小鹿社長などの極端な顔ぶれの大物レスラーがリングサイドに集まっていた。どうにもキナ臭い香りがプンプンするこの試合をボクは、師匠の小路谷『闘魂V』カントクの命令により急遽撮影することになった。休憩中にビデオの販売を終え、急いでリングに向かう途中、見てるんスよ。レスラーが、陰からこの試合を。とにかく変な雰囲気が試合前から漂っていた。

試合は予想通り、というか想像以上に激しい展開となった。橋本は〝オ目覚メ前〟とはいえ、さすが破壊王。西村はただ重たい蹴りを受け続けるだけ。華やかさなど一切感じさせない試合に客も完全ヒキっぱなしなのだが、リング上の熱さはハンパじゃない。体育館の薄暗〜い照明とリングサイドにいる顔ぶれの異常な緊張感の中、バチバチの試合は続き、西村は完全KO。この試合がどういった意味を持つものかは、ボクには結局分らないのだけれど、「新日魂」のようなものはビシビシ放出されていた。

今は大きな渦に巻きこまれている橋本と西村。「猪木イズム」が「どんなに道が厳しくとも笑いながら歩こうぜ！」だというならば、この2人が辿り着く可能性は多いにある、はずだ。オーチャンよりも先に。

Kamipuro®特選

第4會

思わずくぎづけ！ ヒーローは道場の中にいる！

マメに行くならこんな道場（ジム）!!



ボクの口癖、「♪キャプチャーキャプチャーDDT慧舟會慧舟會世界のプロレス（以下延々と続く）」……んなことぁどーでもいいんだが、これはまぎれもない事実である。というわけで、今回紹介するジムは、格闘界のアンソニーこと北原光騎率いる『総合格闘技クラブCAPTURE』だ。（チョロ）

構成&撮影／チョロ
text & photographs by Choro

総合格闘技ジム キャプチャー

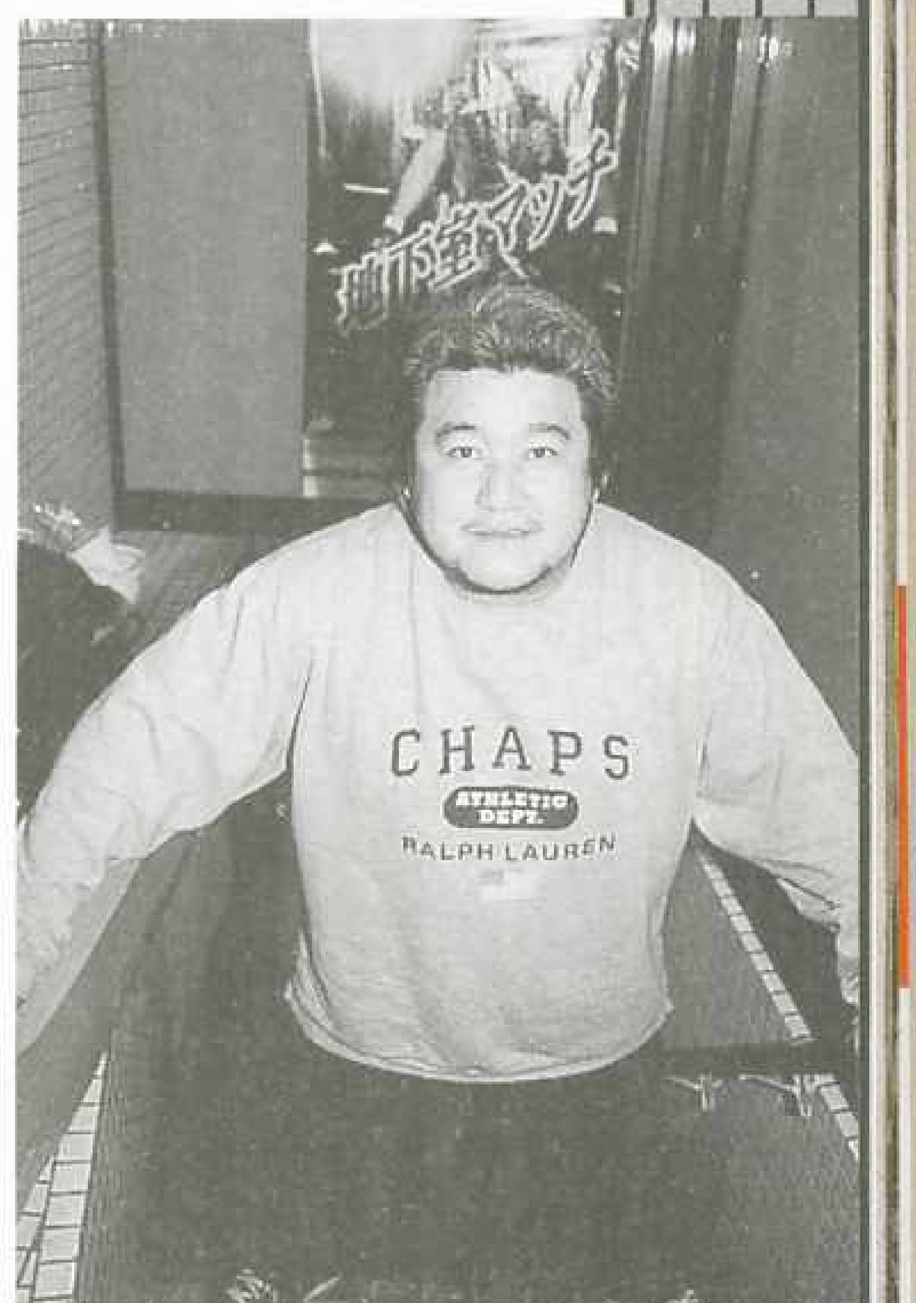
今回紹介するジムは、つい先日、大会カードに不満を持った荒谷伸孝が大暴れし、壁にボッカリと穴を空けてしまったことで注目（？）の『総合格闘技クラブ・キャプチャー』である。ちなみに乱闘の模様は北原代表に伝えようと道場生が録音をしており、福岡のラジオ番組で放送された。さらに北原もこの無法乱入に激怒しすぐさま対応。3月2日大阪・梅田大会でニーハオと、3・18東京・太田区大会では北原自らが完全KO決着の壮絶ケンカマッチルールを荒谷に叩きつけたのだ。これは見逃せない！

このように道場生も代表も臨戦態勢万全のキャプチャーは常に心地よい緊張感が張りつめられた総合格闘技ジムなのである。

所在地の小田急線『百合ヶ丘』の周辺駅には、リングスジャパン田村潔司率いる『U—FILE CAMP』、修斗の桜田直樹率いる『木口道場修斗教室』などもあり、格闘道場激戦地帯ともいえるのだ。ここで生き残っていくには、何か強烈なウリがなければいけない。

そこでキャプチャーである。北原といえば有名なのが、プロレス入り前に佐山聡が設立したスーパータイガー・ジムのインストラクターを務めていたことである。つまり指導者としても経験豊富なのだ。そしてもう1人の優秀な指導員ニーハオ。94年、95年のレスリング社会人大会で2年連続優勝を果たし、昨年は日本人レスラーとして唯一、掣圏道のSAボクシングに出場。ロシア人と闘い惜しくも判定で破れたが大いなる可能性を感じさせてくれた。他にも、レスリングで昨年の国体に出場したHAJIME、元アメフト日本代表の中村和信など、所属している選手も実に様々なバックボーンを持っているのだ。

北原イズムはもちろんのこと、佐山イズムから天龍イズムまで幅広く学べるのがキャプチャーのウリなのである。オイ、オイ、オイ、真鍋〜ッ！ お前は、お前は、キャプチャーでマナベーッ!!





地下室マッチの面白さが口コミで広がり会場の熱気は興行ごとに高まっているキャプチャー。一度見たお客さんは、その魅力に“捕獲”されること間違いなし。上の写真を見ればわかるがキャプチャーのジムは地下室にある。まさに地下室マッチ。

指導員に聞け！

僕は土曜日は沼津（支部）で教えてるんですけど、場所はウチの母校なんスよ。何かわかんないスけど後輩が冷やかしとかで来るしギャラリーが多いんですよ（笑）。まあ、水、金はキャプチャーで練習して、土曜日は沼津。

（指導員としての自信はあります？）やっぱね、ガードポジョシン取ってからの技術とか、そういうのは、シューティングや柔術の人にはかなわないだろうし、打撃はキックボクシングの人にはかなわないし、とりあえず自分はスタンドのレスリングしかホントにやれるのはないスからね。

（キャプチャーのウリは？）どうなんスかね。あんまり縛らないで自分の好きな得意なものをやりなよっていう感じですからね。苦手なものを練習するよりは、得意なものを伸ばしてやりたいって感じですね。

（後輩から抜かれそうだなっていう危機感はありますか？）どうスかねぇ（笑）。まだ大丈夫ですけどねぇ、それぐらいになってもらわなきゃ困るんスけど。一言、言いたいのは、もうちょっと自分の見てないところでも練習してもらいたいってことッスね。

（キャプチャーは女性も歓迎なんですよね？）それは、もちろん！（笑）。女性に合わした練習は別メニューって感じでやりますんで。女性会員は前にいたみたいなんスけど、俺は一回も見たことないんでゼヒ来て欲しいッスね。沼津に来てる人間は五人いるんスけど、みんなギラギラしてるし、ヘタしたらキャプチャーの連中よりギラギラしてますからね。全面対抗戦やってもいいかなって思ってるしね。絶対こっちを脅かすような選手を作りますよ！ いい選手何人かいますからね。185ぐらいある大きいヤツもいるし、対抗戦は絶対やりたいッスね!!

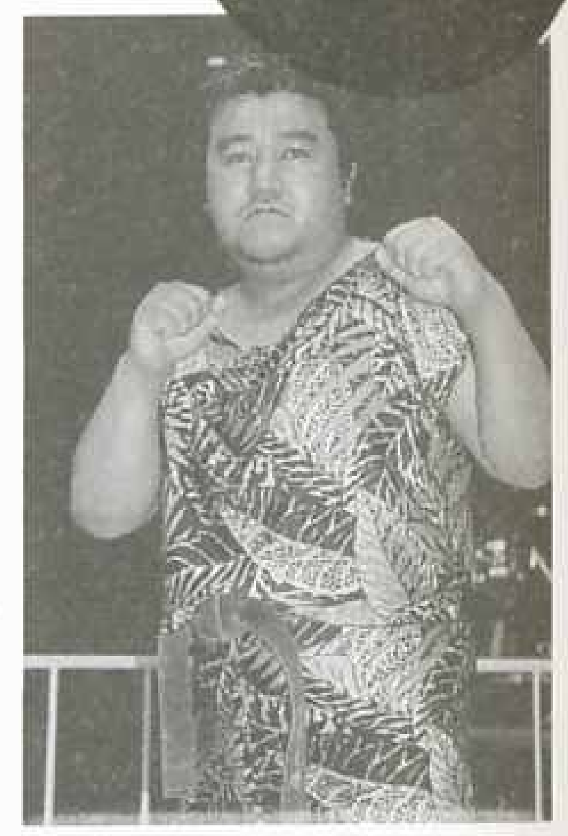


你好

先日のアブダビ予選の様子を伝えると「知らなかったぁ。あぁ〜やってみたかったなぁ。テイクダウンで4ポイント？ それは自信ありますよ」とメチャメチャ出たがっていたニーハオ。



一番えらい人に聞け！



やっぱりさぁ、みんな入会すれば強くなるっていう錯覚って起こすじゃない？　入会するのは誰だってできるんだから。ウチは猿でも猫でも入会金持ってきたら誰でも入会させちゃうんだもん（笑）。そこから何を見付けるかっていうのが大事だよね。

（ここはプロレスラー志望の方が多いんですか？）いや、そうでもないみたいねぇ。シューティングとか出たいっていう人の方が多いね。ウチも今はいろんなルールを試行錯誤しながらやってるけど、そろそろ完全なルールを作っていかないとね。立ち技の許される時間と寝技の許される時間だけでも面白さって変わってくるからね。じゃあ何を追及するのかっていったら、「面白さを追及すればいいのか？」「強さを追及すればいいのか？」っていうと、例えば興行をやって選手にお金を払わなきゃいけない立場で考えれば、やっぱり面白さってなるじゃない？　強い面白さっていうのと、ちょっとまた変わってくるからね。難しいよなぁ。



総合格闘技系での試合を望むファンの声が多い谷津。その谷津をキャプチャーマットに引きずり込むことに成功した北原だったが、谷津は怪奇派スタイルでグローブマッチに登場。北原を激怒させてしまった。

シューティングだって俺が携わってた頃はいろんな格闘技の団体からバッシングじゃないけど、「立ち技もできなねえような奴等がミックスしてできるか？」とかさぁ、でもそれが十年過ぎた頃になってブレイクしたでしょ。やっぱり佐山さんが考えてることは凄いよ。ただ、その当時は世間が佐山さんの感覚的には付いて来れなかったんじゃない。

（キャプチャーのウリは？）やっぱウチは男臭さじゃない（笑）。

（北原さんから見たキャプチャーの注目選手は？）小泉だね！　コイツね、高校2年生の時から来てるんだけどさ、ガリガリだったんだよ、55キロぐらいでさ。いまは75キロぐらいあるからね。そういう意味では小泉は、まだ10代でさ、キャプチャーの中で一番ブン殴られてるよ。アイツはアホだよって思ったもん（笑）。俺に金払ってブン殴られてるわけだからさぁ。でもそれを継続させれば、絶対自分達がいい目にあえるわけだからね。それにウチの会員はまだまだ無名じゃん。でも無名でも俺はお客さんを納得させてきたと思うわけ。ちゃんと練習させてるしね。それが今はプロレスラーになりたいって言ったらさ、宙返りの練習から始めてさ、「なんだそれ？」ってなるよね。

俺はプロレスラーっていうのはどんなルールでも対応しなきゃいけないと思ってるわけ。相手がボクシングのルールで来ようが、なんだろうが、プロレスラーは絶対強くなきゃいけないと思ってるから。ある意味猪木さんの考えに近いとこってあると思うけどね。





2人3組で相手をグルグル変えながらの打撃、グラウンドの練習が何セットも続けられた。キャプチャーでは、力をつければ若手の登竜門的大会「ザ・キャッチ」に出場できるぞ！　ボヤボヤするな、今すぐキミも闘いの輪の中へ飛び込め！

でも一番大切なのは愛だよ！　選手に愛情がないとできないよ。（道場生を指差し）コイツらもレスラーもそうだけど、その団体の長が自分に対してどこまで考えてくれてるのかということを判断する能力にはホントに長けてるからね。「自分の評価はどれぐらいだろう？」、「何で俺はここに呼ばれたんだろう？」とか、それをその気にさせないと、やっぱりいいものは出ないよね。まあ、興味がある人は練習しに来て下さい。

総合格闘技クラブ
CAPTURE DATA
みんなもCAPTUREへ道場！

◎初級～上級までの3段階方式を取り入れ個々の能力に合わせた指導を行っていますので、初めての方でも安心して学べます。
◎高校生・一般の方は、好きな曜日・時間を選べます。
＜利用時間＞水曜日、金曜日、土曜日　18:30～20:30
日曜日　11:00～13:00
【入会金】15000円
【月会費】[一般]週2回10000円　週1回7000円
[高校生]週2回8000円　週1回6000円
◆入会者には、CAPTUREオリジナルTシャツプレゼント!!

ニーハオ先生の沼津支部

【入会金】10000円　週1回7000円（毎週土曜日）
◆さらにCAPTUREでは北原光騎夫人の香苗さん（元朝日生命体操クラブ元日本代表選手）指導による『かなえ体操教室』も実施している（幼児&小学生コースのみ）。

【お問い合せ】
〒215−0011　川崎市麻生区百合ヶ丘2−2−1横山ビル1F
キャプチャー・インターナショナル
☎044・959・3333

道場までの交通アクセス
小田急線『百合ヶ丘駅』より徒歩２分



この日は人数は少なかったが、その分密度の濃い激しい練習が行われていた。ちなみに北原が手にしている竹刀はメッタなことでは使わないということなので安心して通うべし！（笑）カモン・キャプチャー！

北原も太鼓判！コイツに注目!!

小泉幸彦



ボクはプロレスは昔から好きで、どうしても格闘技を始めたいって思って高校に入ったんですけど、アマレス部とかなかったんでプロレス雑誌を見てキャプチャーに入りました。最初はみちプロに入りたかったんですけど、まあルチャが好きだったっていうのもあるし、やっぱり自分の体を活かすにはそういう方向じゃないと無理かなって思って。でもここでグラウンドとか打撃の練習を始めてから、やってみて面白いっていうのがわかったんで、いまはこういうスタイルでやっていこうと思ってます。

【こいずみ・ゆきひこ／S55・10・24／172センチ・78キロ／得意技・キック】

桜井マッハ速人への道 #004



「マッハを呼べ！」「本人を出せ！」というハガキも届くこのコーナー。待っとけ、読者諸君！ 道はどんなに厳しくとも笑いながら歩こうぜ!! というわけで、この道、続行——ッ!!

「オレなんで『紙プロ』ダメなの？」「オレ的には全然ＯＫだよ！」「でも、上がダメって言うんでしょ」「あぁー怒られるからなぁ～」と言うのはアブダビ予選の会場でご挨拶したワタシに、マッハが放った言葉である。マッハ本人は『紙プロ』に登場することは全然ノー問題！ 逆に「ねぇ、なんで？」と質問されるという状態に陥いるほどなのだ。これは非常に心強い。「オレにとっては修斗に誇りを持ってるからプロレスとか格闘技とか関係ないよ」とのこと。実際、「修斗のチャンピオンが世界一だとオレは信じているから、今年は世界の中量級で1番強いと言われいる（ジョセ・）ペレ（・ラソジ）と闘いたい！ でもオレがチャンピオンだからペレが挑戦してくるはずなんだよね？」と発言していることからも理解できる。でも、修斗側に取材申請をすると「修斗はプロレスとは一線を引いておりますんで『紙のプロレス』さんはちょっと……」という厳しすぎるお答えが返ってくるのであった。実につらい。本誌は〝修斗からインディーまで〟宇宙で唯一のマット界総合誌なので、そこを理解して頂きたい。プロコンを持って、闘う格闘家マッハを本誌に登場させるのがワタシの役目なのだ。マッハの強さと恐ろしきかな長嶋茂雄チックな性格を兼ね備えていれば、全マット界に刺激を与えてくれる英雄候補であることは間違いない。とにかく全てにおいて幻想をもたらしてくれる男、マッハの交渉をワタシが1本勝ちするまで、マッハという人物を探り、お伝えることにする。

今回はマッハのルーツを追求するべく、高校時代からの友人で一緒に茨城から上京し、バリジャパ前にも2人でタイへムエタイ修行に行ったというマッハのことなら誰よりも知っているムエタイ戦士、タノムサク鳥羽（二瓶組）に話を聞くことにした。題して〝ルーツオブルーツ〟第一弾！

タノムサクに聞け！

桜井は昔はあんなんじゃなかったんですけどねぇ～。きっとSBでKO負けをしてからなんですよ。アイツの凄いハイテクギャグが飛び出したのは（笑）。一番印象に残っていることって、高校生の頃ボクがやってた『スリム新空手』に当時から地元の柔道界では噂だった桜井が入ってきて、スリムの先生（通称ぶす先生）がなんだかわかんないデッカイ外人と「相撲をやれ」って言った瞬間、いきなり桜井が投げちゃったんですよ。パワースラムで！ 凄かったッスよ！ それで高校卒業したら「2人で東京行こう」って話になってボクが家借りたんですけど、いつの間にか居着いてたんですよ。本当にイヤでイヤでねぇ。もうね、人の冷蔵庫に入ってるもん全部食うし（笑）。そこが桜井なんですけどね。でも絶対一緒に住みたくないッスよ！ 初めて修斗の試合出る時も「今、減量中で飯食ってないんだよ」って言うくせに凄い勢いで定食屋入って行って「唐揚げ定食！」「衣取ればいいんだろ？」って、味噌汁でガァーっと洗いだしてその味噌汁飲んでるんですよ（笑）。そういえば、今回のバリジャパでも軽量終わって「カレーが食べたい。妹の作ったカレーが食べたい！」って言いだして、弟が2往復くらいしたんですよ。ホント桜井家では妹がお母さん役で、弟が兄貴の面倒を見るっていういい兄妹なんですよ。兄妹いないとダメですね。まぁ、桜井はポパイの表紙にもなって人気者だから、オレの試合を見にくるのは絶対ムリでしょうけど、アイツにはホント考えさせられることってよくありますよ。尊敬してます。でも、格闘技の部分だけですけど（笑）。



たのむさくとは■本名羽鳥誠。茨城県出身。今も必ずマッハの試合ではセコンドにつく程、信頼熱い関係。2／25から4日間DDT、夢ファク、EWF、DDTと渡り歩く、インディーマット界には絶対不可欠な超人気者である。

構成／大西タマリン
text by Tamarin

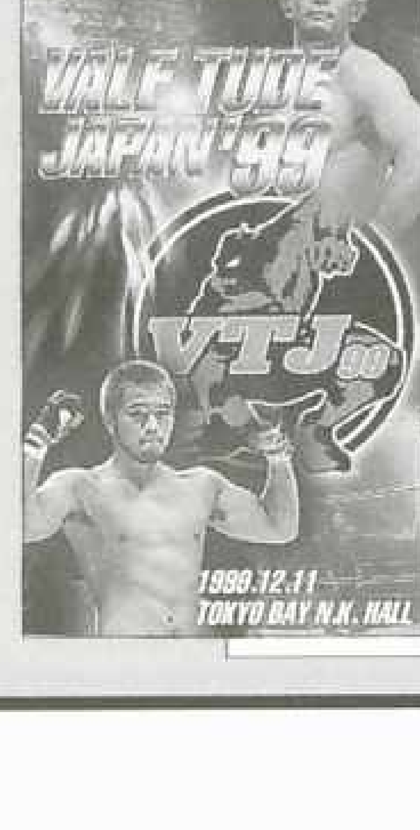
撮影／NAHOMIX
photographs by NAHOMIX

2年ぶりに修斗ミドル級タイトルマッチ決定！

修斗のチャンピオンが世界一というのを見せてくれ、マッハ!!

98年５月13日vs中尾受太郎との闘いで、師匠である桜田直樹が持っていたミドル級チャンピオンベルトを手にしたマッハは「とにかく、これが欲しかった！」と嬉しさのあまりチャンピオンベルトを巻きっぱなしで電車に乗り、実家のある茨城まで帰った日から約２年。エンセン仕込みのハードパンチャー加藤鉄史とのタイトルマッチが決定！ 加藤は「ベルトも人気もかっさらう！」と豪語しているだけあり、現在のミドル級戦士の中で相手にとって不足なし。アブダビ帰り２週間弱という強行スケジュールの中でマッハはリングに立つ。この闘いはミドル級タイトルマッチ史上最大の名勝負になることは間違いない。

3月17日
東京・後楽園ホール（18:30）
桜井マッハ速人
（総合格闘技木口道場）
VS
加藤鉄史
（ＳＴＧ大宮）



VIDEO PRESENT

バーリ・トゥード・ジャパン99’ビデオプレゼント!! 3名様

残念ながら”シュート・ザ・ムービー”は入ってませんが、修斗のトップ戦士たち勢揃いのバリジャパビデオを見て、修斗をそしてマッハを存分に味わって下さい。応募方法はＰ159を参照してね。

グレート・チョロの ハガキ劇場

前号でのチョロのキャットファイトに…

賛否両論

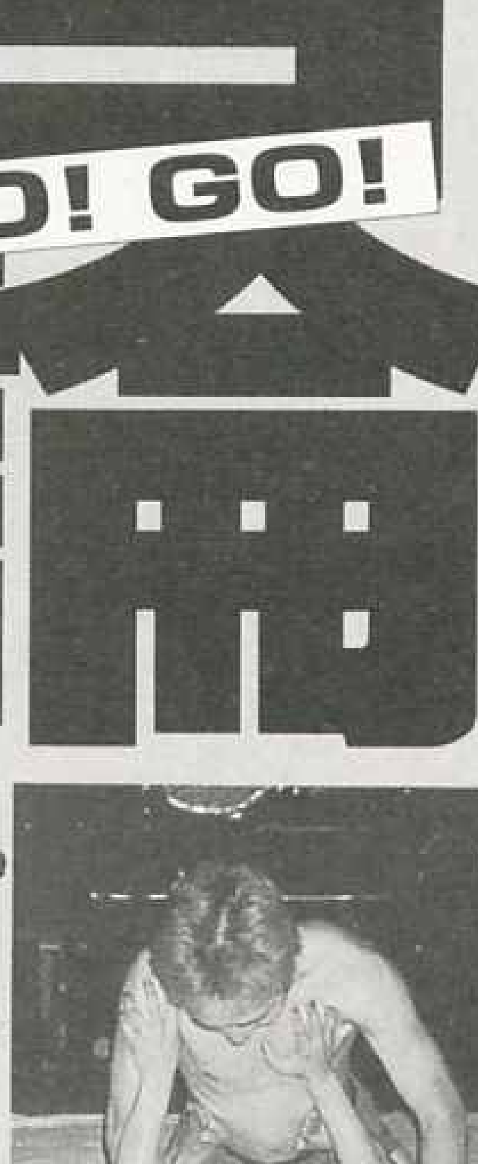
…というか非難GO! GO!

お前はチョロのキャットファイトが見たいか!?

前号の俺のキャットファイトに対して、「気色悪い！」、「最低」、「チョロはゴミ箱に」など、非難の声が相次ぎ、チキンの俺はしょんぼりしてたん邪！　だがな、「発売はいつですか？」、「どこで買えるんですか？」といった、話のわかるヤツもいるもん邪！　今号では間に合わなかったが、次号でビデオをプレゼントするから楽しみに待ってるん邪！……んなことぉどーでもいいんだよ！　『SRS・DX』（NO.16）の「ワンフー・マクダニエル」を見てビックリ仰天邪！（ガシャ～ン）なんじゃこりゃぁぁあああ！　その中の「今月の私怨」っていう囲み記事がビックリの素じゃあ！　シャッコラ～！（長州調邪）お前はどこのワカメじゃあ！　ヒャッ!? Show氏邪！（下に続く）



（埼玉県／中川雅博）4点★「キヨマー頑張れ。巨人は負けろ」という中川画伯。プロレス好きにはキヨマー好きが多いのぉ。「紙プロ」の巨人・ジャイ子は『PRIDE.0』で負けたんじゃあ！







（長野県／大石剛／22歳）3点★大石さんよぉ「今後の大仁田vsタマリンが楽しみ」だと？　ターザンとも闘った大仁田だけに直接対決も充分ありえるぞ。大西タマリン、お前は大仁田厚と闘いたいかぁ！　どうだいタマリン？



『PRIDE.GP』直前の晃兄さんにキャットファイトの話をすると満面の笑みでこう答えたんじゃあ！　晃兄さん、次はタッグで行くぞ！

前号の俺のキャットファイト写真を見て、日明兄さんは「何やっとんやコイツ！」とお怒りになっていたらしい。あぁ～南無阿弥陀仏……でも俺は、このスタイルしかできないんじゃあ！　ディス・イズ・チョロ・スタイル邪！（たっつあん）5点



何やっとんやコイツ！

俺も見たいんじゃあ！



（大阪市／英加直純）5点★オイ、オイ、英加さんよぉ、英加さんよぉ、見事な貼り絵を送ってきてくれてありがとよ！　だがな、編集部に届いた頃には「げいにん」の「げ」の字が取れてしまってたんじゃあ！　げっ！

（上からの続き）今号の「書評の星座」でも触れられているが、一部抜粋するん邪！【『紙プロR』誌上（No.23）に、『山口日昇とその他大勢』のうち、『その他大勢』の一人が俺の作った『トリプルクロス』について（中略）まったく見当違いのダメ書評を書いていた。（中略）さすがに『その他大勢』はひと味違うよな！（中略）今回だってそんな暇があるなら、大仁田厚vsエンセン井上の対談をもっとどうにかしてほしかった。せっかく両者をブッキングできたんだ。キチンとアドバイスしてやれよ】――オイ、オイ、オイ、対談をやったのは俺じゃあ！　降り懸かる火の粉は払ってやるぜよ！（次のページに続く）

グレート・チョロのハガキ劇場

（前ページの続き）。対談の仕切りが悪かったのは認める……そして反省している。確かにShow氏はブッカーとしては一流かもしれん！……以上邪！　俺が言いたいのは、ただ一つ！「その他大勢」とか「男ども」とか、もう少し言葉を選べっていうんじゃあ！　もう一丁（高田調邪）抜粋邪！「アントニオ文朱とかいう人のイラストは何が書いてあるのか、汚くて読めない。常連の方なんだったら、もっとわかるように書いてほしいよな」――文朱、お前も噛みつかないのか！（本文に突入！）

■前号の感想邪！面白かった記事

●『SRS・DX』の「ワンフー・マクダニエル」内「今月の私怨」。ヒャッ!?　間違えた。ここは面白かった記事邪。あなたに捧げる「道はどんなに厳しくとも笑いながら歩くんじゃあ！」。（東京都／チョロ／28歳）1点

●前田日明インタビュー。「オッサンのインタビューはもうええねん」ってことですが、オッサンのインタビューが一番しみるんです（心にも傷口にも）『紙プロ』からオッサンのインタビューがなくなると気の抜けたコーラのように甘ったるいだけになってしまうでしょう。やっぱり『紙プロ』にはオッサンのきつすぎるタン酸と山口日昇の毒が不可欠なんです（毒々しい吉田豪の着色料も）（愛知県／たつつあん／32歳）3点★オッサンのインタビューが見たいか？　ハイ、見たいデス。

●「エンセン井上×大仁田厚」。2人の個性やプロレス観、格闘技観が前面に出て面白かった。大和魂は邪道に通じるん邪。（山形県／安孫子学／20歳）4点★そういうこと邪！

●高田選手のインタビュー。今月号で初めて買ったけど他の雑誌とあまりにも違うつくりになっていてびっくりした。特に選手のインタビューでは普段見られない顔だったりインタビュアーの信念が感じられた。（神奈川県／山口義隆／17歳）3点★フレッシュじゃのぉ。また買ってくれ！　よろしく信念。

●多和田初美インタビュー。閃プロから今まで多和田の登場を待っていたから何度、高円寺に足をむけたかわかりません。高円寺のお店に変わりたいらしいですが、いいお店がたくさんありますからね、高円寺は……。「わがままジュリエット」とか「シャルマン」とか「スターキャスト」とか……。紙のプレイボーイを復活させて下さい。お願いします。おじゃる（千葉県／内野さとし／32歳）4点★次号で、紙のプレイボーイ復活じゃあ！

●多和田初美インタビュー。再デビュー期待大!!　こんなロックな女子レスラーちっといないよ。それから次は中原奈々を探してくれィ（山口県／ゆずっ子／21歳※今まで「けい子」という偽名（母の名）を使っていてスンマソン。訳あって……ちなみに私は元ピュアハート練習生さ）5点★オイ！　オイ！　今度インタビューに行くぜよ！

●紙のプロレスWEST。ケビン・ヤマザキの見た目のうさんくささ。（東京都／島本直也／29歳）2点★なんじゃとぉ？　原タコヤキ君の見た目が胡散臭いだとぉ？　オイ、オイ、オイ……お前の眼力は本物だ。……今のは嘘じゃあ！

●紙のプロレスWEST。待ち望んでいたタコヤキ君のコラムが始まり狂喜乱舞の毎日です。毎晩、寝る前には必ず読み返し勉強させてもらっています。（東京都／チョロ／28歳）5点★以上のような感想を原タコヤキ君はガンガン待ってるん邪！　よろしくおま！

●ウィリーインタビュー。メチャメチャおもろかった。ギョーザ最高。ウィリーといっしょにギョーザ、キムチ、ゴハンYEAH！（大阪府／山内義久／31歳）3点★インタビュアーのカタブツ君は、ネット上では「カタブツ君は吉田豪とともに『紙プロ』のツートップだ」とまで言われているし、もはや恐れるものは何もないノーフィアー状態なんじゃあ！　だがな、金がないのは相変わらずで「あぁ〜腹へったぁ〜。350円借してぇ…。ココイチのカレーが食べた…ひ」と力無く訴えてきたん邪！　ノーマネー！

●木口宣昭さんインタビュー。すさまじい人生を送っているから。こんな父親がいたらうれしい。木口道場通いてー。（岡山県／渡邉茂／20歳）4点★木口道場、タナケン道場は自信を持ってお薦めできる道場なんじゃあ！　男なら通うべし!!　ついでと言っちゃあなんだが、中牧昭二がオーナを務めるピンサロ『プリティガール・キャンキャン』にも行っとけ！　手抜きは一切なしじゃあ！【問い合わせ】☎03・3634・5603

●ターザン山本のマスコミ批評。なんかおもしろかった。ところでクラスマガジンって何ですか？（東京都／梶田宏美／18歳）4点★クラスマガジン？　クラスマガジンっていうのはなぁ、ゼェゼェゼェ（と言いながら長考）学級新聞みたいなもん邪ろ！（ヤケクソ）

●無比人。初めて、じっくりみっちり読んでもたわ。放置プレイ・神戸で人気の放置場所は六甲山。でも近頃は、めっきり「六甲おろししたった」ゆう話は聞こえてこん。冬はマジでヤバいからなァ。※六甲おろし→ヤルｏrマッパで山に置き去りか選べる。あたしはどつく。どつく。どつきまくるんじゃ――。（兵庫県／ナナジ／20歳・高4）2点★ヤルｏrマッパどっちでも望むところじゃあ！

●ザ・検証プロレス点と線＆越中の31発。……というかね、このコーナーのために買っているようなもんですよ、『紙プロ』は。まああとは、インタビューとか色々のってるけど、ほんとひまな時に読む程度で、ひまつぶしには最適だけれど、やっぱり越中ネタが最高に好きだね。せきしろ、もとい、せき詩郎さんのザ・検証がなくなったら、もう絶対買わないから！（キッパリ）。あと、やっぱり越中とか平成維震軍のネタで通してほしいね、せき詩郎さん。でなきゃ、もうこの本を買う意味が全くなくなってしまうわけだから。越中ネタがのってなかったら、もう面白くもなんともないわけ。印刷ミスとかもあるけれども、誰の手違いかはわからないけれども、維震軍らしさみたいな感じでね……味がでてていいんじゃないかと思ってる。（国分寺市／ローリンまきぐソバット／18歳）1点★アイ・ラブ・プロレス！　覇・平成維震軍！

■前号の感想邪！つまらんもの

●多和田初美インタビュー。こいつ本当に嫌いだ！「自分探し」の途中の人は見ててツライ。私もやってたけどキャバクラはマジでつかれるので割に合わない。※いつも楽しく読ませて頂いてます。堀江ガンツさんのページは特に素敵です。ガンバレ。とところでスモーも良いけど剣道も取り上げて下さい。（埼玉県／益子由幾／28歳）2点★俺はキャバクラで働いたことがないから、ようわからん！　だがな、あれだけの墨入れるだけで相当覚悟は決めてるだろうが！　多和田は邪道魂を持っている！それになん邪、ガンツのページが素敵だと？　まぁ、お前の気持ちはよ〜くわかる。確かにガンツはよくやってるよ。だがな、アイツを調子にノセると怖いぞ！　油断してるとガンガン誘いの電話がかかってくるからな。



（大阪府／英加直純）5点★オイ、オイ、オイ、英加さんよぉ、アンタの貼り絵は素晴らしいの一言に尽きる！　だがな、編集部に着く頃には、SAKUraBARの「SA」が剥がれてたんじゃあ！



（長野県／大石剛）5点★送られてくるイラストのレベルは、日本雑誌界の全読者ページの最高峰にあると言われている『ハガキ劇場』。そこへ、新たなニューカマーが怒涛のつっぱり（嶋大輔の5倍）で登場じゃあ！



（東京都／キャプテン名倉）3点★オイ、オイ、オイ、『PRIDE.GP決勝トーナメント』に安田忠夫ッスの電撃参戦緊急決定じゃあ！（場内・ウォ〜〜〜！）嘘じゃ〜〜〜ぁぁあああ!!

健悟も牧子もツーサウザント!!





（上・青森県／青木雄大）5点（横・小平市／笹原靖／21歳）2点★今号のポートレートにも登場のエキサイティングガール内舘牧子さん。『紙プロ』も『ケンファー』を見習って、よりスタイリッシュによりグラフィックに、それでいて、あくまでもコケティッシュでエロティックな要素もふんだんに取り入れて生まれ変わるんじゃあ！

すっかり定位置！ハガキ劇場のライパチ君
アントニオ文朱の四コマ大作戦！



（草加市／アントニオ文朱／100歳）2枚で10点★文朱君は『ハガ劇』だけでなく『SRS・DX』の『ワンフー・マクダニエル』の常連投稿者でもあるナイスガイ（notメッツアー）だ。例えそのハガキが汚くて読めなくて挫けそうになっても、ハガキ一枚に鶴見五郎の似顔絵が26個も書いてあっても……そんな彼を誰が責められようか？……と思ったらShow氏が攻めてきた（『SRS・DX.NO16』参照）。文朱の良さがわからんかぁ？　笑止千万邪！

（大阪府／英加直純）5点★オイ、オイ、オイ、英加さんよぉ、俺はアンタの貼り絵に首ったけ邪！　だがな、編集部に着く頃には、テーマミュージックが何だかわからなくなってしまったんよぉ。



俺も女は好きだがアイツにはお手上げなんじゃあ！ 益子さんも気を付けろよ。アイツは、アイツは、ホントにしつこいぞ！

投稿写真 デラックス



（三重県／宮崎文子／20歳）5点★オイ、オイ、女性読者の皆さんよぉ、文子ちゃんを見習って、ツーショットでもセクシーショットでも限界ショットでもガンガン送ってくれ！ 本間に待ってるぜよ！



ここ最近、初めて『紙プロ』を買ったという読者からのハガキが増えている。特に10代の女性読者が増えているのは喜ばしい限り邪！ プロレスも格闘技も詳しくなくたって結構！ 客寄せパンダも悪くなかろうが！ まずは投稿写真から始めよう！ ファイヤー！



（福岡県／亜邪ライオン）4点★読プレでオコノミマンマスクをゲットした亜邪さんの近影が届いた。OH〜！ ブロンドのベッピンさんじゃあ！



藤波社長から年賀状が届いたん邪！

（新日本プロレス／藤波辰爾／47歳／社長業）5点★藤波社長からの年賀状邪！ よく見るとドラゴンボンバーズも一緒じゃねえか……なんじゃこりゃあ〜ッ？ ニセ藤波じゃったぁ！（札幌市／久保大樹／24歳）3点





（熊本県／塩本祐介）各4点・計8点★アントニオ文朱君と並んで、『ハガキ劇場（以下・ハガケンジ）』そして『SRS・DX』読者投稿コーナー「ワンフー・マクダニエル（以下・ワンギャル）」でも活躍中の塩本師匠。ハガケンジではワンギャルとの二股投稿も無問題じゃあ！

●別にどうでもいいんですが『週プロ』の選手名鑑を見ると荒井薫子さん（FMW）と同い年でした。よろしく言っておいて下さい。（千葉県／神子佳世／17歳）3点 ★よろしくも何も、荒井薫子って荒井社長の親戚かなんかだろ？ でもなぁ、俺は一度も会ったことがないんだ邪！ でもなぁ、ゼエゼエゼエ（呼吸があらくなり）荒井薫子っていうのはキャットファイトをやってるらしいじゃねえか？ オイ、オイ、オイ、それなら、俺の挑戦を受けるんじゃあ!!（ていうか、よろしく頼む！）。

●ハガキ劇場の得点リセット…残念。リセット前までに中川画伯を抜いてランキング1位に座りたかった…。 まぁ、こうなったら是非も無し。**気分一新、またシコシコ点数ためて、ひとつベルトでも目指そうか。ワンフー・マクダニエルには浮気できないなぁ、これじゃあ当分（青森県／青木雄大／24歳／素人ポンチ絵師）5点** ★悪かったな。お前の気持ちをよ〜く考えてなかった。アンタの投稿はレベルが高すぎて毎回ボツハガキを選ぶのに苦労するよ。ズバリ二代目チャンピオンの最右翼じゃあ！ それに俺は邪道！ 浮気も認めるよ。バレなきゃOK！ ただし、Show氏ネタはワンフー・マクダニエルに送ってくれ！

●「オイ!! スピルバーグが来ねえってよ!!」という父の言葉（正解はゴールドバーグ？）で幕を開けた2000年、私は毎日元気に高校へ通っています。さて、先日、隣の席の男子（ハイブリットボディ）が女にフラれて泣いていたので、「笑いながら歩こうぜ!!」と猪木イズムで励まし、更にタナケン道場入りを強く勧めておきました。どうなるのか将来が楽しみです。（千葉県／神子佳世／17歳）5点 ★オイオイ、相変わらず親子揃ってイイ味出してるみたいだな。おそらく、親父さんは『PRIDE.GP』を見て「オイ!! なんでリングサイドにプランクトンがいるんだよ!!」なんて言ってるであろう2000年、俺の師匠も元気に高校へ通ってるん邪！ 猪木イズムで励ましタナケン道場を勧めるとは的確なアドバイス邪！ 迷わず行けよ！ 行けばわかるんじゃあ！ 押忍！（敬礼は嫌い by タナケン）。

柳瀬桃子16歳 可能性無限大…

（杉並区／柳瀬桃子／16歳）5点★オイオイ、ももぢさんよぉ、ちっと前まで15歳だったのが、気がつけば16歳になってるじゃねえか？ 誕生日おめでとよ！ 誕生祝いにお前の希望の『大仁田＆エンセンサイン入りTシャツ』をやるよ。あばよ！



新日本カリスマ美容師決定戦！ 髪切りデスマッチョ（ドラゴン）



（埼玉県／中川雅博）4点★「飯塚なんかベースは何もなかったんだよ。でも今はアイツも高校生に毛が生えたぐらいのものはやるよ（by長州）」。オイ、オイ、オイ、道場長よぉ、お前も高校生だったのか？ だがな、その毛を切ってどうすん邪！

VS



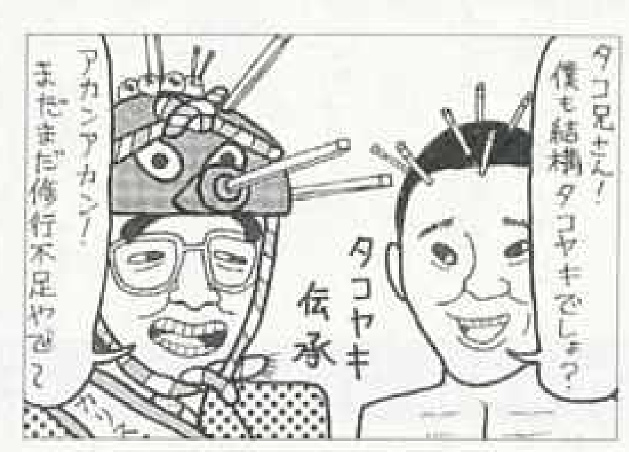
（愛知県／たっつあん）4点★年賀状に続き精力的に活動中の藤波社長のヘアーカット講座の始まりじゃあ！ 助手はもちろんチョッキンアドバイザーのかおり夫人邪！



二重合掌

（左・キャプテン名倉）5点（下・中川雅博）5点★吉村道明じゃないけど、最近いろんな人がドンドコドンドコ亡くなっちゃうな。オブライトに続いて、カンガルーズのアル・コステロ、そして荒井注、次は、森●●●か？ とにかくみんなに合掌じゃあ！





リングス忘年会での楊枝虐待には現在告訴も検討中です……嘘じゃあ！



今号もハイレベルの投稿大噴射の青木雄大さん。スペースの関係でボツになってしまったハガキさんよぉ、トアルコトラ邪！

締切直前飛び込みセーフ！ 青木雄大じゃあ！

（青森県／青木雄大）各4点・計16点★ヤギジュン、多和田、千景の元LL三人娘が同学年とは気がつかなかったよ。そこで次号予告！『ヤギジュン衝撃の新展開！』をお届けする。この調子でLLブラザーズも発掘じゃあ！

青木さんよぉ、俺もヤマちゃん＆藤田は解禁だと思ってたよ。だがなぁ、そうは問屋が卸さなかったんじゃあ！ もうちっとだけ待ってくれ！





【オーディション開催のお知らせ】ミレニアム記念バーリ・トゥード大会 第1回テーマ『大仁田劇場オーディション』配役①大仁田自身のヒーロー②大仁田のタッグパートナーなのに大仁田より人気者③大仁田の学校へ行く時の後ろから付いてくるやつ（バンド好き）以上、3役を『紙プロ』誌上で、オーディションします。（青森県／赤松亮）1点
★オーディションでもなんでも勝手にやっちゃってくれ！ 赤松亮、あとはお前に任せた！ 俺は3月9日、UNW後楽園大会でリングアナウンサーをやるん邪！……マジじゃあ！（予定）

妖怪通信 Y2J magazine

ウェルカム・トゥ～・『ロウ・イズ・ジャイコ～!』（客席からはブ～!）なんと、ジャイ子が全女のオーディションをブッチした！　全女からは書類審査合格通知書まで届き、本人の手に渡っていたのだが、それでもジャイ子が逃げた理由とは？　とりあえず、そんなこんなでジャイ子の最近の動向をチェックしながら対策と傾向をおぼろげながら考えてみます。

坂井ノブ（亡霊）



（青森県・青木雄大）5点
イラストでは根強い人気を誇るジャイ子。山口日昇も大好きな椎名林檎役がよくハマる。

そして普通の女の子へ……。

私はジャイ子については、まったく理解できないにもかかわらず、好き勝手な発言により、ジャイ子の精神を害したことにつきまして、ここにお詫びいたします。

とくに、一号前、もと『紙プロ』・ジャイ子氏に対しましては、その人物像を数回にわたり、無許可、無報酬で、出版物に掲載し、多大なる御迷惑をおかけしたことにつきましても、お詫び申しあげます。

担当・坂井ノブ（亡霊）

な～んて書いてみようかと思ってました。ジャイ子が全女のオーディションを受けるなら。ただ、受けなかった以上これは撤回。全女広報の今井良晴さんには期待だけさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。

原因は、ジャイ子が前号のこの原稿を気に入らなかったため。原稿チェックなしで出したのが逆鱗に触れたようだ。たしかに、それはボクのミス。

すると、ジャイ子は反撃を開始。深夜、あっちこっちに電話をかけまくり、ボクの悪口を1時間以上に渡ってしゃべりまくるという、非常に粘着質な報復活動を展開し始めた。ホイラー・グレイシーじゃないが、「ジャイ子の仕返しは女の子のようだった」と言いたくなる陰湿さ（あれっ、ジャイ子は女の子だったっけ?・）。

説得しようと電話をかけてみたが、ジャイ子は「もう、オーディションなんか受けないから！　受けるなんてひとことも言った覚えはない」と話をすり替えてきた。ジャイ子が忌み嫌うボクをハズしてオーディションを受けるということで、本誌スーパーバイザー吉田豪までもが説得に乗りだしたが、「表にも出たくない」とゴネまくった揚げ句の不参加。結局、初めから逃げる気だったのだろう。オーディション数日前からは、完全に連絡も取れない状態に陥り、逃げ切りは成功した。

あれだけの怪物キャラを見事に演じきったのだ。絶大な期待から逃げ出すタマではないと思っていたのだが。

ボクらはジャイ子がまだまだ表舞台に出る気があるんだとばっかり思っていたが、そうでもないらしいので、当コーナーも今回限りでやめます。素人をいくらいじっても何も生まないので。

ジャイ子自身も「普通の女の子になる」とキャンディーズよろしく言っていたらしい。だが、キャンディーズも、普通の女の子にはなれずに芸能界に戻ってきた。結局、その人が持っている器というものが居場所を決めるのだろう。ジャイ子の器は断じて「普通の女の子」ではないと思うのだが……。

まあ、ジャイ子が戻ってくる日を歌いながら待ちますか一っ!?

♪もうすぐ春ですねぇ～、

ちょっと戻ってみませんか～?



ゴミはゴミ箱にね……そうじゃない。ジャイ子のスケールは、ちっぽけな「普通の生活」などに断じて収まるものではないのだ！

◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎

『SRS・DX』のごっつあん銀座をリスペクト!! スモーノブのごっつあん部屋

はぁ～、どすこ～い！　どすこい！　いつも「ごっつあん銀座」でワシのことを書いてくれる井上きびだんご兄さんに、ごっつあんベリーマッチ!!　ピース!!

スモーノブでごわす。今月は、まずごっつあんのお礼をする前にひとこと言わせて欲しいばい。何スか、板井!?　似たような苗字を持つ男としては、迷惑この上ない話でごわす！

しかも八百長って何事っスか!?　しかも自分も金をもらってたなら、黙っておくべきでごわしょうが！

その点、ワシは物品の贈与はすべてクリアーにするばい！　そのかわり星勘定は一切なし！　ギヴ&テイクのテイクのみで、このコーナーは成り立っとるばい。というわけで、今回もごっつあん部屋に突入でごわす！

●初代マスクド店長（現在AVメーカーのアタッカーズ勤務）から『龍の穴』なる素敵なビデオをごっつぁんしたばい。主演は、坂巻リオナ嬢。素晴らしいものでごわした。

●『PRIDE．GP』翌日、会社にフラッと遊びに来てくれた真下純子ママからは、愛知県限定の『八丁味噌プリッツ』をごっつあんしたでごわす。また、遊びに来て欲しいでごわすな。

●本誌スーパーバイザー・吉田



アタッカーズの岩渕さん、ごっつあん！　これなら性病も怖くない！

◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎ごっつぁん◎

豪からは、『スモー・ストンプ』なるCDをごっつあんしたでごわす。中身は相撲とまったく関係のないものでごわした。YMOなどでおなじみのALFAレーベル・リミックス集といった感じでごわす。

●最近、キックボードを購入してゴキゲンの原タコヤキ君兄さんからは、日清『カップヌードル』を30個もごっつあんしたでごわす。嬉しくて毎日食ってしまったばい。

このように今月も皆さんのごっつあんにより、スモーノブは生きながらえておるばい。というわけで、今後も引き続き読者さんや関係者からのごっつあんをお待ちするでごわす。女の子が会社に遊びに来るのも大歓迎ばい。

『PRIDE．GP』での活躍は記憶に新しいタチ関。今回の『PRIDE』を塗りつぶす勢いだったが……。



グレートチョロのハガキ劇場

大西タマリンの 世紀末珍獣絵巻地獄観察日記



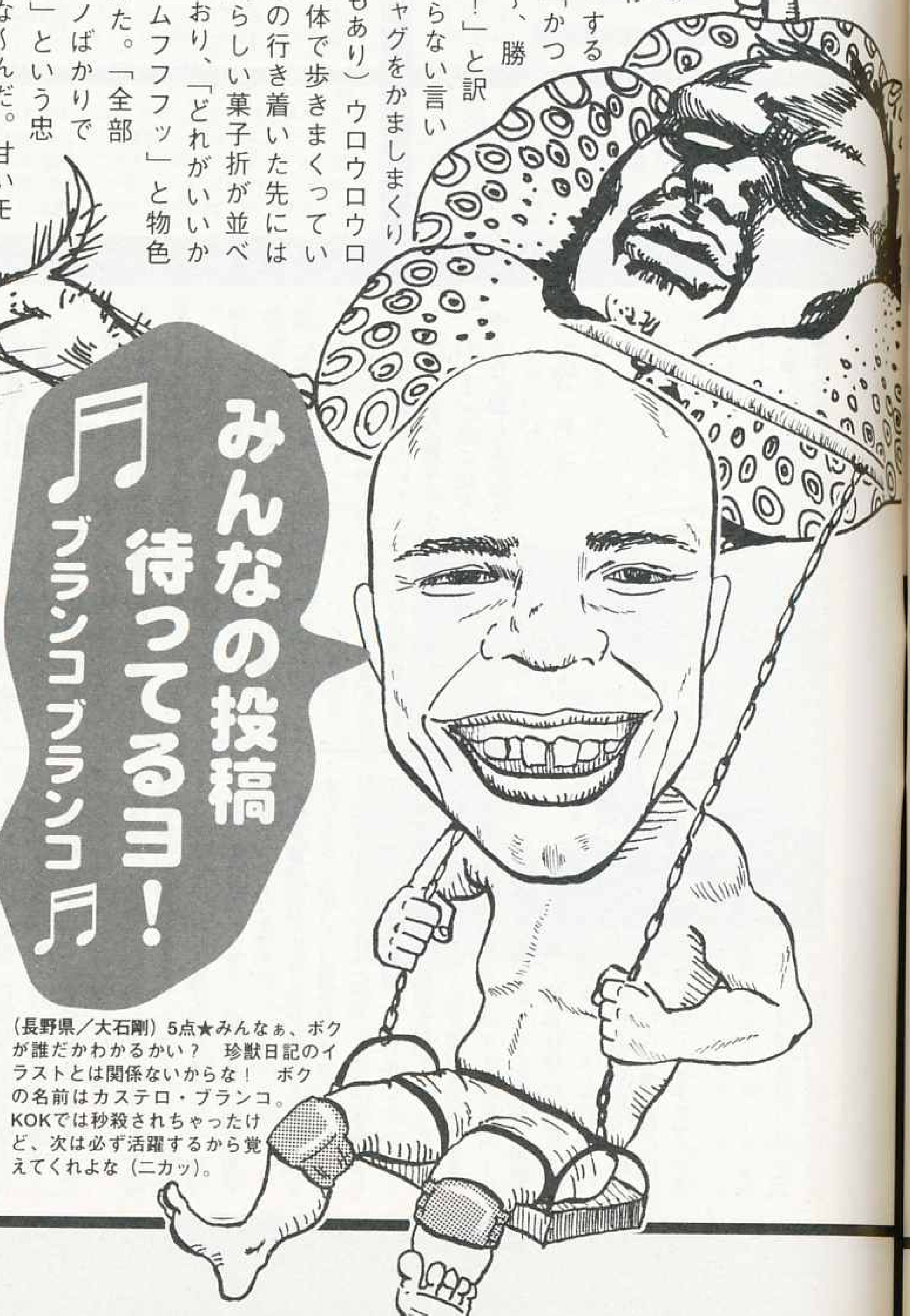


いつもは編集部内に住む珍獣たちを追いかけるのだが、今回は以外なところで見つけた大珍獣を紹介する。久々に珍獣研究家魂がくすぐられた価値ある1品。その名も愛しのマサ斉藤だ!

毎回毎回、新しい『紙プロ』が出来上がった日にはいろいろなところへお持ちするのだが、その中で最も〝ステキ〟な返答をしてくれるのは新日本プロレスだ。取材拒否どころの騒ぎではない拒否反応を示してくれる新日さんは、広報の倉掛さんが対応してくれるのだが、口を開けば愛嬌たっぷりで「編集長がやめればね」とか「ウチの選手の写真はぜ～ったい載せるな!」というような辛辣なことを言ってくださる。でも、「書評だけしか読むところがナイ!」と中身は全てお見通しなご様子。そして今回、スモーノブが場所中で行けないかわりに、ワタシがお届けすることになった。

新日事務所に通してもらうと、倉掛さんは電話中。しばしの間待つことになりそうだと思っていると、聞き慣れた声で「かつぅ～、かつぅ～、勝ぅ～」と何回も変な呪文が……後ろをパッと振り返るとそこには「マ、マサ斉藤だ!」そう、マサさんがそびえ立っていた。マサさんは間違いなく珍獣のフレグラが漂っている。そして、ずぅ～っと勝新と思われる人物のモノマネを繰り返し、(おそらく永島勝司取締役に向かって)「かつぅ～」を連発していたのだが、事務所の人々には「なんか混ざってきてますよぉ～!(苦笑)」と笑われっぱなしであった。すると我らがマサさんは「かつって言ってもだなぁ～、勝海舟もあるんだから!」と訳の分からない言い訳&ギャグをかましまくり(テレもあり)ウロウロウロウロ巨体で歩きまくっている。その行き着いた先にはお土産らしい菓子折が並べられており、「どれがいいかなぁ～ムフフフッ」と物色し始めた。「全部甘いモノばかりですよ!」という忠告に「な～んだ。甘いモノかぁ～。そういえばさきこれ、食べたなぁ～」とおとぼけを繰り返しまくっており、『ワールドプロレスリング』でフサフサマイクを着用しているマサさんとはちょっぴり違う姿に、幻想を抱かずにはいれなかった。この光景をかなり微笑ましく眺めていると「このことはぜーったい帰って編集部で言うんじゃないぞ!」と倉掛さんに釘をさされてしまった。一応、編集部では言ってませんので……あしからず。





(長野県/大石剛) 5点★みんなぁ、ボクが誰だかわかるかい? 珍獣日記のイラストとは関係ないからな! ボクの名前はカステロ・ブランコ。KOKでは秒殺されちゃったけど、次は必ず活躍するから覚えてくれよな(ニカッ)。

★ハガキ劇場★ オフィシャルランキング2000

1位	青木雄大	54点
2位	たっつあん	24点
3位	塩本祐介	23点
4位	中川雅博	18点
4位	キャプテン名倉	18点
6位	アントニオ文朱	17点
7位	英加直純	15点
8位	神子佳世	13点
8位	大石剛	13点
10位	細井つき子(他3名)	10点

募集要項

『ハガキ劇場』では、皆さまのご意見、ご感想、イラスト、投稿写真DX、俳句劇場等々、読者からの熱烈投稿を待ってるんじゃあ! 宛先は……

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ケ谷
3-11-3-702
(株)ダブルクロス
「ハガキ劇場」係まで。
合言葉は、「新宿でかぐや姫発見!」邪!!

でっかいリザーバージャイ子
本戦出場ならず！ あえなく脱落!!

書いて書いてマジ書いて、裸になったら書けてくるホントの投稿

シロウト勝ち抜き筆自慢！

PRIDE.0(ゼロ)

今号からの月刊化によって『PRIDE.0』に大きな障害が発生してしまいました。それは何かというと、ただでさえ投稿が少ないことで有名な『PRIDE.0』の締切が大幅に早くなってしまったのです。どんぐりころころさあ大変。そんなこんなで掲載者選択後に到着した、ギャルのできそこないさん、佐々木学さん、アキラコ1号さん、大里謙二さん、大野裕子さん、新宿かぐや姫さん、森モーリー鷹博さん、その他、数えきれるほどの投稿者の皆さん、これに懲りずにまた投稿してきて下さい。そんな中で今回あらたにエントリーされたのは、『紙プロ』編集部のポストに直接投稿（その投稿数なんと10通以上）を投函し、風とともに去っていく柳沢諏訪郎さん、だいぶ前に投稿してきてくれた作品が、なぜかボクの机の中からひょっこり出てきたので選んだ無軌道君の2人。対するは、あれよあれよという間に気がつけば殿堂入りリーチを賭けていた森下潤一さんです。どうする『PRIDE.0』&『PRIDE.GP2000』？ どうなる森下潤一&森下社長？ そして、さようならジャイ子。イクわよ～！ 1、2、3、ジャイ～ン！ （チョロ）

前号の結果発表！	感想
ライセンスナンバー18 森下潤一さん 『ボブとケアーに贈る言葉』 73票	●「森下さんには毎回ツボを突かれます♡」（三重県／宮崎文子／20歳）●「ボブチャンチンと金八先生をむすびつける文章力はすごい」（群馬県／田部井堅二／32歳）●「金八ネタは俺も大好きです。負けませんよー（何が?）お姉さんもステキです」（宮城県／桜庭くし夫／26歳）●「最後のおちが好きです」（兵庫県／大塩虎徹／27歳）●「強引に金八に持ってく所と最後の落とし方、最高ーです」（神奈川県／山口義隆／17歳）●「金八ネタがいいね。プロレスはやっぱり言葉。猪木も前田も言葉が光っていた」（愛知県／井上芳弘／29歳）●「ボブとケアーのような生徒がいたら、金八先生も大変だ。私がボブのファンになった理由も森下さんと一緒です!」（東京都／梶田宏美／18歳）●「安定感出てきたね。それにしても姉ちゃんオチ最高!」（愛知県／たっつあん／32歳）
ライセンスナンバー22 ジャイ子さん 『ヒマ潰しの告発　第二回』 59票	●「ジャイ子がかわいそうなのかなんなのかわからなくなってきました。全女での活躍、期待してます」（長野県／大石剛／22歳）●「とにかくジャイ子が不快」（調布市／片岡健太郎／24歳）●「とにかく好みだから!　一度会わせて欲しい!　文もいいけど本人はもっといい!」（宮城県／猪股豊／38歳）●「ジャイ子（27歳）。おばちゃんがんばれー!」（山口県／ゆずっ子／21歳）●「んなことぁどーでもいいって感じ。小柳ルミ子の生放送みたい」（足立区／鈴木孝志／23歳）●「このままひねくれキャラで走ってほしい」（大阪府／山内義久／31歳）●「元編集者の割にはヨカタで手相撲（?）な文章だな」（札幌市／藤原章男／27歳）●「天国のジャイ子、最後までイカなかった、ジャイ子。ありがとぅー!」（熊本県／尾方隆博／24歳）●「スキがあったらかかって来い!」（北海道／佐藤稔／33歳）
ライセンスナンバー19 出渕パパシャンゴ誠さん 『すべての若きテキサンども』 38票	●「とても解ります。ところでパパシャンゴが好きなのでしょうか?　Uウォリアーの額からミドリ色の血が出るから?」（埼玉県／中川雅博／22歳）●「ショーンは最近パッとしないのにムリヤリテーマを見いだしているのが『週プロ』みたいで良い」（三重県／内田裕紀／22歳）●「今、社長ネタっていうのは、ありきたりという感じがしないでもないがショーンにスポットをあてたの良い。で、テイオーは?」（千葉県／内野さとし／32歳）●「他の2人は半分実況中継とキャラクターで押してるだけと感じます。文章で引きつけようとはしてませんよね」（愛知県／井上勲／29歳）●「写真の笑顔がステキなので。ジャイ子の文は毒ありスギ。もう止めた方が良いかも」（仙台市／ブオサック／25歳）●「前回の清原といい、今回の夢狩人ショーンといい、人選が渋い」（東京都／中島秋恵／34歳）

4戦勝ち抜き・殿堂入りリーチ

ライセンスナンバー18

『まいあがれヒロ斉藤』

森下潤一（26歳）

1・4のドームで解説のマサさんが、しきりに挑発してくるマッチョマンに一発をぶちかましました。

すでに現役を退き、60も近いというのにこのパワー。

新日対UWF、山崎さんの引退などいろいろあった大会でしたが、僕は何よりも、このマサさんの勇姿に一番シビレました。と、同時に「何故、この強さがヒロさんに遺伝しなかったのだろう」と思いました（まあ親子じゃないからあたり前なんすけど）。

2000年初のドーム大会。なのにヒロさんは試合すら組んでもらえませんでした。武藤さんのセコンドで試合のなりゆきを、ただじっと指をくわえて見てるだけでした。

昔からそうです。マサさんが常に加害者なのに対し、ヒロさんは常に被害者です。

タッグの時など必ずヒロさんに攻撃の的が絞られ、みんなにコテンパンにされてます。

おかげで体はいつもパンパンに腫れあがってます（小太りのような気もしますが）。

フォールされるのもヒロさんです。

キャリア・年齢からして既にベテラン。なのにけして裕福でない彼の姿に、僕はつい思いをはせてしまいます。

これが並の神経なら「あ～あ！ どうせ俺はいんちきマサ・サイトーだよ！」と自棄になり、傷害事件。ぶちこまれて長期欠場になっているところです。お父さんみたいに。

肉体以上に精神が鍛えられているヒロさんは、小川さんにやられるたびに登校拒否をしてしまう橋本さんとはワケが違います。「ヒロさんの爪の垢でも煎じて飲め！」と橋本さんに諭してやりたくなります。

そしてヒロさんといえば、何と言ってもセントーンです。

小走りのヒロさんが突然、バナナの皮に滑ったかのように舞い上がり、寝ている相手に背中からドッシ



～ンと落下する、マスカラスも顔負けの空中殺法。

ディック東郷さんや美咲華菜さんも、よくこの技を使用してますが、ヒロさんのと比べると「まだまだセントーンはまかせられないわね」と思ってしまいます。

というのもヒロさんのセントーンには非常に重みが感じられるのです。

「婢あつかいされ続けた、試合の間、俺はじっとこの瞬間を待ち続け、耐えに耐えて耐え抜いたのだ～！」という叫びが表情にありありで、技の名のどおり、威力が「千トン」あるように見えるのです。

ヒロさん怒りのセントーンに観客は惜しみない拍手と声援を送ります。そしてそれらを一身に浴び、悠々と宙を舞うヒロさんは、まるで真夏の太陽の様に眩しく輝いています。

しかし技としては、これほど完璧なものはないのに、何故か3カウントが入りません。

この謎をプロレス通（?）の姉に聞いたところ、彼女はこう説明してくれました。

「そらヒロが勝ったら絵にならんから、試合後に長州が怒りよんで。『コラー！ 二度とセントーンのできん体にしたろか！』ゆうてヒロの背中に、ごじんじょダイコの乱れ打ちをかましよるわ」

維新軍団時代のあんなしょうもない技をおしおきに使うとは到底思えないのですが、まあ姉の言ったことは当たらずとも遠からずかなあ、と妙に納得してしまいました。

ボロボロになり、花道を引き上げるヒロさんの姿には何ともいえぬ哀愁が漂ってます。

寡黙で地味であくまでバイ・プレイヤーに徹する、その真摯な姿勢、尊い犠牲に僕は崇拝に近い感情を持ってしまいます。

それゆえに田中リングアナのコールも僕の耳にはこの様に聞こえてくるのであります。

「青コーナー！ 175センチ、105キロ！ ヒロー・サイコォー！」



（愛知県／たっつあん／31歳）
5点★この中の全選手を当てて下さい。なんかあげます。

ライセンスナンバー23
『肩書、プロレスラー』
柳沢諏訪郎（34歳）

プロレスラーって何だろう？

デカくて、ツヨくて、スゴイ人。で、プロレスする人。

じゃあ、ツヨいってどういうこと？　プロレスって、何？

普段なら、なんとなく折り合いをつけて、自分の中だけで納得できる定義づけが、できているような気がしているのだけれど、こういうことがあると、改めて考えさせられてしまう。

旧ＵＷＦができてから、曖昧なままにしてきた問題。考え始めると、「明確な解答などない」とか「十人十色だ」などというところへ逃げだしたくなる問題。

「プロレスラー」＝「強さを核とし、人間味、感情等を加味し、闘いとして、表現する者」であれば良いなぁ、と思っても、強さはプロレスの修飾語ではなくなっている。

「レスリングの実績が」、「幕内まで行ったから」、「柔道チャンプだから」だとしたら、プロレス自体の強さって、何？

どんな技術でも、貪欲に吸収して飲み込む強さか。すべてを含んだものが、プロレス。だとしても、プロレスラー個人の強さを語る場合、ベースとなる格闘技を拠所とされてしまうことが、あまりに多い。では何の格闘技経験もなく入門してきた者たちは……。

入門後の○○留学というのもある。手持ちの技術では対応しきれない、そんなプロレス自体の強さって？

猪木でさえ、アリ戦の前に極真に教えを請うた。腕十字はルスカ戦後、延髄斬りは、モンスター戦後、自らのものとした。骨法だって学んだ。

それらすべてを取り込み、日々変化し続けるのがプロレス。その器の大きさが、胃袋の丈夫さがプロレス。それが間違いであるハズがない。

格闘技側、と呼ばれる人たちを気にしすぎているのかもしれない。自分でプロレスの強さに自信が持てていないのかもしれない。

もちろん、藤田は正真正銘のプロレスラーだし、ナイマン戦はまごうことなき、プロレスラーの勝ちっぷりだった。

しかし、小心者の性、気にしてしまう。

ならば、格闘技側から何の言い訳もでない純度100％のプロレスラーの登場を、夢見てしまう。フィニッシュももちろん、純度100％のプロレス技。

わかりやすさを追及するあまり、道場の隅っこに置き忘れられている技はないか？

プロとして、使うのをためらうような危険な技、それはブラッシュアップすれば使えないか？

新日の道場の片隅、もしくは高円寺あたりにない？　あるでしょ。あるハズだ。

今から10年後、この春、中卒で新日に入門し、鍛錬を続けてきた25歳の若者が、プロレスラーと呼ぶ以外の何者でもない彼が、世界中のバーリ・トゥードを席巻する姿が、目に浮かぶ（さらにその10年後、現キッズファイターが、ハクソンをボコボコにする姿も、目に浮かぶ）。

〈了〉





（愛知県／たっつあん／31歳）３点★ナイマン戦後、抜かずにはいられない男・藤田イラストが急増中。個人的に佐野直似顔絵を小募集。ブレイクしようぜ！

ライセンスナンバー24
『いしんぐんについて』
無軌道（18歳）

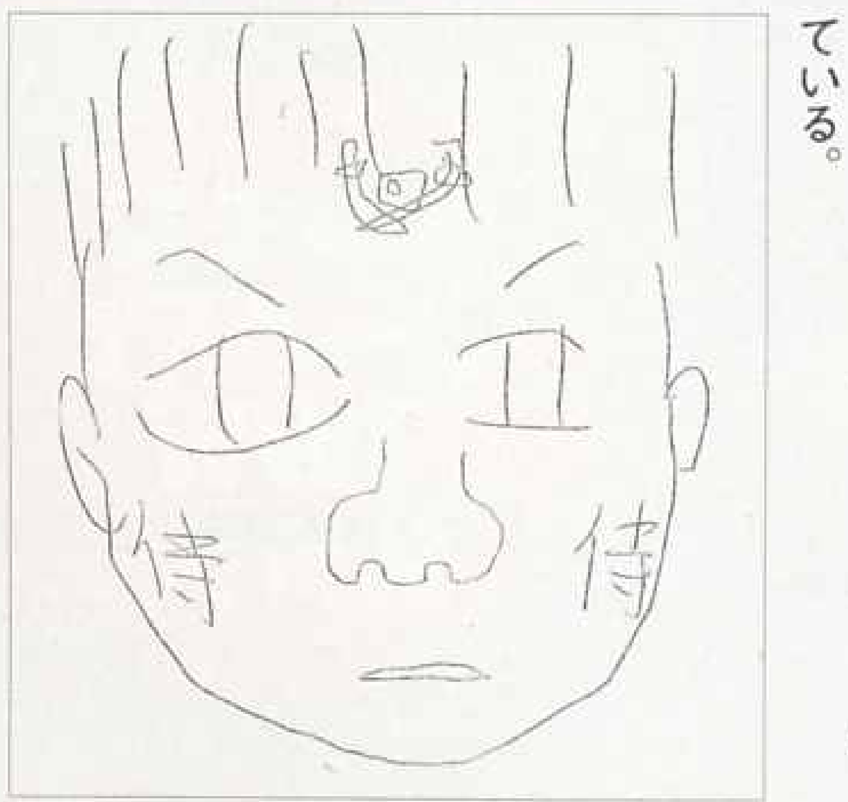
今、平成維震軍が一番面白い!!……そんな時期がかつてあった。

僕は10年間ほどプロレスを観てきたが、その中で最も印象に残っているものといったら、平成維震軍の闘いぶりにほかならない。

平成維震軍、元は反選手会同盟、越中、健悟、青柳、彰俊の４人の結成であった。結成当時、ちょうどプロレス雑誌をぼちぼち買い始めていた私は、その頃小学５年の夏、学校の成績はワースト１というくらい悪かった。プロレス以外、何のジャンルもほとんどわからない僕は、無口で暗くて勉強のできないパッとしないヤツ……であった。友達がいないわけではなかったが、とにかく暗い駄目人生を送っていた。授業中は指でプロレスをし、提出物は一つも出さずに、先生の言うことは全然聞き入れず、とにかくプロレスのことしか頭になかった。そんな僕の駄目人生は、反選手会とともに進んで行った。

そう、あの頃は越中がとにかく血気盛んに暴れ回っていた。そしてそれが火種でいろんなことが起こった。天龍対長州戦も、越中がＷＡＲにのり込まなきゃ行われていなかっただろうし、それから先の天龍と新日の闘争も、越中達なくしては起こっていなかったかもしれないのだ。反選手会は、プロレス界に大きく貢献していたのである。

そして、そんな越中の活躍ぶりを見て、辛い時も悲しい時も、元気を起こそうとしていた。学校でも、習字の時間には必ず「侍」と書いて提出していた。卒業文集の文と文の間のスペースに、平成維震軍と書いたのは、今でもハッキリと残っている。



そして小学校卒業数ヶ月前に見た、維震軍解散をかけて闘った越中のスーパー・ストロング・マシーンに決めたジャパニーズレッグロールクラッチは、今でも頭に焼きついている。見事なフィニッシュホールドであった。

そして暴れる維震軍は、独立し旗揚げをしてしまう。そこでは、冬木軍やタイガー・ジェット・シン、ヒール転向の蝶野、さらにサブゥー、元昭和維新軍のメンバーも加わり三つ巴四つ巴の闘いが展開されるという、面白すぎてたまらないようなことが起こっていたのだ。それこそ、平成維震軍が一番面白い時であった。雑誌を見るだけでも面白さが伝わってくる上、格闘技色などなくとも、プロレス色だけで充分に白熱した試合になっていた。多少しょっぱい試合があっても、乱入乱闘で、それをカバーしていたし、これぞプロレスというプロレスをしていたと思う。やはりプロレスは、こうでなくてはいけない。

今、プロレス界を活気付けるのは、大仁田でもなく、高田でもなく、小川でも佐山でも猪木でもザ・オコノミマンでもなく、平成維震軍の再結成なのだ。そして再独立……。すべては維震軍に集結すればいいのだ、越中対大仁田の電流爆破デスマッチに始まり、越中対高田の因縁対決、越中対冬木の再燃対決、挙げ句の果てには全日にのりこんでしまう越中……。そして新日本隊もゆれ、長州までも引きづり上げてしまい、最後にはかねてからの目標、天龍の首を取り、ついでにＩＷＧＰのベルトをも巻いてしまう……そうなればプロレス界は活気付くはずだ。



時には大きな目標に向かって血気盛んに突き進んだり、時には何を目的にやっているか疑問を持たれたり、時には大金星を取ってしまったり、時には仲間割れを起こし、すぐに仲直りしてしまったりする維震軍。それは正に中世ヨーロッパのビザンツ帝国のような不思議な魅力さえ感じられた。

今のプロレス界、他の格闘技を打ち負かして最強を名乗る男が出てくるか、越中詩郎が維震軍再結成をして暴れるか、そのどちらかがキーである。プロレスをいい方向に持って行くには、維震軍の大暴れが必要不可欠なのだ。だから、越中一人ででも、維震魂でプロレス界をかき回してほしい。

維震軍はなくとも維震魂はどこまでも続く……！

正義は我にあり、覇・平成維震軍!!

誰も気にしちゃいないだろうが、帰ってきたゼーッ！（ゴホッ）。前号は諸事情によりいつもの場所からお引っ越ししてお届けした『ＰＲＩＤＥ．０』。今号の３選手の中から、あなたが一番胸をギュッと締めつけられた作品と、その理由を書いて投票して下さい（応募方法はＰ１５９参照）。その中で一番得票を集めた選手は勝ち抜きとなり次号も参戦してもらいます。なお掲載者全員に立派な表彰状、見事５戦勝ち抜いた選手には『**紙プロ特製チャンピオンベルト**』を贈呈します。『ＰＲＩＤＥ．０』では皆様からの投稿をドカッと募集しています。参戦希望選手は４００字詰原稿用紙に一言～５枚程度（内容はマット界関連のことならなんでもＯＫ）、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ついでに顔写真（イラスト、卒業写真でもよし）を同封の上、

〒１５１－００５１
東京都渋谷区千駄ヶ谷
３・１１・３・７０２
ダブルクロス『紙プロ』編集部
「ＳＢで病院送り」係

ただし、ページの都合上、文章を一部カットすることもあるので注意！

●締切は３月３日（ひな祭り消印有効）





いきなりですが……

キミは<ruby>メキシコ君</ruby>を知っているか!?

紙プロ史上最も強烈なキャラ

★先日、本誌スモーノブが某ライブハウスでバッタリ遭遇した本誌のリビング・レジェンド成田メキシコ君(P59参照)。その偉大なる足跡は、すべて本誌のバックナンバーを読めばわかるはず! フラメンコ教室、バーミアン・スタンプ初の犠牲者、『週プロ』主催東京ドーム大会でのご乱行などなど、一度読んだら忘れられない企画ばかり! 彼が、なぜ伝説と呼ばれるまでになったのか?

答えは……

紙のプロレス 本誌の中にある!!

……というわけでバックナンバーの告知です!



第5号
★特集「たたかいグランプリ」
特別寄稿鈴木邦男、杉作J太郎、竹本幹男/ロングインタビュー馳浩/デビル雅美vs氏神一番/脅威の連載陣! 高田文夫、ナンシー関、浅草キッド



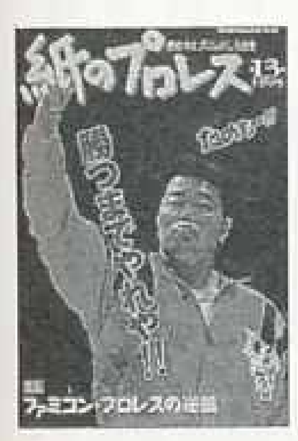
第8号
★特集「さらば新日本プロレス」
ワイド座談会/初登場ザ・グレート・サスケにロングインタビュー/セメントインタビュー関根勤/恐山でジンギスカンを食い、八戸で仮面貴族を見た



第11号
★特集「狂気とは何か?」
怒涛の6人インタビュー堀辺正史、T・J・シン、西村知美、佐野量子、ガッツ石松、糸井重里/プチ特集「『週刊プロレス』とは何か?」初代編集長勃占手記



第12号
★特集「色気とは何か?」
村松友視が前田日明を語る!/「前田日明が某格闘技雑誌編集長を女子便所説教」事件勃発記念座談会/蝶野正洋も登場!/色気王A・猪木も登場



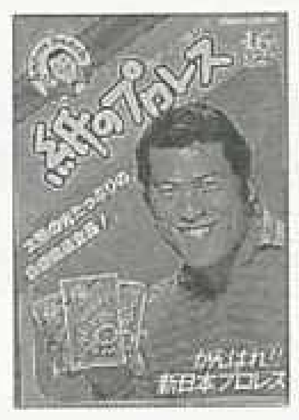
第13号
★特集「道場破りとは何か?」
安生グレイシー道場破り失敗事件記念企画山本小鉄&上田馬之助に緊急インタビュー/サブ特集「ファミコンプロレスとは何か?」デルフィン登場



第14号
★特集「神秘とは何か?」
佐山聡、大槻ケンヂ、プロボディーガード・清水伯鳳、鈴木みのるが神秘を語る!/遠藤幸吉、高田文夫にロングインタビューを敢行!



第15号
★特集「インディペンデントの逆襲」
インディーレスラー10人斬り+大物インディー3人 高野拳磁、ポイズン澤田、中牧昭二/巻末特集「K-1とは何か?」石井館長インタビュー



第16号
★特集「新日本凸凹大学校」
『紙プロ』的昭和新日総力検証 マサ斉藤、キラー・カン、田中ケロ、破壊王、後藤達俊インタビュー/ユセフ・トルコvs由利徹対談



第17号
★特集「実況パワフル北朝鮮」
猪木×永島のナマハゲ対談(© 大仁田)、村松友視がミーハーヒロイズム宣言!? ブル中野、破壊王も登場/巻末特集「藤原組の逆襲」



第18号
★特集「高田延彦さんへ愛をこめて」
引退宣言の読み方座談会/サブ特集「すてきな奥さん」大山倍達、サスケ、ライガー、石川雄規の嫁が登場!/新間寿恒ヒザ蹴り事件勃発!



第19号
★特集「さようなら紙のプロレス」
『紙プロ』の廃刊騒動の顛末。新編集長誕生!/サスケ×高野拳磁『紙プロ』を偲ぶ座談会ミスター・ポーゴ、山崎一夫インタビュー



第20号
★特集「劇的格闘技」
真樹日佐夫、角田信朗、大槻ケンヂ、村松友視の四大インタビュー/山口昇と東京シュガーベイブ結成記念 ユセフ・トルコ、上田馬之助、遠藤幸吉が登場



第21号
★特集「幻的格闘技」
古武道を通じてプロレスを考えよう! 前田日明も登場! スクープ・寛水流空手二代目会長の世古典代氏登場!/高田文夫、ユセフ・トルコが登場



第22号
★特集「この人が喝っ!!」
巻頭インタビュー・ジョージ高野/プロレス雑誌を斬る!!/高阪剛、セッド・ジニアス、小佐野景浩、熊久保英幸インタビュー/M・マスカラス宣言号



★猪木とは何か?
スキャンダルにまみれていた時期の猪木を直撃! どうってことねえよ!/村松友視、立川談志、告発仕掛人・仙波記者が登場! 新間のPKO発言を誌上再録



★パンクラス公式読本
〜矛〜
97年夏当時、横浜道場にいたパンクラシストたちを中心に構成!/なぜか突然、佐山聡が登場!/故・長谷川悟史選手のロングインタビューも掲載



★パンクラス公式読本
〜盾〜
97年夏当時、東京道場にいたパンクラシストたちを中心に構成!偶然か、必然か?/故・ジャイアント馬場がパンクラスを語った衝撃のインタビューも掲載!!



★極真とは何か?
不撓不屈の極真魂が溢れる16人を直撃!/松井章圭館長、磯部清次南米支部長、F・フィリョ、黒澤、ニコラス・ペタス、某格闘技雑誌編集長らインタビュー



★紙の前田日明
〜インタビューという名のエネルギー史〜
『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で掲載した前田インタビューを再構成してディレクターズ・カットで再録!/引退直前の覚悟のインタビューも新規収録!/完全保存版

『紙プロ』本誌が欲しいアミーゴのための申込み方法

●現在は1号〜4号、6号、7号、9号、10号、『大山倍達とは何か?』『猪木とは何か? キラー編』は完売しました。ノーダウト!!●定価は『紙のプロレス』5、8号は700円、11号〜22号は780円となります。●『猪木とは何か?』は1320円、『極真とは何か?』は1530円、パンクラス公式読本『矛』『盾』は1260円、『紙の前田日明』は送料込みで、サービス価格の2000円となります。●送料は1冊=310円、2冊=340円、3冊〜4冊=450円、5冊=520円、6冊以上=700円となります。●10号、『大山倍達とは何か?』は書店やプロレスショップで探せば若干残っているはずです。頑張りましょう。

【現金書留送り先】
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス「本誌バックナンバー係」まで

【郵便振替振込先】
00130-3-769154 (株)ダブルクロス
※どちらの方法にしても、必ず希望の号数を明記してください。絶対おつりのないようにお願いします!



グレイシーの次に日本マット界をおびやかすモンスター団体が年内上陸!?
No. GREAT ONE
¥ millions & millions
紙のプロレス
AMERICAN
WWF
TM
ブチ抜き
17ページ
WWF
大特集
ビンスも日本マット界も
ブッ潰す!!
猪木・前田・髙田らがWWFを語った
徹底検証
全日がWWF化する!?
日本のWWF・FMWを研究せよ!!
DDTがWWFにケンカを売られた!?
世界のプロレスはWWFだった!?
[エンターテイメント対談]杉作J太郎vs岡元あつこ
[特別レフェリー]ミスター・レフェリング島田裕二
黒船来襲!!

WWFの

日本マット界のスーパースターズも脱帽!



元全日本プロレス
現・ポーランド州立大学客員教授

ジャンボ鶴田

「今米国ではプロレスが大人気です。ショー・アップされた試合がテレビのゴールデンタイムで放送されています。放送時間の半分以上がインタビューで、内容は次のビッグマッチのPRです。グッズもトイザラス、CM等で売れ行きは好調。また、こっちの観客はバスケットやフットボールを見にいくのと同じような感覚で、プロレスを楽しんでいます。この辺りが日米のプロレスに対する意識の違いだと思います。**日本もだんだんとファン気質が米国に近くなっていかないと、TVのゴールデンタイム復帰は難しいでしょう。**

最後に全日本プロレスは多くのファンを持っているので、その要求に答え、独自の道を歩まなければいけないと思います。**勝負論のみを追及するよりも、ファンを魅了する団体になって欲しいと思います。**プロレスは『リングの中にその時代の社会現象を写し出す鏡』だと思ってます。その鏡が曇ったりヒビが入ったりしないように、しっかりファンの要求に応えないとその団体は繁栄しないと考えます。時代はプロレスに対して大きな変化を求めていると思います。プロレスが全て良いとは言いませんが、**ドラマを見ているようなショー・アップは米国の方が上だと思います。**2年目が正念場なので、新旧交代、他団体との関わり合い、TVゲーム、グッズ等を含めたエンターテイメントなどに、心を引き締めて対処して欲しいと思っています。

私も微力ながら日米スポーツの掛け橋になりたいと思います」

（全日本プロレス2000年鑑／BABジャパン）





黒船来襲!!

UFO総帥

アントニオ猪木

「俺の中でプロレスの定義というのは終始一貫していて、飛んだり跳ねたりばかりのルチャ・リブレや、マッチョマンのポーズくらべのようなアメリカン・プロレスは、どんなに年をとって丸くなってとしても、自分は絶対に認めないだろうと思っていました。ところが最近、現役を離れておおらかなアメリカで暮らしはじめたせいか、いささか物の見方が変わってきたんです。**サンタモニカの自宅で、テレビから流れてくるアメリカン・プロレスを、最初のうちは『こんなもの!』と馬鹿にしてました。ところが、何の気なしに横目で眺めているうちに少しずつ『なるほど……』と感心する部分があることに気づいてね……。結局、そのコミカルな〝勝ちっぷりや負けっぷり〟のパフォーマンス、そして肉体美の醸し出すエロティシズムというのは、日本のレスラーが真似しようとしても真似できない、表現力の賜なんですよ。だから、もし日本のプロレスがこのままアメリカのスタイルに近づいていったら、それは非常に危険な傾向と言わざるをえない。同じ土俵に立ってパフォーマンスを競っても、日本人はアメリカ人に勝てっこないんだから。つまりね、俺が求めていたストロングスタイルというのは、『強さ』という格闘技の本質の研究だけじゃなくて、アメリカン・プロレスへ対抗するための『戦術』でもあったわけなんです。**もっとも、俺にしてみればそれは無意識にやっていたことなんだけどね。でもプロレスは自由を表現するジャンルでもあり、そこに本来は制限などないんです。ただいくら自由といっても、どんなに時代は変わっても、大衆がプロレスに求めている本質は変わらない。**強い者、選ばれた者がリングに立ち、自分たちには絶対にやれないことを代わりにやってくれるからこそ人々はレスラーに憧れを抱くんです」**

（ザ・格闘家／光文社）

伯

UFO

小川直也



やっぱり民族性の問題ですからね、アメリカはアメリカであれ（アメプロ）が楽しくてね、むし

ろそういう形になっているから、

脅威と驚異

プレイバック発言集!

いまWWFがヤバい！　日本マット界の首脳たちも、ここ最近のWWFの勢いを敏感にキャッチしたコメントを残している。さあ、日本のプロレスや格闘技系プロレスにしか興味の持てないアナタも、日本マット界のVIPのフィルターを通してWWFを見てみよう！



高田道場

髙田延彦

「**僕はアンダーテイカーと試合がしたいんで。**日本の道は、今の段階ではないようなんでアメリカの方に目を向けて希望を持って頑張りたいと思います。アンダーテイカー戦を目標に。**あっ、ストーンコールドでもいいですよ。**ストーンコールド戦もふまえて、**マクマホン一家に入ってもいいです。**できればWWFの方がWCWよりいいです。上場しましたし」

（99・8・24『PRIDE・7』カード発表記者会見より）

「（高田さん自身は、まずはどこに照準を当ててるんですか？）やっぱりWWFだね！　あそこって種を蒔いてから、凄く時間がかかるらしいんだけどね。（WWFにはホントに出たいんですか？　リップ・サービスじゃなく）うん。どんな世界かわかんないから。だから、あそこも大きな山なんだよ。あそこでメインを張るっていうことは『PRIDE・GP』に優勝することと同じぐらい大変なことだよ。それ以上かもしれないね。そういう意味で、**山としてはホイス、それ以上かもしれない。**（いまのWWFで日本人がメインを張るとなったら大変なことですよ！）そういう大きな山に対して、どこまで自分が行けるのかっていうことが面白いんだよ。**あそこのリングに上がることが自分の目標じゃないよ。あくまでもメインにチャレンジしたいってことだよ。英会話もいま勉強してるし。マンツーマンで1日2時間、週に3回！　トークできなきゃ！　ね？（笑）**」

（紙のプロレスRADICAL・No.23）



掣圏道総師

佐山聡

「掣圏道にはアマチュアの掣圏道、ボクシングの掣圏道、そしてプロレスの掣圏道があります。プロレスの掣圏道はアクションプロレスと言いますが、非常に高いエンターテインメントを目指しています。ただ、プレ旗揚げ戦に**WWFが来るとかいった話は全部流れてしまいました。**来年3月から本格的に実現していきますので、よろしくお願いしま〜す」

（99年11月5日、『掣圏道』横浜文化体育館試合前のマイクより）

「WWFは面白いよね！　俺、アメリカに行ったとき毎日のように観てたけど、笑っちゃったよ、もう。**あれ観ちゃったら、もう、プロレスがどうのこうのいう次元は超えてるね。ビンス・マクマホン（Jr）は天才やね！**　WWFは全員でうまくキッチリ作ろうとしてるんですよね。そういう意識がありありと感じられるんですよ。だから、そういった点であいつらって真剣にやってると思うんですよね。画面から伝わってくるでしょ。だから一見クサそうな演技でも、よく見たら合ってるんですよ。今後、日本人は（モデルケースを）さらに高めるっていうのが上手じゃない。この調子でいって、大仁田が始めるのか誰が始めるのかわからないけど、転がりようによっては面白くなるんじゃない？

（紙のプロレスRADICAL・No.20）

リングスCEO

前田日明





イラスト／中川画伯

ろそういう形になっているから、**あえてそこは否定しないし。**やっぱプロである以上はお客さんのニーズというものが必要ですから。でも日本人の感覚と明らかに違うし、日本で同じことをやったらどうなるかってなるじゃないですか？　でも元来、アントニオ猪木がやってきたものを継いでいくという意味では教えを守って、さらにそれだけでなく自分で思っているものを取り入れていくというものに関しては、少なからずそうじゃないだろうなと。だいたい世界に通用するのって格闘技ぐらいですからね、世界チャンピオンになれるとか。そういう意味では唯一残されたスポーツかなと。

（猪木さんも、「いま日本のプロレスがアメプロ的になってきているけれども、同じことをやっても勝てるわけがないと。その辺に対処するために俺はストロング・スタイルというものを作り出した」と言われてましたね）

だから同じようなものだったら、絶対にすぐに侵略されるじゃないですか、変な話ね。だけど向こうにもてないものをもってるから、向こうは攻めてこれない。要するに対アメリカと考えれば、そういうことでしょうね。

（聞き手・吉田豪）

WWF 黒船来襲!!

検証 世界最大のエンターテインメント団体襲来で日本マット界はどう変わる？

鎖国・全日が開国目前!?

その昔は、ビンス・マクマホン、そして坂口征二前社長と手を組んで、日米レスリング・サミットを開催したこともある全日本プロレスだが、いま現在はWWFとほとんど交流がないようだ。じつにもったいない話である。いまの全日に、最も足りないと思われる部分をWWFは持っているのだ。（逆にWWFに最も足りない部分を全日本プロレスは持っている）。そんな両団体の接点を探しながら、アメプロ的観点から全日本プロレス改革論をブチあげてみたい。

（構成／坂井ノブ）



奇跡のようなショットである。日米レスリングサミットのような形での日本進出は、WWFも考えていないらしい。果たして、日本でどこが受け入れるのか？



約10年近く前に、全日本プロレスに来日をしていたケン・シャムロック。パンフレットで「もう少し練習して」と書かれてしまったこともあった。ガイジン選手には数居が高いのが伝統だ。

グレイシーに次ぐ、次なる日本マット界の黒船・それがWWFである。経営面だけで見ても、その躍進ぶりは非常に明らかだ。つい最近も、株式を上場したかと思えば、NY・マンハッタンのど真ん中にレストランを建てたり、挙げ句の果てはアメフトリーグを設立するなどとブレーキの壊れた戦闘機のような勢いで全米をじゅうたん爆撃中である。

今後、当然のようにWWFは世界中のプロレスマーケットを狙って進出してくるに違いない。それが日本である可能性は、ズバリ言って非常に高いのである。

実際、日本でも徐々にWWFに対する認知度は高くなりつつある。ここ最近、プロレスマスコミの総本家『東スポ』でもビッグマッチ（＝ペイ・パー・ビュー）があったときには大々的に誌面を割くようになったし、一般誌（というか杉作J太郎さん）がWWFを取り上げることも多くなった。現在の日本では衛星放送と輸入物のビデオでしか映像を見ることが出来ないというハンデを抱えながらも、大いに注目を集めているのだ。敏感なファンは、もう食指を動かしている。昨年までは約40人程度だった『レッスルマニア観戦ツアー』が、今年は100人近い申込みがあったのだという。

グレイシーほどの大きなショックではないが、WWFは少しずつだが着実に日本のプロレスマーケットを侵略しつつあるのだ。

さて日本のプロレス団体で、最もプロレス団体らしい団体・それが全日本プロレスである。

全日がドーム大会を打つときに、必ずと言っていいほどWWFの超大物を招聘するという噂が流れる。昨年のドーム大会は、結局ロード・ウォリアーズしか来なかったとはいえ。

ただ、いま現在のハイスパート・プロレスの全日本プロレスと、完全に連続大河ドラマとなったたWWFでは、あまりにも食い合わせが悪い。

世界最高峰のレベルを誇る受け身を駆使したハイスパートな全日本のプロレスと、世界最高峰の演出とストーリー展開で観客を魅了するWWFではどうにも接点を見い出すのは難しいかもしれない。せっかくの全日本独自のスタイルを捨ててまで、エンターテイメントに針を振る必要はないだろう。



定期的に来日の噂が絶えないストーンコールド・スティーブ・オースチン。全米を席巻するスーパースターだが、ピンで来日して、どこまで魅力が引き出せるか？　少なくとも、ビンスと2人での登場を望みたい。

ただ、三沢光晴新社長になったことによって、全日本の歯車がゆっくり動き始めたのも事実。それは、全対戦カードを抽選で決定したりといった、小さなことから徐々に始まっている。馬場さんの一周忌も無事に終えた後からは、さらに大きな渦が起こっていくはずある。

ライバルの新日本が、A・猪木の舵取りによるプロ格路線と蝶野＆武藤が主導となって転がしていくエンターテイメント路線に大きくわかれつつあるいま、全日本も大きな選択を迫られている時期だと言えるだろう。

ここで三沢がどのような選択をするのか注目が集まるところだが、最近変化が見られた点がいくつかある。

それは、試合内容。1月9日、三沢が馳浩とのシングルマッチの際に見せた、グランド重視の斬新な闘い方だ。「一点集中攻撃」という、非常にクラシカルな闘い方だったが、あれこそ、今後の全日本が突き詰める道なのではないだろうか？

1・23の横浜大会で行われた三冠戦を見て、余計にその思いは強くなった。ベイダーとの激闘を終えた後、控室でコメントを出した秋山が精魂尽き果てたといった感じで横になった。見ると、本人はいたって冷静だが、手が小刻みに震えている。ダメージの蓄積だろう。

苛酷すぎる受け身で、全日本プロレスの選手たちは、選手寿命をすり減らしている。秋山以降、5強に食い込みそうな選手が出てきていない以上、何らかの改革は必要なのだろう。そのカギがもしかしたら、WWFなのかもしれない。



ベイダーの保持する三冠のベルトに挑んだ秋山だったが、惜しくも敗れた。試合後、控室で横になる秋山には、戦慄が走った！　全日のスタイル改革は以前から叫ばれているが……。

妄想シュミレーション

全日本プロレスがWWFに染まる日

1月23日のシリーズ最終戦、三沢社長はシリーズ全体を総括するコメントを出した。マスコミにおける三沢のコメントは、非常にシリアスに伝えられていることが多い。たしかに、大事なこと、体調のことなどを話すときはトーンも沈みがちだが、そうではないときもある。この日はシリーズ最終戦ということもあり、コメントも比較的軽やかだった。

その中で非常に興味深い点があったので紹介しよう。

「お正月は毎年12時半から試合をやってるけど、レスラーもお客さんも起きてないよ（笑）。お客さんも盛り上がっててくれなきゃレスラーは盛り上がらないからね。俺がファンだったら、正月の昼間の12時半からプロレスは見ないな（笑）。寝てるよ。来てくれるお客さんがいるから助かるんだけど（笑）。コンディション的にも、そういうのはケガにつながっていくからね」

毎年恒例のように行われているが、たしかに昼の12時半からの興行は、お客さんやプロレスラー同様、マスコミだって普段なら寝ている時間。これには双手を挙げて賛成したい。

さあ、ここからが大事だ。昨年の東京ドーム大会を見て以来ターザン山本が訴えてきた「あの問題」……会場設備（花道や音響）について、遂に三沢が言及したのだ。

「もうちょっと客の眠気を覚ますことは必要だよね。地味だもんな、ウチは（苦笑）。音響にしろ、照明にしろ。レスラーでも、入場で『よし！これからいくぞ！』っていう姿勢になってほしいからね。そういうものは必要だと思うし」

ノーフィアー！　一周忌を迎え、遂に三沢自身もノーフィアーと化したか、ここまで言ってのけたのだ。

自分で言ったことは、必ず実行してきた有言実行の男・三沢だけに、きっとそう遠くない未来に実現させてくれるはずである。

というわけで、想像図が真ん中のイラスト。

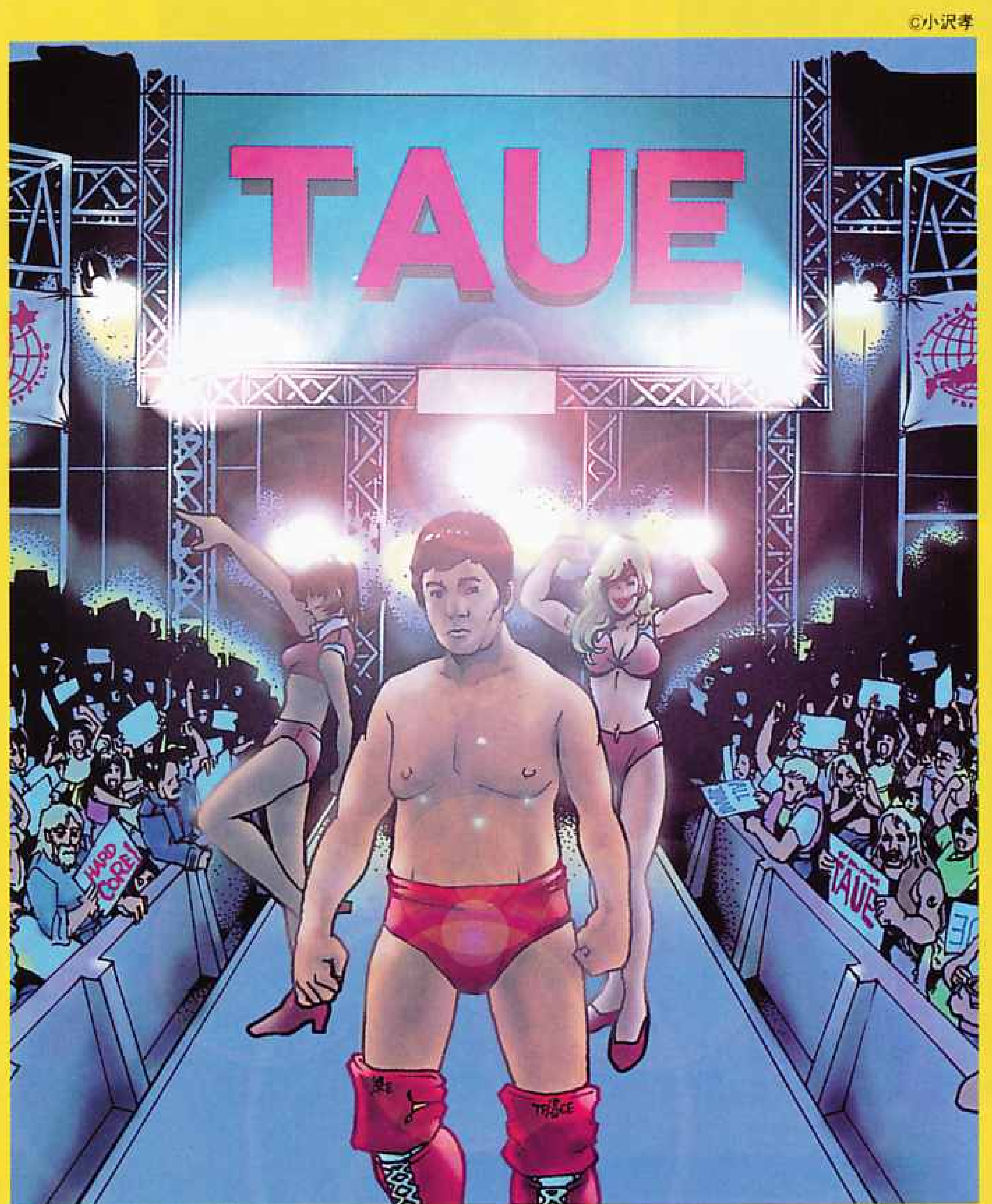
ズバリ言って、これは素敵！

ここまで極端にやると「こんなの全日本じゃない」と言うファンも出てくるかもしれない。たしかに、さじ加減が非常に難しい問題だが、



三沢社長のコメントの中から、今後の全日本プロレスが進む道が見えてくるはずだ。馬場さんの一周忌を区切りとして、新しく動き出す予感がプンプンする。今後の動向には絶対注目だ！

©小沢孝



全日本プロレスがWWF化したときの予想図。どーですか？　観客を非常に贅沢な気分にさせてくれる、非常に全日らしい演出だと思うのがいかがだろう？

結論
全日本は一部をWWF化すべき

我々は新しい風景を見たいのだ。

WWFから選手を招聘する以外、会場の雰囲気だけWWF化してみるというのも一考の余地はあるだろう。

なぜなら実際、WWFの会場の雰囲気に日本で一番近いのは全日本だと思えるからだ。何もプラカード掲げて応援するだけが、WWFではない。観客とレスラーの間に心地よいお約束があるというのもプロのエンターテイメントとしては全然OKなのである。

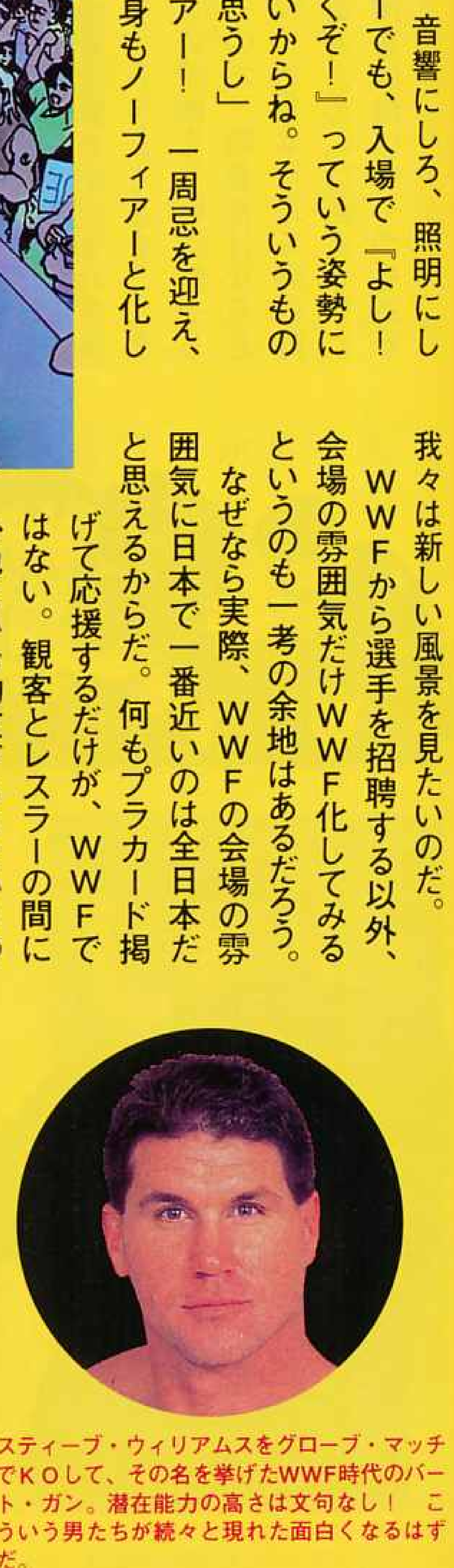
全日の会場では、「レフェリ～、和田京平！」のアナウンスと共に「キョーヘー！」の大合唱が客席から起こる。他にもハンセンの「ウィ～！」や「マイティ～！」といったものなど。

全日ファン以外からは、宗教っぽいと突っ込まれがちなシーンだが、あれとウリ二つの現象が、じつはWWFでも巻き起こっているのだ。

ザ・ロックの入場シーンを見て頂ければわかると思うのだが、「キョーヘー！」級の大合唱を観客が5～6回繰り返しているのである。「イフ・ユー・スメ～ル・ワット・ザ・ロック……イズ・クッキング！（＝ロック様の妙技を味わいやがれ）」というロックの入場時には必ず飛び出す決めゼリフがあるのだが、これなど、それこそ会場中で大合唱！。

このように全日本のファンは、WWFのような熱狂を生み出すだけの潜在能力を秘めているはずなのだ。

したがって、イラストのような演出も好意的に受け止めてくれそうな気がしてしょうがない。実際にWWFからレスラーを招聘するよりは、実現の可能性が高いはずなのである。



スティーブ・ウィリアムスをグローブ・マッチでKOして、その名を挙げたWWF時代のバート・ガン。潜在能力の高さは文句なし！　こういう男たちが続々と現れた面白くなるはずだ。

黒船来襲!!

検証 WWFが日本に受け入れられるには？

世界最大のエンターテインメント団体に日本最大のエンターテインメント団体はどうする？

日本で一番最初にエンターテイメント・レスリングの看板を打ち出したのがFMWだ。思いっきり良く打ち出して、未だに他の追随を許さない状態である。この分野に打って出たパイオニア戦志だけに、次々と斬新な企画を打ち出していく。昨年11・23の横浜アリーナ大会では、日本プロレス界の新しい1ページを記す大仕掛けのビッグマッチを実現させたのだった。もちろん、その手法がWWFにヒントを得ているのは想像に難くない。だが、本格的にWWFが日本進出してきたら？　団体の色が思いっきりかぶってしまうFMWは、そのときどうなっていくのだろうか？

構成／坂井ノブ（亡霊）

いま現在、FMWは米国インディーの雄・ECWと業務提携中である。つまり日本第3位の団体と、全米第3位の団体が協力体制を取って、互いに選手を派遣している。そこにFMW内の人間模様や軍団抗争がカラミあい、連続ドラマになっているのだ。

こういったドラマの中で、核になってくるのは誰なのか？　たとえばWWFではオーナーであるビンスを中心に話が回っている。団体の内部までさらけ出しながらヤケクソになって突き進んでいる。最近は、一時期よりも露出は控え目だが、誰よりもプロレス心のあるキャラクターであり、登場すれば大歓声を浴びている。

日本におけるビンス・マクマホンが、誰あろうFMWの社長・荒井昌一なのである。つい最近も、ECWに単身乗り込んで、罵倒されて、ボコボコにされて帰ってくるという、最高の仕事っぷりで、日本のファンを楽しませてくれた。



昨年11・23横浜アリーナ大会のHの入場シーン。オーエン・ハートが亡くなって以来、アメリカでは封印されている宙づりでの入場は度肝を抜いた。



ECWのトップ・スター、レイヴェンもやってきた。アメリカのスターがやってくるとき、日本のプロレスファンは、その心を思いっきりくすぐられるものである。

実際、昨年の青空プロレス道場で荒井社長の映像を流したところ、反応は思いの外上々。すれっからしの『紙プロ』読者にも、荒井社長のキャラクターは通用するのだろう。

現在、FMWの試合映像は、東芝EMIから発売されているビデオか、もしくはディレクTVの中継番組『ブレーンバスター』で見ることが出来る。団体をエンターテイメント化するときに避けて通れないのが、TVとプロレスのリンクである。現在、WWFは毎週月曜日と木曜日ののゴールデンタイムに中継を行い、全米で放送している。そこでめくるめくドラマが展開していくのだが、このスピードとスケールに追いつける団体は、まずない。アメリカの国技といっていい、アメフトの視聴率まで食ってしまう勢いだという。

だが、アメリカやイギリスでは敵なし状態のWWFも、日本にくるとどうなるのだろうか？

まず問題となってくるのは、言葉の壁であろう。たとえばTV中継では開始から10分間ぶっ続けでドラマを放送する場合もあるが、それを日本に持って来たとしてどうなる？　それは字幕のない映画を2時間魅せれるようなものだ。映像だけならともかく、WWFが日本に来て興行的に成功を収めるためには超えなければいけない障害は他にいくつもあるのは事実。

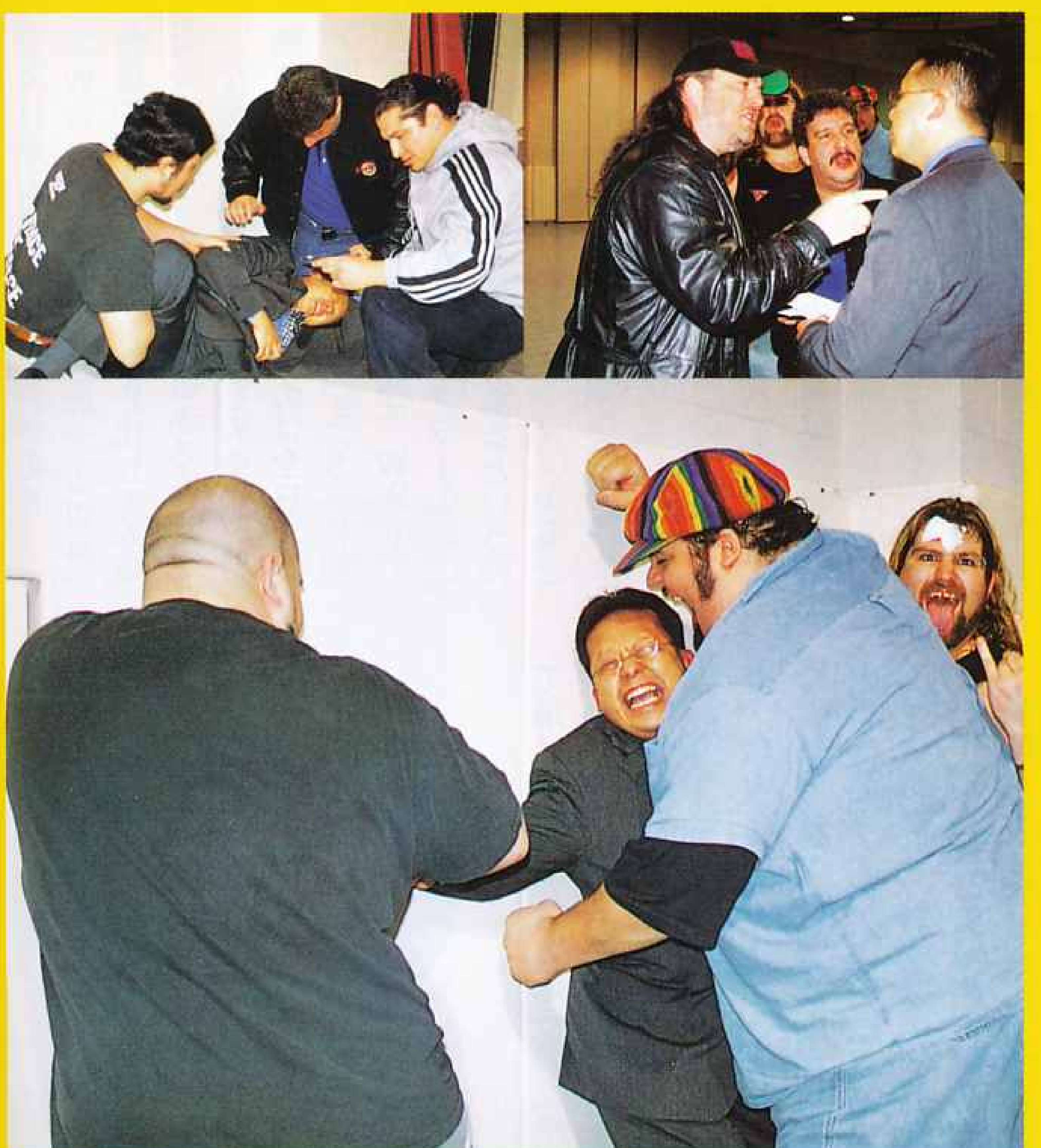
やはり、日本でも人気爆発となるには、ゴールデンタイムでの中継は必要不可欠だろう。しかも、地上波の民放だ。そんなことが可能なのか、どうか？　聞くところによれば、WWFの放映権料はベラボウに高いらしい。

しかも、自由の国アメリカだけに、放送内容も不謹慎なものばかり。日本の放送倫理では、到底放送不可能な映像ばかりだ。70歳を過ぎたお婆さんがギターでブッ叩かれる映像が、果たして日本のTVで流せるのか？

『愛する2人、別れる2人』のやらせ批判で、改めて日本のTV放送の限界が見えたいま、こんなことを望むのは厳しすぎるというものだろう。

それを日本流にアレンジして、一から作り出そうとしているのがFMWというわけなのである。

これはWWFを招聘すること以上に難しい作業だろう。現在のFMWを単なるマネだと揶揄する声もあるようだが、恐ろしく険しい道を突き進んでいるという点を見逃してはならない。



今年1月、ECWでボコボコにされた荒井社長。ポール・Eに怒鳴られ、アーミッシュ・ロードキルにアバラを叩き折られた荒井社長は、もはや世界を股に掛ける国際スターだ。

妄想シュミレーション

WWF vs FMW 日米エンターテインメント合戦勃発!!



横浜アリーナというと、日本で2番目にでかいプロレス会場というイメージだが、WWFはこれくらいの会場を当たり前のように週2回も満員にしているのだ。

仮にWWFが日本上陸を果たすとしたら……ECWと提携している現在のようにWWF―JAPANのような感じで、外部組織を作って日本に先兵を派遣する方向性が考えられるうがった見方をすれば、現在のECWとの抗争をWWFとの対抗戦のテストケースと見ることも出来るだろう。

そんな矢先、日刊スポーツが残念この上ないことを報じていた。「WWFが日本上陸を断念。8日までに団体関係者が明かした。PRIDEシリーズ主催のDSEと組んで6月に東京ドーム大会を計画。DSEの森下社長が渡米して交渉していたが、高額の放送権料が障害になった。それでも3度目の日本進出をあきらめたわけではなく、今後も提携先を探していく」。

提携で、莫大な金額がかかるというならば、これはあくまでも妄想だが、WWFがその莫大な資金で日本の団体を乗っ取ってしまえばいいのだろう。何も五分の盃をかわさなくとも、「損して得取れ」の発想があればWWFと関わるのも可能なはずだ。

全日&新日は乗っ取ろうと思って簡単に乗っ取れそうもない。その点、FMWはトップが荒井社長である。ECWでボコボコにされ、ポール・E・デンジャラスリーに罵られた、あの荒井社長である。WWFならば、ここに目をつけそうな気がする。水は低いところに流れる（失礼）という言葉もあるように。

何にせよ、ビンスと荒井社長が口論を繰り広げたり、荒井社長がストーンコールドにスタナー食らわされたりといった夢のような光景が見られるかもしれないのだ。荒井社長がビンスと対決！ それが全米にペイ・パー・ビューで流れるとしたら？ そのときはアメリカという国の懐の深さに、脱帽&敬礼させていただきたい。

最初は業務提携ということでも、本性を剥きだしにして、次々といろんな手で乗っ取りにかかる可能性もある。Hの引き抜き。社屋の買収。ストーンコールドがCEOに就任して、荒井社長の部屋で酒盛り。セクシー度NO.1のマネージャー・デブラと一緒に出てくるのがフライングキッド市原。

そこまで本格的にWWFがFMWを乗っ取ってくれるなら、アメプロファン的には是非とも乗っ取りに来て欲しいものだ。この世知辛い世の中、銀行だって吸収&合併を繰り返しているのだ。プロレス団体だって同じようなことがあってもいい。



コラージュだが、WWFのFMW乗っ取り大予想の図。

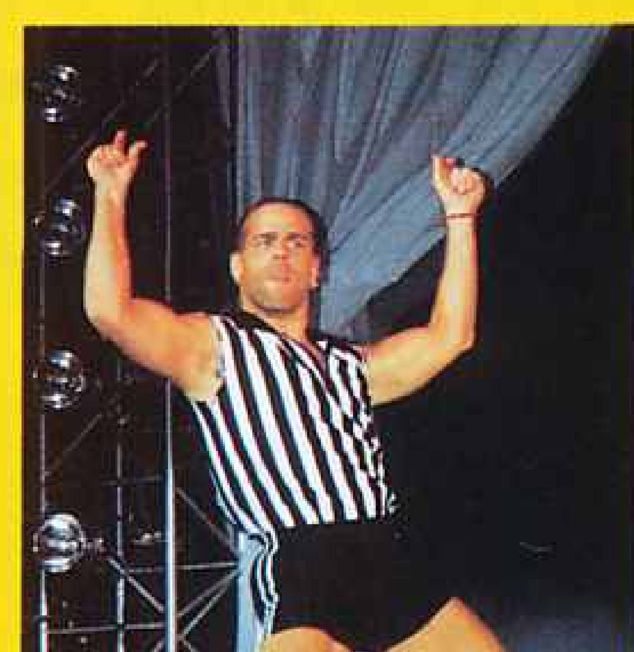
そういったひっ迫した状況で、Hや雁之助らFMW勢が、一致団結してWWFに立ち向かうとしたら、こんなに燃えるシチュエーションはないだろう。それこそ、看板を取り戻そうと、ボロボロになっても闘う誠心会館vs新日本プロレスの素晴らしき抗争、再びである。

「そのままのWWFを呼びたい」とドリームステージ・エンターテイメントの森下社長が言っていたのだが、これが成功する可能性よりも、もっと確実な方法が、FMW乗っ取りかもしれない。毎週月曜日&木曜日がWWFの全米中継の日なら、それ以外の曜日で週一回だけでも日本上陸をしてくれれば何の問題もないのだ。

WWFは週2回、横浜アリーナクラスの大会場を満員にしているのだ。はっきり言って、これは並大抵の動員力ではない。現在のFMWが横浜アリーナクラスの大会場で興行を打つのは約半年に1回ペースであることを考えれば、乗っ取りが成功するだけの格差は十分あるだろう。

どんなに多くの人が呼ぼう呼ぼうと努力を重ねても、スルリと逃げていってしまう幸せの青い鳥、それがもしかしたらWWFなのではないだろうか？

いざ、捕まえるのはどこの団体なのか？ なかなか日本に上陸しないのに、これだけ多くの人の期待を煽りまくり、熱狂させているだけでも、すでにボクらはWWFの日本上陸作戦に、ズッポリハマっている証拠なのかもしれない。



WWFとFMWの懸け橋をかけたショーン・マイケルズ。その登場は昨年のFMW最大のハイライトシーンだった。今後も、このような大物を招聘することが出来るのか？ 注目だ！

結論

WWFに乗っ取られてから闘いを挑むべし!!

黒船来襲!!

検証

世界最大のエンターテインメント団体来襲で日本一の悪乗りエンターテインメント団体はどう変わる?

DDTはWWF来襲で塗り潰されてしまうのか?

WWF黒船来襲といえば現在の日本マット界で外せないのがインディー界の悪ノリエンターテイメント集団DDTである。その知名度はWWFの遥か足元にも及ばないが、WWF的手法を取り入れた興行スタイルは日本マット界では群を抜いたものがある。そのDDTのエースでもある高木三四郎は、ストーンコールドとロックといったWWFを象徴するふたりのビッグレスラーの影響を多大に受けている。俗に言うストーンコールドポーズと、ロック風のマイクパフォーマンスなどがそれである。既にオリジナルにしてしまった感もあるが、本物のストーンコールドそしてロックが日本マットに来襲したらDDTはどうなっていくのだろうか?

(構成/チョロ)

本来なら、ここでWWFが日本マットに上陸したら、日本インディーマット界の悪ノリ集団DDTがどのようになるのかということを書こうと思っていたのですが、私・チョロの原稿が締切に間に合わず、ここではWWF所属のTAKAみちのくとDDTとのインターネット上での対戦をお送りします。団体関係者、読者の皆様本当に申し訳ありません。

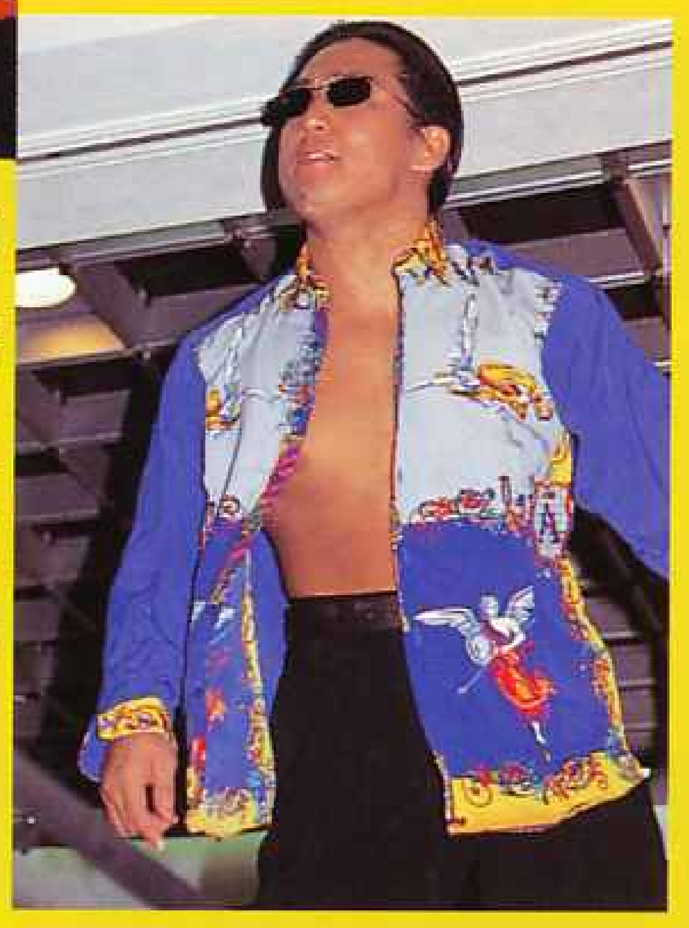
DDTが後楽園大会を成功させたことによって、DDTに多数のファンの視線が注がれることになった。そうなれば、温かい意見だけではなく、厳しい意見も出てくるのも当たり前の話である。

「WWFのパクリじゃん」といった反応も出てきているのは事実である。さらに最近、現役選手としてWWFで活躍を続けるTAKAみちのくが『週プロ』(NO.958)でのインタビューで最近の日本マット界のWWF現象について

「ムカつくよね。べつにマネしてもいいのさ。でも、あくまでも原点は試合でしょ。試合がしっかりしてれば後は何をくっつけようと、かざりをつけようといいのよ。だけど、試合もろくにできねえようなさ、チンケなインディー団体のヤツらが、そういうことに頼って客を呼ぶのが頭くるね。本家WWFのレスラーとして、納得するものがあるならば、オレもその団体を支持するし。こりゃダメだと思ったらその団体のファンも含めて敵に回す気でケンカ売るから。くだらない団体には消えてもらうよ。該当する団体いっぱいあるっしょ。FMWはいいんじゃない? それに頼らなくてもみんなできる人たちでしょ。ギミックに頼るのが気に入らないだけで。ちゃんと試合で魅せられるんなら文句はない」と語っているのだ。

日本マット界でのWWF現象といえば、FMW、DDT、GAEAが思い浮かぶが、「FMWはいいんじゃない」との一言から、FMWは削除される。またTAKAの視線が女子プロに向いているとは思えず、GAEAも削除。この結果、消去法により残されたのがDDTである。と回りくどいことを書いているウチに、毒舌ホームページで知られている「T





上の写真がWWFの象徴的存在でもある、ザ・ロック。WWFのことはあまりわからないボクにも、そのカッコ良さは伝わってくる。一方、横はDDTの高木三四ロック様である。ファッションだけでなく、三四ロック様のマイクパフォーマンスは本物のロックのマイクを聞いたことがなくても、「似てる似てる」と思えるはず。モノマネ番組のように三四ロック様のパフォーマンス中にうしろから本物のロック様が登場してきたら……んなこたぁあるわけねぇだろ! ファイヤー!!



DDTのカート・アングルといえば木村浩一郎である。キャリアの浅い選手の多いDDTにおいて、選手育成&強さの象徴として必要不可欠な存在だ。しかし、浩一郎には藤原組長との新団体設立の動きがある。どうする浩一郎?



アトランタ五輪のレスリング100kg級金メダリストで、プロレスの基礎はドリーファンク・Jrに叩き込まれたというアングル。デビュー戦から連勝街道驀進中のアングルだったが最近土がついてしまった。どうなるアングル?



DDTマネージャーのナオミちゃんが遂にリングに登場する。2・27EWF後楽園大会で、敗者陵辱マッチ・サンダーVSナオミ・スーザンの一戦が決定! ナオミちゃんはDDTでの因縁をリング上で晴らせるか?



実際におきた出来事

DDTがWWF(TAKAみちのく)から喧嘩を売られた！

AKAみちのくの文句掲示板」に直接、DDTの金子広報がその真意を問いただす書き込みを行った。

すると、TAKAはその団体とはDDTであることをあっさり認めたのだった。

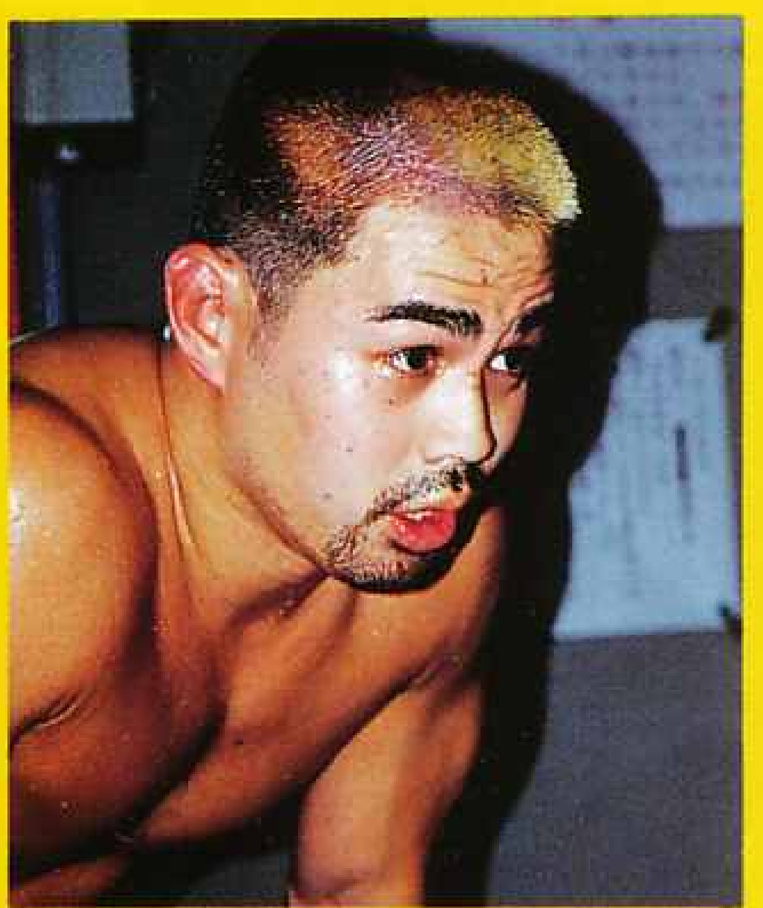
「物真似がどうかということですが、キチンとリスペクトして真似させてもらってます。それでいて自分のオリジナルにしていけば良いのではないでしょうか？　そっくりそのままパクっている印象を持たれるのは勝手なのですが、見てない人にぐだぐだ言われても別になんとも思いません。TAKA選手が初めから高木三四郎というレスラーをピンポイントで批判していてくれれば良かったのですが、影響力のある誌面で『ファンも含めて敵に回す気で』と言ってみたり、団体全体を否定するような発言をするのは、器の小ささを露呈するようなもので正直ガッカリしました。レスラーとしての最低限のプライドは持ち合わせているつもりです。ケンカを売る気なら一歩も引きません」

と高木三四郎も、すぐさま反撃し、その後はファンならびに、TAKAみちのく、木村浩一郎、三上恭平など選手をも巻き込んだ大論争になっていったのだった。

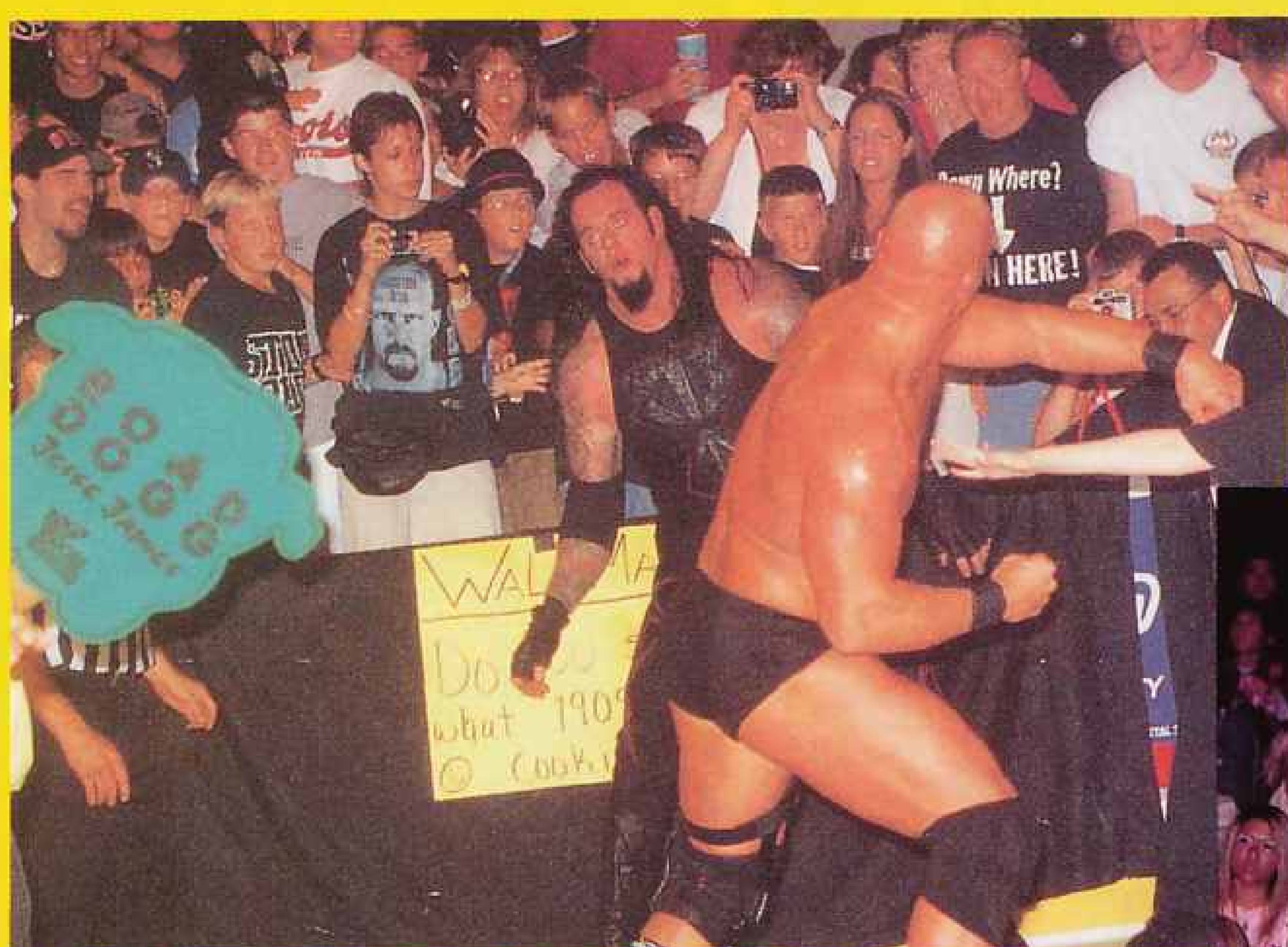
それからしばらくして、TAKAは、先のDDT後楽園大会のビデオを手に入れ、その感想を述べた。

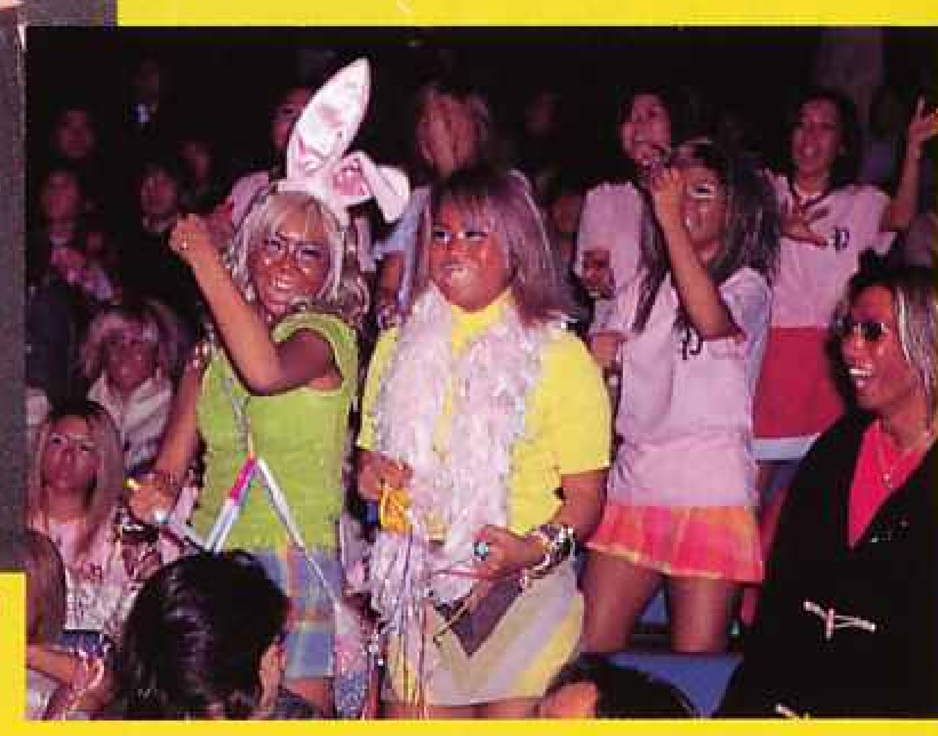
「いや～面白かった!!　笑った笑った！　いろんなメジャー選手のそっくりさん！　超笑えた！　前振りのビデオも！　でも前半に関しては学生プロレス的なノリだな。あそこまで真似しちゃね。確かに笑えたよ、面白かったよ。でもそれはプロレス見た！って面白さじゃなく、コントでも見たような感覚。元ネタ知ってるからね。三上と佐々木選手はこのまま純粋に育ってほしいね。変な飾りつけずにね」

そして高木三四郎についても、「試合はおいといて、いま日本でああいう雰囲気を作りだし客を乗せれるってのは大したもんだね。あれがオースチンやロックの真似じゃなきゃもっと良かったんだけどな。楽しませてもらったよ。ただね、後楽園、下北などわかっている常連ファン相手なら通じても、地方じゃねえ、厳しいよね。わかってるとは思うけど日本中どこへいってもあのノリを保てれば文句なしだ。悪ノリ集団って言ってるわけだから、何でもありでいいと思うし。少しずつオリジナリティーを出して、それで客がつかめればこの先大きくなっていくでしょう。あとはタレントももっと育てて教育しないとね。高木三四郎一人じゃねえ。結論言わせてもらえば、面白かったよ。今後もこの分野をどんどん開拓してください。……でも頭硬い奴には難しいかもね」と、いつもの毒舌を交えながらも、DDTを認める発言をしたのだ。



リング上だけではなく、インターネット上でも毒舌が冴え渡るTAKAみちのく。
TAKAみちのくのホームページアドレスは
http://www.geocities.co.jp/Athlete-Acropolis/4224/





会場中の観客がプラカードを掲げ、選手の表情ひとつでドッカンドッカン盛り上がるWWF。一方のDDTでは、ガングロコギャル系のファンに注目すべし。選手への声援にパラパラを取り入れるなど、従来のプロレスファンには理解できないパワーがある。

その後、三上恭平がTAKAのいるプエルトリコに向かい非公式試合でTAKAと対戦するも、あえなく敗戦。

しかし、三上はその後、プエルトリコマットに上がるチャンスを得た。それもタイトルマッチである。なんと三上はその試合に勝利しプエルトリコのジュニアベルトを奪取してしまったのだ。

ひょうたんから駒、まさにプエルトリコドリームを掴んだのだった。

これにはTAKAも三上をバックアップすることを宣言。

めでたしめでたし……んなこたぁどーでもいいんだよ！　三上がベルトを奪取したことは素直に評価するが、これを持って今までの抗争が終わりになるのはあまりにも寂しい話である。

そう、こうなったからには、高木三四郎対TAKAみちのくの一戦を実現してもらうしかないのだ。

結局のところ、ファンが望んでいるのはそのカードだからだ。

この闘いが実現すれば、WWF上陸後のDDTの進むべき姿が見えてくるはずである……んなこたぁどーでもいいんだよ！（ガシャーン）ファイヤー！と三四郎には言われるだろうが。



TAKAみちのくのDDT批判を受け、プエルトリコまで本当に旅立ってしまった三上。非公式でのTAKAとの一戦には敗れてしまった三上だが、その後プエルトリコマット参戦の機会を得て、見事ジュニアのベルトを奪取した。

結論

WWF日本来襲？……んなこたぁどーでもいいんだよファイヤー!!

黒船来襲!!

検証 世界最大のエンターテインメント団体襲来で日本マット界はどう変わる？

黒船来襲？ ウチはWWFを目指す!?

この秋（？）にもマット界のみならず全世界を股にかけてブレイク中の『WWF』が日本上陸を果たす……らしい。これまでにも「マニアツアー」「レッスルフェスト」など、日本マット界の協力を得て何度か興行を行っているWWFではあるが、何人ものスーパースターを従え名実ともに現在の巨大なエンターテイメント集団となってからは初上陸となる。黒船WWFの上陸によって、ポリシーもプライドもテーマも持ち合わせていないインディー団体は木っ端微塵に吹っ飛ばされてしまうこと間違いなしである。そこで唐突だが『世界のプロレス』である。99年に旗揚げした九州発の謎の団体・世界のプロレスはWWF上陸によってどのような影響を受けるのだろう？ 頼まれてもいないのに勝手に検証してみた。

（構成／チョロ　協力／ST1号&ST2号&ST5号）





写真を見ればわかるが、正味な話、今の世界のプロレスの客入りはこれが現実なのだ。だがしかし、その方向性は決して間違えてはいない。いや、むしろ正しいと言える！　迷わず行けよ、行けば入るさ！

『紙プロ』でも何回か取り上げている『世界のプロレス（以下セカプロ）』だが、「なんでセカプロをそんなに取り上げるんだ？」という読者も多いことだろう。

確かにセカプロは昨年1月に旗揚げし、トータルでも、まだ興行数は13試合という団体である。

上の写真を見てもらえばわかるが、客入りは寂しい限りである。「WWF上陸に関係なく世界のプロレスなんて潰れちゃうよ」とか「世界のプロレスなんてWWFと関係ねぇじゃねえか！」などといった厳しい声も想像はつきます。

だがしかし、世界のプロレスはWWFが日本進出のテストパターンとして送り込んだ団体だとしたらどうでしょう？　ここだけの話ですが、それは十分考えられることなのです。

『世界のプロレス』にWWFで活躍していた某氏が関わっているのはセカプロファンには周知の事実。

『世界のプロレス』のエースはコーラ・パワーズのペプシ・ボーイとコーラ・キッドです。このふたりのキャラクターは全世界共通で、どこの国でも通用することでしょう。しかし、コーラ・パワーズは基本的に「プシュ〜」「シュワ〜〜」しか言えません。WWFではマイクアピールがうまくないとトップ選手にはなれないとよく聞きますが、日本語の喋れないWWFのレスラーが日本マットで通用するかどうかのテストパターンなのでしょう。

そして極めつけは、『世界のプロレス』の大会タイトルです。大会タイトルは、何と「黒船来襲！」。もちろんWWFが日本上陸を果たしたらグレイシーに次いで「黒船来襲」と言われるのでしょうが、なぜ九州発のプロレス団体が「黒船来襲」などと大それたタイトルを付けたのでしょうか？　この秋にも実現するであろうWWF日本上陸のヒントがここに隠されていたのです。

それはどういうことかというと、『世界のプロレス』の代表である安楽氏は『紙プロR・NO19』のインタビューでこう語っているのです

「今の『世界のプロレス』のスタイルはアメリカンプロレスのインディペンデントなんですけど、最終的にはWWFを目指してるんですよ。それをいきなり出してもファンにはわからないと思うんで、しばらくは日本とアメリカのちょうど中間ぐらいのレスリングをやりたいと思ってるんですよ」

なんとも思わせぶりな発言です。ボクにはピンときました。

「最終的にWWFを目指してるんですよ。それをいきなり出してもファンにわからないと思うんで」

安楽代表がうっかり言ってしまったのか、フライングをしたのかは定かではありませんが、「最初からWWFを見せることが出来たんだけど、ファンの見方がまだ追いつかないから今回はこれで勘弁」、きっとこういうことなんでしょう……んなわきゃねえだろ！　すいません、妄想はもう（よ）そう（弱火）。

まあ、実際WWFのテストパターンではないにしろ、旗揚げシリーズから10名以上の外人レスラーを招聘するというのはただ事ではありません。そのバッグにはきっとWWFが……（しつこい）。

●

しかしながら、マニアの間ではセカプロが絶大な評価をされ、大会の度に密航者が続出しているのはまぎれもない事実なのである。

●そこで、セカプロ全13戦のウチ12試合を観戦しているST1号さんと、関東圏のインディー団体を中心に年間3ケタの観戦をしているというST5号さんにセカプロの魅力を聞いてみた。

5号　マット界の最近の流行は、FMWとかDDTでも、WWFの放送を見て、その縮小版というか、それ



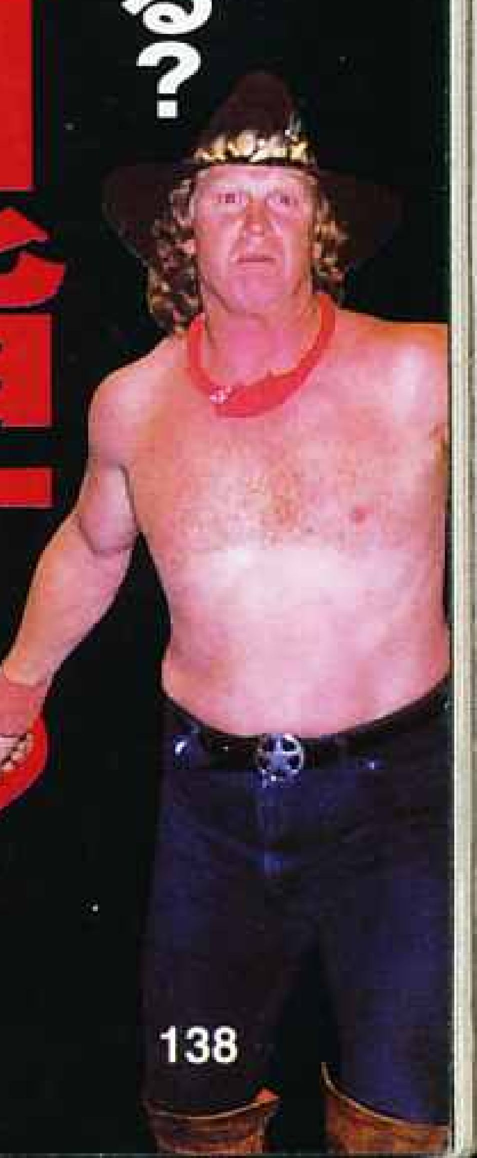
世界のプロレスにもストーンコールドはいる。それはウエスト・ジャパン所属の相島勇人だ。相島は九州だけにとどまらず、東京でも「関東相島会」が発足されるほどの人気者なのである。その豪快なバンプは必見の価値あり。



WWFでは女子プロもレトロレスラー出場などで盛り上がっているが、世界のプロレスでもダンプ松本（WWF出場経験あり）がリングに上がっているのだ（ポスターにも顔写真あり）。だからどうしたと言われても……。



今やコーラ・パワーズに取って変わる勢いのブラック・コークス。旗揚げ直後から噂されているタッグリーグ戦の優勝候補ナンバーワンだ。だがしかし、今のところWWF上陸が先かタッグリーグ戦が先か全くわからない。予定はあくまでも未定。



世界のプロレスって？

根本的にWWFとはベクトルの方向が違うというか……

の日本版というか。要するにセリフがあって、抗争もハッキリ打ち出して、それから闘ってっていう感じなんですよね。それで最後にドンデン返しをやってっていう感じじゃないですか？　だから形が似てしまうんです。抽象的になるんですけど、世界のプロレスの場合はかなり揺さぶりをかけるようなことをしてるんですけど、それが興行全体を作ったり、壊したりってことをやっちゃうんで、全然違うんですよね。そういうことは関東圏のインディー団体は全然やってませんでしたから。僕はセカプロを見てかなり驚きましたね。

1号　セカプロって5試合を提供されてて5試合じゃないですから。5試合って言って6試合やって7試合やってっていう感じで。「どういう形で試合が増えるんだ？」っていうのも、見続けてると楽しみの一つですね。

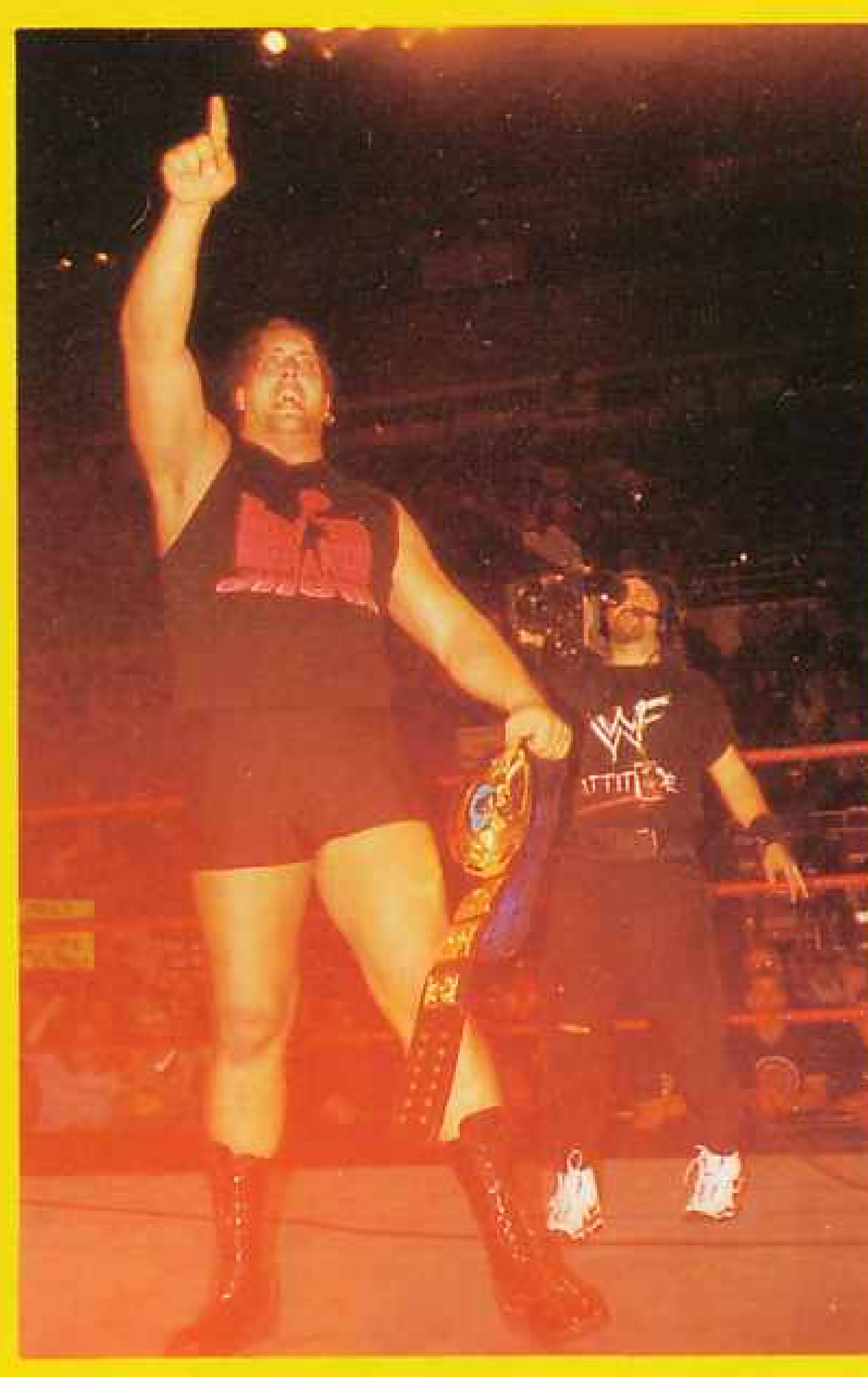


「ＰＲＩＤＥ」のポスターではないが、「路上なら警察沙汰」を地でいくホーラス・ザ・サイコパス。昔、ブッチャーやシンにそうされたように、サイコパスに追いかけられた子供達は場内を逃げまどう。時代は変わっても運動会系キャラは全世界で通用する。

●セカプロでは具体的にどのようなことが行われているのか？

5号　12月の福岡大会では、休憩時間にコーラパワーズのサイン会があったんですけど、なかなか出てこなと思ってたら、ブラックコークスに襲われてたんですよ。そこにトリプルKが出てきてサイン会をメチャメチャにしてしまって、ペプシがやられて担架で運ばれるというのを、みんなの目の前でやるんですよ。メインに出る予定のペプシが運ばれて行ったんで、心配だなと思ってたら、タッグパートナーの相島が1人で出てきたんですよ。その前にも仕掛けがあって、セミでモンゴルマン＆コーラ対ニセ大仁田＆佐野直をやったんですけど。ニセ大仁田がコーラに「お前の中に邪道を見た」と、なぜか握手をして、それでコーラ＆ニセ大仁田組がメインに入っちゃったんです。そこにKKKが「やらせろ！」って言って、メインはセカプロ名物の3WAYになったんですよ。当然相島は1人で闘うわけですから不利ですよね。それで何分か試合やったら、ペプシマンの曲が流れるんですよ。ペプシは相島がやられてるのに、いつものように体育館を一週してからリングインすると。こういうところが素晴らしいんですよ。無駄でしょ、みたいな（笑）。





巨人キャラも古くからプロレス界には必要不可欠。WWFではビッグ・ショーがその役目を担っているがセカプロだって負けてはいない。こっちは“暗殺巨人”KKK1号（コリアン・キラー結社）だ。もちろんWWFに負けずロッテリアンやキン・キムチーといったマネージャーだっているぞ。ちなみにKKKは5号まで増殖中。

1号　こっちはもう分かってることなんだけど、お得感が出るんですよ。セカプロっていうのは単純な話なんですけど。それをやり続けてる団体なんですよ。仕掛け仕掛けで、カードをグルグル変えて来るんですよ。それがセカプロの面白さだと思うんですよ。それを私らの間では世界のマジックって呼んでるんです。

●セカプロはWWFになりたいのだが、少しずつズレが生じて、その結果、無意識のうちに、〝怪しげな外人選手の宝庫だった国際プロレス〟、〝マスカラスを筆頭にチビッコに絶大な人気を誇っていた頃の全日本プロレス〟のようなクラシカルなプロレス空間が突然変異で出来てしまった奇跡の団体なのだ。マニアと子供に受けているのは至極当然なことなのかもしれない。

ボクがセカプロにお願いしたいのは、旗揚げ当時のように大量の外人選手を投入し、現行のままのハチャメチャさで無駄なゴージャスさを出してくれということ。そうすれば、例えWWFが日本マットに上陸してきたとしても、セカプロは無問題！『世界のプロレス』はWWFにはなれないが、WWWF（WWFの前身団体）にはなれる！


何度も言うがブラッド・コーラーはセカプロに出場（セカプロ参戦時はキーラー）していた。いつしか実現するであろうタッグリーグ戦ではアニマル＆コーラー対コーラ・パワーズという夢の対決も夢じゃない！

結論

WWFが日本マットに上陸しても世界のプロレスは無問題（もうまんたい）！

WWF vs 『PRIDE』 まさにドリームステージ!!



WWF

黒船来襲!!

『トゥナイト2』の人気者同士がなぜか本誌でプロレス闘論!!

発進!! 活字エンターテイメントプロレス

WWF派代表

杉作J太郎 ×

PRIDE派代表

岡元あつこ

特別レフェリー 島田裕二

いままで、多くの編集者&ライターが活字で「エンターテイメント・プロレス」を伝えようとしてきたが、爆発的に面白いものに出来上がったためしがない。映像を活字で伝えるには限界がある。本誌も例外ではない。特に本誌のようなスタンスだと、なおのこと難しい……かと思われた。

だが、断言する！　この企画は活字プロレス界にとって黒船となるはずである！　どうやら我々は活字プロレスの新しい領域に踏み入れてしまったようだ。

というわけで、杉作J太郎vs岡元あつこ対談の妙技を味わいやがれ！

聞き手／坂井ノブ（亡霊）
interview by Nobu Sakai
撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

トゥナイト2で共演した2人だが実は犬猿の仲だった!?

テレビ朝日系で放送中の情報番組『トゥナイト2』で共演していたお2人。当時から、格闘技好きということで、話も合い仲はよかったそうだ。聞くところによれば岡元さんは、いままで生涯でたった一度のベッド・シーンが、杉作さんとの共演だったというから、羨ましいじゃん、杉作先生！

しかし、2人の関係がひっくり返るような事件が起こる。ある日、岡元さんがプライベートで杉J先生に電話したところ、完全に無視されたそうだ。その頃、岡元さんが『トゥナイト』を離れたこともあり、それ以来、疎遠になったままだという。

「どうでもいい人だと電話できるけど、岡元さんみたいなキレイな人に電話をし直せないじゃないですか？ 原稿の締切も重なってた時期だし」と弁解する杉J先生だが当然、岡元さんは憤慨！ 今回の対談を依頼したときも「あのときの因縁がありますからね。杉作J太郎を言い負かします！」と気合いたっぷりでOKしていただいた。

『『PRIDE』大好き」の岡元さんと、WWFを生き甲斐とする杉J先生、さらに特別レフェリーとして『PRIDE』にもWWFにも精通している〝ミスター・レフェリング〟島田裕二氏を迎えて、役者は完全に揃った！ 両極端の団体を背負い、さらに個人的な因縁まで折り込んだ、世紀の対談の幕がいま、まさに開く！

岡元あつこ

プロフィール

'75年、東京都出身。昨年まで『トゥナイト2』に出演していた人気レポーター。今後はバラエティーだけでなく、女優としても活動していく。

『PRIDE』大好きの岡元さんは、『5』を除いて毎回観戦している超がつくほど『PRIDE』ファン。何度も号泣するほどの感動を味わったという。特に世の中で一番好きな男は、マーク・ケアー、二番目はエンセン井上だそうだ。「血が出るのとか好きですね」という理由から、大日本も好きなのだが、基本的には立ち技格闘技から、総合格闘技に流れ着いた格闘技ファン。





杉作J太郎

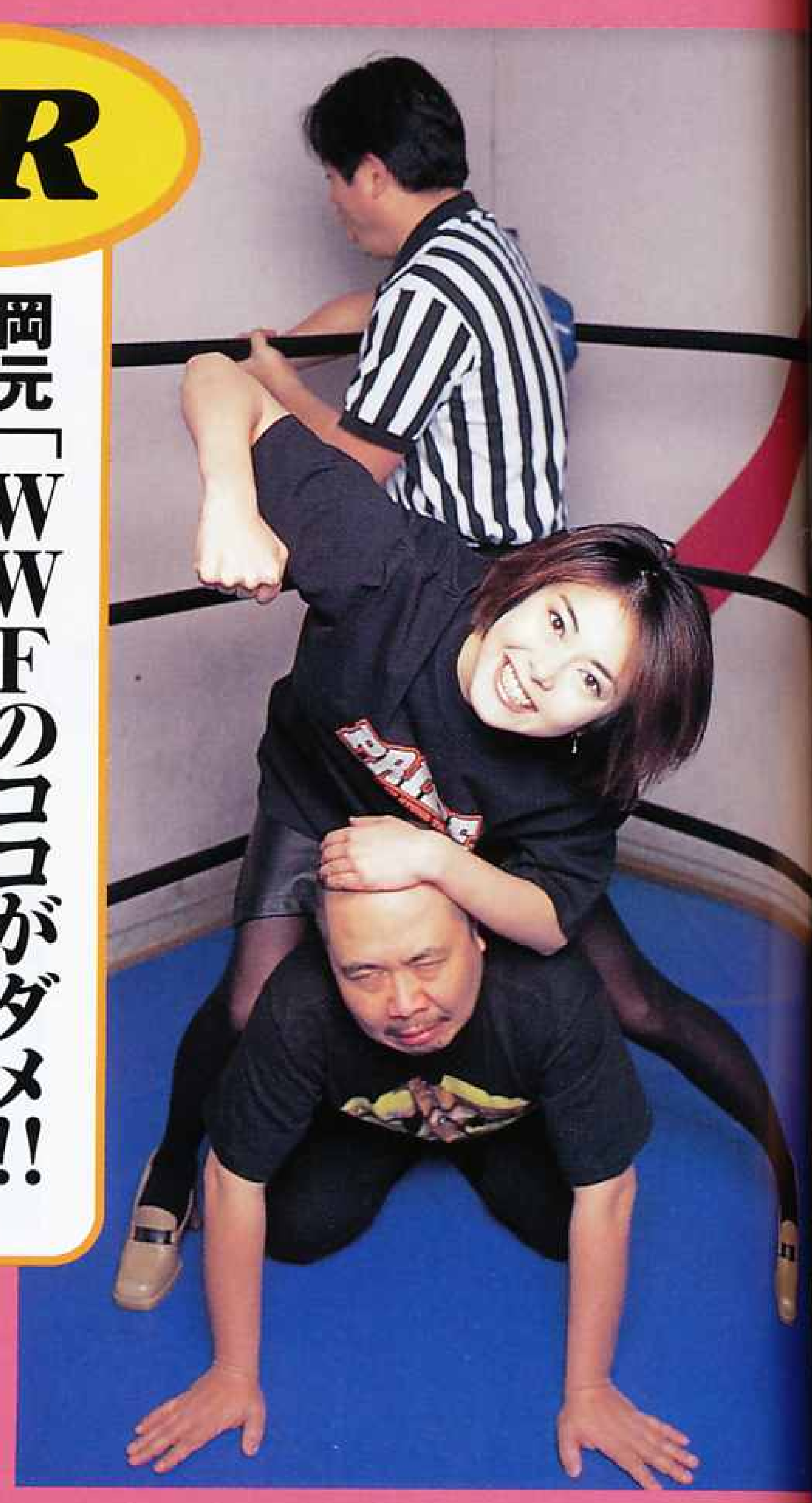
プロフィール

'61年、愛知県出身。本誌ではもちろん、『サイゾー』などでマンガ＆コラムを絶賛連載中。もちろん、トゥナイト2でレポーター役としても大活躍。締切が多く重なると電話に一切出なくなるため、岡元さんの電話を取り逃した不幸の男。

今年はWWFフィーバーまっさかりのため、『レッスルマニア』を見に行く予定。一方、バーリ・トゥードはほとんど見ないが、今回はうろ覚えの知識で岡元さんに立ち向かう。

1R

岡元「WWFのココがダメ!! だから私はPRIDE派」



――資料でFMWとWWFのビデオを岡元さんに送らせてもらったんですけど、どうでした？

岡元 「つまんねえな、オイ！」

杉J なんてこと言うんだ！

岡元 「こんなものが世の中に存在してること自体が腹立つよ！」

杉J な、なにーッ!?

岡元 「こんなものがあるから格闘技をバカにするやつが出てくるんだ！」

杉J そ、そこまで……。

岡元 って思って見てたんですけど、最後に「この男はいい男♥」ってなったんです（笑）。

島田 それがHだったわけですね。Hはいい男ですよね。

杉J やった〜、もうオレの勝ちだ。

島田 コーション！ まだ早いです。

岡元 WWFの選手って、体は素晴らしいですし、鍛えてるのと我慢強いのと体力があるのは認めます。だけど、ディズニーランドのシンデレラ城探検ツアーに行ってる気分になっちゃったんですよね。

つまんねえな、オイ!!（岡元）なんてこと言うんだ!!（杉J）

杉J いいじゃない。楽しいじゃない。

岡元 あれって、入り込めば楽しいかも知れないけど、その後に「バカなことやっちゃったな」って感じで空しくなりますよね。

島田 ロックの眉毛がピクって上がるのを見てセクシーと感じないですか？

岡元 全然思わないですね。

島田 アメリカ人はあれが今、セクシーなんですよ。濡れるらしいですよ。

岡元 私はマーク（・ケアー）の笑顔の方がず〜っと素敵で〜す。

杉J マーク・ケアーって何人なんですか？

岡元 アメリカ人ですよ。私は世界で一番好きなのがマークで、2番目がエンセン（井上）なんですよ。

――じゃあ、こないだの『PRIDE』は好きな男同士が闘ったんですね。

島田 （歌いながら）「♪ケンカを止めて〜」状態ですね。

杉J （唐突に）だって見た目が面

白くないじゃないですか。

岡元　なんで？

杉J　黒パンツだから。

岡元　何言ってんの〜？　素敵じゃないですかぁ。体が素晴らしい芸術なんです。

杉J　体はゴットファーザーなんかもいい体してるよね。

島田　ん〜、杉作さん、コーション！

岡元　なんかね「実戦的筋肉じゃないでしょ、あんた」っていう風に見えちゃう。

杉J　バル・ビーナスは元AV男優ですからね。

岡元　そういうのイヤ！　ゲームじゃないんだからキャラ設定とか、みんながビックマウスでガンガン言い合って、それが布石となって試合になって試合を見るっていうのが嫌なんです。

杉J　それは、ボク的にいういと、セックスと一緒なんですよ！　最初は言葉攻めから入るというね。

島田　いまの発言は高ポイントッ！

岡元　なに？　島田さんはJ太郎派なのぉ？（怒）。

島田　いえ、中立ですよぉ〜。私はジャッジですから、ええ。

岡元　私は黙って体でガンガン攻めるほうがいいなぁ（笑）。

杉J　何も言わずに？

島田　いまの発言は高ポイントッ！　いまのはすごくいいですねぇ。

岡元　ウフフ、でしょ？

杉J　だって、それはボクぐらいの年になってくるときついもん。やっぱり言葉でじらしからでないとね。

島田　デートするときに電話とかをするのと一緒じゃないですか。「明日デートしようか」ってガチャって切るよりも「明日何を着てくるの？」って話を膨らませていくというね。そっちもいいんですけどねぇ。

岡元　私は突然来られて「おい、出かけるぞ！」って言われたほうが好きだもん。

杉J　島田さんもあんまり前振りしてると、話の段階でポシャる場合があるから（笑）。

岡元　そういう試合ってトークで負けてる部分がどっちかあるでしょ。そこで見えちゃうのが嫌なの。やっぱり男の人が闘うのはリングの上なんだから。リングの外でべちゃべちゃしゃべるな！

杉J　つまりベッドの上でしゃべるなということだね。

岡元　そう！　これはでかいです。基本的に、あれはショーなんでしょ？

杉J　ショーというか、お金を払って見に行く娯楽ですよね。

岡元　娯楽としてだったらいいんですけど、その娯楽の人が強いって言っちゃダメ。だって娯楽だもん。

杉J　あれは誰が一番強いかじゃなくて、誰が一番面白いかなんです。

岡元　そういうのがイヤなのよ、ばかばかしくて。面白いんだったらお笑いを見に行けばいいじゃんと思っちゃう。

杉J　だってお笑いより面白いもん！

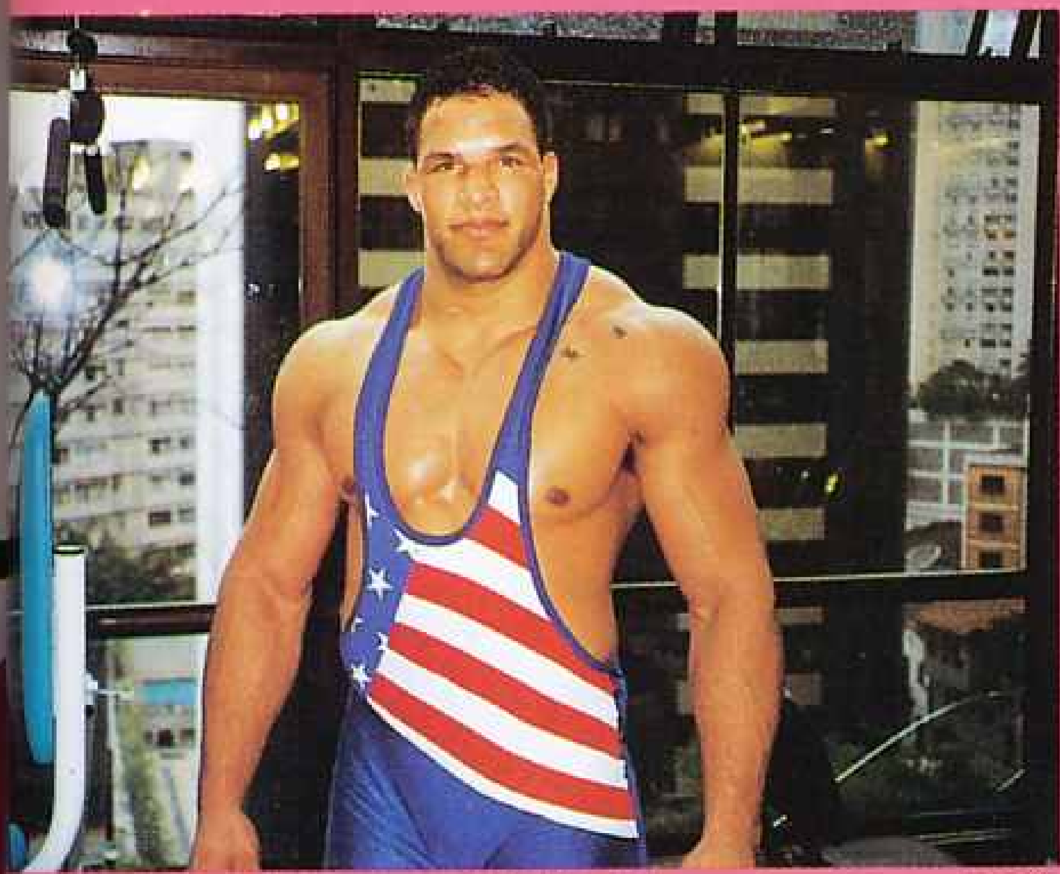
岡元　『PRIDE』の面白さは、本当に誰が一番強いのかを見せてくれそうな興行ですよね。だってやっぱり誰が一番強いのか単純に知りたいし。言い訳なしの面白さです。負けたら見限られる面白さ。プロレスって勝っても負けてもヒーローでしょ。

杉J　勝敗以外にも評価される基準がありますからね。

岡元　そういうのが嫌なの。私は白黒ちゃんとしてないと嫌な性格だから。

杉J　その辺は岡元さんは厳しいとこだなぁ。ボクみたいな人生の敗者としては、あんまり突き詰めて考えたくないんです（笑）。

岡元　そこに男のロマンが見えるんです。ちょっと女には入り込めないようなね。



岡元さんの好みNO.1の座を射止めたマーク・ケアー。この超人的な筋肉の鎧が決め手だ。強い男は、モテるものだ。



1・30、初対決したエンセンとケアー。膠着の多い展開にブーイングも飛んだが、岡元さんは「どっちも勝ってほしい」と葛藤しながら観戦したそうだ

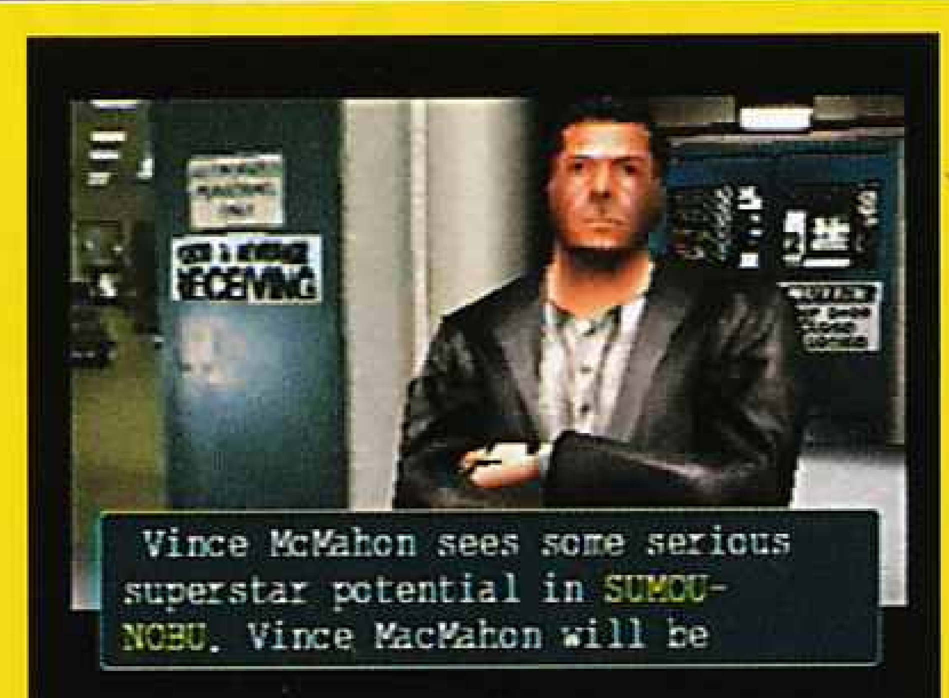


これまたいい男・H。エンターテイメント系はパンフレットの写真ひとつにしてもこだわるもの（FMW10周年興行パンフより）

WWFが嫌いな人も、これで好きになるゲームソフトの告知インターバル

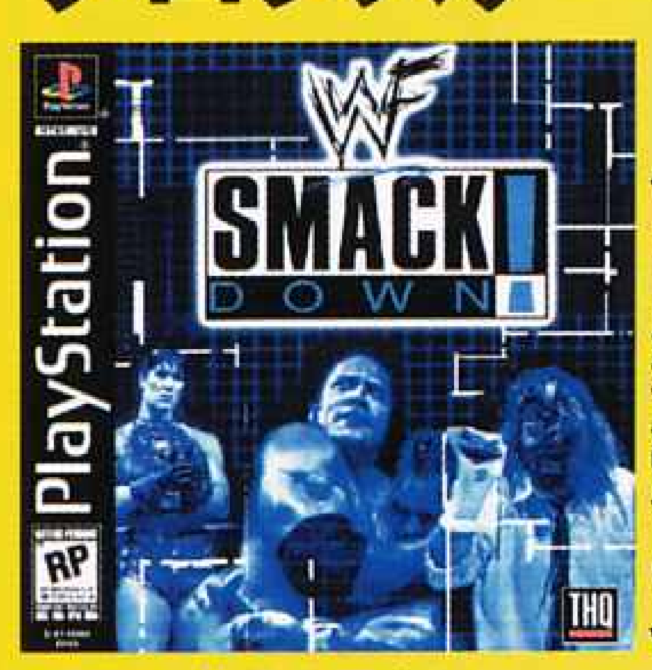


【臨場感たっぷりの入場シーン】実際にあちらのTVマッチの入場シーンで、巨大スクリーン『タイタントロン』で流している選手のイメージ映像とテーマ曲をそのままゲームに移植!!　オフィシャル・ゲームだから出来た嬉しい演出に脱帽せよ!!



【シーズン・モード】『RAW is WAR』や『PPV』など1年間のサーキットをシミュレーション出来る。最初にビンス・マクマホンに雇われるところから、トップスターになるまでの過程を楽しめる。他には選手同士のイザコザやハプニングに巻き込まれるのだ!!

プロレスゲームの金字塔！



今年の3月、全米で発売されるWWFのプレイステーション用ソフト『スマックダウン』は、非常にヤバい！　ドラマあり、試合あり、かっこいい映像&音楽ありでWWFの空気をそのまま詰め込んだ構成だ。1vs1の試合中にまったくの第三者が乱入してきたり、ハンディキャップマッチが出来たりするのもWWFならでは。

新日の闘魂烈伝シリーズを手掛ける日本一のプロレスゲーム会社YUKE'Sが制作！　日本での発売はあるのか!?　ホームページに要望を書き込もう!

http://www.yukes.co.jp　←ここに書き込め!

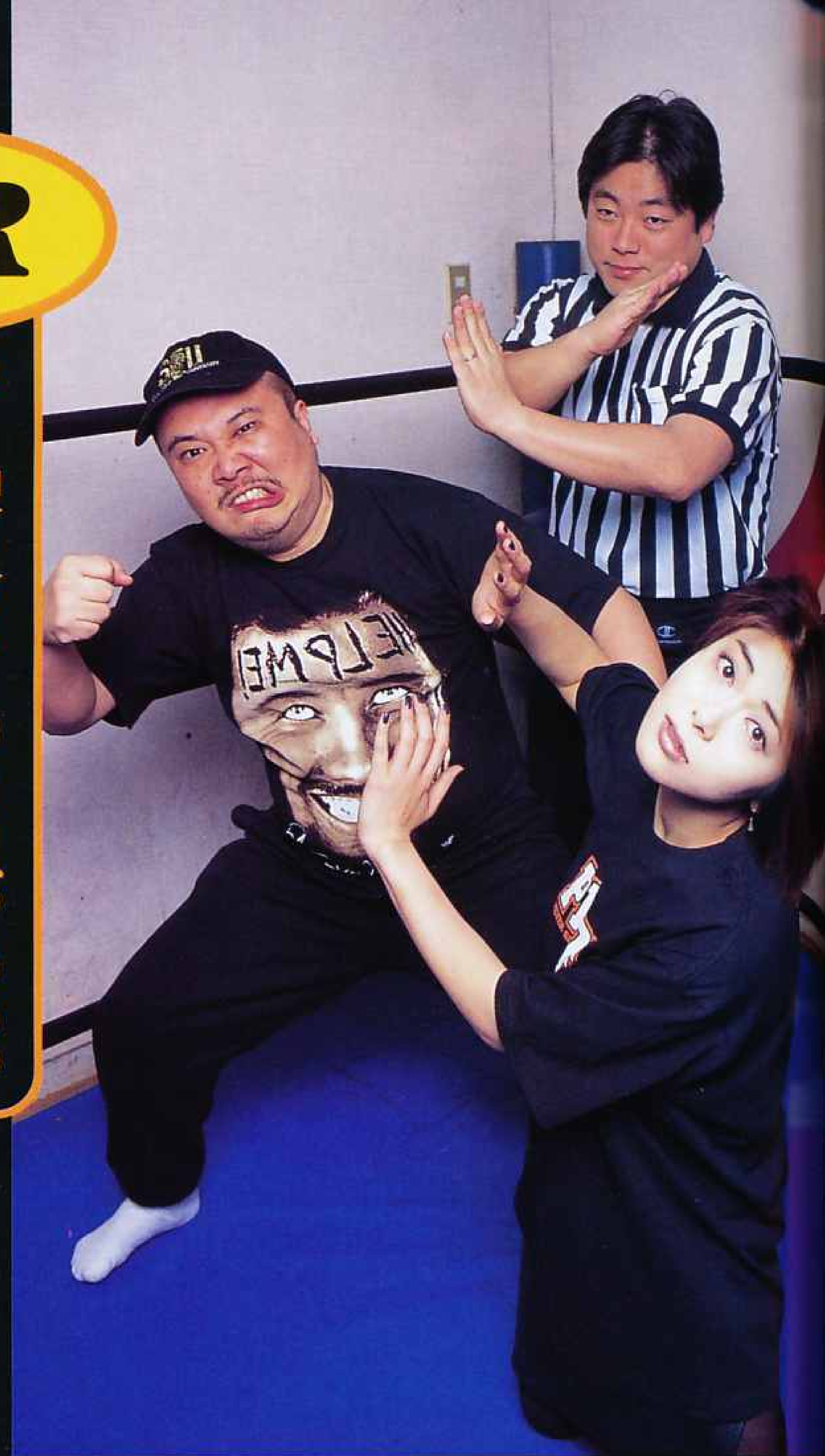
※次号以降、このゲーム界の黒船の動向をあのゲーム雑誌に先駆けて(?)リポートします!

WWF

黒船来襲!!

2R

杉J「WWFのココがいい。だから私はWWF派」



――ここでWWFの素晴らしさを杉作さんから岡元さんに語って頂きたいと思います。

杉J WWFって小学1年生でもわかるよね。もうろくし始めたおじいちゃんが見ても、なんとなく面白いでしょう。

島田 たしかに幅広いですよね。

杉J それと、ボクみたいな超インテリでも分かる。

岡元 お～い! 誰がインテリなの?

杉J とにかく人に優しいですね。連続ドラマと一緒だからね。

岡元 ドラマっぽいのに脚本とかも見え見えじゃないですか。「お前はもうちょっと練れよ」って思うときがありませんか?

杉J 見え見えでも、さらにその先を行くエンディングが待ってたりするんです。たとえば、紅白歌合戦で和田アキ子が歌おうと思ったら、出場予定にもなってないのに、いきなり冠二郎が出てきて袋叩きになって「ま～た来年」ってなっちゃうような(笑)。

岡元 え～、私はもっとダマしてほしいんです。全部作り物に見えちゃう。

杉J WWFを見てる人っていうのはストレスが溜まってる人が多いと思うんですよ。日常がつまらなかったりとか。猪木さんが「苦しみの中から立ち上がれ」と言ってましたけど、WWFは「やけくその中から立ち上がれ」っていう感じでしょ(笑)。見てる方もやけくそ。

岡元 あの人たちは自分が強くなくていいと思ってるの?

あのね、WWFは人生のファッション・ショーなんだよ!(杉J)

杉J そうじゃないでしょ、体はきついよ。

島田 強い上に自分の求める美意識ですよね。ファイティングアートですよ。

岡元 それは分かるんですよ。私も桜庭さんがアイーンチョップをしてくれたときは見てて嬉しかったし、アレクさんの試合なんて感激するじゃないですか。どうしてあそこまで強くてファンを喜ばせる試合が出来るんだろうって。それをちょっとでもそういうお仕事に携わってるんだったら「一番になりたいなあ」って思わないかな。

島田 WWFの選手は強いことよりも、一番格好良くなりたいと思うんじゃないですか? 今は色男が多いじゃないですか。ハーディボーイズなんてめちゃめちゃ格好良くて女性ファンがいっぱいですよ。

杉J みんな「モテたい」っていうのがあるんです。だから、WWFにはいろいろなタイプのモテ方があんだけど、それがボクみたいなタイプ人間には励みになる(笑)。ちょっと男前の本線から外れてる人でもカッコいいからね。

岡元 それが見えちゃうのもイヤ!

杉J あのね、WWFは人生のファッション・ショーなんだよ!

岡元 ああ、なるほどぉ～。

杉J いろんな人生を背負ってるというかね。ちゃんとした格闘技から来てる人もいるし、ポン引きのオヤジもいるし(笑)。あれは人生のファッション・ショーですね。

島田 いまのはいい言葉ですね～。高ポイント!!

岡元 ファション・ショーよりも人生のスピリッツ・ショーのほうが見たいの!

杉J もちろんスピリッツもあるんですよ。でも、それを隠してるから。

岡元 隠しすぎですよぉ(笑)。

杉J ビジネスが最優先ですからね。

――岡元さんは、『PRIDE』以外は見てないんですか?

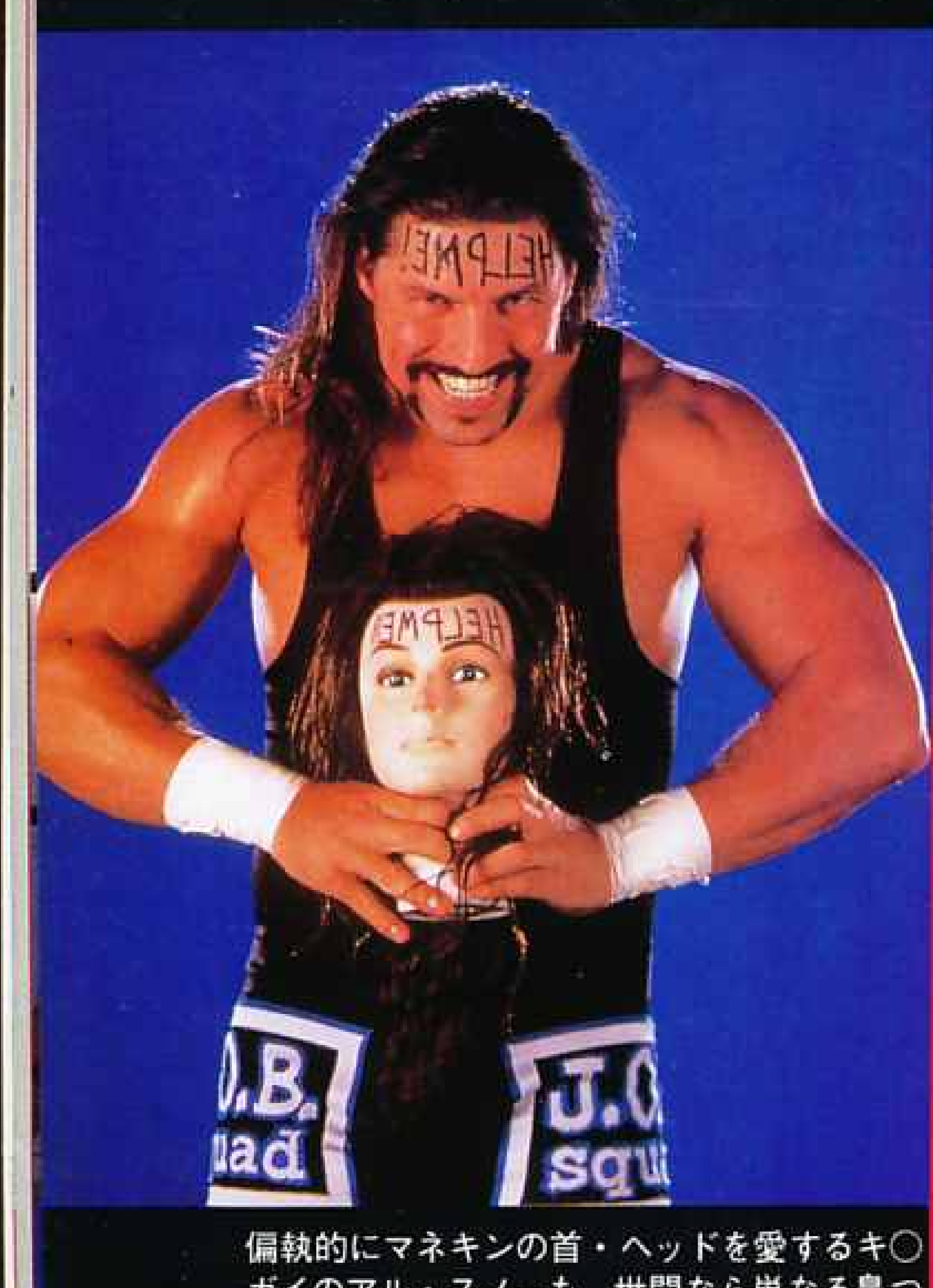
岡元 大日本を見に行ったら面白いと思いましたよ

――ああいう極限まで血を流したりするデスマッチもOKなんですか?

岡元 それは凄くいいんですよぉ。流血戦が好きなんで。だから『PRIDE』でも、(イゴール・)ボブチャンチンとゲーリー(・グッドリッジ)が闘ったときは、も～う、イキそうになりましたね(笑)。

島田 いまの発言は高ポイントッ!

岡元 ホントですよ! ゲーリーの血なんてめったに見れないので嬉しかった。



偏執的にマネキンの首・ヘッドを愛するキ○ガイのアル・スノーも、世間なら単なる鼻つまみ者だが、この団体ならモテモテだ。



幼い頃から監禁されて、全身火傷をを追ったケイン。いま、このレスラーは恋の真っ最中。どんな展開の話やねん? 気になるでしょ?

杉J　そんなこと言ったら、ストーンコールドもよく血を出すよね。

—ファースト・ブラッド・マッチなんて試合もありましたね。先に流血した方が負けになるルールなんですけど。

杉J　血っていったら、WWFには頭から血みどろになってるっていう試合もありましたよね。

岡元　えーっ。なんでぇ？

杉J　ガングレルっていう吸血鬼がいるんです。その吸血鬼と試合をしてたら、会場が真っ暗になるんです。そして会場が明るくなったと思ったら、相手が頭から血をかぶって真っ赤になってるっていう。

岡元　私は血が出るのは好きだから、それはそれで面白いと思うんだけど……。

杉J　あれ？　吸血鬼がいるのもイヤなの？

岡元　そういうのも嫌だし、AV男優が出てるのも嫌だし、AV女優が出てるのも嫌だし。

杉J　オーナーのビンス・マクマホン一家なんか家族全員で出てますから。

—奥さんも子供も娘も出てますからね。

杉J　シュワルツネッガーも出るしね。

島田　アメリカだとWWFに出ると知名度が上がるってことで、ステイタスなんですよ。

岡元　でも、あのスケールのセットは日本のテレビでは出来ないんでしょ？

杉J　内容も内容ですから、地上波での放送は厳しいですね。

岡元　杉作さんは、『PRIDE』には興味がないの？

杉J　ないことはないけど、ああいう試合は、ボクの中では「猪木で終わったかな」って感じですよね。ボクがまだ高校生ぐらいだったら見れるんだけど、ボクの中ではアントニオ猪木が世界一強いで終わってるんです。当時はボクも盛り上がりましたよ。「一番強いのは誰だろう?」って。

—猪木さんが、ウイリー・ウイリアムスと闘ってたわけですからね。

岡元　最近のウイリーは何をやってるの!?　FMWのビデオを見てびっくりしちゃった「何やってんの?!」とか思って、あれはショックだったなぁ。

杉J　元気でしょう（笑）。

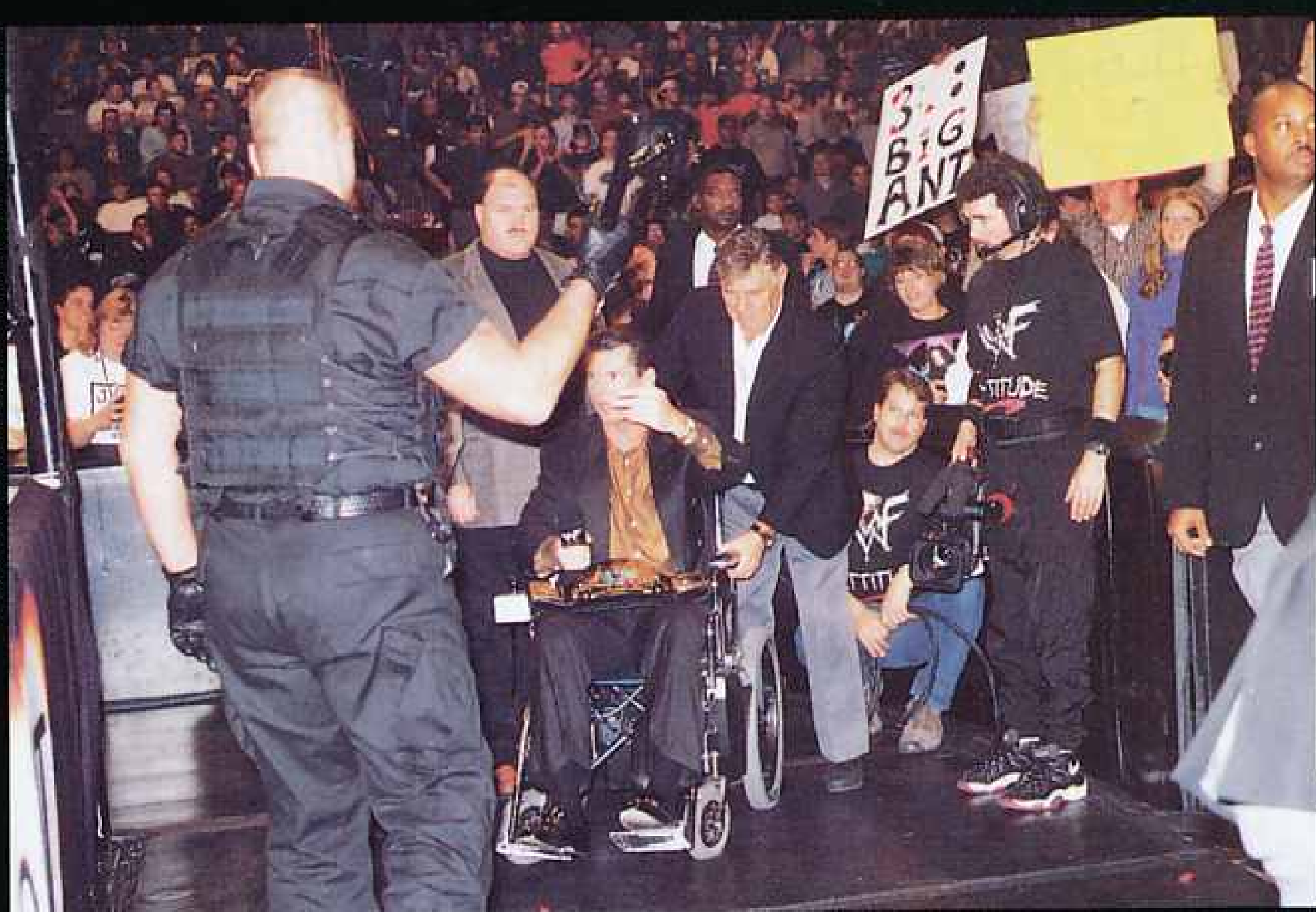
—あれこそまさに人生のファッションショーでしたね（笑）。

杉J　そうだね。あそこからウイリーの人生を掴み取らないと（笑）。

—例えば格闘技で強かった選手がエンターテイメント・プロレスに出てくるのは岡元さん的には？

岡元　もう許せない！

—じゃあ、こないだ『PRIDE』に来たケン・シャムロックも？



岡元さん的には許せない状況なのだろうが、やっぱりこういうの最高!!

岡元　エンターテイメントプロレスをやってた人がリアルファイのリングに立ったときに、しゃべりとか仕草に異常な脚色が見えちゃうでしょう？「なんかやろうとしてるんじゃないの」みたいな。そこでまた冷めちゃうんです。

—岡元さん的に、エンターテイメントと割り切って見るとして、WWFで何か面白かった場面はありましたか？

岡元　ビンス・マクマホンはいい演技したんでビックリしました。いい役者ですねぇ。

杉J　あの人はオーナーなのに、金網マッチやって、しかも金網のてっぺんから3メートル落ちますからね。

岡元　50歳過ぎてますから。普通の社長は「落ちてくれ」っていわれても絶対に落ちないですよ。

杉J　命がけで会社を盛り上げてるね。

岡元　そういう気持ちは素敵だと思いました。

—じゃあ、『PRIDE』の森下社長がどこまでやるかってことですよね（笑）。

島田　ビンスに対抗するんだったら森下社長vsマーク・ケアーとかね。

—それは是非、見たいですね（笑）。

3R 白黒ハッキリつけようぜ 判定の時間です!!

——さあ、そろそろ判定に移りたいと思います！ 今までのふたりの討論を見てきて島田さんはいかがでしたか。

島田 素晴らしい闘いだったね。でも、難しいよね、競技が違うから。アメリカンフットボールとラグビーは全然違う競技だけど、アフリカの原住民が見たら「同じボールでやってるんだから一緒だ」って見るかもしれないでしょ。

杉J 共通点は金を払って見るものということだけですよ。

島田 あとは国民気質もありますよね。もうちょっとグランドの膠着とか関節技に対する偏見がなくなってくると「PRIDE」がガッと上がっていくかなあと思いますね。

——岡元さんの闘いはいかがでした？

島田 オレ様は岡元さんにゾッコンだね。美し過ぎるよ！ さっき、撮影の合間にデートの約束もしたから。

——え〜っ、何ですか、それは!?

岡元 フフフフ。

——杉作さんの闘いはいかがでした？

島田 最高ですよ！ オレ様の兄貴ですから。

——どっちが勝つかわかんないですねぇ。では、判定をお願いします！

島田 う〜ん……勝者、杉作J太郎！

杉J オー、ヘル、ヤァ〜！

岡元 な、なぜ私が負けるんですか!?

島田 やっぱり『PRIDE』ではハクソンにペット・ボトルを投げられましたからね〜。WWFではそういうこともないと思うんで……。

岡元 （レフェリー島田裕二の肩に手を掛けて）し・ま・だ・さ・ん♥ デートの約束はどうなったのかしら？ 私、WWFに行きたいなァ〜。



ストーンコールドばりにファ○クポーズ！ まさに杉ーブ・オースチン！ 見てみぃ、このツラ！ ゼニの取れる顔とはこのことだ。

黒船来襲!!

島田 （赤面して）ヒャッ!? ア、アメリカに僕が連れていきますよ。そのときは一緒の部屋でね（笑）。

岡元 じゃあ、がんばりま〜す（笑）。私、グランド得意なんですけど、いいですか？

島田 マ、マウント取られたいですね、は〜い。

岡元 大丈夫です。秒殺しますから♥

島田 き、鍛えておこう。いざっていうときに使いものにならないとダメですから。

杉J プロはいつでも立たないとね。

島田 というわけで、協議の結果、岡元さんの勝ち〜っ！

杉J デーッ!? いつ協議したんだよ！

岡元 やった〜っ！

——レフェリー、判定が覆った原因は何なんですか？

島田 やっぱり、『PRIDE』にもWWFにも興味を持てる岡元さんの幅の広さですね、は〜い。

——なるほど、みなさんありがとうございましたぁ。

杉J ……アンタ、どうなってんだよ!?

島田 ノー、ノー！ アイム・レフェリー！

杉J ちっくしょうっ！ チェストォー！

（と、島田さんに殴りかかる）。

※この後、そこらへんにあるものを凶器として使いながら殴り合いを展開！ 岡元さん残して2人は道場から飛び出ていったのだった。

【2月9日、東京・全日本女子プロレス道場にて収録】

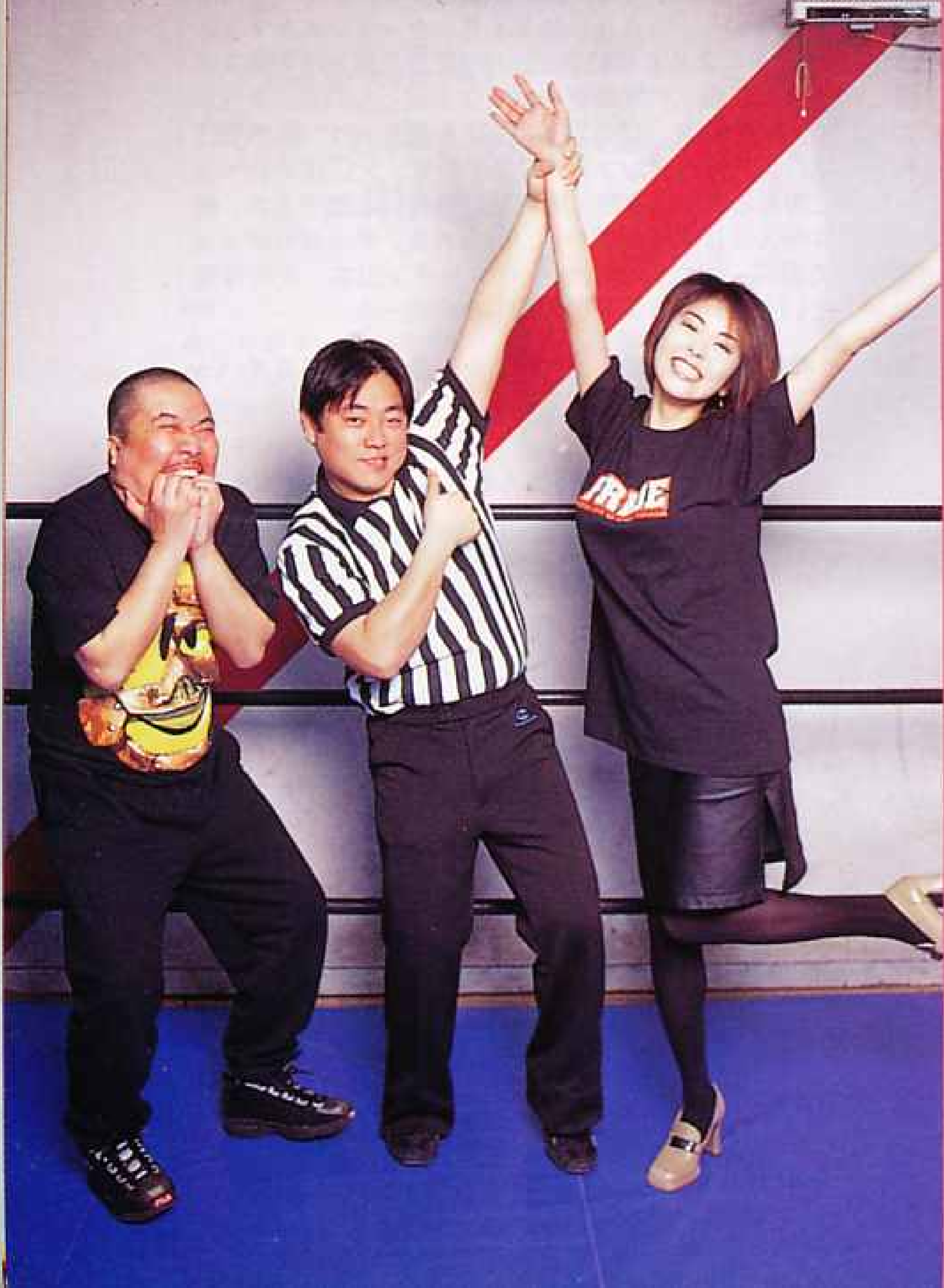


人はこういった誘惑に勝てるのか？ それもアメリカン・プロレスの大きなテーマである。悔しがるJさんと島田さんの顔にも注目だ!!

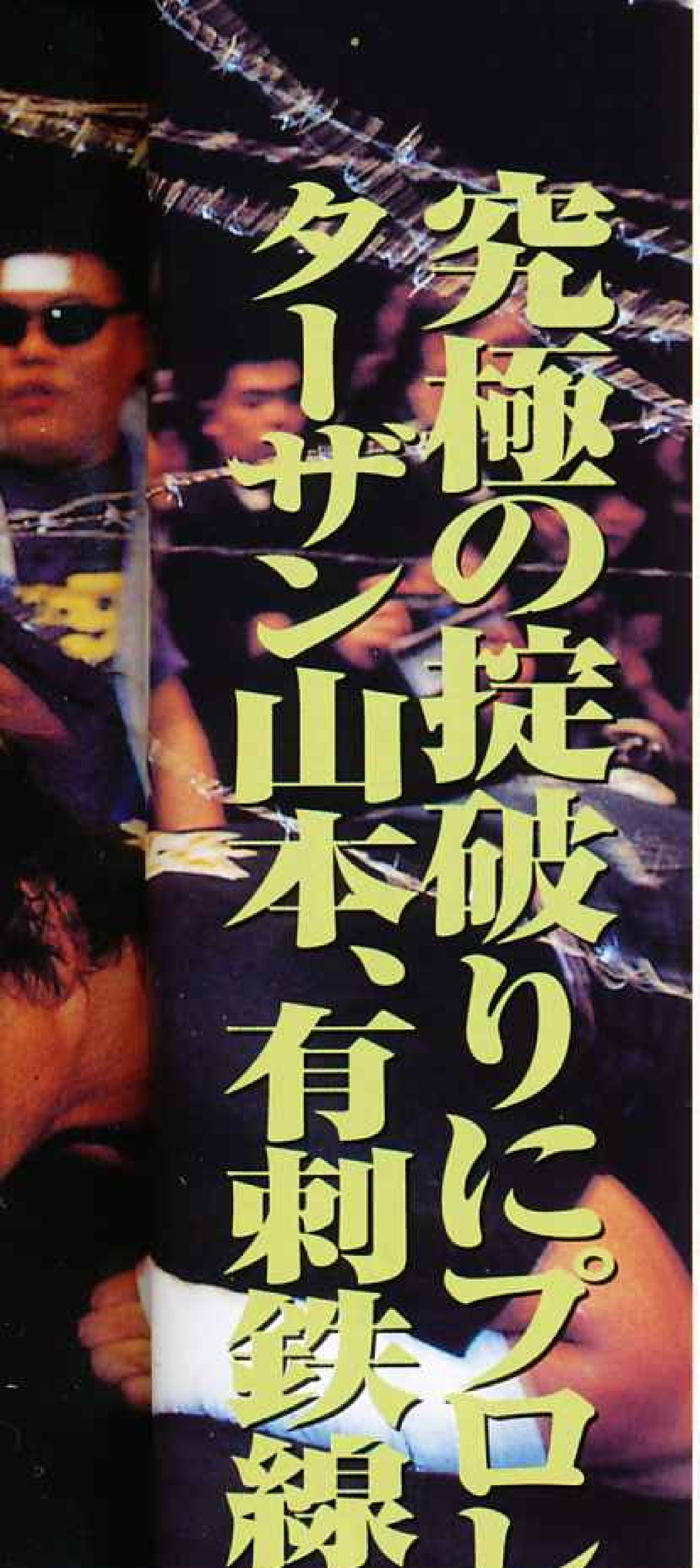
■対談後記

結局、アメプロチックな不透明決着に終わってしまった。いずれにせよ、マット界の2極分化の行き着く先は、ガチンコもエンターテイメントも共存したリングになるのではないか。まあ、そのへんは巻頭座談会にお任せだ。

というわけで、まだまだWWFに関しては取り上げなければならない事柄がたくさんあるので、次号以降も引き続き『紙のプロレスAMERICAN』は継続していきます。今年後半、もしくは来年、日本を覆い尽くすであろうWWF化の波に、いまのウチから乗っておけ！ 乞う、ご期待！



見事、勝利をゲットした岡元さん。キレイな女性には勝利の笑顔がよく似合う。どうですか、杉作さんの顔！ もはや、ここまでくると反則だろ。



究極の掟破りにプロレス界ア然！ ターザン山本、有刺鉄線マットに立つ!!



▲出番前、柄にもなく緊張の様子でウロウロと落ち着きのないターザン。カメラを向けるといろいろとポーズをとるのだが、その表情に元気はなし。オイ、オイ、大丈夫か、ターザン？

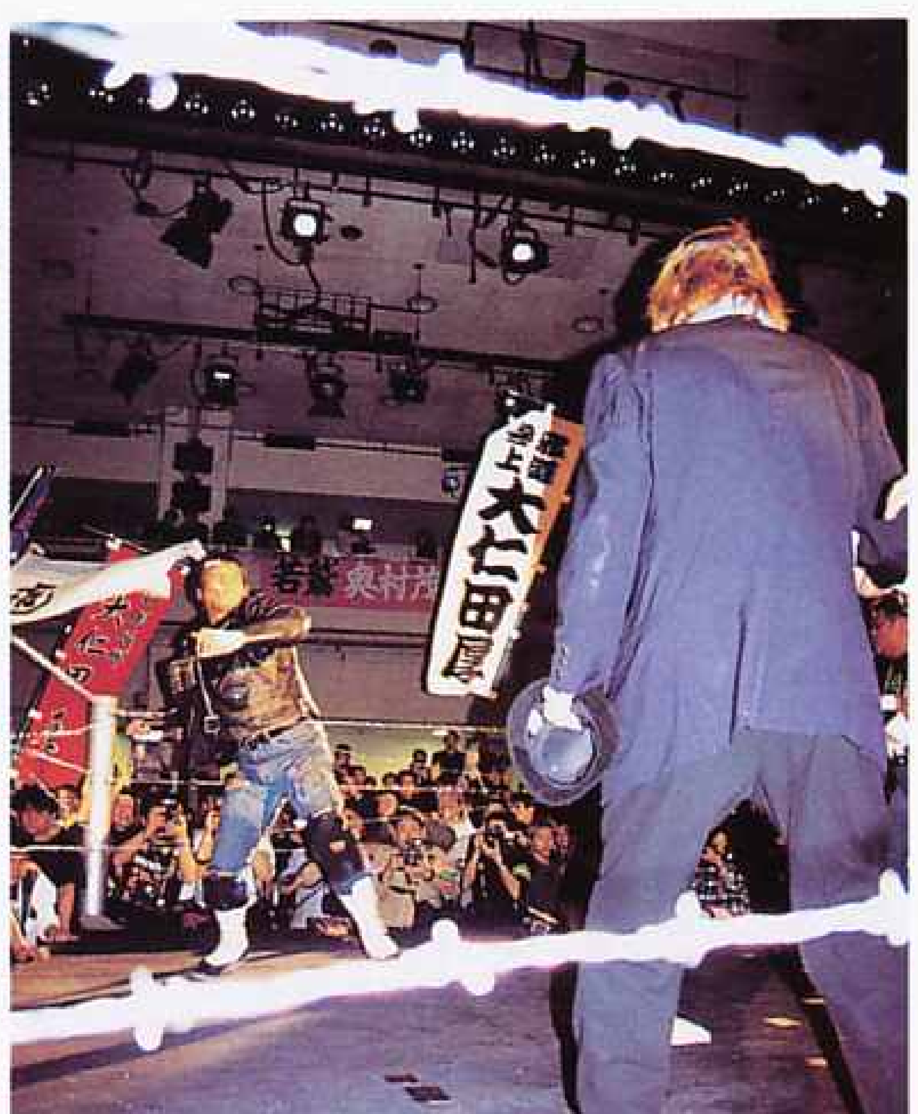


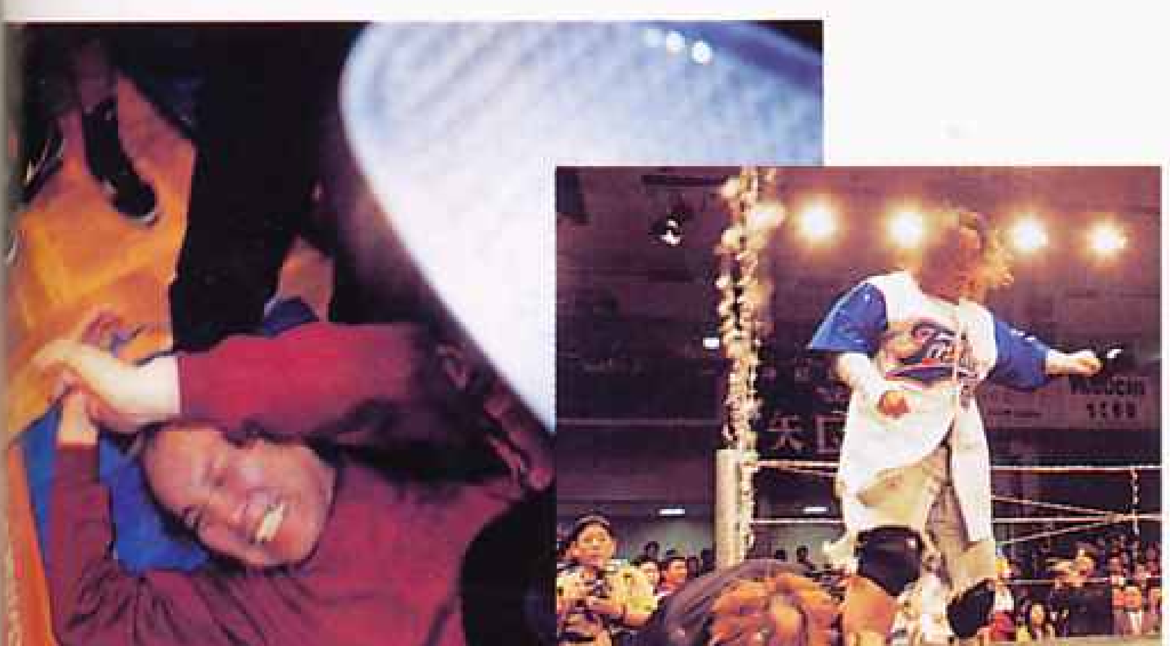
◀遂にターザン出陣の時がやってきた。サングラスをかけると、それまでの落ち着きのなさが嘘だったかのように、ブーイングの中を威風堂々と入場。お前はウルトラマンセブンか？



▲ターザンは迷うことなく有刺鉄線の中にゴロリと転がり込んだ。ワイルドシングと、熱狂的な大仁田ファンからの帰れコールが交差する中、ターザンは大仁田の入場を待った。

▶リングインと同時にターザンにペットボトルを投げつけた大仁田。これをキッカケに大乱闘戦に突入。ターザンは菊澤の張り手でブッ飛ばされてしまった。





▲場外から何度もちょっかいを繰り返すターザンに菊澤の強烈なストンピングがブチ込まれた。大仁田ファンの冷ややかな視線を浴びながら場外でのたうちまわるターザン。ザッツ・エンターテイメント！



すべては、ここから始まった……。

1999年・8・27
築地本願寺ブディストホール
北野チャンネルVol.5
『ガチンコトークバトル
本願寺決戦』にて

大仁田はすぐに抹殺すべきだアア!!
おまえが長州とやるんだったら、その前に、
大仁田ぁ〜、オレとやれ、バカヤロー!!

そして衝撃の展開……



「大仁田ぁ〜、オレとやれ、バカヤロー!!」。昨年の夏、ターザンは大仁田厚に対戦表明をブチあげていた——。あれから約5ヶ月、ターザン本人すらも忘れかけていた頃、「北野チャンネル」が動いた。ハチミツ二郎とマキタスポーツがターザン邸に出向き大仁田への挑戦状を書くよう促したのだ。ターザンは「よ〜し、わかったぁ」と即答。すぐさま挑戦状を書き上げ、長州の汗付きTシャツの代わりにウンコ付きパンツをその場で用意、大仁田の元へ送りつけた。さすがの大仁田もこれには激怒、挑戦状は無惨にも燃やされ、配達人のハチミツ&マキタ両人には鉄拳制裁が浴びせられた。やっぱりダメかぁ……誰もがそう思った瞬間、大仁田の口から、「ターザン山本、次の後楽園大会で待ってる！」という意外な言葉が飛び出したのだった。

2・3ターザン山本vs大仁田厚の有刺鉄線デスマッチが『北野チャンネル』のワル企みによって決行された。

「有刺鉄線なんて痛くないんですよォォォ！」「大仁田なんかオレでも勝てる！」といったターザンの暴走発言だけは知っていたボクは「なんか面白そう」ってだけで、この日、後楽園ホールに向かったわけだ。

ところが現地ではなぜかターザン、言葉少な。なんでも、挑戦状代わりに送ったターザンのウンコ付きパンツに大仁田が本気で激怒しているというのだ。

カァ〜!! ターザンには悪いがガ然楽しくなってきた！「一旦、リングに上がったら何が起こるかわからないんですよォ！ 決まっているのはオレが試合後にリングに入ることだけで、あとは完全にアドリブなんですよォォォ！」と、ターザンの目が血走るのも当然。その上、ターザンの回りにはなにやら異臭まで漂い、自然脱糞中この上なし。

試合前のターザンを包む空気は、そんな緊迫感と異臭が入り混じったものだったのだが、荒谷信孝から「茅ケ崎の興行にも出てくださいよ」と言われれば「よし、やろう」と即答。無分別な判断力と瞬発力はやはり絶品だ。

そしていよいよメイン。結局、矢口組のセコンドとして登場したターザンは先頭に立って入場、そのまま一番最初にリングイン。……だが、ちょっと待て。リングに入るのは試合後だってさっき自分で言ったばかりじゃなかったのか!?

有刺鉄線の中をゆっくりとのし歩くターザンにざわつき&ブーイングの場内だが、こっちはそれ以上

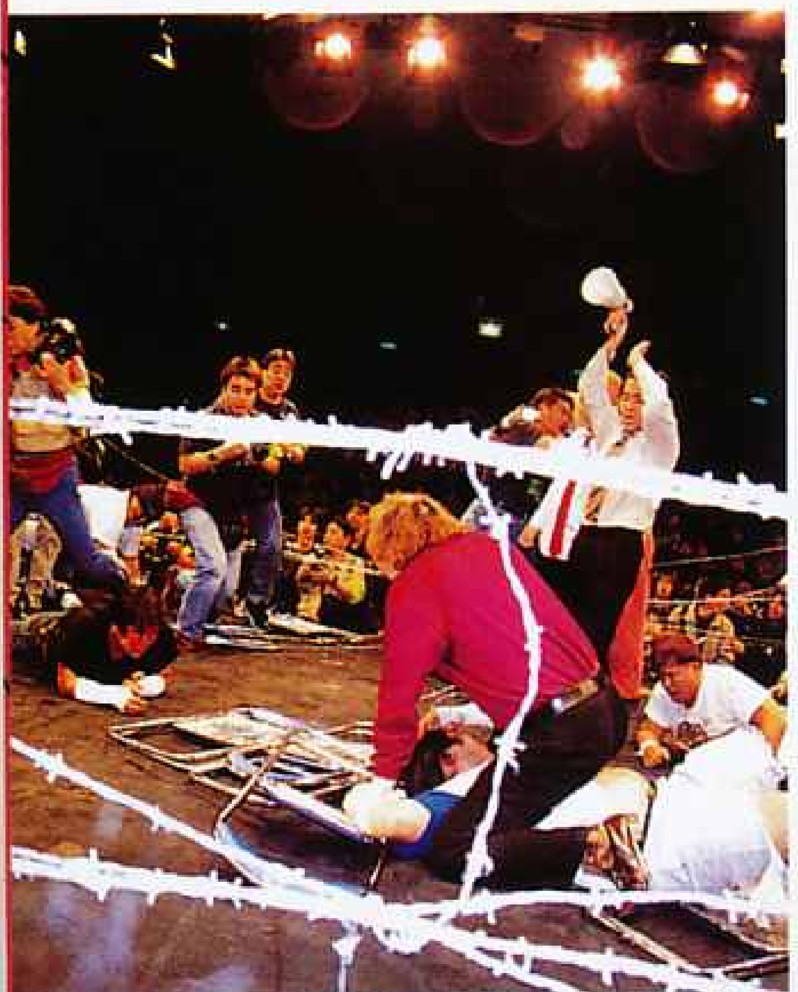
さよなら邪道

EVIL WAYS

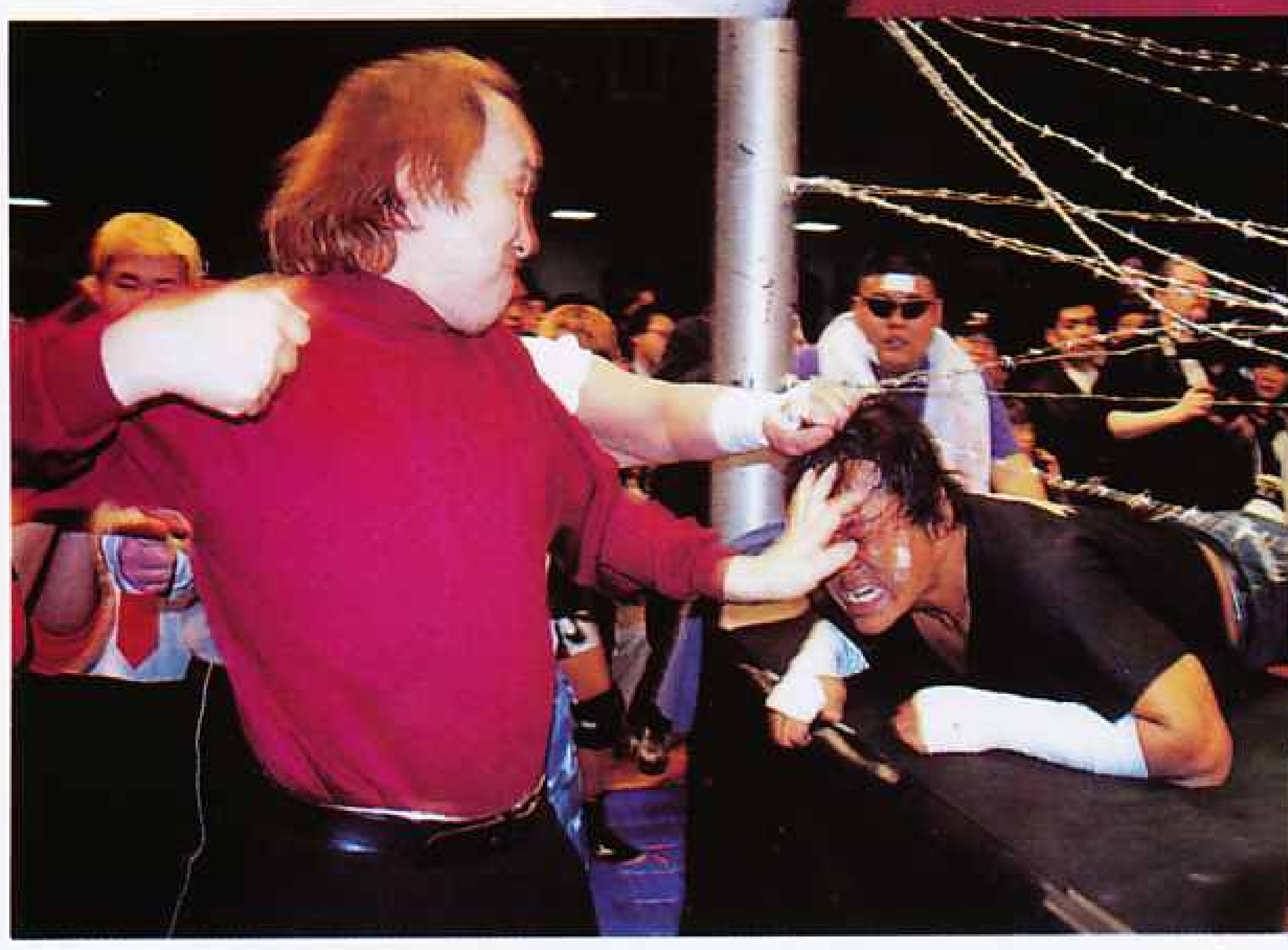
2月3日＝東京
後楽園ホール

▼ノーロープ有刺鉄線ストリートファイトトルネード・6人タッグデスマッチ・ボブワイヤートリートファイト6人タッグ選手権
（時間無制限1本勝負）
〈挑戦者組〉
○矢口壹琅
中牧昭二
G・ケンドー
（14分49秒 エビ固め）
〈王者組〉
大仁田厚
奥村茂雄
菊澤光信●
※矢口組は第3代王者となる。





▲試合終了のゴングともに再びリングインしたターザン。ダメージで動けない菊澤をめざとく発見するとマウントパンチを叩き込んだ。



▲乱戦のさなか、ターザンの目の前に無防備の大仁田が。チャンスと見るやターザンは猪木が乗り移ったかのようなナックルパートを叩きつけ、さらにシン顔負けの噛み付き攻撃まで見せた。場内はもちろん「ブー！」＆「帰れーーッ」。

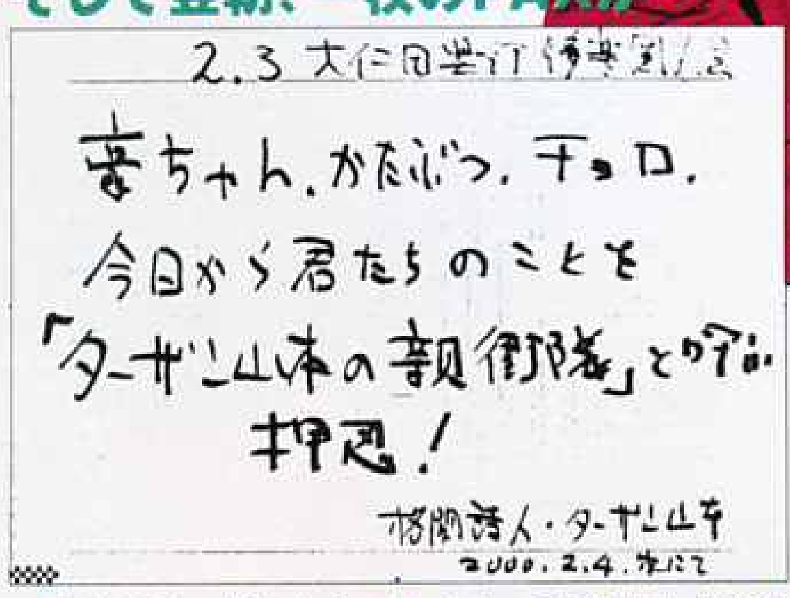


◀調子に乗ったターザンを見かね思い切りイスをブン投げた大仁田。それに対しゴミ箱を蹴り返すターザン。しまいには『山本帰れオラー！』と、ブーイングを飛ばしまくった大仁田ファンにまで蹴りをブチ込んだ。ターザンご乱心。



マスコミでチャンピオンになったのは私が初めてですよォォォォォ!!
（ターザンがチャンピオンになったという事実は全くない）

そして翌朝、一枚のFAXが……


壹ちゃん、かたぶつ、チョロ、
今日から君たちのことを
「ターザン山本の親衛隊」と
押忍！
格闘詩人・ターザン山本
2000.2.4.家にて

▲これがターザンからのＦＡＸ。試合後は「全然痛くないよぉ」と、強がっていたターザンも翌日は階段の登り降りもままならない状態に…。そして、頼んでもいないのに「ターザン山本親衛隊」にさせられてしまった。なんでやねん！

大仁田厚に捧げる詩

邪道とは
いつも
ひとりぼっちのことなり
だから、だから
すぐに自分に酔って生きる
そこの、そこの
どこが悪いのじゃ
邪道とは
いずれ
野垂れ死にすることなり
死んだら、死んだら
すべては終わりじゃ
王道も正道も
みんなくそ食らえじゃ
邪道とは
それが
男の偽らぬ姿なり
嘘も方便
嘘からでたまこと
嘘八百
それが邪道の三ヶ条じゃ
どうだ、わかったか
邪の道とは
嘘をまことに変える
力技（ちからわざ）のことじゃ
オレの力技
みんな無理を通したる
いいか
よくおぼえていろ

試合翌日、勝手に編集部に送ってきた
ターザン山本作「格闘コラム」



▲試合後のターザンのコメント「史上初、マスコミがベルトを獲ったぞぉぉぉ！（炎上）俺はマクマホンを越えたぞぉぉぉ！（炎上）でも今日は思いっきり蹴られたよ（鎮火）でも全っっ然痛くないよ！（再び炎上）」だっふんだ。

に「なにをする気だ、ターザン！」であったのだ。

実際は、さすがに舞い上がって段取りを忘れただけだったのだが、大仁田にとって見ればまさにシュート宣言。リングに入った途端に首投げで叩きつけられ、たまらずターザンは有刺鉄線の外にエスケープだ。

無意識とはいえ、有刺鉄線内に腹をすえて入っていったターザンといい、ナメてきた素人を一瞬にして潰しにかかる大仁田といい、男と男の意地が交錯した瞬間であった。

この後、ターザンは矢口組のコーナーに陣取り、倒れこんできた大仁田にエプロンサイドから噛み付きや弓を引くパンチで攻撃したりとなおも肉迫。そして試合後、懲りずに再度リングに上がり、大仁田から強烈な蹴りをもらいつつも果敢にタックルを仕掛けたりしたのだ。

興行終了後、「大仁田の攻撃なんか全然効かないよォォ！」とビッコ引きながら憎まれ口を叩くターザンに、カッコいいと不覚にも思ってしまったボクでした。

そして試合翌日早朝、編集部に発注してもいない格闘ポエムがFAXされてきた。「この試合がどんな記事になるのか考えてたら思わず書いてしまったオレは編集者の鑑だ」とのメモとともに。

いやぁ～、徹底的にやるということがエンターテイメントであることをつくづく痛感！　狂気の道を突っ走るターザンは決して止まりはしない。

ビバ！　狂い咲きターザン・ロード!!

構成／チョロ　文／中村カタブツ君（37歳）

〈カメラ〉2・3後楽園大会…平工幸雄、チョロ、ガンツ。





紙プロだから
できた企画
ザ・グレート・サスケ
レスラー生活10周年記念
第2弾！

矢追純一 × ザ・グレート・サスケ

これはマット界の
ロズウエル事件の勃発か？

超私極宇宙対談

それとも覆面九人団の
仕業か？

案内人／大西タマリン
text by Tamarin Ohnishi
撮影／斉藤ユーリ
photograraphs by youri Saitou

メキシコにはバンバンUFOが飛びまくるのはご存じか？　ザ・グレート・サスケが世の中で1番逢いたかった人物、矢追純一氏はメキシコという国で、ユラユラ飛行機雲を見るかのごとくUFOに遭遇したらしい。そして、日本でガンガン飛びまくるザ・グレート・サスケに猛烈コンタクトを交信され未知との遭遇を果たすことに……ここは富士の樹海なのか？　それとも……。この2人が乗る未確認飛行物体の目撃者になるのだ！

矢 ボク、プロレスを見に行ったことがあるんですよ。マサ斉藤さんの引退試合

サスケ　いやぁ〜、今日は興奮するなぁ〜。でも、ズバリ聞いちゃいます！　矢追さんはなぜUFOの番組をやられてるのかってことなんですけど。

矢追　それは、UFOはオカルトという分野でとらえられてるからなんですよ。

サスケ　そうなんですよねぇ〜。全く世間はわかってない！

矢追　ボクはジャーナリストとして誰も取り上げないことを、みんなも知る権利があるから純粋に知らせたいんです。ところが報道番組としてはダメなので、しょうがないからエンターティメントの形をとって出しているだけなんですよ。

――エンターティメントっていうのは、プロレスの世界でもキーワードの1つなんですよ。

矢追　ボクは、1回だけプロレスを見に行ったことがあるんですよ。

サスケ　え〜!!　そうなんですか！　いやぁ〜、矢追さんマニアのワタシもそれは未確認でしたよォ〜！

矢追　マサ斉藤さんの引退試合（99・2・14日本武道館）なんですけどね。

サスケ　あ〜っ、あの時ワタシも出てたんですよォ〜！

矢追　アハハハハ（苦笑）。すいません。モノ知らないもんで。（しみじみと）すごいなぁ〜。ボクは格闘技が苦手なんで尊敬しますよ。大学の頃に学生拳法に入ってたんですけど、我ながらガックリくるほど闘争心って皆無なんです（笑）。

サスケ　イヤイヤイヤ、矢追さんの現地取材は闘争心のたまものですよ！　ホント、『紙プロ』で誰か好きな人と会わして上げると言われた時は、矢追さん以外は考えられなかったんですよォ〜！

矢追　（微笑みながら）それはそれは光栄です。

サスケ　ワタシは矢追さんのテレビをいつも楽しみにしてるんですよォ〜。でも、10年くらい前までは年に2回くらいやられてましたよね。



矢追　当時は『11PM』がありましたから。そう考えると年に2、3本はやってましたね。

サスケ　ここ3、4年くらいペースが落ちたんで、我々UFOファンとしてはガッカリしてたんですよォ〜。その辺はいかがなもんでしょうか？

矢追　（微笑みながら）ハイ！　単純にオウム真理教の事件以来、テレビ局のえらい人の中ではUFOもオウムもいっしょくたになってるんですよ。

サスケ　はいはいはい。よ〜く、わかります（笑）。でも、最近はとにかく『テレビ朝日』は凄いですからねぇ。

矢追　まぁ、あれは一種のディベートというか『朝まで生テレビ』の流れでね。ずーっとそういう流れがあって「UFOをやってみよう！」ってことになってね。大槻（義彦）さん対韮澤さん（たま出版編集長）という2人のお笑いタレントが誕生したんですけどね（笑）。あれはUFO番組じゃないんですよ。一種のバラエティーなんです。

サスケ　是非、韮澤さんには今回参加して頂きたかったんですよォ〜。

矢追　やめたほうがいいですよ！（笑）

サスケ　でも韮澤さん、面白いから。ムフフフ。

矢追　アハハハ（苦笑）。ボクは基本的にテレビに関しては自分にお仕事頂ければどこの局でもやりますよ。今は結局、冒険したくないという局のご意向なんですけどね。ボクはドキュメンタリー番組を1本作るのに半年は絶対かかりますから。

サスケ　そうですよねぇ〜。あれだけ濃密なドキュメンタリーですから！

矢追　ハイ。まぁ、準備に9ヶ月、取材に1ヶ月。毎日魂つめても、3ヶ月はかかりますからね。ボクの場合はだいたい2時間番組でフィルム150時間まわしますから。

サスケ　だから、あんな素晴らしい番組が生まれるんですねぇ〜。

矢追　本当に作業はほとんど徹夜です。フィルムだけ見るのにも寝ないで、トイレにも行かないで1週間かかりますから（笑）。1本やるのは死にもの狂いなんですよ。

――そういう意味ではサスケ社長のプロレスも死にもの狂いなんですよ。

サスケ　ガハハハ！　そうかい？

――頭蓋骨割っても、平気で空飛んでますから（笑）。

矢追　（しみじみと）そうなんですってねぇ。サスケさんの頭さわったらブヨブヨしてそうだよね（笑）。

サスケ　いやぁ〜、どーってことないですよ！　ガハハハハ!!

矢追　相当、どーってことありますよ（笑）。でも自分の職業に真剣ってステキなことじゃない？　仕事をやってる上では真剣じゃないとね。

サスケ　そうですよォ〜。若いヤツに聞か

ワタシが頭割ってもリングに向かうのは、矢追さんの姿が励みになってますよ！

せたい!!　ですからワタシが頭割ってもリングに向かうのは、矢追さんの頑張ってらっしゃるっていう姿が励みになってるんですよォ〜！

矢追　（微笑みながら）すご〜く光栄です。凄いうれしいなぁ。

サスケ　矢追さん！　実はワタシUFOを3回ほど見てるんですよ。初めて見たのは18歳の時なんですけど、その時まで全然信じてなかったんですけど「UFOっていうのは間違いなく存在するんだ！」っていう意識改革が始まったんですよ。

矢追　ハイ。それは大切なことなんですよね。

サスケ　そこで、我々UFOファンからするとエポックメイキング的な事件というのは『MJ—12文書』ですね。（※UFO問題に関する極秘文書。1967年アメリカのUFO研究家ビル・ムーアが、1947年にニューメキシコ州ロズウェルに墜落したUFOの残骸と異星人4体の遺体を回収したことが記載された、当時のホワイトハウス極秘文書が国立公文書館から見つかったと発表。同時にトルーマン大統領によって、設置されたという極秘情報機関『MJ—12』の存在がクローズアップされた）あれからやはり熱がどんどん高まったんですよ。

矢追　あれね、たまたまボクがアメリカに行った時に、ワシントンでUFOの国際会議があったんですよ。そこに面白半分で顔出してたら、そこで発表があったんでビックリしたんですよ。

サスケ　さすが！　矢追さんはコンタクトとるの上手いですねぇ〜。今、あれから10年くらいたってますけどズバリ、あれは本当なんでしょうか？

矢追　あのね、日常生活でも100％ウソってないんですよ。だいたいニセ情報というのは「かなり本当。ちょっとウソ」っていうのが上等手段なんですよ。だから、アレはかなり本当です。わざわざ、落とし穴をもってきて「これはニセだ」という証拠を入れてあるんですよ。

サスケ　だからね、私が『紙プロ』読者に言いたいのはUFO情報というのはニセ情報がまぶしてあるわけよ。でね、1つニセが発覚すると全部ウソだと思うでしょ。だから、みんなはちゃんと真剣に真偽を確かめながら受けとめなければいけないんだよ！

矢追　素晴らしいメッセージです（笑）。プロレスもそうなんでしょうね。

サスケ　ガハハハ！　もう、矢追さんにはいっぱい聞きたいことがありますから、どんどんいきますよォ〜。最近の大きな出来事としまして、宇宙人の死体解剖フィルム事件がありましたよね。あれは矢追さんはタッチされてないんですよね。

矢追　あれね、最初ボクのところに宇宙人の死体を「売りたい」ってイギリスから話がきたんです。

サスケ　きましたか——ッ！

矢追　でも、メチャクチャ高かったんですよ。日本円にして、6千万くらいの値で言ってきたんですよ。

サスケ　（もはや買いかねないほど興味津々に）ほぉ1つ。

矢追　本当かどうかっていうのをイギリスの信頼できるUFO研究家に見に行ってもらったんですけど、彼が言うには「フィフティ・フィフティ」だと。本物という確証があるわけじゃないですから。高いですし、そんな莫大なお金を払ったら番組が作れないんですよ。今はそれだけお金がある番組ってないですから「諦めよう」ってなったんです。

サスケ　そ、そうだったんですか!?

矢追　そうしたら、結局売り手がアメリカの『ABC』かなんかにものすごいお金で売って、細切れに世界各国に売っちゃったんですよ。おそらく、お買いになった『フジテレビ』さんは、かなり高く手にいれられたと思います。でも、結局ペイしなかったんでしょうね。2本か3本ビデオが出てますもんね。

サスケ　だって本出して、販売用ビデオ2本出したんですよ。ワタシは全部買っちゃいましたけど（笑）。

矢追　アハハハ。相当、苦労されたんじゃないですかね。

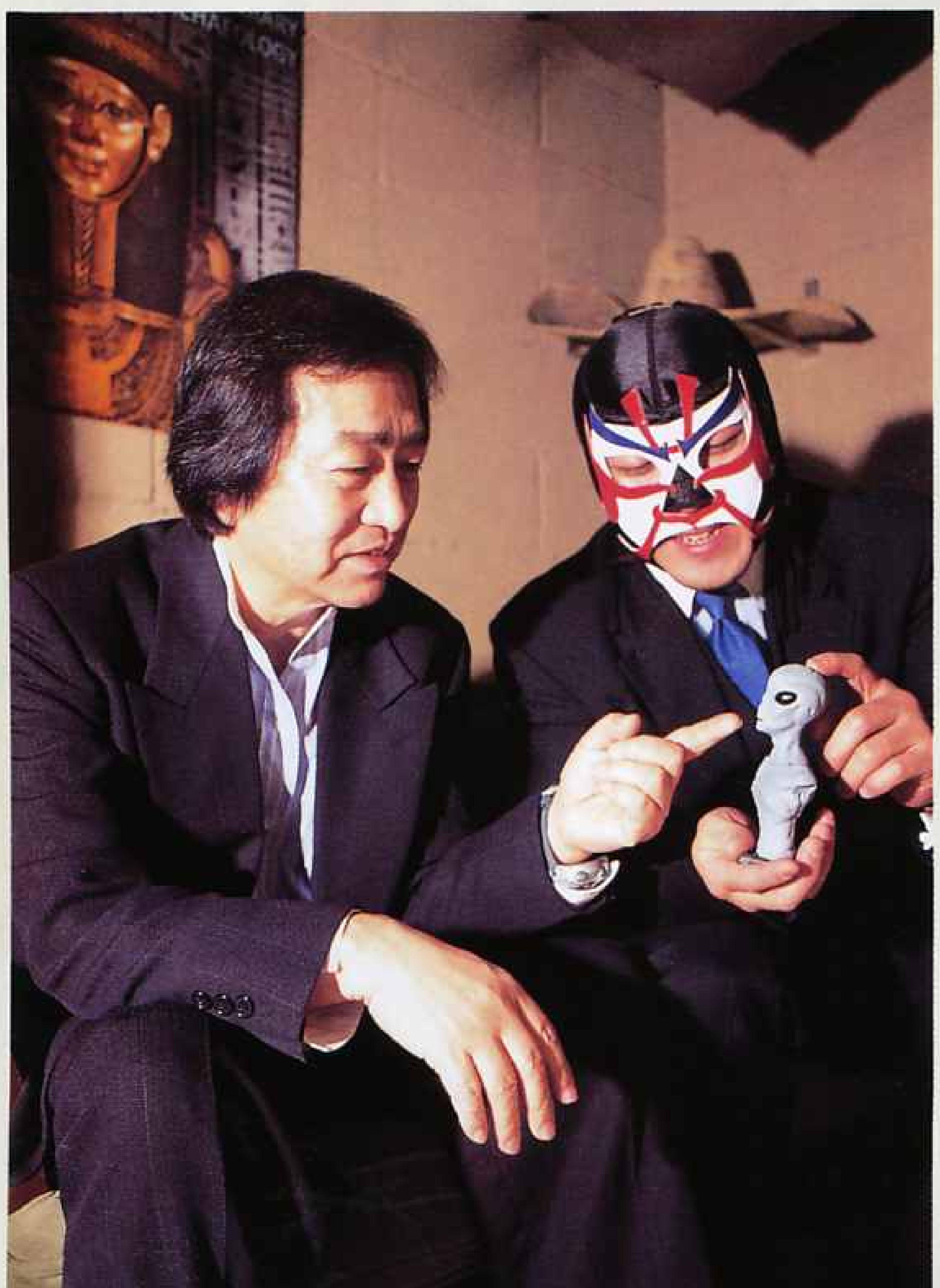
サスケ　タ、タマリンちゃん、これも衝撃事実だよ！（頭を抱えながら）あぁ〜っ、アメリカよりも先に矢追さんのところに話がきてたなんて……。

——社長、興奮しすぎですよ（笑）。（興奮しているサスケの変わりに質問）でも、それも本物かどうかはわからないんですよね。

矢追　あれね、ちょっと普通に考えたら不思議ですよね。ありえない。

サスケ　ただ、すごくよくできてたんですよ！　そうそう、死体といえば、矢追さんの6、7年前の番組や本のあとがきに「南アフリカの軍部から衝撃的な情報が飛び込んできた」っていうのがあったんですけど、今日はそれも是非聞きたかったんですよォ〜！

矢追　あれは『南アフリカUFO墜落事件』っていうのなんですよ。





ザ・グレート・サスケ✕矢追純一





燃えよ!! プロコン2000 BURNING SPIRITS

矢 本当のことは未来永劫、わかんないんじゃないかな

ザ・グレート・サスケ×矢追純一

サスケ　やっぱり！　そこで、宇宙人の死体って本当に発見されたんですか？

矢追　見つかりました。あれは、「は虫類」風なんですよね。死体そのものは本当じゃないかという可能性は高いです。あるいは、ボクは遺伝子実験の犠牲者かもしれないとも思ってるんですよ。遺伝子実験というのは今これだけ話題になってるでしょう。

サスケ　いやぁ～、クローンは凄い話題でしたね。

矢追　イギリスで羊がどうしたとか、日本で本当のクローンの牛が生まれたとかっていうことは20年前からやってるんですよ。だからとっくに軍関係の秘密の研究所ではクローン人間ができてると思います。世の中の科学技術の発展はだいたい軍から始まってるんですよ。

サスケ　ワタシもそれは感じてるんですよ！

矢追　なぜかっていうと、1番たくさん国家予算が使えるから。そして軍事秘密になるわけでしょう。だから莫大な予算を使って、実験できるわけなんですよ。ボクらが知らないことが山ほどあると思うんですよ。

サスケ　さすがの矢追さんでも、手に追えないんですねぇ～。

矢追　ボクがしゃかり気になってがんばって、アメリカの軍事秘密として、隠そうと思ったら絶対近寄れないです。アメリカの有名なＵＦＯ研究家なんかが凄いことを暴露しますよね。あれなんかも軍のほうからなんらかの形で投げ与えてくれてる情報を出してくれてるんじゃないかなと思いますね。だから本当のことはボクらにはたぶん未来永劫、わかんないんじゃないかな。それにも う、今さら情報なんて出せないですよ。

サスケ　で、でも、近い将来正式に発表するってことはないんでしょうか？

矢追　どっかの政府がやるってことはないです（キッパリ）。立場上できないです。

サスケ　じゃあ、例えばクリントンがポロッと言っちゃうとかっていうのはないでしょうかね？

矢追　だってね、思い切って言えばよかったんですけど、ウソの上塗り上塗りできちゃったから、今さらゴメンナサイはできないです。もし、クリントンが告白しちゃったらみんなを敵にまわしますよ。ずーっと国民を騙してきたっていうと国が成り立たないですよ。口が曲がっても言えないでしょう。で、もしばらす時がきたらそれは偶然しかないです。死体の解剖フィルムがでてきたり、ＭＪの文書が出てきたりするのはどういう反応を示すのかの準備ですよ。で、パニくっちゃったら「ウソだった」っていうことになるんですね。

サスケ　とにかく宇宙人は我々の様子を見てると思うんですよ。特にここ数年、テレビとか映画とかでやたらＵＦＯが登場してるじゃないですか？　これは絶対に大衆の様子をうかがってるんですよ！

矢追　まぁ、それだけやっても、まだ今の一般大衆の90％は「そんなものねぇや」ってなるんですよ。日本もアメリカもどこも同じなんです。だからなかなか難しいんですね。

サスケ　でもワタシ、メキシコに住んでたことがあるんですけど、メキシコは凄い！　矢追さんのテレビでもありましたよね。読者のために説明すると、メキシコ郊外に新しいオフィスビル街があるわけよ。そこに、フラフラＵＦＯが飛んでいるんですよォ～！

矢追　その飛び方っていうのは糸で吊ってフラフラさせてるみたいな感じなんだけど、よ～く見るとそんなことは絶対あり得ないんですよ。

サスケ　あれは凄くナマナマしかった。

——メキシコということで、なんかまたサスケ社長とリンクしますね（笑）。

サスケ　そうなんだよォ～。それで、ちょうどワタシが住んでいた時にプエブラで大騒ぎだったんですよ！　矢追さんのリポートでもいずれ噴火するんじゃないかって言われていた『ポポ山』なんですけど、ワタシも同感です！　とにかくメキシコのＵＦＯ熱はこ

サ とにかく宇宙人は我々の様子を見てると思うんですよ!!



矢 サスケさんみたいに頭カチ割られても生きていかなきゃ、ねっ！

こ5、6年もう凄いんですよ!!

矢追 メキシコは年中飛んでます。

サスケ メキシコには週刊オブニっていう本もあるくらいですから（笑）。フィーバーですよォ～！

矢追 ボクが取材した時はまだ噴火してなかったんですけど「これが噴火したときは新しい時代の始まりだ」って言われていて、噴火したのにはビックリしましたね。今はさかんに煙を上げていますし。

サスケ そうなんですよォ～！ 新しい時代が来てますよォ～!!

矢追 だから政府側が発表しなくても宇宙人側がやるっていう可能性もありますよね。

サスケ そう！ そうですよ。今もなお、どこかで監視し続けてると思うんですよ。

矢追 そうだと思いますけど、彼らがわざわざ出てきて「お前たち間違ってるよ」とか、なんで言わないのかと思いますよね。もし、出てくるとしたら、我々側で精神的に受け入れれるだけの準備ができたら出てくると思います。おせっかいじゃないんですよ。人間の世界でもそうですけど、今の風潮は何でもかんでも教えちゃうんですよね。これはダメなんですよ。

サスケ ホント！ そうなんですよォ～。プロレスの世界でもそう！

矢追 もう、すぐ答えを聞きたがるんです。クイズ番組なんて最たるものでしょうね。すぐ、答え出ちゃうんですよ。質問があったら答え。この間に考えることをしないから1つも役に立ってないんですよ。1つの問題にぶつかったら「どうなんだろう?」って悩んだり考えたりして初めて身につくものなんです。

サスケ それはねぇ～、受験戦争の影響が強いんじゃないですか?

矢追 教育が悪いんです。いきなり答えを教えられたりしたら何にもなりませんよ。だからボクの番組でも本でも絶対答えを出してないんですよ！ どうなのか? っていうのを考えるだけのデータだけは用意しましたよ。それもボク自身が行って見たことを全部お伝えしますよ。だから、「あとはご自分で考えてみてください」っていう。

サスケ そこがプロとしてのポリシーなんですねぇ～。

矢追 ボクはプロのジャーナリストとして考えていることは人々の好奇心をいかに上手く引き出してあげるかってことだと思ってるんですよ。それとまったく同じこと『2001年宇宙への旅』の監督……。

サスケ スタンリー・キューブリック！

矢追 そう、キューブリックにインタビューをした時に、「見てる人が自分で解釈することが大切だ」って。作るところまでが自分の役目なんですよ。答えは自分自身でも出せないですから。この世の中で答えが出せることなんて1つもないんですよ。あらかじめ人間の決めたこと以外は答えなんて出ないんですよね。

――サスケ社長もみちのくを見ている観客に、「謎かけ」はしますからね。

サスケ そうなんだよォ～！ よく、わかってるねぇ～。生きていく上でね、考えることが大切なんだよっていうことをわかって欲しいですよね。

矢追 （突然大きな声で）答え聞くまえに自分で考えろ！ ってね（微笑）。

サスケ そう、そう、そう！ まさに、そうなんですよォ～！

矢追 日本人はとかく目先のことに集中しがちなんですよ。ボクから『紙のプロレス』読者に言いたいことは、みんなが生まれて習ってきたことそれが全部だと思わないでそれ以外でもわからないことは、いーっぱいあるんですよ。そういうことにも関心が向くような人間になってくれないと、いつまでも誰かに頼って依存して生きていく人になってしまうので人間としては完成しないよ。

サスケ 今日は関心しっぱなしです。



矢追 人間はなんのために生きてるかと言うと、死ぬ時に後悔しないために生きてるんだから！ そうでしょ?

サスケ ほ～んと、その通り！

矢追 オレはなんのために生まれてきたのか? どうして人は自分のことをわかってくれないのか? それはわかるわけないんだって。自分がわからないものを人がわかるか！ って。自分が人にわかってもらいたいって思う前に、人をまずわかってあげようというところから始めないと。自分で生きてかなきゃ！ それもサスケさんみたいに頭カチ割られても生きていかなきゃ。ねっ、これが大事ですよね。

サスケ ガハハハ！ ワタシは嬉しいですよ。矢追さんの人生哲学も聞けて。そこでね、我々日本人が、意識改革をしないと！ 地球に生きてる我々じゃなくて宇宙に生きてる我々なんだ！ ワタシも初めてUFOを見たときは「うわっ、宇宙の中にオレはいるんだ」って感じましたよ！

地球に生きてる我々じゃなくて宇宙に生きてる我々なんですよォ〜！

――サスケ社長は神の啓示を受けてプロレスラーになったんですよ。

サスケ　そうなんですよォ〜！

矢追　はぁ〜、それはラッキーだったんですよね。ＵＦＯ見た人と見ない人とでは意識が違うんですよ！　やっぱり、人間飛ばないと！

――サスケ社長はたまに飛び過ぎるんですけど（笑）。

サスケ　ガハハハハ！　まだまだ飛びますよォ〜！

矢追　そう考えると実はＵＦＯのことはそれほど大きいことじゃないんですよ。

――矢追さんが最後に爆弾発言！　ですね。

矢追　実はホントそうなんですよ。ＵＦＯはただ入り口でしかないんです。それを１つの道具として自分自身を発見するっていうことにあるんですよ。

サスケ　あ〜、もう矢追さんは素晴らしい！　ワタシも大仁田（厚）さんばりに大学生になりますよォ〜!!

【2月7日　渋谷にある秘密基地デザートにて】

この日、サスケ社長は見たこともないくらい緊張していた。盛岡から新幹線で乗り付け、約束の時間の1時間前に到着。「今日はうれしい。ホント、うれしい」と手に持つ大きなカバンには、矢追さんの著書がパンパンにふくれあがっていた。（と思っていたのだが、実はこのあと、急いでバトラーツ石川社長と混浴ツアーにでかけていたことが発覚！　さすがサスケ社長!!）そして、憧れの矢追さんと対面するといつもの社長ではぜ〜んぜんなく「いやぁ〜、力が出なかったねぇ」と言い、「感想文メール送るからねっ、タマリンちゃん！」とお茶を濁されたのであった。そこでサスケ節満載の送られてきたメールをここで全文掲載する。いつもとはちょっと違った社長の謎が明らかになる！

〜対談を終えて〜

あの、夢にまで見た矢追さんとの対談である。私自身ＵＦＯを目撃し、そして研究し続けて12年。積もり積もった疑問をぶつけながら矢追さん自身の現在の心境を「紙プロ」読者の皆さんへもうまく伝わるように、黒柳徹子ばりの引き出し方で、お伝えしようと張り切って対談に挑んだのだった。

しかし、いざ対談開始直前の矢追さんの「マサ斉藤さんとは面識あるんですよ」このひと言で、私は出鼻を挫かれてしまった。「ＰＲＩＤＥ ＧＰ ２０００」で試合開始早々油断したすきにあっさり倒されてしまった太刀光の心境である。

何はともあれ対談は始まった。

案の定、矢追教授（今やイオンド大学教授である）は強かった。こちらが１つの質問をすると予想の10倍以上のボリュームの答えが返ってくる。対談のはずがついつい聞き手に回ってしまう。しかし、これでいいのだ。教授自ら私個人へ解説して下さるのだ。無料で個人セミナーを受けているようなもんだ。ええいどうだ、ＵＦＯファン（もちろん猪木さんのそれではない）のみんなうらやましいだろ。ＵＦＯファンにはお馴染みであるが、矢追教授は他のＵＦＯ研究家とは明らかに一線を画している。それは他のＵＦＯ研究家がとかく持論を押し付けがちなのに対して、矢追教授の場合はあくまでも現地取材重視で、それ以上の事を視聴者や読者に押し付けないという点だ。つまり「後は自分で考えろよ」という事なのだ。これが一般市民にはなかなか理解されない。そして、矢追教授はプライドの高い方である。私もいろいろなＵＦＯ研究家のネタをぶつけてみたが、矢追教授以外のネタになると、とたんに口が重くなる。しかしそれこそが教授は無責任な事を口にしないという何よりの証拠なのだ。教授自身がその足で稼いで来たネタこそが事実なので、それ以上でもそれ以下でもないのだ。だからこそ、他の研究科たちがこぞって矢追教授のネタを流用して平気で出版してしまうのである。裏を返せば、それだけ矢追教授の現地リポートは信頼されているのだ。

ザ・グレート・サスケ×矢追純一

対談後の雑談の中で、神の啓示の話題になった。つまり私がプロレスラーになったきっかけである。（詳しくは「サスケが翔ぶ」市井社刊）矢追教授もやはり、神の啓示を受けた一人だった事が明らかになった。その啓示の内容とは……、

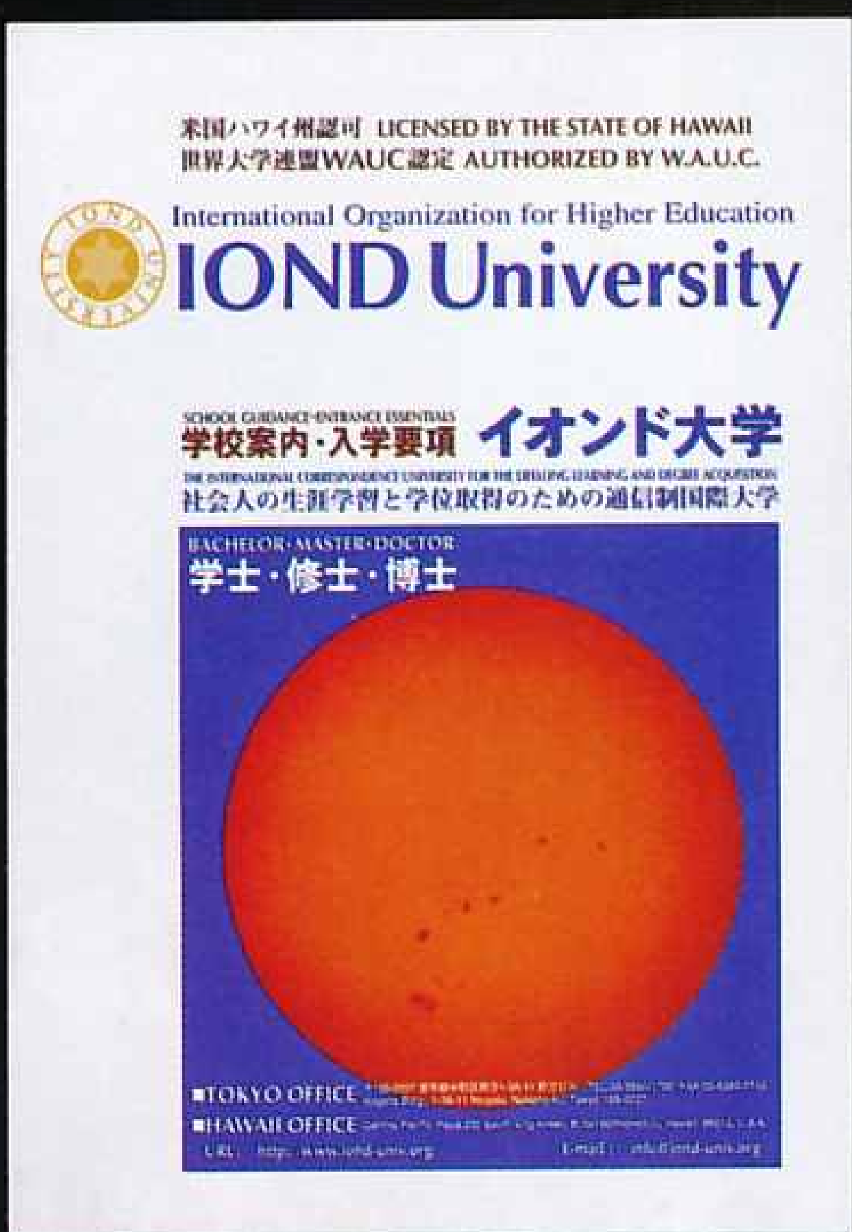
「紙プロ」読者よ自分で考えろ。すぐに答えを求めるな。考える事が重要なのだ。

Ｔｈｉｎｋ，ｔｈｉｎｋ，ｔｈｉｎｋ．

ザ・グレート・サスケ



Profile:やおいじゅんいち■1935年生。中央大学法学部卒。59年、日本テレビに入社、「11PM」「木曜スペシャル」などのディレクターとして活躍する。86年退社し、（財）地球環境財団・理事に就任。今年の4月からインターネットで授業を受ける『イオンド大学』UFOLOGY学科、教授となり全世界へ向け矢追教授のメッセージが発進される。ちなみに対談後、サスケ社長に「プレゼントもってきたよ」と著者にサインを入れてプレゼントし「これを機会に仲良くしてね」という言葉に、サスケ社長は大感激であった。





矢追さんが"チームOVNI"に加入!!
越谷のイカレ社長バトラーツ石川雄規＆サスケ社長のチームOVNIに矢追さんが電撃加入！これを記念してOVNI Tシャツを３名様にプレゼント。応募方法はp159参照してください！

強力新連載！　始まる前から好評につき次号増ページ決定！
なんでやねん!?　とにかく続行──ッ!!

MAD SPLUSH POWER

CIMA（クレイジーMAX）PRESENTS



今回からの新連載、闘龍門の悪の華クレイジーMAX・CIMAが入魂こめた映画作文&フォトギャラリーを展開する。オールCIMA自身による飛ばしまくった作品の数々だ!!　リング上では決して見ることができない姿を、ここでとくとご覧あれ！







これが、クレイジーMAXの練習なんや！　必殺“とんぼ”やで。とりあえず強くなるためにはみんなマネしろ！　教えたくないけど、これが強さの秘訣やな。



こおは闘龍門の合宿所。みんなここに住んどるんや！　（ちなみにここは事務所）まだ去年にできたばっかりやからキレイやで。やっぱり、朝起きたらすぐ歯は磨かなアカン。





オレは無事、車の免許を取ったんやで。それで、合宿所近くをドライブしたるわ。まず、いつも通ってる風呂屋。風呂上がりは絶対のどカラカラやからグビッとビックルこれで決まり。ほんで、メチャ御用達の回転すし。もう、選ぶ目も真剣やろ？　目利きは確かなんや。





スモー・フジが改名したんや!!



2000年1発目の闘龍門「MUY BIEN」TOURって誰が決めたん？　これはスモーの「改名ツアー」なんや！　くぅ〜、見てみぃこのダンディの姿メチャメチャかっこええやろ。（1・30四日市にて）



その名も スモー・ダンディ・フジ二千や!!

CIMA'S PHOTO GALLERY



今日は楽しい給料日！　これ、給料袋なんや。ちなみに本邦初公開！　オレの部屋。見えるかなぁ〜、後ろのほうにかかってるネックレスが宝物やな。給料貰ったし、オレはマンガでも買いに行ってくるわ！



これが往年のレスラーポーズや。さて、誰のポーズでしょう？　わかったヤツはハガキを『紙プロ』宛に送れ。この連載の感想も忘れるなよ。ええことあるかもしれへんで。

CIMAのCINEMAにアイコノクラズム

※編集部に送られてきたCIMA直筆FAXを見てビックリ!?　自称映画評論家のCIMA先生ではありますが、ま〜ったく映画のことについては触れられていませ〜ん。でも、CIMA先生がよくあらわれた文章です。ココロして読め！

今回から始まった「CIMAのCINEMAにアイコノクラズム」！　オレが勝手に映画を語らせてもらうでぇ〜!!

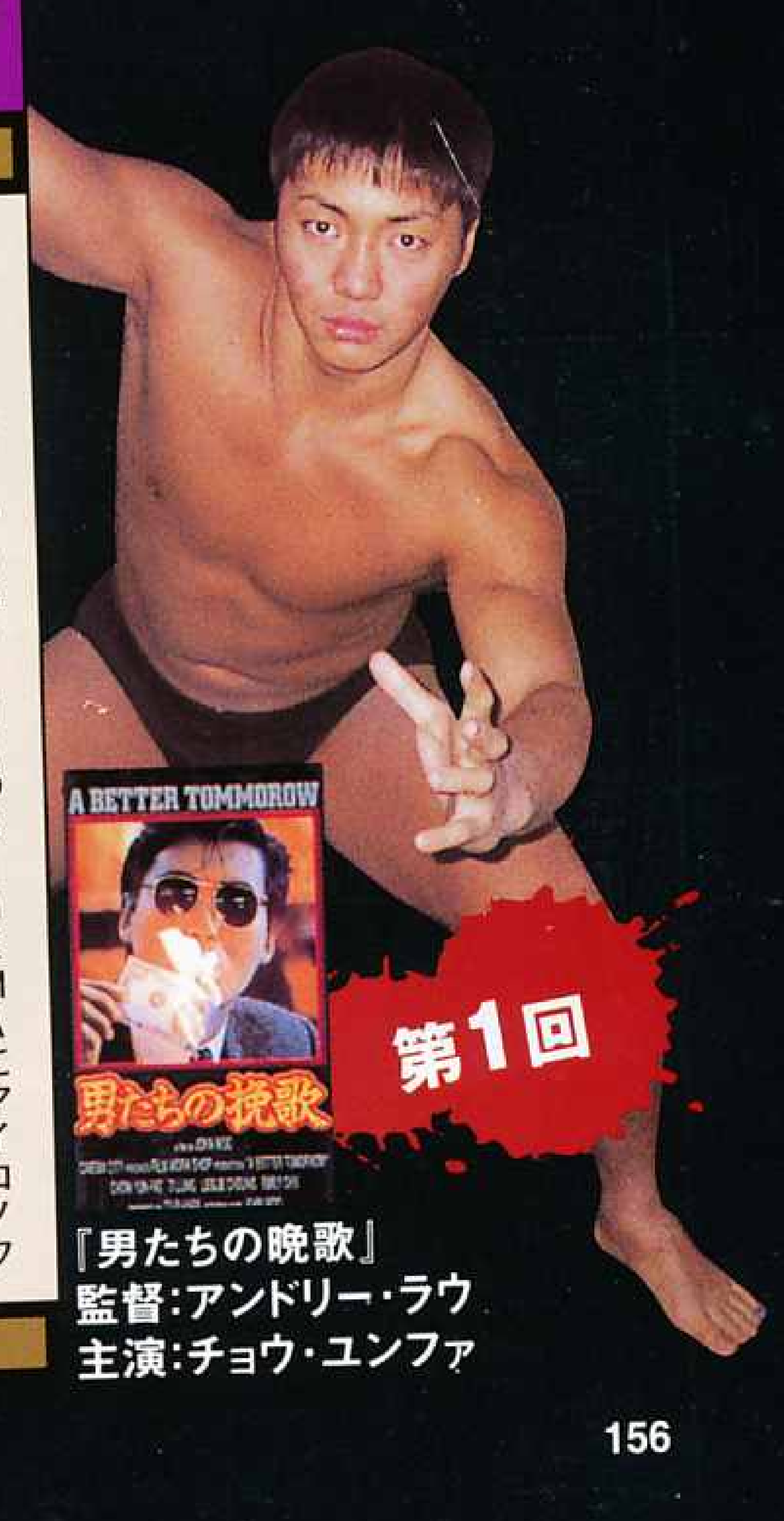
記念すべき第1回は『男たちの挽歌』。オレはこれを見て何回泣いたことか……。何がいいかって言ったら、やっぱり主演のチョウ・ユンファ。これはきてるでぇ〜。なんといってもオレの中で“オールバックが似合う男NO．2”に選ばれています。ちなみにNO．1は……泣く子も黙る、S・D・F二千！そう、我らがスモウ・ダンディ・フジ二千だ!!　こいつはクレイジーMAXのメンバー、SUWA&TARU、果てはMAKOTOまでもが認める不動の“オールバッカー”だ。

そうそう、オレはこの前、道場で飼っている柴犬『モモ』（闘龍門JAPAN、岡村隆志社長の側近）の爪を切ろうとして、100円ショップで爪切りを買ってきてやった。いざ、「切ってやろう！」とモモと格闘していたら、犬の爪は丸っこくてなかなかうまく切れない。「あれ？　おかし〜なぁ〜」と思って、最近犬を飼い始めた友だちに相談すると「犬には犬用の爪切りがあるんや」と怒られた。もうすでに2、3本切ったあとだったけどいい勉強になった。また1つ大人になった気がした。そして100円ショップといえばヒット商品がある。それは『お散歩君』だ！　これはええでぇ〜!!　この『お散歩君』は巻き尺のようになっていて3mまで自由自在に伸びるという優れモノ。さらにいいことは、ひもが細く夜になると見えにくくて知らない間に人がひっかかってしまうということではなく、モモがやたらとカワイイから仕事帰りのOLや女子高生が「あらぁ〜、カワイイー！　キャー!!」って声を掛けてきてくれることなのだ。たったの100円でナンパもできる「ナウイ」ものなので、犬を飼ってて彼女のいない野郎ども！　100円ショップにBダッシュだぁーーーー!!

あっ、これ「CINEMAにアイコノクラズム」やった!?　最近、オレのオススメ映画は「スターシップ・トゥルーパーズ」!!　これはオモロイぞぉ〜。見逃すなよ！　さあ、みんなでテッド田辺とビデオ屋さんに一緒に行こう!!



しーま■1977年11月15日生。大阪府出身。増殖し続ける世紀末の特急列車『クレイジーMAX』のリーダー。今回からの連載を機に巡業先にもカメラを持参してくれるので、絶対ほかでは見れない魅惑のショット続出間違いナシ！　次号も乞うご期待!!



第1回

『男たちの晩歌』
監督：アンドリー・ラウ
主演：チョウ・ユンファ

PRESENT GRAND PRIX GP2000

今回も目玉が飛び出るくらいの代物たちのエントリーです。リーザーバーなどありえない！　迷うことなかれ、世界最強のプレゼントは『紙プロ』読者が決めるのだ!!

最強の覆面レスラーになれ!!

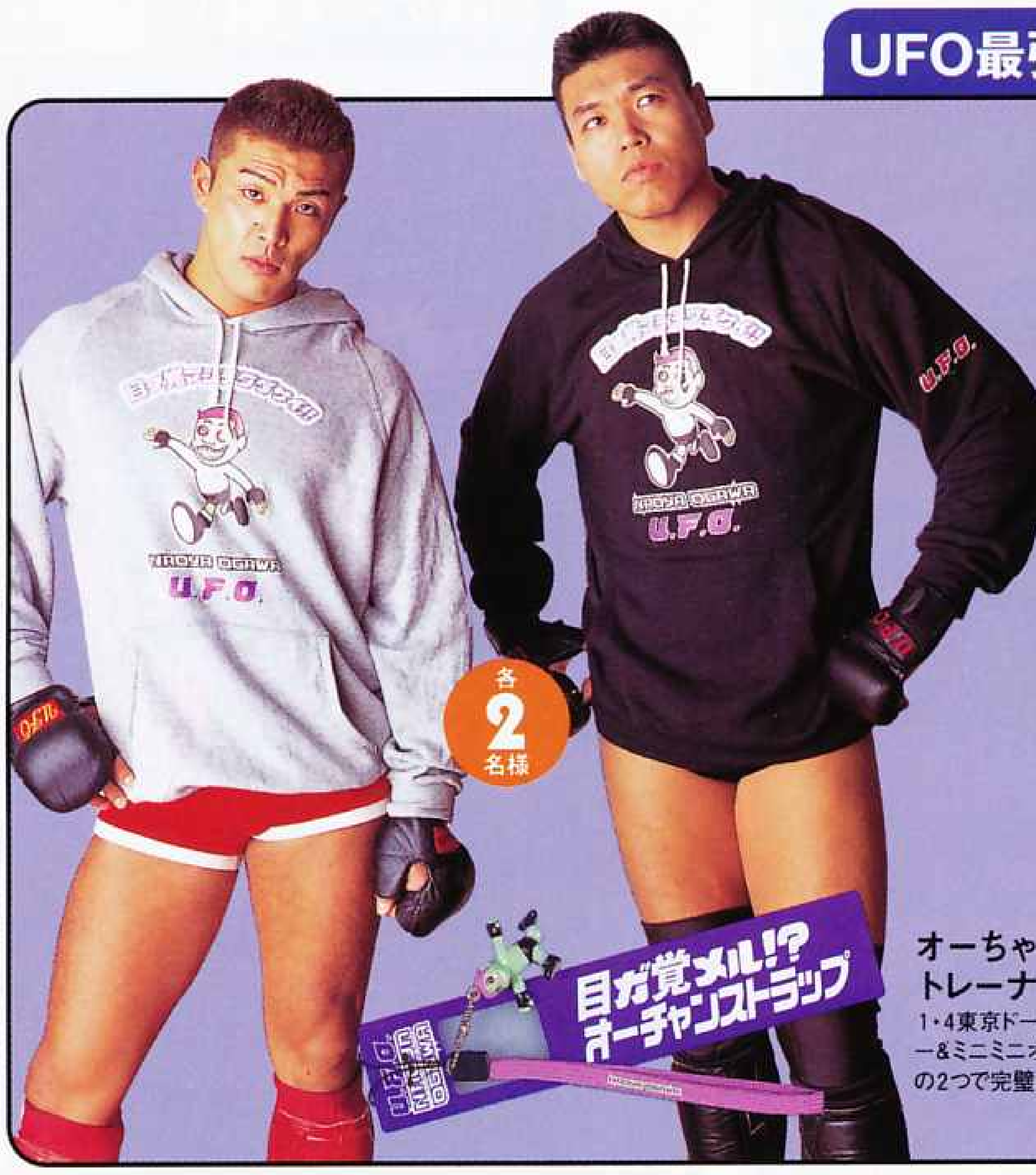


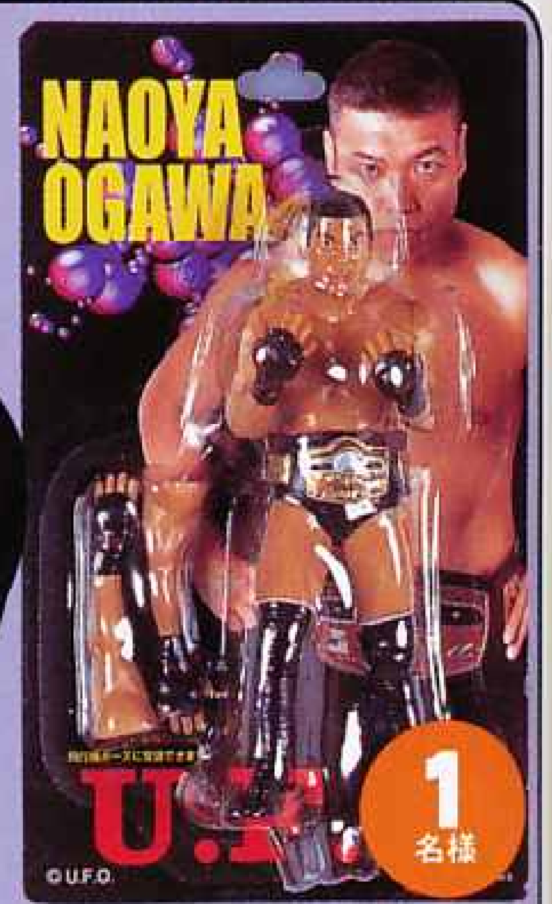
頭の先から足の先までサスケ全身コスチューム

ザ・グレート・サスケレスラー生活10周年記念第2弾！　今回はサスケになれる全身コスチュームです。もちろんマスクもプレゼントしちゃいます!

【ザ・グレート・サスケ提供】

UFO最強タッグ戦士





小川直也フィギュア

手が組み替えられオーちゃんポーズもバッチリ決め込めます。

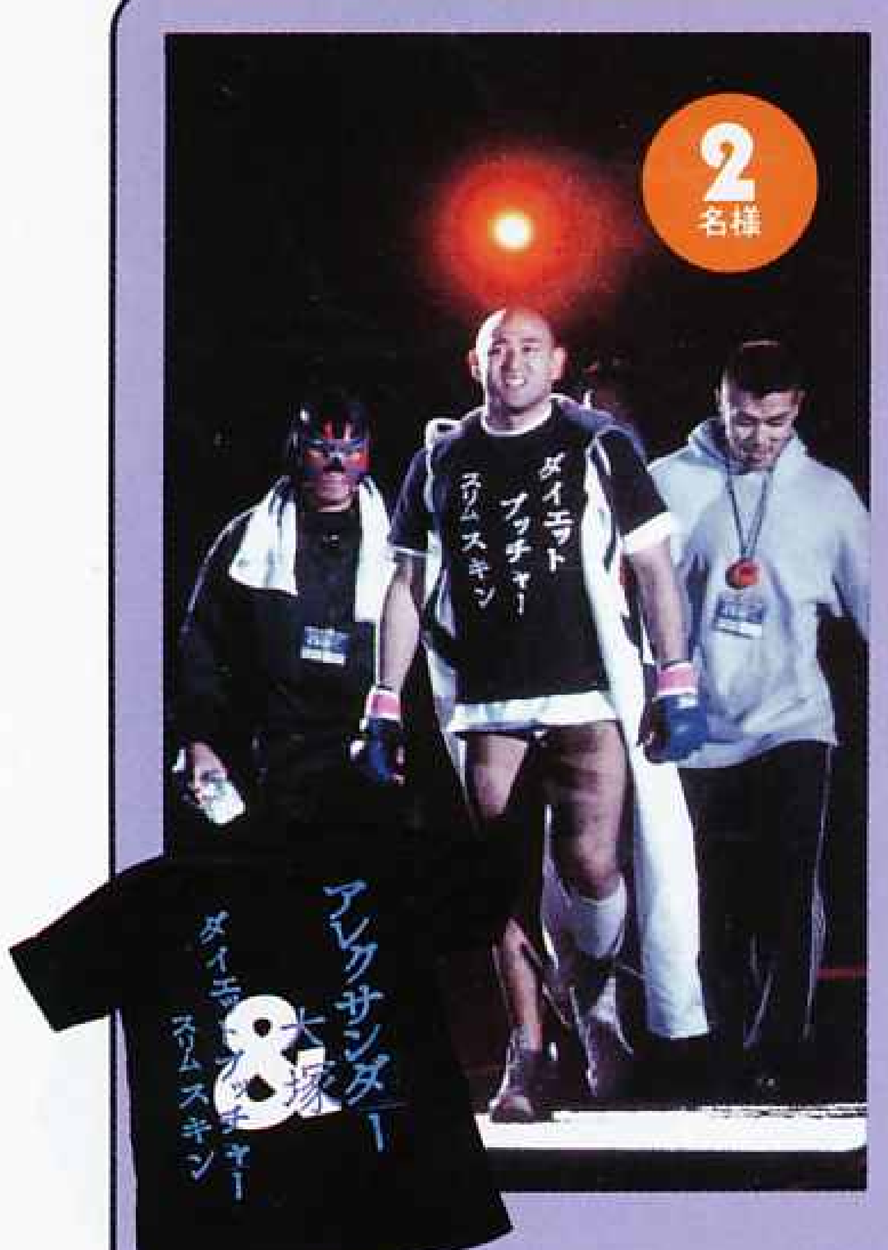
【キャラプロ提供】

オーちゃんストラップ、オーちゃんトレーナー（グレー&ブラック）

1・4東京ドームの入場シーンを彷彿させるトレーナー&ミニミニオーちゃんが可愛いストラップです。この2つで完璧成りきりオーちゃんです。

【UFO提供】

アレク魂は最強!



ダイエットブッチャーアレクTシャツ

このTシャツは文句なく素晴らしい。アレクの勇姿が思い浮かぶ激レアTシャツはもう手に入ることはないはずです!!　ダイエットブッチャーウェアは直営店オクタゴンで買えます！　お問い合せ　オクタゴン☎03-3486-5539（渋谷区神宮前5-16-8）

【ダイエットブッチャースリムスキン提供】

解説界最強の男



マサ斉藤パーカー

前号で紹介したキン肉マンTシャツが大人気のバンバンビガロの自信作、マサ斉藤パーカー！ マサのステキさが十分です。お問い合せ　バンバンビガロ☎03-3460-1145
ホームページアドレス　http://www.bambam88.com

【バンバンビガロ提供】

慧舟會最強の悪の王子様



極悪Tシャツ

このTシャツが売れに売れると和術慧舟會の悪の王子様のポケットマネーに大変身するという1品。チャンピオンでも絶賛発売中!

【高瀬大樹提供】

最強の吟遊詩人



大ちゃんTシャツ第一弾

パトラーツの吟遊詩人池田大輔選手の「倒れる時は前のめり」というステキな詩が入ったTシャツです。

【池田大輔提供】

PRESENT GRAND PRIX GP 2000

漫画界最強Tシャツ



IVY GEARTシャツシリーズ
グラップラー刃牙シリーズも大注目のIVYブックスからカッコイイオリジナルTシャツです。お問い合わせ☎0568-31-0727
【IVYブックス提供】

最強のフィギュア



グレート・ニタフィギュア ¥3000
火を吹きまくる今は亡きグレート・ニタはオマケがいっぱいで、マスク&有刺鉄線も付いてきます！



天龍源一郎フィギア ¥1500
髪の毛の形とコスチュームの位置がとてもリアルです。



高田延彦フィギュア ¥2000
手と足が付け替えられ、バーリ・トゥード&プロレススタイル（レガースにはもちろんUWFの文字あり）両方が楽しめるフィギアです。

このコーナー3つ&オーちゃんフィギアも含めてお問い合わせ03-5828-5243　【キャラプロ提供】

最強のラメ使い



ミルマスカラスキャミソール、タイガージェットシンキャミソール、ミルマスカラスTシャツ、ブラックタイガーTシャツ
バンド人もビックリの凶悪マスカラスプリント。キャミソールのラメはポイント高し！　HAOMINGグッズはブレーンバスター&チャンピオンで購入可能です。
【HAOMING提供】

九州最強のショップ



グランドコブラパーカー
前号のプロディトレーナーが大盛況のグランドコブラからオリジナルブランドパーカーです。着心地抜群！　お問い合わせ☎092-711-1021
【グランドコブラ提供】

いぬちゃん最強



いぬちゃんTシャツ
いぬちゃんヒクソンに腕十字！　というプリントが愛らしい加藤賢宗さんオリジナルTシャツ！　ヒクソンも随分かわいく書かれてます。
【加藤賢宗提供】

ブルース・リー最強



ジークンドーTシャツ
ジークンドーの新色は黒に青のイカした配色で、バックプリントがなにげにおしゃれです。　お問い合わせ☎047-378-6403
【イーフォース・ジャパン提供】

柔術界最強トレーナー



正道柔術トレーナー、柔術で充実トレーナー
「柔術で充実」というステキすぎるトレーナーを作ってしまった平さん率いる正道会館柔術クラスに4月から立ち技クラスが出来ます。お問い合わせ 正道会館☎03-5285-1966
【平直行提供】

DBSS旋風最強



ダイエットブッチャーマーシャルアーツロングTシャツ
アレクTシャツに続き、ダイエットブッチャーから春の新作をプレゼントしちゃいます！　お問い合わせはアレクTシャツのところを見てくださ〜い！
【ダイエットブッチャースリムスキン提供】

紙のプロレス RADICAL

No.24

2000年3月25日発行

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
スモー・ノブ
松澤チョロ
大西タマリン
八木賢太郎(焼肉を食べすぎたため非番)

スーパーバイザー
吉田豪

広告営業
佐藤恵美

助っ人
堀江ガンツ
恒遠バカツネ
中村愚乱
金田謙太郎
村田英之

アートディレクター
出田さん(TwoThree)

デザイン
ヒサくん
マツ
村松さん
セッキー
グッチー(以上TwoThree)
トメさん
はなえちゃん(以上さおとめの事務所)
尾崎貴春

出前
出前持ち入江(TwoThree)

カメラマン
斉藤ユーリ
遠藤政文
森鷹博
黒田史夫
戸成ぶつぞう
古澤聖三

試合写真
平工幸雄
乾晋也
スペル・テポドン2号

お勘定
林ヘックション一枝

やっぱりすごくモテたくて……
中村カタブツ君(37歳)

フィニッシュ
ツー・スリー/さおとめの事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元
株式会社ワニマガジン社
〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地
TEL.03-3357-2911(販売・営業)

発行元
株式会社ダブルクロス
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
TEL.03-3403-5188(編集・制作)

アメプロ界最強のポスター



5名様

WWFポスター

このポスターが欲しい人は〒135-8668スカイスポーツ「アメプロポスター」紙プロ係まで好きな団体とレスラーを書いて送って下さい!!

【スカイスポーツ提供】

最強のご意見番



10名様

「プロレス雑誌大戦争」

元『週刊ゴング』編集長竹内氏と元『週刊プロレス』編集長ターザン山本氏という昭和プロレスファンじゃなくても感慨深いお2人のバトルが読めます。

【芸文社提供】

京都最強のショップ



各3名様



ドリームチームロングスリーブTシャツ(赤&ネイビー)、スイングトップ

CACAOと言えばマスカラスというイメージですが、ドリームチームもサイコーです。お問い合わせ☎075-601-7816

【カカオ・プランニング提要】

トレーニングで最強になれ!



5名様

エンセン本「大和魂で勝つ!」

エンセンのトレーニング実践法がメインのまるごと1冊エンセン本(サイン入り)。

【イーフォース・ジャパン提供】

女子プロ界最強のトレカ



3名様

女子プロトレカ

写真は美咲香華選手ですが、女子プロ全団体をもうらしたオールスター全てセットでプレゼント!

【ハドソン提供】

応募要項

応募券

❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名 ❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼「PRIDE.0」(P126~)の勝者はダレ?
❽購読している本ってナニ?

希望商品が決まった方は、直ちにハガキに左記の要領で記入の上、送ってくださ~い。応募券はお忘れなく!

【宛 先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「PG2000」係まで

※締切は3月10日です

コマンドサンボ幻想最強



3名様

コマンドサンボTシャツ

リングス大阪大会で最強の呼び声も高かったコピィロフもご愛用のサンボTシャツです。

【ソニーマガジン提供】

春の新作続々登場!!

スーダラで行こうよ!! スーダラで!!

紙プロ衣料部1周年を記念して
長ソデTシャツをお買い上げの方には、
もれなく全員に
特製ネックピースをプレゼント



どちらも
¥4500

■サイズ／S・M・L
■カラー／ネイビー×ホワイト
レッド×ホワイト

お客様
お問い合わせダイヤル
(株)ダブルクロス
TEL.03-3403-5188

来月、SS半ソデTシャツ発売開始!! 心して待て!!

【素敵なお知らせで～す】

「衣料部を始めて早一年。一人相撲で頑張っています。たまには、他人のフンドシで相撲を取ってみたいので、"こういうのが欲しい!"というリクエストがありましたら、通販お申し込みの際に、メモ書きでもいいので入れておいてくだ、さ、ヘッ、ヘッ、ヘックション! ナイスな意見は、ヘックションから素敵なプレゼントが出ます!!

（紙のプロレス衣料部部長・林ヘックション一枝）

[ネイビー] [レッド]



今年も"パクリ多売"で続行一っ!!

元気ですかーッ!! 人は歩みを止め、闘いを忘れたときに老いていく……。というわけで、『紙のプロレス衣料部』も旗揚げ1周年を迎えました。これもみなさまのおかげであります。ダンケシェン!

話は変わりますが、先日本誌お勘定の林ヘックション一枝嬢が、突然「あ～、パクられた～!」と絶叫しました。ウチも新日のパクリですが、どうやら新日さんがネイビーのラグランTシャツをリリースしたようですな。「これ、ウチの色だよ～」。たしかに。ならば、こっちもパクり返さなければ。というわけで新日が、「SS（ストロング・スタイル）」ならば、こっちは「SS（スーダラ・スタイル）」だ!

※『新日ストロングスタイルTシャツ』は、(株) ダブルクロスでは取り扱っておりません。『闘魂SHOP』やプロレスショップ、あるいは新日の会場でお買い求めください。

ネックピースだけ欲しい方にも販売します!!
紙のプロレス
特製ネックピース
¥1200



数に限りがありますのでお早めに!

スーダラな通販方法

希望商品の代金＋送料¥500（何枚でも：ネックピースだけなら¥300）を現金書留で、下記住所まで送ってください。あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーをちゃんと書いてね♥）を明記したメモを必ず同封すること! これがないと商品の発送が出来ないのであしからず。通販以外では『チャンピオン東京店&大阪店』と札幌『リングパレス』で販売中なので、こちらもヨロシク! こちらで買っても長ソデTシャツにネックピースがついてきますので、ご安心あれ。

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
株式会社ダブルクロス「スーダラスタイル」係まで

●先月号で広告を掲載したU.M.F.Tシャツは大好評につき通販は終了となりました。U.M.F.パーカーとともにチャンピオン東京店&大阪店で絶賛発売中です!!

越谷発「世界征服物語」第二章

来たれ!! プロレスファン!!!

4・1オープン! 只今申込み受付中

蘇るゴールデン下宿伝説!



2月27日、現地見学会&入居説明会を実施します。保護者同伴も歓迎! by島田

参加お申し込みはバトラーツ TEL.0489—63—0005



夢のジム『B-CLUB』を作ったバトラーツが 今度は夢を叶える下宿屋『B-FLAT』を作ったぞ!

都心への通勤、通学も可能!!



B-FLAT Takesato
埼玉県春日部市
大字大畑横割7−3−6

map

B-FLAT takesato



★武里駅まで徒歩4分
★B-CLUBまで16分
★後楽園ホールまで46分

access

バトラーツのイカレ社長・石川雄規は「バトラーツの世界征服」という夢を胸に、プロレス界で暴れまくっている。つい先日も、埼玉県・越谷駅前にジム『B-CLUB』をオープンさせて、その勢力はますます拡大中である。そして、次なる「バトラーツの世界征服」作戦が早くも始まった。それが、この世界初の一般公開型プロレス寮『B-FLAT Takesato』だ!

これが『B—FLAT』だ!!

1 『B-FLAT』は選手と共に暮らせるバトラーツファンのための"現代版下宿屋"だ!

なんと、モハメド・ヨネが、『B-FLAT』に住むぞ! プロレスラーになりたい、プロレスラーになりたくないけど体を鍛えたい、体も鍛えたくないけど見てるだけでいいバトラーツファンなら誰でもOKだ!



2 『B-FLAT』入居者は無料でバトラーツジムが利用できるぞ!

バトラーツジムは越谷駅徒歩30秒。バトラーツ選手が直接指導する「グラップリングクラス」、女性にはレスリングの動きで効率よくやせる「エアロレスリング」など7つのコースが無料で受けられる



3 大浴場で全身スッキリ!

ジムで流した汗は大浴場で流そう。バトラーツの選手と裸の付き合いも出来るかも。また24時間使えるプライベートシャワー室はライフスタイルに合わせて自由に利用できる



4 ライフサポーター(マネージャー)夫婦が常駐してしかも朝夕2食付

防犯・防災はもちろん宅配便の取り次ぎなど女性の一人暮らしにも安心。栄養バランス&スタミナ抜群の朝夕2食付き。ごはんは食べ放題! 牛乳は飲み放題!!



5 インターネット使い放題など設備も充実!

パソコンを接続すればなんとインターネットは使い放題! パソコン本体やドリームキャストも格安で購入可能!! 部屋には家具・ベッドはもちろん、電話やエアコンまで備え付け。もちろん全室個室だ!



入居者限定のイベント&特典が満載!!

●入居申込み者にもれなく全選手サイン入りTシャツをプレゼント! さらに、先着10名様にTOKYO FMホール大会のチケットをプレゼント!

●入居者限定オリエンテーションを開催します! 4月8日(土)B—FLAT内バトラーツルームにて、あの有名選手&有名人が出るぞ!! 行くしかあるまい?

バトラーツ興行日程

『バトラーツ2・26事件』
2月26日(土)愛知・名古屋レインボーホール第3競技場(17:55)

大阪昼夜興行第1弾!『JJCミレニアムトーナメント』
3月12日(日)大阪・IMPホール(13:00)

大阪昼夜興行第2弾!『キング&クイーントーナメント』
3月12日(日)大阪・IMPホール(17:00)

『FEAST OF BATTLARTS』
3月18日(土)東京・TOKYO FMホール(18:00)

『春の嵐〜ミレニアム〜』
3月25日(土)北海道・札幌テイセンホール(18:00)

驚きと感動のバチバチ価格! さすが、イカレ社長!?

こんなに付いてて、月々たったの **110,400円!!(税込)**

※朝夕2食、水道光熱費、インターネット接続料、管理費、B—CLUB利用費も含む

●B—FLATのお問い合せ、お申し込みは……
管理運営委託株式会社:共立メンテナンスB—FLAT事務局(安永・横山・丹羽) TEL.03-5295-7815

●申込みも可能なB—FLATホームページも見ろ!
http://www.kyoritsugroup.co.jp/b-flat/

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZIN MOOK 130
2000 NO.24
「新プロレス」とは何か?
アレクを天才アラーキーが劇写!
平成12年3月25日発行 編集発行人/山口日昇
発売元:(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元:(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188
ワニマガジン社 定価:本体800円+税

雑誌 69862-30
©DOUBLECROSS 2000 Printed in Japan
印刷:図書印刷株式会社
ISBN4-89829-611-4
C9476 ¥800E
9784898296110
1929476008008

TLINDEX

		栗栖ジム 06-6790-8896 〒547-0014大阪府大阪市 平野区長吉川辺3-1-7
全日本プロレス 03-3403-7344 〒106-0032東京都港区六本木7-3-12	**闘龍門JAPAN** 078-362-0707 〒650-0022兵庫県神戸市中央区 元町通り5-3-18	**ドリームステージエンターテインメント** 03-3552-6300 〒104-0033東京都中央区新川2-3-9 新川第二ビル
新日本プロレス 03-5468-3111 〒150-0011東京都渋谷区東2-1-11	**ダイプロデュース(大仁田興行)** 03-5496-4900 〒141-0031東京都品川区西五反田1-28-3 ハイラーク五反田505	**K-1事務局** 03-3796-2977 〒150-0001東京都渋谷区神宮前3-31-14
FMW 03-5496-0671 〒153-0064東京都目黒区下目黒2-23-15 ダヴィンチ下目黒6F	**世界のプロレス** 093-203-5170 〒807-0054福岡県遠賀郡水巻町二東2-8-6	**修斗コミッション** 03-3961-2704 〒173-0001東京都板橋区本町34-4 石田コーポラス501
リングス 03-3461-0257 〒150-0036東京都渋谷区南平台13-1 サトウビル202	**掣圏道** 03-5456-7333 〒150-0021東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607	**WK/Network(和術慧舟會、A³GYM、RJW)** 03-5200-3546 〒103-0021東京都中央区日本橋 石町3-3-11　山田ビル5F
WAR 03-5477-0461 〒154-0015東京都世田谷区桜新町1-14-23 萬豊ビル2F	**キングダム** 0423-31-2797 〒206-0822東京都稲城市坂浜2305	**シュートボクシング協会** 03-3843-1212 〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ1～3F
みちのくプロレス 019-626-1333 〒020-0063岩手県盛岡市材木町9-8	**キャプチャー** 044-959-3333 〒215-0011神奈川県川崎市 麻生区百合丘2-2-1　横山ビルB1	**UFC-J事務局** 03-3343-2444 〒163-0430東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル30F
SPWF 03-3814-6371 〒113-0001東京都文京区白山1-17-4 クロサキビル	**国際プロレス** 0467-86-0197 〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14	**怪獣王国** 03-5952-1177 〒171-0033東京都豊島区高田3-6-7-3F
パンクラス 03-5792-0815 〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25	**メビウス** 03-5382-6991 〒167-0034東京都杉並区桃井4-1-15	**コロシアム2000** 03-3482-1981 〒105-8012東京都港区虎ノ門4-3-12 テレビ東京事業部内
IWAジャパン 03-3352-3366 〒160-0004東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ401	**つぼプロモーション** 03-3498-4710 〒107-0062東京都港区南青山6-15-1 アパルトマン青山2F－E	**全日本女子プロレス** 03-3493-6541 〒153-0064東京都目黒区下目黒2-17-17
大日本プロレス 045-937-0811 〒224-0053神奈川県横浜市 都築区池辺町4347	**華☆激** 092-522-1901 〒810-0022福岡市中央区薬院4-8-29 エステートピア薬院302	**JWP** 03-3839-4161 〒110-0005東京都台東区上野1-15-10 大秀ビル502
バトラーツ 0489-63-0005 〒343-0807埼玉県越谷市赤山町2-158-1	**喧嘩プロレス二瓶組** 044-244-8942 〒212-0055神奈川県川崎市 川崎区南町18-17　第5大昭ビル502	**LLPW** 03-3945-7926 〒112-0005東京都文京区水道2-13-4 ビクセル文京105
DDT 03-3356-8493 〒151-0051東京都渋谷区千駄ケ谷5-17-18 オリエンタル千駄ケ谷102プリントオフィス内	**ZIPANG** 0427-54-8851 〒229-0002神奈川県相模原市 渕野辺本町2-37-19　コスモハイグランド106	**GAEA JAPAN** 03-3795-2555 〒154-0004東京都世田谷区太子堂5-15-3 COVAMOC BUILDING2F
髙田道場 03-5749-5030 〒142-0062東京都品川区小山3-6-6 ワイルドパレス武蔵小山1F-B1	**T.A.M.A** 042-572-6795 〒185-0031東京都国分寺市富士本1-23-5	**Jd'** 03-5561-0522 〒107-0052東京都港区赤坂2-12-10 国際溜池ビル7F
UFO 03-5447-2121 〒108-0071東京都港区白金台3-19-5O K白金台ビル7F	**CMLL・JAPAN** 075-601-7816 〒612-8221京都府京都市伏見区禅正町151	**アルシオン** 03-5720-5217 〒150-0022東京都渋谷区恵比寿南3-7-1 代官山島田ビル3F
大阪プロレス 06-6243-5131 〒542-0081大阪府大阪市中央区 南船場3-1-7　日宝東心斎橋ビル301	**UNW** 03-3362-3014 〒164-0003東京都中野区4-4-5-311	**NEO** 03-5759-1977 〒141-0013東京都品川区五反田6-24-2-801

●よりグラフィックに、よりファッショナブルに……

kämipro カミプロ

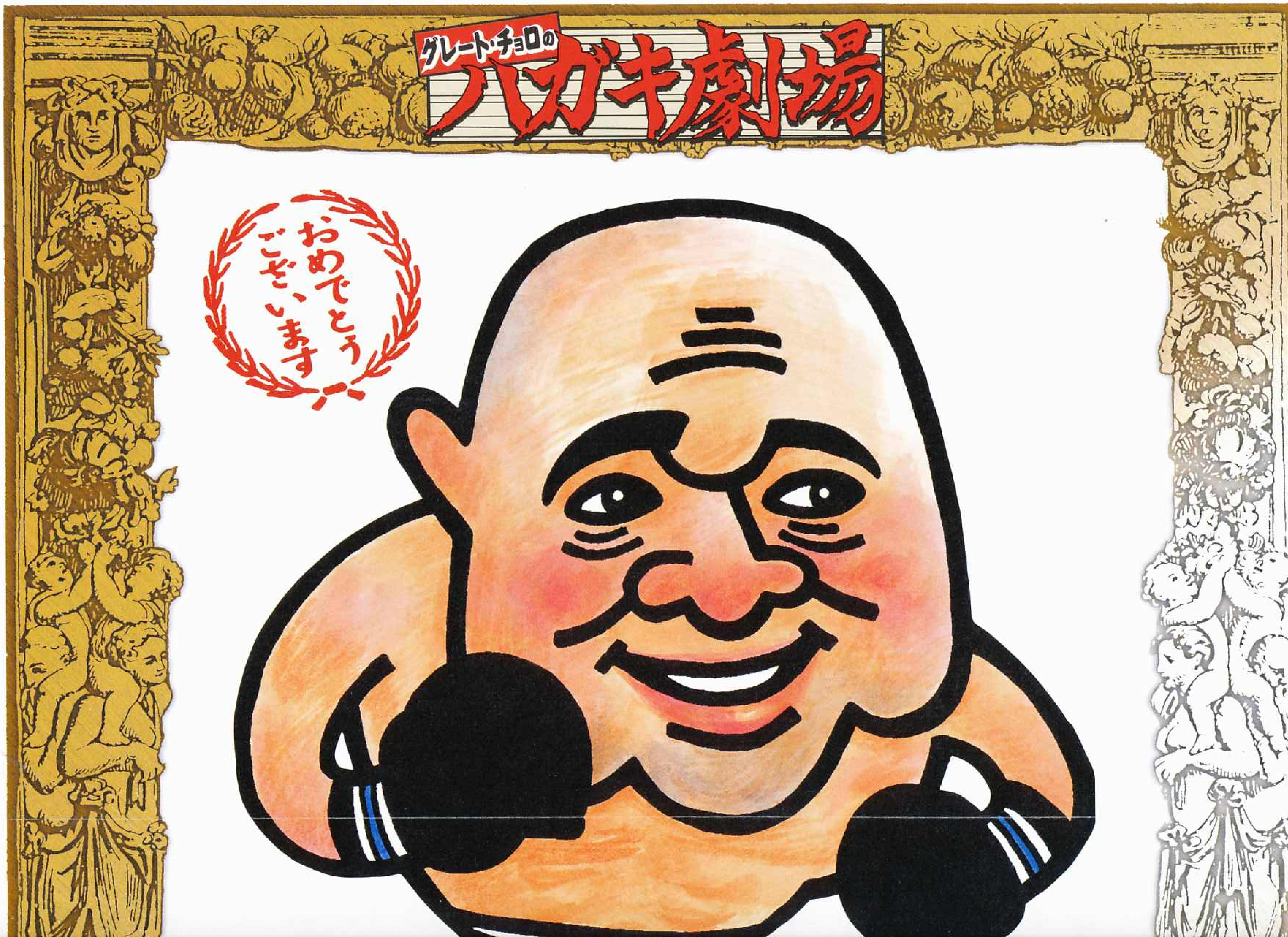


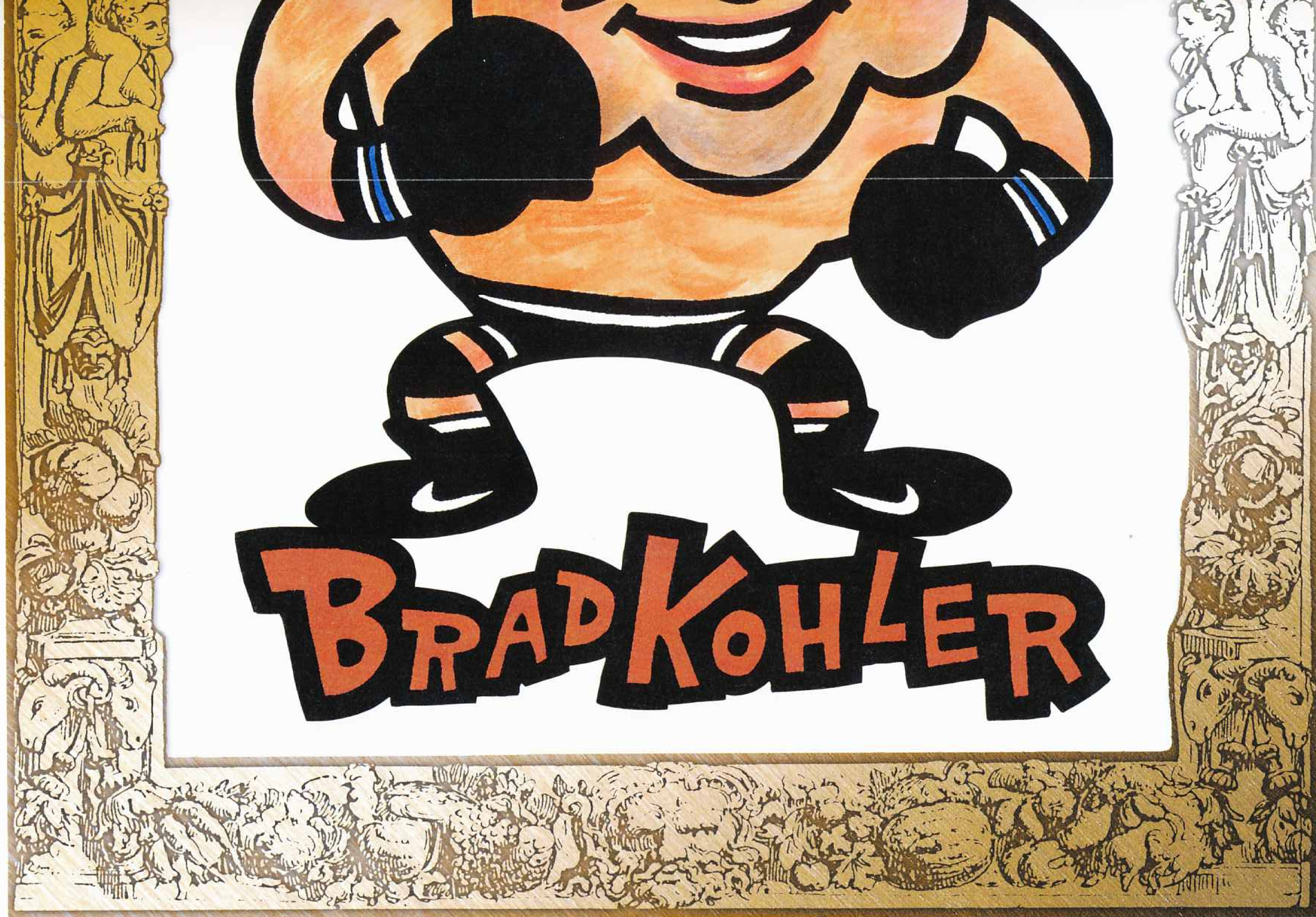
先生（＝作家）と生徒（＝プロレスラー）が衝撃のファイヤー!!

2・3後楽園ホール、大仁田厚興行に女性作家・内館牧子さんが来た!!

初代ハガキ劇場チャンピオン（ハガキング・オブ・キングス）

中川雅博画伯





WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT
KING of KINGS

KOKトーナメント以外の試合も注目だ!
2·26武道館にて待望の再来日記念ピンナップ

ブラッド・コーラー

CAL CALENDAR

)
)
30)
8:30)
トホール（13:00）
30)
)
」■東京・渋谷ロックウエスト

全女■神奈川・小田原アリーナ（18:30）

10 FRI.

新日本■山口・柳井市体育館（18:30）

11 SAT.

第2回メモリアル力道山■神奈川・横浜アリーナ（18:00）♠
新日本■山口・防府スポーツセンター（18:30）
みちのく■岩手・矢巾町民総合体育館（18:30）
全女■茨城・岩瀬町総合体育館（18:30）

12 SUN.

新日本■愛媛・宇和島市総合体育館（15:00）
みちのく■青森・はちのへハイツ（15:00）
バトラーツ■大阪・IMPホール（13:00）&（17:30）
TAMA■東京・ニューシティーホール国立特設コート（11:30）
SGP■愛知・ポートメッセなごや（時間未定）
全女■東京・後楽園ホール（12:00）
GAEA■東京・後楽園ホール（18:30）

13 MON.

新日本■高知・高知県民体育館（18:30）
JWP&全女■東京・JWPホール（19:30）

14 TUE.

みちのく■岩手・前沢町民スポーツセンター（18:30）

15 WED.

新日本■福岡・西日本総合展示場（18:30）
みちのく■岩手・大槌町城山公園体育館（19:00）
アルシオン■東京・後楽園ホール（19:00）

16 THU.

新日本■京都・京都府立体育館（18:00）
みちのく■秋田・横手市平鹿広域圏民体育館（18:30）
IWA■茨城・つくばカピオ（18:30）
全女■愛知・名古屋市総合体育館（18:30）
アルシオン■愛知・知立市福祉体育館（18:30）

17 FRI.

修斗■東京・後楽園ホール（18:30）🌀
新日本■鳥取・米子産業体育館（18:30）
みちのく■山形・上山市体育文化センター（18:30）
IWA■神奈川・横浜文化体育館（18:30）
全女■愛知・東海市民体育館（18:30）
アルシオン■愛知・岡崎市総合体育館（18:30）

18 SAT.

新日本■岡山・倉敷市水島緑地公園福田体育館（18:30）
みちのく■宮城・鹿島台町かまだ記念ホール（18:30）
バトラーツ■東京・TFMホール（18:00）
闘龍門■三重・津市体育館（18:00）
キャプチャー■東京・大田区民プラザ（19:30）
全女■大阪・はびきのコロセアム（18:30）
アルシオン■愛知・春日井市総合体育館（18:30）

19 SUN.

新日本■愛知・愛知県体育館（16:00）
みちのく■福島・本宮体育館（15:00）
EAGLE■栃木・県南体育館（13:00）
全女■香川・坂出サティホール（18:30）
アルシオン■岐阜・土岐スポーツセンター（15:30）

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇
◎ スモー・ノブ
♠ 松澤チョロ記者
🌀 大西タマリン
△ ガンツ堀江

20 MON.

新日本■兵庫・尼崎市記念公園総合体育館（16:00）
みちのく■福島・福島市国体記念体育館サブアリーナ（15:00）
闘龍門■神奈川・小田原アリーナ（18:00）
全女■香川・高松総合体育館（18:30）
GAEA■大阪・IMPホール（13:00）&（17:00）

21 TUE.

闘龍門■岩手・一関文化センター体育館（18:30）
全女■福井・小浜市民体育館（18:30）

22 WED.

みちのく■山形・二川町町民体育館（18:30）
闘龍門■福島・郡山市総合体育館（18:30）
シュートボクシング■東京・後楽園ホール（18:30）

23 THU.

みちのく■福島・原町市体育館（18:30）
大阪■山口・海峡メッセ下関（19:00）

24 FRI.

全日本■東京・後楽園ホール（18:30）◎
新日本■新潟・苗場プリンスホテル（18:30）
みちのく■宮城・気仙沼市総合体育館サブアリーナ（18:30）
闘龍門■秋田・大館市民体育館（18:30）
大阪■岡山・岡山武道館（19:00）
全女■広島・広島県立総合体育館（18:30）
アルシオン■和歌山・和歌山県立体育館（18:30）

25 SAT.

全日本■東京・後楽園ホール（18:30）★
新日本■新潟・苗場プリンスホテル（18:30）
みちのく■秋田・秋田市立茨島体育館（18:30）
バトラーツ■北海道・札幌テイセンホール（18:00）
闘龍門■盛岡・岩手県営体育館（18:30）
アルシオン■和歌山・白浜会館（18:30）

26 SUN.

全日本■愛知・愛知県体育館（17:00）
みちのく■青森・青森町民体育館サブアリーナ（13:00）
大日本■長野・三郷村文化公園体育館（12:30）
闘龍門■宮城・仙台市体育館サブアリーナ（18:00）
アルシオン■和歌山・串本町立体育館（18:30）

27 MON.

FMW■東京・後楽園ホール（18:30）△
大日本■静岡・アクトシティ浜松展示イベントホール（18:30）

28 TUE.

闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ（19:00）

29 WED.

全日本■福井・福井市体育館（18:30）
大日本■茨城・日立市池ノ川中央体育館（18:30）

30 THU.

大日本■千葉・銚子市体育館（18:30）
DDT■東京・北沢タウンホール（時間未定）

31 FRI.

大日本■岡山・卸センターオレンジホール（18:30）

RADICAL CA

●はイベント情報です。

2 February

22 TUE.

全日本■愛媛・テクスポート今治（18:30）
大日本■東京・後楽園ホール（18:30）
全女■宮崎・宮崎市総合体育館（18:30）
J'd■東京・北沢タウンホール（19:00）

23 WED.

大日本■神奈川・小田原サブアリーナ（18:30）
キングダム■東京・北沢タウンホール（18:30）
全女■宮崎・延岡市体育館（18:30）
アルシオン■茨城・つくばカピオ（18:30）
●島田裕二プロデュースイベント「場外乱闘とは何か？」■東京・渋谷ロックウエスト（19:00）　今回のゲストは場外乱闘王こと村上一成の登場だ！　お問い合わせロックウエスト☎03-5459-7988

24 THU.

全女■宮崎・延岡市体育館（18:30）

25 FRI.

全日本■神奈川・横須賀市総合体育館（18:30）
FMW■東京・後楽園ホール（18:30）◎
大日本■長野・諏訪湖スポーツセンター（18:30）
DDT■東京・板橋産文ホール（18:30）
全女■福岡・行橋市民体育館（18:30）
●紙のプロレスPRESENTS『暗闇プロレス道場』■東京・新宿ロフトプラスワン（19:00頃）リングス超大物選手大挙参戦予定!!　お問い合わせロフトプラスワン☎03-3205-6864

26 SAT.

全日本■茨木・水戸市民体育館（18:00）
リングス■東京・日本武道館（18:30）★
大日本■静岡・伊東青果市場（18:30）
バトラーツ■愛知・名古屋レインボーホール（17:55）
キャプチャー■福岡・ベイサイドプレイス博多埠頭（19:00）
全女■福岡・小倉北体育館（18:30）
●池田大輔&アレクサンダー大塚トークライブ■京都・NEGA・POGI（19:30）お問い合わせNEGA・POGI☎075-252-8856

27 SUN.

全日本■東京・日本武道館（15:00）
パンクラス■大阪・梅田ステラホール（16:00）
大日本■福島・大熊町第2体育館（13:00）
キャプチャー■長崎・厳原町町民体育館(13:00)
EWF■東京・後楽園ホール（18:30）♠
全女■福岡・大川産業会館1階展示ホール（18:30）
JWP■東京・後楽園ホール（12:30）
GAEA■大阪・IMPホール（15:00）
J'd■大阪・NGKスタジオ（13:00）&（17:00）
●大仁田厚『卒業式プロレス』■東京・駿台学園高校体育館（15:00）入場料金¥300　お問い合わせダイプロデュース☎03-5496-4900
●カードショーinアミーホール■東京・渋谷アミーホール（11:00〜）入場無料
午後1時より井上京子、田村欣子、元気美佐恵、タニーマウス、石田亜矢子他によるサイン会あり。お問い合わせFUTURE　BEE☎03-3296-8337

28 MON.

DDT■東京・北沢タウンホール（18:30）
全女■山口・海峡メッセ下関（18:30）

29 TUE.

大日本■埼玉・熊谷市体育館（18:30）
全女■大分・別府ビーコンプラザ（18:30）

3 March

1 WED.

みちのく■愛知・中村スポーツセンター（18:00）
全女■福岡・博多スターレーン（18:30）

2 THU.

みちのく■滋賀・野洲町立総合体育館（19:00）
キャプチャー■大阪・光明アムホール（19:30）

3 FRI.

新日本■新潟・新潟市体育館（18:30）
アルシオン■岐阜・高山市マウントエース（18:30）

4 SAT.

新日本■平塚市総合体育館（18:30）
みちのく■徳島・徳島市立体育館（19:00）
大阪■大阪・うめだ花月シアター（19:30）
全女■神奈川・横浜文化体育館（17:30）
アルシオン■岐阜・美濃加茂市中央体育館（18:30）

5 SUN.

新日本■東京・後楽園ホール（18:30）
大阪■大阪・うめだ花月シアター（19:30）
全女■三重・オーストラリア記念館（18:30）
アルシオン■静岡・アクトシティ浜松展示イベントホール（13:00）

6 MON.

新日本■東京・後楽園ホール（18:30）
全女■埼玉・本川越ぺぺホール・アトラス（18:30）

7 TUE.

新日本■静岡・キラメッセぬまづ（18:30）
メビウス■東京・板橋産文ホール（18:30）
全女■茨城・ひたちなか市松戸体育館（18:30）

8 WED.

全女■愛知・豊田市体育館（18:30）
LLPW■東京・後楽園ホール（18:30）
●島田裕二プロデュースイベント「J-Cupとは何か？」■東京・渋谷ロックウエスト（19:00）J-Cupにゆかりのある超大物ゲスト参戦予定！

9 THU.

UNW■東京・後楽園ホール（18:30）
全女■神奈川・小

10 FRI.

新日本■山口・柳

11 SAT.

第2回メモリアル
新日本■山口・防
みちのく■岩手・
全女■茨城・岩瀬

12 SUN.

新日本■愛媛・宇
みちのく■青森・
バトラーツ■大阪・
TAMA■東京・ニ
SGP■愛知・ポー
全女■東京・後楽
GAEA■東京・後

13 MON.

新日本■高知・高
JWP&全女■東

14 TUE.

みちのく■岩手・

15 WED.

新日本■福岡・西
みちのく■岩手・
アルシオン■東京

16 THU.

新日本■京都・京
みちのく■秋田・
IWA■茨城・つく
全女■愛知・名古
アルシオン■愛知

17 FRI.

修斗■東京・後楽
新日本■鳥取・米
みちのく■山形・
IWA■神奈川・横
全女■愛知・東海
アルシオン■愛知

18 SAT.

新日本■岡山・倉
みちのく■宮城・
バトラーツ■東京・
闘龍門■三重・津
キャプチャー■東
全女■大阪・はび
アルシオン■愛知

19 SUN.

新日本■愛知・愛
みちのく■福島・
EAGLE■栃木・
全女■香川・坂出
アルシオン■岐阜